

**稲城市**  
**子ども・子育て支援事業に関する**  
**ニーズ調査報告書**

**令和7年3月**  
**稲城市**



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	1
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計 .....	3
(1) 調査票の種類と調査対象者等 .....	3
3 報告書の見方について .....	4
(1) 年齢の定義 .....	4
(2) 集計値について .....	4
<b>第2章 就学前児童の保護者</b> .....	5
1 あなたのことにについて .....	7
2 子育ての環境について .....	13
(1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況 .....	13
(2) 子育てに関する相談者の状況について .....	17
3 保護者の就労状況について .....	19
(1) 母親の就労状況 .....	19
(2) 父親の就労状況 .....	25
4 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について .....	30
(1) 平日の定期的な教育・保育事業 .....	30
(2) 幼稚園 .....	44
(3) 他の保育事業 .....	47
5 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向について .....	47
6 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について .....	57
(1) 土曜日の利用希望について .....	57
(2) 日曜日の利用希望について .....	60
7 病児・病後児保育事業の現状と利用意向について .....	67
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの現状と今後の意向について .....	83
(1) 不定期の一時保育の利用について .....	83
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用について .....	94
9 放課後の過ごし方の希望について .....	101
(1) 平日の放課後の過ごし方の希望について .....	101
(2) 土曜・休日の学童クラブ利用について .....	106
10 育児休業制度等の利用について .....	118
(1) 母親の育児休業制度等の取得状況 .....	118
(2) 父親の育児休業制度等の取得状況 .....	127
11 子育てで感じていることについて .....	136
12 家庭の暮らし向きについて .....	143
13 地域での生活について .....	152

<b>第3章 小学生の保護者</b> .....	<b>165</b>
1 あなたのことについて .....	167
2 子育ての環境について .....	174
(1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況 .....	174
(2) 子育てに関する相談者の状況について .....	180
3 保護者の就労状況について .....	182
(1) 母親の就労状況 .....	182
(2) 父親の就労状況 .....	192
4 平日の放課後・土日祝日の過ごし方について .....	200
5 学童クラブの利用について .....	205
(1) 学童クラブの利用状況 .....	205
(2) 平日の学童クラブの利用日数及び時間等 .....	212
(3) 土曜日の学童クラブの利用日数及び時間等 .....	216
(4) 長期休暇中の学童クラブの利用日数及び時間等 .....	219
(5) 学童クラブへの希望 .....	222
(6) 学童クラブを利用していない理由や今後の利用意向 .....	223
(7) 未利用者が希望する平日の学童クラブの利用日数等 .....	226
(8) 未利用者が希望する土曜日の学童クラブの利用日数等 .....	229
(9) 未利用者が希望する長期休暇中の学童クラブの利用日数等 .....	229
6 児童館の利用について .....	232
7 放課後子ども教室等の利用について .....	237
8 病児・病後児預かり事業の現状と利用意向について .....	244
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり事業の現状と今後の意向について .....	259
(1) 不定期の一時預かり事業の利用について .....	259
(2) 宿泊を伴う一時預かり事業の利用について .....	270
10 ファミリー・サポート・センター事業の現状と利用意向について .....	275
11 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向について .....	281
12 子育てで感じていることについて .....	287
13 家庭の暮らし向きについて .....	294
14 地域での生活について .....	304
<b>第4章 小学生・中学生本人</b> .....	<b>321</b>
1 あなたのことについて .....	323
2 日頃の生活について .....	328
3 学校での生活について .....	350
4 地域での生活について .....	357

<b>第5章 青少年・若者</b> .....	<b>373</b>
1 あなたのことについて .....	375
2 現在の仕事の状況について .....	382
3 悩みや不安、経験について .....	386
4 生活について .....	390
5 将来について .....	399
6 地域との関わりについて .....	404
7 非行的な行為について .....	409
8 携帯電話・スマートフォンの利用について .....	411
9 稲城市の施策について .....	415
<b>第6章 妊娠届出をした方</b> .....	<b>417</b>
1 あなたのことについて .....	419
2 保護者の就労状況について .....	433
(1) 母親の就労状況 .....	433
(2) 父親の就労状況 .....	439
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用予定について .....	443
4 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について .....	445
5 育児休業制度等の利用意向について .....	446
6 地域の子育て支援の環境や支援への満足度 .....	453
<b>第7章 自由記述分類</b> .....	<b>457</b>
1 就学前児童の保護者 .....	459
2 小学生の保護者 .....	468
3 小学生・中学生本人 .....	477
4 青少年・若者 .....	480
5 妊娠届出をした方 .....	483



# **第 1 章**

## **調査実施の概要**





# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

稲城市では、誰もが安心して子どもを生み育てることができる環境を作るため、「第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度から令和6年度）」に基づき様々な子育て支援を行っております。

令和6年度の計画期間満了にともない、「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの貧困対策計画」、「子ども・若者計画」等を一体化した「稲城市こども計画」を策定いたします。

今回のニーズ調査は、子どもや子育て家庭の意識や生活実態に関する調査を実施し、その結果を分析することで、稲城市の傾向と課題の抽出を行い、令和7年度以降を計画期間とする「稲城市こども計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的とします。

## 2 調査の設計

### (1) 調査票の種類と調査対象者等

図表1 調査の実施方法と調査票の配布・回収状況

①子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童の保護者の方向け）					
調査対象者	就学前児童の保護者				
調査件数	800件	回収数	310件	回収率	38.8%
調査時期	令和6年2月9日(金)～3月1日(金)				
調査方法	郵送による配布（回収は、オンライン回答）				
調査内容	家族状況、就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用、育児休業の取得状況等				
②子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生の保護者の方向け）					
調査対象者	小学生の保護者				
調査件数	1,320件	回収数	406件	回収率	30.8%
調査時期	令和6年2月28日(水)～3月22日(金)				
調査方法	小学校を経由して配布（回収は、オンライン回答）				
調査内容	家族状況、就労状況、放課後等の過ごし方等				
③子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生・中学生の方向け）					
調査対象者	小学生・中学生				
調査件数	2,268件	回収数	490件	回収率	21.6%
調査時期	令和6年2月28日(水)～3月22日(金)				
調査方法	小・中学校を経由して配布（回収は、オンライン回答）				
調査内容	日頃の生活、学校での生活、地域での生活等				

④子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（青少年・若者（16歳～39歳）の方向け）					
調査対象者	青少年・若者（16歳～39歳）				
調査件数	3,600件	回収数	470件	回収率	13.1%
調査時期	令和6年2月9日(金)～3月1日(金)				
調査方法	郵送による配布（回収は、オンライン回答）				
調査内容	日頃の生活、外出状況、将来への考え方、地域での生活等				

⑤子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（妊娠届出をした方向け）					
調査対象者	妊娠届出をした方				
調査件数	200件	回収数	95件	回収率	47.5%
調査時期	令和6年2月9日(金)～3月1日(金)				
調査方法	郵送による配布（回収は、オンライン回答）				
調査内容	家族状況、就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用予定、育児休業の取得予定等				

### 3 報告書の見方について

#### (1) 年齢の定義

就学前児童の年齢定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表2 ニーズ調査における年齢定義

年齢区分	該当する生年月
0歳児	令和4年4月以降
1歳児	令和3年4月～令和4年3月
2歳児	令和2年4月～令和3年3月
3歳児	平成31年4月～令和2年3月
4歳児	平成30年4月～平成31年3月
5歳児	平成29年4月～平成30年3月

(注) 調査期間【令和5年度】における年齢定義

#### (2) 集計値について

- ・調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- ・回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の設問の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超える場合があります。

## **第 2 章**

# **就学前児童の保護者**

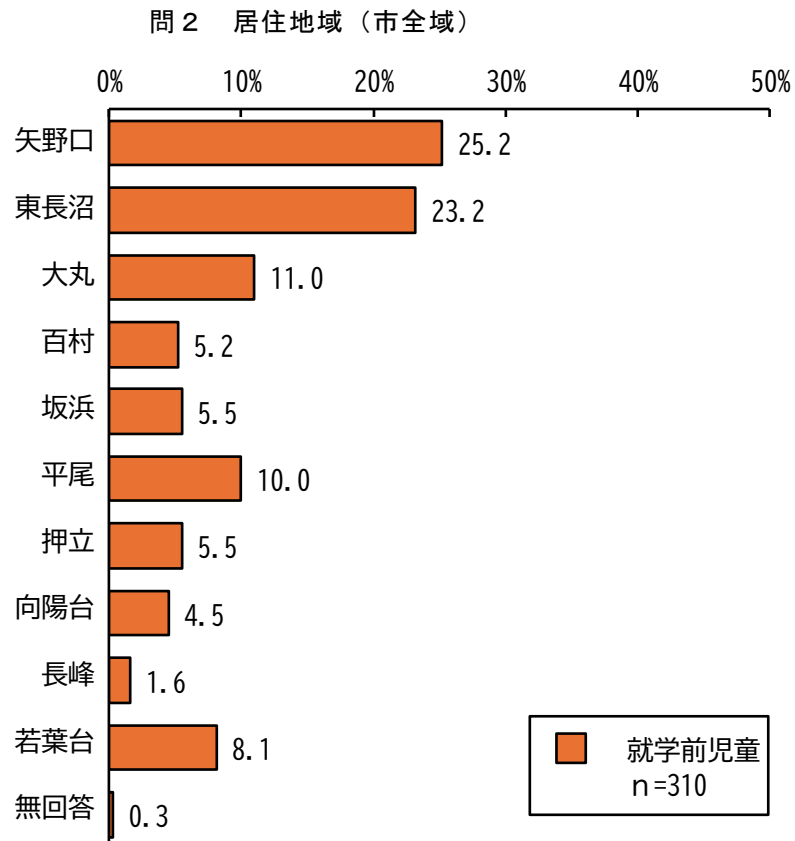


## 第2章 就学前児童の保護者

### 1 あなたのことについて

問2 お住まいの地区はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

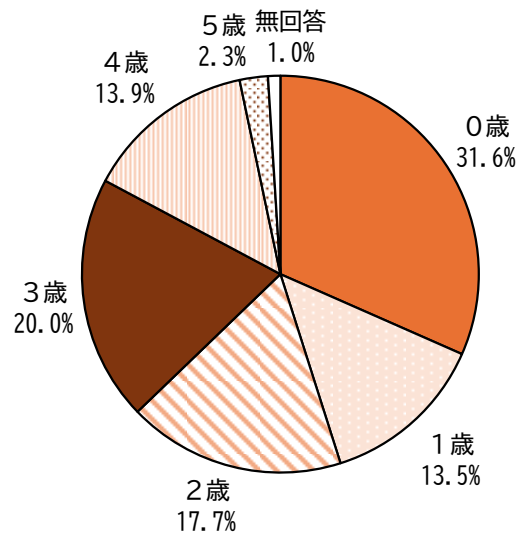
居住地(市全域)は「矢野口」(25.2%)が最も多く、次いで「東長沼」(23.2%)、「大丸」(11.0%)となっています。



問3 宛名のお子さんの生年月を教えてください。

子どもの年齢は「0歳」(31.6%)が最も多く、次いで「3歳」(20.0%)、「2歳」(17.7%)となっています。

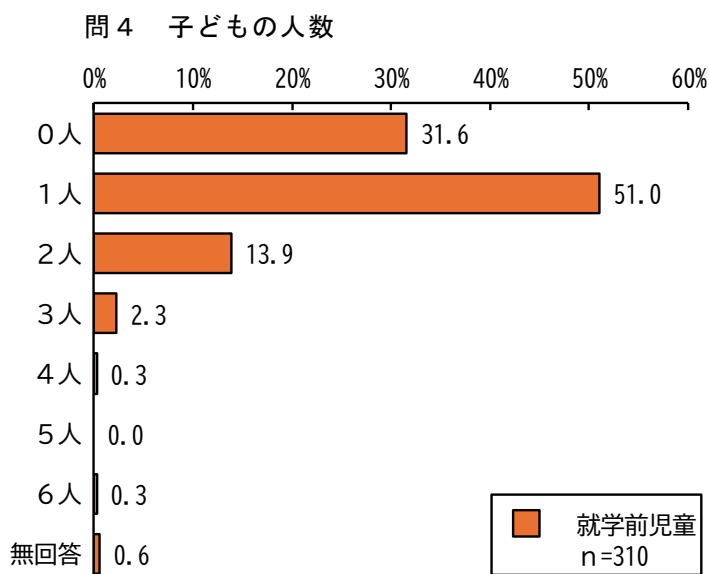
問3 子どもの年齢



就学前児童  
n=310

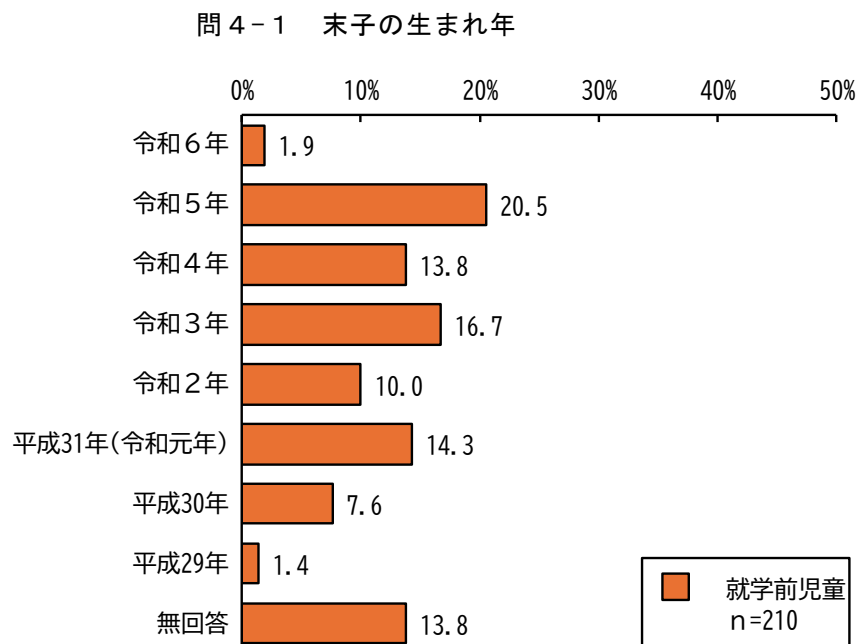
問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんのみの場合は0人とお答えください。)

子どものきょうだいの数は「1人」(51.0%)が最も多く、次いで「0人」(31.6%)、「2人」(13.9%)となっています。



問4-1 末子は何年生まれですか。(あてはまるもの1つに○)

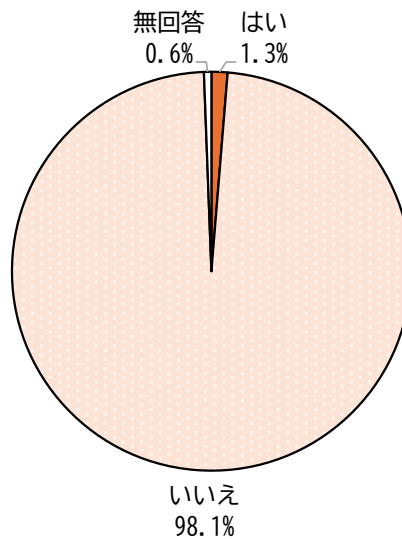
末子の生まれ年は「令和5年」(20.5%)が最も多く、次いで「令和3年」(16.7%)、「平成31年(令和元年)」(14.3%)となっています。



問5 宛名のお子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりする  
など、介護が必要な方はいますか。(あてはまるもの1つに○)

介護が必要な家族の有無は「いいえ」(98.1%)、「はい」(1.3%)となっ  
ています。

問5 介護が必要な家族の有無

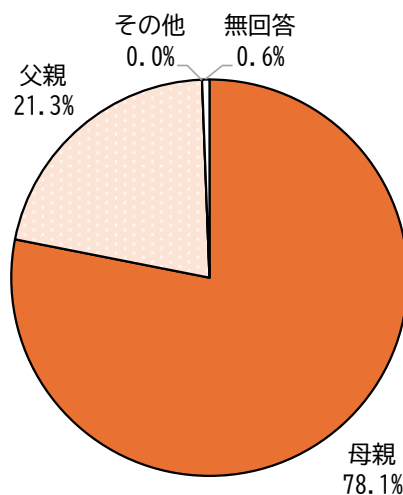


就学前児童  
n=310

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお  
答えください。(あてはまるもの1つに○)

回答者については「母親」(78.1%)、「父親」(21.3%)となっています。

問6 回答者

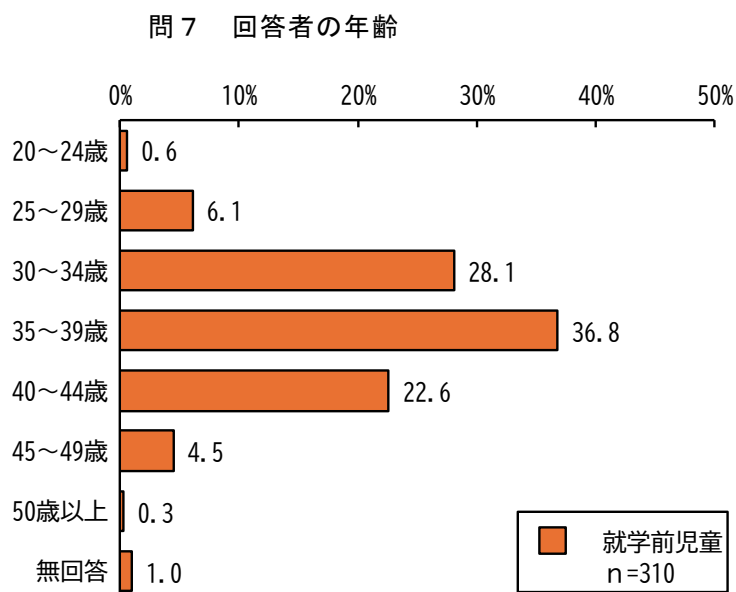


就学前児童  
n=310



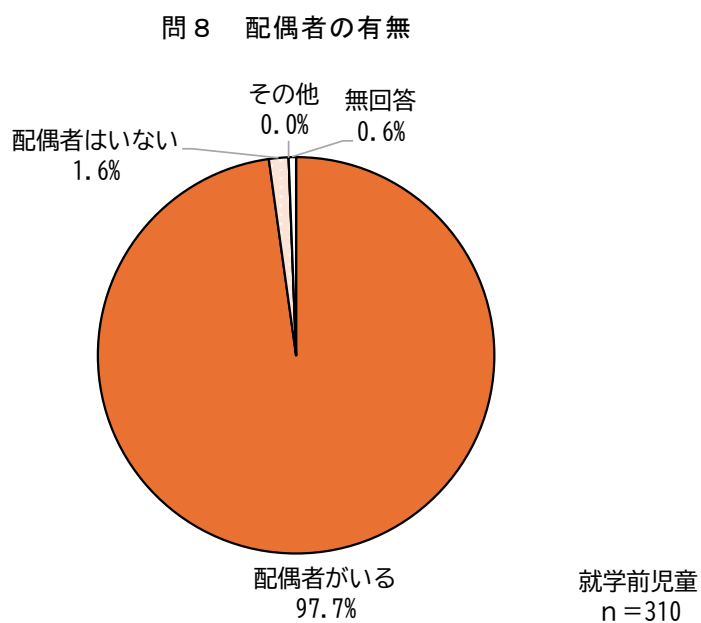
問7 あなたの年齢を教えてください。

回答者の年齢は「35～39歳」(36.8%)が最も多く、次いで「30～34歳」(28.1%)、「40～44歳」(22.6%)となっています。



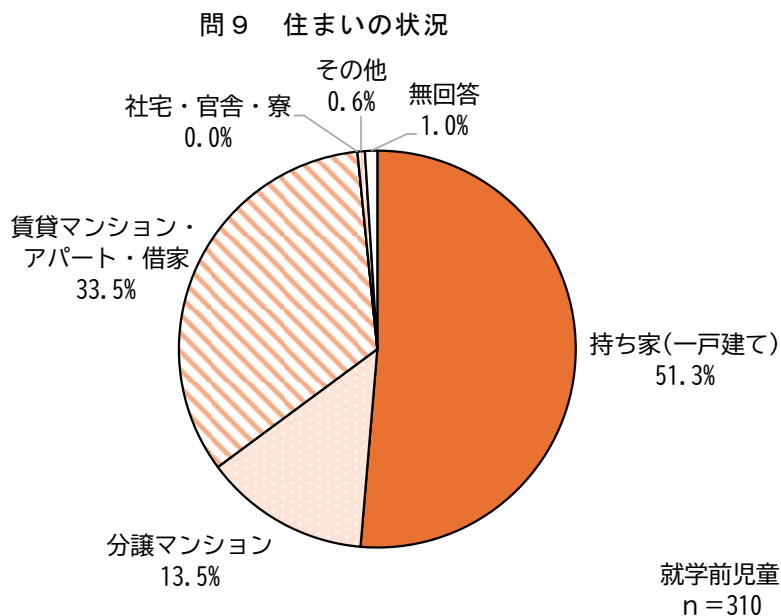
問8 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

配偶者については「配偶者がいる」(97.7%)、「配偶者がいない」(1.6%)となっています。



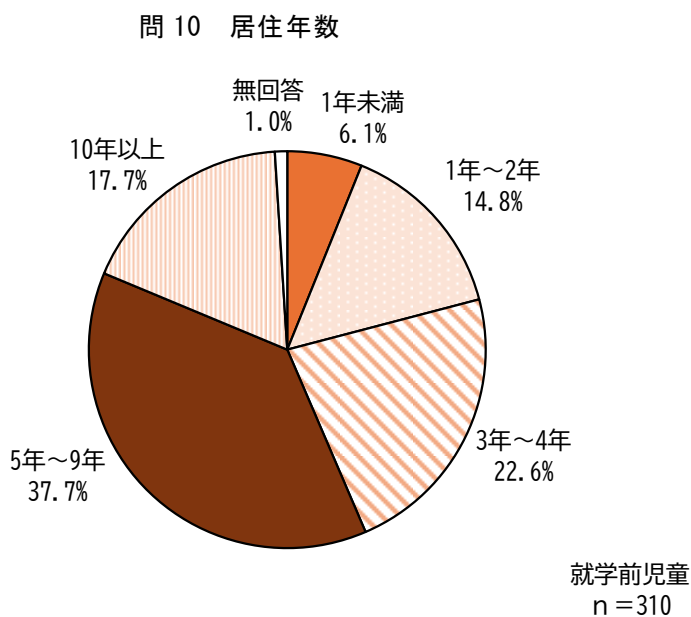
問9 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

住まいについては「持ち家(一戸建て)」(51.3%)が最も多く、次いで「賃貸マンション・アパート・借家」(33.5%)、「分譲マンション」(13.5%)となっています。



問10 この調査票にご回答いただいている方は、稲城市に住んでどれくらいになりますか。(あてはまるもの1つに○)

居住年数は「5年～9年」(37.7%)が最も多く、次いで「3年～4年」(22.6%)、「10年以上」(17.7%)となっています。



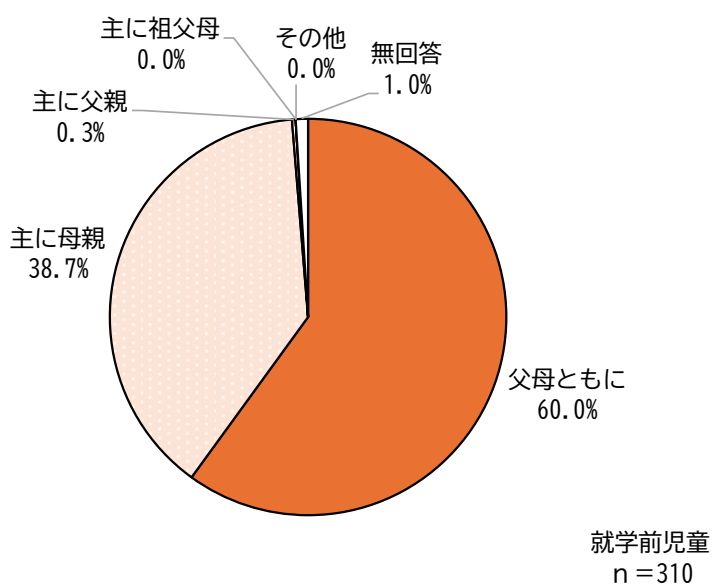
## 2 子育ての環境について

### (1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況

問 11 ご家庭において、宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

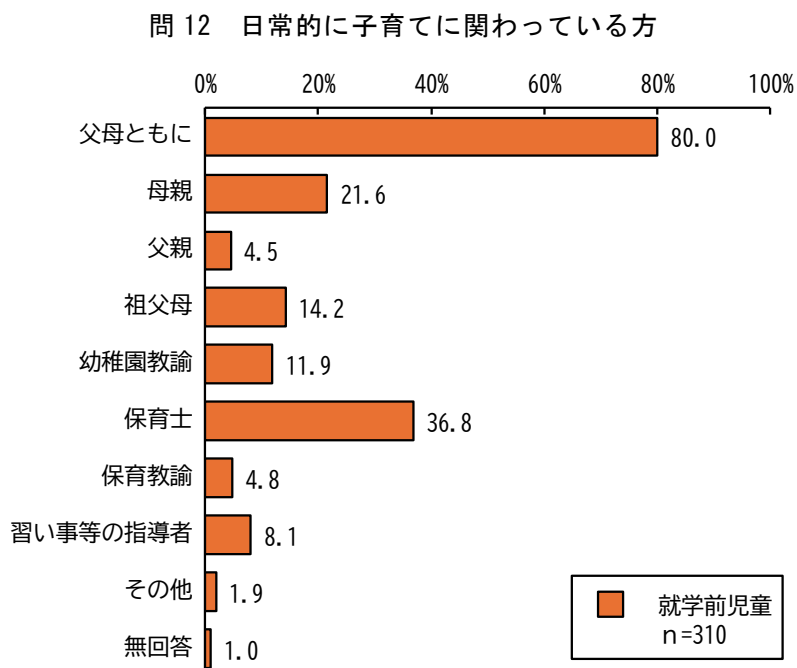
主に子育てを行っている方は「父母ともに」（60.0%）が最も多く、次いで「主に母親」（38.7%）、「主に父親」（0.3%）となっています。

問 11 主に子育てを行っている方



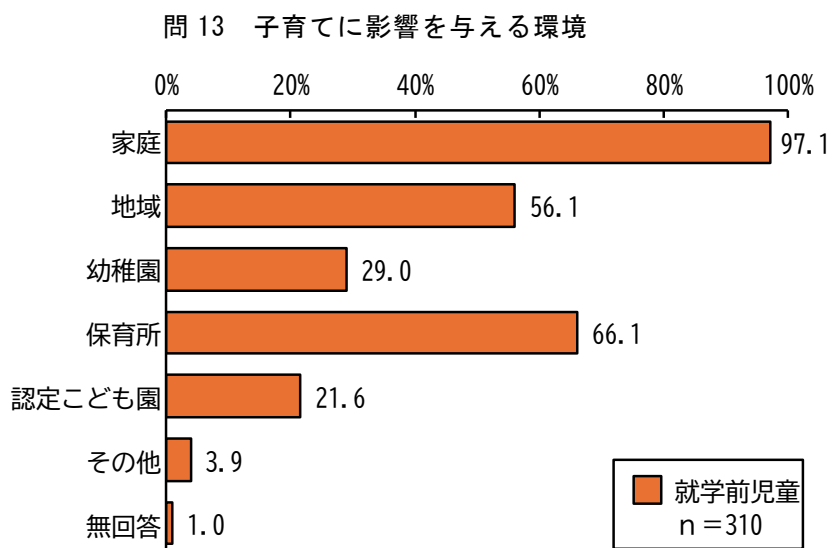
問 12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

日常的に子育てに関わっている方は「父母ともに」（80.0%）が最も多く、次いで「保育士」（36.8%）、「母親」（21.6%）となっています。



問 13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響を与えると思う環境は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

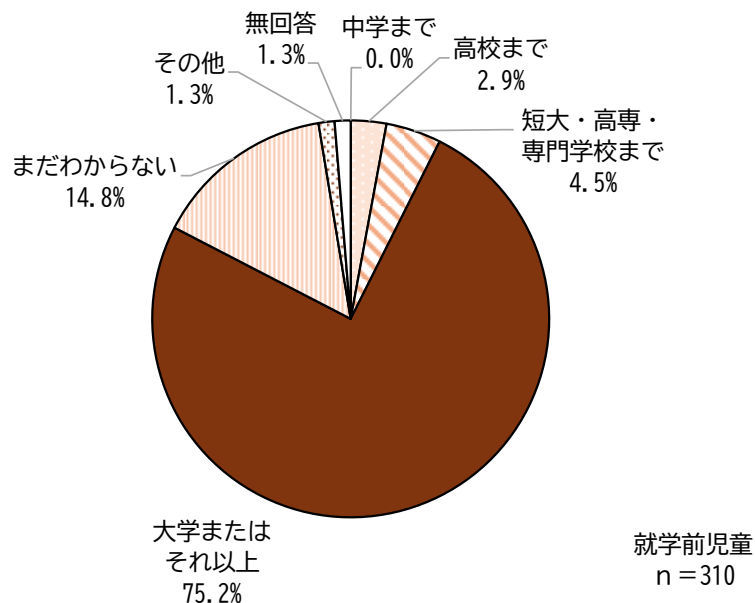
子育てに影響を与える環境は「家庭」（97.1%）が最も多く、次いで「保育所」（66.1%）、「地域」（56.1%）となっています。



問 14 宛名のお子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（あてはまるもの1つに○）

子どもに受けさせたい教育は「大学またはそれ以上」（75.2%）が最も多く、次いで「まだわからない」（14.8%）、「短大・高専・専門学校まで」（4.5%）となっています。

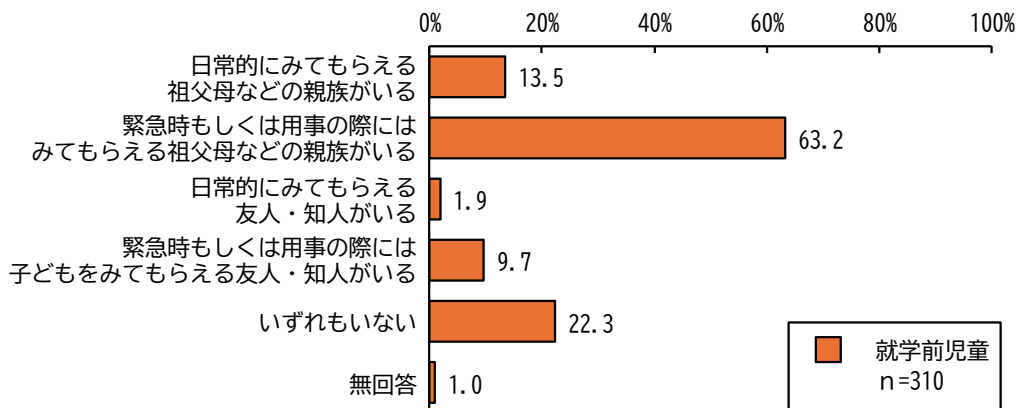
問 14 子どもに受けさせたい教育



問 15 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

主な親族等協力者については「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる祖父母などの親族がいる」（63.2%）が最も多く、次いで「いずれもない」（22.3%）、「日常的にみてもらえる祖父母などの親族がいる」（13.5%）となっています。

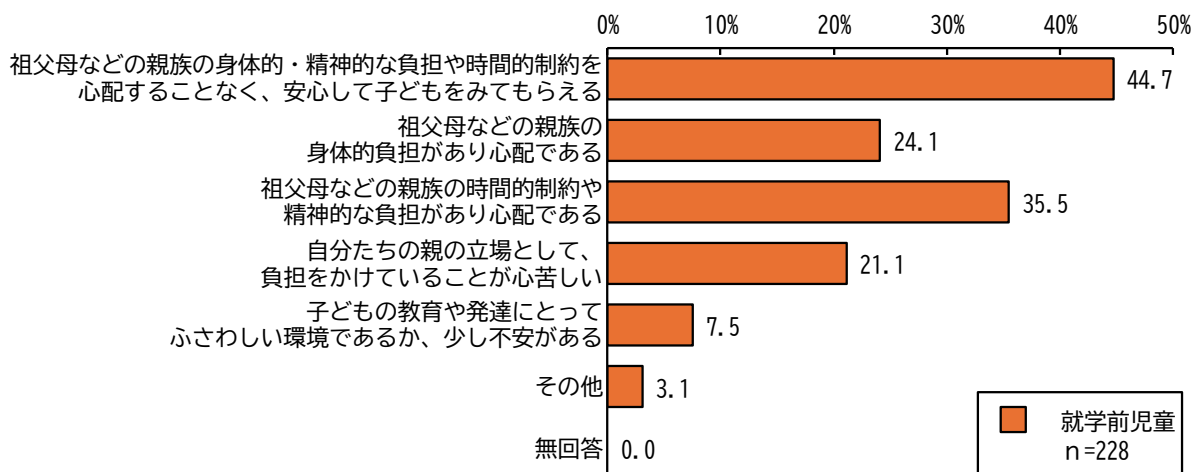
問 15 主な親族等協力者の状況



問 15- (1) 祖父母などの親族にみてもらう状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えについては「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(44.7%)が最も多く、次いで「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(35.5%)、「祖父母などの親族の身体的負担があり心配である」(24.1%)となっています。

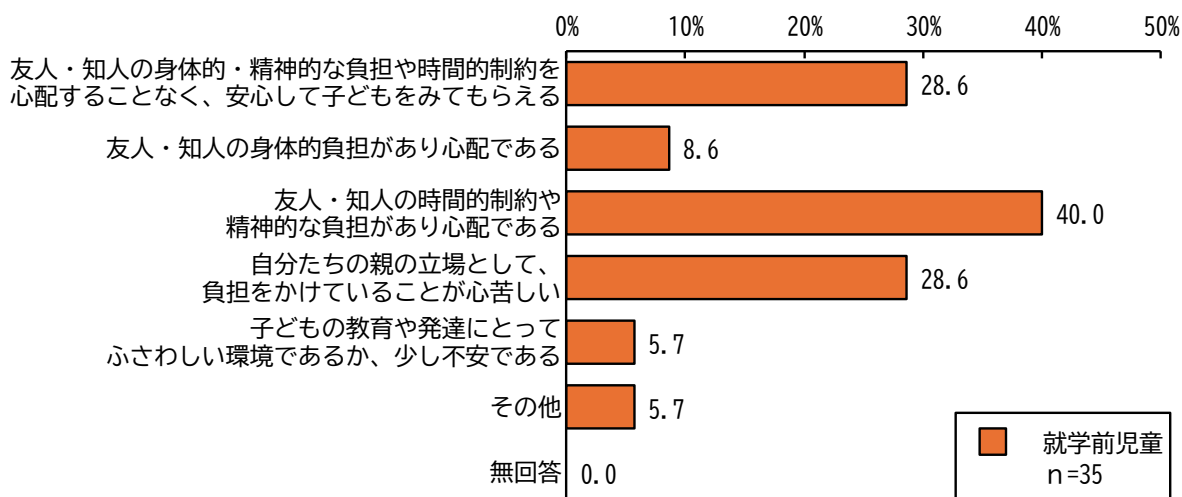
問 15- (1) 祖父母などの親族に子どもをみてもらうことへの考え



問 15- (2) 友人・知人にみてもらう状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に預かってもらうことについては「友人・知人の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(40.0%)が最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(各28.6%)、「友人・知人の身体的負担があり心配である」(8.6%)となっています。

問 15- (2) 友人・知人に預かってもらうことへの考え

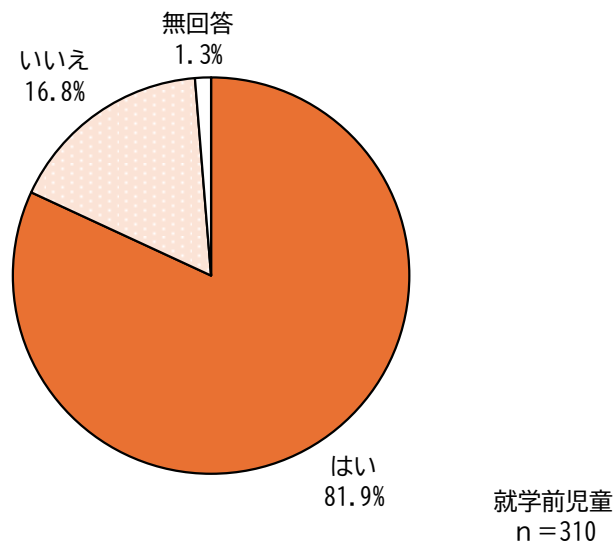


## (2) 子育てに関する相談者の状況について

問 16 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（または場所）はありますか。（あてはまるもの1つに○）

気軽に相談できる人の有無は「はい」（81.9%）、「いいえ」（16.8%）となっています。

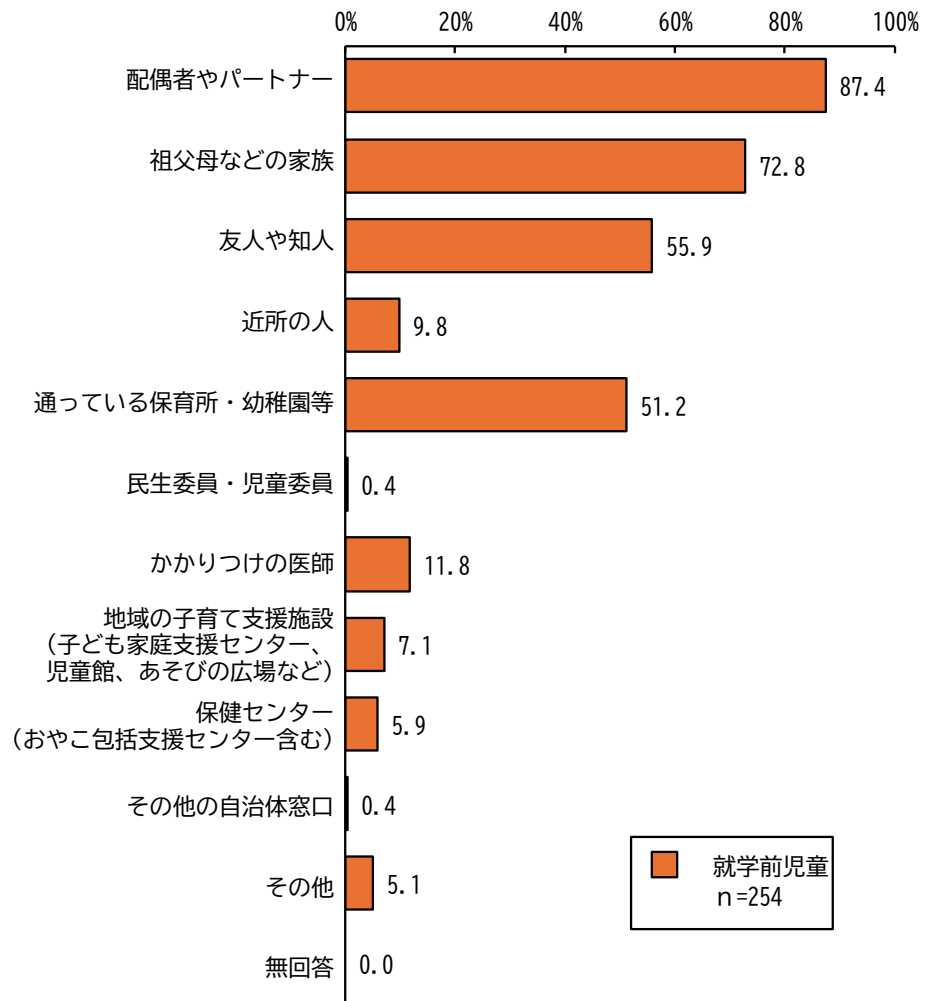
問 16 気軽に相談できる人の有無



問 16- (1) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる先については「配偶者やパートナー」（87.4%）が最も多く、次いで「祖父母などの家族」（72.8%）、「友人や知人」（55.9%）となっています。

問 16- (1) 気軽にできる相談者の状況



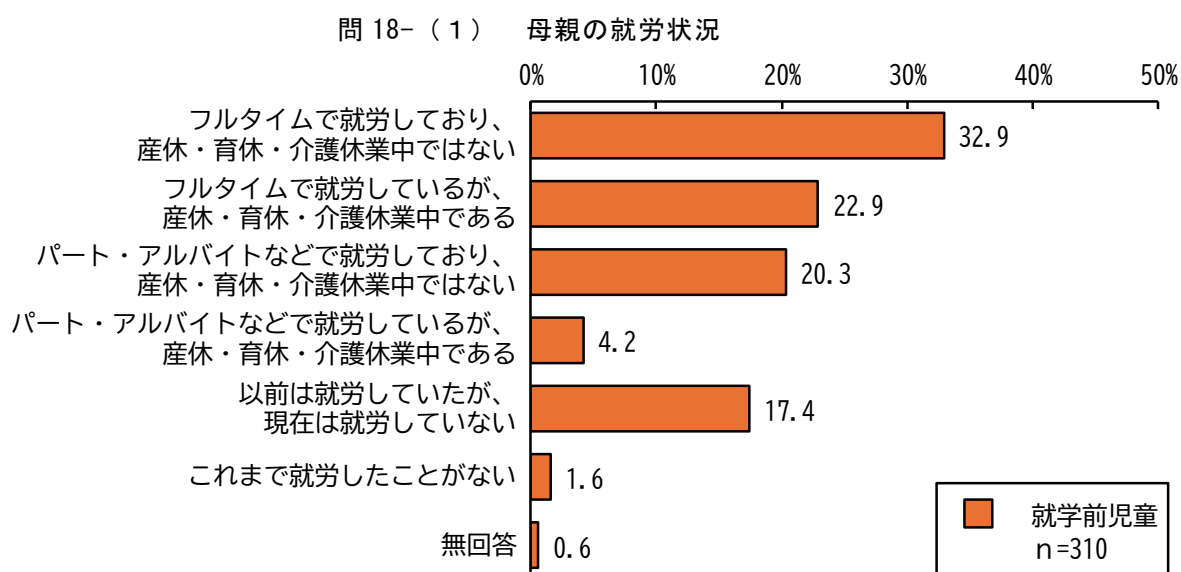


### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

問 18 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○) ※父子家庭の場合は回答不要です。(1) 就労状況

母親の就労状況については「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(32.9%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(22.9%)、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(20.3%)となっています。

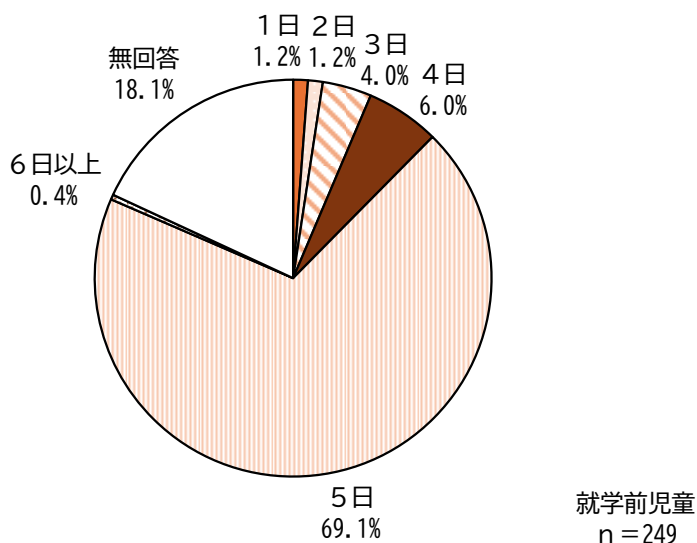


問 18- (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

母親の1週当たりの就労日数は「5日」(69.1%)が最も多く、次いで「4日」(6.0%)、「3日」(4.0%)となっています。

問 18- (1) -1 母親の就労日数

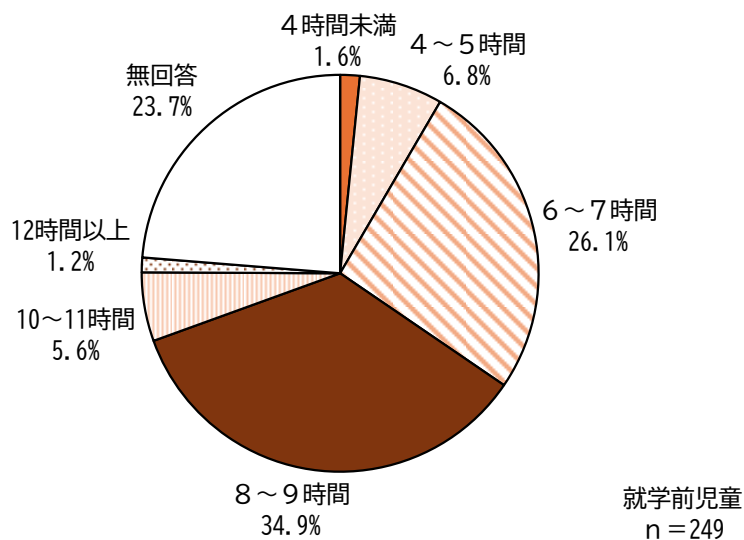
A. 母親の就労日数（1週当たり）



問 18- (1) -1 B. 1日当たりの就労時間（残業含む）

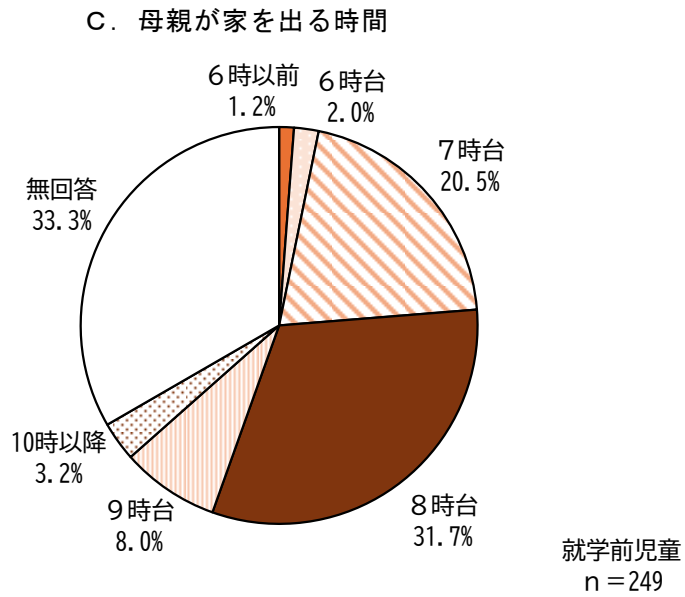
母親の1日当たりの就労時間（残業含む）は「8～9時間」(34.9%)が最も多く、次いで「6～7時間」(26.1%)、「4～5時間」(6.8%)となっています。

B. 母親の就労時間（1日当たり）



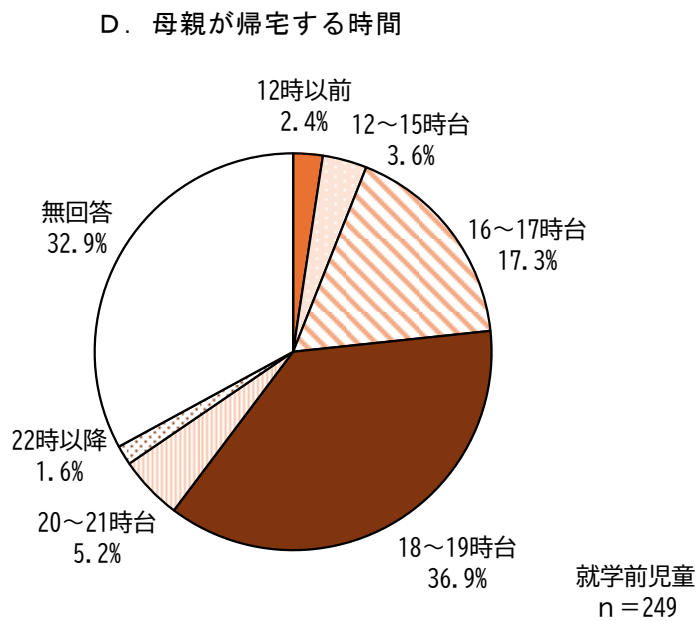
問 18- (1) -1 C. 家を出る時間

母親が家を出る時間は「8時台」(31.7%)が最も多く、次いで「7時台」(20.5%)、「9時台」(8.0%)となっています。



問 18- (1) -1 D. 帰宅時間

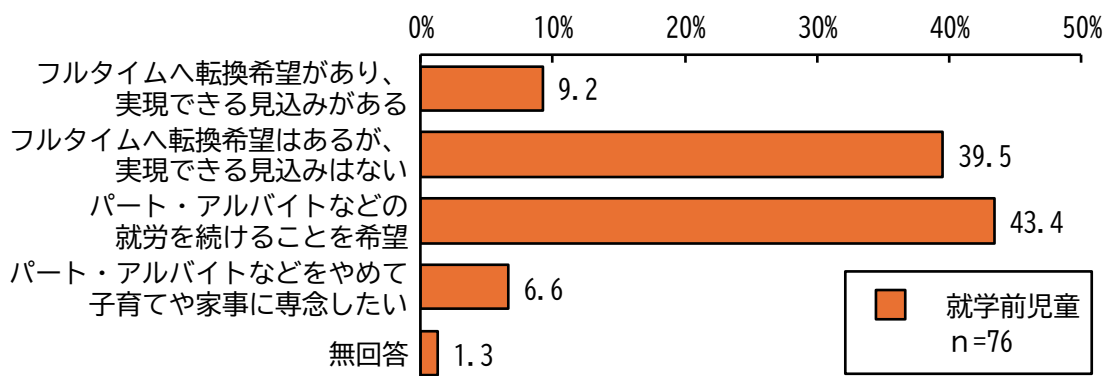
母親が帰宅する時間は「18～19時台」(36.9%)が最も多く、次いで「16～17時台」(17.3%)、「20～21時台」(5.2%)となっています。



問 18- (1) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(43.4%)が最も多く、次いで「フルタイムへ転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(39.5%)、「フルタイムへ転換希望があり、実現できる見込みがある」(9.2%)となっています。

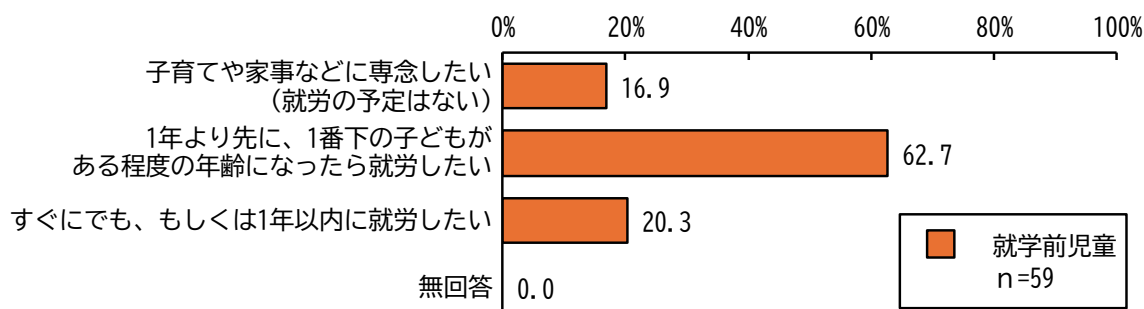
問 18- (1) -2 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



問 18- (1) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

就労していない母親の今後の就労希望は「1年より先に、1番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」(62.7%)が最も多く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(20.3%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(16.9%)となっています。

問 18- (1) -3 就労していない母親の今後の就労希望



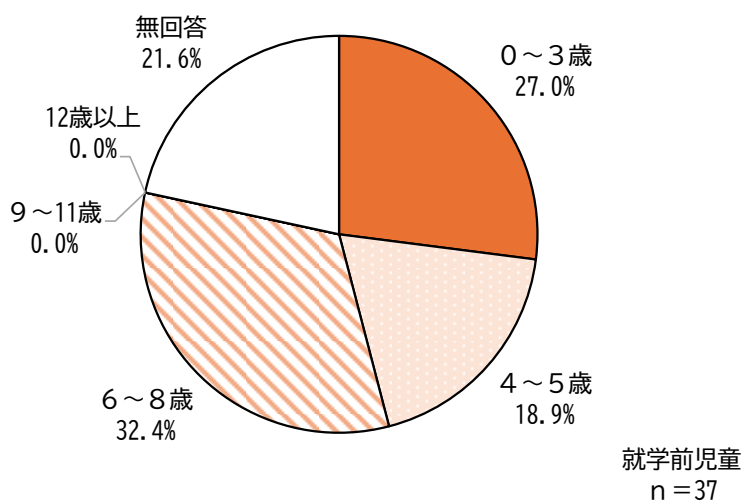
問 18- (1) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。

母親の就労希望時の末子の年齢は「6～8歳」(32.4%)が最も多く、次いで「0～3歳」(27.0%)、「4～5歳」(18.9%)となっています。

問 18- (1) -3 母親の今後の就労希望

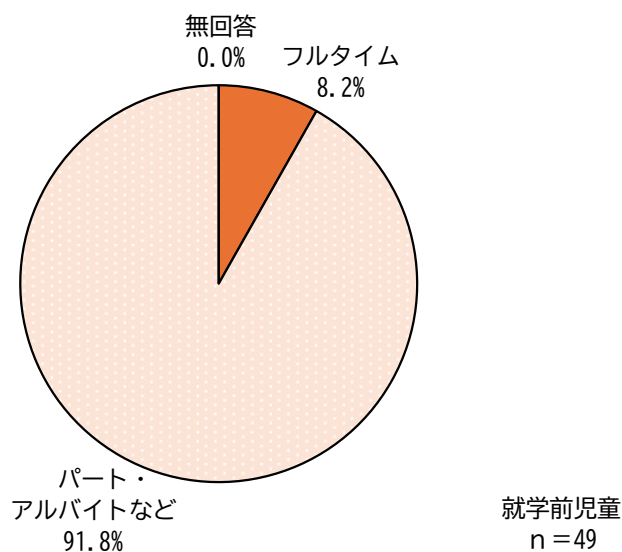
A. 就労希望時の末子の年齢



問 18- (1) -3 B. 希望する就労形態を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

母親の希望する就労形態については「パート・アルバイトなど」(91.8%)、「フルタイム」(8.2%)となっています。

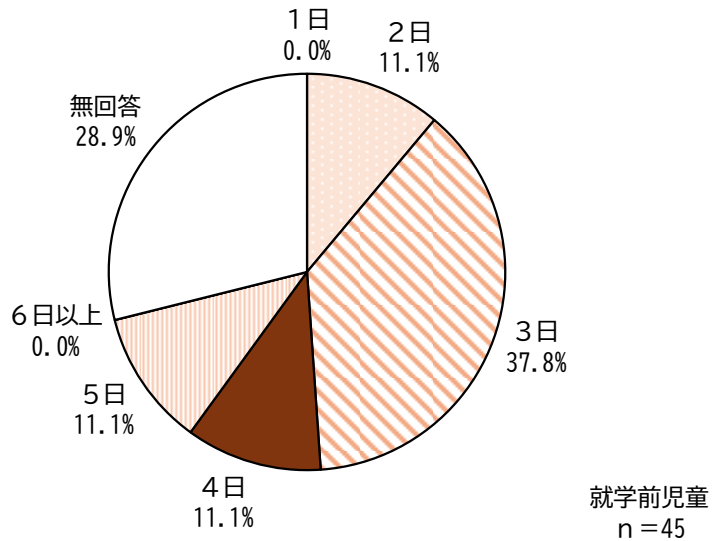
B. 希望する就労形態



問 18- (1) -3 C. 希望する1週当たりの就労日数

母親の希望する1週当たりの就労日数は「3日」(37.8%)が最も多く、次いで「2日」「4日」「5日」(各 11.1%)となっています。

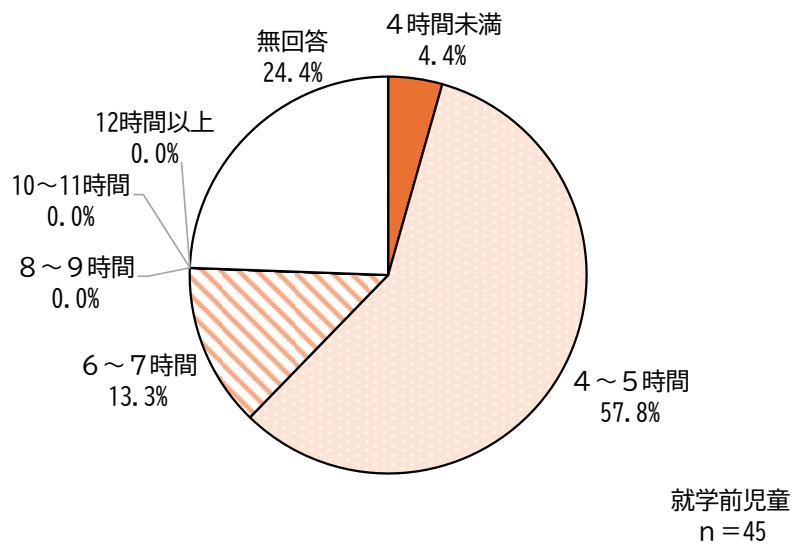
C. 母親の希望就労日数 (1週当たり)



問 18- (1) -3 D. 希望する1日当たりの就労時間

母親の希望する1日当たりの就労時間は「4～5時間」(57.8%)が最も多く、次いで「6～7時間」(13.3%)、「4時間未満」(4.4%)となっています。

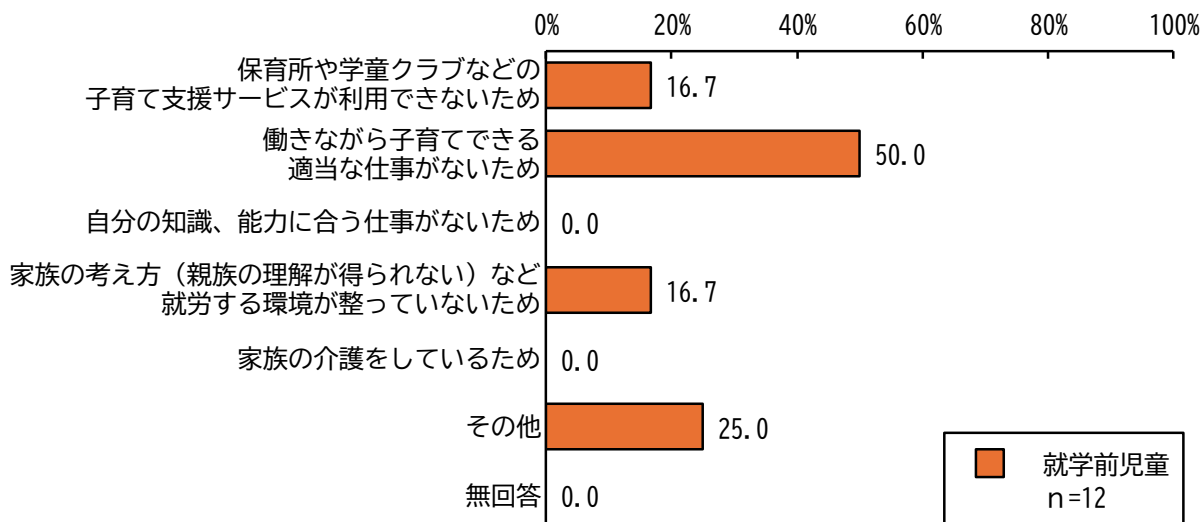
D. 母親の希望就労時間 (1日当たり)



問 18- (1) - 4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

就労希望がありながら働いていない理由は「働きながら子育てできる適当な仕事がないため」(50.0%)が最も多く、次いで「保育所や学童クラブなどの子育て支援サービスが利用できないため」「家族の考え方(親族の理解が得られない)など就労する環境が整っていないため」(各 16.7%)となっています。

問 18- (1) - 4 就労を希望する母親の働いていない理由

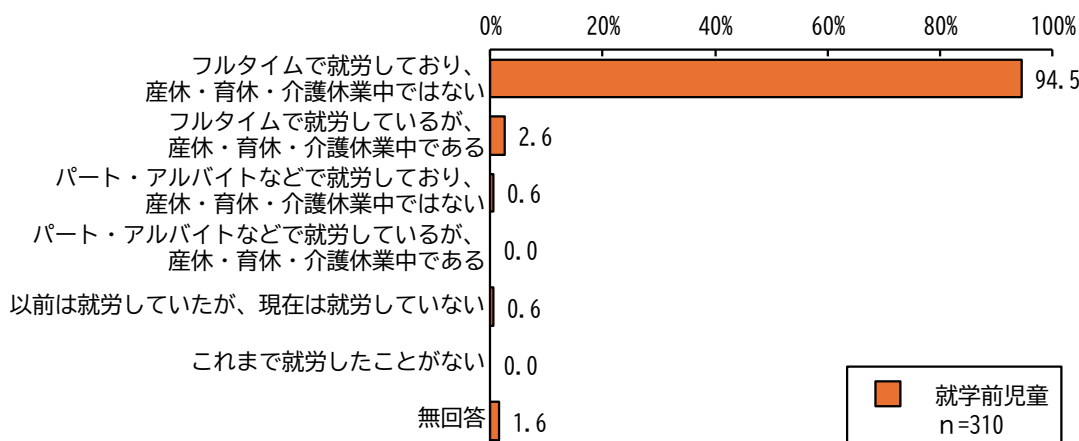


## (2) 父親の就労状況

問 19 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○) ※母子家庭の場合は回答不要です。(2) 就労状況

父親の就労状況については「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(94.5%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(2.6%)、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(0.6%)、「パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(0.0%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(各 0.6%)となっています。

問 19- (2) 父親の就労状況

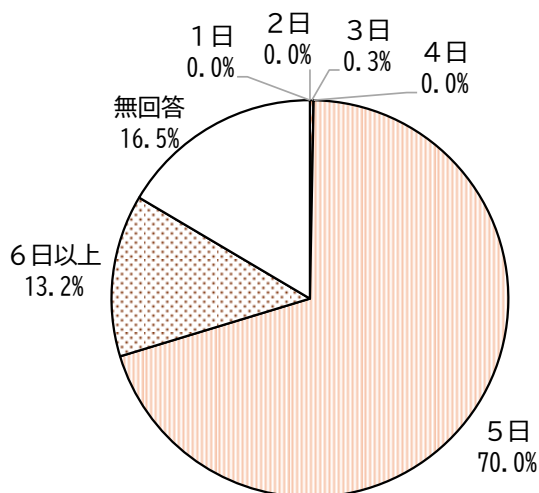


問 19- (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

父親の1週当たりの就労日数は「5日」（70.0%）が最も多く、次いで「6日以上」（13.2%）、「3日」（0.3%）となっています。

問 19- (2) -1 父親の就労日数（1週当たり）

A. 父親の就労日数（1週当たり）

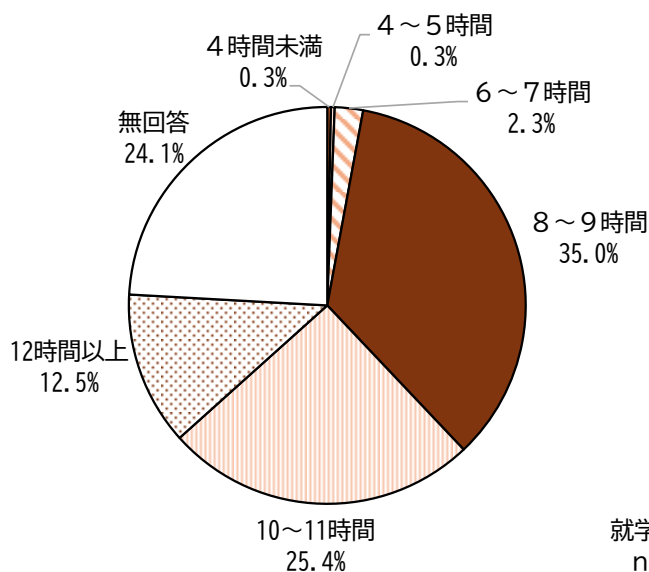


就学前児童  
n = 303

問 19- (2) -1 B. 1日当たり就労時間（残業含む）

父親の1日当たりの就労時間（残業含む）は「8～9時間」（35.0%）が最も多く、次いで「10～11時間」（25.4%）、「12時間以上」（12.5%）となっています。

B. 父親の就労時間（1日当たり）

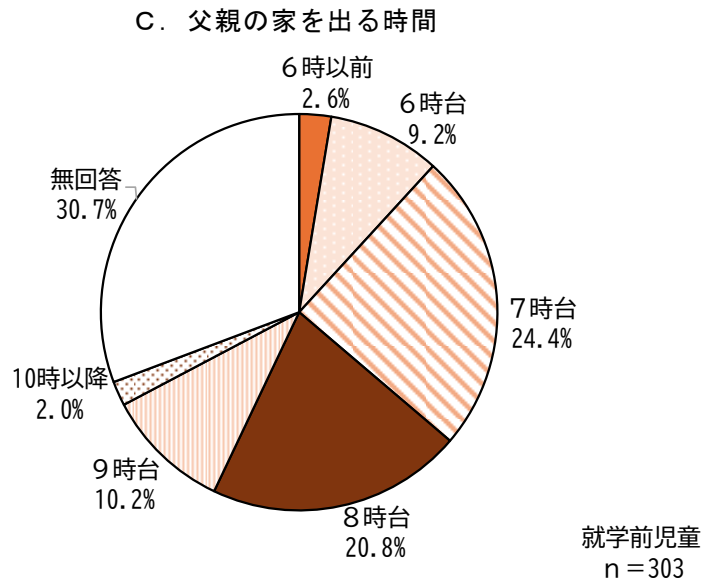


就学前児童  
n = 303



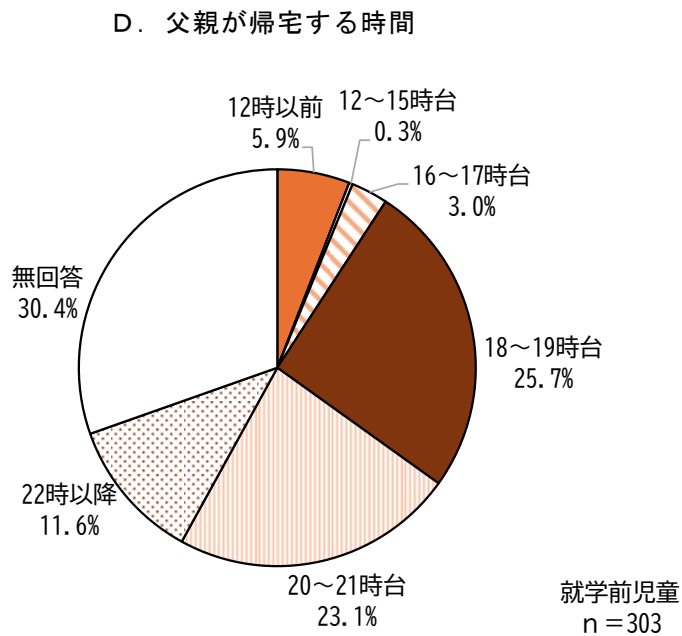
問 19- (2) -1 C. 家を出る時間

父親が家を出る時間は「7時台」(24.4%)が最も多く、次いで「8時台」(20.8%)、「9時台」(10.2%)となっています。



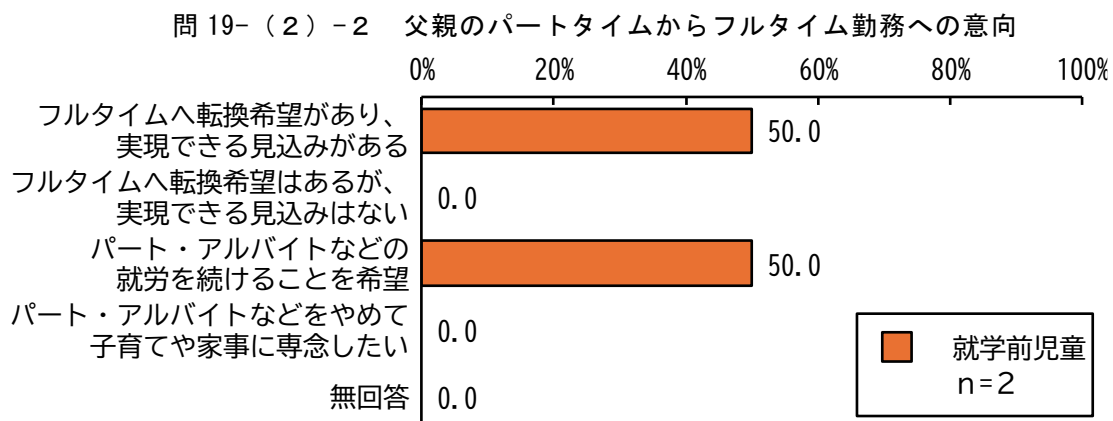
問 19- (2) -1 D. 帰宅時間

父親が帰宅する時間は「18～19時台」(25.7%)が最も多く、次いで「20～21時台」(23.1%)、「22時以降」(11.6%)となっています。



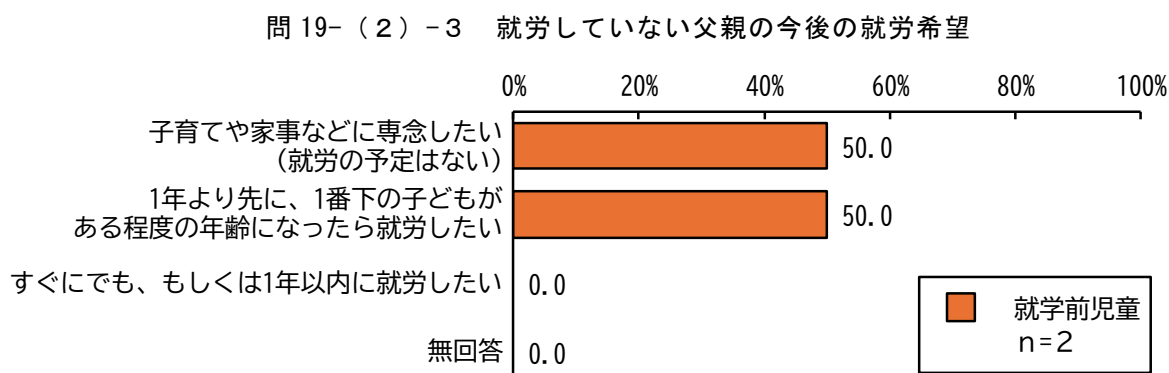
問 19- (2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「フルタイムへ転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(各 50.0%) となっています。



問 19- (2) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

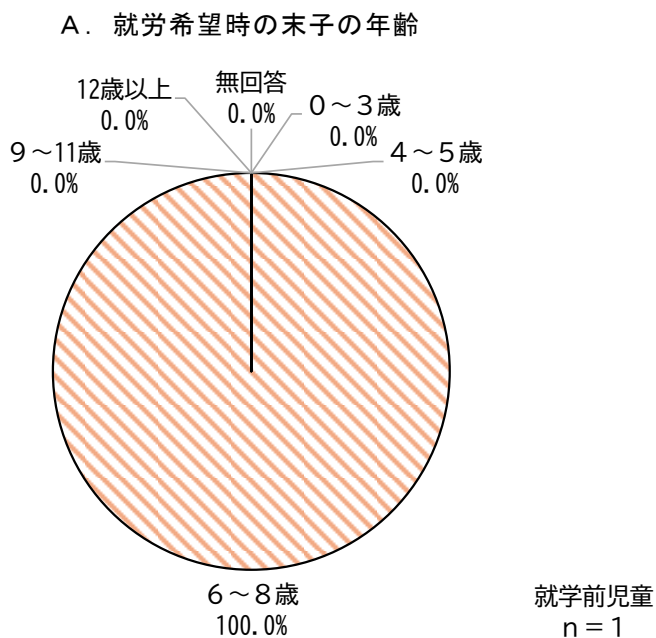
回答者が少ないため参考として掲載しますが、就労していない父親の今後の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「1年より先に、1番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」(各 50.0%) となっています。



問 19- (2) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。

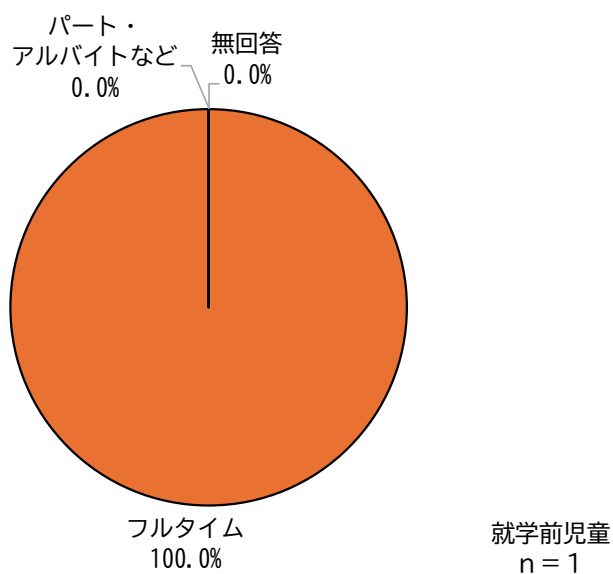
回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親の就労希望時の末子の年齢は「6～8歳」(100.0%)となっています。



問 19- (2) -3 B. 希望する就労形態を教えてください。

回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親の希望する1週当たりの就労日数は「フルタイム」(100.0%)となっています。

B. 父親の希望就労日数 (1週当たり)



問 19- (2) -3 「C. 希望する一週あたりの就労日数」、「D. 希望する一日当りの就労時間」及び問 19- (2) -4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。

回答者がいないため省略。

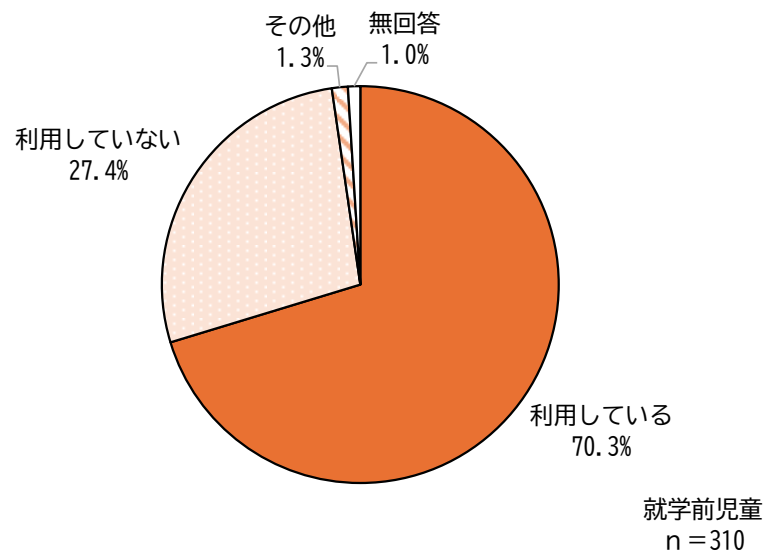
#### 4 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望について

##### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

問 20 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

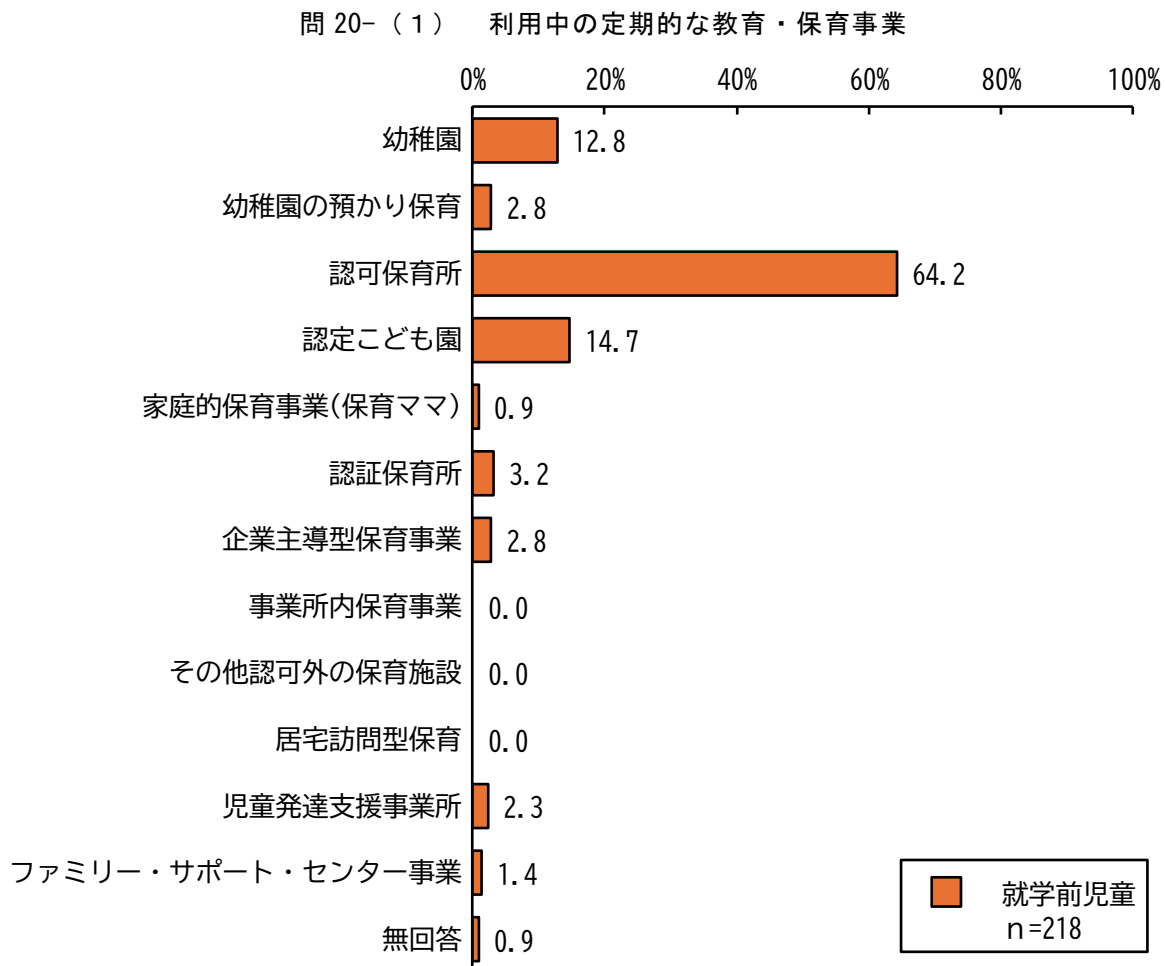
定期的な教育・保育事業の利用状況は「利用している」(70.3%)、「利用していない」(27.4%)となっています。

問 20 定期的な教育・保育事業の利用状況



問 20- (1) 宛名のお子さんは平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。  
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

利用中の定期的な教育・保育事業は「認可保育所」(64.2%)が最も多く、次いで「認定こども園」(14.7%)、「幼稚園」(12.8%)となっています。



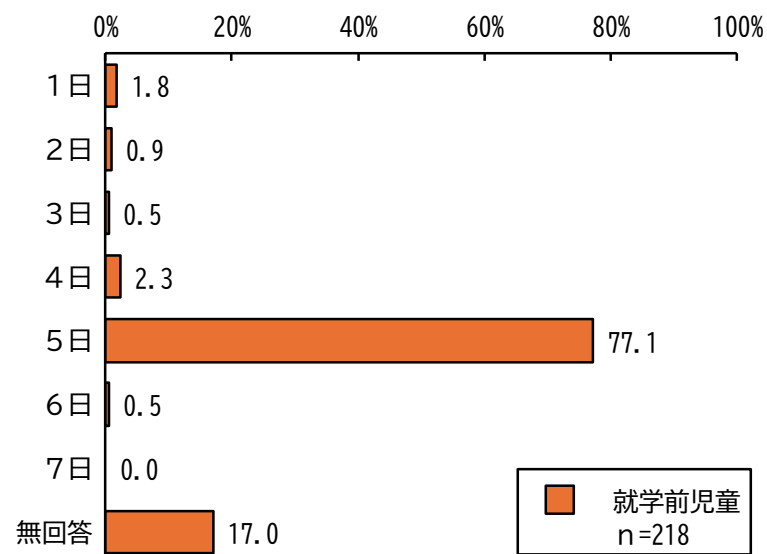
問 20- (2) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいと思いますか。  
※時間は8時～18時のように24時間制でお答えください。

A. 1週当たりの利用日数（現在）

定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数は「5日」（77.1%）が最も多く、次いで「4日」（2.3%）、「1日」（1.8%）となっています。

問 20- (2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

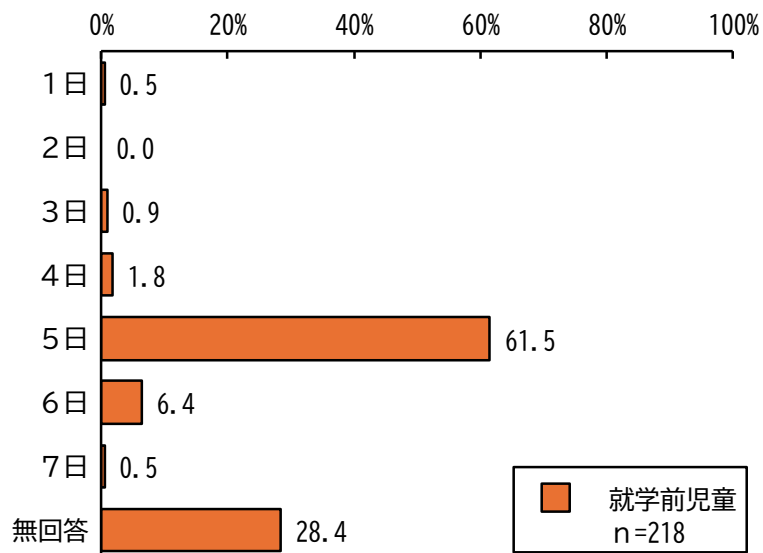
A. 1週当たりの利用日数（現在）



問 20- (2) B. 1 週当たりの利用日数 (希望)

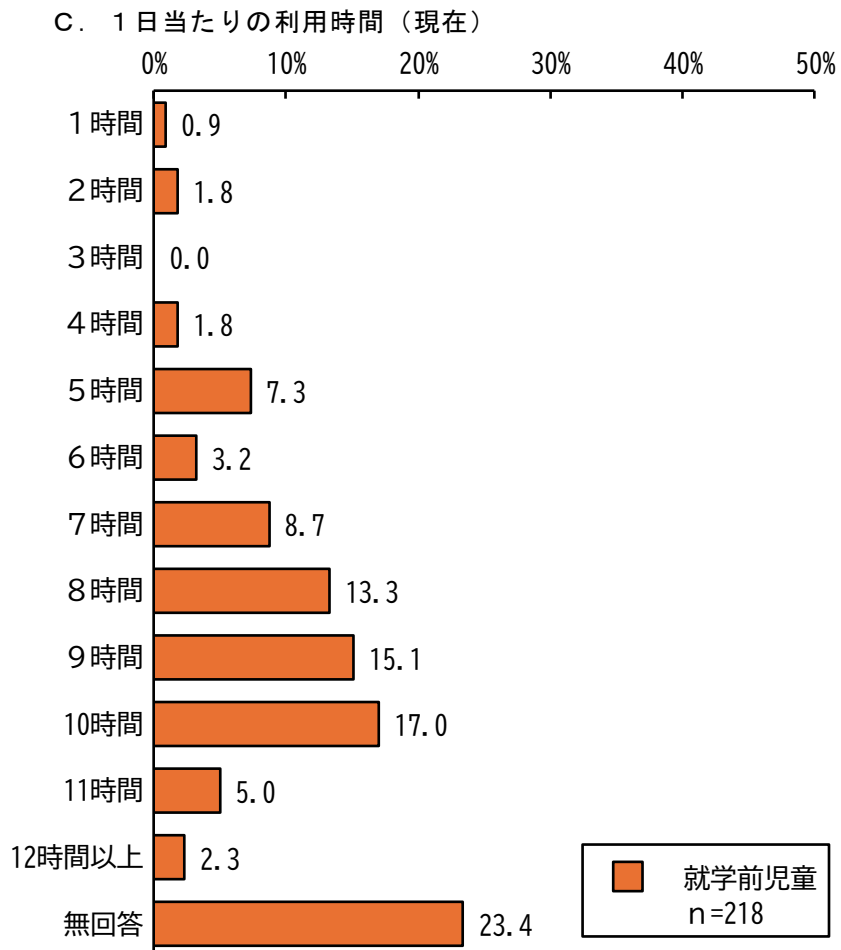
定期的な教育・保育事業の希望する1週当たりの利用日数は「5日」(61.5%)が最も多く、次いで「6日」(6.4%)、「4日」(1.8%)となっています。

B. 1 週当たりの利用日数 (希望)



問 20- (2) C. 1日当たりの利用時間 (現在)

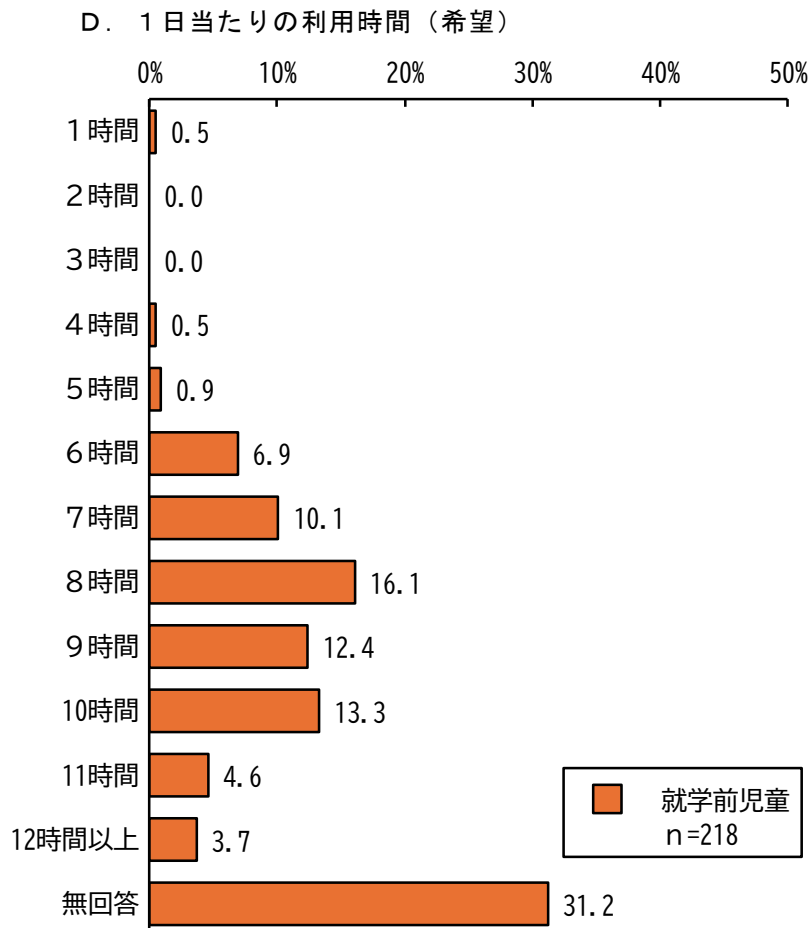
定期的な教育・保育事業の1日当たりの利用時間は「10時間」(17.0%)が最も多く、次いで「9時間」(15.1%)、「8時間」(13.3%)となっています。





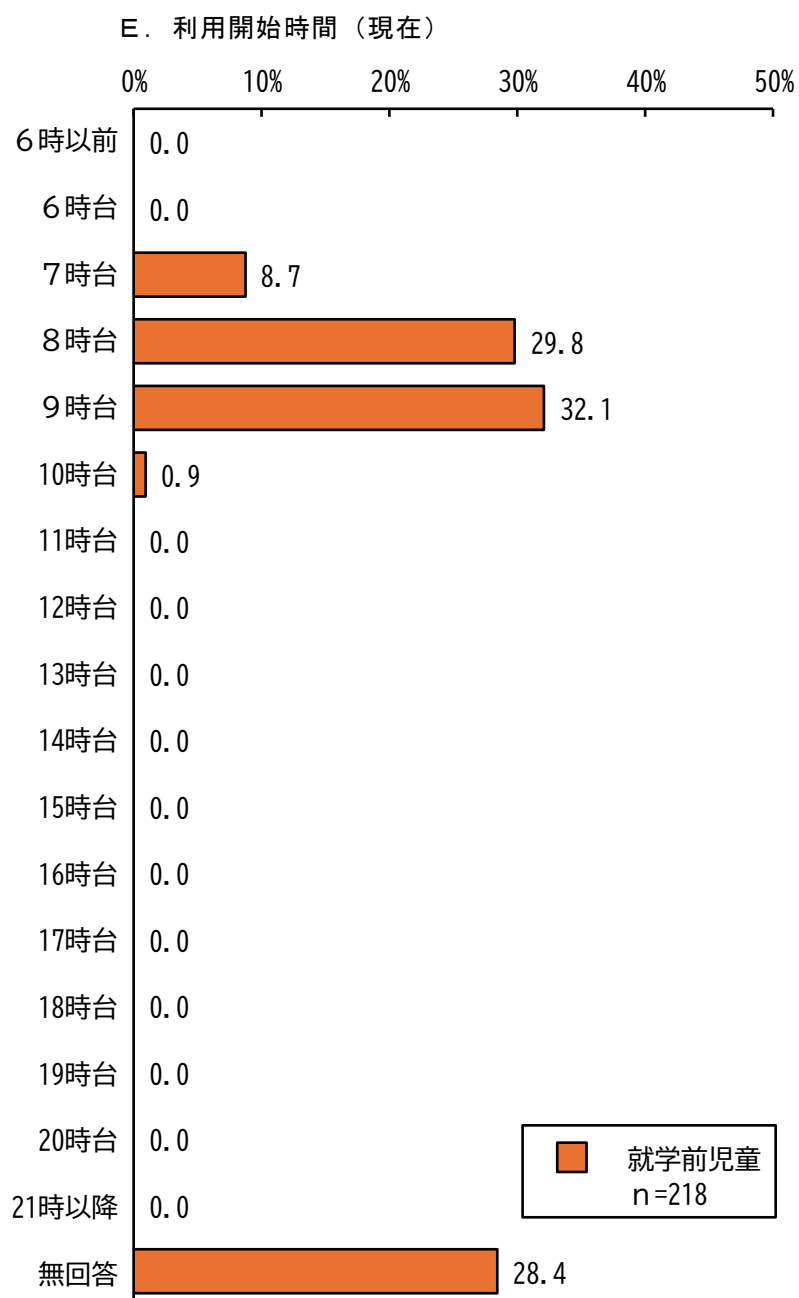
問 20- (2) D. 1日当たりの利用時間 (希望)

定期的な教育・保育事業の希望する1日当たりの利用時間は「8時間」(16.1%)が最も多く、次いで「10時間」(13.3%)、「9時間」(12.4%)となっています。



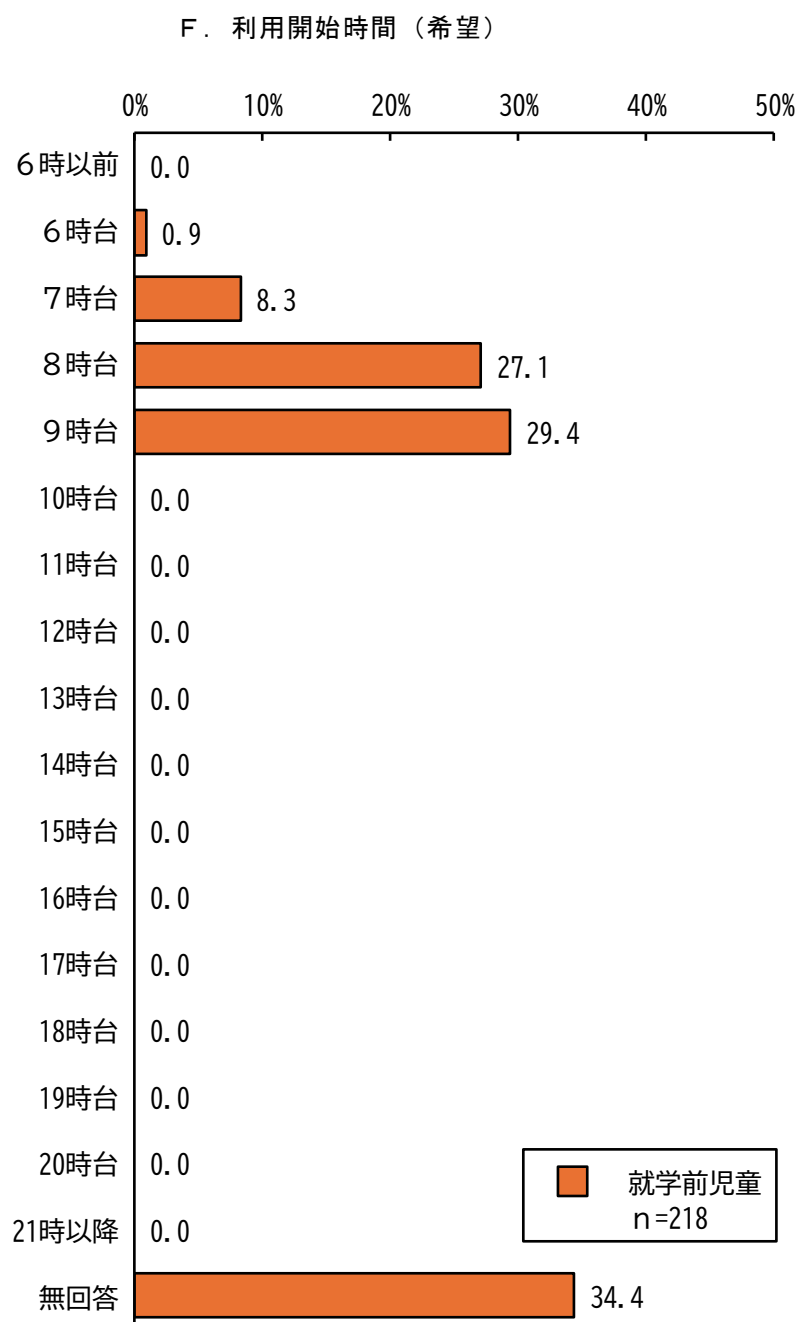
問 20- (2) E. 利用開始時間 (現在)

定期的な教育・保育事業の利用開始時間は「9時台」(32.1%)が最も多く、次いで「8時台」(29.8%)、「7時台」(8.7%)となっています。



問 20- (2) F. 利用開始時間 (希望)

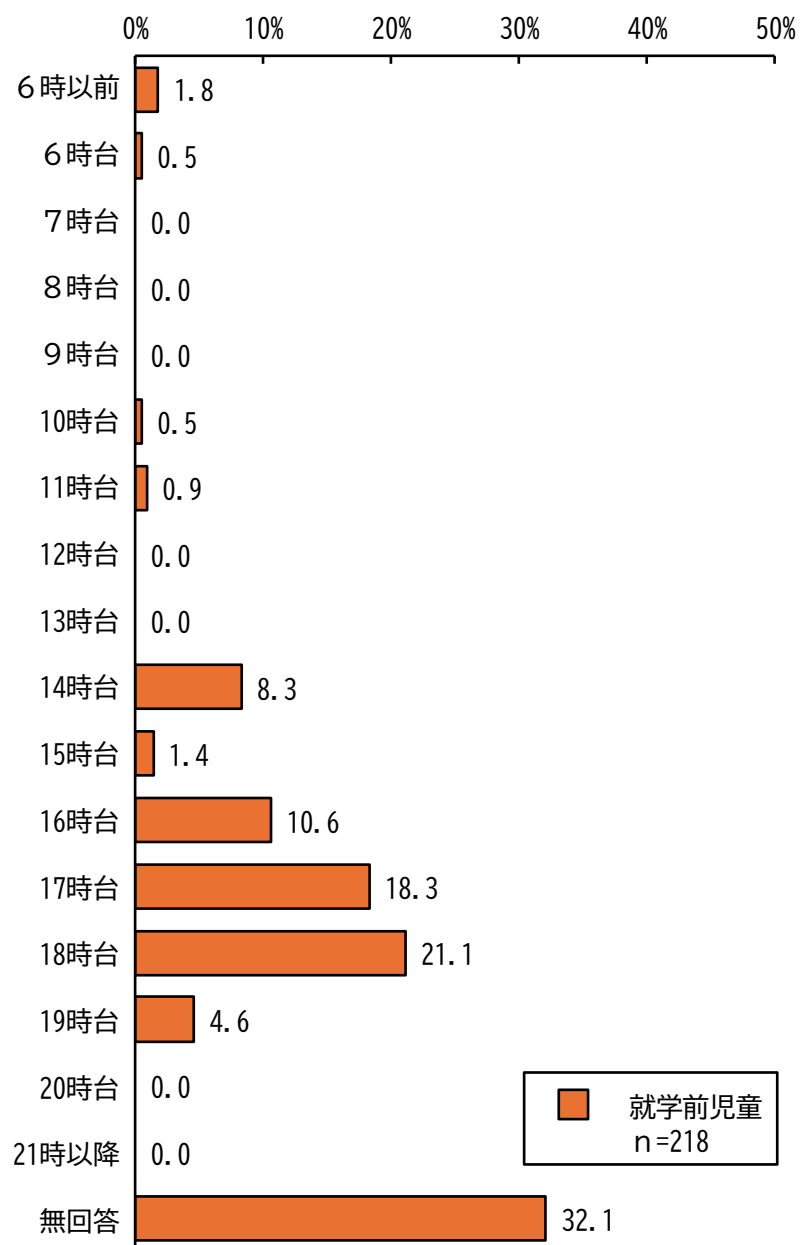
定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間は「9時台」(29.4%)が最も多く、次いで「8時台」(27.1%)、「7時台」(8.3%)となっています。



問 20- (2) G. 利用終了時間 (現在)

定期的な教育・保育事業の利用終了時間は「18時台」(21.1%)が最も多く、次いで「17時台」(18.3%)、「16時台」(10.6%)となっています。

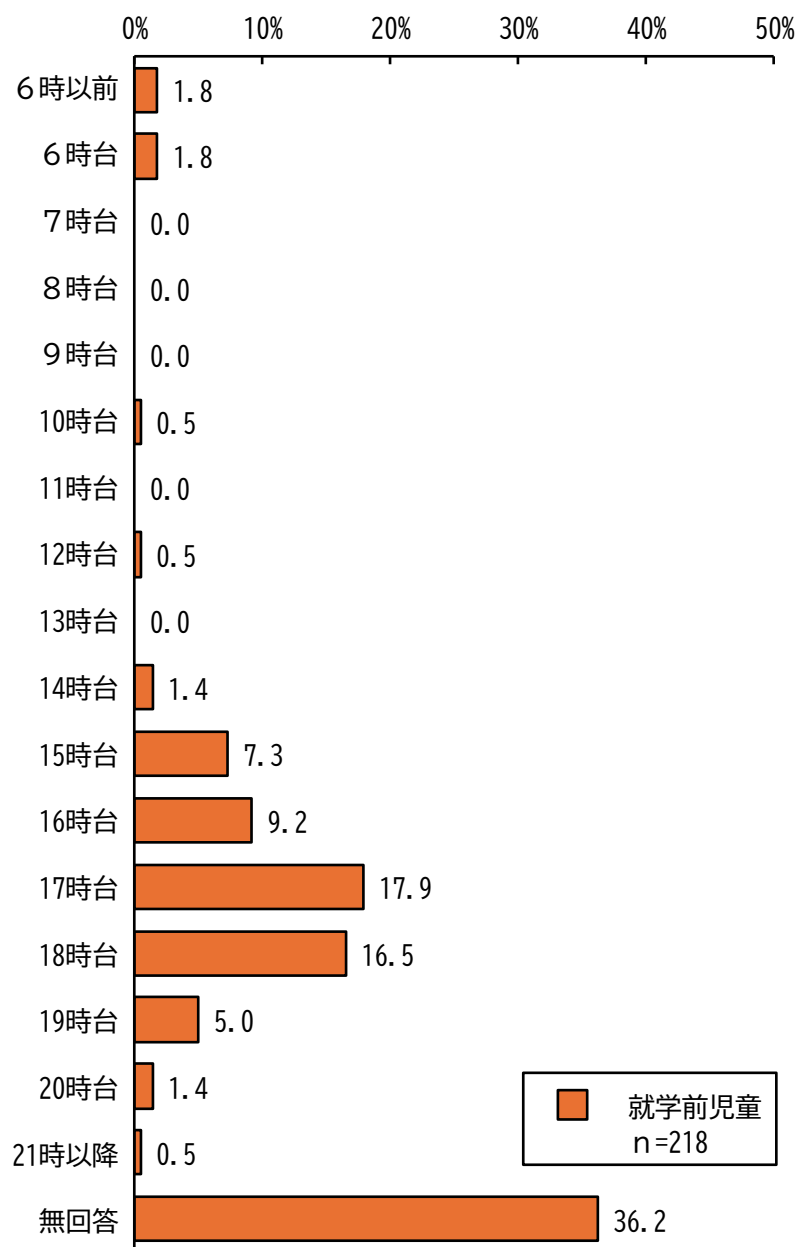
G. 利用終了時間 (現在)



問 20- (2) H. 利用終了時間 (希望)

定期的な教育・保育事業の希望する利用終了時間は「17 時台」(17.9%) が最も多く、次いで「18 時台」(16.5%)、「16 時台」(9.2%) となっています。

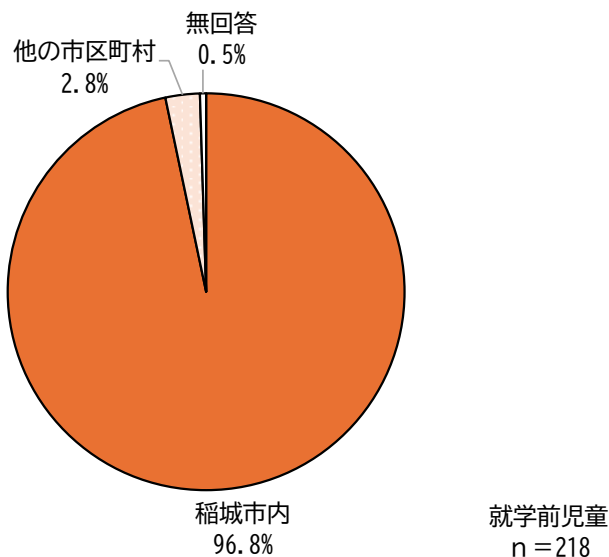
H. 利用終了時間 (希望)



問 20- (3) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

教育・保育事業の実施場所は「稲城市内」(96.8%)、「他の市町村」(2.8%)となっています。

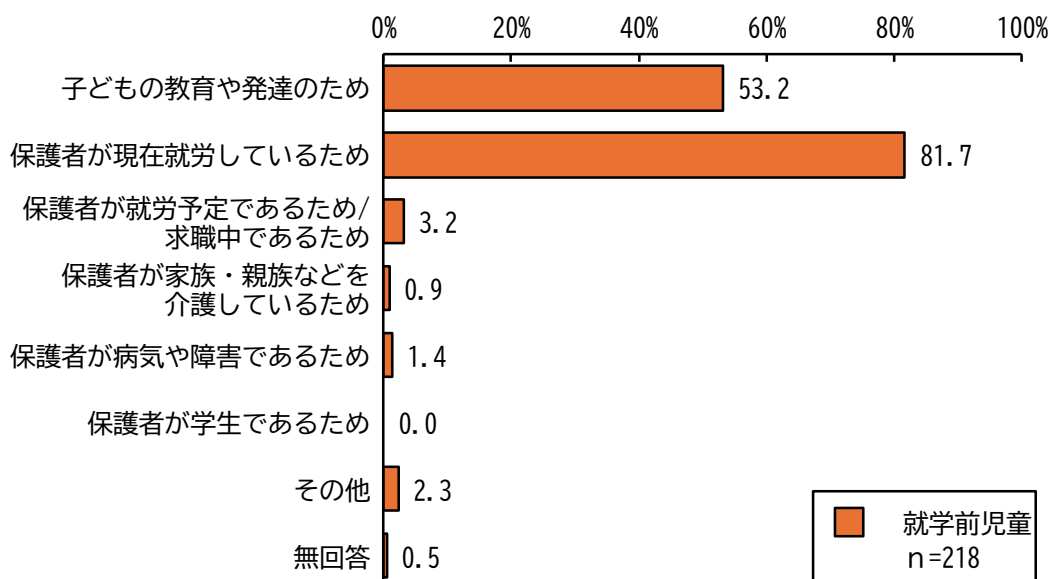
問 20- (3) 教育・保育事業の実施場所



問 20- (4) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

定期的な教育・保育事業を利用している理由は「保護者が現在就労しているため」(81.7%)が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」(53.2%)、「保護者が就労予定であるため/求職中であるため」(3.2%)となっています。

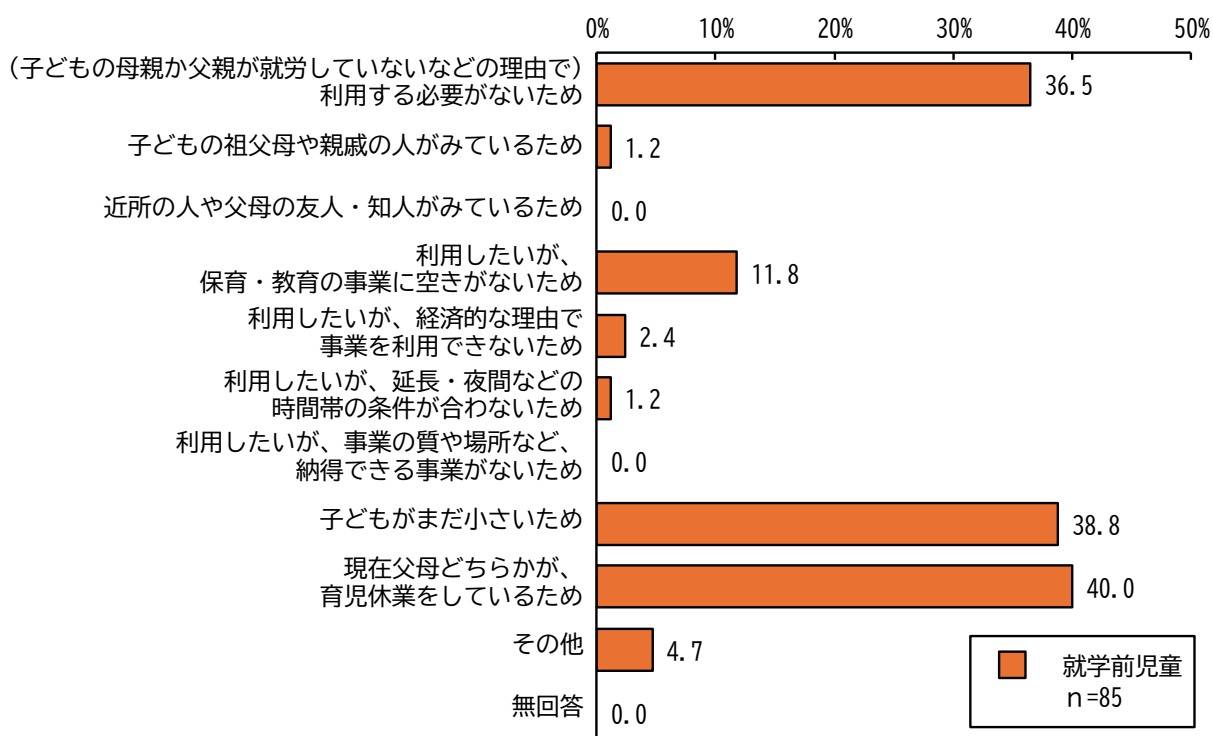
問 20- (4) 定期的な教育・保育事業を利用している理由



問 20-（5） 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は「現在父母どちらかが、育児休業をしているため」（40.0%）が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」（38.8%）、「（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないため」（36.5%）となっています。

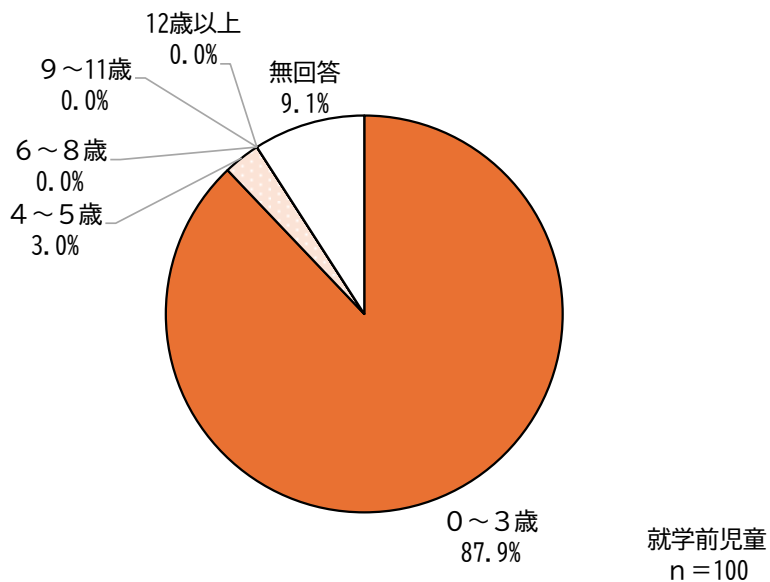
問 20-（5） 定期的な教育・保育事業を利用していない理由



問 20- (5) -1 子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。

利用を希望する子どもの年齢は「0～3歳」(87.9%)が最も多く、次いで「4～5歳」(3.0%)となっています。

問 20- (5) -1 利用を希望する子どもの年齢

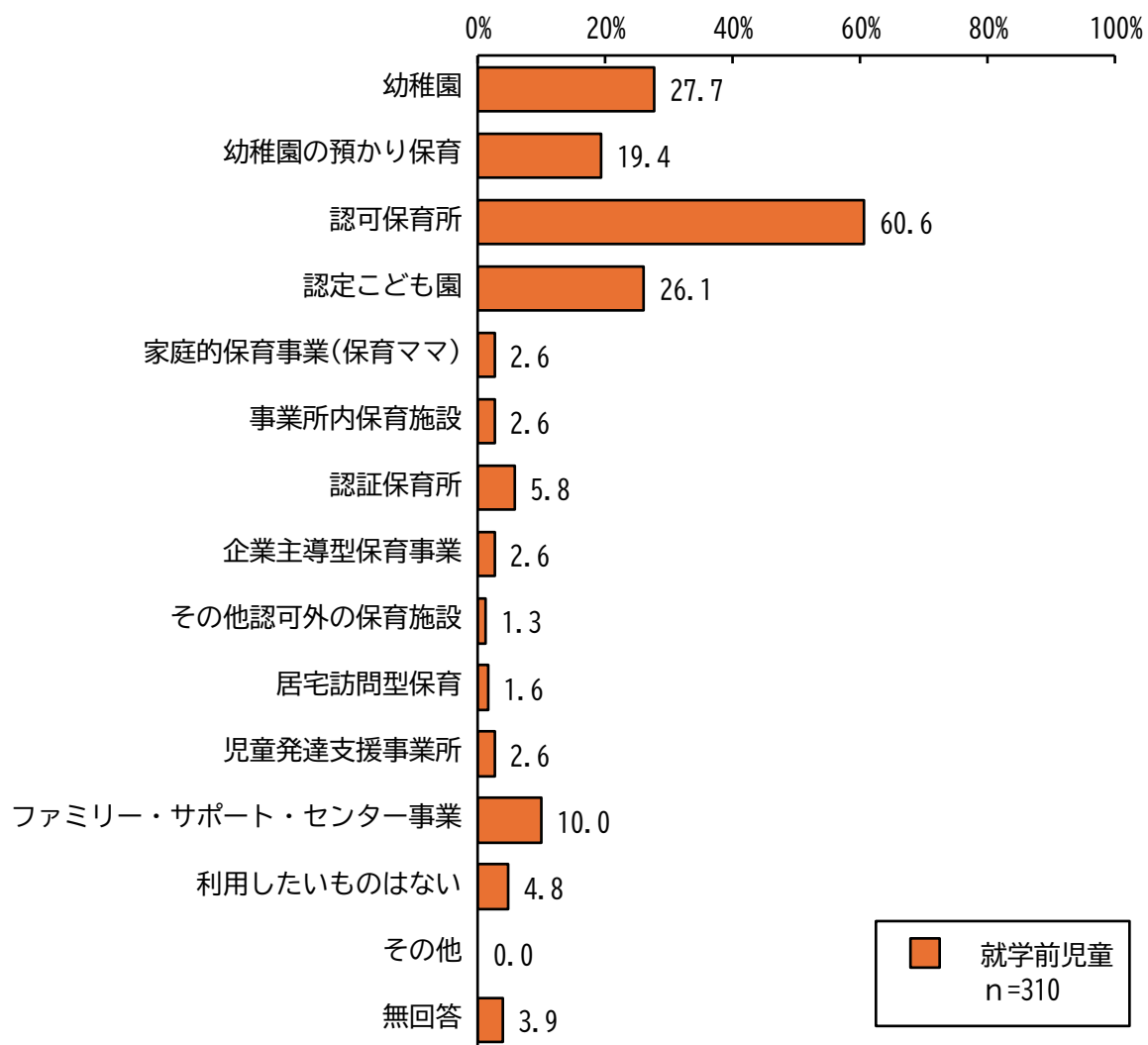




問 21 現在の利用有無にかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと思う事業はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

希望する定期的な教育・保育事業は「認可保育所」(60.6%)が最も多く、次いで「幼稚園」(27.7%)、「認定こども園」(26.1%)となっています。

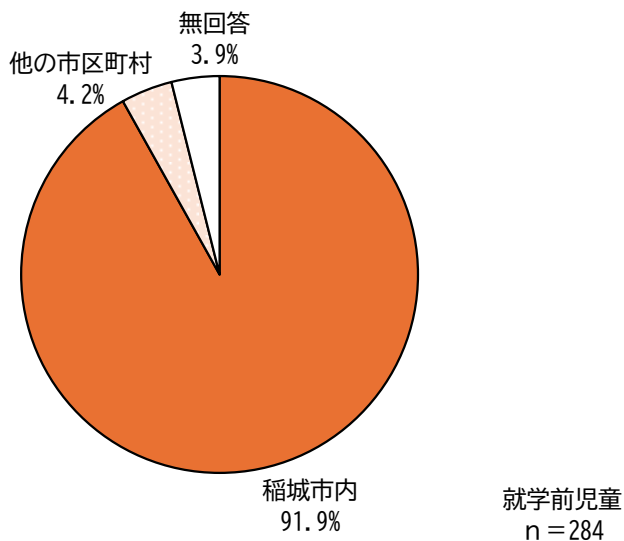
問 21 希望する定期的な教育・保育事業



問 21- (1) 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

教育・保育事業の希望実施場所については「稲城市内」(91.9%)、「他の市町村」(4.2%)となっています。

問 21- (1) 教育・保育の希望実施場所

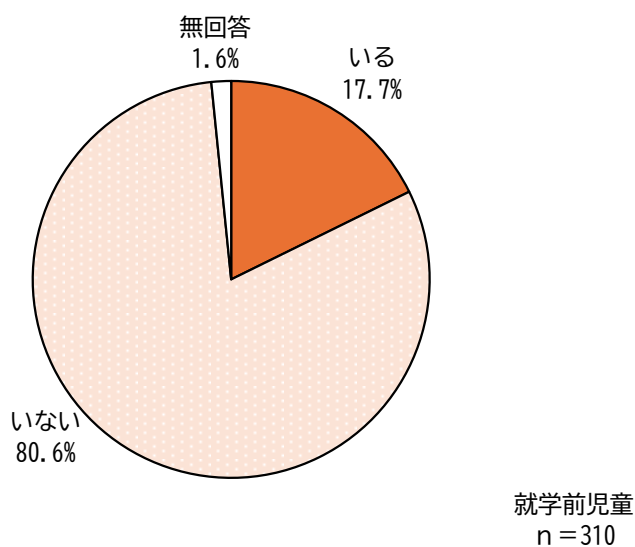


## (2) 幼稚園

問 22 ご家庭の中に(宛名のお子さんを含む)幼稚園に通われているお子さんがいますか。(あてはまるもの1つに○)

幼稚園に通っている子どもの有無は「いない」(80.6%)、「いる」(17.7%)となっています。

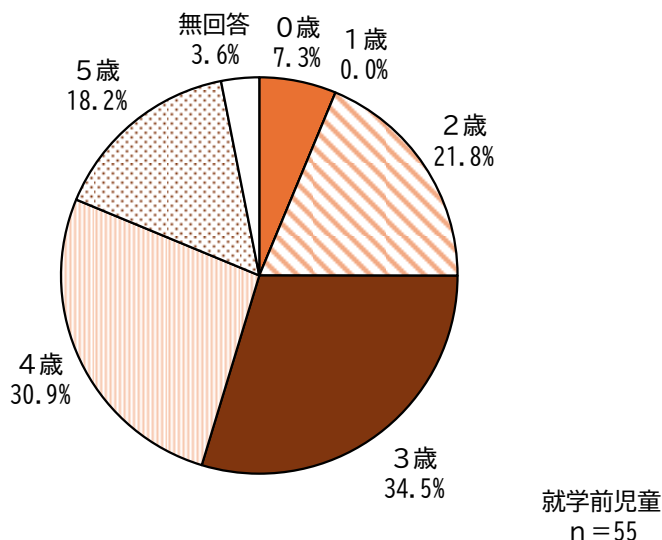
問 22 幼稚園に通っている子どもの有無



問 23 幼稚園に在園しているお子さんの年齢を教えてください。

幼稚園に在園している子どもの年齢は「3歳」(34.5%)が最も多く、次いで「4歳」(30.9%)、「2歳」(21.8%)となっています。

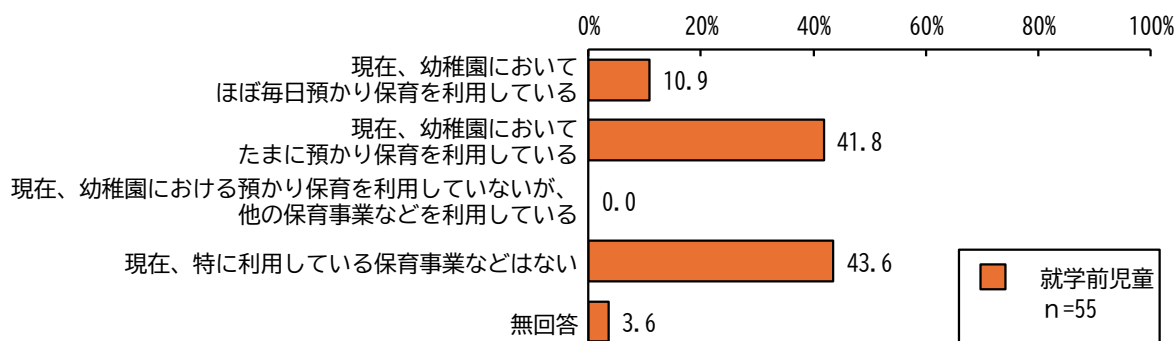
問 23 幼稚園に在園している子どもの年齢



問 23- (1) 現在の幼稚園における預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。）の利用状況などをうかがいます。（あてはまるもの1つに○）

幼稚園における預かり保育の利用については「現在、特に利用している保育事業などはない」(43.6%)が最も多く、次いで「現在、幼稚園においてたまに預かり保育を利用している」(41.8%)、「現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」(10.9%)となっています。

問 23- (1) 幼稚園における預かり保育の利用状況

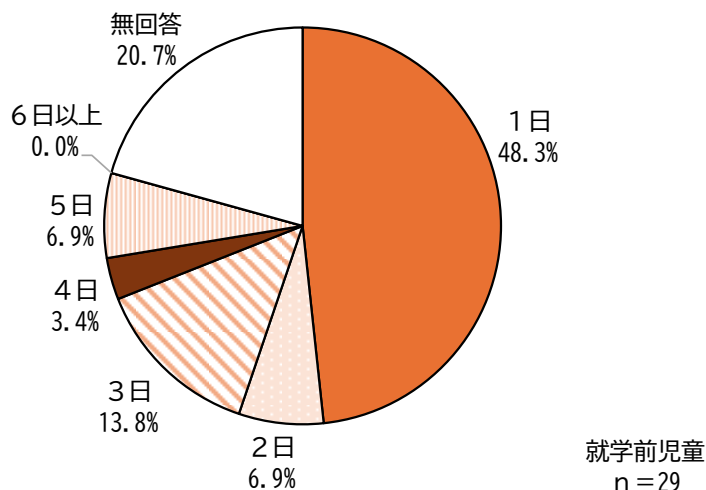


問 23- (1) 1 週当たりの「利用日数」、1 日当たりの「利用時間」をお答えください。利用数や利用時間が一定でない場合は、平均的なパターンでお答えください。A. 1 週当たりの利用日数

幼稚園における預かり保育の1 週当たりの利用日数は「1 日」(48.3%) が最も多く、次いで「3 日」(13.8%)、「2 日」「5 日」(各 6.9%) となっています。

問 23- (1) 幼稚園における預かり保育の利用日数 (1 週当たり)

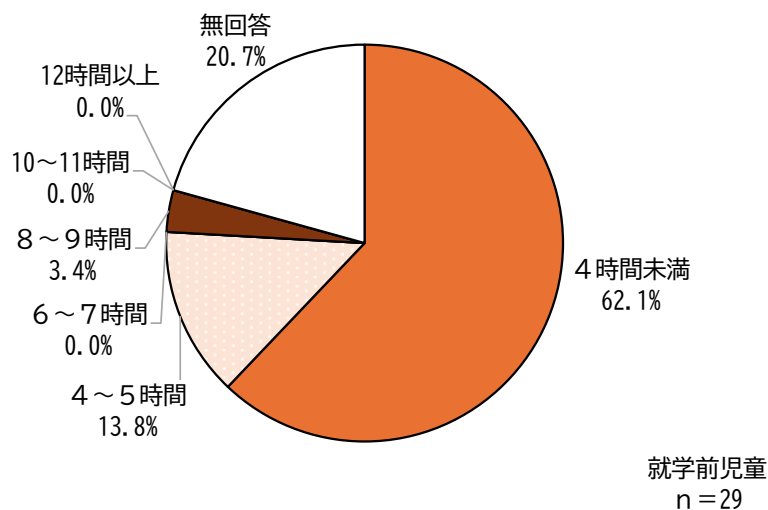
A. 1 週当たりの利用日数



問 23- (1) B. 1 日当たりの利用時間

幼稚園における預かり保育の1 日当たりの利用時間は「4 時間未満」(62.1%) が最も多く、次いで「4～5 時間」(13.8%)、「8～9 時間」(3.4%) となっています。

B. 1 日当たりの利用時間



### (3) 他の保育事業

問 23-(2) 他の保育事業などを利用していると答えた方にうかがいます。どのような保育事業などを利用されていますか。(あてはまるもの1つに○)

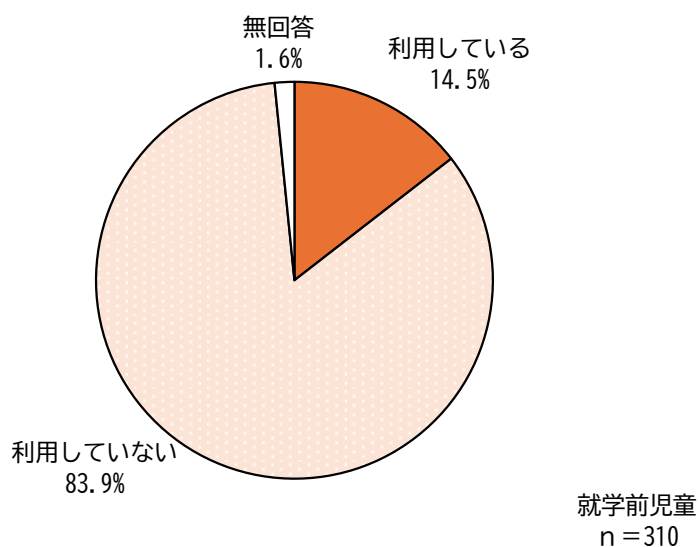
回答者がいないため省略。

## 5 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向について

問 24 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

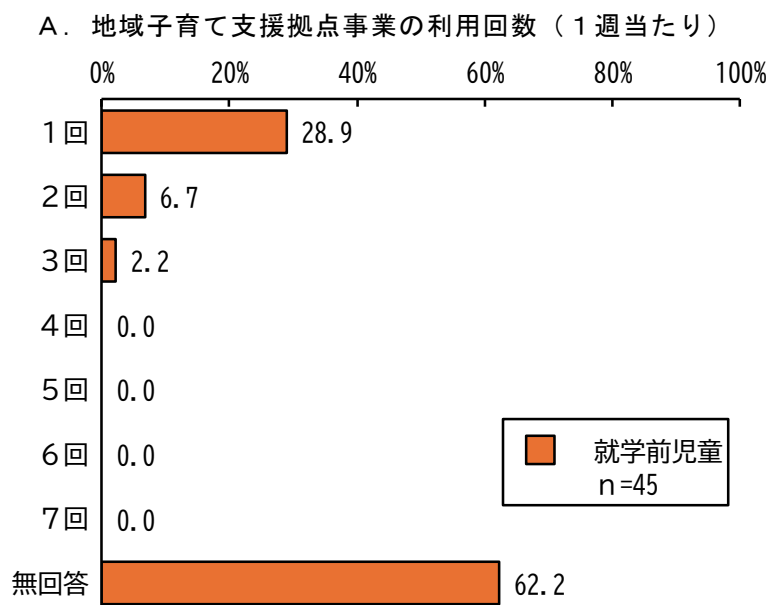
地域子育て支援拠点事業の利用については「利用していない」(83.9%)、「利用している」(14.5%)となっています。

問 24 地域子育て支援拠点事業の利用状況



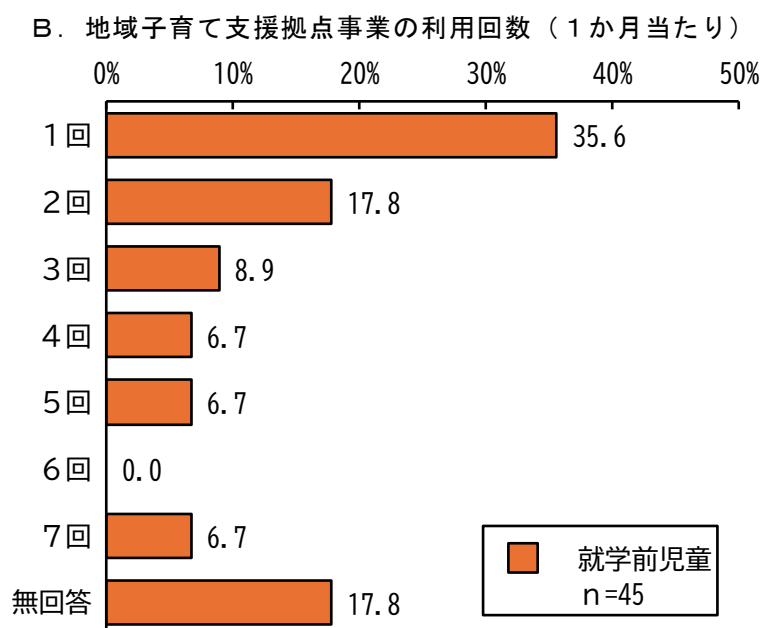
問 24 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。（あてはまるもの1つに○） A. 地域子育て支援事業の1週あたりのおおよその利用回数

地域子育て支援拠点事業の1週あたりの利用回数は「1回」（28.9%）が最も多く、次いで「2回」（6.7%）、「3回」（2.2%）となっています。



問 24 B. 地域子育て支援事業の1か月あたりのおおよその利用回数

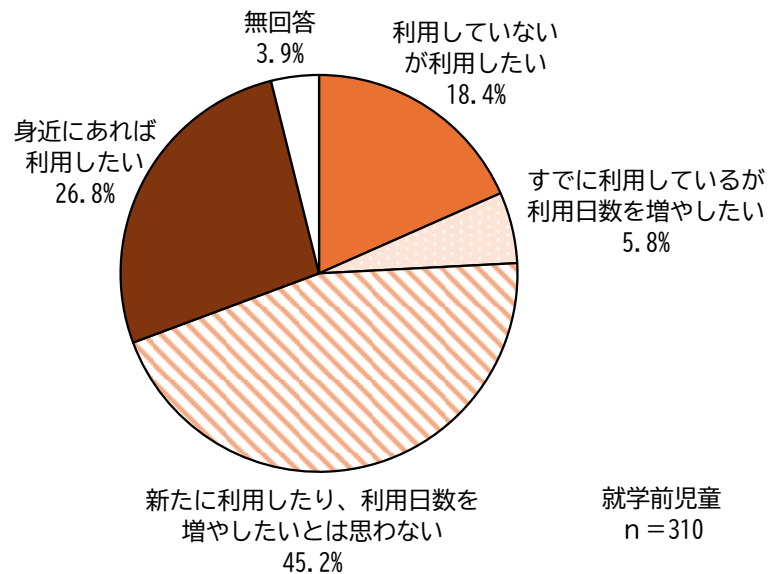
地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの利用回数は「1回」（35.6%）が最も多く、次いで「2回」（17.8%）、「3回」（8.9%）となっています。



問 24- (1) 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

地域子育て支援拠点事業の利用希望については「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(45.2%)が最も多く、次いで「身近にあれば利用したい」(26.8%)、「利用していないが利用したい」(18.4%)となっています。

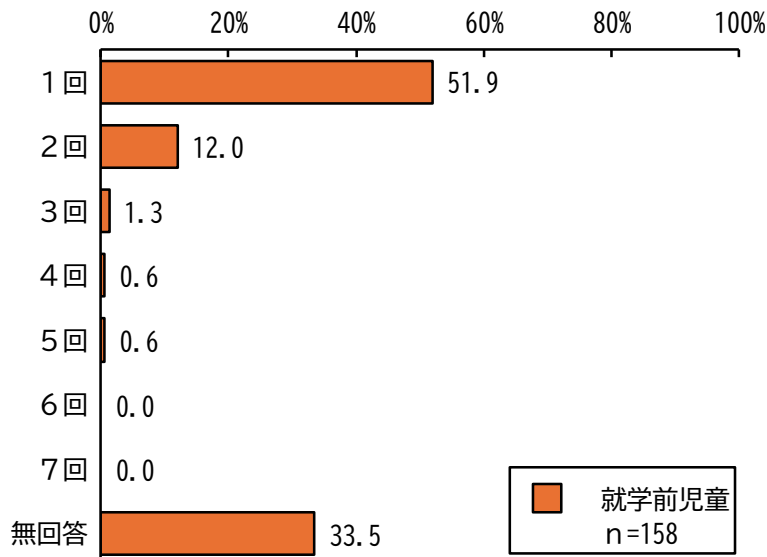
問 24- (1) 地域子育て支援拠点事業の利用希望



問 24- (1) 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまるもの1つに○) A. 地域子育て支援事業の今後の利用希望回数(1週当たり)

地域子育て支援拠点事業の希望する1週当たりの利用回数は「1回」(51.9%)が最も多く、次いで「2回」(12.0%)、「3回」(1.3%)となっています。

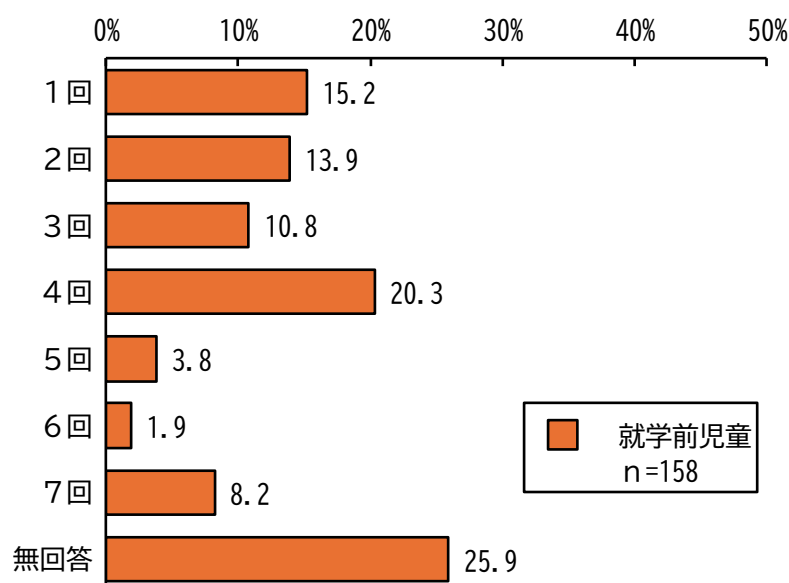
A. 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数(1週当たり)



問 24- (1) B. 地域子育て支援事業の今後の利用希望回数(1か月当たり)

地域子育て支援拠点事業の希望する1か月当たりの利用回数は「4回」(20.3%)が最も多く、次いで「1回」(15.2%)、「2回」(13.9%)となっています。

B. 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数(1か月当たり)



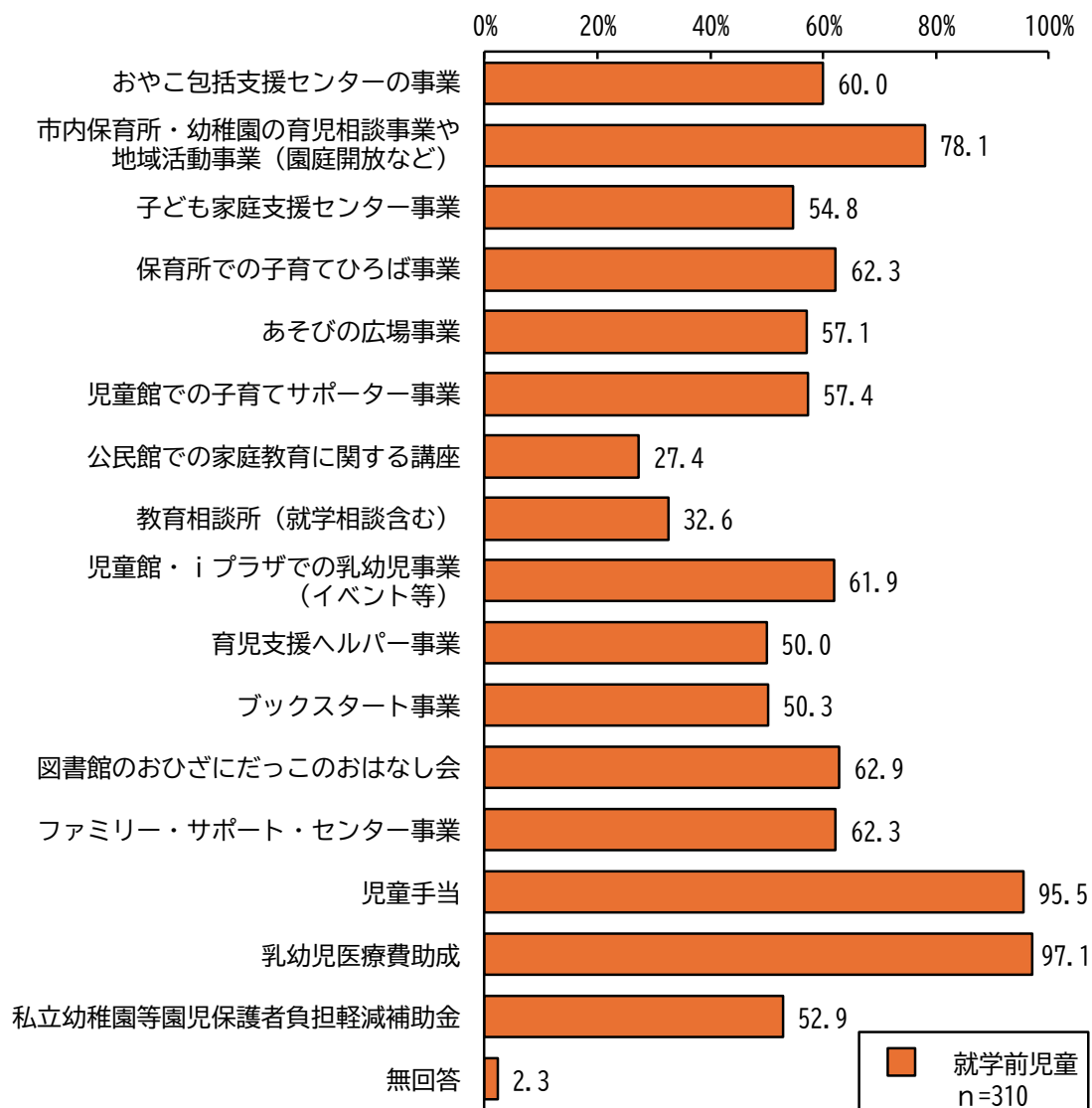


問 25-1 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについてお答えください。A. 知っている（はい）

子育て支援事業の周知について「知っている（はい）」では「乳幼児医療費助成」（97.1%）が最も多く、次いで「児童手当」（95.5%）、「市内保育所・幼稚園の育児相談事業や地域活動事業（園庭開放など）」（78.1%）となっています。

問 25-1 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向

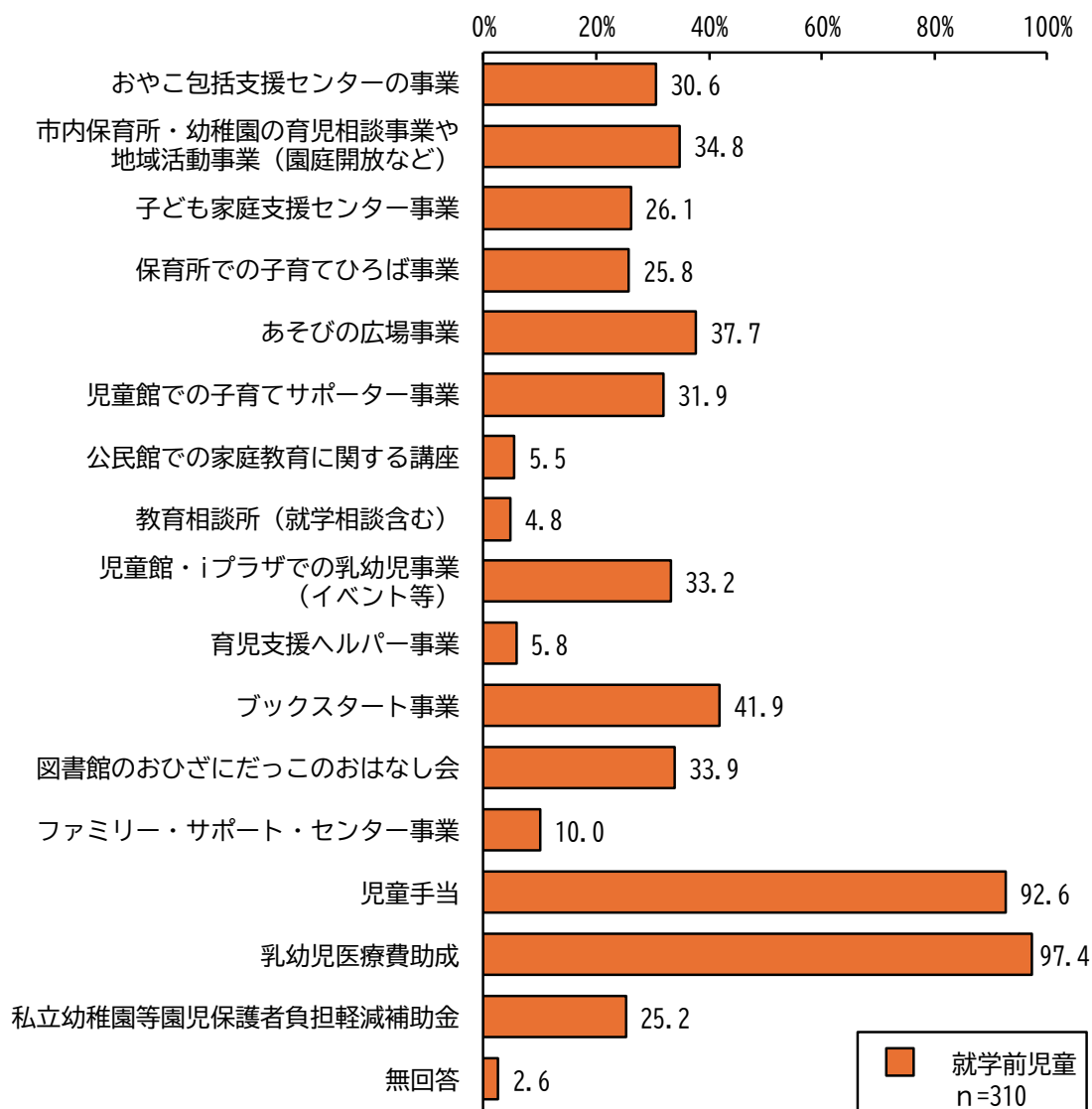
A. 知っている（はい）



問 25-1 B. これまでに利用したことがある（はい）

子育て支援事業の利用について「これまでに利用したことがある（はい）」では「乳幼児医療費助成」（97.4%）が最も多く、次いで「児童手当」（92.6%）、「ブックスタート事業」（41.9%）となっています。

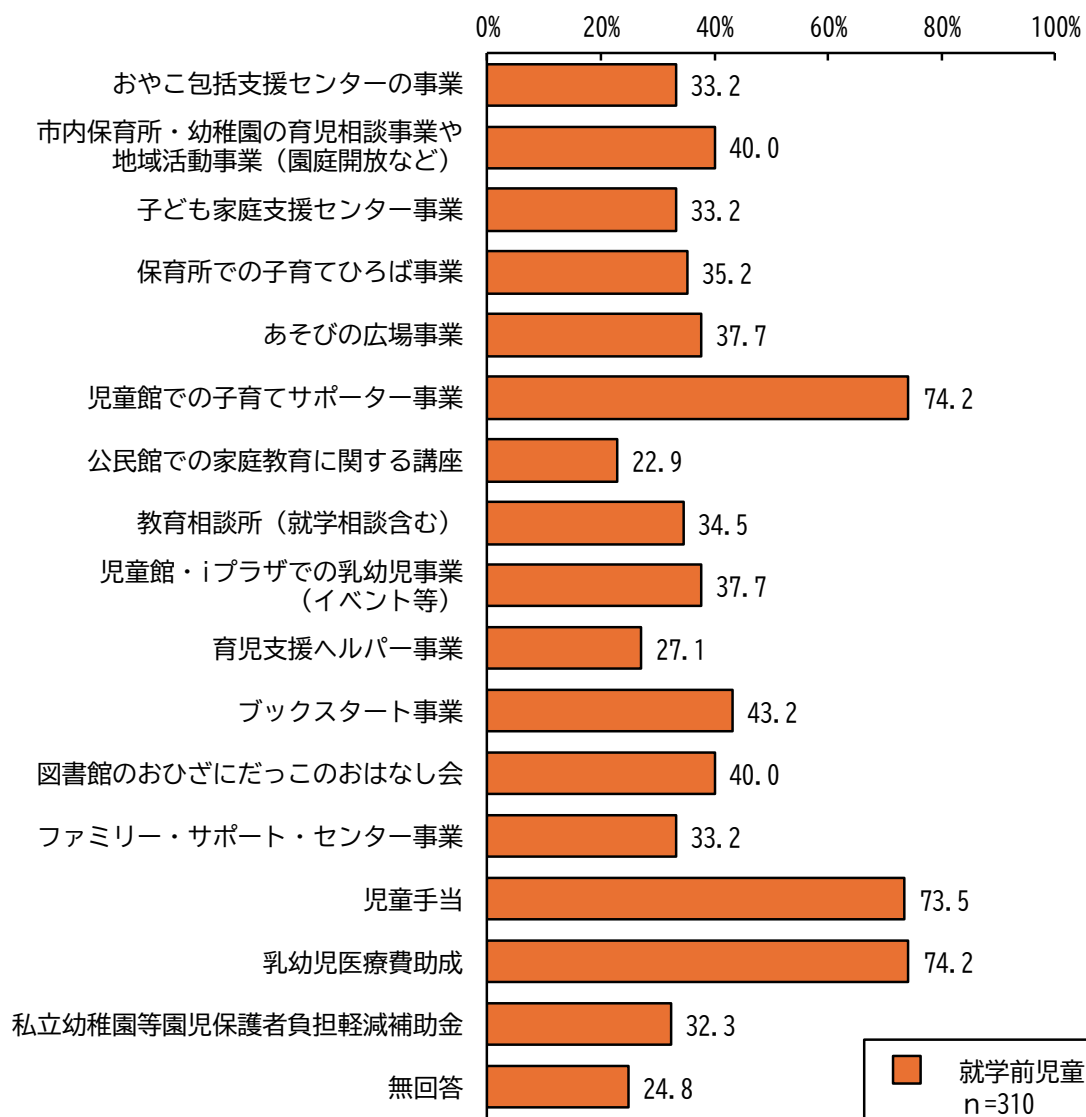
B. これまでに利用したことがある（はい）



問 25-1 C. 今後利用したい（はい）

子育て支援事業の利用について「今後利用したい（はい）」では「児童館での子育てサポーター事業」「乳幼児医療費助成」（各 74.2%）が最も多く、次いで「児童手当」（73.5%）、「ブックスタート事業」（43.2%）となっています。

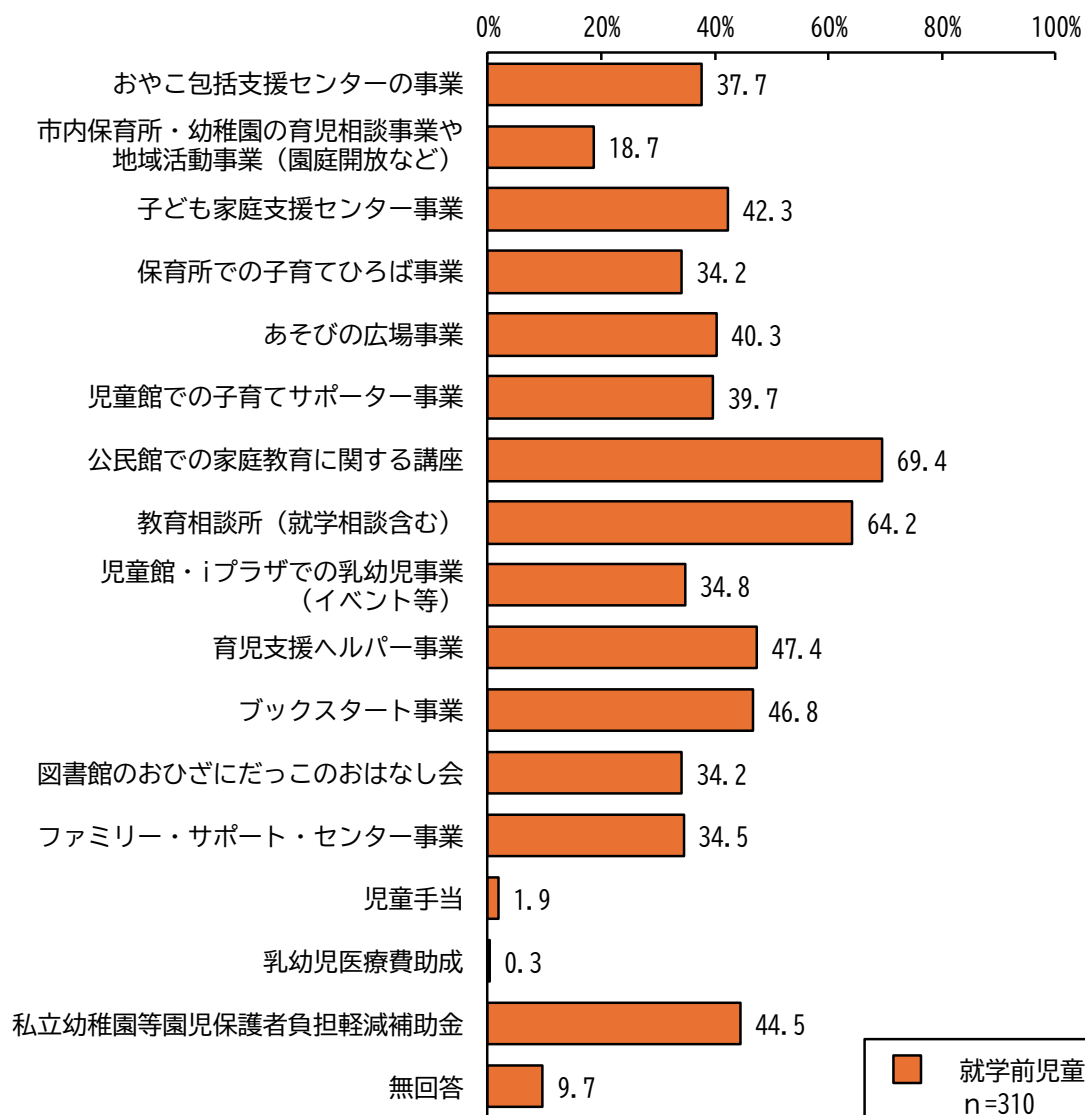
C. 今後利用したい（はい）



問 25-2 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについてお答えください。A. 知っている（いいえ）

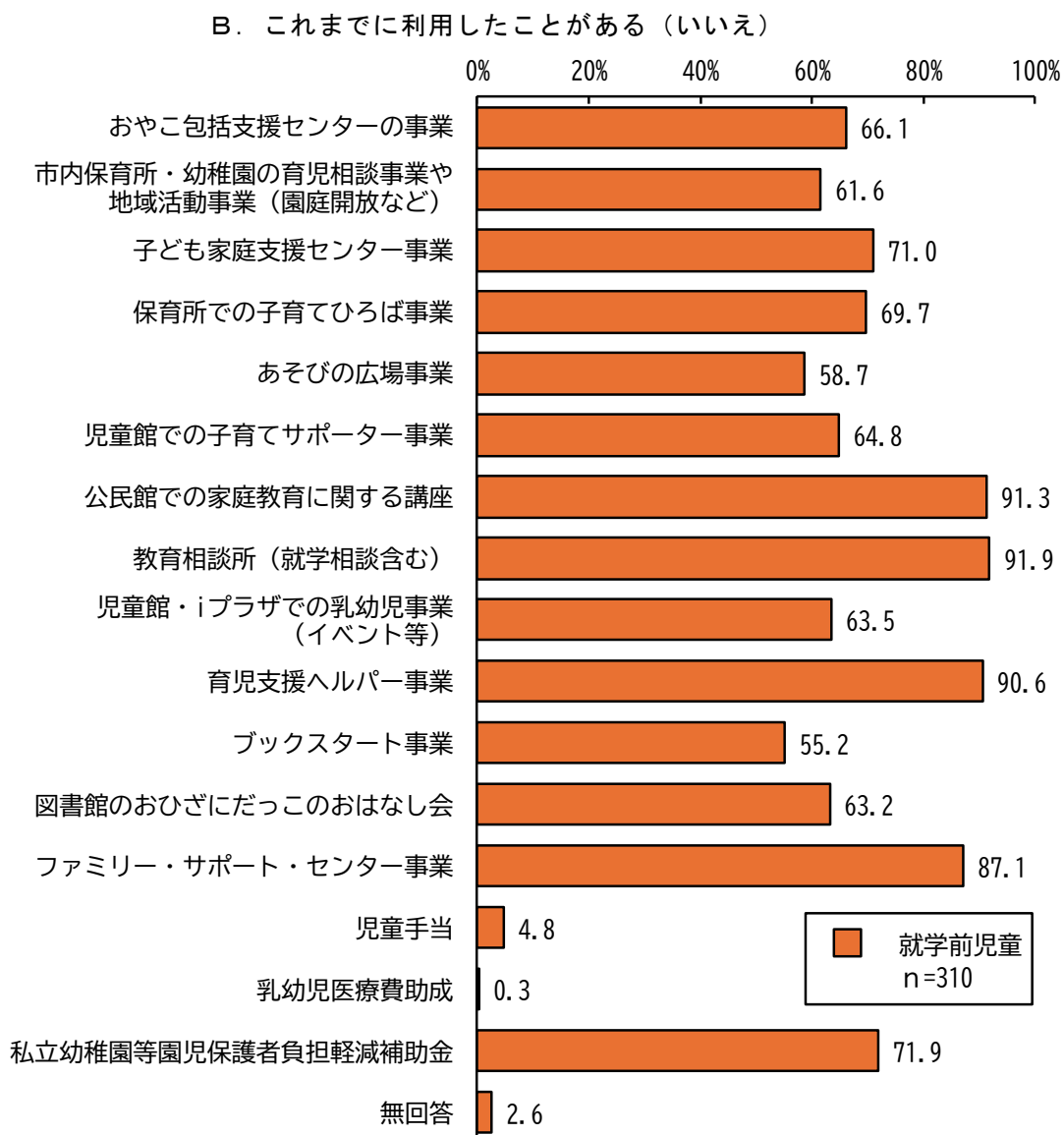
子育て支援事業の周知について「知っている（いいえ）」では「公民館での家庭教育に関する講座」（69.4％）が最も多く、次いで「教育相談所（就学相談含む）」（64.2％）、「育児支援ヘルパー事業」（47.4％）となっています。

A. 知っている（いいえ）



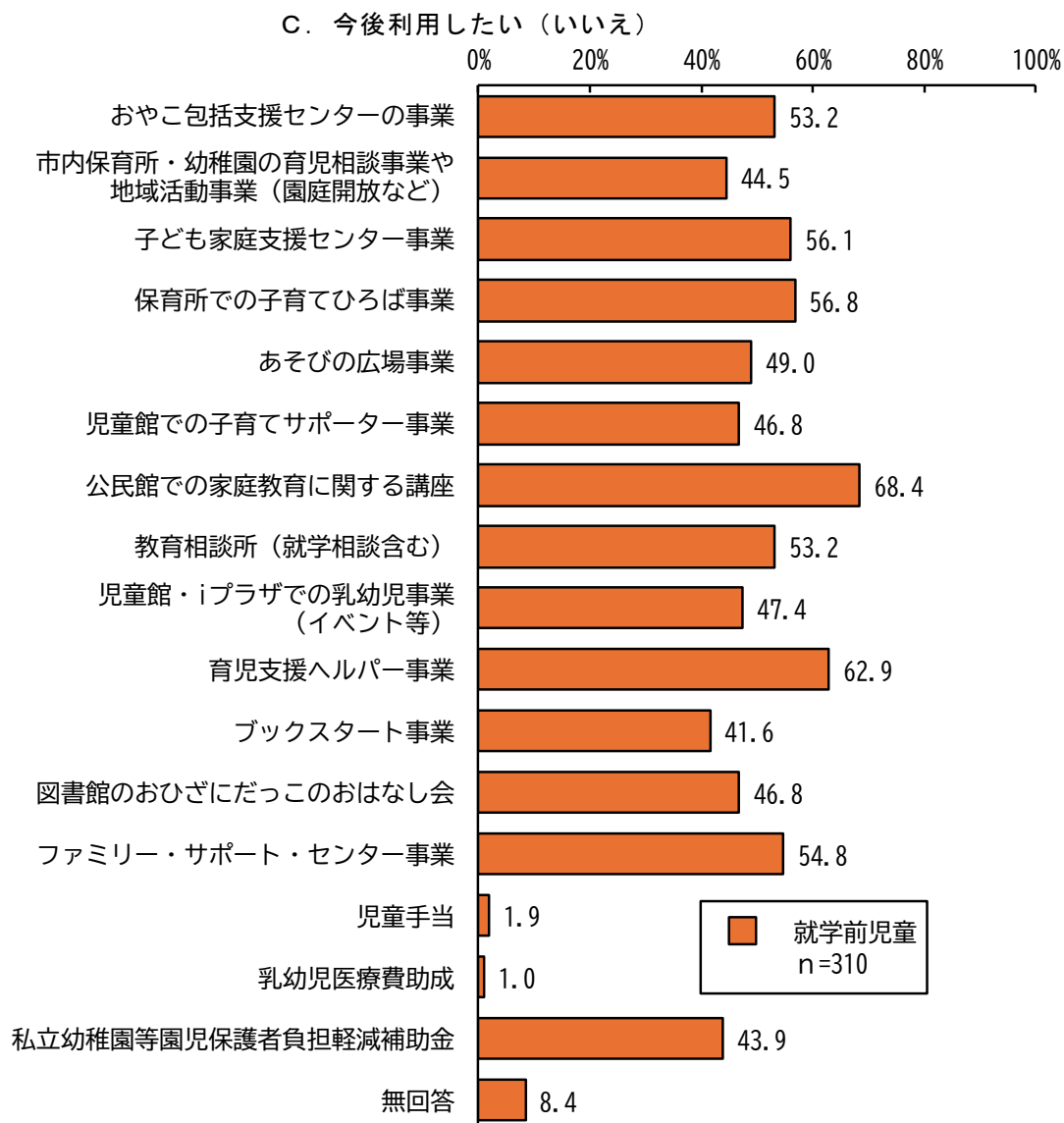
問 25-2 B. これまでに利用したことがある（いいえ）

子育て支援事業の利用について「これまでに利用したことがある（いいえ）」では「教育相談所（就学相談含む）」（91.9%）が最も多く、次いで「公民館での家庭教育に関する講座」（91.3%）、「育児支援ヘルパー事業」（90.6%）となっています。



問 25-2 C. 今後利用したい (いいえ)

子育て支援事業の利用について「今後利用したい (いいえ)」では「公民館での家庭教育に関する講座」(68.4%)が最も多く、次いで「育児支援ヘルパー事業」(62.9%)、「保育所での子育てひろば事業」(56.8%)となっています。



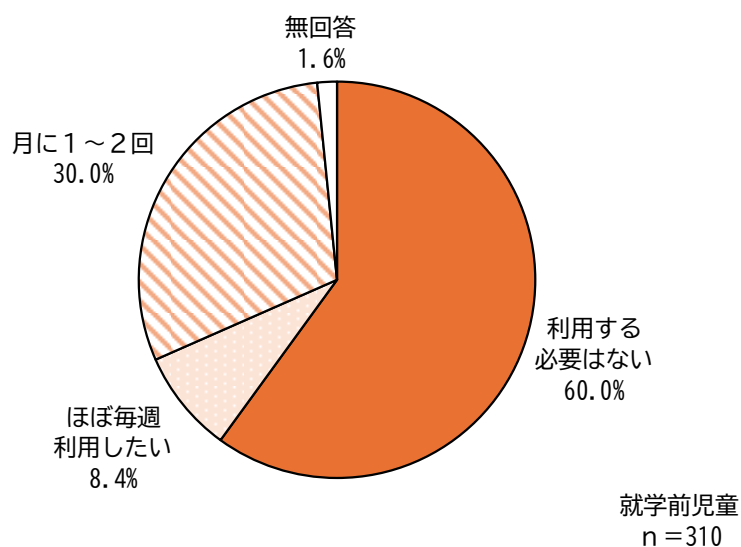
## 6 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

### (1) 土曜日の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(1) 土曜日 (あてはまるもの1つに○)

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については「利用する必要はない」(60.0%)が最も多く、次いで「月に1~2回」(30.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(8.4%)となっています。

問 26- (1) 土曜日の利用希望

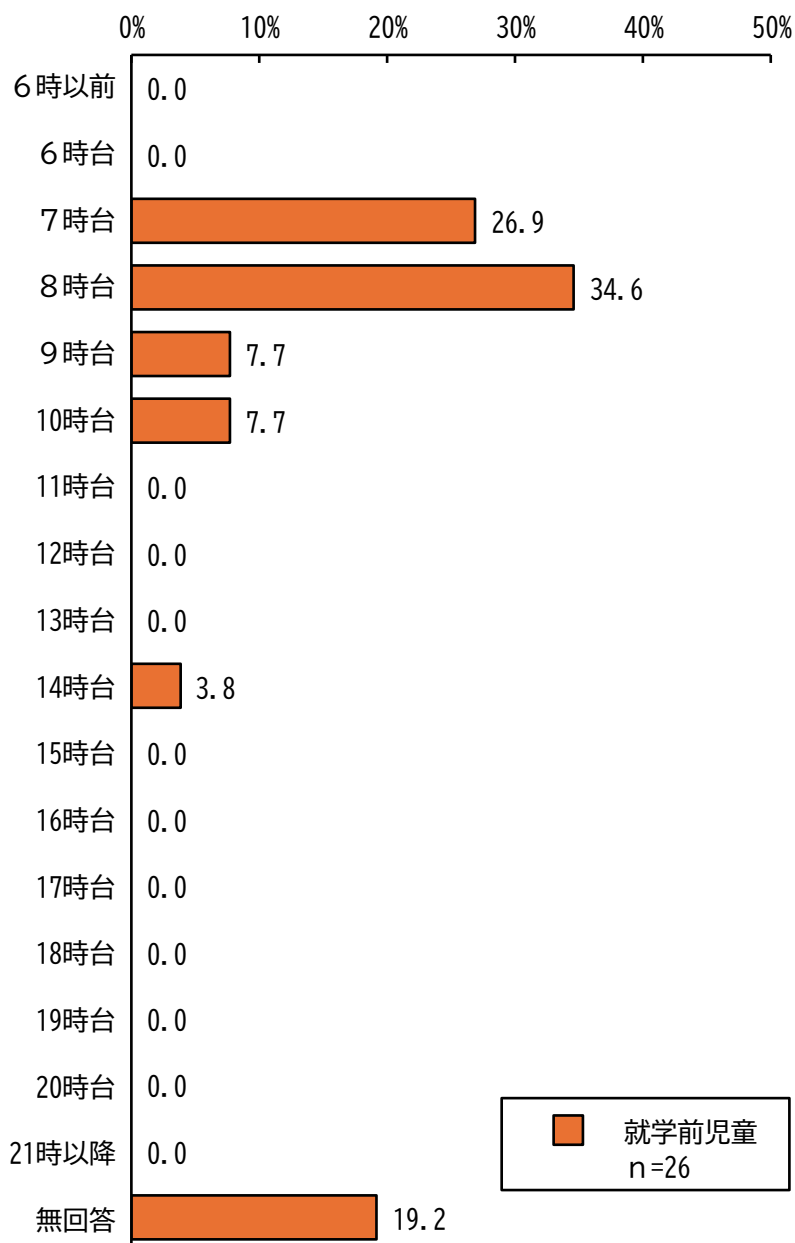


問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(1) 土曜日 (あてはまるもの1つに○)

A. 利用したい時間帯 (利用開始時間)

土曜日の定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間は「8時台」(34.6%)が最も多く、次いで「7時台」(26.9%)、「9時台」「10時台」(各7.7%)となっています。

A. 土曜日の希望利用開始時間

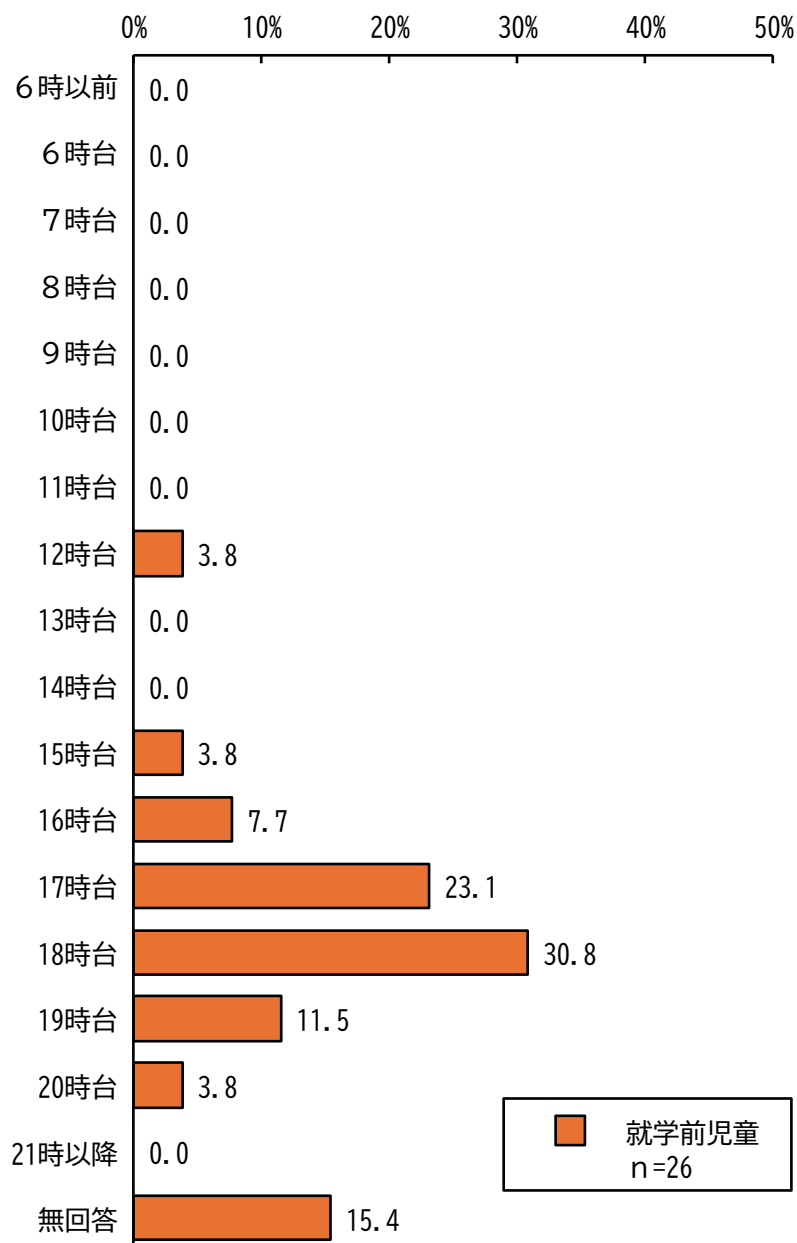




問 26 B. 利用したい時間帯（終了時間）

土曜日の定期的な教育・保育事業の希望する利用終了時間は「18 時台」（30.8%）が最も多く、次いで「17 時台」（23.1%）、「19 時台」（11.5%）となっています。

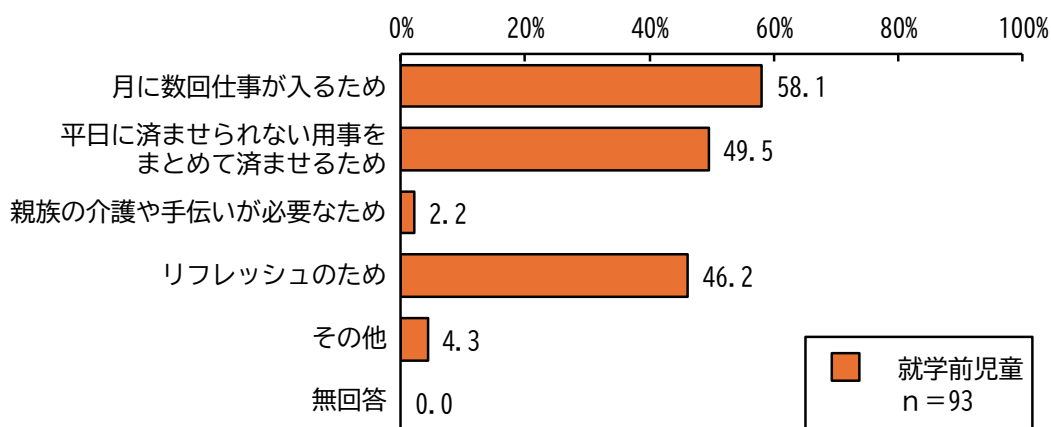
B. 土曜日の希望利用終了時間



問 26 C. 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由は「月に数回仕事が入るため」(58.1%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(49.5%)、「リフレッシュのため」(46.2%)となっています。

C. 土曜日に「毎週ではなく、たまに利用したい」方の理由

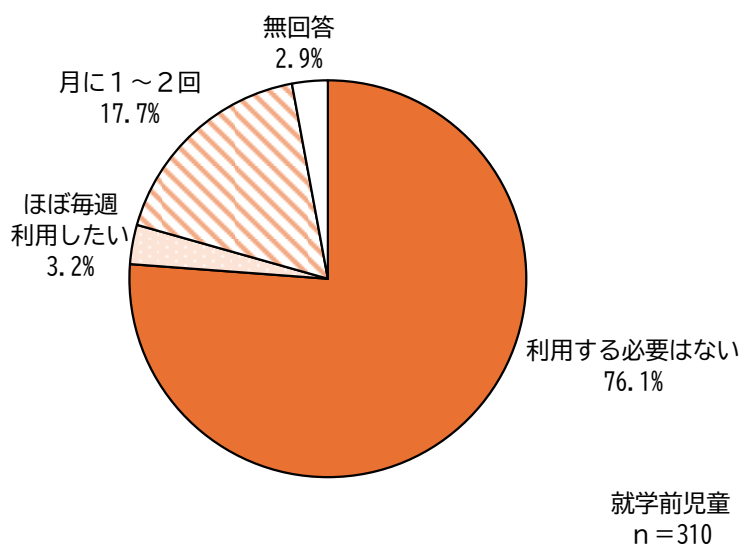


## (2) 日曜日の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(2) 日曜日 (あてはまるもの1つに○)

日曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については「利用する必要はない」(76.1%)が最も多く、次いで「月に1~2回」(17.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.2%)となっています。

問 26- (2) 日曜日の利用希望

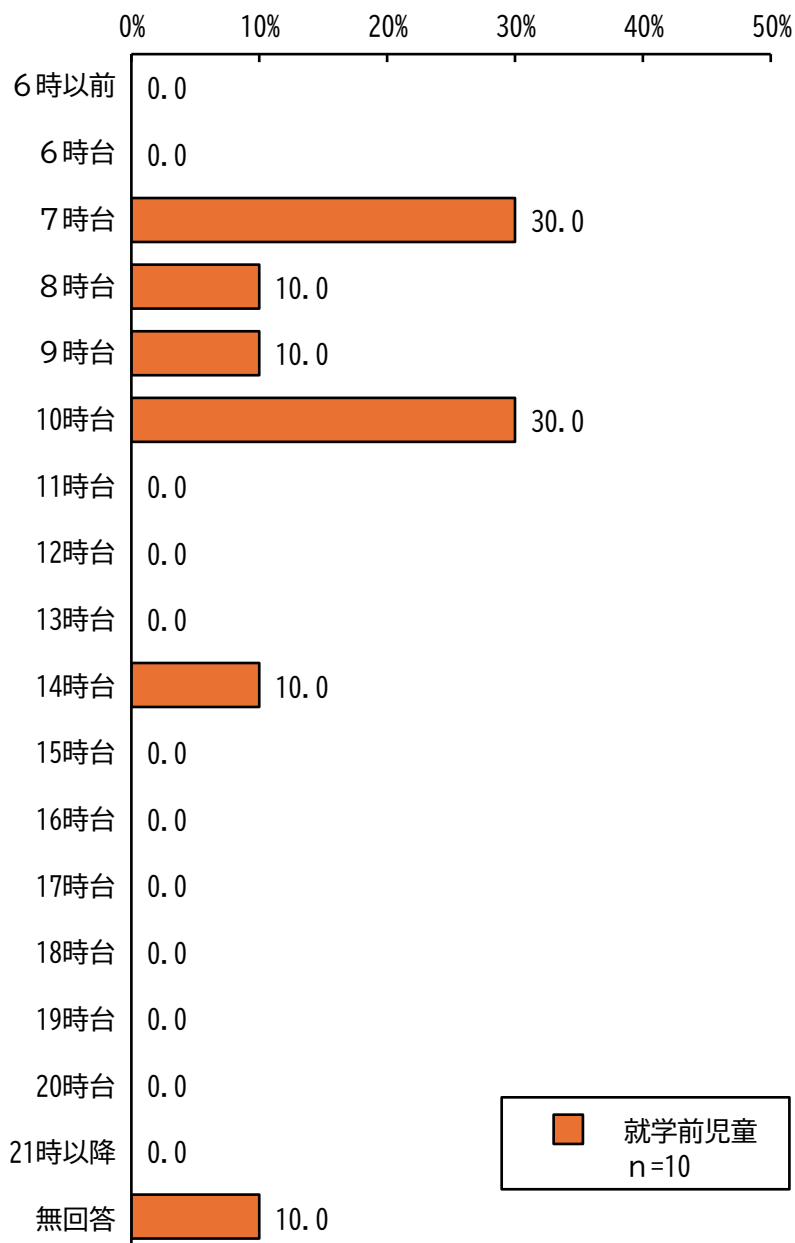


問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(2) 日曜日 (あてはまるもの1つに○)

A. 利用したい時間帯 (利用開始時間)

日曜日の定期的な教育・保育事業の希望する利用開始時間は「7時台」「10時台」(各 30.0%) が最も多く、次いで「8時台」「9時台」「14時台」(各 10.0%) となっています。

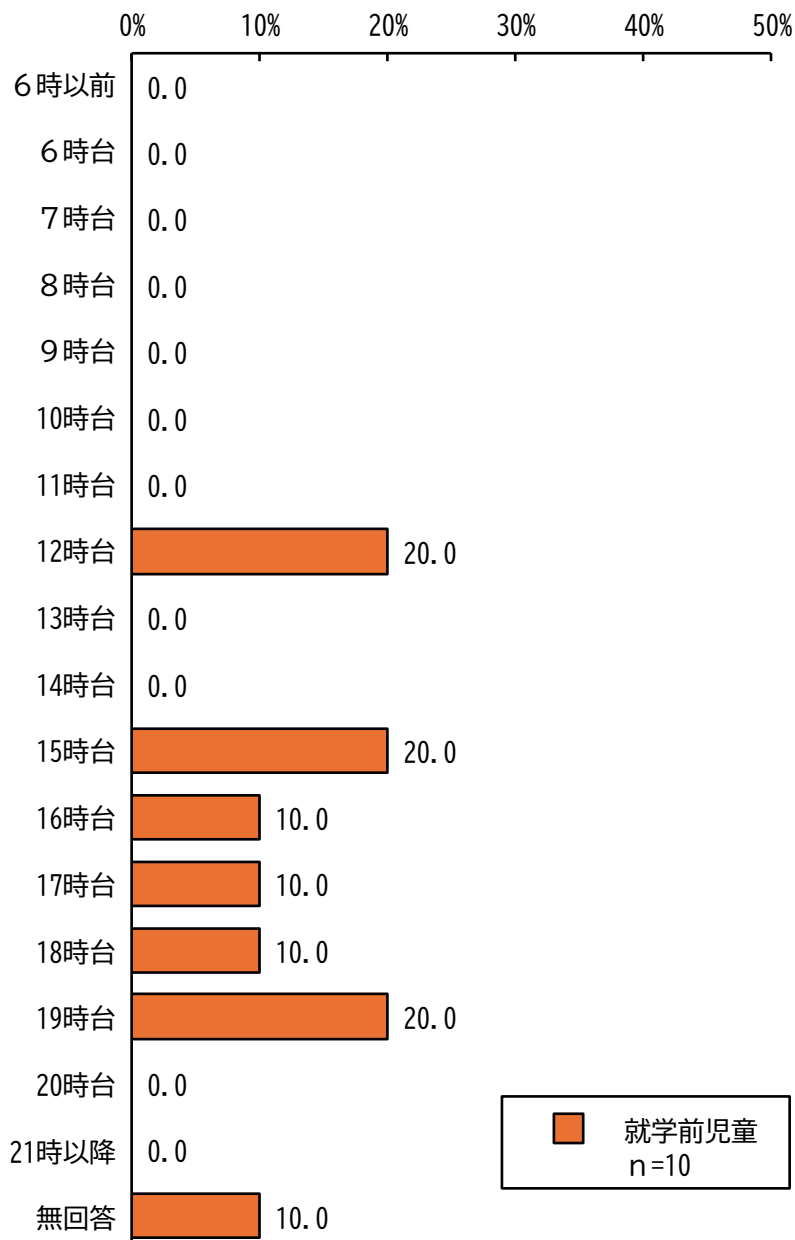
A. 日曜日の希望利用開始時間



問 26 B. 利用したい時間帯（終了時間）

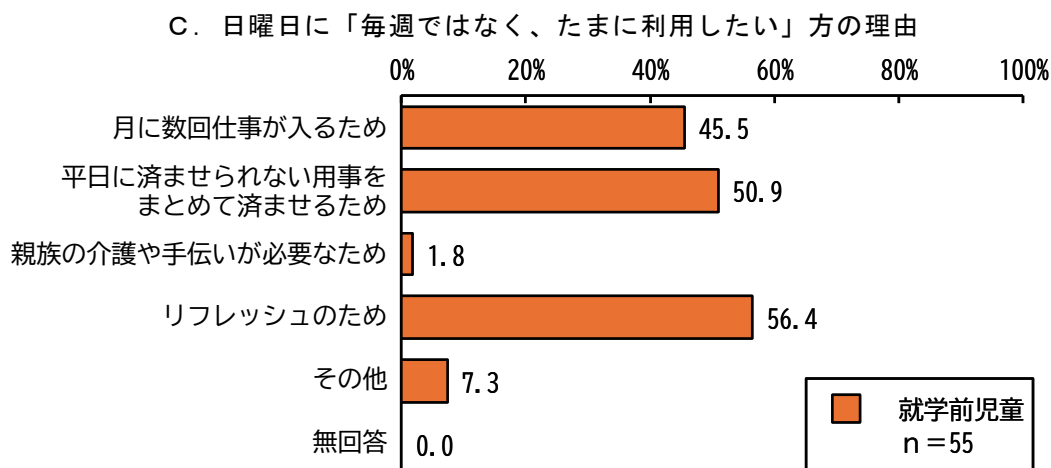
日曜日の定期的な教育・保育事業の希望する利用終了時間は「12 時台」「15 時台」「19 時台」（各 20.0%）が最も多く、次いで「16 時台」「17 時台」「18 時台」（各 10.0%）となっています。

B. 日曜日の希望利用終了時間



問 26 C. 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

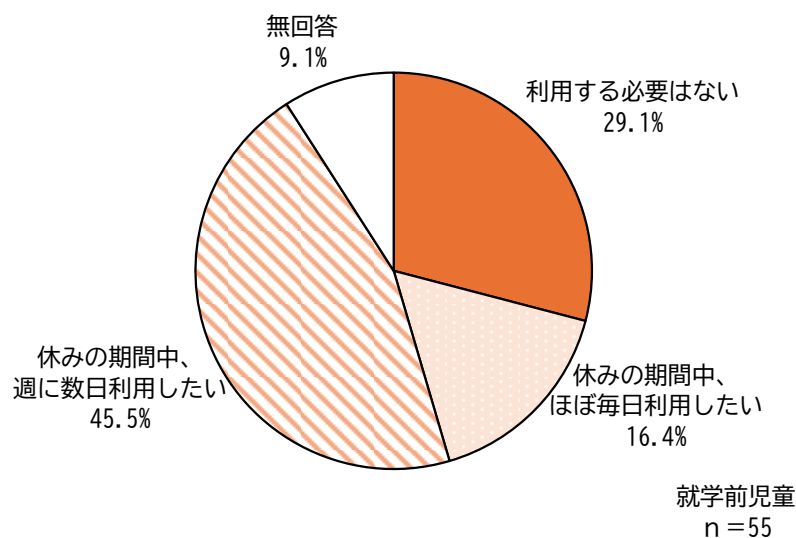
日曜日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由は「リフレッシュのため」(56.4%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(50.9%)、「月に数回仕事が入るため」(45.5%)となっています。



問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、教育・保育事業の利用希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

長期休暇中の教育・保育事業の利用希望(幼稚園利用者)は「休みの期間中、週に数日利用したい」(45.5%)が最も多く、次いで「利用する必要はない」(29.1%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(16.4%)となっています。

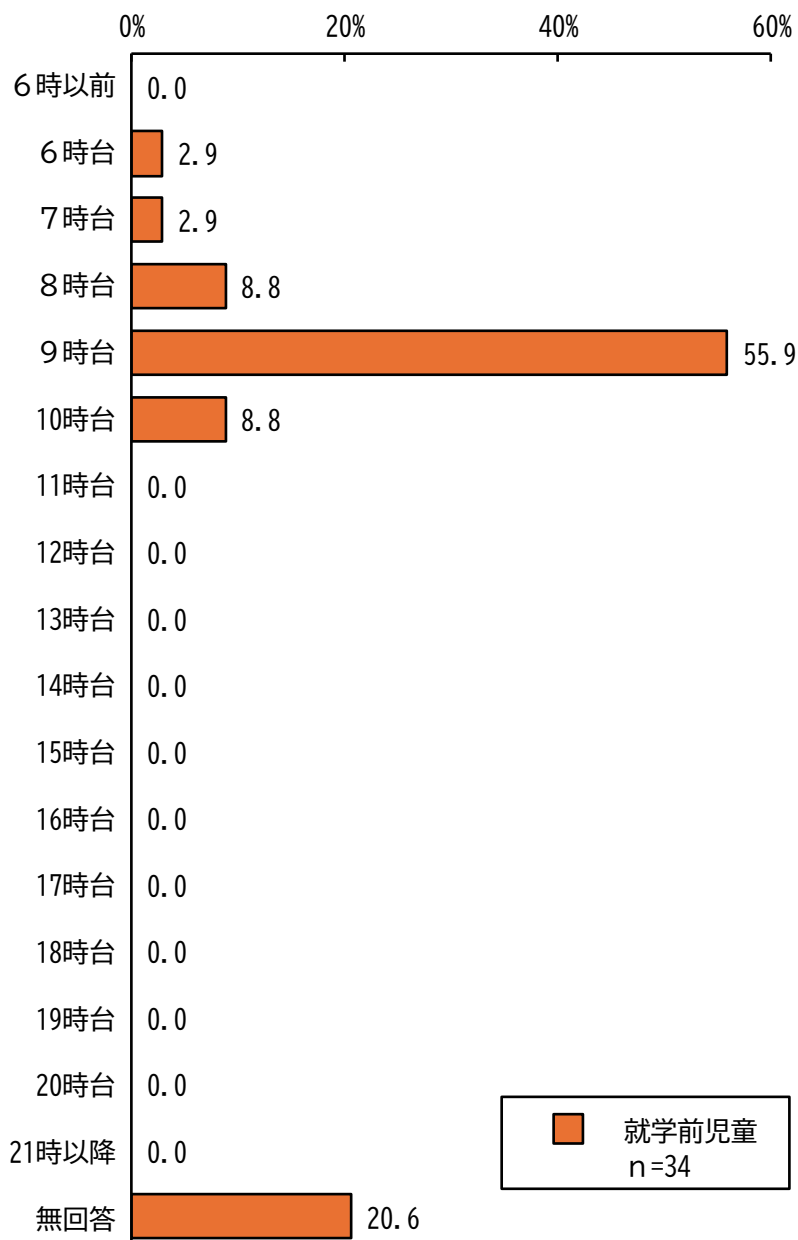
問 27 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望(幼稚園利用者)



問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、教育・保育事業の利用希望はありますか。  
 (あてはまるもの1つに○) A. 利用したい時間帯(利用開始時間)

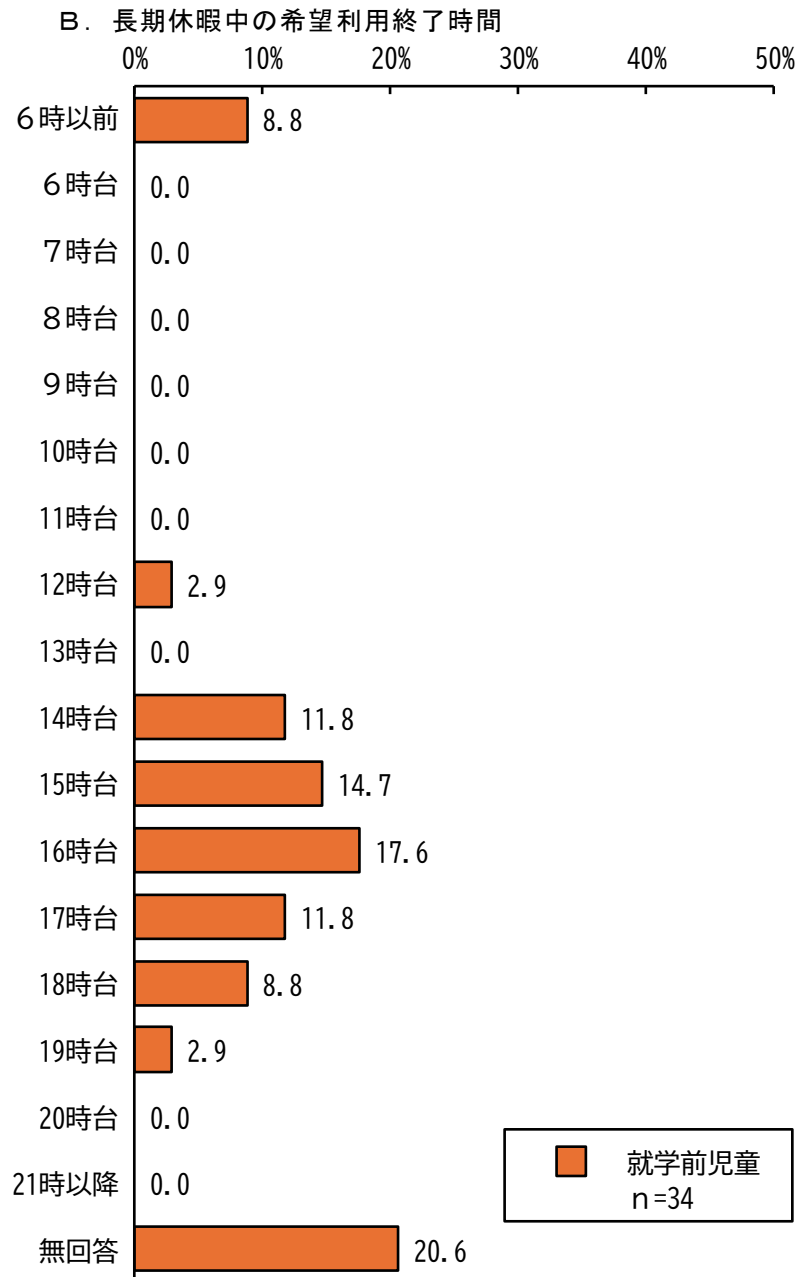
長期休暇中の教育・保育事業の希望する利用開始時間は「9時台」(55.9%)が最も多く、次いで「8時台」「10時台」(各8.8%)、「6時台」「7時台」(各2.9%)となっています。

A. 長期休暇中の希望利用開始時間



問 27 B. 利用したい時間帯（終了時間）

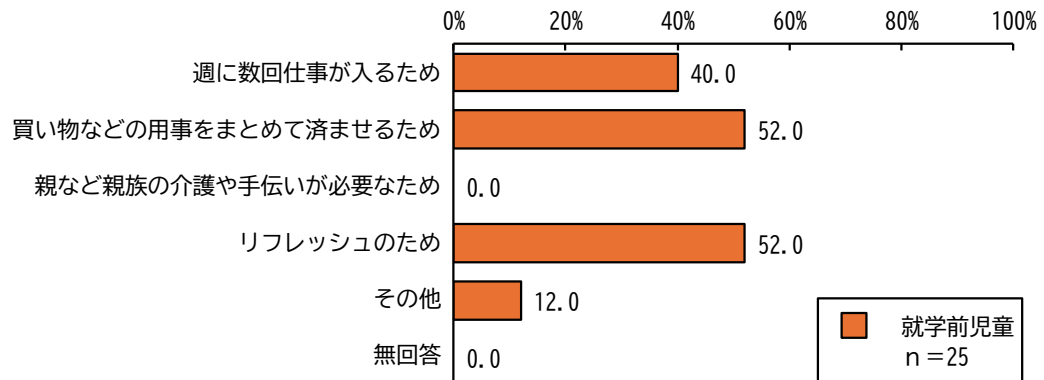
長期休暇中の教育・保育事業の希望する利用終了時間は「16時台」（17.6%）が最も多く、次いで「15時台」（14.7%）、「14時台」「17時台」（各 11.8%）となっています。



問 27- (1) 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべて○)

長期休暇中に教育・保育事業を月に1～2回利用したい理由は「買い物などの用事をまとめて済ませるため」「リフレッシュのため」(各52.0%)が最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」(40.0%)となっています。

問 27- (1) 長期休暇中に「月に1～2回は利用したい」方の理由



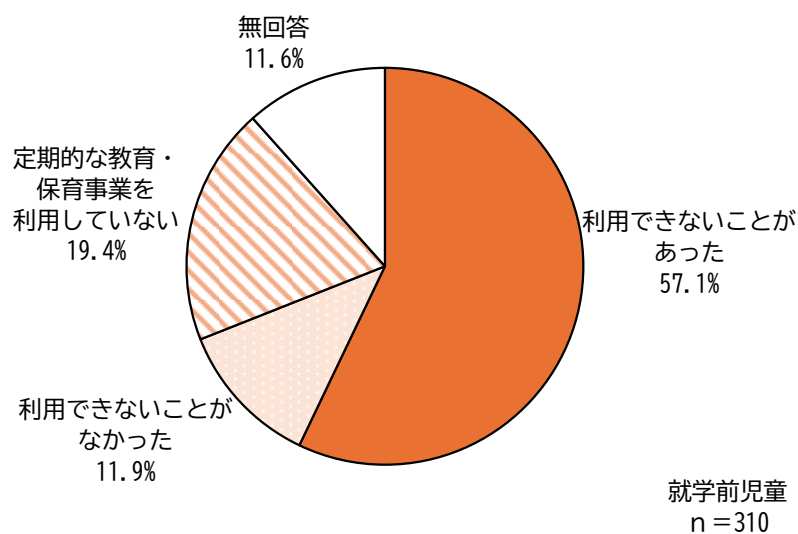


## 7 病児・病後児保育事業の現状と利用意向について

問 28 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

この1年間に病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことについては「利用できないことがあった」(57.1%)が最も多く、次いで「定期的な教育・保育事業を利用していない」(19.4%)、「利用できないことがなかった」(11.9%)となっています。

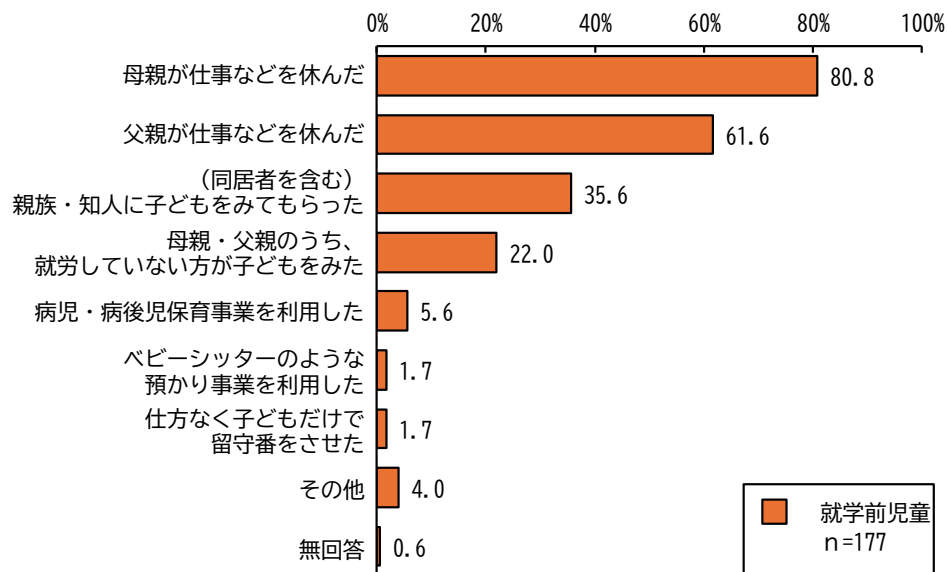
問 28 この1年間に病気やけがで、通常の事業が利用できなかったことの有無



問 28-（1） 病気やけがで通常の定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について（あてはまるものすべて○）

病気やけがで通常の定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法は「母親が仕事などを休んだ」（80.8%）が最も多く、次いで「父親が仕事などを休んだ」（61.6%）、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（35.6%）となっています。

問 28-（1） この1年間の対処方法

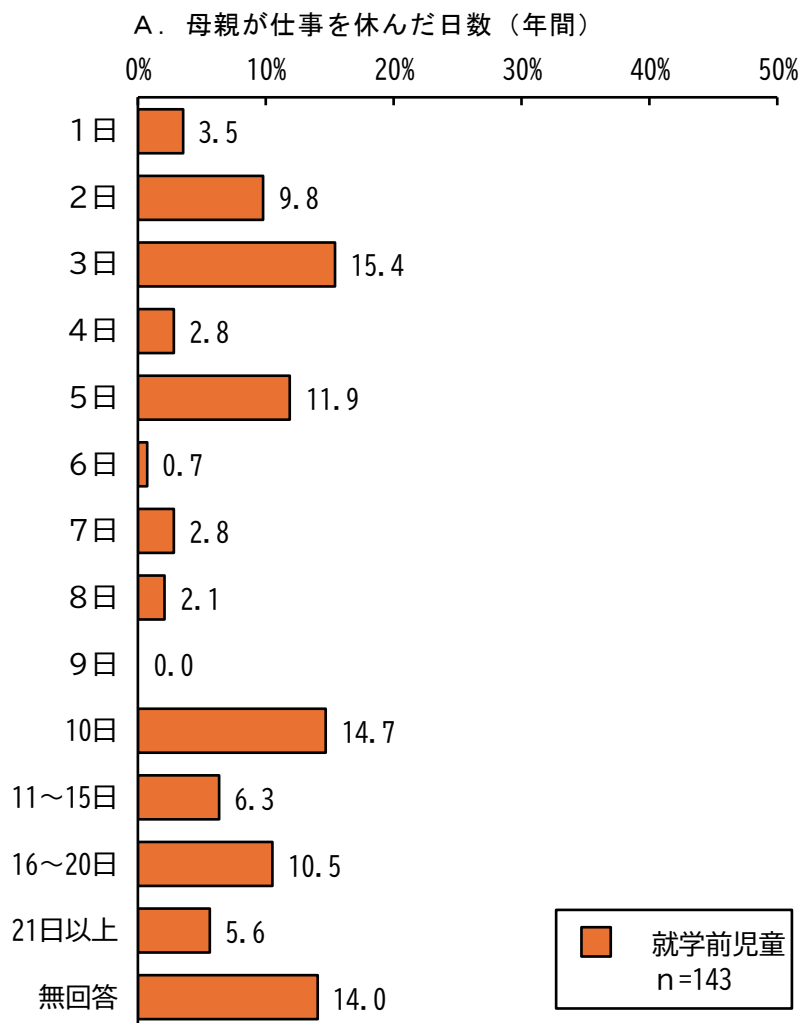


問 28- (1) 病気やけがで通常の定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について（あてはまるものすべて○）

A. 母親が仕事などを休んだ（年間日数）

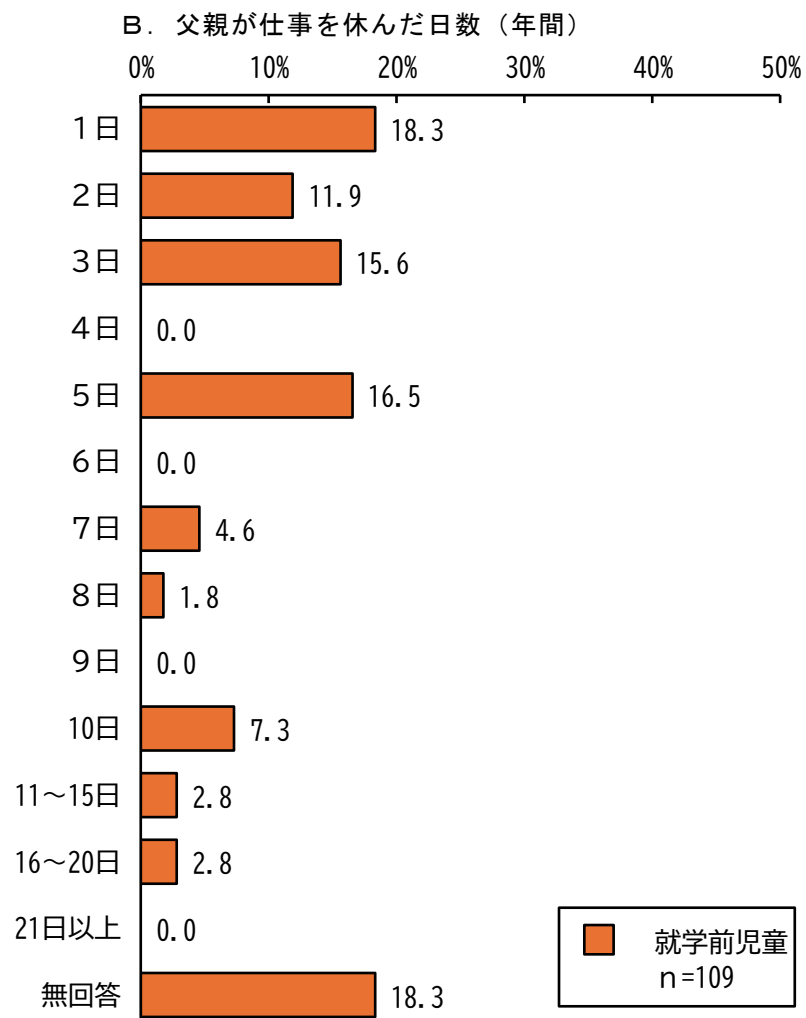
定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「母親が仕事を休んだ日数（年間）」では「3日」（15.4%）が最も多く、次いで「10日」（14.7%）、「5日」（11.9%）となっています。

問 28- (1) 定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法



問 28- (1) B. 父親が仕事などを休んだ（年間日数）

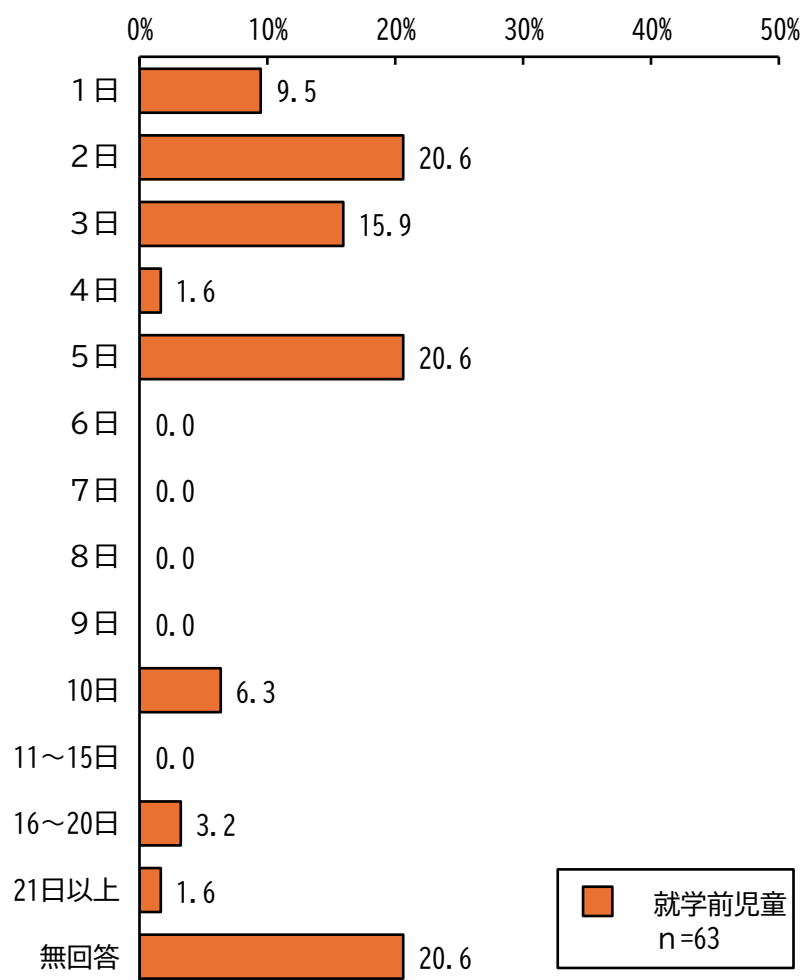
定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「父親が仕事を休んだ日数（年間）」では「1日」（18.3%）が最も多く、次いで「5日」（16.5%）、「3日」（15.6%）となっています。



問 28- (1) C. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった (年間日数)

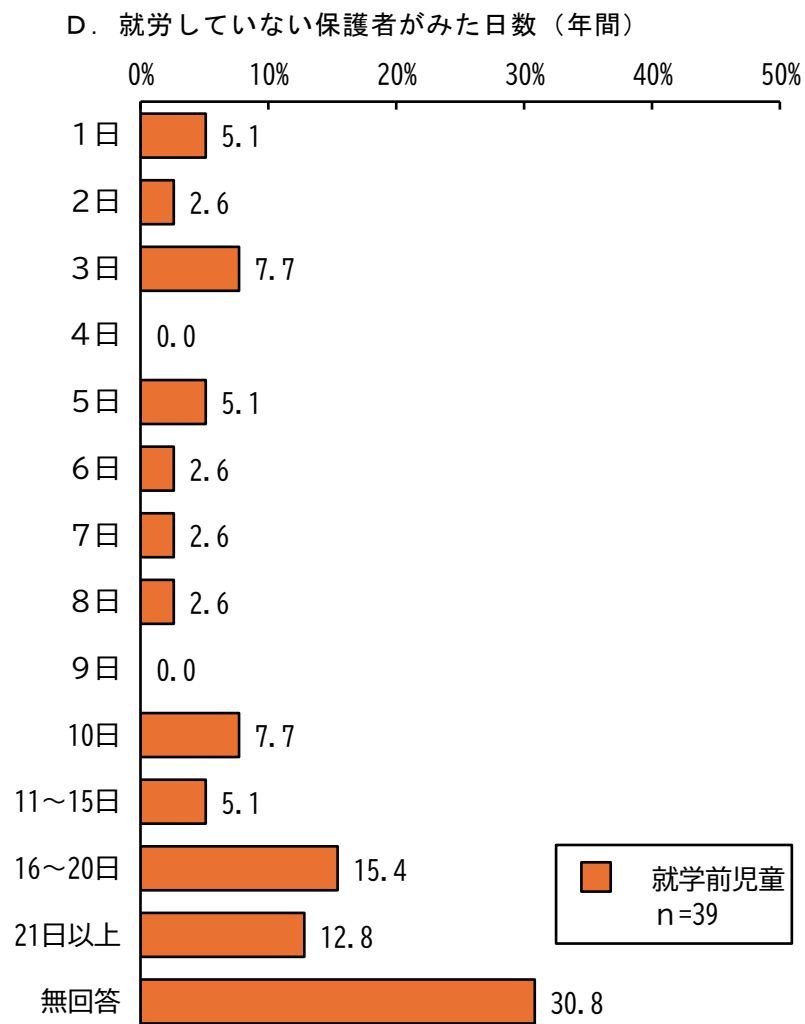
定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「(同居者を含む) 親族・知人に預けた日数 (年間)」では「2日」「5日」(各 20.6%) が最も多く、次いで「3日」(15.9%)、「1日」(9.5%) となっています。

C. (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数 (年間)



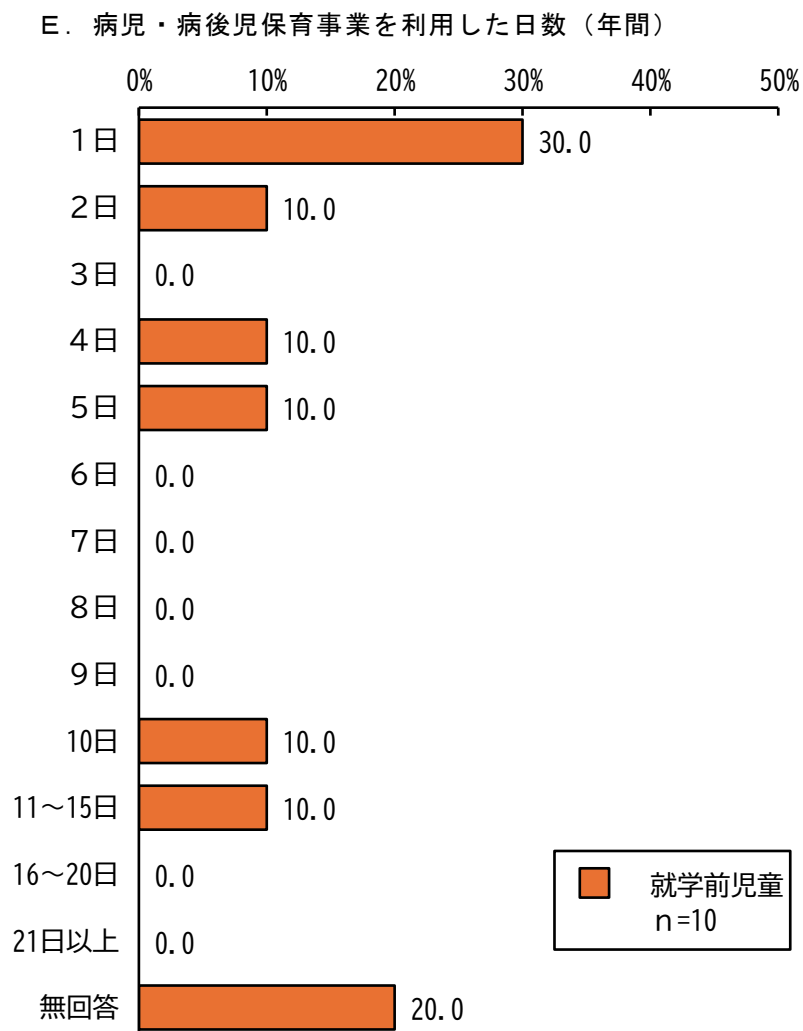
問 28- (1) D. 母親・父親のうち、就労していない方が子どもをみた（年間日数）

定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「就労していない保護者がみた日数（年間）」では「16～20日」（15.4%）が最も多く、次いで「21日以上」（12.8%）、「3日」「10日」（各 7.7%）となっています。



問 28- (1) E. 病児・病後児保育事業を利用した（年間日数）

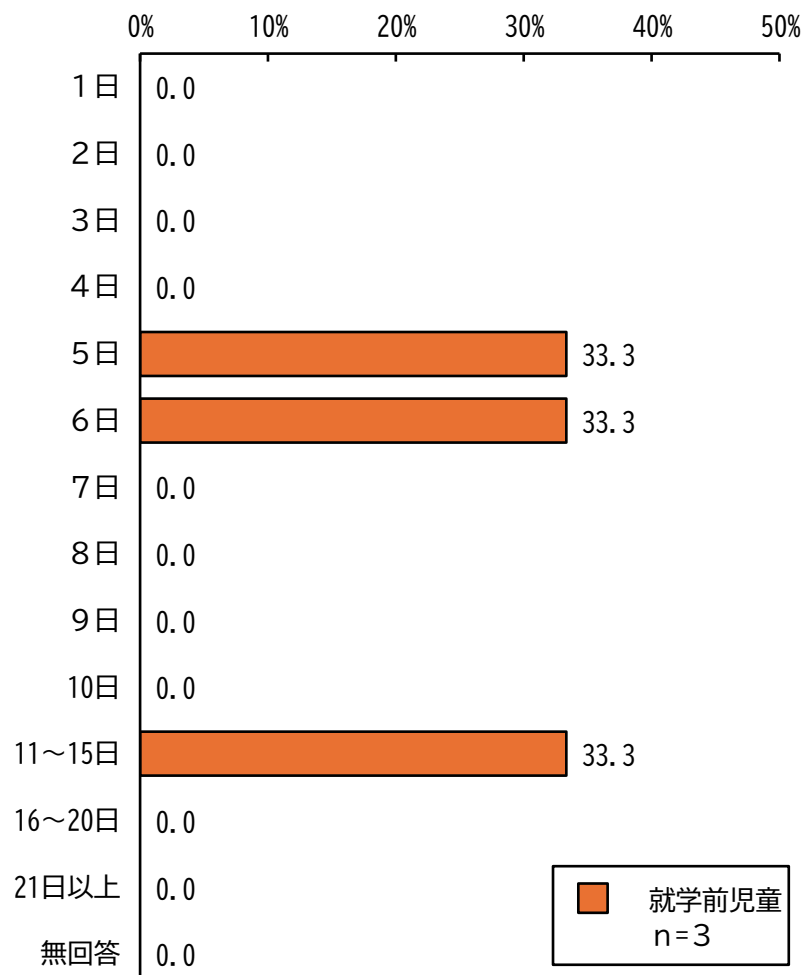
定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「病児・病後児保育事業を利用した日数（年間）」では「1日」（30.0%）が最も多く、次いで「2日」「4日」「5日」「10日」「11～15日」（各 10.0%）となっています。



問 28- (1) F. ベビーシッターのような預かり事業を利用した (年間日数)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「ベビーシッターのような預かり事業を利用した日数 (年間)」では「5日」「6日」「11~15日」(各 33.3%) となっています。

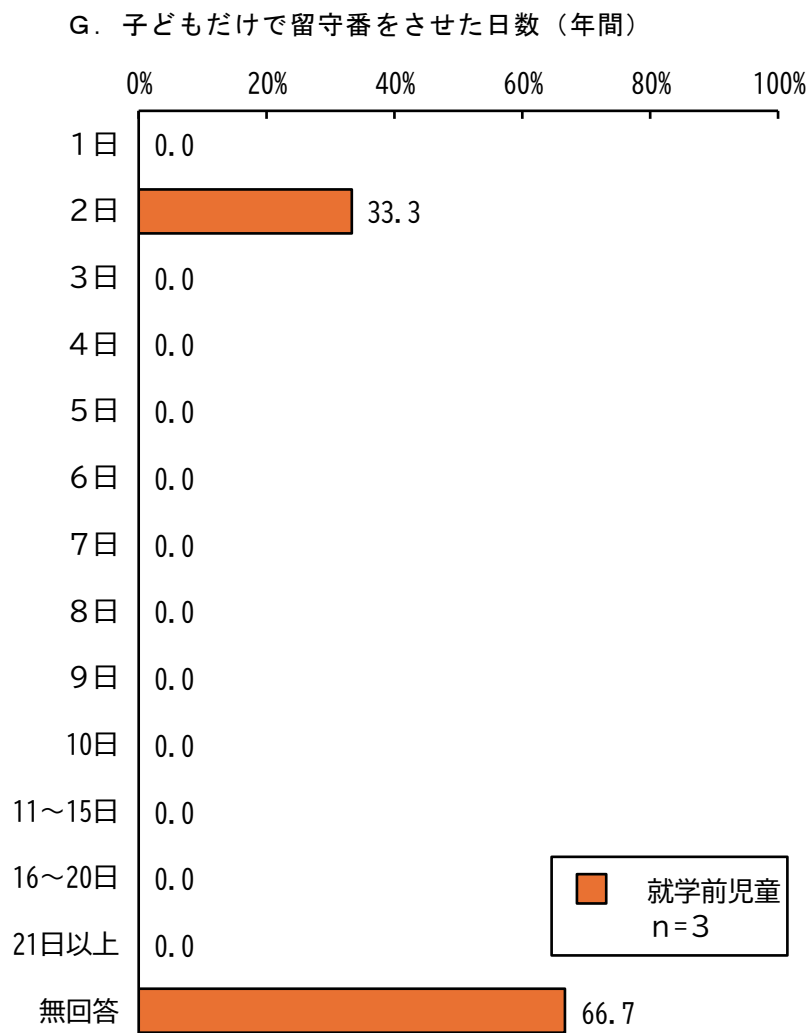
F. ベビーシッターのような預かり事業を利用した日数 (年間)





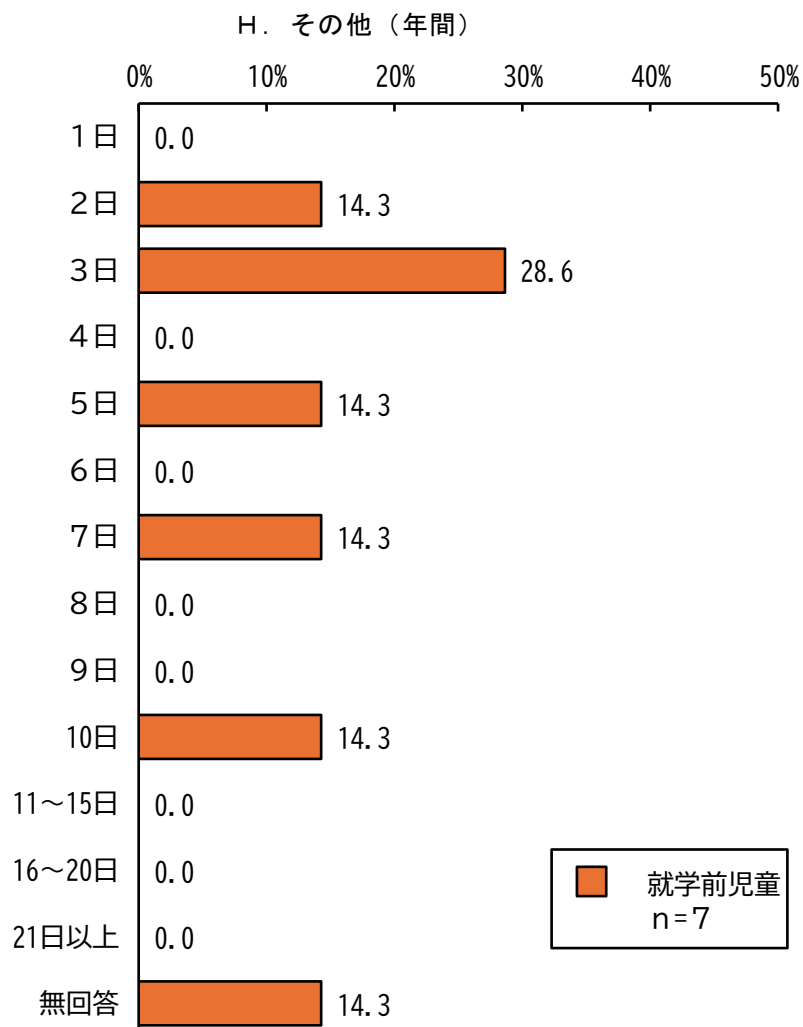
問 28- (1) G. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (年間日数)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「子どもだけで留守番をさせた日数 (年間)」では「2日」(33.3%) となっています。



問 28- (1) H. その他 (年間日数)

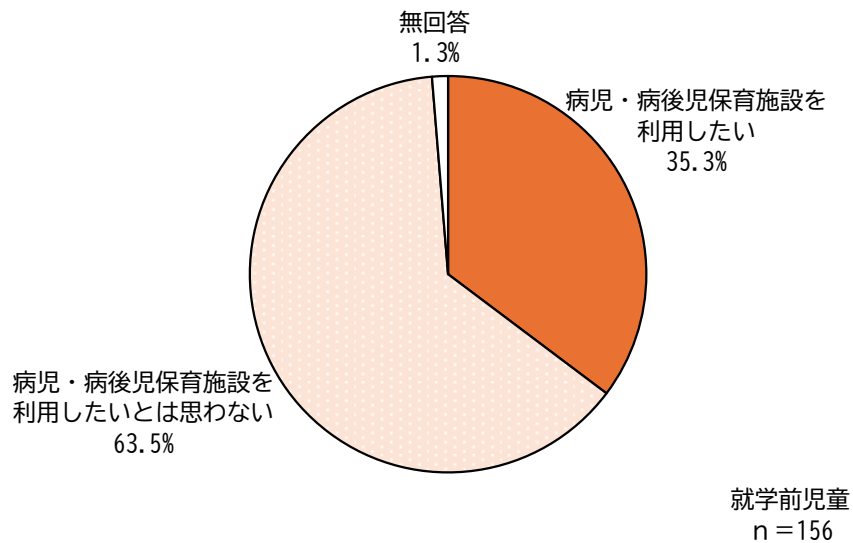
回答者が少ないため参考として掲載しますが、定期的な教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法について「その他 (年間)」では「3日」(28.6%)が最も多く、次いで「2日」「5日」「7日」「10日」(各 14.3%)となっています。



問 28- (2) 「母親が仕事などを休んだ」または「父親が仕事などを休んだ」のいずれかを選んだ方にうかがいます。その際、病児・病後児保育施設に預けたいと思われましたか。(あてはまるもの1つに○)

病児・病後児保育施設の利用意向については「病児・病後児保育施設を利用したいとは思わない」(63.5%)、「病児・病後児保育施設を利用したい」(35.3%)となっています。

問 28- (2) 母親・父親が休んだ方の病児・病後児保育施設利用意向

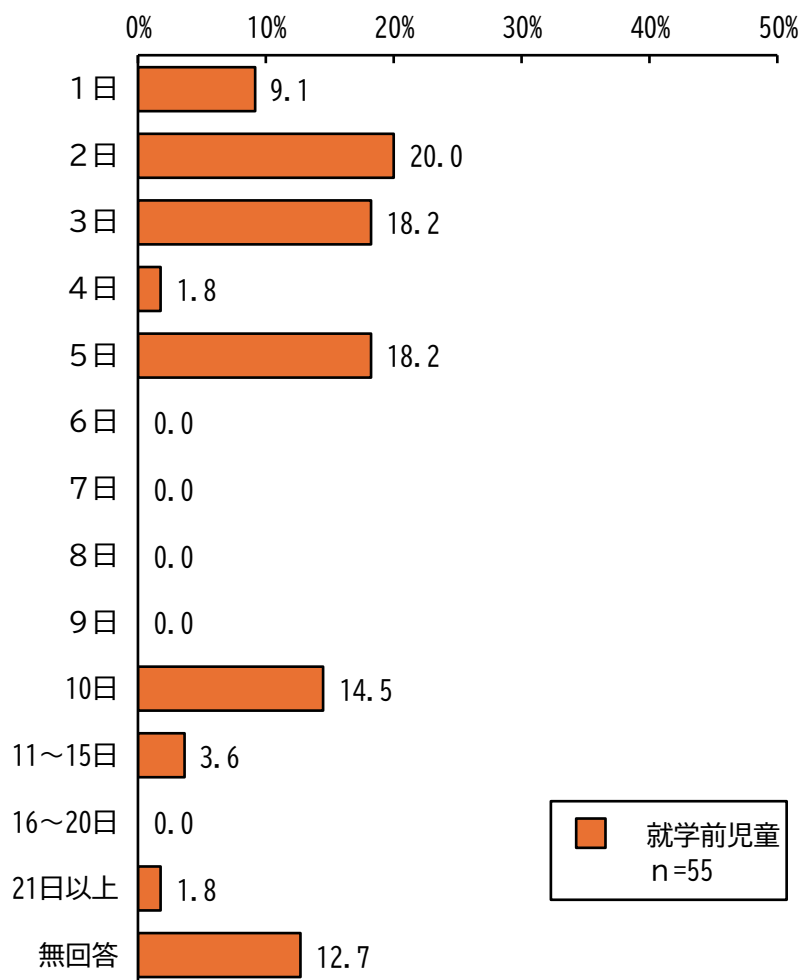


問 28- (2) A. 病児・病後児保育施設の希望年間利用日数

病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合の希望日数は「2日」(20.0%)が最も多く、次いで「3日」「5日」(各 18.2%)、「10日」(14.5%)となっています。

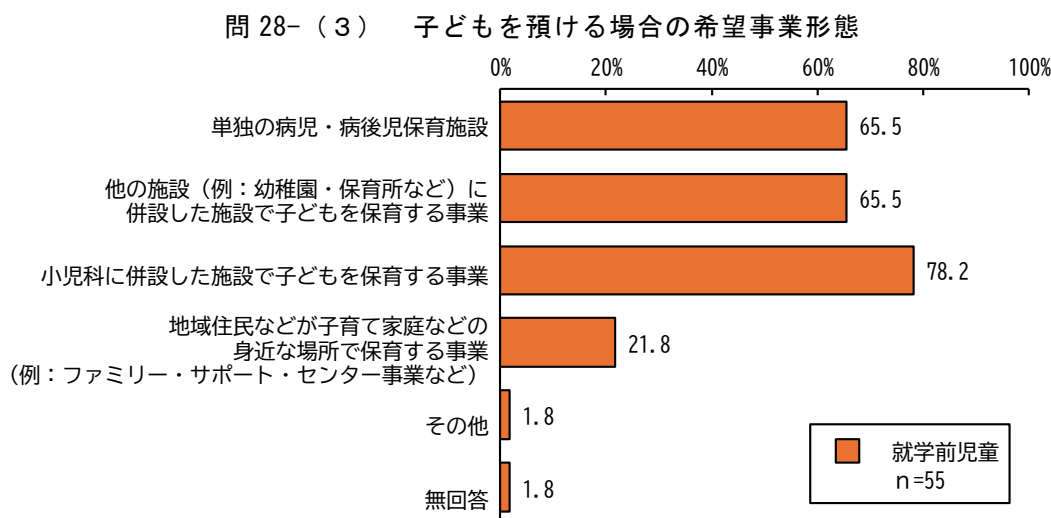
問 28- (2) 母親・父親が休んだ方の病児・病後児保育施設利用意向

A. 子どもを預ける場合の希望日数 (年間)



問 28- (3) 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

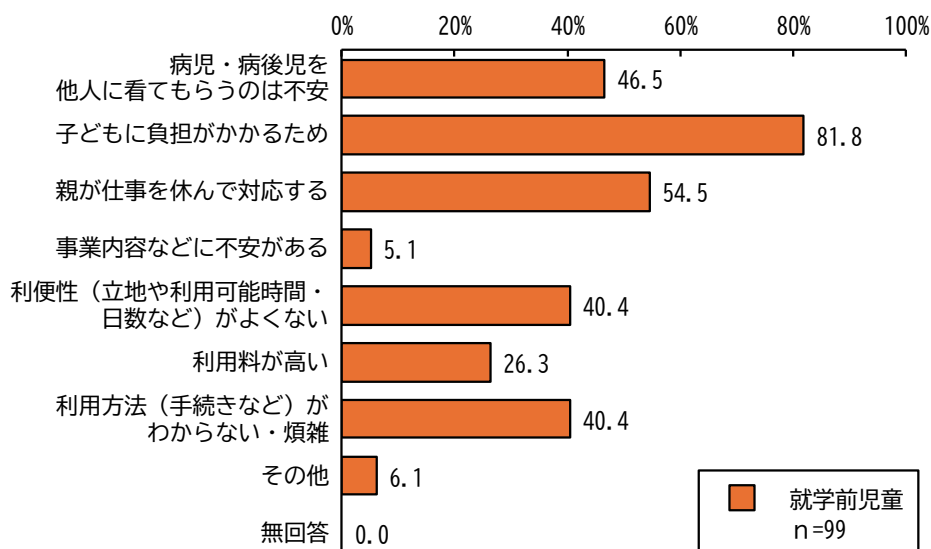
病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合の希望事業形態は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(78.2%)が最も多く、次いで「単独の病児・病後児保育施設」「他の施設(例：幼稚園・保育所など)に併設した施設で子どもを保育する事業」(各 65.5%)、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター事業など)」(21.8%)となっています。



問 28- (4) 病児・病後児保育施設を利用したいとは思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設を利用したいとは思わない理由については「子どもに負担がかかるため」(81.8%)が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(54.5%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(46.5%)となっています。

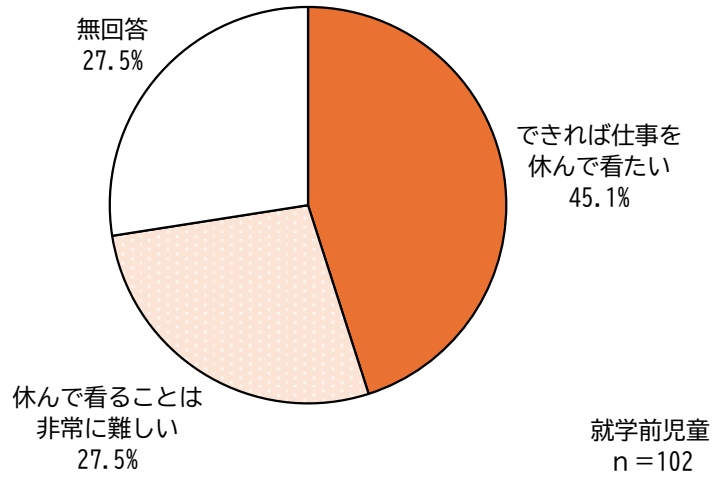
問 28- (4) 病児・病後児のための保育施設利用意向のない方の理由



【「母親が仕事などを休んだ」または「父親が仕事などを休んだ」以外のいずれかを選んだ方】  
問 28-（5） できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。（あてはまるもの1つに○）

父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについては「できれば仕事を休んで看たい」（45.1%）、「休んで看ることは非常に難しい」（27.5%）となっています。

問 28-（5） 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向

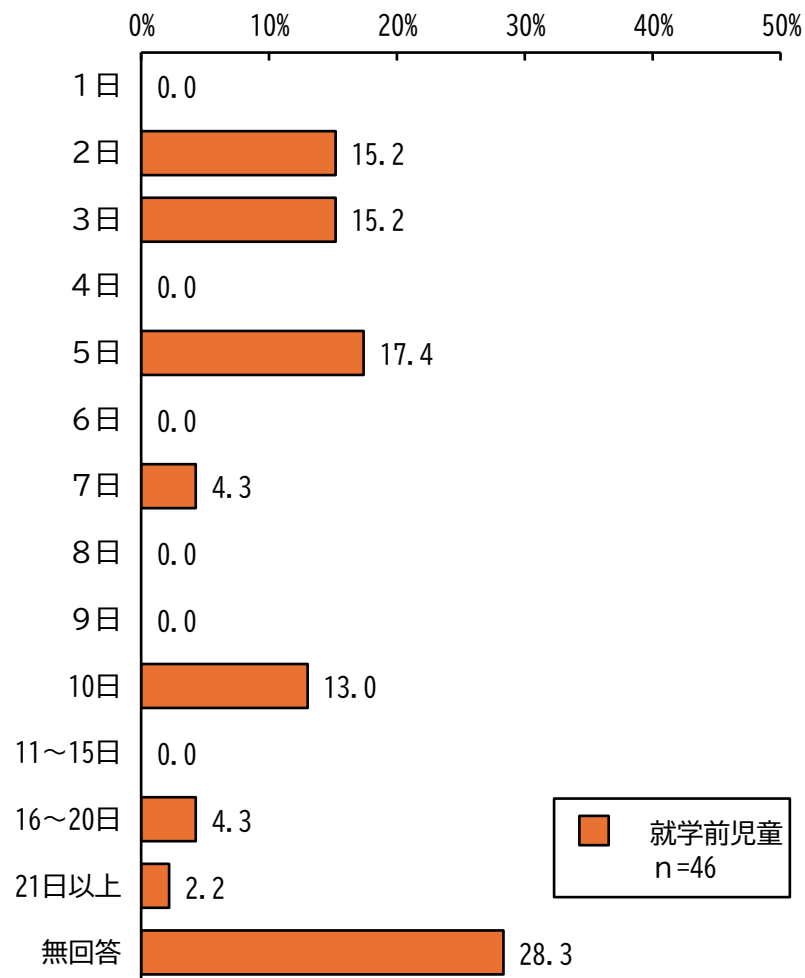


【「母親が仕事などを休んだ」または「父親が仕事などを休んだ」以外のいずれかを選んだ方】

問 28-（5） できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。（あてはまるもの1つに○） A. 仕事を休んで看たかった日数（年間）

仕事を休んで看たかった日数は「5日」（17.4%）が最も多く、次いで「2日」「3日」（各 15.2%）、「10日」（13.0%）となっています。

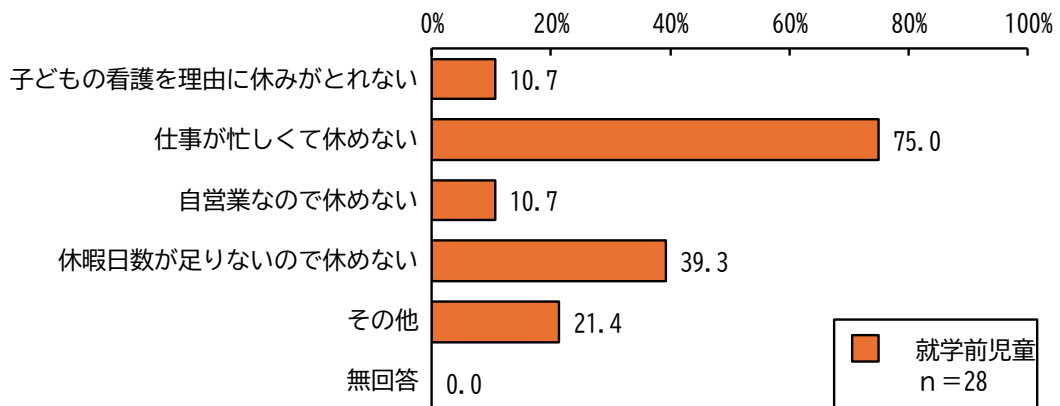
問 28-（5） 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の、「父母が休んで看たい」意向  
A. 仕事を休んで看たかった日数（年間）



問 28- (6) 仕事を休んで看ることが難しい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事を休んで看ることが難しい理由については「仕事が忙しくて休めない」(75.0%)が最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(39.3%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「自営業なので休めない」(各 10.7%)となっています。

問 28- (6) 「仕事を休んで看ことは非常に難しい」と回答した理由





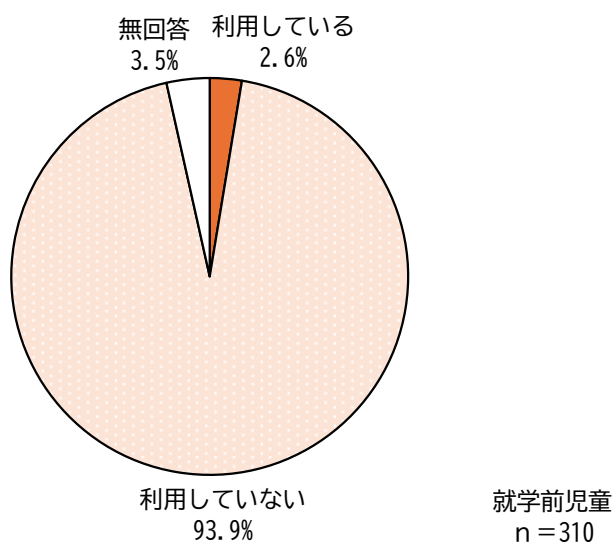
## 8 不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの現状と今後の意向について

### (1) 不規則の一時保育の利用について

問 29 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育やお子さんの病気のため以外に、保護者の用事（冠婚葬祭など）、保護者・家族の病気・通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。（あてはまるもの1つに○）

不規則の一時保育事業の利用については「利用していない」（93.9%）、「利用している」（2.6%）となっています。

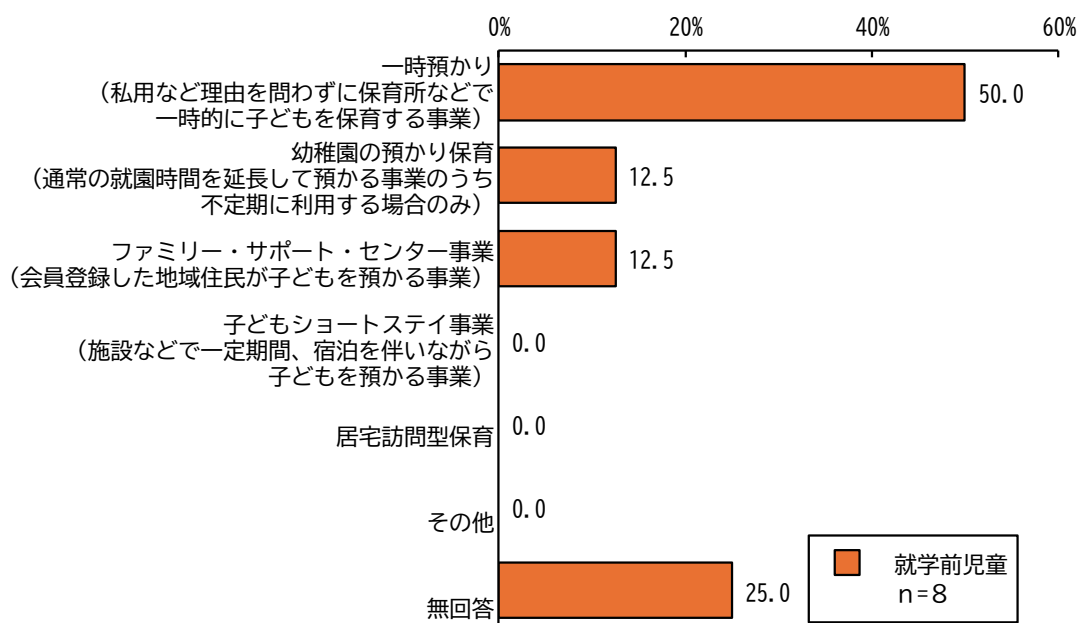
問 29 不規則の一時保育事業の利用有無



問 29- (1) 利用している事業は何ですか。(あてはまるすべてに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時保育事業については「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」(50.0%) が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」「ファミリー・サポート・センター事業（会員登録した地域住民が子どもを預かる事業）」（各 12.5%）となっています。

問 29- (1) 不定期の一時保育事業の利用状況



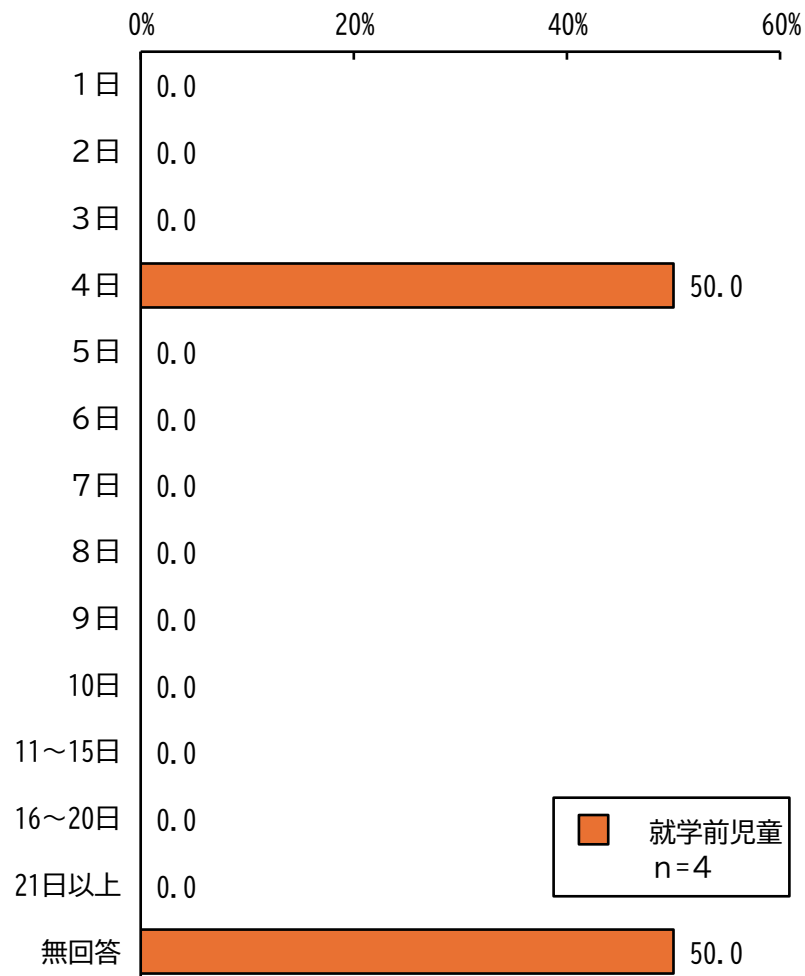
問 29- (1) 利用している事業は何ですか。(あてはまるすべてに○)

A. 一時預かりの利用日数 (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時保育事業について「一時預かりの利用日数(年間)」では「4日」(50.0%)となっています。

問 29- (1) 不定期の一時保育事業の利用状況

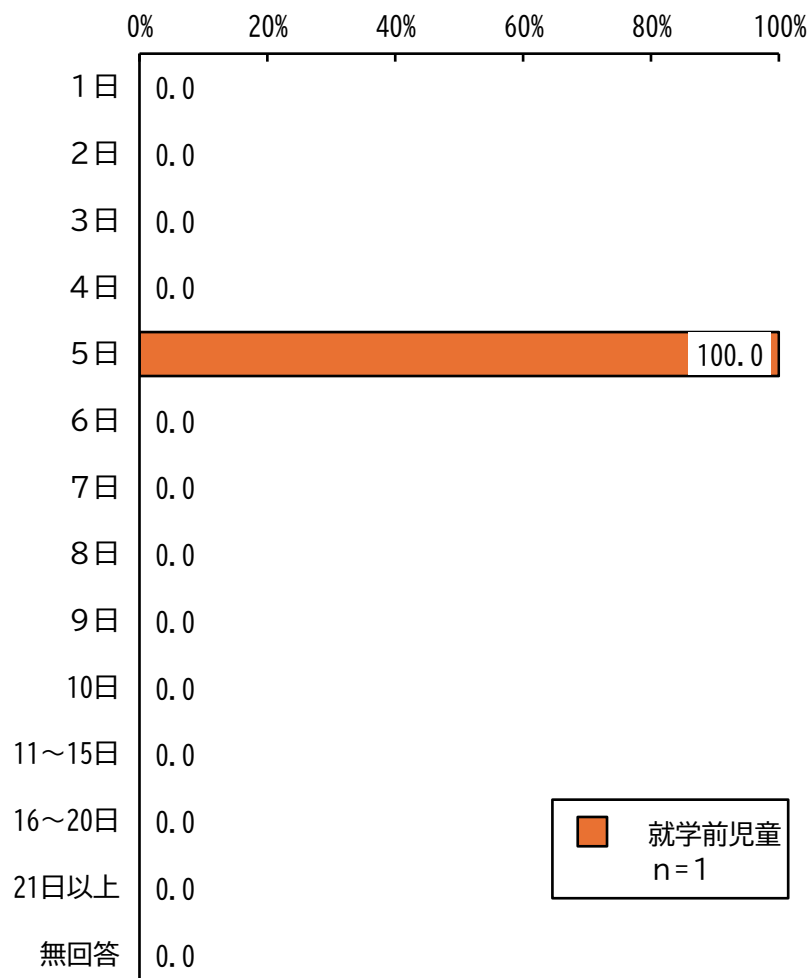
A. 一時預かりの利用日数 (年間)



問 29- (1) B. 幼稚園の預かり保育の利用日数 (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時保育事業について「幼稚園の預かり保育の利用日数 (年間)」では「5日」(100.0%)となっています。

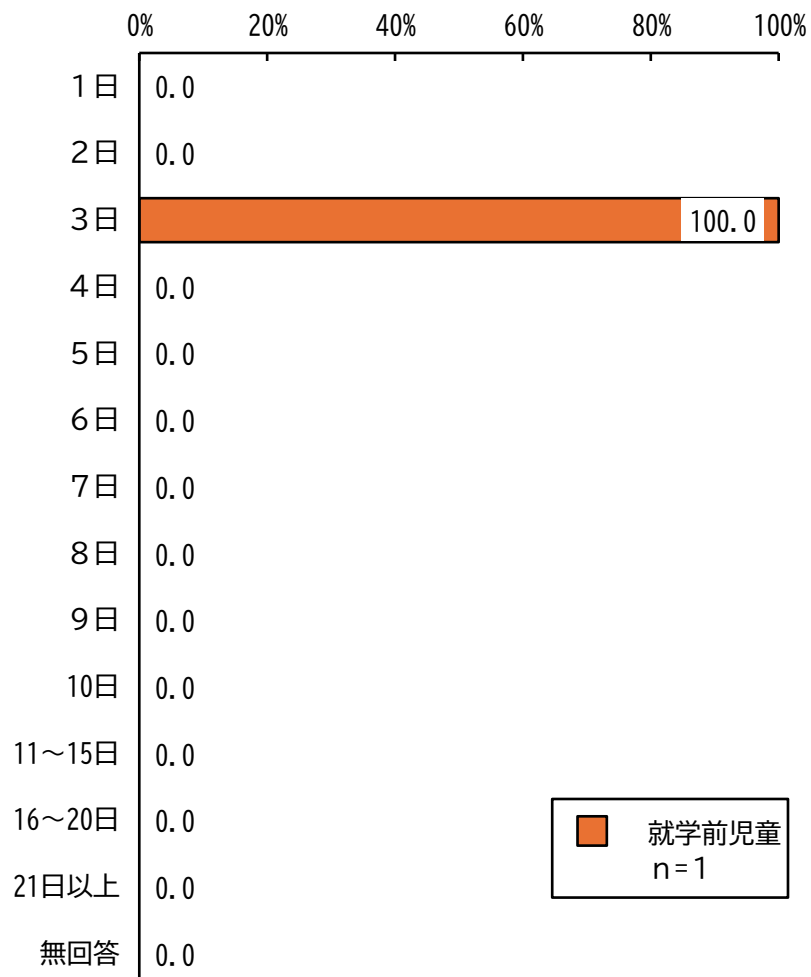
B. 幼稚園の預かり保育の利用日数 (年間)



問 29- (1) C. ファミリー・サポート・センター事業の利用日数 (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時保育事業について「ファミリー・サポート・センター事業の利用日数 (年間)」では「3日」(100.0%) となっています。

C. ファミリー・サポート・センター事業の利用日数 (年間)



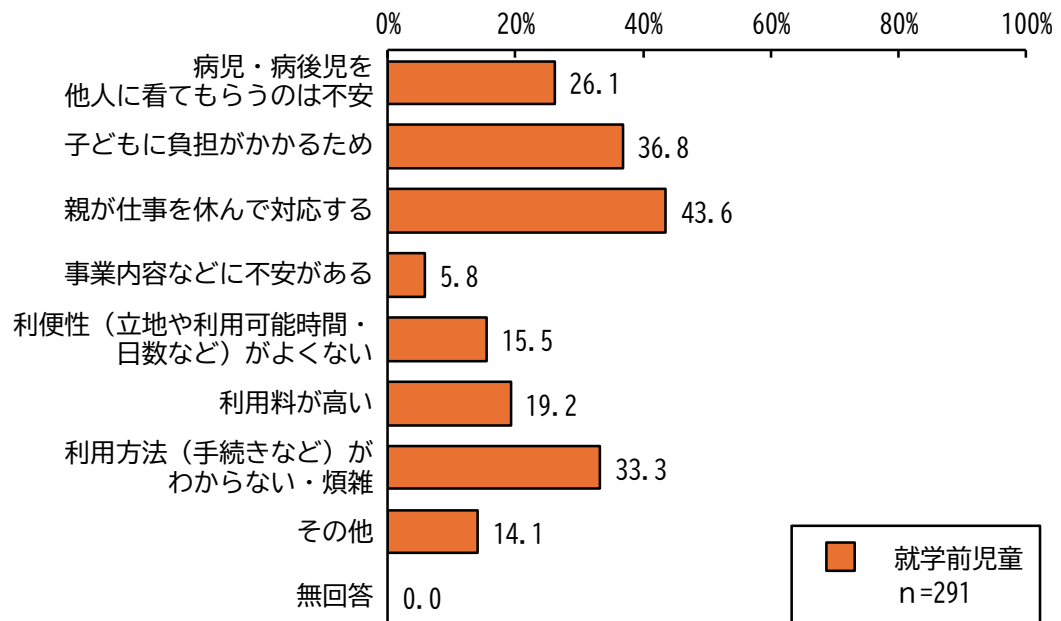
問 29- (1) 「D. 子どもショートステイ事業の利用日数 (年間)」、「E. 居宅訪問型保育の利用日数 (年間)」、「F. その他の利用日数 (年間)」について

回答者がいないため省略。

問 29- (2) 利用していないを選んだ方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の一時保育事業を利用していない理由は「親が仕事を休んで対応する」(43.6%)が最も多く、次いで「子どもに負担がかかるため」(36.8%)、「利用方法(手続きなど)がわからない・煩雑」(33.3%)となっています。

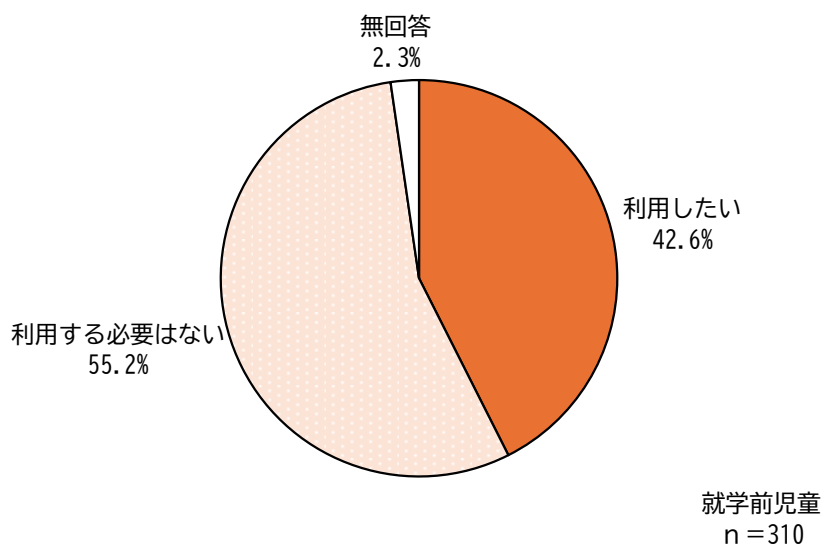
問 29- (2) 不定期の一時保育を利用していない理由



問 30 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭など）、保護者・家族の病気・通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい預かり事業を利用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

一時保育事業の利用については「利用する必要はない」（55.2%）、「利用したい」（42.6%）となっています。

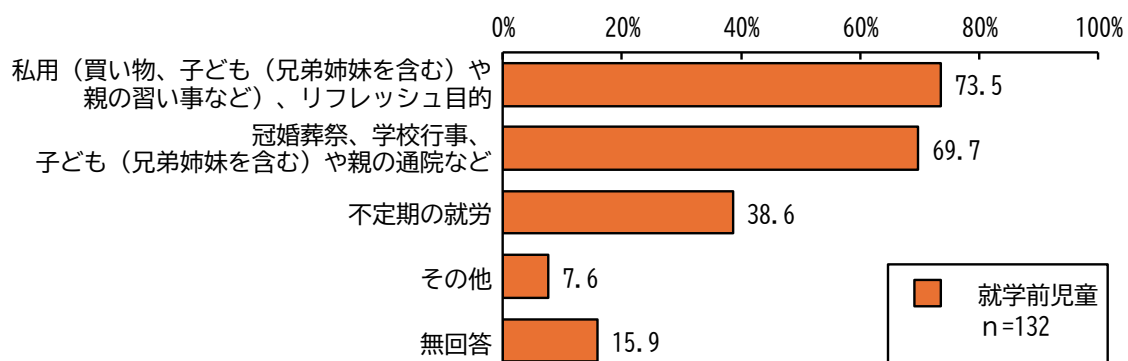
問 30 一時保育事業の利用希望



問 30-1 利用に当たっての目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

一時保育事業の利用目的については「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」（73.5%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」（69.7%）、「不定期の就労」（38.6%）となっています。

問 30-1 一時保育事業の利用目的



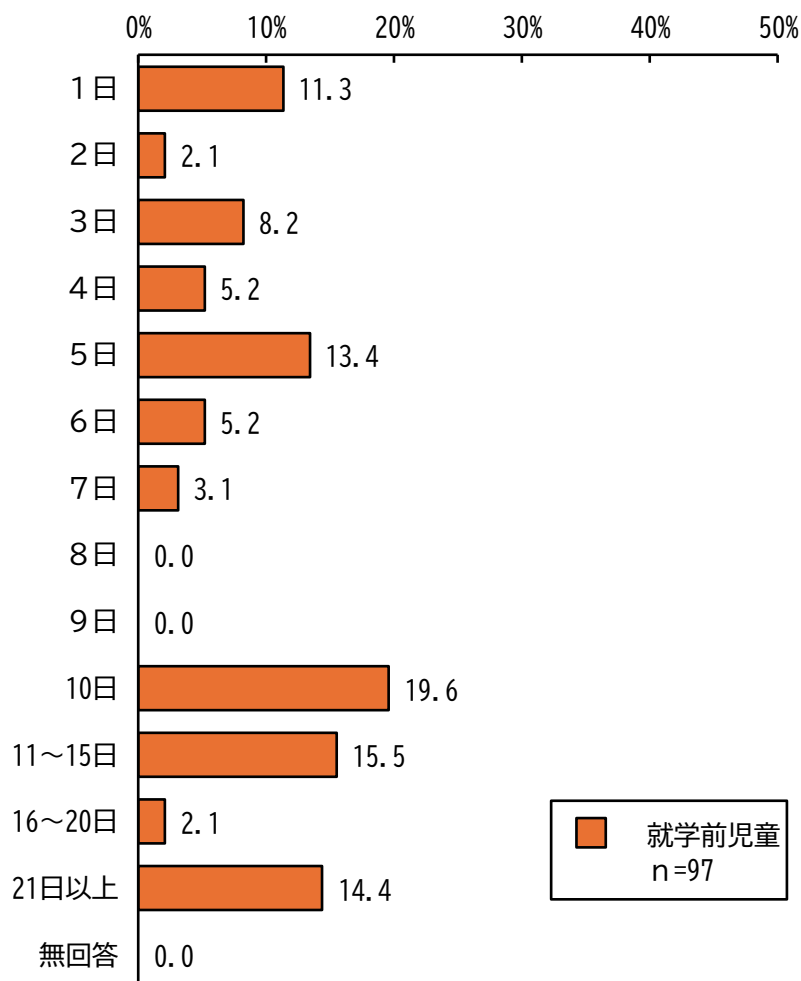
問 30-1 利用に当たっての目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

A. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的の利用希望日数(年間)

一時保育事業の利用目的について「私用、リフレッシュ目的の利用希望日数(年間)」では「10日」(19.6%)が最も多く、次いで「11~15日」(15.5%)、「21日以上」(14.4%)となっています。

問 30-1 一時保育事業の利用目的

A. 私用、リフレッシュ目的の利用希望日数(年間)

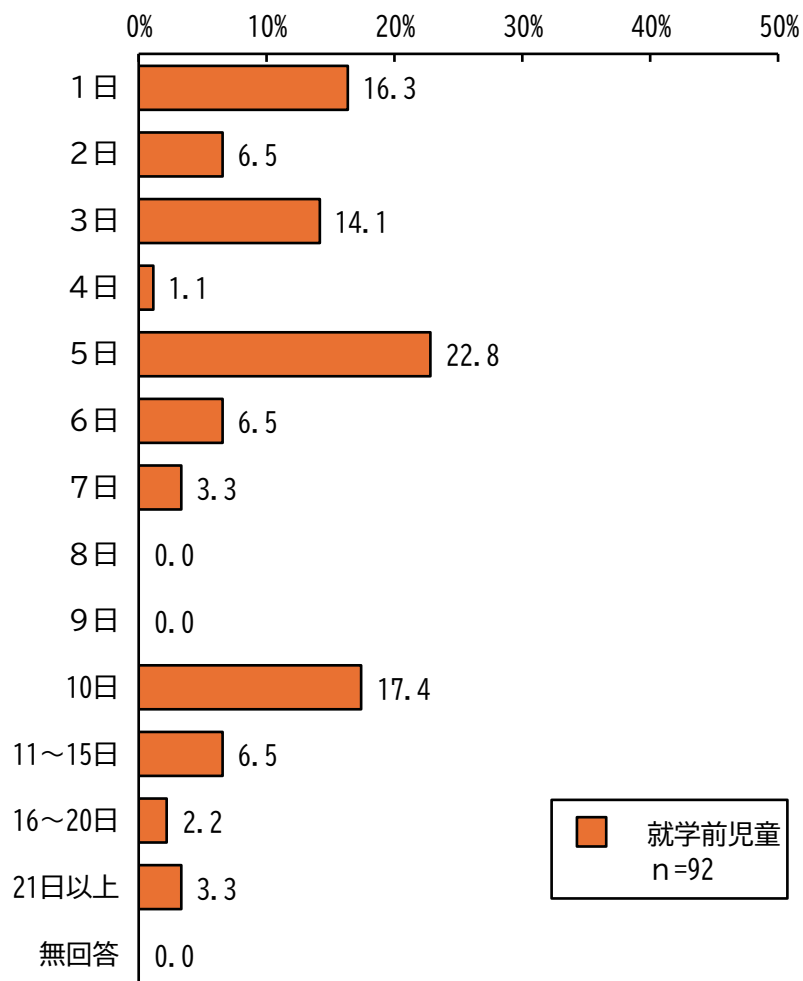




問 30-1 B. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの利用希望日数（年間）

一時保育事業の利用目的について「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの利用希望日数（年間）」では「5日」（22.8%）が最も多く、次いで「10日」（17.4%）、「1日」（16.3%）となっています。

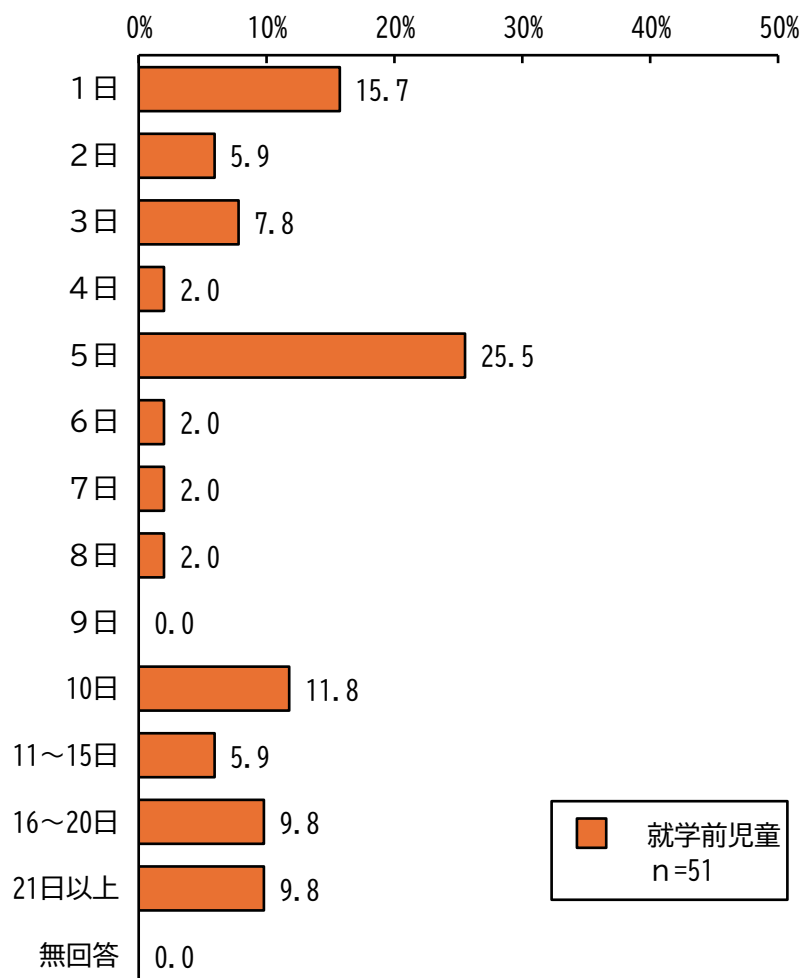
B. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの利用希望日数（年間）



問 30-1 C. 不定期の就労での利用希望日数（年間）

一時保育事業の利用目的について「不定期の就労での利用希望日数（年間）」では「5日」（25.5%）が最も多く、次いで「1日」（15.7%）、「10日」（11.8%）となっています。

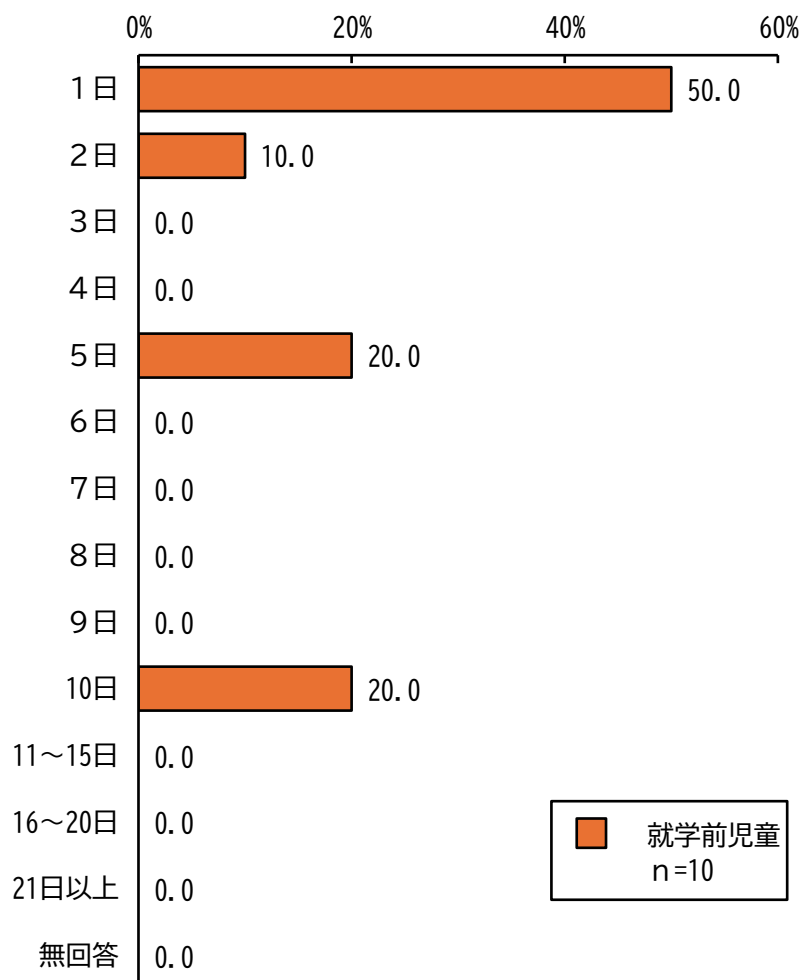
C. 不定期の就労での利用希望日数（年間）



問 30-1 D. その他での利用希望日数（年間）

一時保育事業の利用目的について「その他での利用希望日数（年間）」では「1日」(50.0%)が最も多く、次いで「5日」「10日」(各 20.0%)、「2日」(10.0%)となっています。

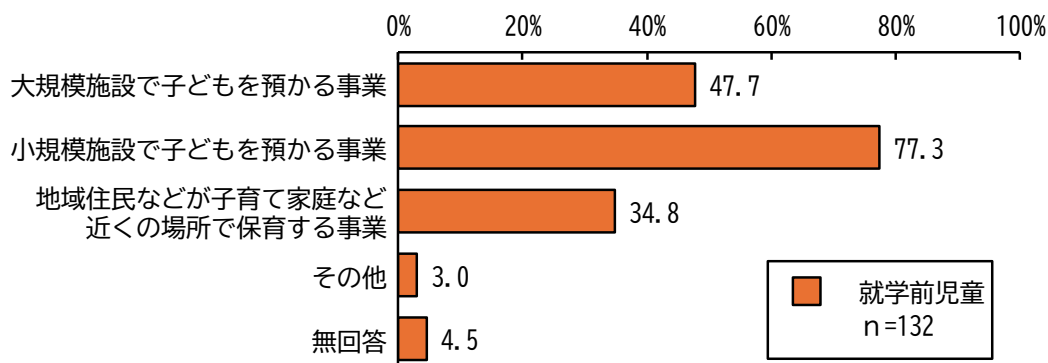
D. その他での利用希望日数（年間）



問 30- (1) 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもを預ける場合の望ましい事業形態は「小規模施設で子どもを預かる事業」(77.3%)が最も多く、次いで「大規模施設で子どもを預かる事業」(47.7%)、「地域住民などが子育て家庭など近くの場所で保育する事業」(34.8%)となっています。

問 30- (1) 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

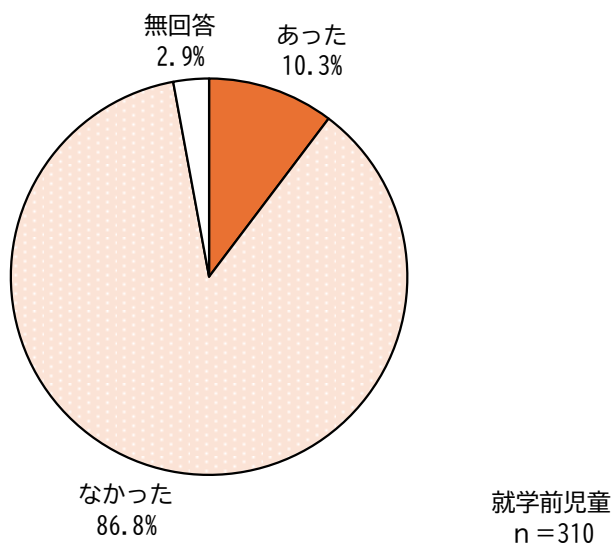


## (2) 宿泊を伴う一時保育の利用について

問 31 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)(あてはまるもの1つに○)

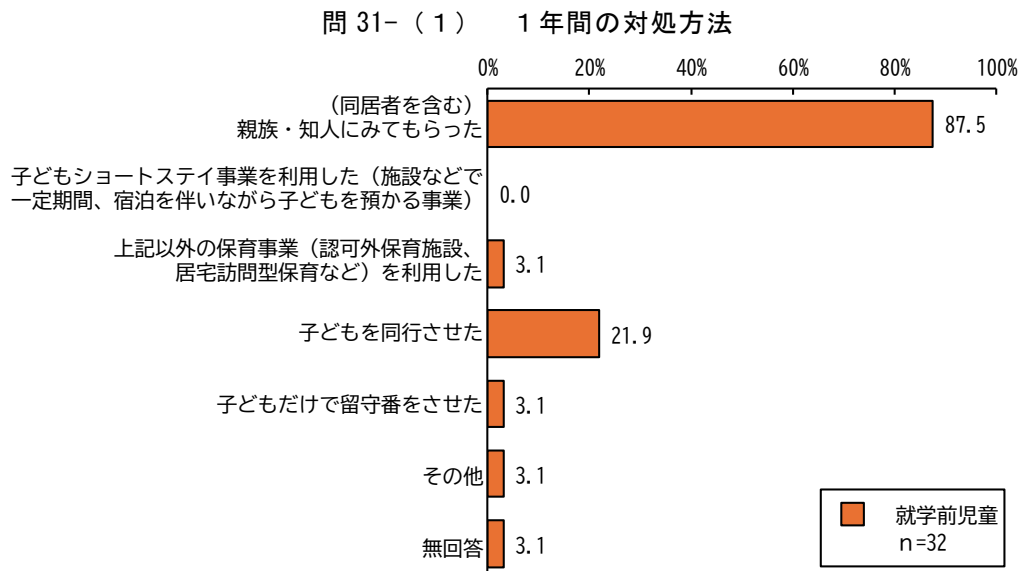
この1年間に保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことは「なかった」(86.8%)、「あった」(10.3%)となっています。

問 31 この1年間に保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



問 31- (1) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時にどのように対処しましたか。(あてはまるものすべてに○)

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法については「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(87.5%)が最も多く、次いで「子どもを同行させた」(21.9%)、「上記以外の保育事業(認可外保育施設、居宅訪問型保育など)を利用した」「子どもだけで留守番をさせた」(各 3.1%)となっています。



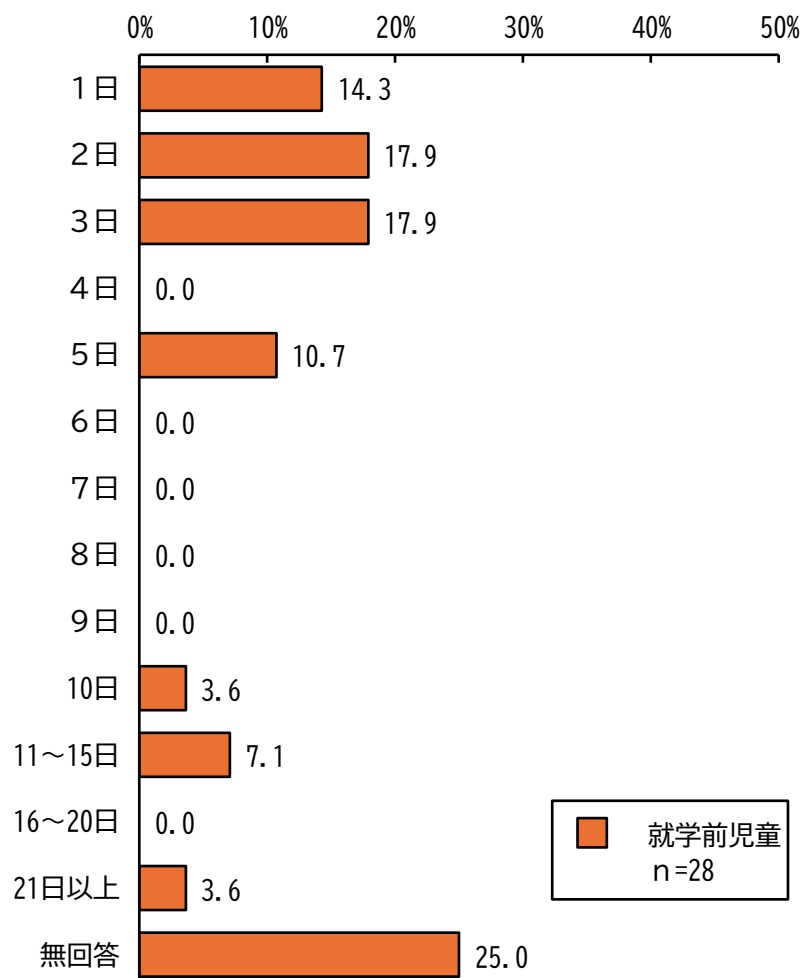
問 31- (1) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時にどのように対処しましたか。(あてはまるものすべてに○)

A. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった(年間)

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数」では「2日」「3日」(各 17.9%)が最も多く、次いで「1日」(14.3%)、「5日」(10.7%)となっています。

問 31- (1) 1年間の対処方法

A. (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数



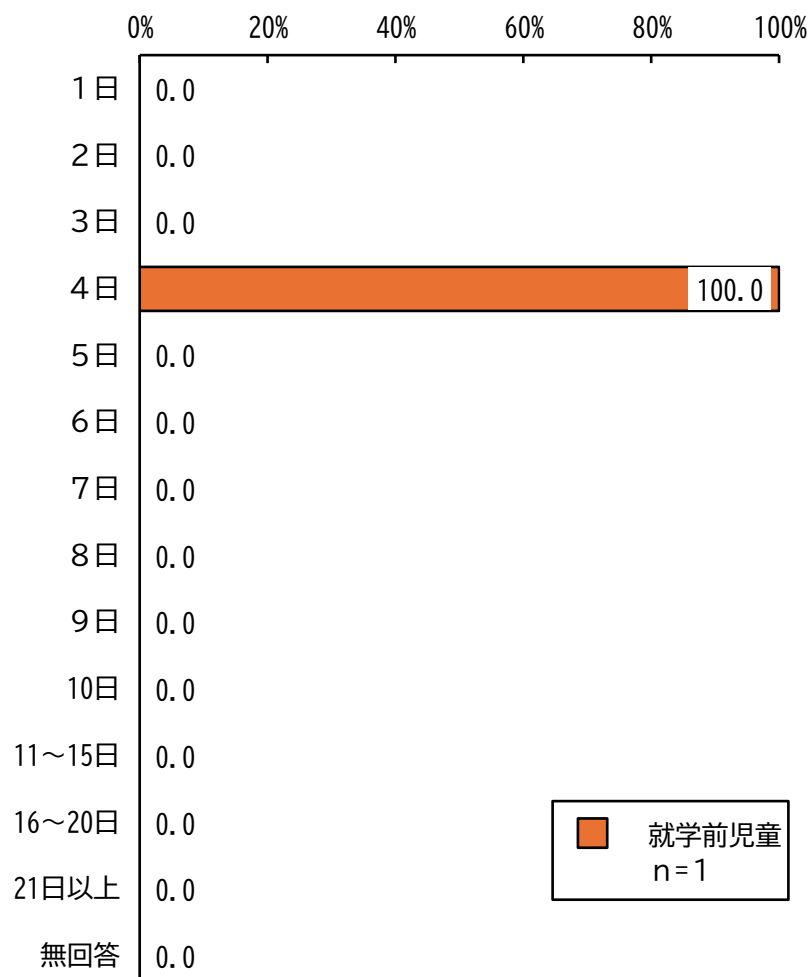
問 31- (1) B. 子どもショートステイ事業を利用した(施設などで一定期間、宿泊を伴いながら子どもを預かる事業)(年間)

回答者がいないため省略。

問 31- (1) C. 認可外保育施設、居宅訪問型保育などを利用した (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「認可外保育施設、居宅訪問型保育などを利用した日数」では「4日」(100.0%)となっています。

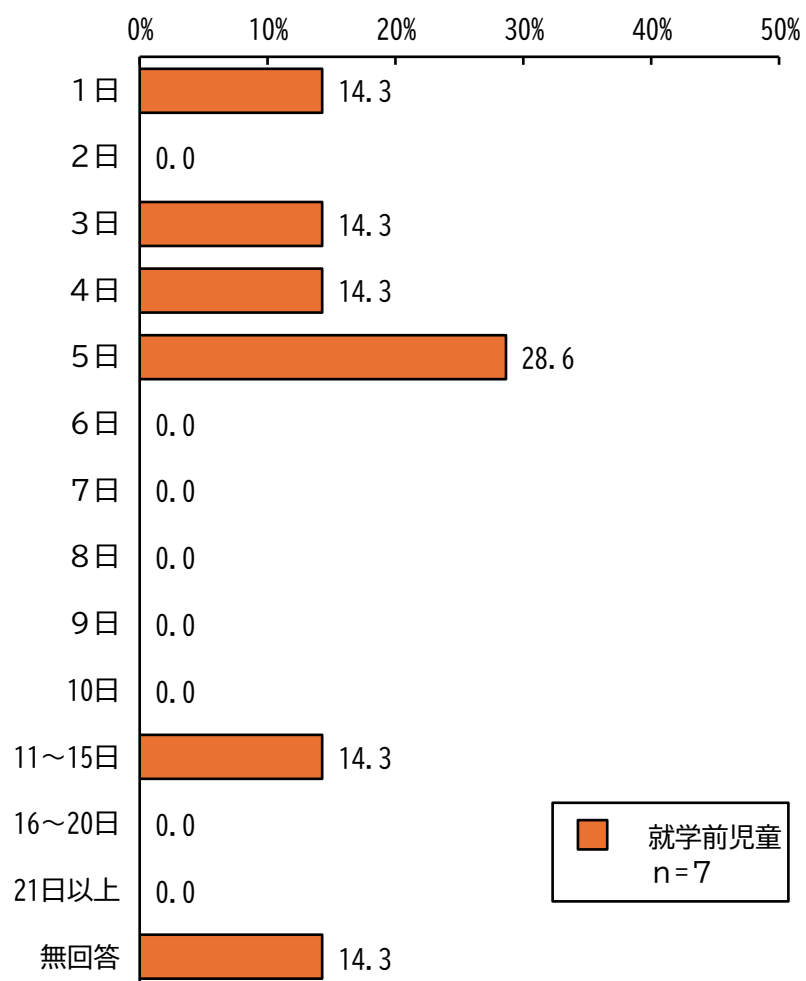
C. 認可外保育施設、居宅訪問型保育などを利用した日数



問 31- (1) D. 子どもを同行させた (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「子どもを同行させた日数」では「5日」(28.6%)が最も多く、次いで「1日」「3日」「4日」「11～15日」(各 14.3%)となっています。

D. 子どもを同行させた日数

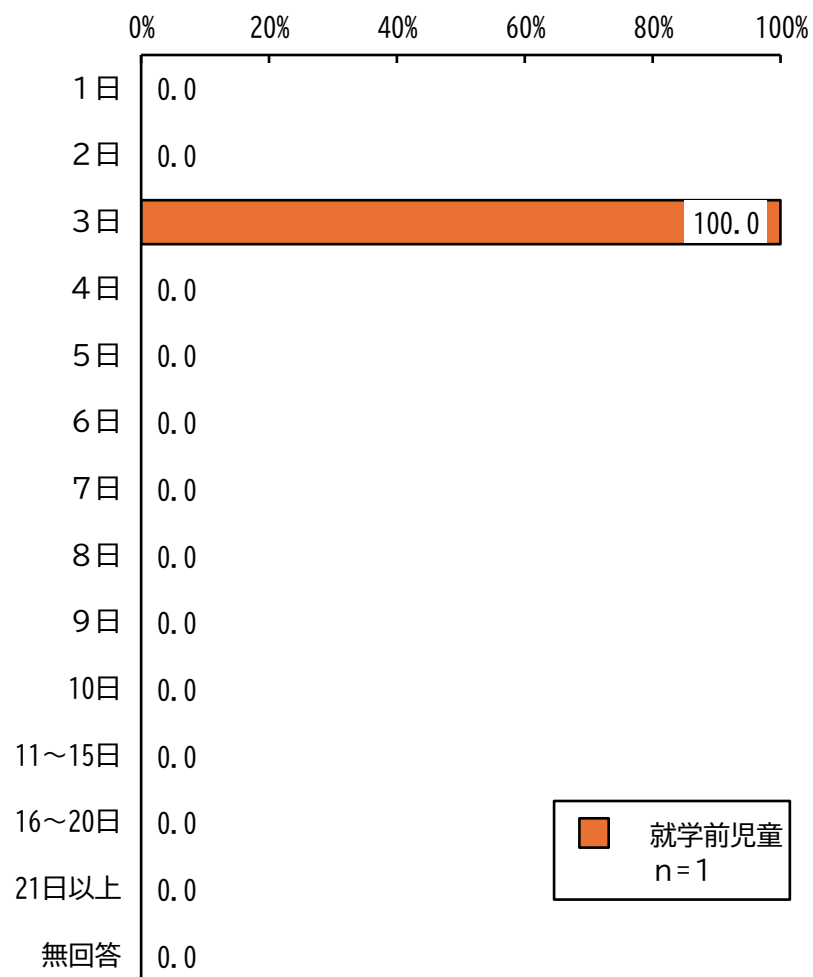




問 31- (1) E. 子どもだけで留守番をさせた (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「子どもだけで留守番をさせた日数」では「3日」(100.0%)となっています。

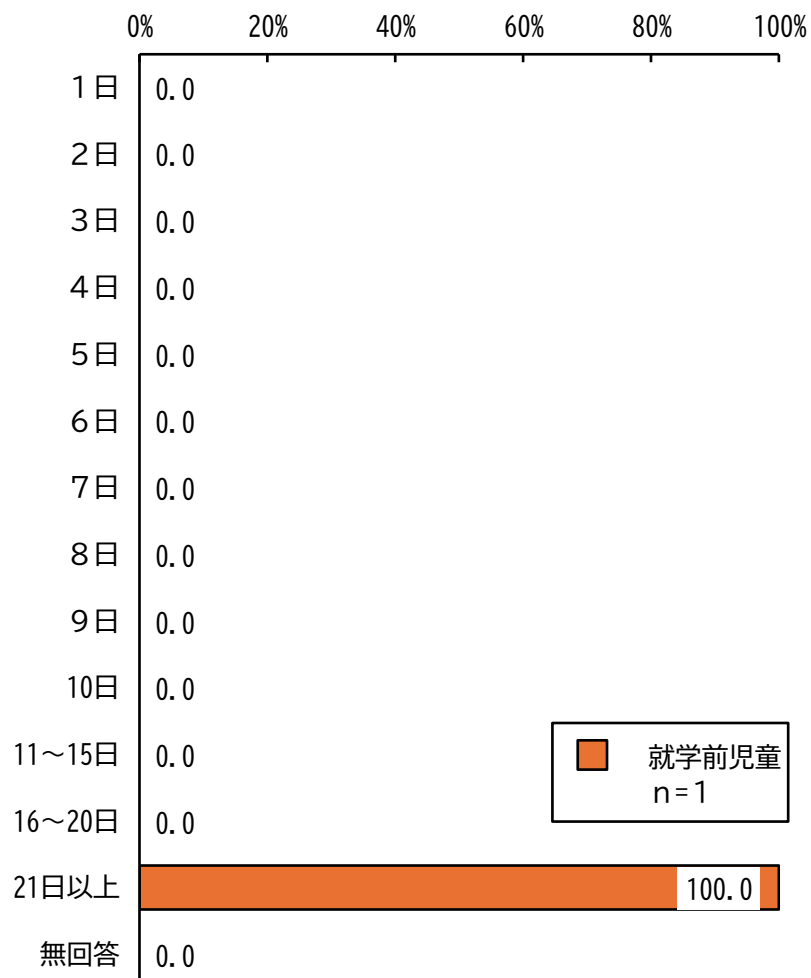
E. 子どもだけで留守番をさせた日数



問 31- (1) F. その他を利用した (年間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「その他を利用した日数」では「21日以上」(100.0%)となっています。

F. その他を利用した日数



## 9 放課後の過ごし方の希望について

### (1) 平日の放課後の過ごし方の希望について

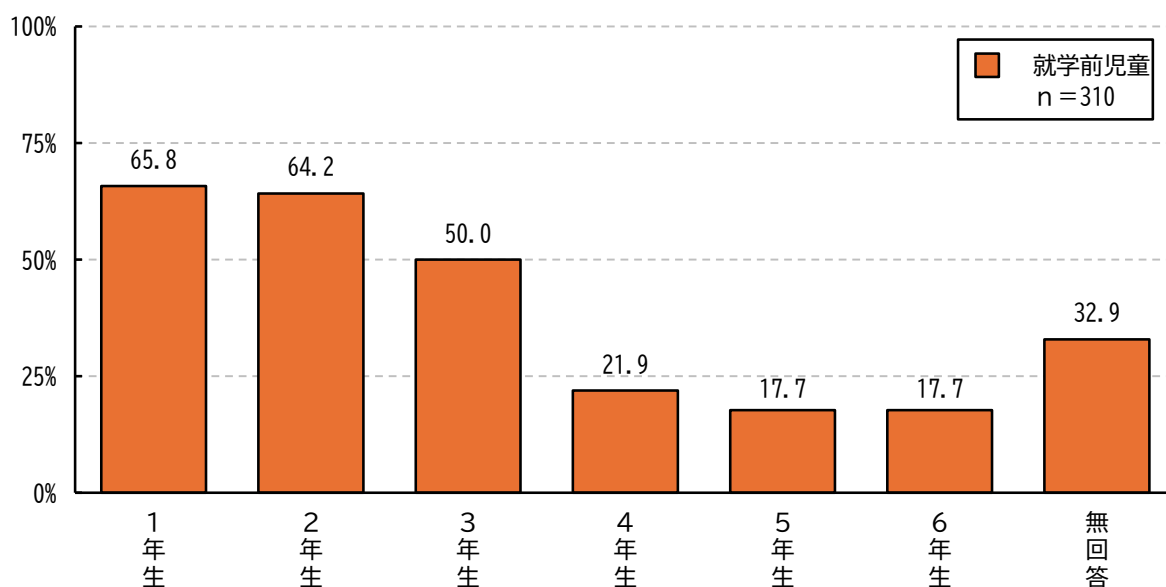
問 32 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（項目ごとにあてはまる学年すべてに○）

#### A. 学童クラブを利用する

平日の放課後の過ごし方について「学童クラブを利用する」では「1年生」（65.8%）が最も多く、次いで「2年生」（64.2%）、「3年生」（50.0%）となっています。

問 32 平日の放課後の過ごし方の希望

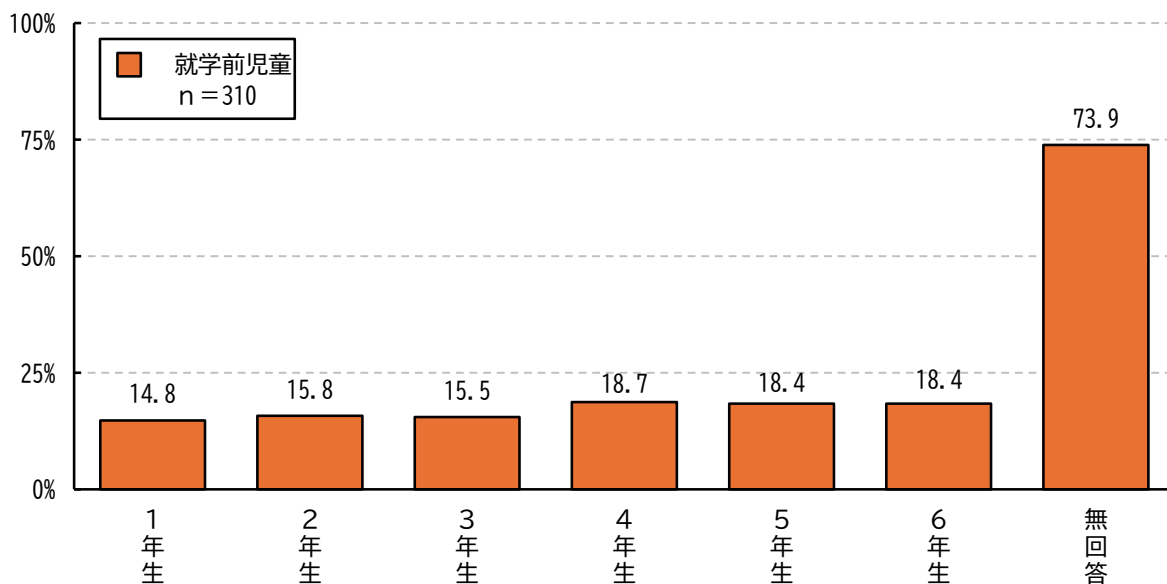
#### A. 学童クラブを利用する



問 32 B. 児童館・iプラザ・図書館を利用する

平日の放課後の過ごし方について「児童館・iプラザ・図書館を利用する」では「4年生」(18.7%)が最も多く、次いで「5年生」「6年生」(各 18.4%)、「2年生」(15.8%)となっています。

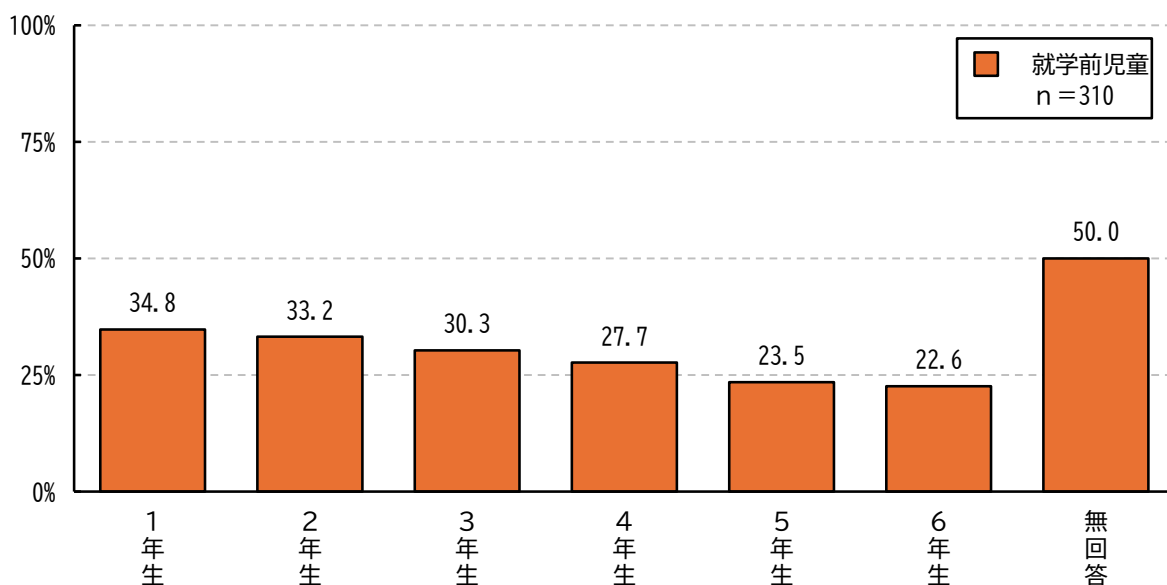
B. 児童館・iプラザ・図書館を利用する



問 32 C. 放課後子ども教室を利用する

平日の放課後の過ごし方について「放課後子ども教室を利用する」では「1年生」(34.8%)が最も多く、次いで「2年生」(33.2%)、「3年生」(30.3%)となっています。

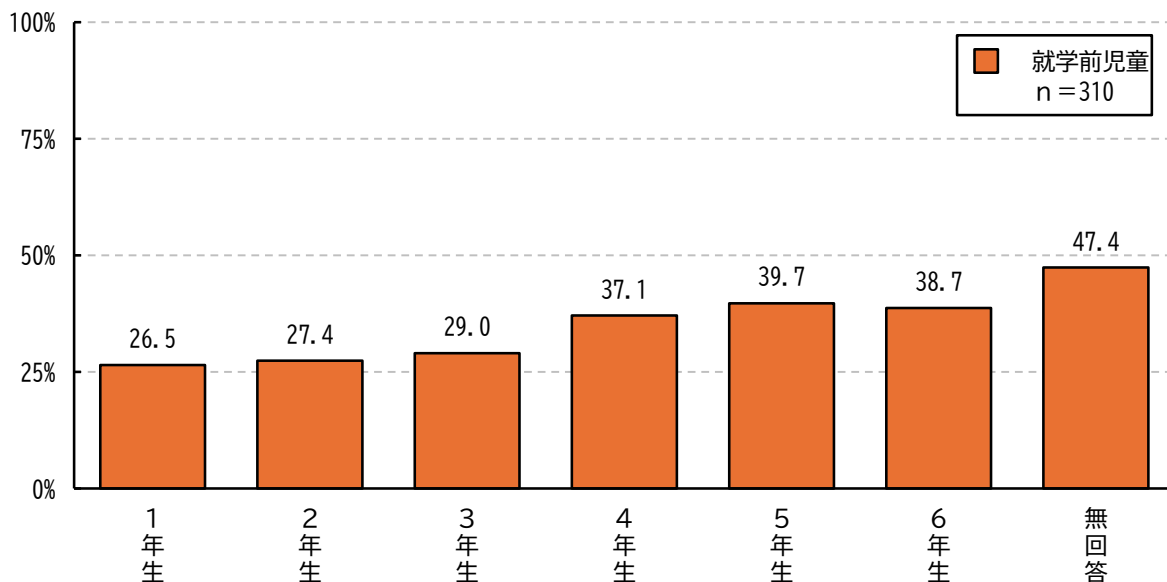
C. 放課後子ども教室を利用する



問 32 D. 塾やクラブ活動・習い事等をする

平日の放課後の過ごし方について「塾やクラブ活動・習い事等をする」では「5年生」(39.7%)が最も多く、次いで「6年生」(38.7%)、「4年生」(37.1%)となっています。

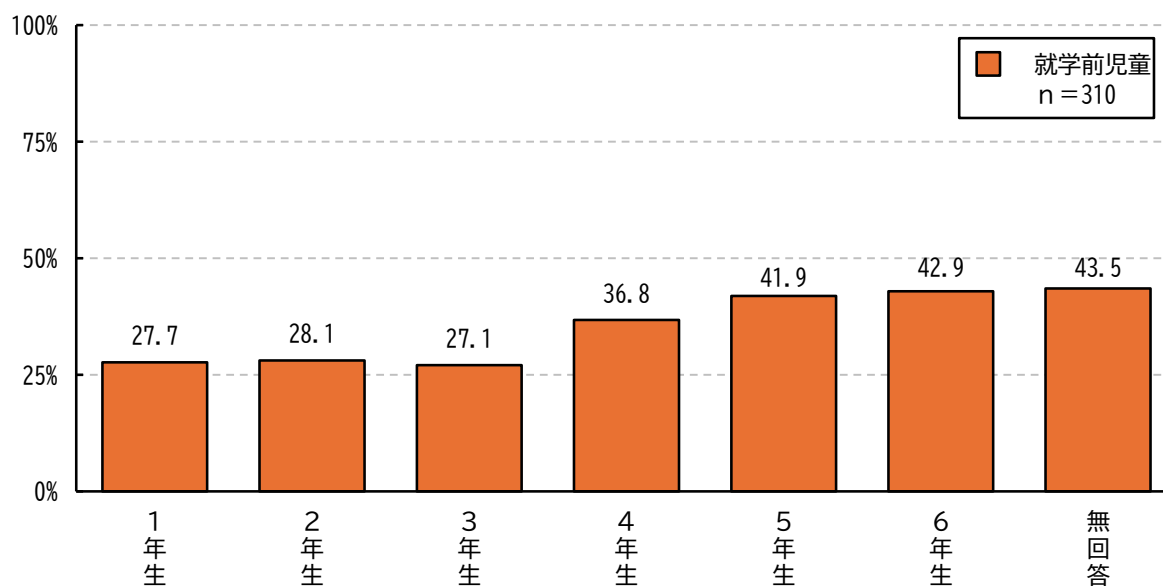
D. 塾やクラブ活動・習い事等をする



問 32 E. 自宅や公園等で自由に過ごす

平日の放課後の過ごし方について「自宅や公園等で自由に過ごす」では「6年生」(42.9%)が最も多く、次いで「5年生」(41.9%)、「4年生」(36.8%)となっています。

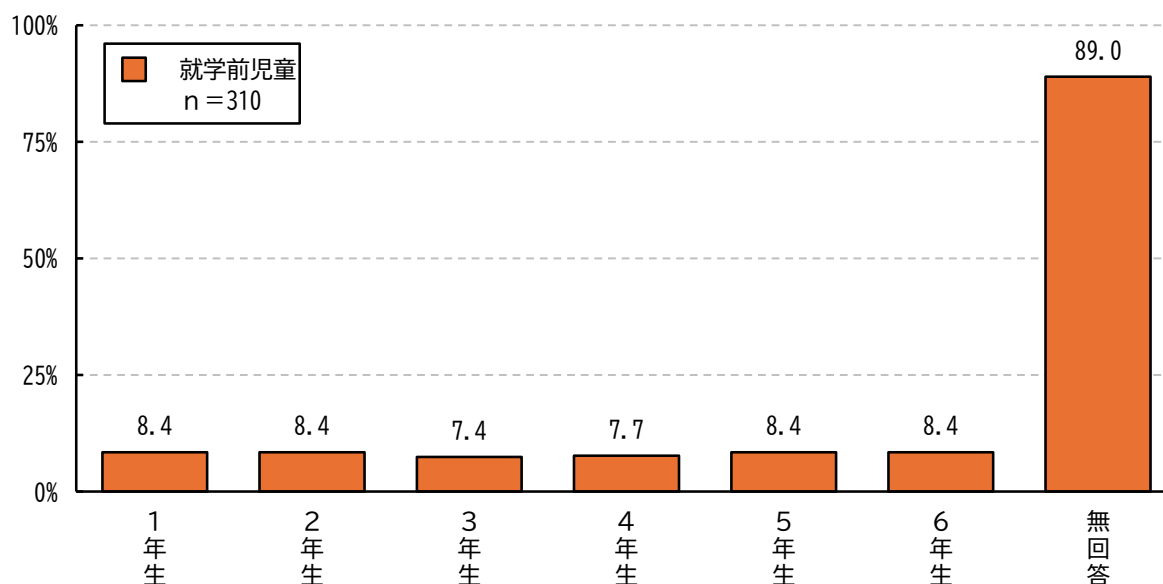
E. 自宅や公園等で自由に過ごす



問 32 F. 近隣の親族宅で過ごす

平日の放課後の過ごし方について「近隣の親族宅で過ごす」では「1年生」「2年生」「5年生」「6年生」(各 8.4%) が最も多く、次いで「4年生」(7.7%)、「3年生」(7.4%) となっています。

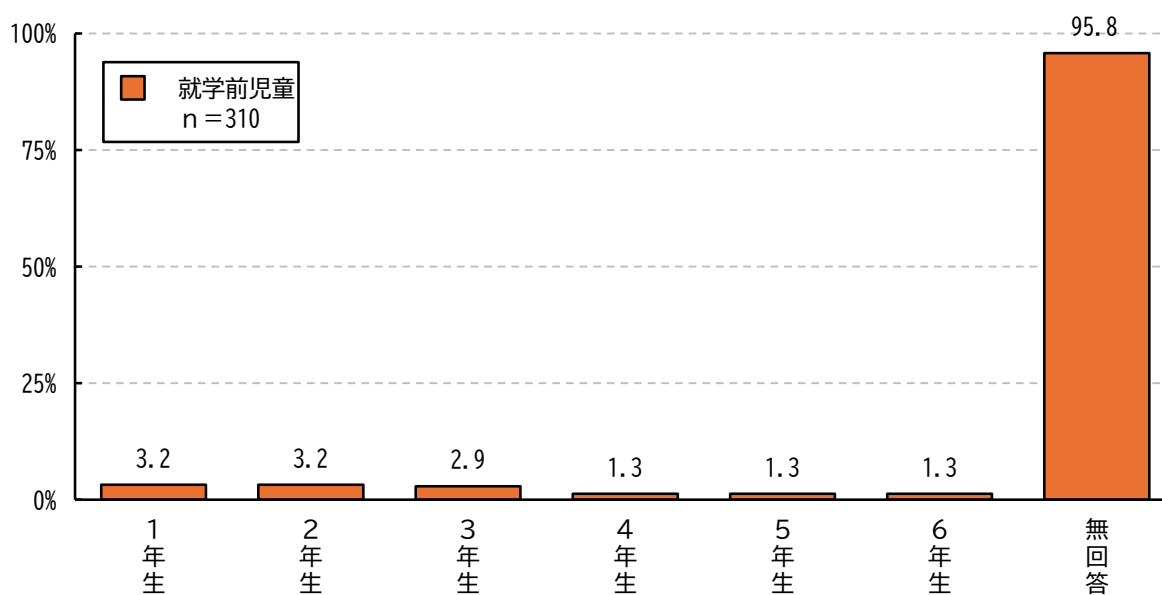
F. 近隣の親族宅で過ごす



問 32 G. ファミリー・サポート・センター事業を利用する

平日の放課後の過ごし方について「ファミリー・サポート・センター事業を利用する」では「1年生」「2年生」(各 3.2%) が最も多く、次いで「3年生」(2.9%)、「4年生」「5年生」「6年生」(各 1.3%) となっています。

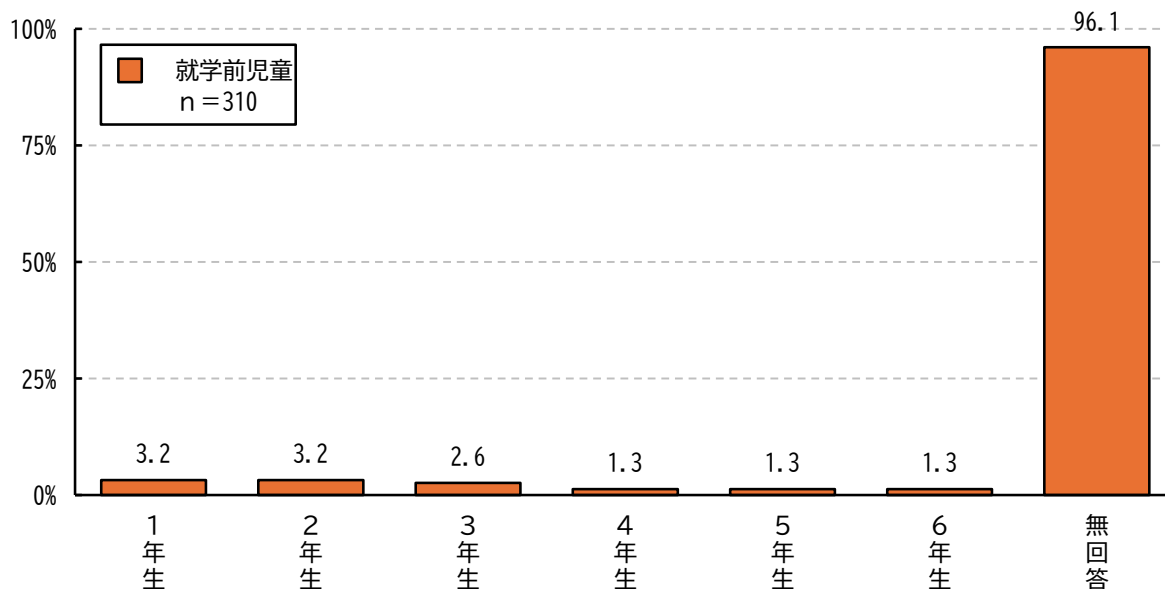
G. ファミリー・サポート・センター事業を利用する



問 32 H. 放課後等デイサービスを利用する

平日の放課後の過ごし方について「放課後等デイサービスを利用する」では「1年生」「2年生」(各 3.2%) が最も多く、次いで「3年生」(2.6%)、「4年生」「5年生」「6年生」(各 1.3%) となっています。

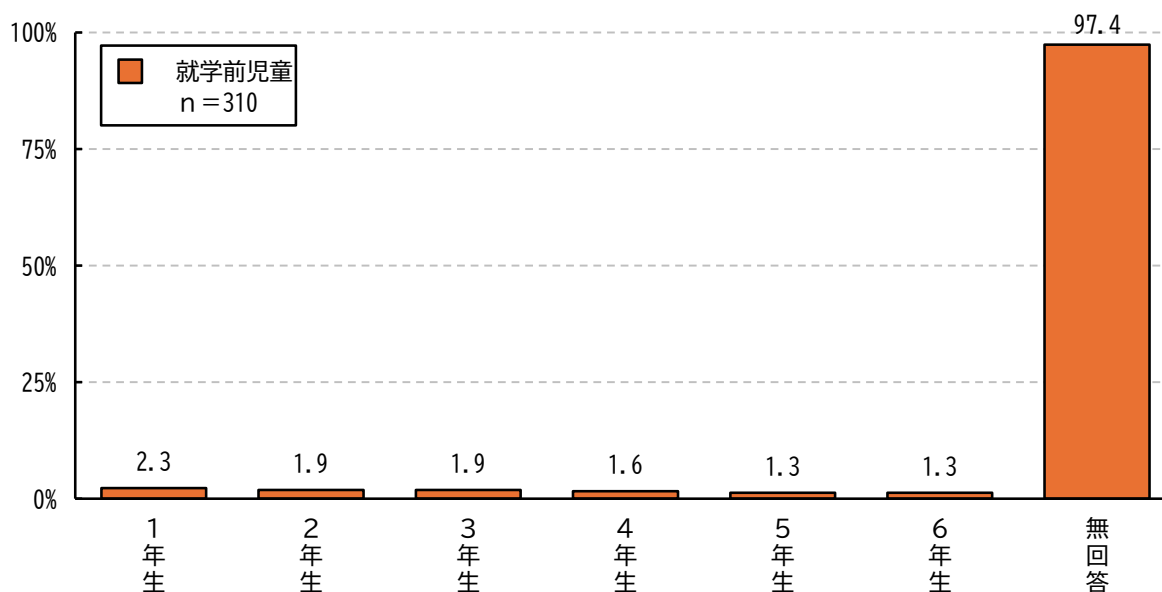
H. 放課後等デイサービスを利用する



問 32 I. その他

平日の放課後の過ごし方について「その他」では「1年生」(2.3%) が最も多く、次いで「2年生」「3年生」(各 1.9%)、「4年生」(1.6%) となっています。

I. その他



## (2) 土曜・休日の学童クラブ利用について

【「学童クラブを利用する」と答えた方にうかがいます】

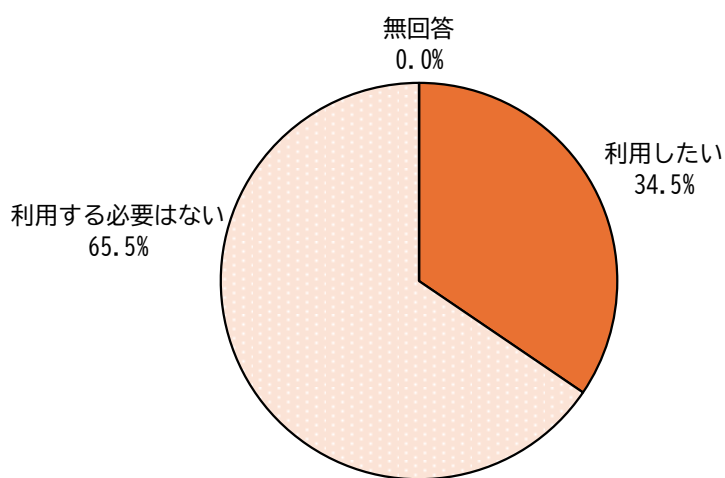
問 33- (1) 宛名のお子さんについて、小学校に就学した後、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(1) 土曜日

A. 低学年(1～3年生)(あてはまるもの1つに○)

土曜日の学童クラブ利用について「低学年(1～3年生)」では「利用する必要はない」(65.5%)、「利用したい」(34.5%)となっています。

問 33- (1) 土曜日の利用希望

A. 低学年(1～3年生)



就学前児童  
n = 206

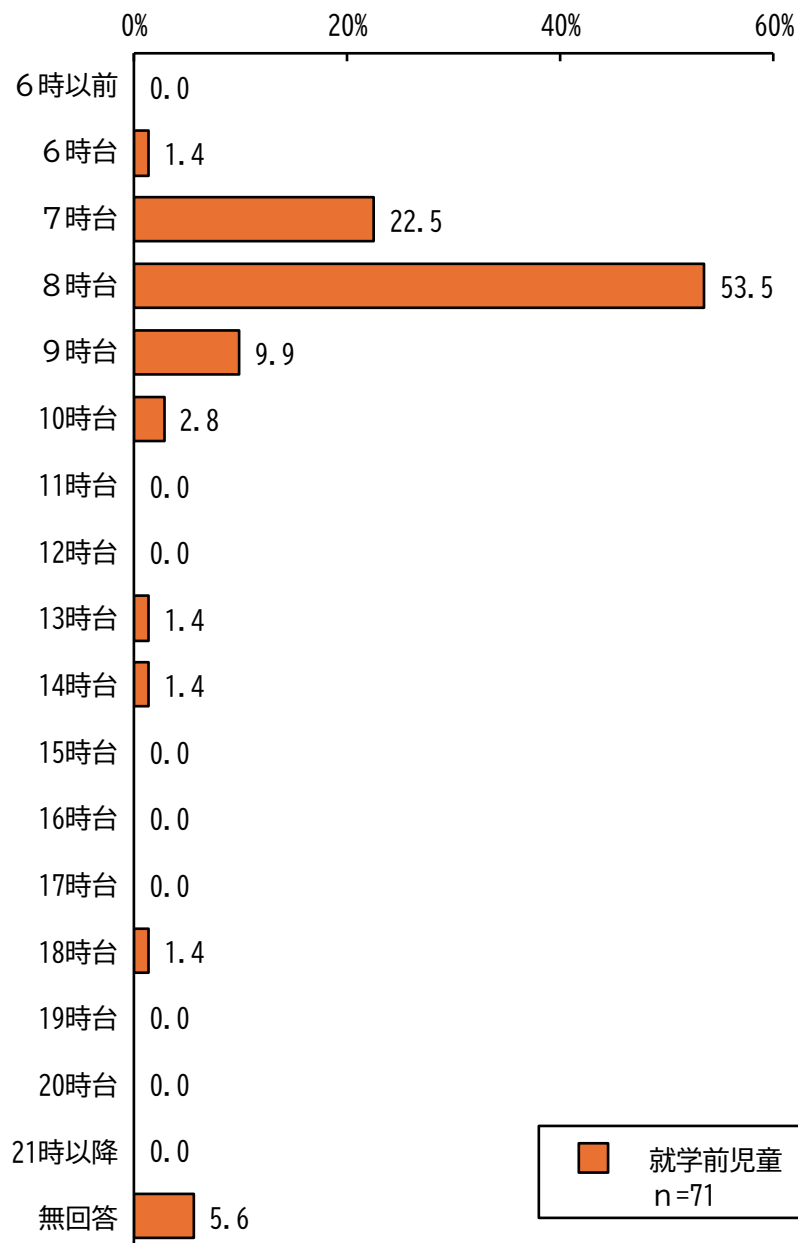


問 33- (1) A. 低学年の間の土曜日の希望利用開始時間

低学年（1～3年生）の土曜日の学童クラブ利用について「希望利用開始時間」では「8時台」（53.5%）が最も多く、次いで「7時台」（22.5%）、「9時台」（9.9%）となっています。

問 33- (1) 土曜日の利用希望

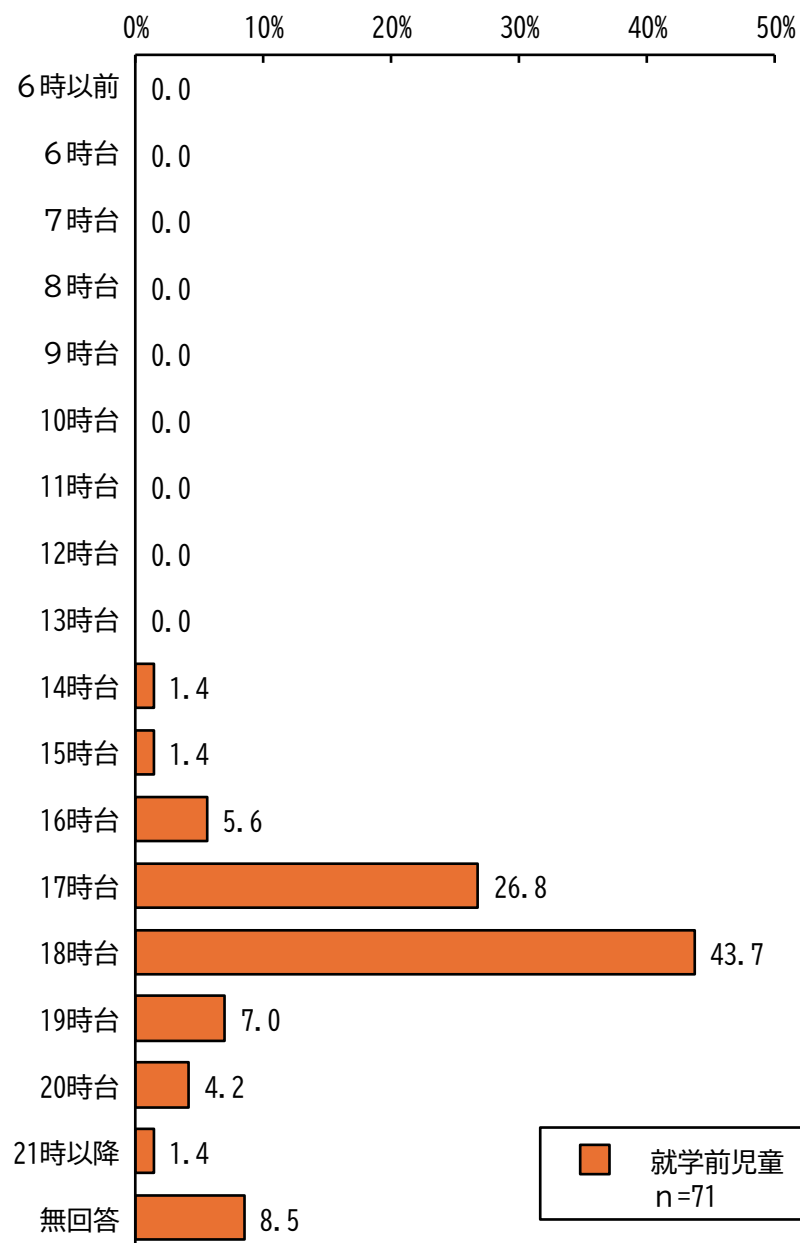
A. 低学年の間の土曜日の希望利用開始時間



問 33- (1) A. 低学年の間の土曜日の希望利用終了時間

低学年（1～3年生）の土曜日の学童クラブ利用について「希望利用終了時間」では「18時台」（43.7%）が最も多く、次いで「17時台」（26.8%）、「19時台」（7.0%）となっています。

A. 低学年の間の土曜日の希望利用終了時間

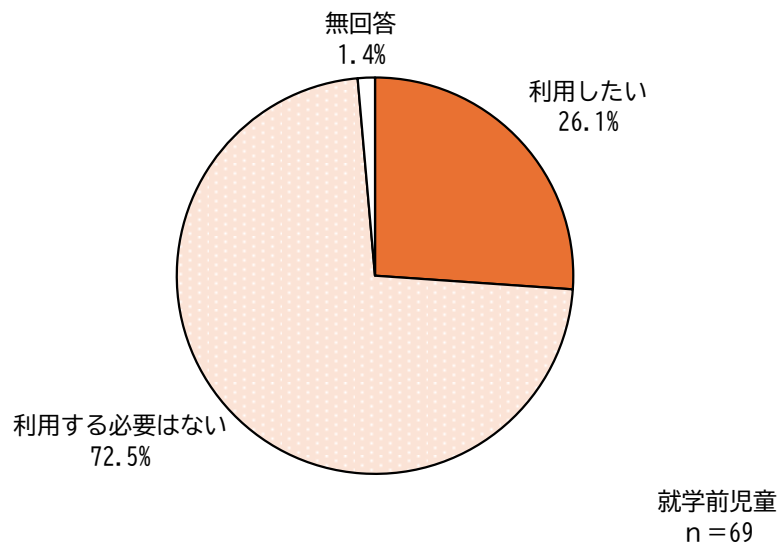


問 33- (1) 宛名のお子さんについて、小学校に就学した後、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(1) 土曜日  
B. 高学年(4~6年生)(あてはまるもの1つに○)

土曜日の学童クラブ利用について「高学年(4~6年生)」では「利用する必要はない」(72.5%)、「利用したい」(26.1%)となっています。

問 33- (1) 土曜日の利用希望

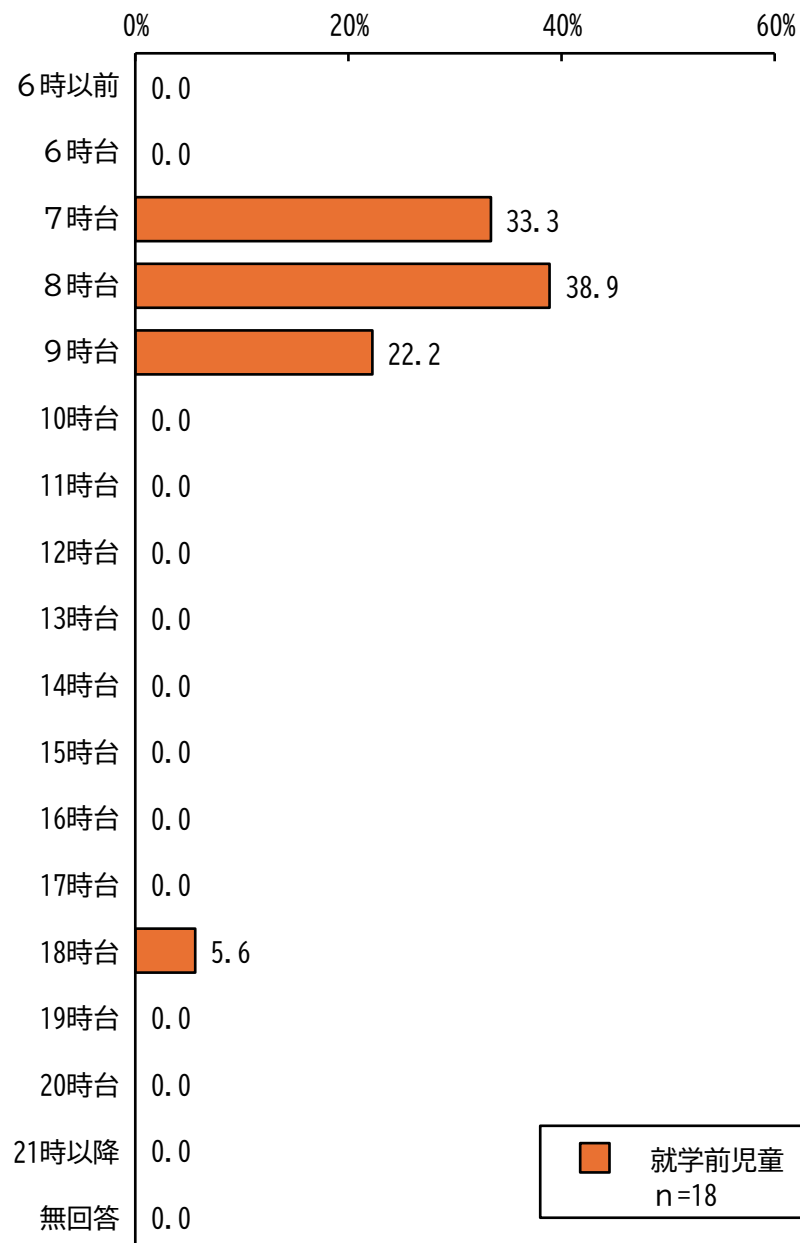
B. 高学年(4~6年生)



問 33- (1) B. 高学年の間の土曜日の希望利用開始時間

高学年（4～6年生）の土曜日の学童クラブ利用について「希望利用開始時間」では「8時台」（38.9%）が最も多く、次いで「7時台」（33.3%）、「9時台」（22.2%）となっています。

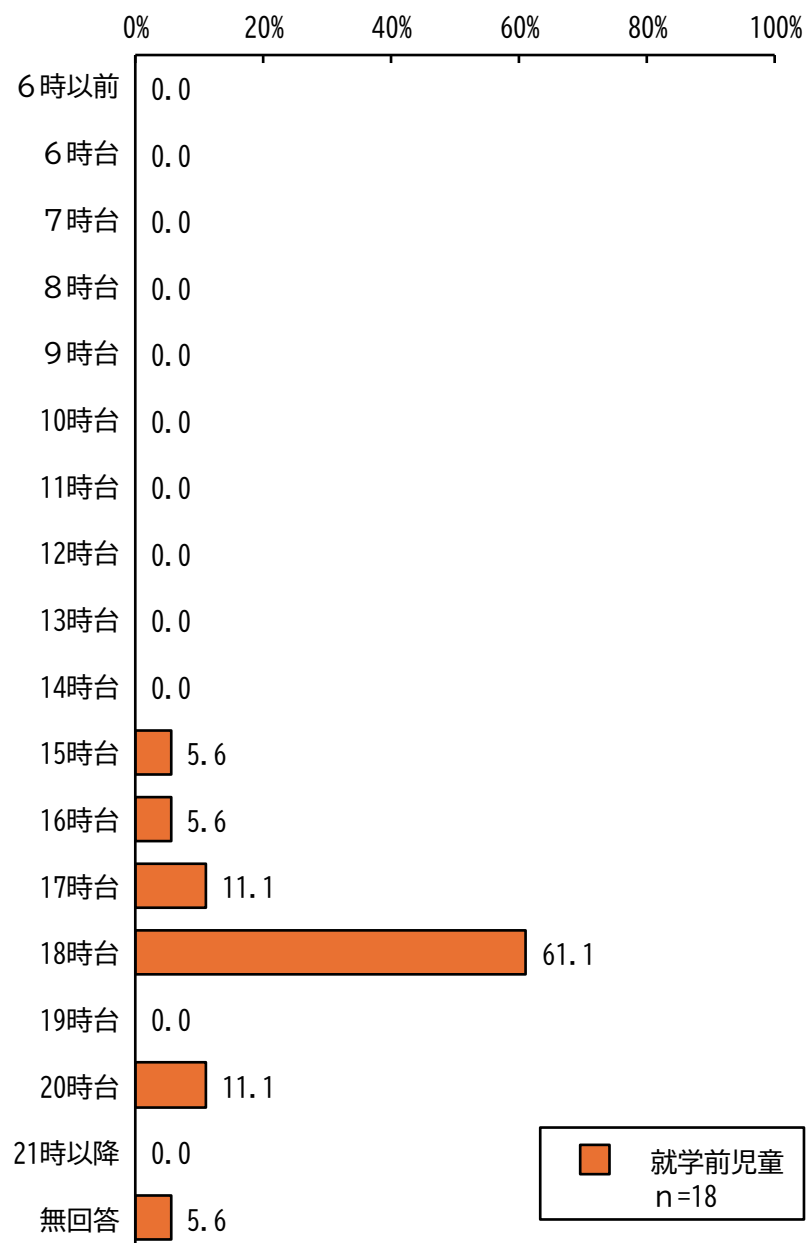
B. 高学年の間の土曜日の希望利用開始時間



問 33- (1) B. 高学年の間の土曜日の希望利用終了時間

高学年（4～6年生）の土曜日の学童クラブ利用について「希望利用終了時間」では「18 時台」(61.1%)が最も多く、次いで「17 時台」「20 時台」(各 11.1%)、「15 時台」「16 時台」(各 5.6%)となっています。

B. 高学年の間の土曜日の希望利用終了時間

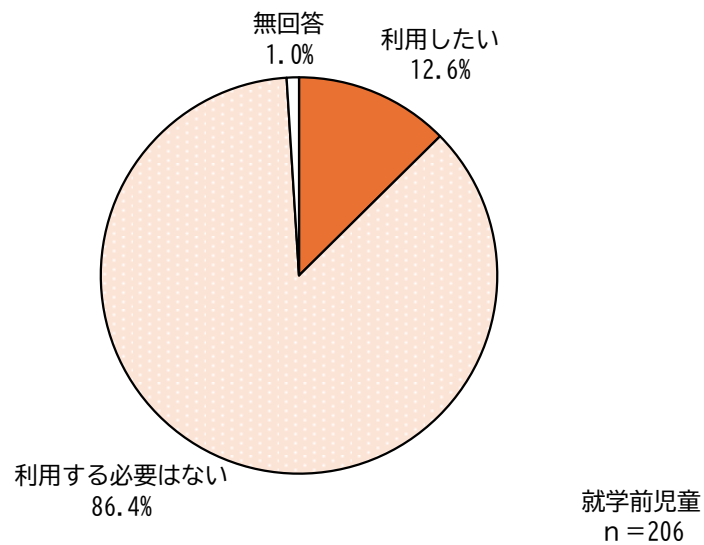


問 33- (2) 宛名のお子さんについて、小学校に就学した後、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(2) 日曜日・祝日  
A. 低学年(1~3年生)(あてはまるもの1つに○)

日曜日・祝日の学童クラブ利用について「低学年(1~3年生)」では「利用する必要はない」(86.4%)、「利用したい」(12.6%)となっています。

問 33- (2) 日曜日・祝日の利用希望

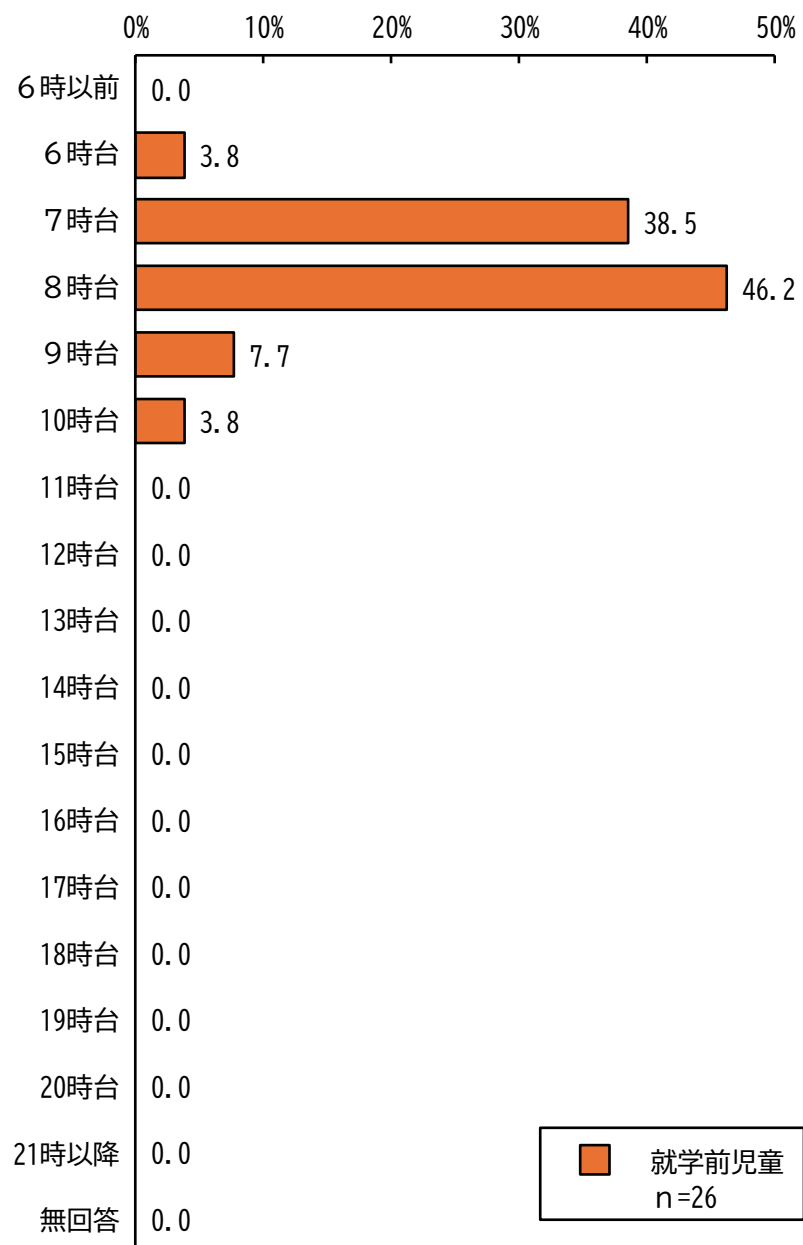
A. 低学年(1~3年生)(あてはまるもの1つに○)



問 33- (2) A. 低学年の間の日曜・祝日の希望利用開始時間

低学年（1～3年生）の日曜日・祝日の学童クラブ利用について「希望利用開始時間」では「8時台」（46.2%）が最も多く、次いで「7時台」（38.5%）、「9時台」（7.7%）となっています。

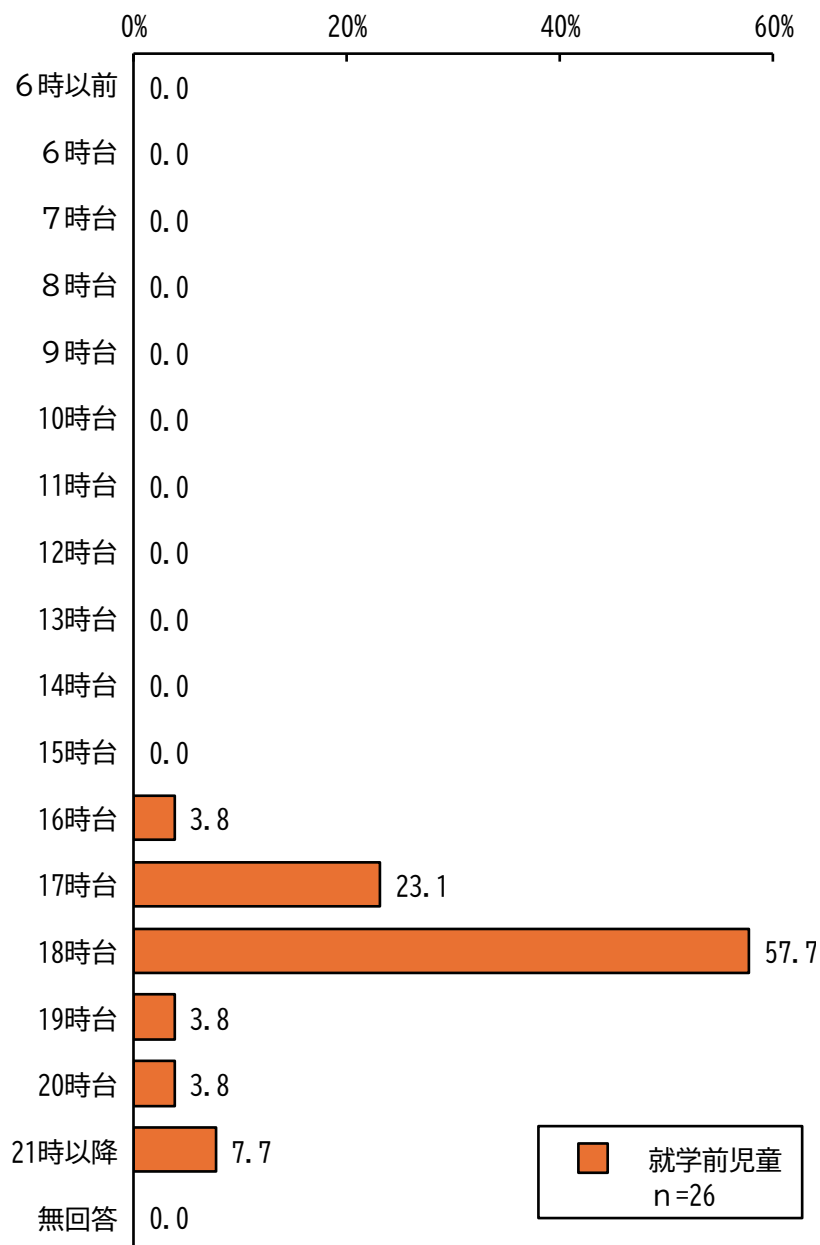
A. 低学年の間の日曜・祝日の希望利用開始時間



問 33- (2) A. 低学年の間の日曜・祝日の希望利用終了時間

低学年（1～3年生）の日曜日・祝日の学童クラブ利用について「希望利用終了時間」では「18時台」（57.7%）が最も多く、次いで「17時台」（23.1%）、「21時以降」（7.7%）となっています。

A. 低学年の間の日曜・祝日の希望利用終了時間



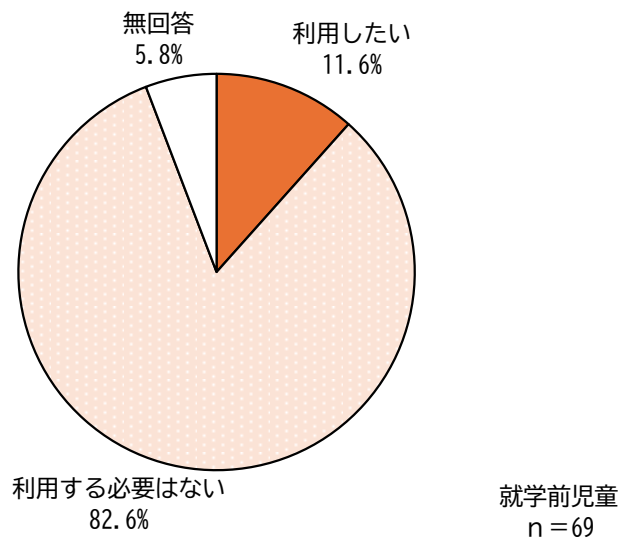


問 33- (2) 宛名のお子さんについて、小学校に就学した後、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(2) 日曜日・祝日  
B. 高学年(4~6年生)(あてはまるもの1つに○)

日曜日・祝日の学童クラブ利用について「高学年(4~6年生)」では「利用する必要はない」(82.6%)、「利用したい」(11.6%)となっています。

問 33- (2) 日曜日・祝日の利用希望

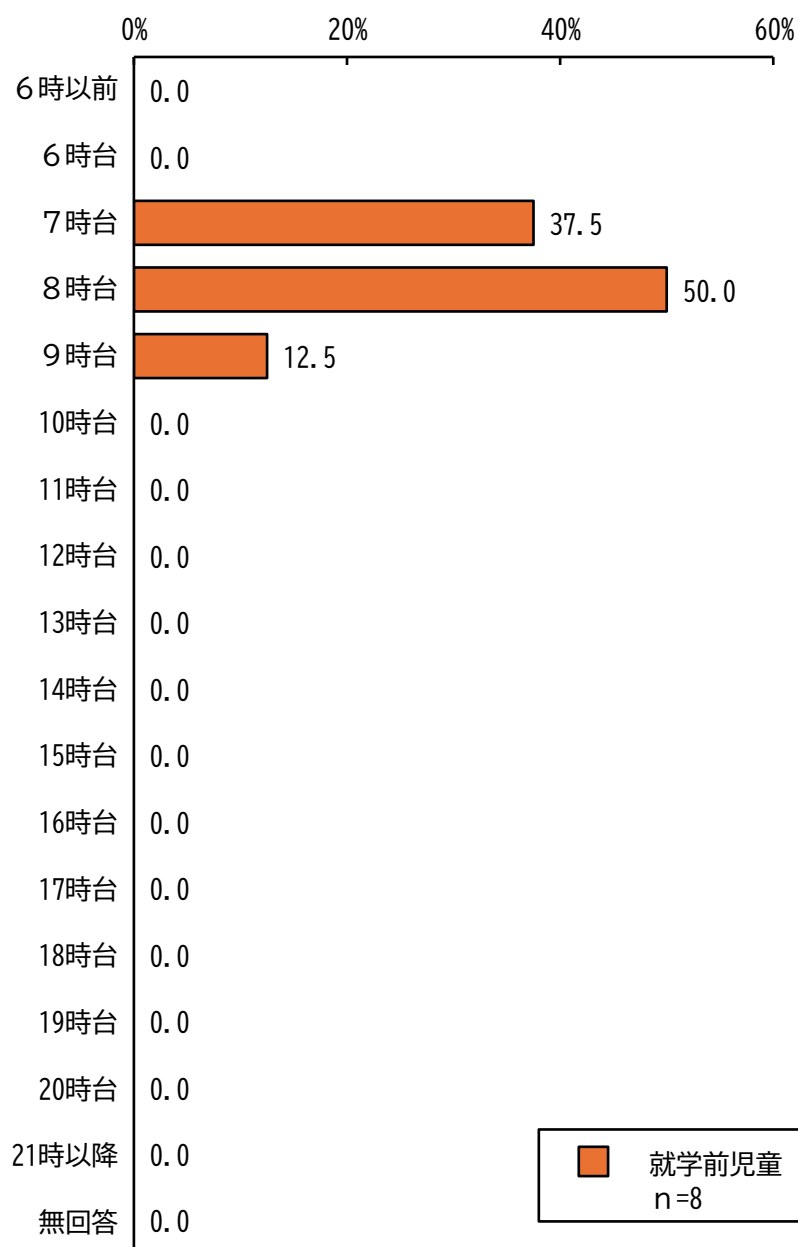
B. 高学年(4~6年生)



問 33- (2) B. 高学年の間の日曜・祝日の希望利用開始時間

回答者が少ないため参考として掲載しますが、高学年(4~6年生)の日曜日・祝日の学童クラブ利用について「希望利用開始時間」では「8時台」(50.0%)が最も多く、次いで「7時台」(37.5%)、「9時台」(12.5%)となっています。

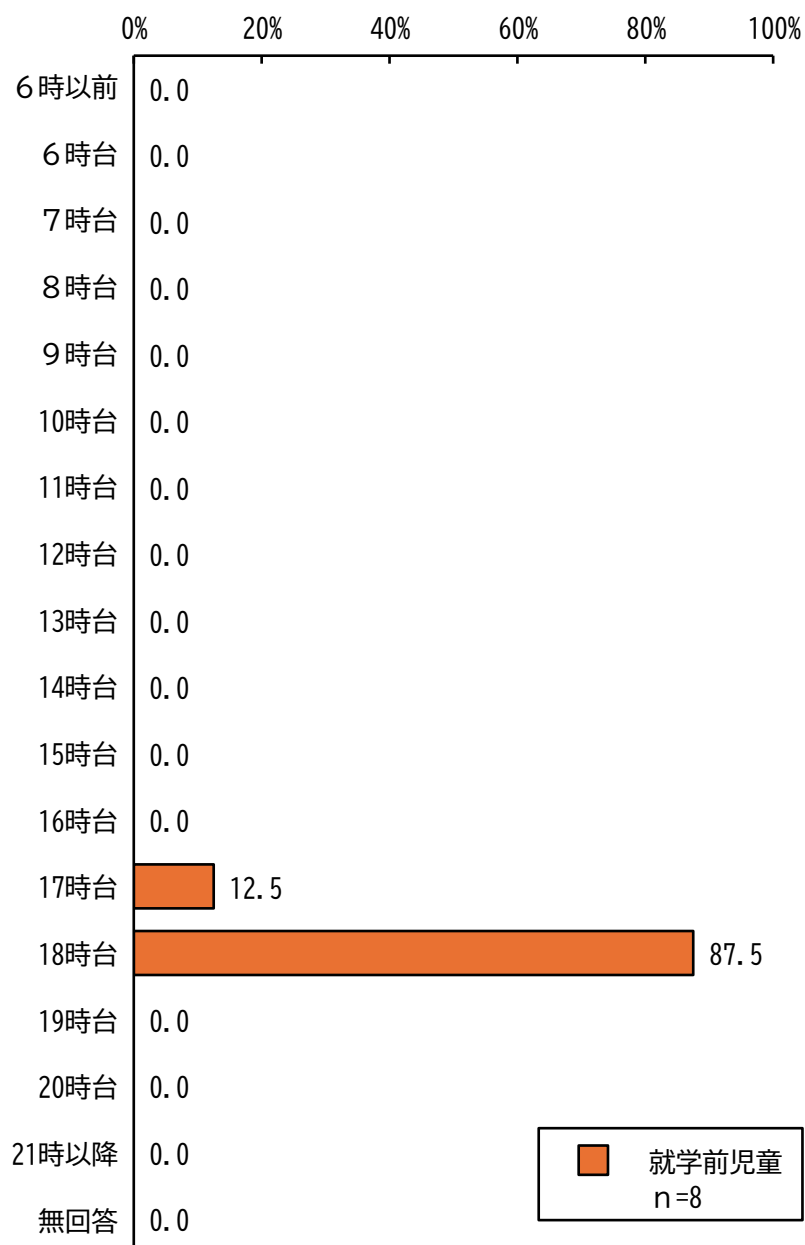
B. 高学年の間の日曜・祝日の希望利用開始時間



問 33- (2) B. 高学年の間の日曜・祝日の希望利用終了時間

回答者が少ないため参考として掲載しますが、高学年(4~6年生)の日曜日・祝日の学童クラブ利用について「希望利用終了時間」では「18時台」(87.5%)が最も多く、次いで「17時台」(12.5%)となっています。

B. 高学年の間の日曜・祝日の希望利用終了時間



## 10 育児休業制度等の取得について

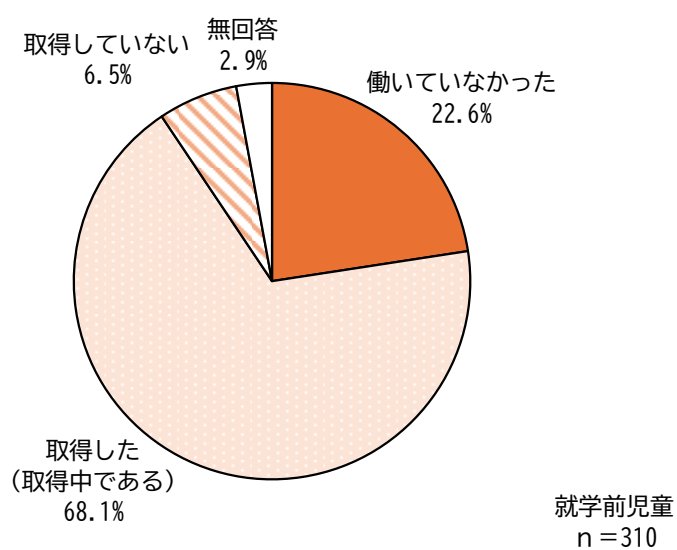
### (1) 母親の育児休業制度等の取得状況

問 34 宛名のお子さんが生まれたとき、母親は育児休業を取得しましたか。

※父子家庭の場合は回答不要（あてはまるもの1つに○）

母親の育児休業制度の取得状況は「取得した（取得中である）」（68.1%）が最も多く、次いで「働いていなかった」（22.6%）、「取得していない」（6.5%）となっています。

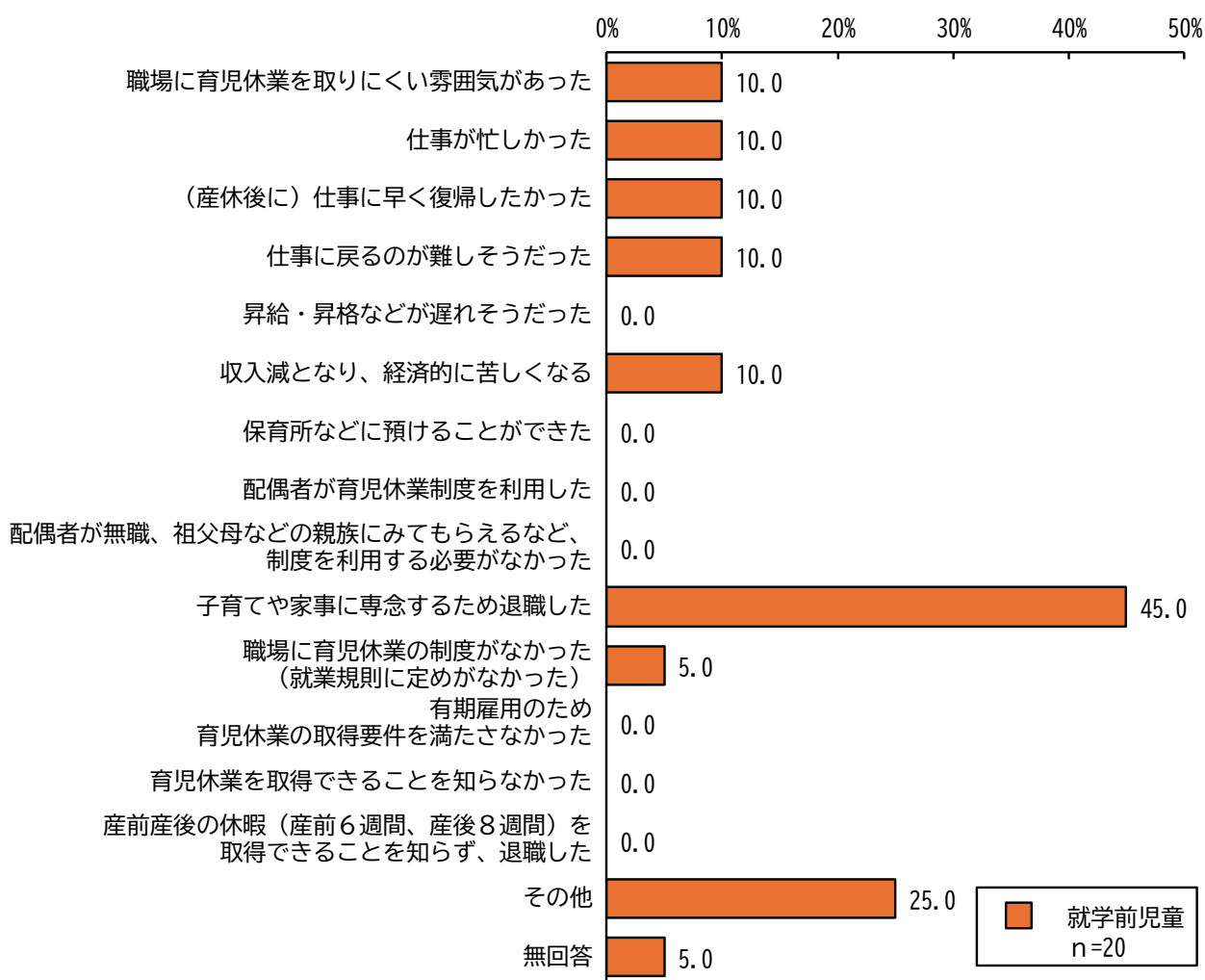
問 34 母親の育児休業制度の取得状況



問 34- (1) 取得していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

母親が育児休業を取得していない理由は「子育てや家事に専念するため退職した」(45.0%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」(各 10.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(5.0%)となっています。

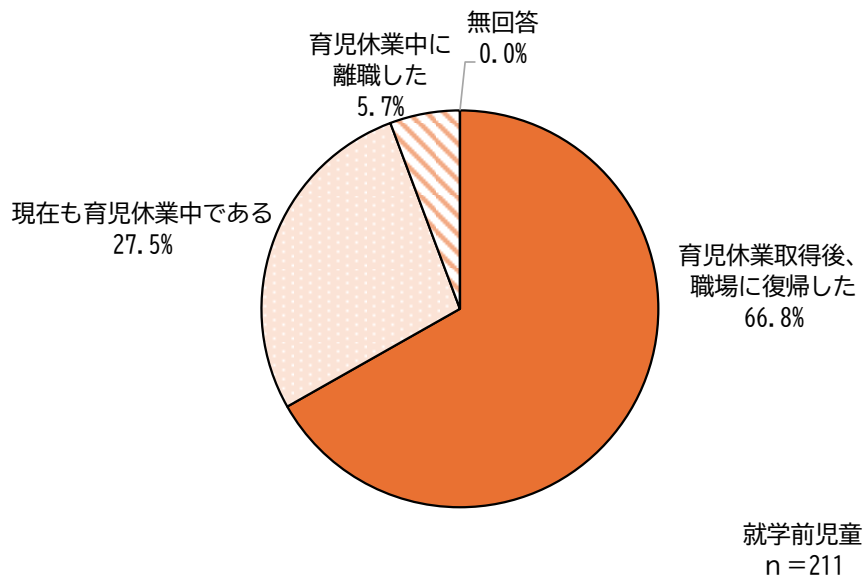
問 34- (1) 母親が育児休業を取得していない理由



問 34- (1) -1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)

育児休業後の母親の状況は「育児休業取得後、職場に復帰した」(66.8%)が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(27.5%)、「育児休業中に離職した」(5.7%)となっています。

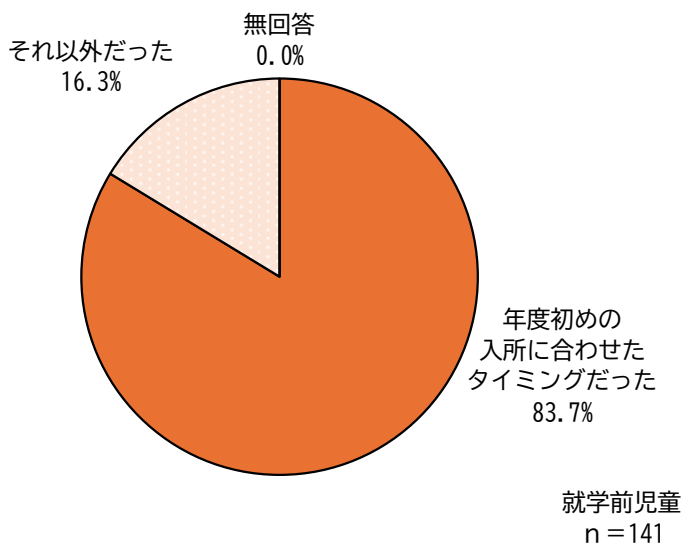
問 34- (1) -1 育児休業後の母親の状況



問 34- (1) -2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(あてはまるもの1つに○)

母親が職場復帰した時期については「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(83.7%)、「それ以外だった」(16.3%)となっています。

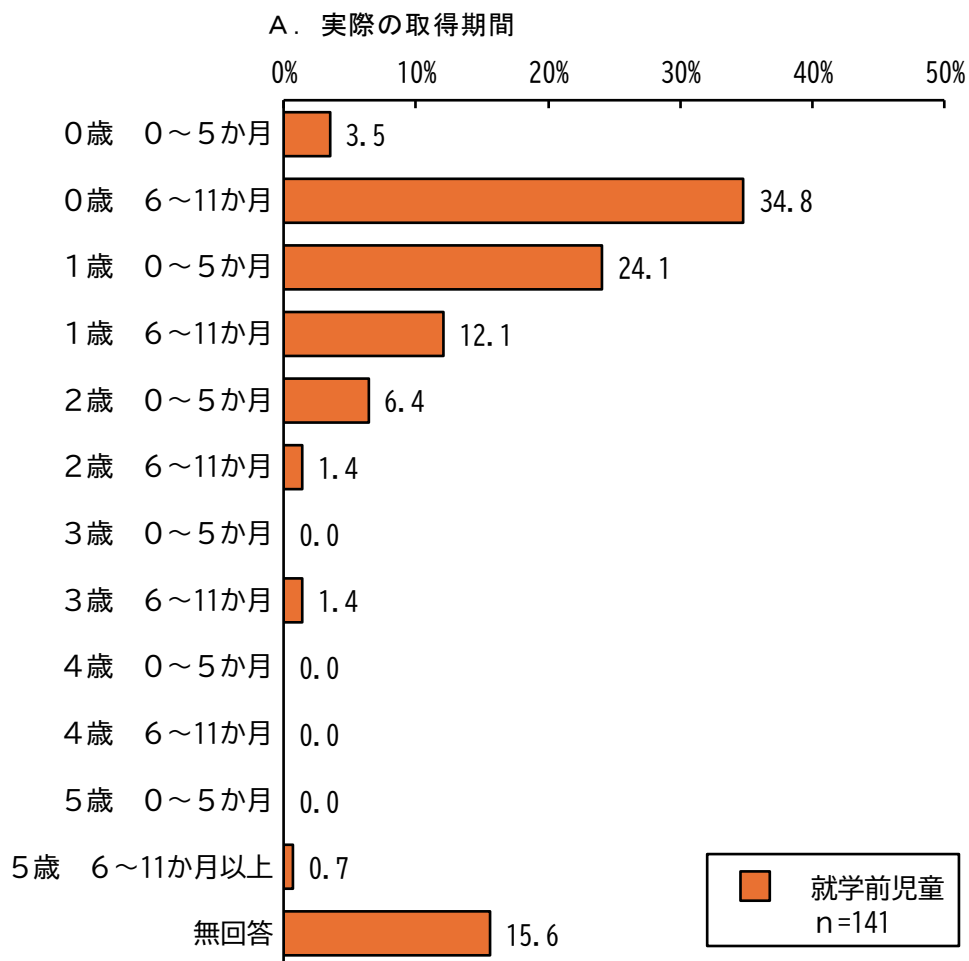
問 34- (1) -2 母親が職場復帰した時期と年度初めの保育所入所時期との関連性



問 34- (1) -3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。A. 実際の取得期間

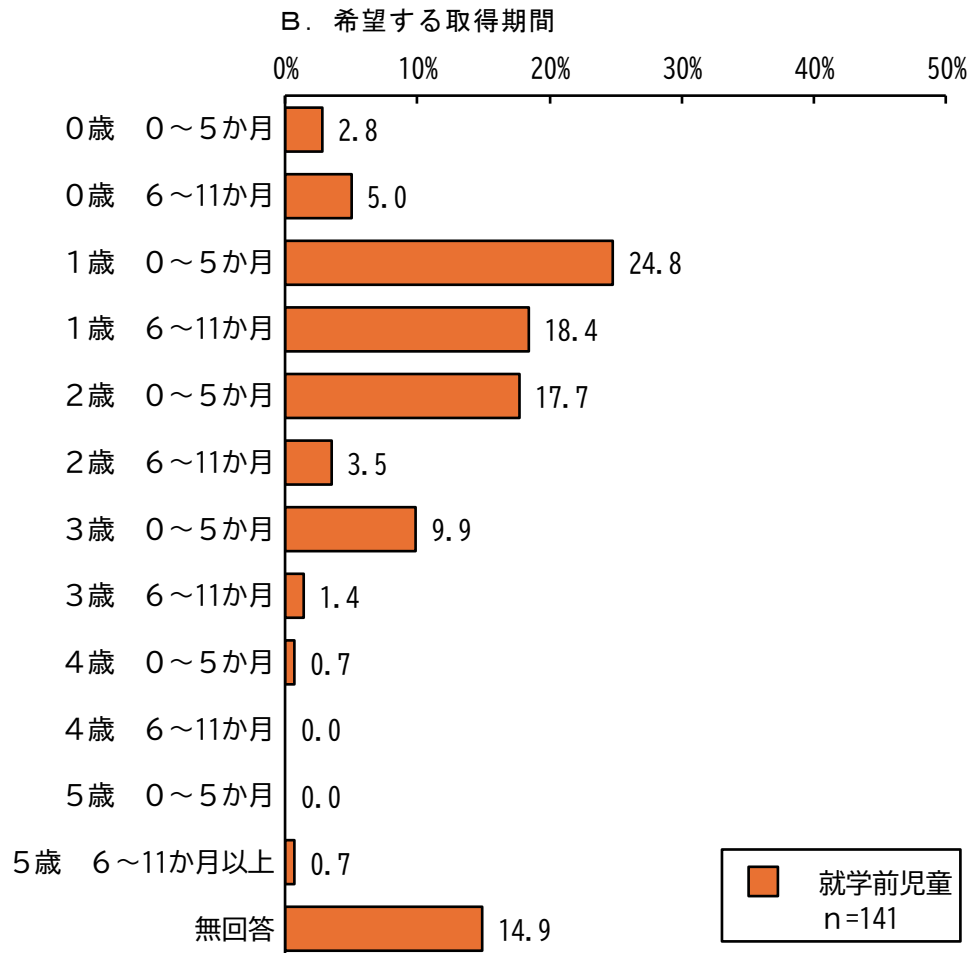
母親が職場復帰した時期について「実際の取得期間」では「0歳 6～11 か月」(34.8%) が最も多く、次いで「1歳 0～5か月」(24.1%)、「1歳 6～11 か月」(12.1%) となっています。

問 34- (1) -3 母親の職場復帰時期



問 34- (1) -3 B. 希望する取得期間

母親が職場復帰した時期について「希望する取得期間」では「1歳 0～5か月」(24.8%) が最も多く、次いで「1歳 6～11か月」(18.4%)、「2歳 0～5か月」(17.7%) となっています。

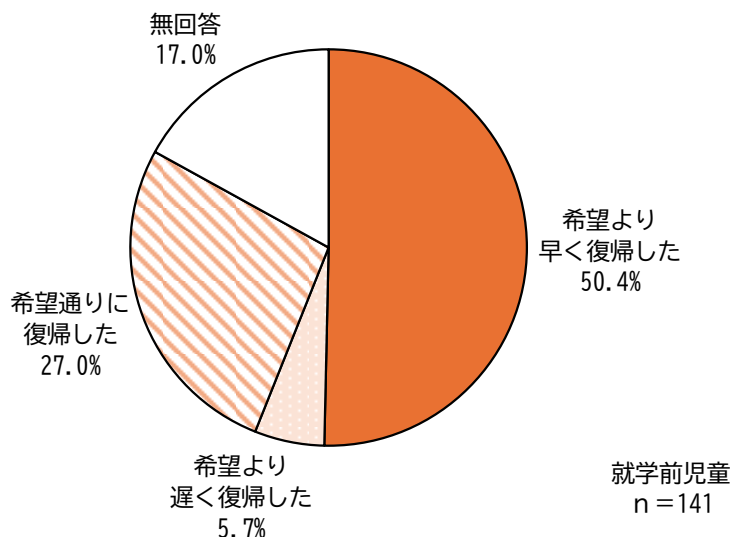




問 34- (1) -3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親の職場復帰時期については「希望より早く復帰した」(50.4%) が最も多く、次いで「希望通りに復帰した」(27.0%)、「希望より遅く復帰した」(5.7%) となっています。

問 34- (1) -3 母親の職場復帰時期

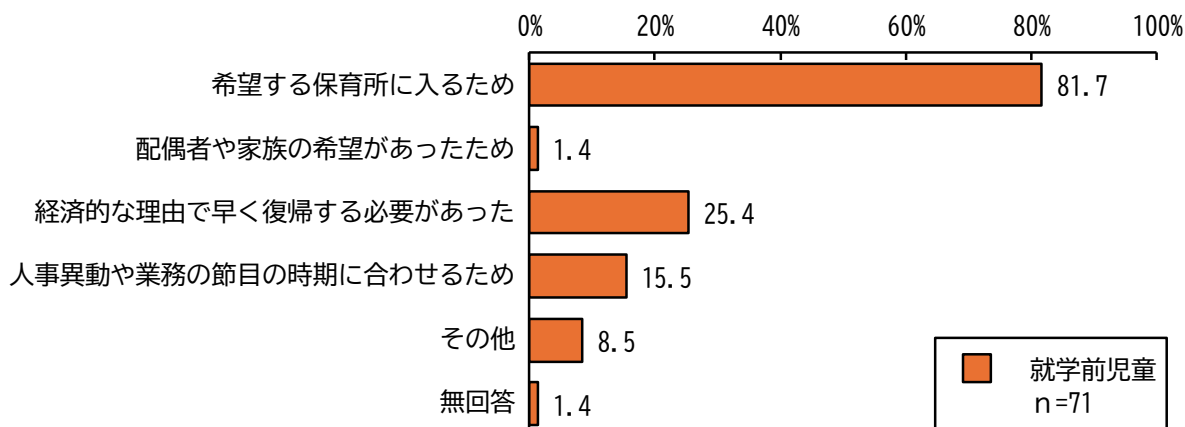


【「希望」より早く復帰した方】

問 34- (1) -4-① 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

母親が希望より早く職場復帰した理由については「希望する保育所に入るため」(81.7%) が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」(25.4%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(15.5%) となっています。

問 34- (1) -4-① 母親が「希望より早く」職場復帰した理由

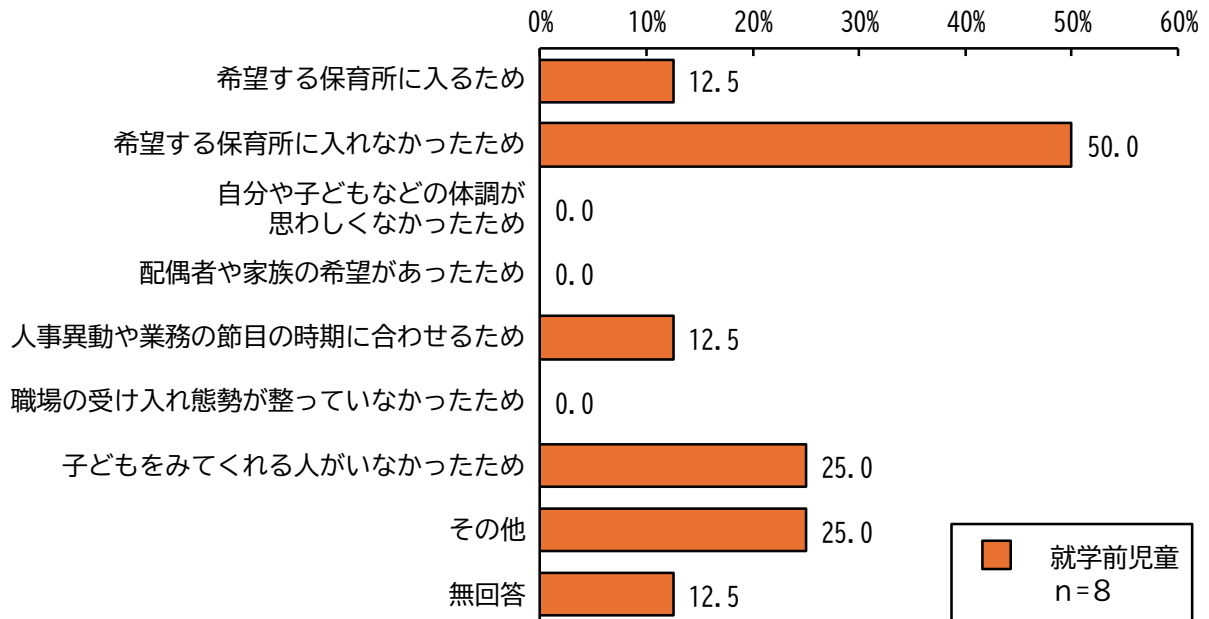


【「希望」より遅く復帰した方】

問 34- (1) -4-② 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、母親が希望より遅く職場復帰した理由については「希望する保育所に入れなかったため」(50.0%)が最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」(25.0%)、「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(各 12.5%)となっています。

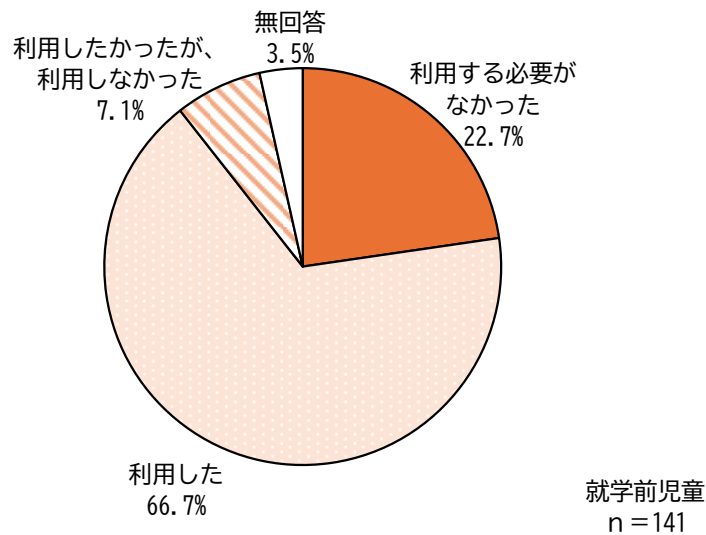
問 34- (1) -4-② 母親が「希望より遅く」職場復帰した理由



問 34- (1) -5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
(あてはまるもの1つに○)

母親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用については「利用した」(66.7%)が最も多く、次いで「利用する必要がなかった」(22.7%)、「利用したかったが、利用しなかった」(7.1%)となっています。

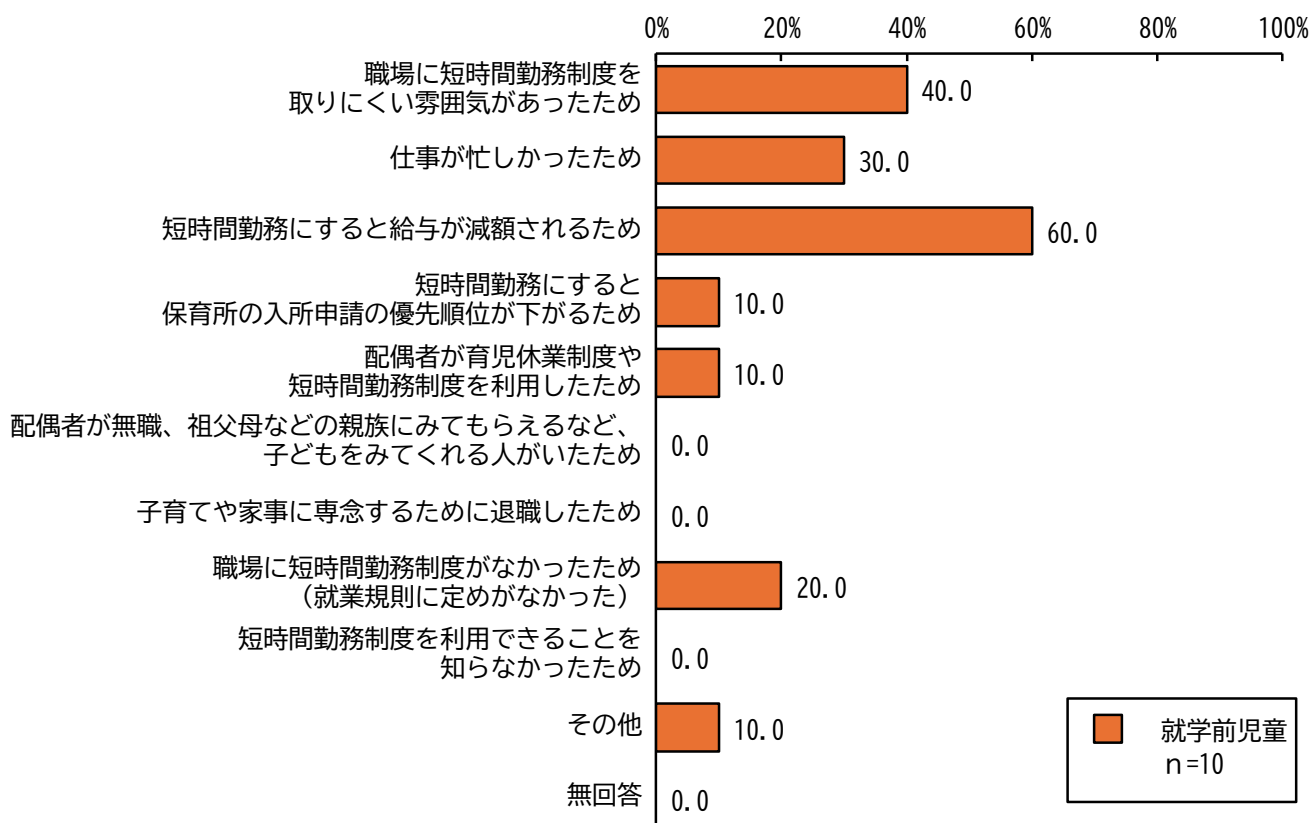
問 34- (1) -5 母親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問 34- (1) -6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については「短時間勤務にすると給与が減額されるため」（60.0％）が最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」（40.0％）、「仕事が忙しかったため」（30.0％）となっています。

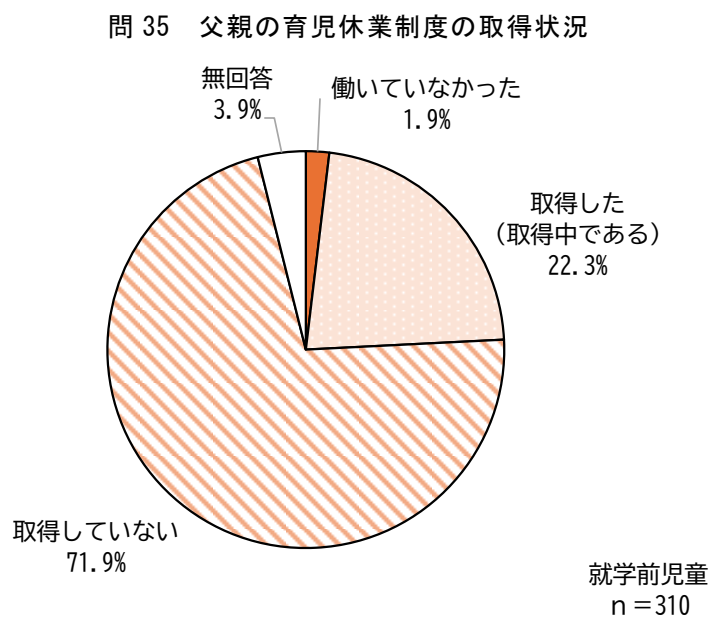
問 34- (1) -6 母親の職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由



## (2) 父親の育児休業制度等の取得状況

問 35 宛名のお子さんが生まれたとき、父親は育児休業を取得しましたか。※母子家庭の場合は回答不要（あてはまるもの1つに○）

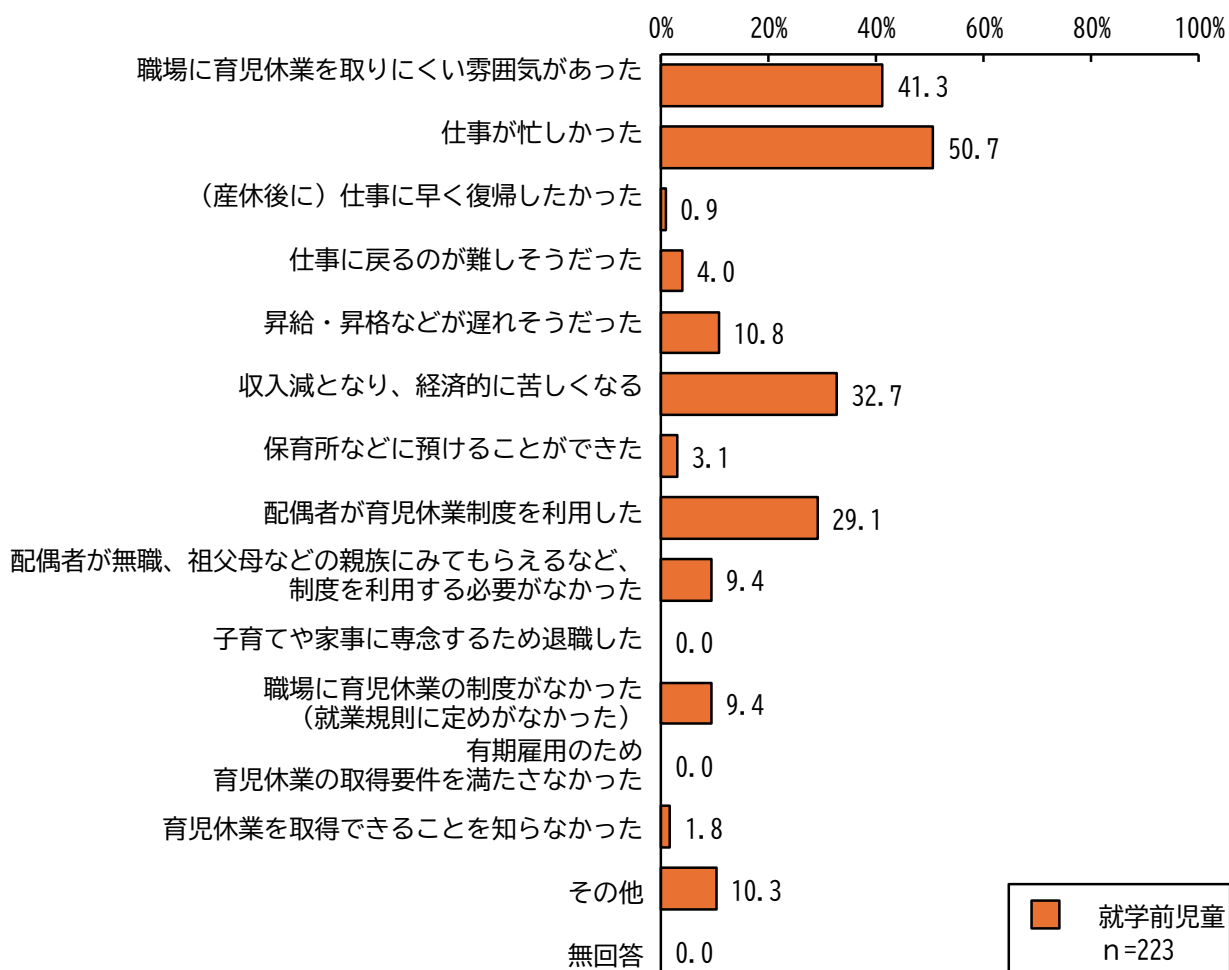
父親の育児休業制度の取得状況は「取得していない」（71.9%）が最も多く、次いで「取得した（取得中である）」（22.3%）、「働いていなかった」（1.9%）となっています。



問 35- (2) 取得していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

父親が育児休業を取得していない理由は「仕事が忙しかった」(50.7%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(41.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(32.7%)となっています。

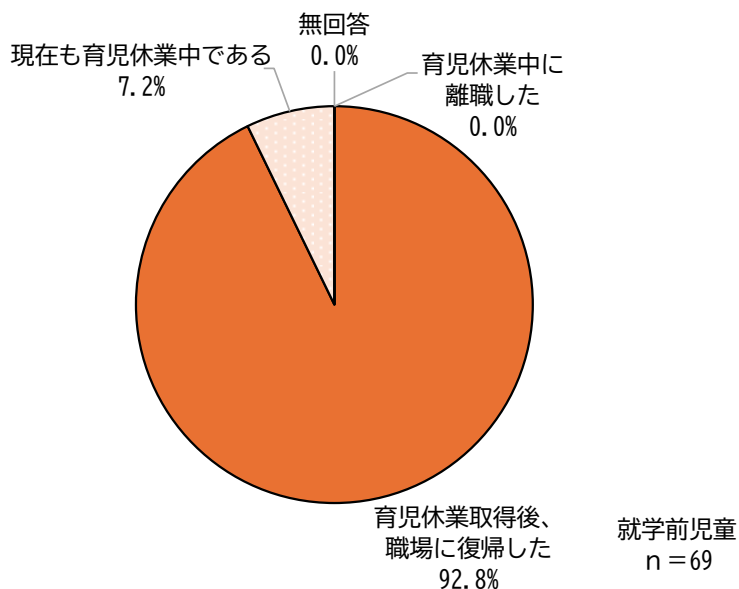
問 35- (2) 父親が育児休業を取得していない理由



問 35- (2) -1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)

育児休業後の父親の状況は「育児休業取得後、職場に復帰した」(92.8%)が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(7.2%)となっています。

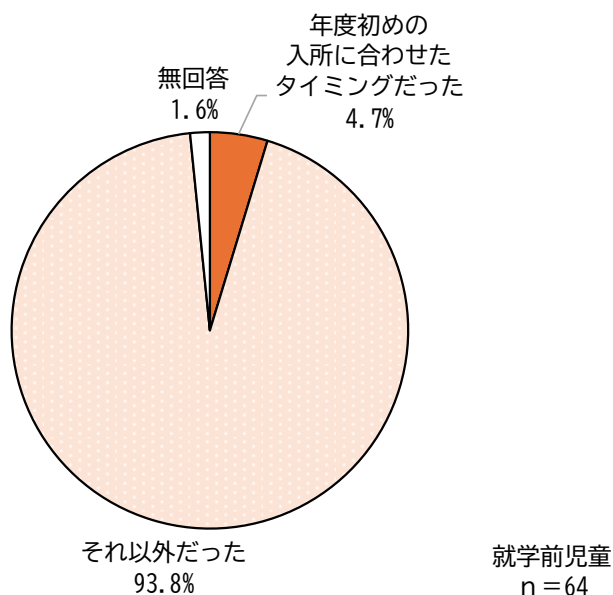
問 35- (2) -1 育児休業後の父親の状況



問 35- (2) -2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(あてはまるもの1つに○)

父親が職場復帰した時期については「それ以外だった」(93.8%)、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(4.7%)となっています。

問 35- (2) -2 父親が職場復帰した時期と年度初めの保育所入所時期との関連性

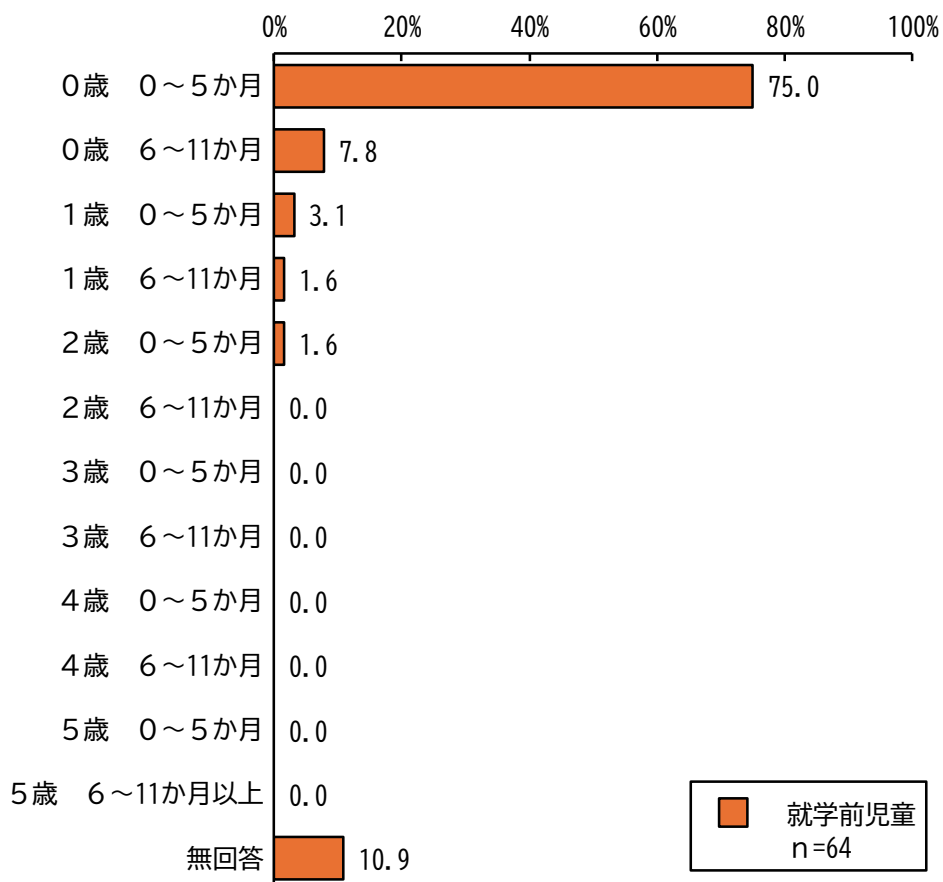


問 35- (2) -3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。A. 実際の取得期間

父親が職場復帰した時期について「実際の取得期間」では「0歳 0～5か月」(75.0%)が最も多く、次いで「0歳 6～11か月」(7.8%)、「1歳 0～5か月」(3.1%)となっています。

問 35- (2) -3 父親の職場復帰時期

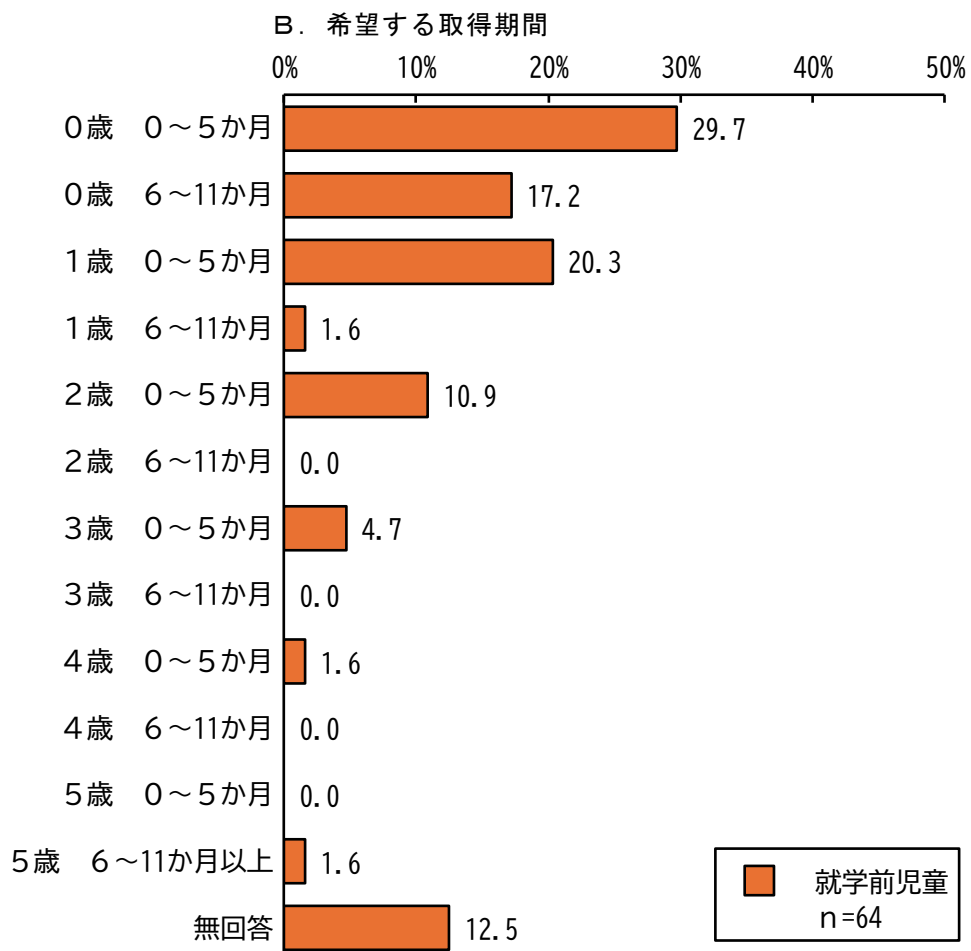
A. 実際の取得期間





問 35- (2) -3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。B. 希望する取得期間

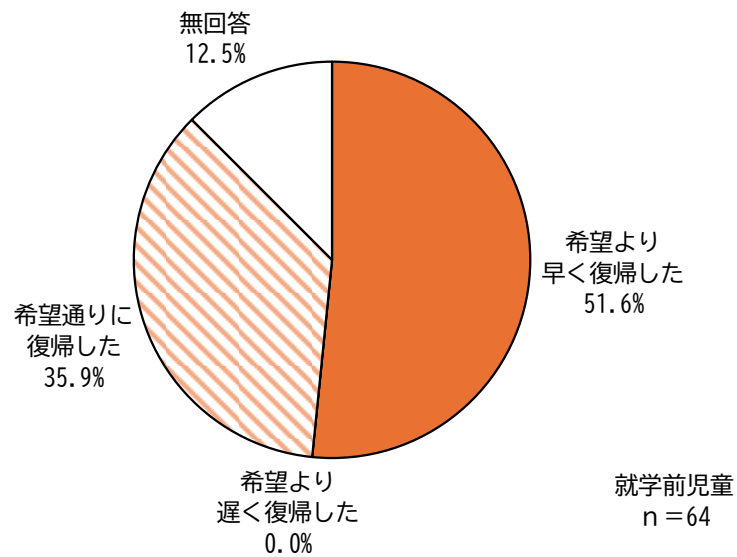
父親が職場復帰した時期について「希望する取得期間」では「0歳 0～5か月」(29.7%) が最も多く、次いで「1歳 0～5か月」(20.3%)、「0歳 6～11か月」(17.2%) となっています。



問 35- (2) -3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父親の職場復帰時期については「希望より早く復帰した」(51.6%)が最も多く、次いで「希望通りに復帰した」(35.9%)となっています。

問 35- (2) -3 父親の職場復帰時期

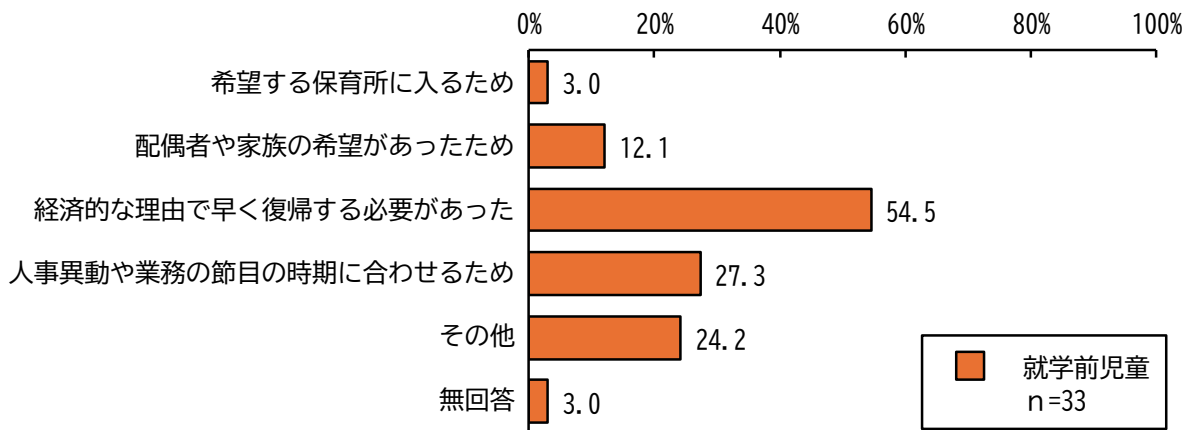


【「希望」より早く復帰した方】

問 35- (2) -4-① 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

父親が希望より早く職場復帰した理由については「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(54.5%)が最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(27.3%)、「配偶者や家族の希望があったため」(12.1%)となっています。

問 35- (2) -4-① 父親が「希望より早く」職場復帰した理由



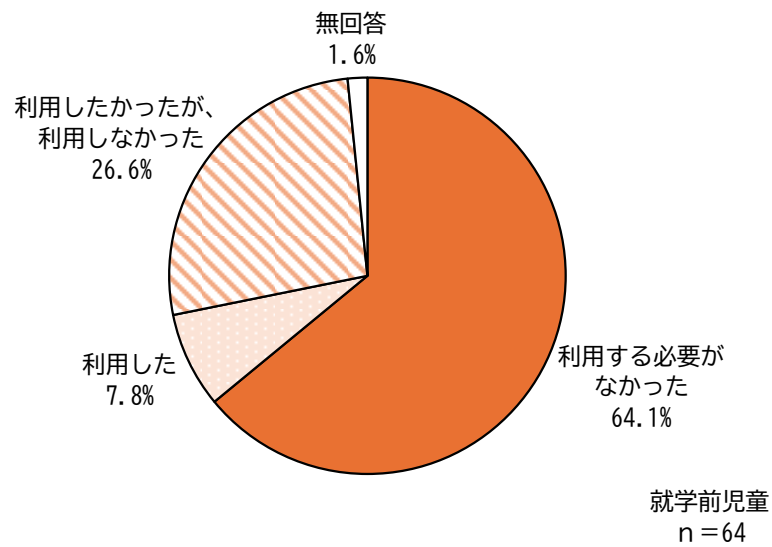
問 35- (2) -4-② 【父親】【「希望」より遅く復帰した方】希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

回答者がいないため省略。

問 35- (2) -5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
(あてはまるもの1つに○)

父親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用については「利用する必要がなかった」(64.1%)が最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」(26.6%)、「利用した」(7.8%)となっています。

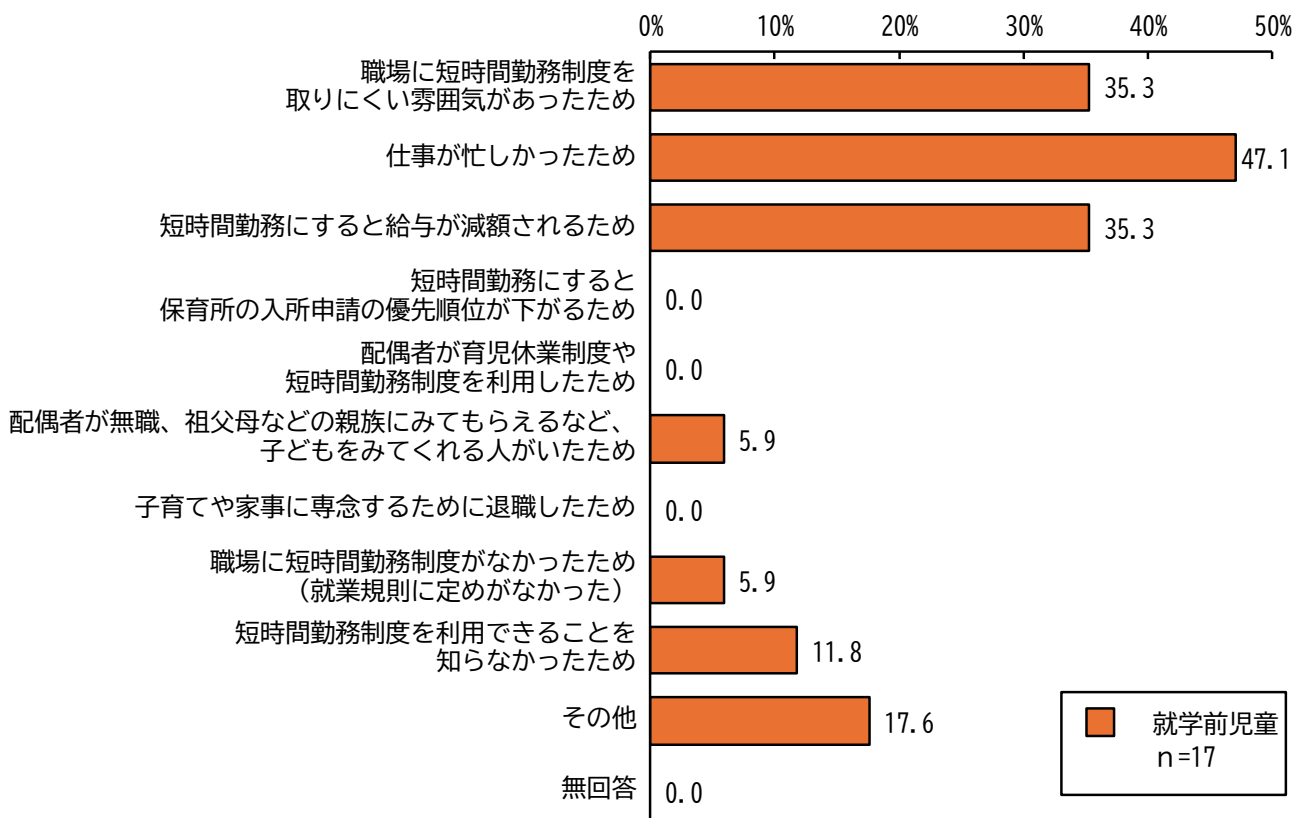
問 35- (2) -5 父親の職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問 35 (2) - 6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については「仕事が忙しかったため」(47.1%) が最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」「短時間勤務にすると給与が減額されるため」(各 35.3%)、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため」(11.8%) となっています。

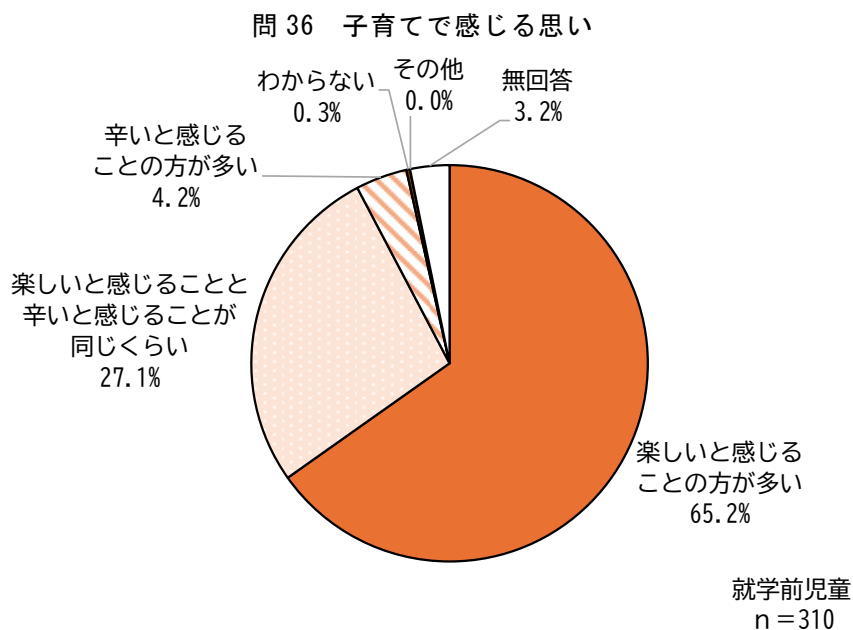
問 35- (2) - 6 父親の職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由



## 11 子育てで感じていることについて

問 36 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

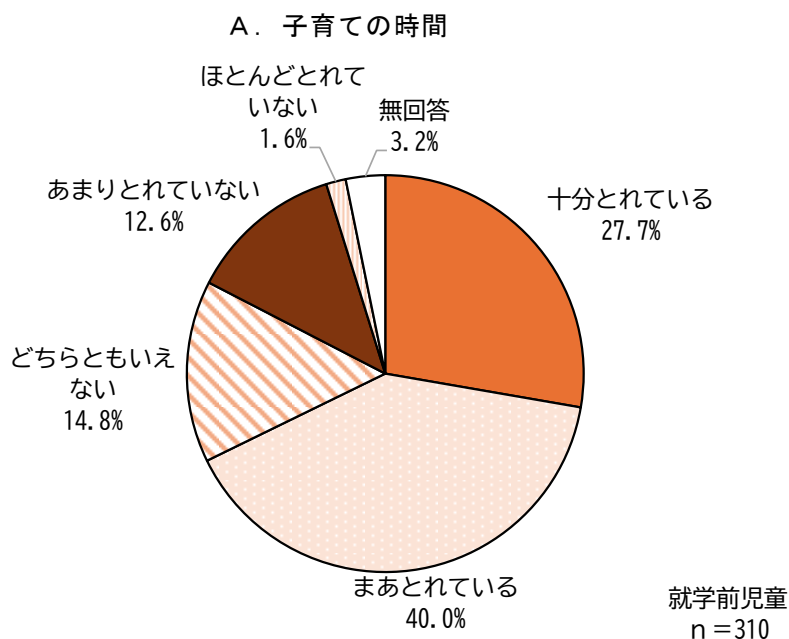
子育てで感じる思いについては「楽しいと感じることが多い」(65.2%)が最も多く、次いで「楽しいと感じることが多い」と「辛いと感じることが多い」(27.1%)、「辛いと感じることが多い」(4.2%)となっています。



問 37 あなたは、子育てに十分な時間がとれていますか。また、今後どのような時間を増やしたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○) A. 子育ての時間

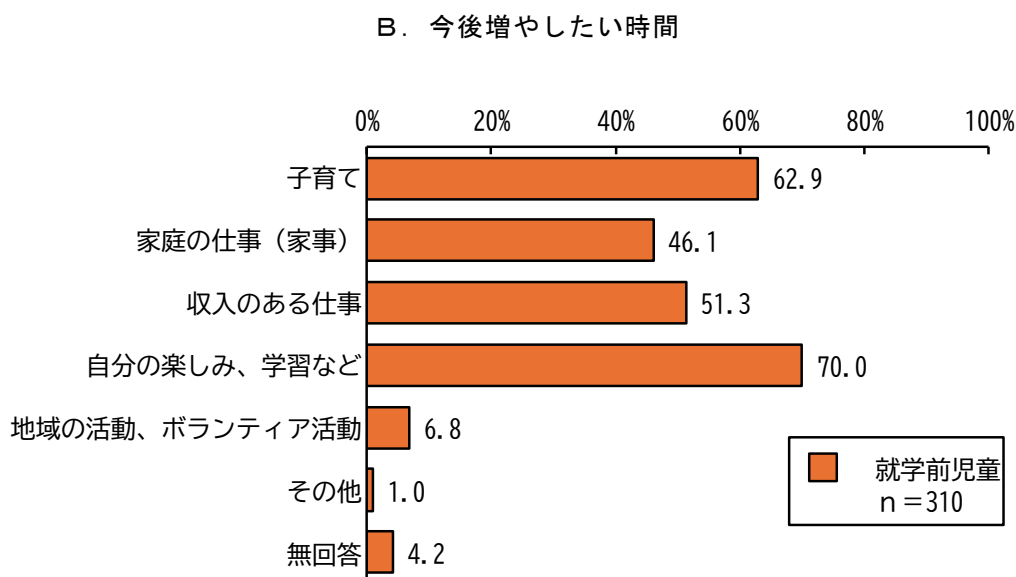
子育てに費やす時間については「まあとれている」(40.0%)が最も多く、次いで「十分とれている」(27.7%)、「どちらともいえない」(14.8%)となっています。

問 37- (1) 子育てに費やす時間の状況



問 37 あなたは、子育てに十分な時間がとれていますか。また、今後どのような時間を増やしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) B. 今後増やしたい時間

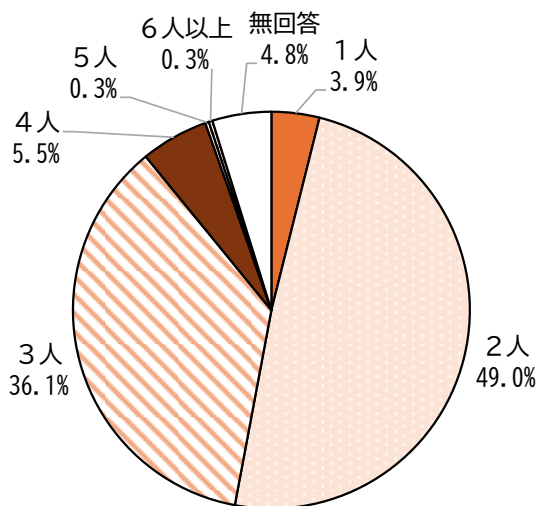
今後増やしたい時間については「自分の楽しみ、学習など」(70.0%)が最も多く、次いで「子育て」(62.9%)、「収入のある仕事」(51.3%)となっています。



問 38 あなたにとって理想のお子さんの人数は何人だとお考えですか。

理想の子ども的人数は「2人」(49.0%)が最も多く、次いで「3人」(36.1%)、「4人」(5.5%)となっています。

問 38 理想の子ども的人数

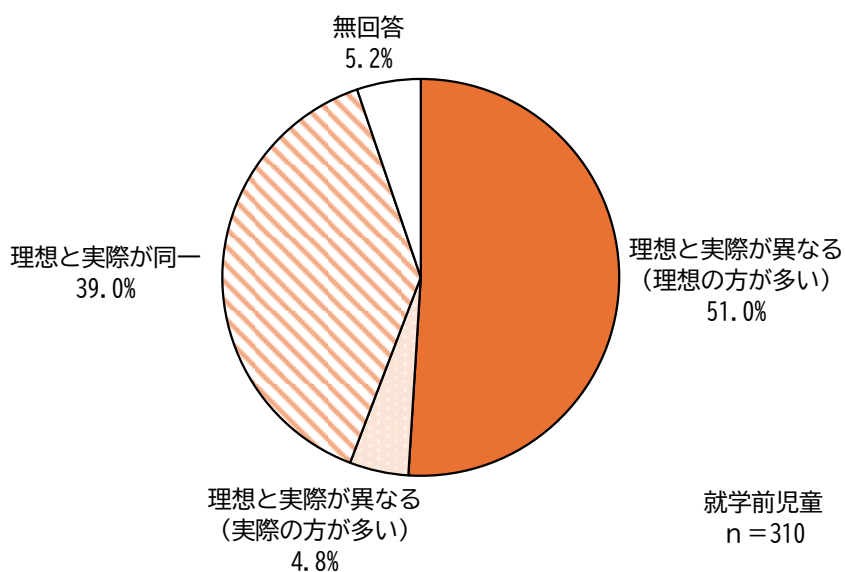


就学前児童  
n = 310

問 38-1 理想のお子さんの人数と実際との差

理想の子ども的人数と実際との差は「理想と実際が異なる（理想の方が多い）」(51.0%)が最も多く、次いで「理想と実際が同一」(39.0%)、「理想と実際が異なる（実際の方が多い）」(4.8%)となっています。

問 38-1 理想と実際の子どもの人数差



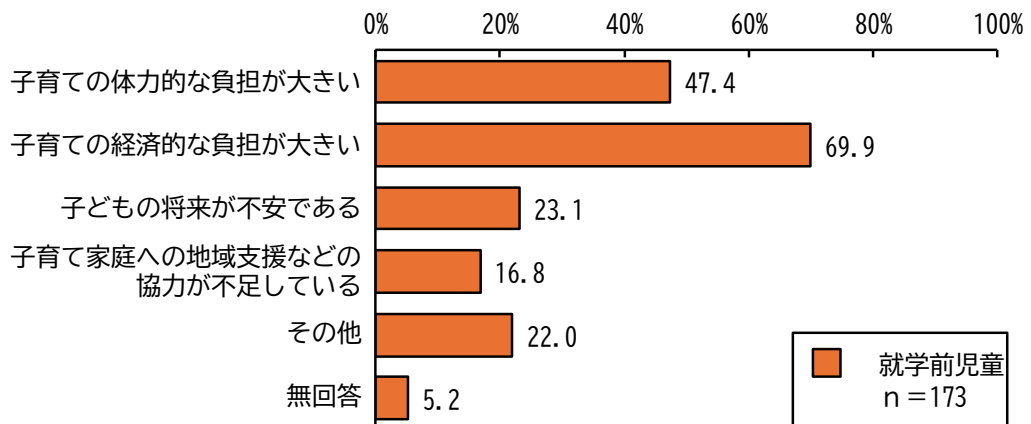
就学前児童  
n = 310



問 38- (1) あなたにとって理想のお子さんの人数と、実際のお子さんの人数が違う場合、その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

理想の子ども的人数と、実際の子ども的人数が違う理由は「子育ての経済的な負担が大きい」(69.9%) が最も多く、次いで「子育ての体力的な負担が大きい」(47.4%)、「子どもの将来が不安である」(23.1%) となっています。

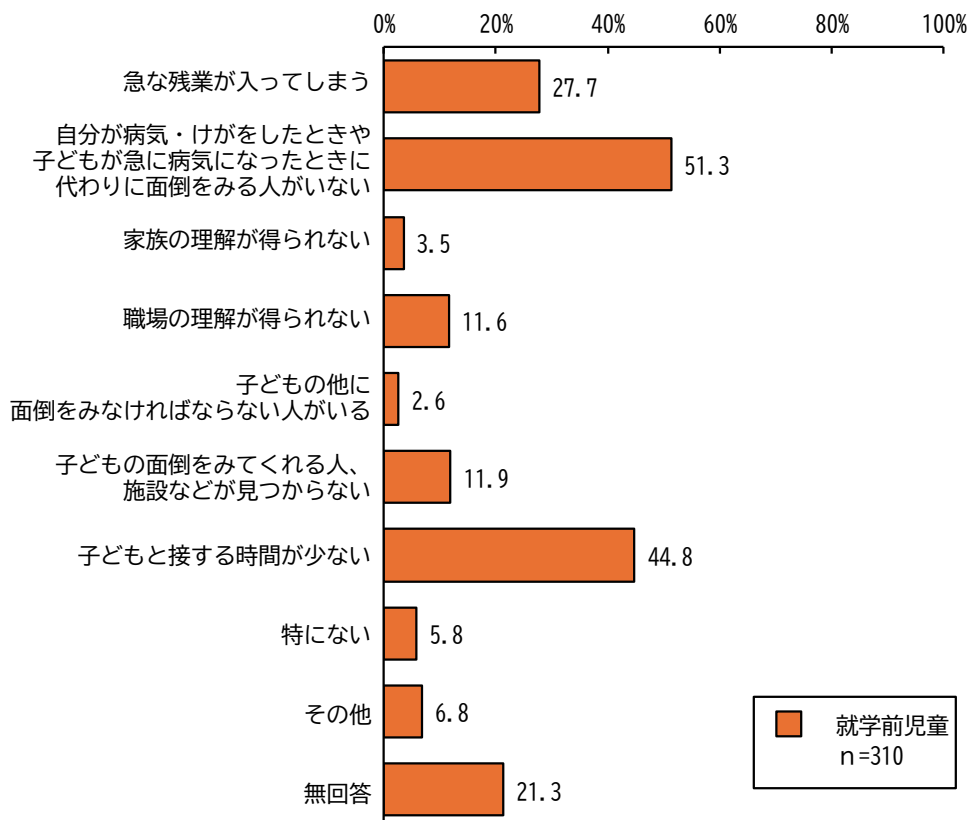
問 38- (1) 理想の子ども的人数と、実際の子ども的人数が違う場合の理由



問 39 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」(51.3%)が最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(44.8%)、「急な残業が入ってしまう」(27.7%)となっています。

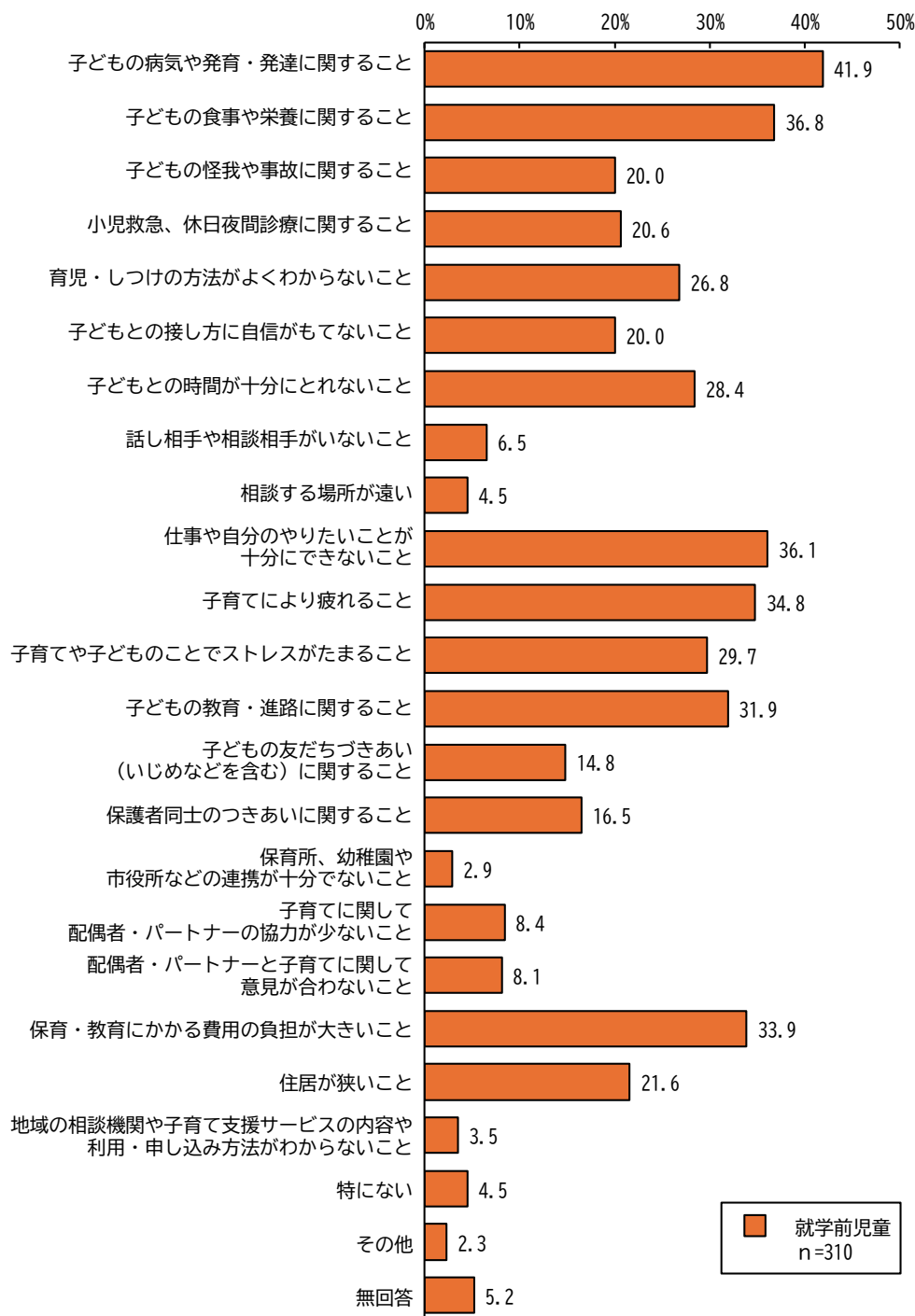
問 39 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる理由



問 40 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることは「子どもの病気や発育・発達に関すること」(41.9%)が最も多く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」(36.8%)、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」(36.1%)となっています。

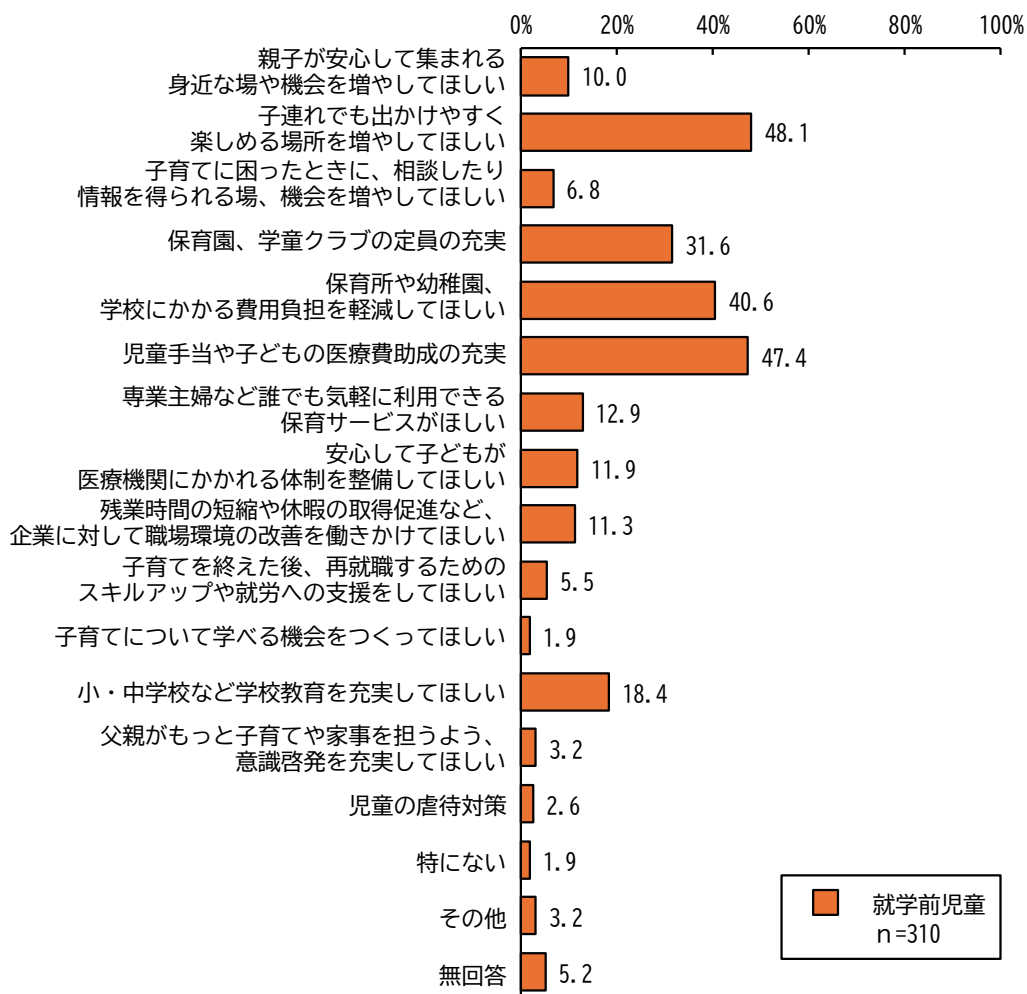
問 40 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることの状況



問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。  
 (主なもの3つまでに○)

子育て支援充実への要望は「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(48.1%)が最も多く、次いで「児童手当や子どもの医療費助成の充実」(47.4%)、「保育所や幼稚園、学校にかかる費用負担を軽減してほしい」(40.6%)となっています。

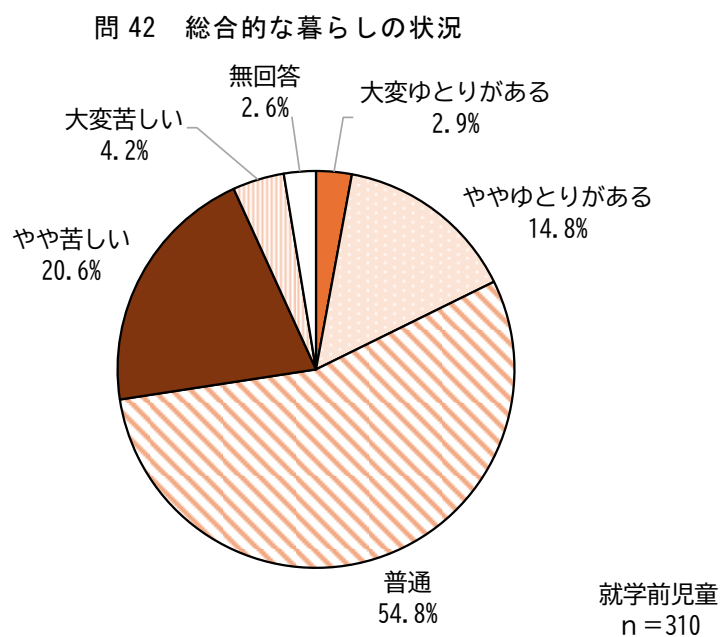
問 41 子育て支援充実への要望



## 12 家庭の暮らし向きについて

問 42 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どのように感じていますか。(あてはまるものの1つに○)

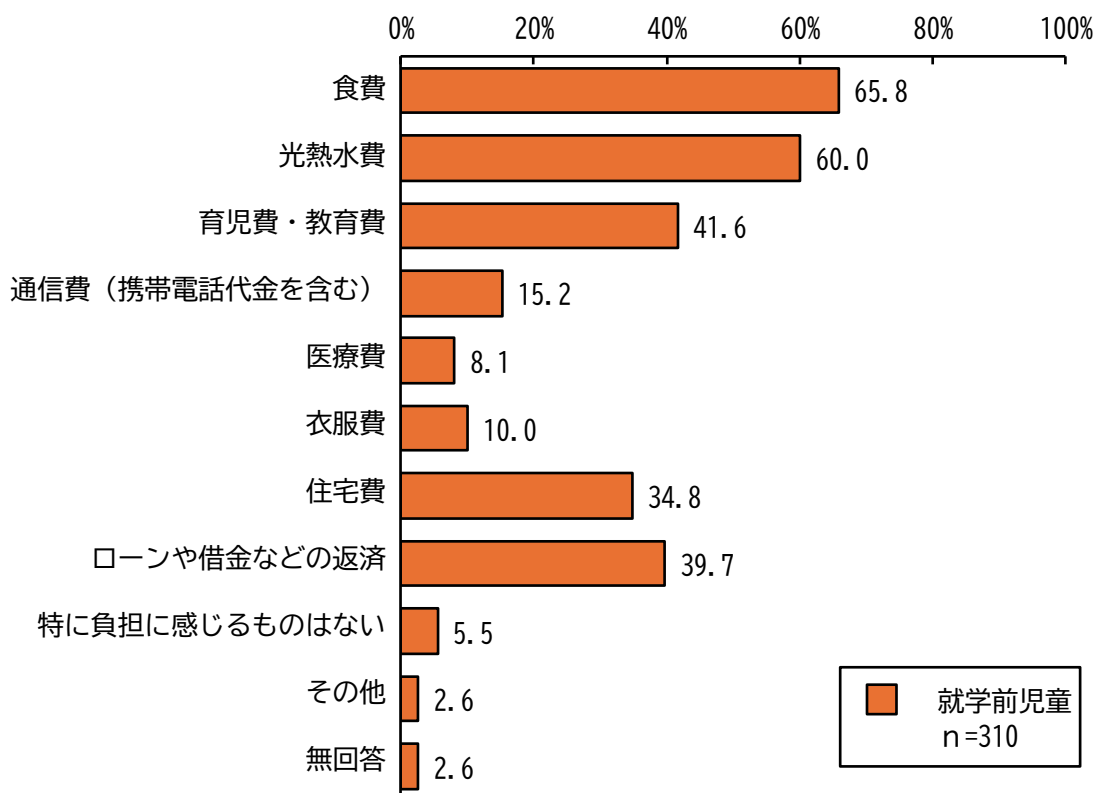
総合的な暮らしの状況については「普通」(54.8%)が最も多く、次いで「やや苦しい」(20.6%)、「ややゆとりがある」(14.8%)となっています。



問 43 生活費の中で負担に感じる費用はありますか。(あてはまるものすべてに○)

生活費の中で負担に感じる費用は「食費」(65.8%)が最も多く、次いで「光熱水費」(60.0%)、「育児費・教育費」(41.6%)となっています。

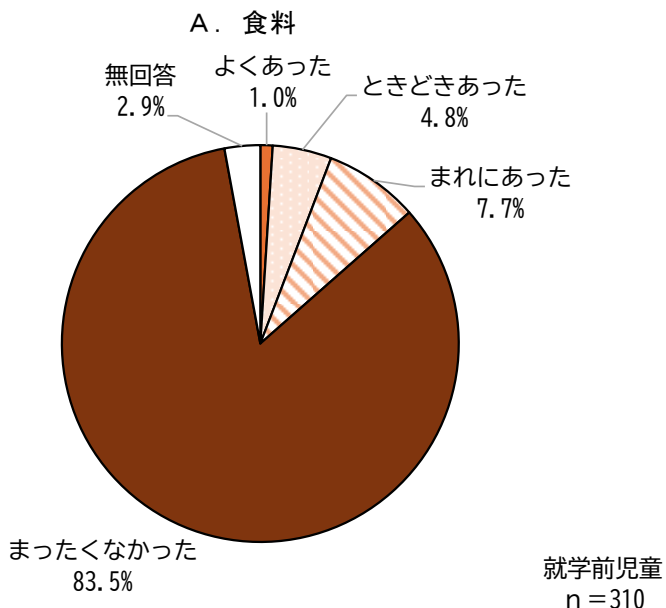
問 43 生活費の中で負担に感じるもの



問 44 あなたのご家庭では、過去1年の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買えないことがありましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○) A. 食料

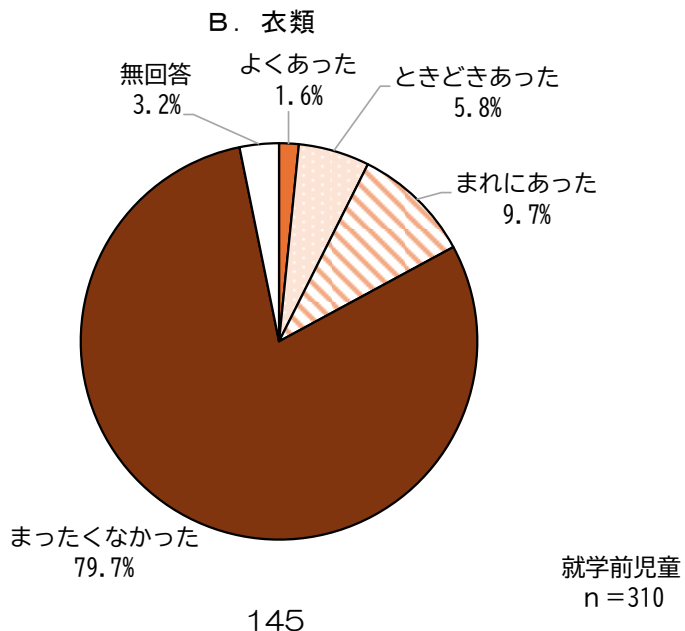
過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「食料」では「まったくなかった」(83.5%)が最も多く、次いで「まれにあった」(7.7%)、「ときどきあった」(4.8%)となっています。

問 44 過去1年間に、必要なものを買えなかったこと



問 44 あなたのご家庭では、過去1年の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買えないことがありましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○) B. 衣類

過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「衣類」では「まったくなかった」(79.7%)が最も多く、次いで「まれにあった」(9.7%)、「ときどきあった」(5.8%)となっています。

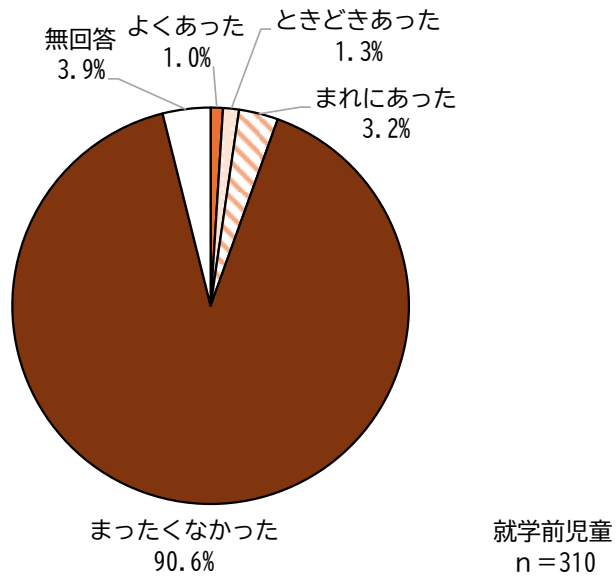


問 44 あなたのご家庭では、過去1年の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買えないことがありましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

C. 光熱水費

過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「光熱水費」では「まったくなかった」(90.6%)が最も多く、次いで「まれにあった」(3.2%)、「ときどきあった」(1.3%)となっています。

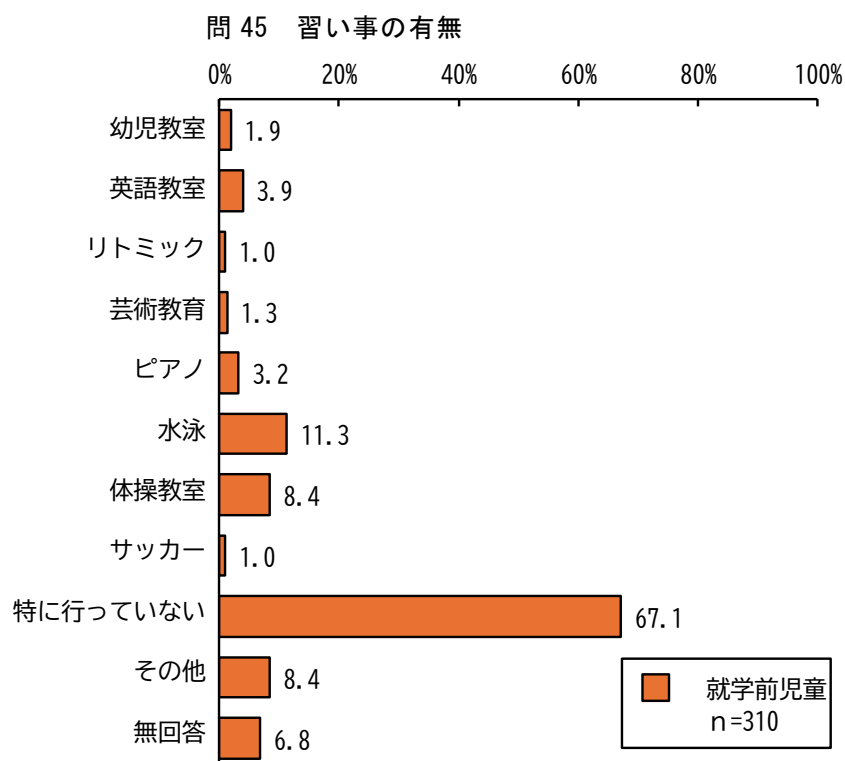
C. 光熱水費





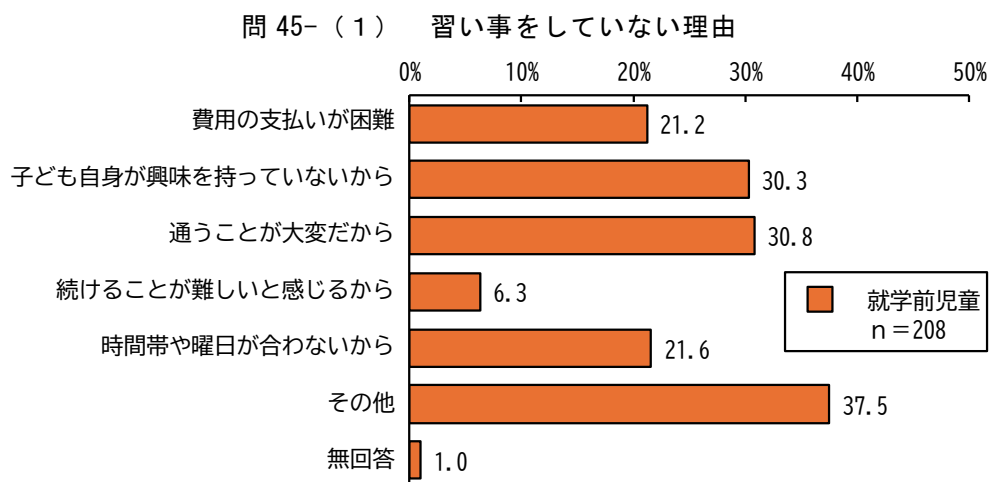
問 45 宛名のお子さんは現在習い事等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの習い事については「特に行っていない」(67.1%)が最も多く、次いで「水泳」(11.3%)、「体操教室」(8.4%)となっています。



問 45- (1) 塾や習い事をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

塾や習い事をしていない理由は「通うことが大変だから」(30.8%)が最も多く、次いで「子ども自身が興味を持っていないから」(30.3%)、「時間帯や曜日が合わないから」(21.6%)となっています。

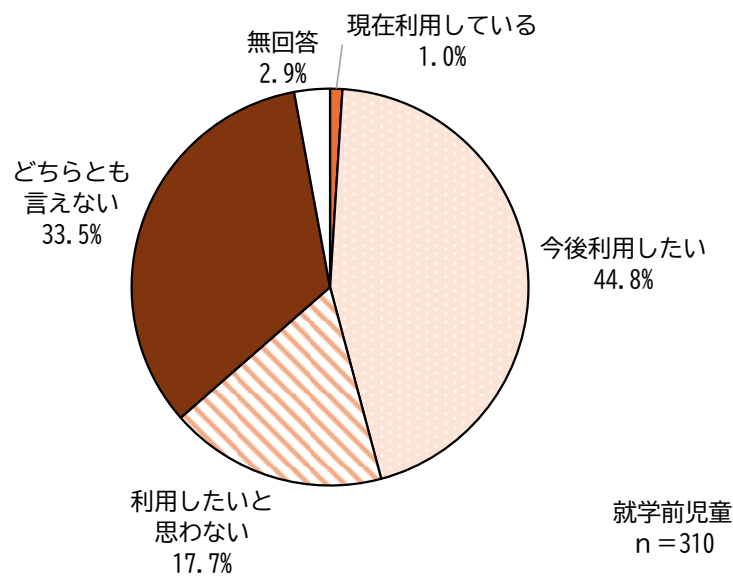


問 46 お子さんについて、ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）や子ども食堂（地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもたちに食事を提供する場）があった場合、利用したいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○） A. 無料の学習支援

無料の学習支援制度や子ども食堂の利用について「無料の学習支援」では「今後利用したい」（44.8%）が最も多く、次いで「どちらとも言えない」（33.5%）、「利用したいと思わない」（17.7%）となっています。

問 46 無料の学習支援制度や子ども食堂の利用希望

A. 無料の学習支援

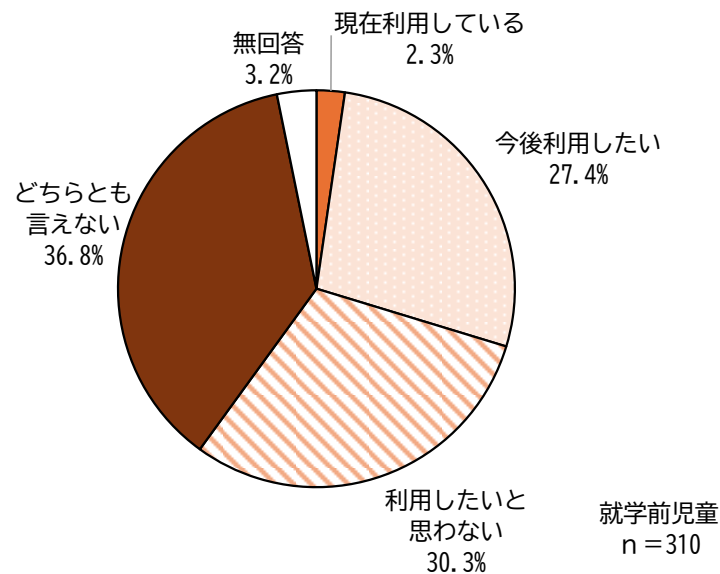


問 46 お子さんについて、ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）や子ども食堂（地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもたちに食事を提供する場）があった場合、利用したいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○） B. 子ども食堂

無料の学習支援制度や子ども食堂の利用について「子ども食堂」では「どちらとも言えない」(36.8%)が最も多く、次いで「利用したいと思わない」(30.3%)、「今後利用したい」(27.4%)となっています。

問 46 無料の学習支援制度や子ども食堂の利用希望

B. 子ども食堂

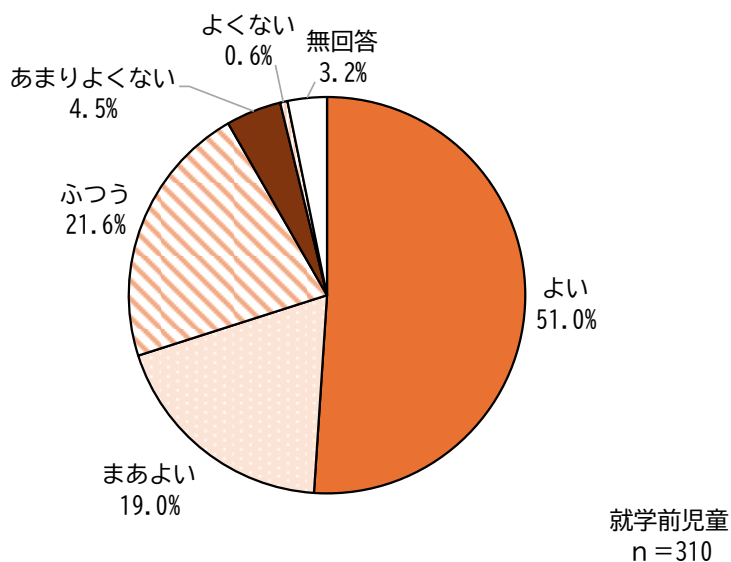


問 47 あなた（回答者）と宛名のお子さんの健康状態についておうかがいします。（それぞれ最も近いもの1つに○） A. あなた（回答者）

回答者の健康状態については「よい」（51.0%）が最も多く、次いで「ふつう」（21.6%）、「まあよい」（19.0%）となっています。

問 47 回答者から見た健康状態について

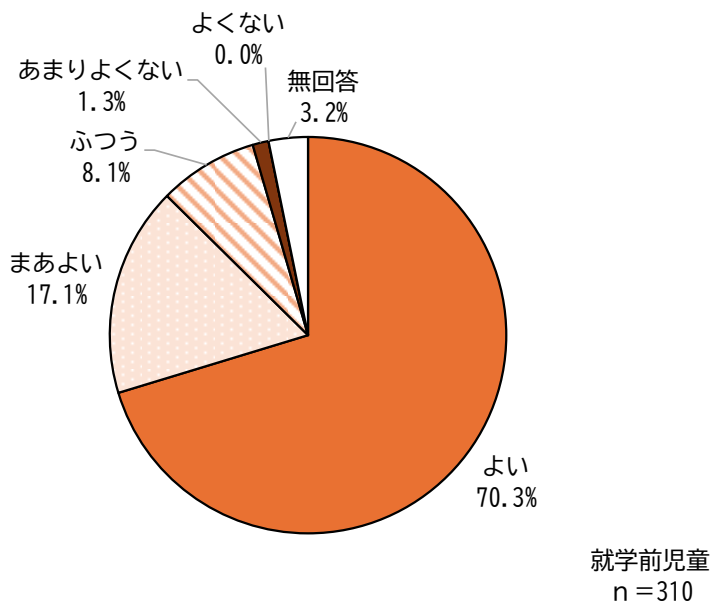
A. あなた（回答者）



問 47 あなた（回答者）と宛名のお子さんの健康状態についておうかがいします。（それぞれ最も近いもの1つに○） B. 宛名のお子さん

宛名のお子さんの健康状態については「よい」（70.3%）が最も多く、次いで「まあよい」（17.1%）、「ふつう」（8.1%）となっています。

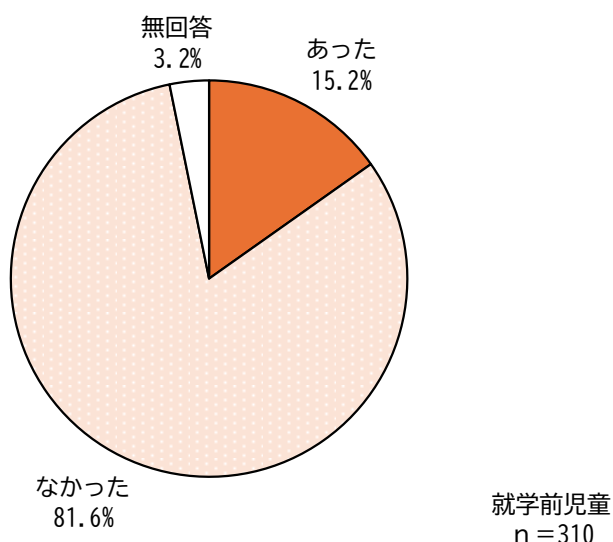
B. 子ども



問 48 あなたのご家庭では、過去1年間に、宛名のお子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

過去1年間に必要があるが、病院などを受診しなかったことは「なかった」(81.6%)、「あった」(15.2%)となっています。

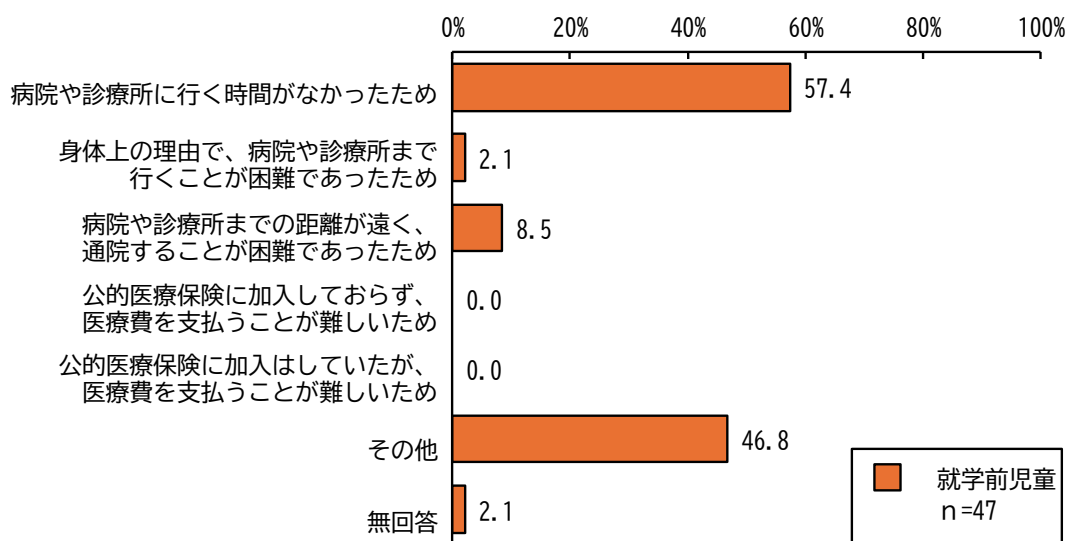
問 48 過去1年間に必要があるが、病院などを受診しなかったこと



問 48-1 その理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

病院などを受診しなかった理由については「病院や診療所に行く時間がなかったため」(57.4%)が最も多く、次いで「病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため」(8.5%)、「身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため」(2.1%)となっています。

問 48-1 受診しなかった理由

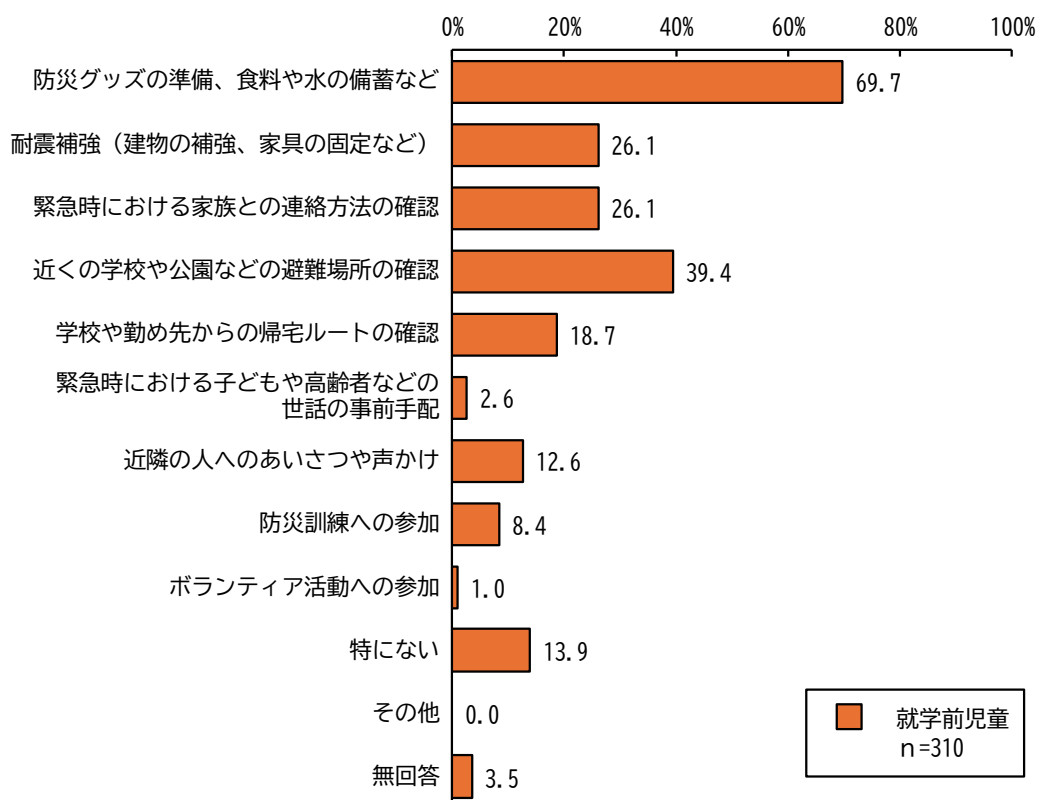


### 13 地域での生活について

問 49 防災について、あなたが行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

防災について行っていることは「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」(69.7%)が最も多く、次いで「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(39.4%)、「耐震補強(建物の補強、家具の固定など)」「緊急時における家族との連絡方法の確認」(各 26.1%)となっています。

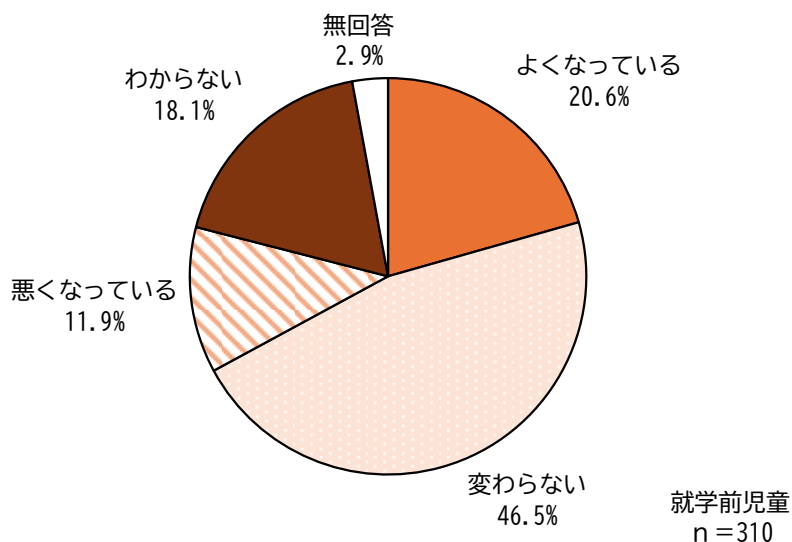
問 49 防災について行っていることの状況



問 50 お住まい周辺の道路交通環境について、ここ数年でどのように感じますか。(あてはまるもの1つに○)

周辺の道路交通環境については「変わらない」(46.5%)が最も多く、次いで「よくなっている」(20.6%)、「わからない」(18.1%)となっています。

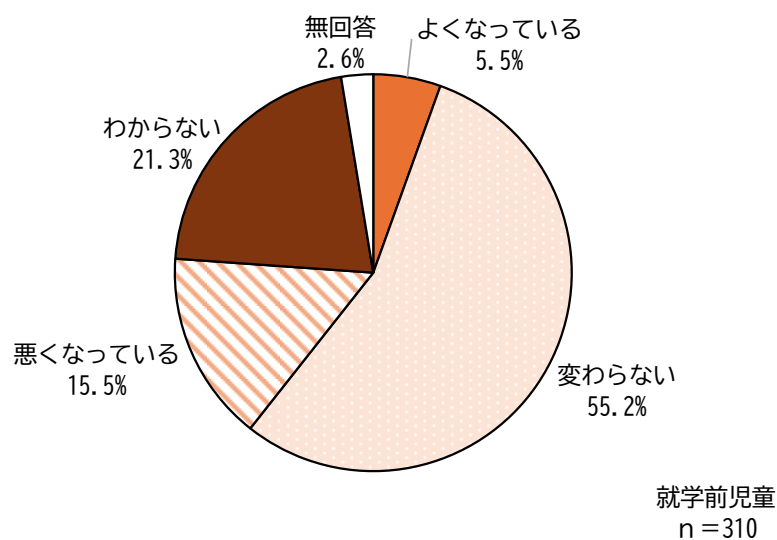
問 50 周辺の道路交通環境について



問 51 お住まい周辺の治安について、ここ数年でどのように感じますか。(あてはまるもの1つに○)

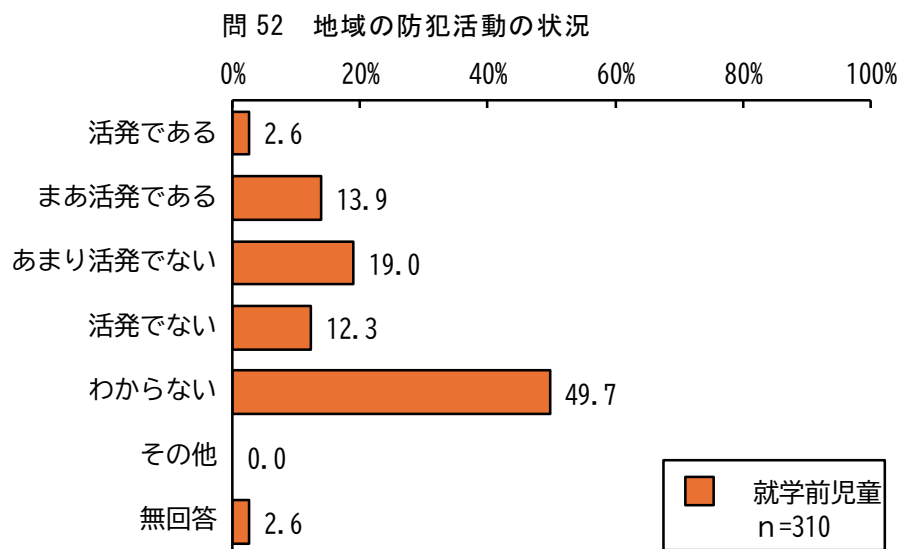
周辺の治安については「変わらない」(55.2%)が最も多く、次いで「わからない」(21.3%)、「悪くなっている」(15.5%)となっています。

問 51 周辺の治安について



問 52 お住まいの地域における防犯活動は、活発に行われていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

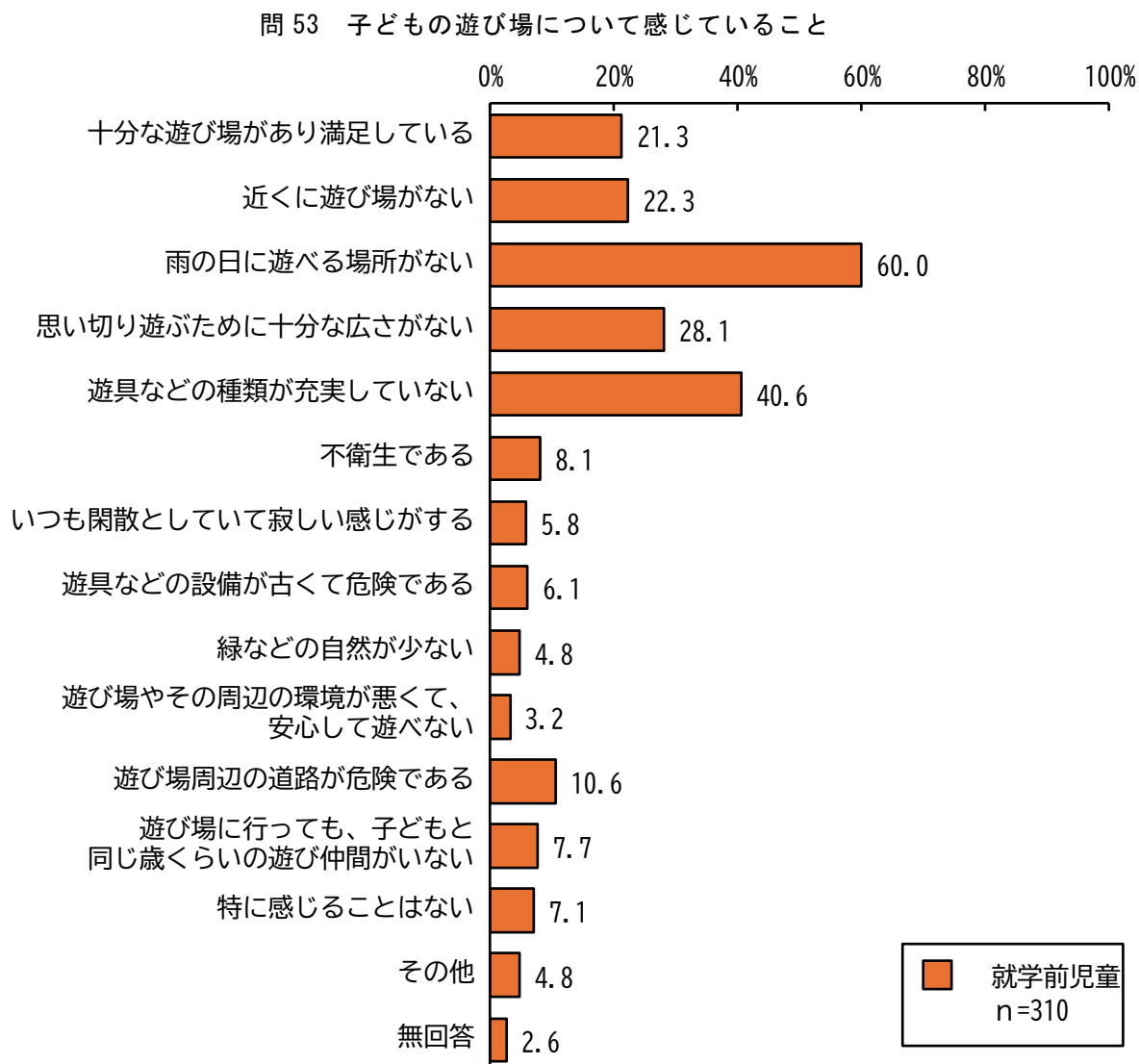
地域の防犯活動については「わからない」(49.7%)が最も多く、次いで「あまり活発でない」(19.0%)、「まあ活発である」(13.9%)となっています。





問 53 家の近くの子どもの遊び場について日頃感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

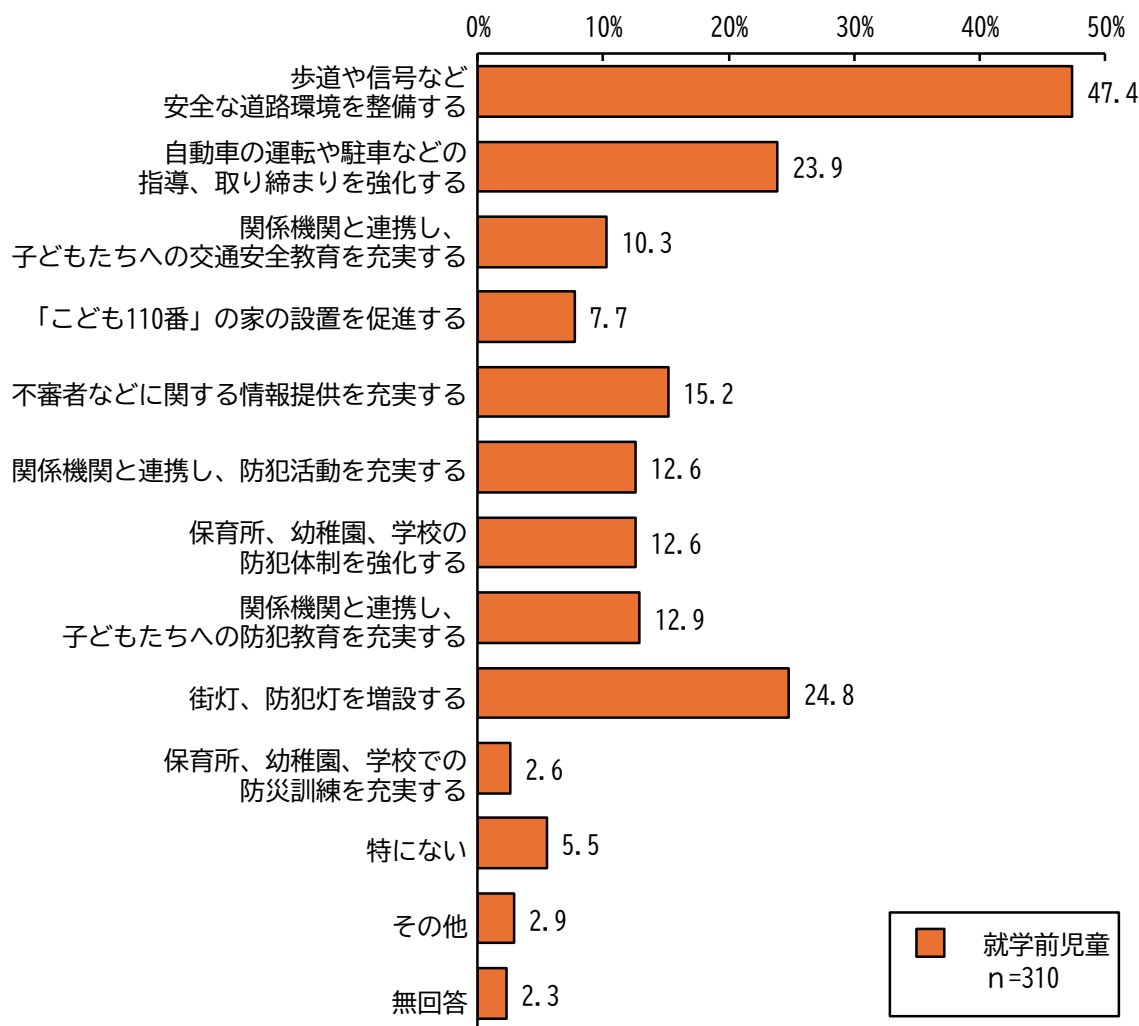
子どもの遊び場について感じていることは「雨の日に遊べる場所がない」(60.0%)が最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(40.6%)、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(28.1%)となっています。



問 54 子どもたちが地域で安全に暮らせるため、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(主なもの2つまでに○)

地域で安全に暮らせるために力を入れたらよいと思うことは「歩道や信号など安全な道路環境を整備する」(47.4%)が最も多く、次いで「街灯、防犯灯を増設する」(24.8%)、「自動車の運転や駐車などの指導、取り締まりを強化する」(23.9%)となっています。

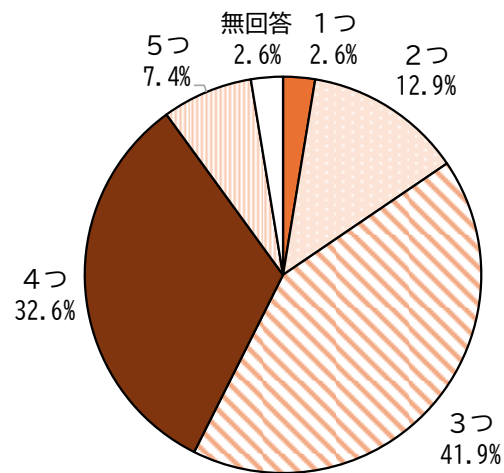
問 54 地域で安全に暮らせるために力を入れたらよいと思うこと



問 55 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。「1」（まったく満足していない）から「5」（十分に満足している）までで評価してください。

地域の子育て支援の環境や支援への満足度については「3つ」（41.9%）が最も多く、次いで「4つ」（32.6%）、「2つ」（12.9%）となっています。

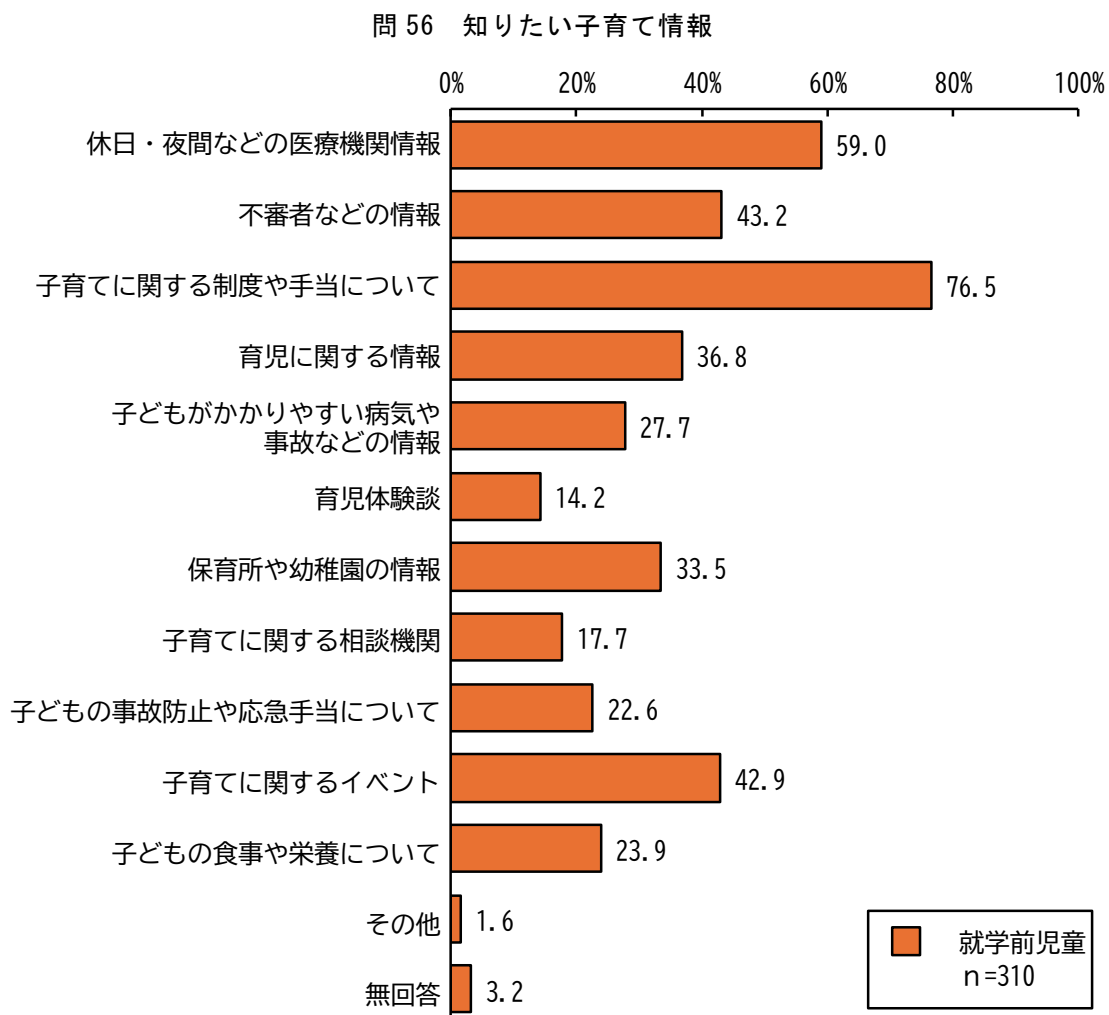
問 55 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況



就学前児童  
n=310

問 56 あなたは、子育て情報としてどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

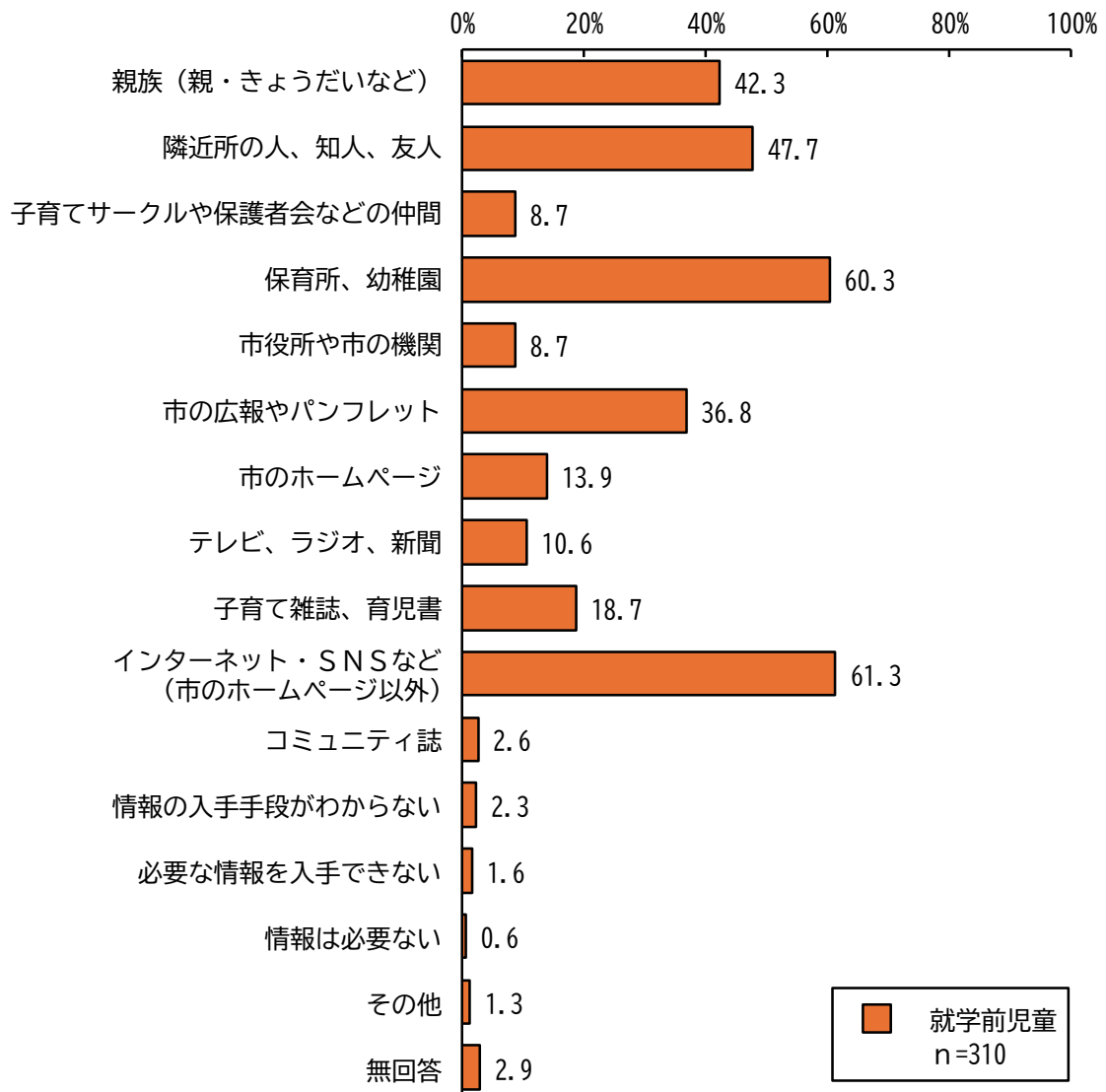
知りたい子育て情報については「子育てに関する制度や手当について」(76.5%)が最も多く、次いで「休日・夜間などの医療機関情報」(59.0%)、「不審者などの情報」(43.2%)となっています。



問 57 あなたは、子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手方法については「インターネット・SNSなど（市のホームページ以外）」(61.3%)が最も多く、次いで「保育所、幼稚園」(60.3%)、「隣近所の人、知人、友人」(47.7%)となっています。

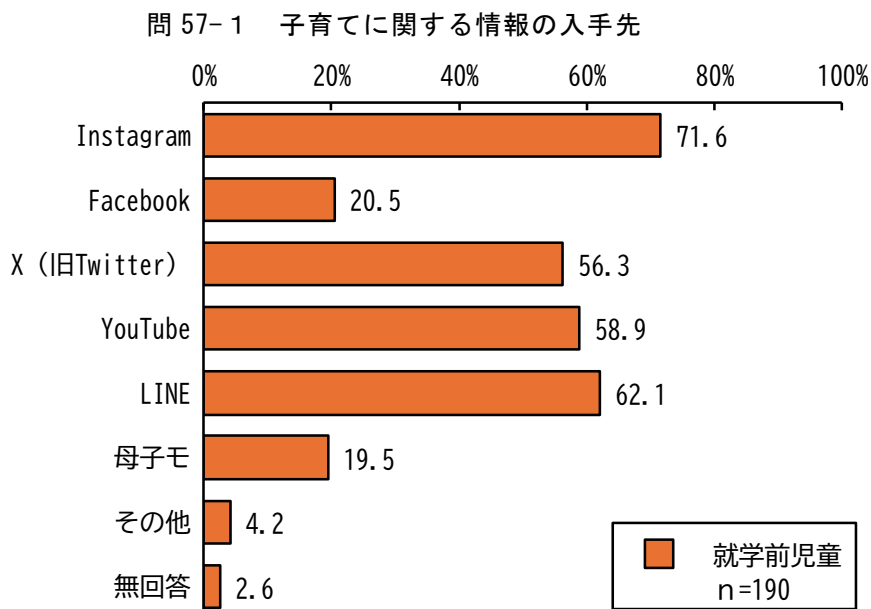
問 57 子育てに関する情報の入手方法



問 57-1 【インターネット・SNS などと回答した方】

以下のうちどれを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

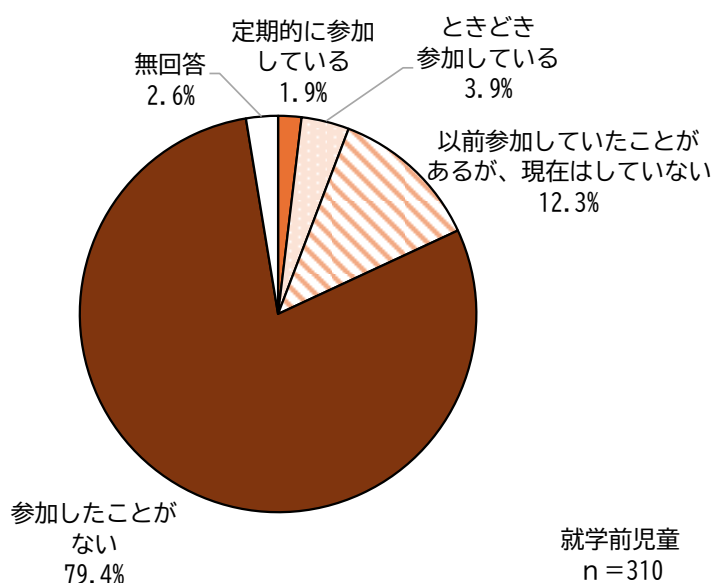
子育てに関する情報の入手先は「Instagram」(71.6%)が最も多く、次いで「LINE」(62.1%)、「YouTube」(58.9%)となっています。



問 58 あなたは、子育てに関するサークルや自主的な活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

子育てに関するサークルや自主的な活動の参加については「参加したことがない」(79.4%)が最も多く、次いで「以前参加していたことがあるが、現在はしていない」(12.3%)、「ときどき参加している」(3.9%)となっています。

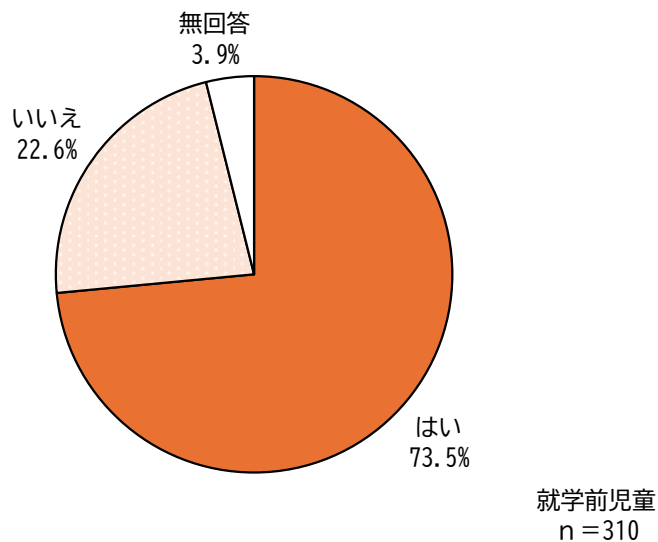
問 58 保護者のサークルや自主的活動の参加状況



問 59 児童虐待に関する下記の設問について、それぞれ「はい」、「いいえ」のどちらかを選択してください。(1)「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)については「はい」(73.5%)、「いいえ」(22.6%)となっています。

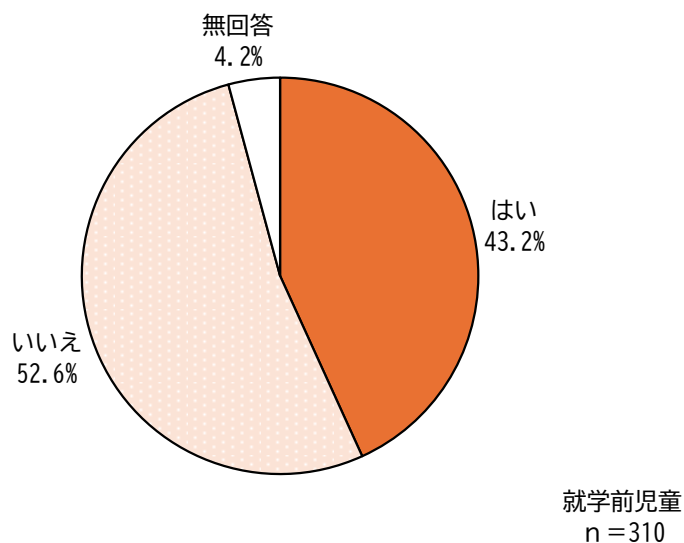
問 59- (1) 「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)を知っているか



問 59 児童虐待に関する下記の設問について、それぞれ「はい」、「いいえ」のどちらかを選択してください。(2) 児童虐待についての相談先をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

児童虐待の相談先については「いいえ」(52.6%)、「はい」(43.2%)となっています。

問 59- (2) 児童虐待についての相談先を知っているか

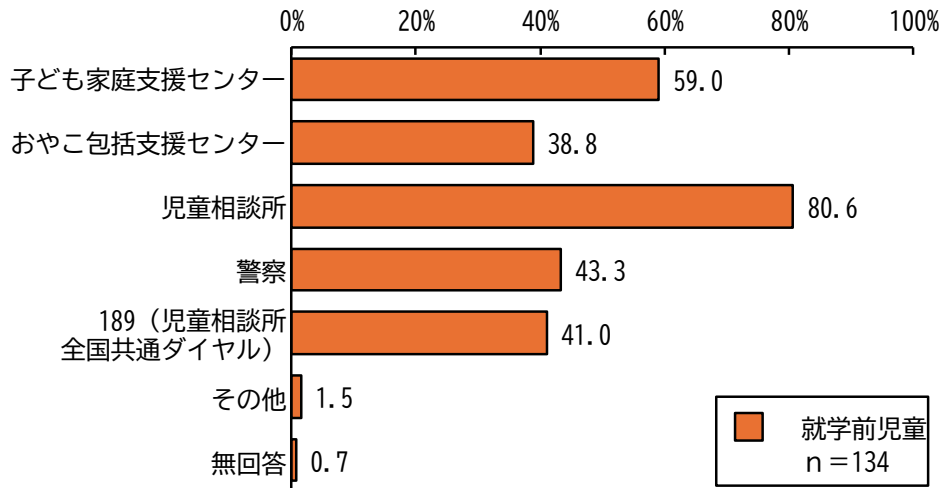


【相談先を知っていると答えた方】

問 59- (2) -1 相談先と考える機関に○をしてください (あてはまるものすべてに○)

児童虐待の相談先と考える機関は「児童相談所」(80.6%)が最も多く、次いで「子ども家庭支援センター」(59.0%)、「警察」(43.3%)となっています。

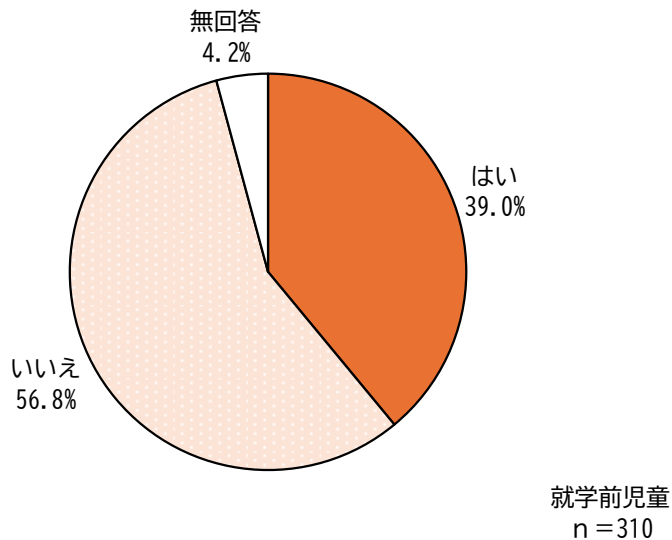
問 59- (2) -1 相談先と考える機関



問 59- (3) 児童虐待を発見した場合の通報先をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

児童虐待を発見した場合の通報先については「いいえ」(56.8%)、「はい」(39.0%)となっています。

問 59- (3) 児童虐待を発見した場合の通報先を知っているか



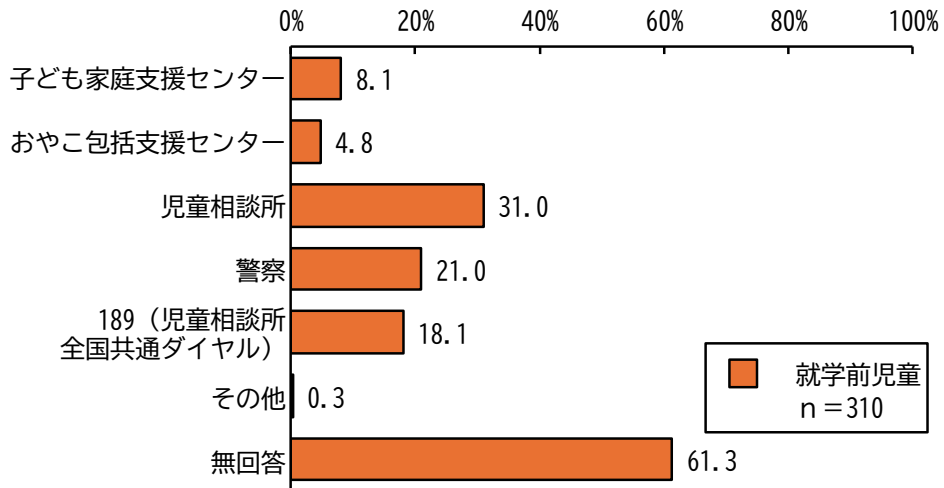


【通報先を知っていると答えた方】

問 59- (3) -1 通報先と考える機関に○をしてください (あてはまるものすべてに○)

通報先と考える機関については「児童相談所」(31.0%)が最も多く、次いで「警察」(21.0%)、「189 (児童相談所全国共通ダイヤル)」(18.1%)となっています。

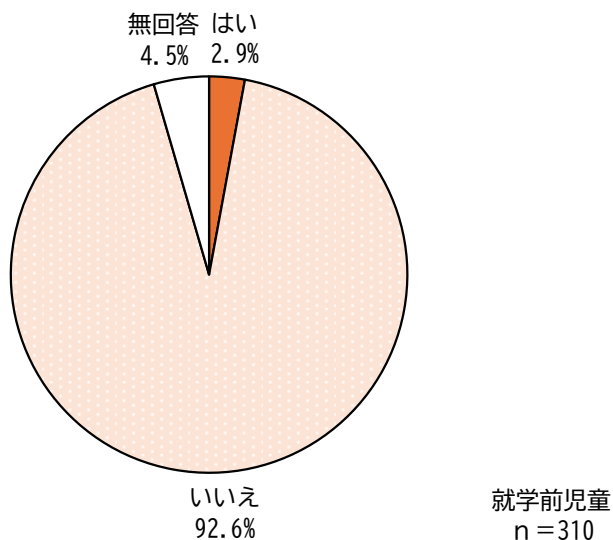
問 59- (3) -1 通報先と考える機関



問 59- (4) 身近で児童虐待と思われるようなことを見かけたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

身近で児童虐待と思われるようなことを見かけたことは「いいえ」(92.6%)、「はい」(2.9%)となっています。

問 59- (4) 身近で児童虐待と思われるようなことを見かけた経験の有無

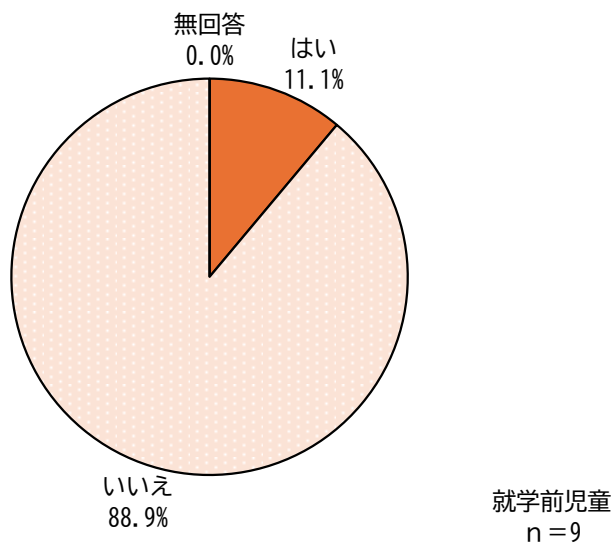


【身近で児童虐待を見かけたことがある方】

問 59- (4) -1 そのとき公的な機関に通報しましたか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、公的機関への通報については「いいえ」(2.6%)「はい」(0.3%)となっています。

問 59- (4) -1 公的機関への通報の有無



## **第 3 章**

### **小学生の保護者**

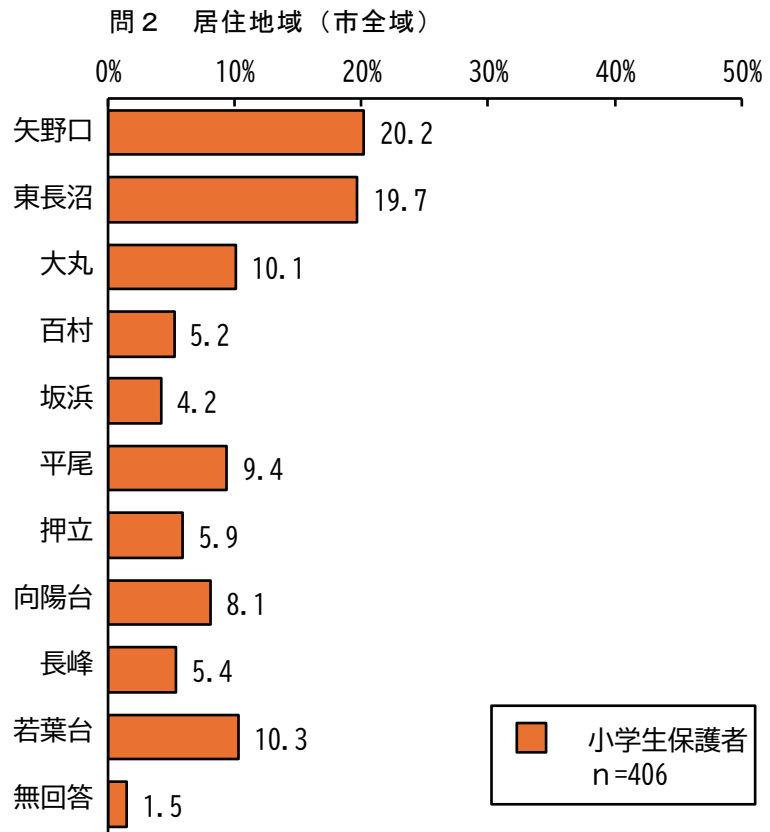


### 第3章 小学生の保護者

#### 1 あなたのことについて

問2 お住まいの地区はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

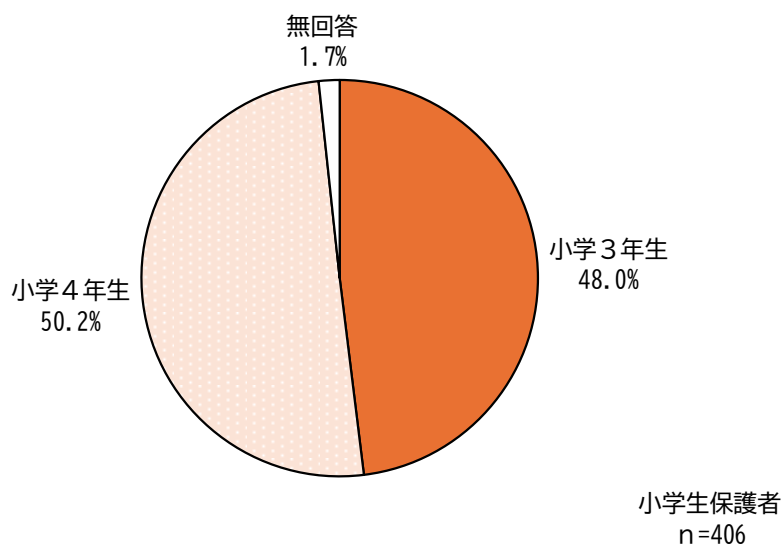
居住地(市全域)は「矢野口」(20.2%)が最も多く、次いで「東長沼」(19.7%)、「若葉台」(10.3%)となっています。



問3 宛名のお子さんの学年を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

子どもの学年は「小学4年生」(50.2%)、「小学3年生」(48.0%)となっています。

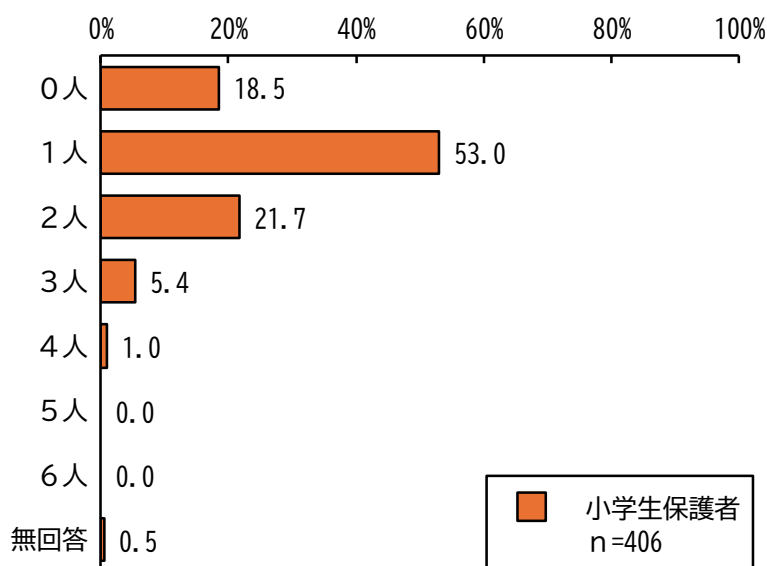
問3 子どもの学年



問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんのみの場合は0人とお答えください。)

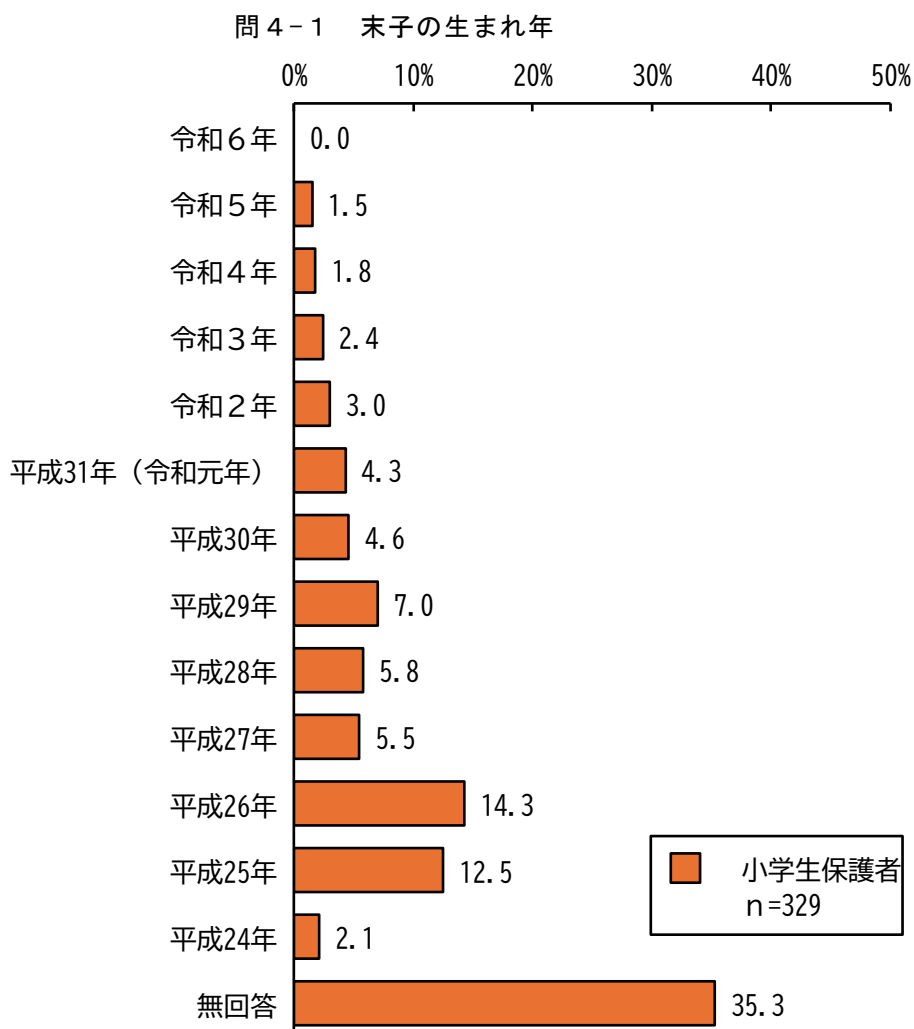
子どものきょうだいの数は「1人」(53.0%)が最も多く、次いで「2人」(21.7%)、「0人」(18.5%)となっています。

問4 子どもの人数



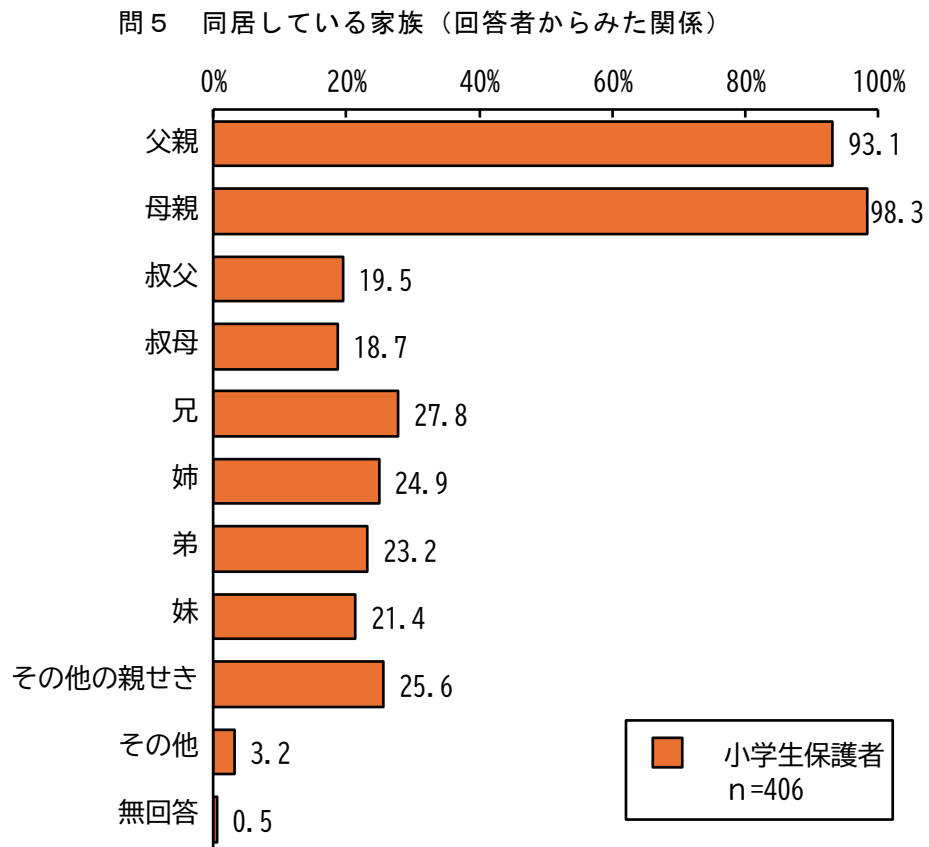
問4-1 末子は何年生まれですか。(あてはまるもの1つに○)

末子の生まれ年は「平成26年」(14.3%)が最も多く、次いで「平成25年」(12.5%)、「平成29年」(7.0%)となっています。



問5 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものそれぞれに○を選び、その人数を入力してください）

同居している家族は「母親」（98.3%）が最も多く、次いで「父親」（93.1%）、  
「兄」（27.8%）となっています。

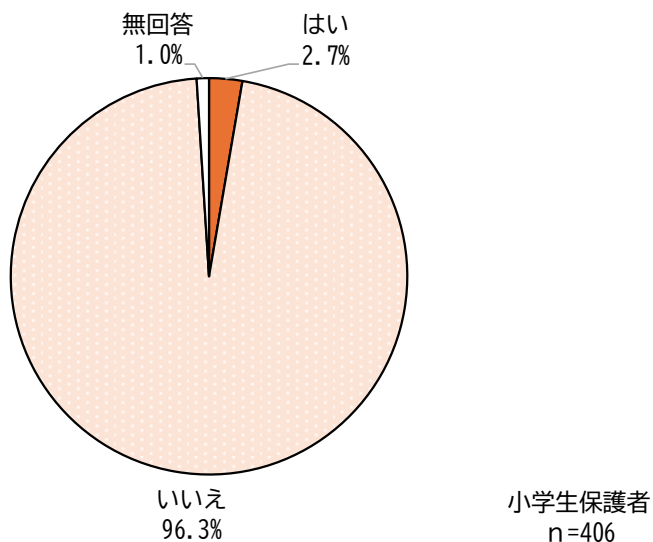




問6 宛名のお子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。(あてはまるもの1つに○)

介護が必要な家族の有無は「いいえ」(96.3%)、「はい」(2.7%)となっています。

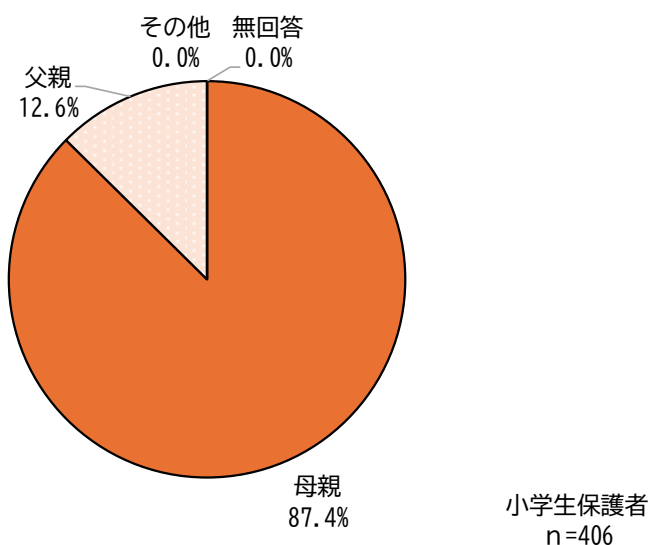
問6 介護が必要な家族の有無



問7 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

回答者については「母親」(87.4%)、「父親」(12.6%)となっています。

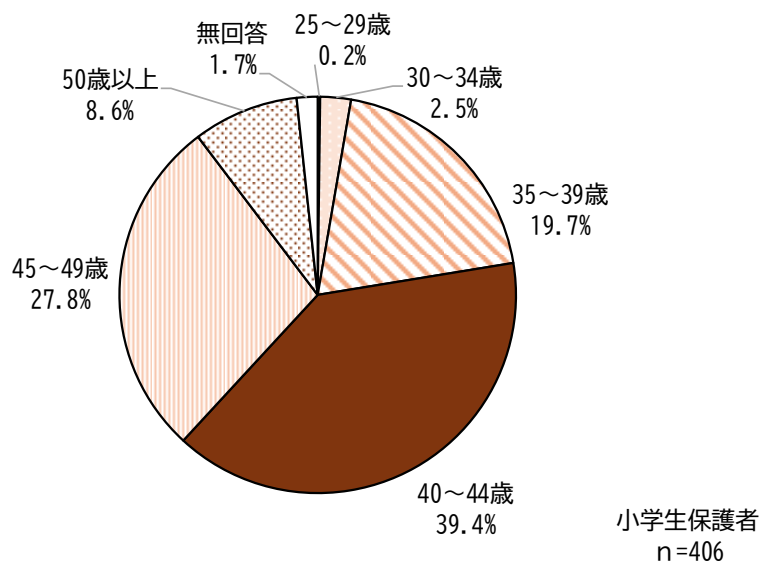
問7 回答者



問8 あなたの年齢を教えてください。

回答者の年齢は「40～44歳」(39.4%)が最も多く、次いで「45～49歳」(27.8%)、「35～39歳」(19.7%)となっています。

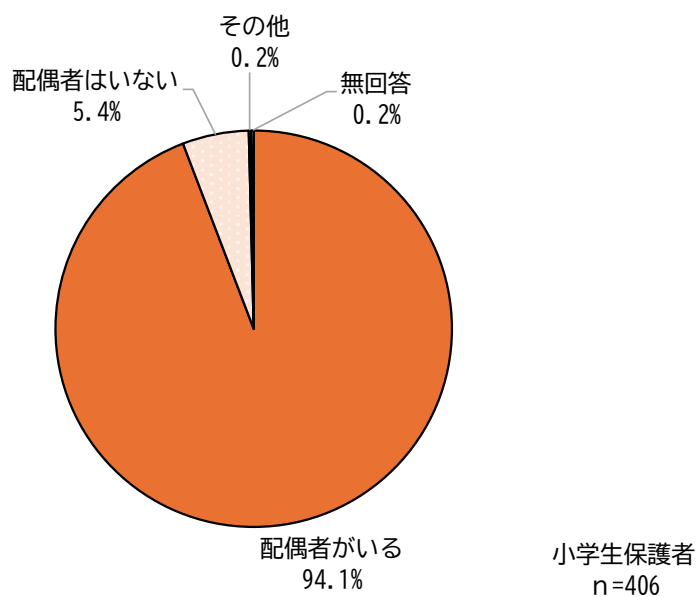
問8 回答者の年齢



問9 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

配偶者については「配偶者がいる」(94.1%)、「配偶者がいない」(5.4%)となっています。

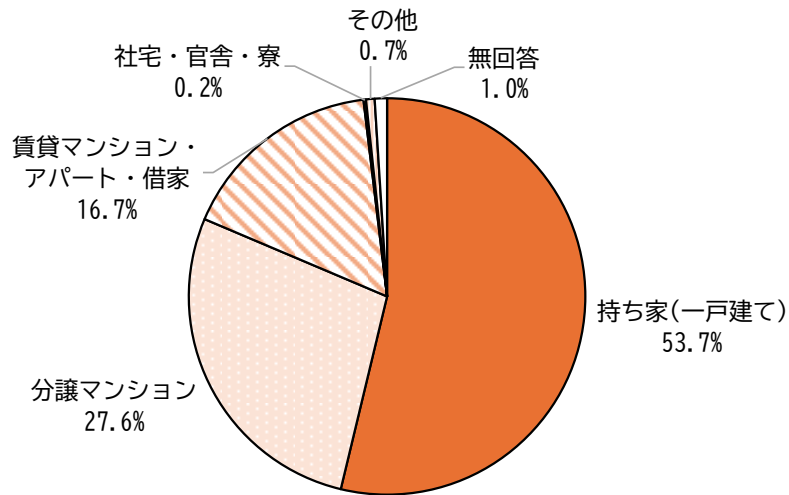
問9 配偶者の有無



問 10 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

住まいについては「持ち家（一戸建て）」(53.7%) が最も多く、次いで「分譲マンション」(27.6%)、「賃貸マンション・アパート・借家」(16.7%) となっています。

問 10 住まいの状況

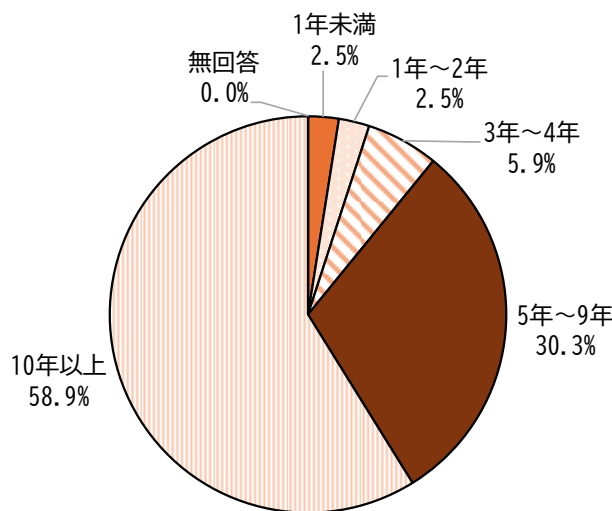


小学生保護者  
n=406

問 11 この調査票にご回答いただいている方は、稲城市に住んでどれくらいになりますか。(あてはまるもの1つに○)

居住年数は「10年以上」(58.9%) が最も多く、次いで「5年～9年」(30.3%)、「3年～4年」(5.9%) となっています。

問 11 居住年数



小学生保護者  
n=406

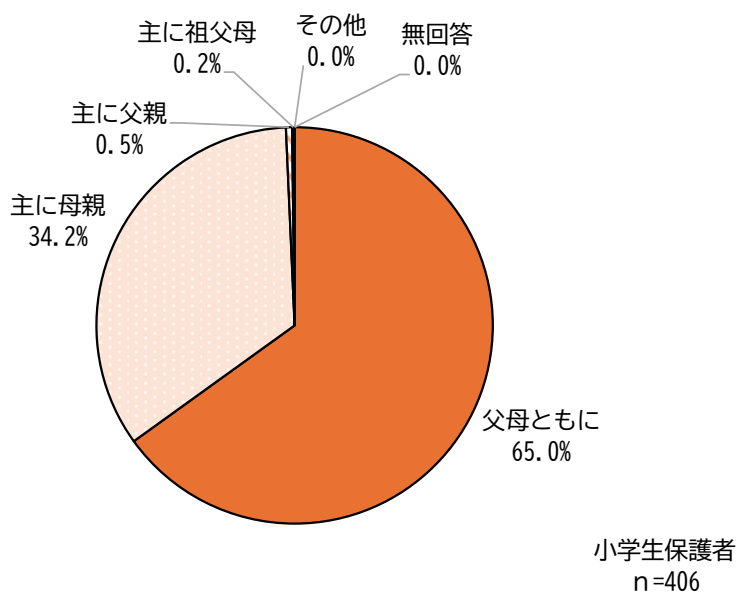
## 2 子育ての環境について

### (1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況

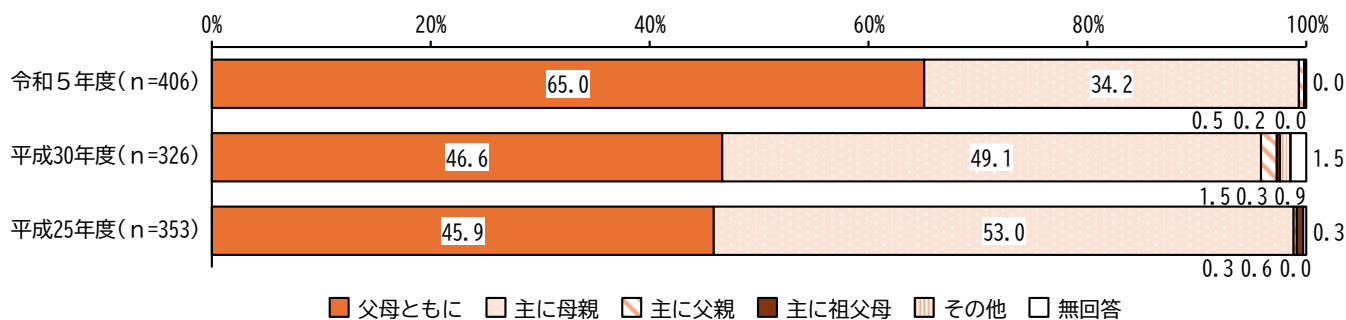
問 12 ご家庭において、宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

主に子育てを行っている方は「父母ともに」（65.0%）が最も多く、次いで「主に母親」（34.2%）、「主に父親」（0.5%）となっています。

問 12 主に子育てを行っている方【経年比較】



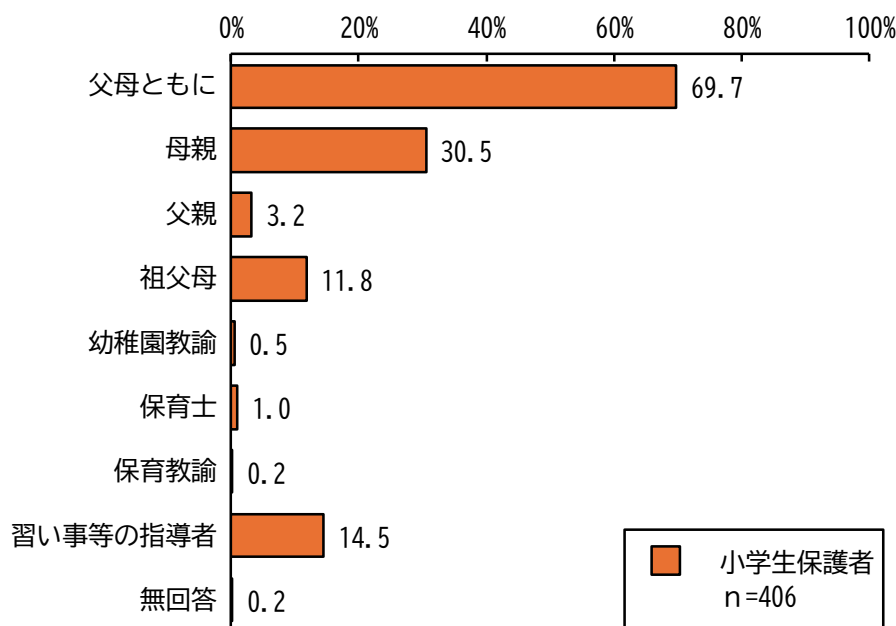
【経年比較】



問 13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

日常的に子育てに関わっている方は「父母ともに」（69.7%）が最も多く、次いで「母親」（30.5%）、「習い事等の指導者」（14.5%）となっています。

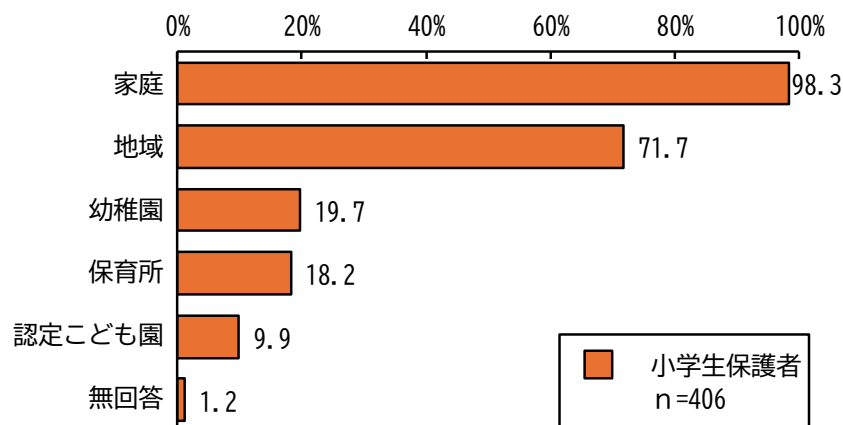
問 13 日常的に子育てに関わっている方



問 14 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響を与えると思う環境は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響を与える環境は「家庭」（98.3%）が最も多く、次いで「地域」（71.7%）、「幼稚園」（19.7%）となっています。

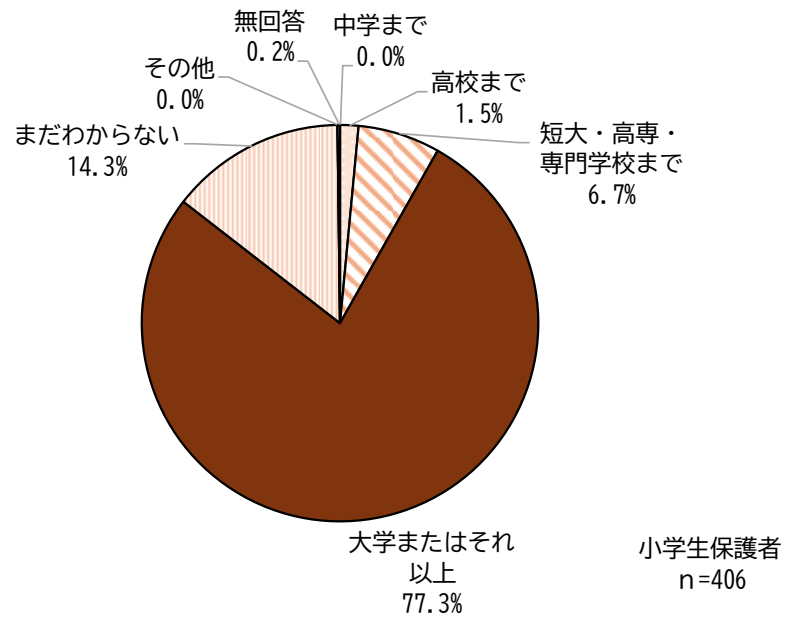
問 14 子育てに影響を与える環境



問 15 宛名のお子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(あてはまるもの1つに○)

子どもに受けさせたい教育は「大学またはそれ以上」(77.3%)が最も多く、次いで「まだわからない」(14.3%)、「短大・高専・専門学校まで」(6.7%)となっています。

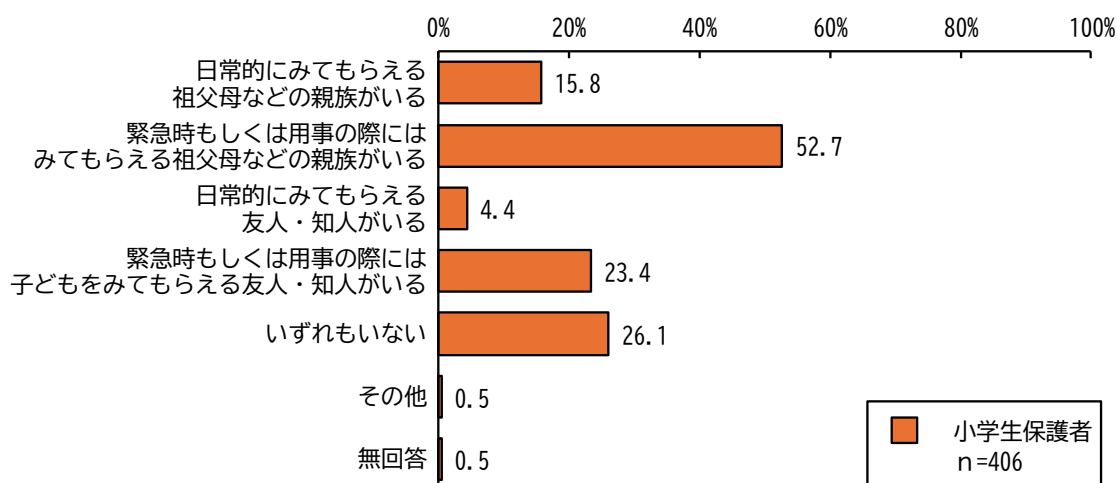
問 15 子どもに受けさせたい教育



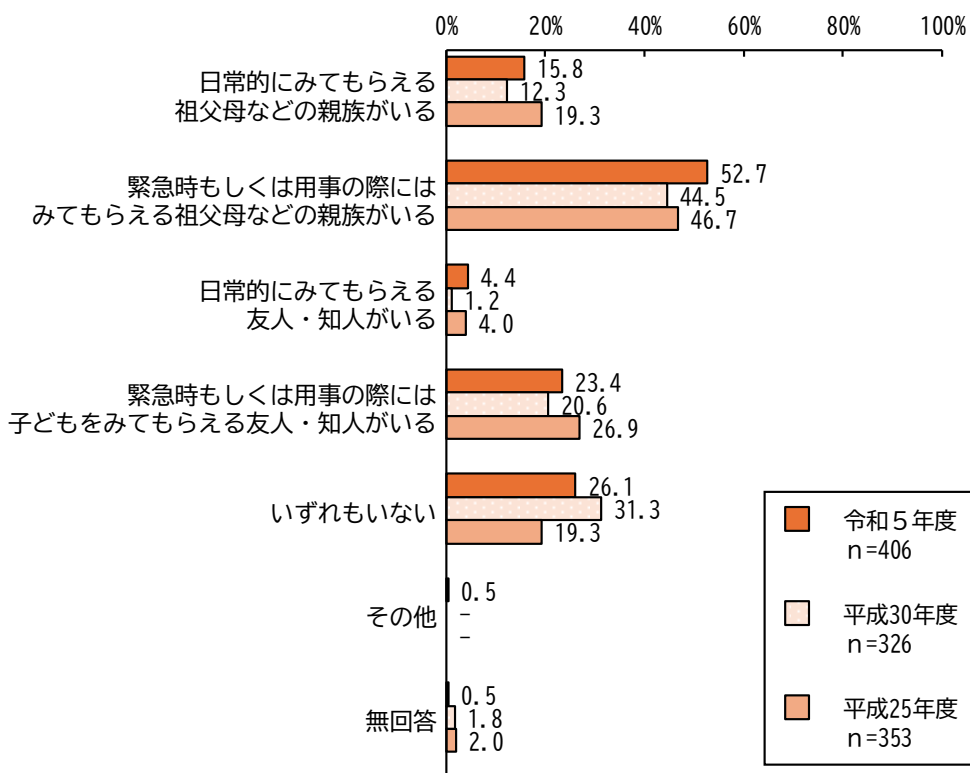
問 16 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか（あてはまるものすべてに○）

主な親族等協力者については「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる祖父母などの親族がいる」(52.7%)が最も多く、次いで「いずれもない」(26.1%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(23.4%)となっています。

問 16 主な親族等協力者の状況【経年比較】



【経年比較】

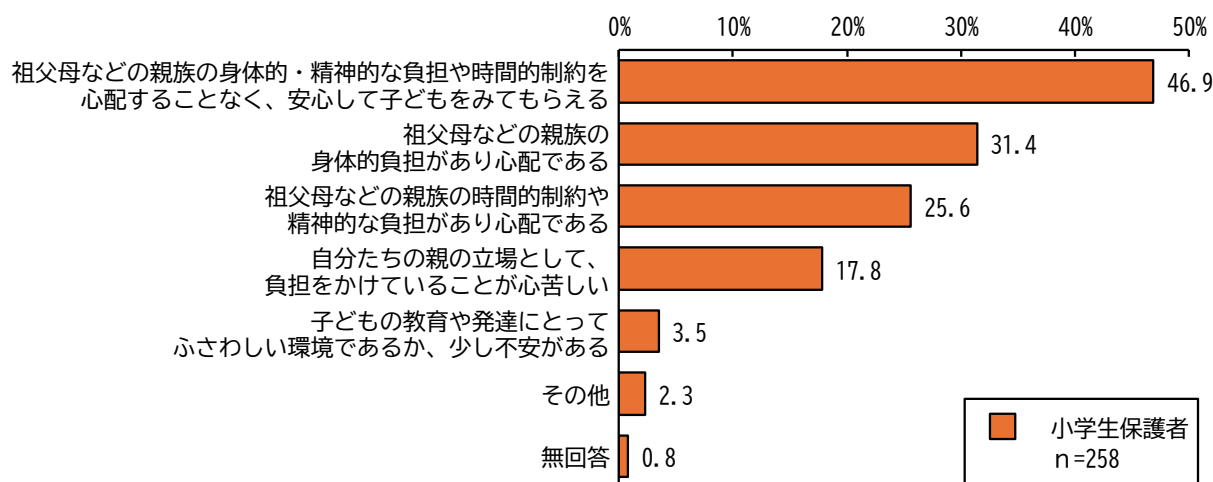


※平成 25 年度及び平成 30 年度のアンケート調査では「その他」の選択肢はありませんでした。

問 16- (1) 祖父母などの親族にみてもらう状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことについては「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(46.9%)が最も多く、次いで「祖父母などの親族の身体的負担があり心配である」(31.4%)、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(25.6%)となっています。

問 16- (1) 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え

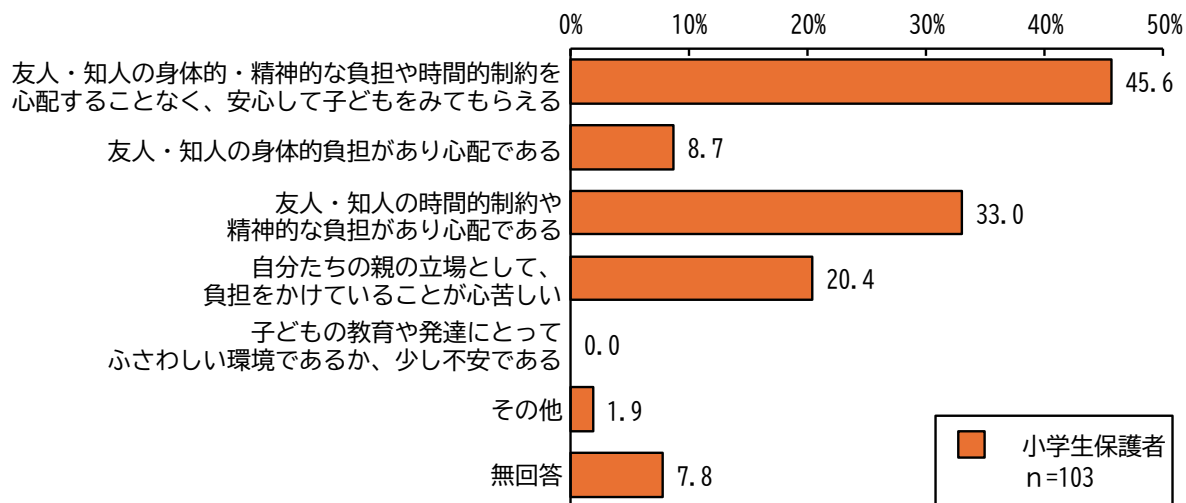




問 16- (2) 友人・知人にみてもらう状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に預かってもらうことについては「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(45.6%)が最も多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(33.0%)、「自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(20.4%)となっています。

問 16- (2) 友人・知人に預かってもらうことへの考え

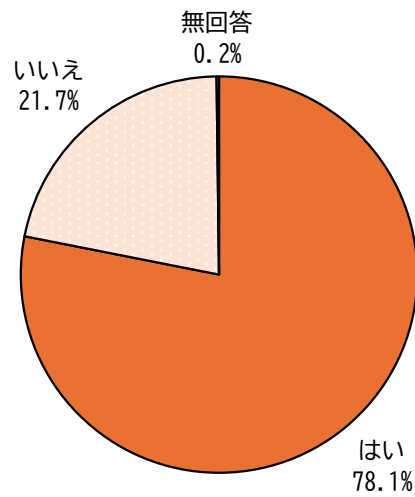


## (2) 子育てに関する相談者の状況について

問17 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（または場所）はありますか。（あてはまるもの1つに○）

気軽に相談できる人の有無は「はい」（78.1%）、「いいえ」（21.7%）となっています。

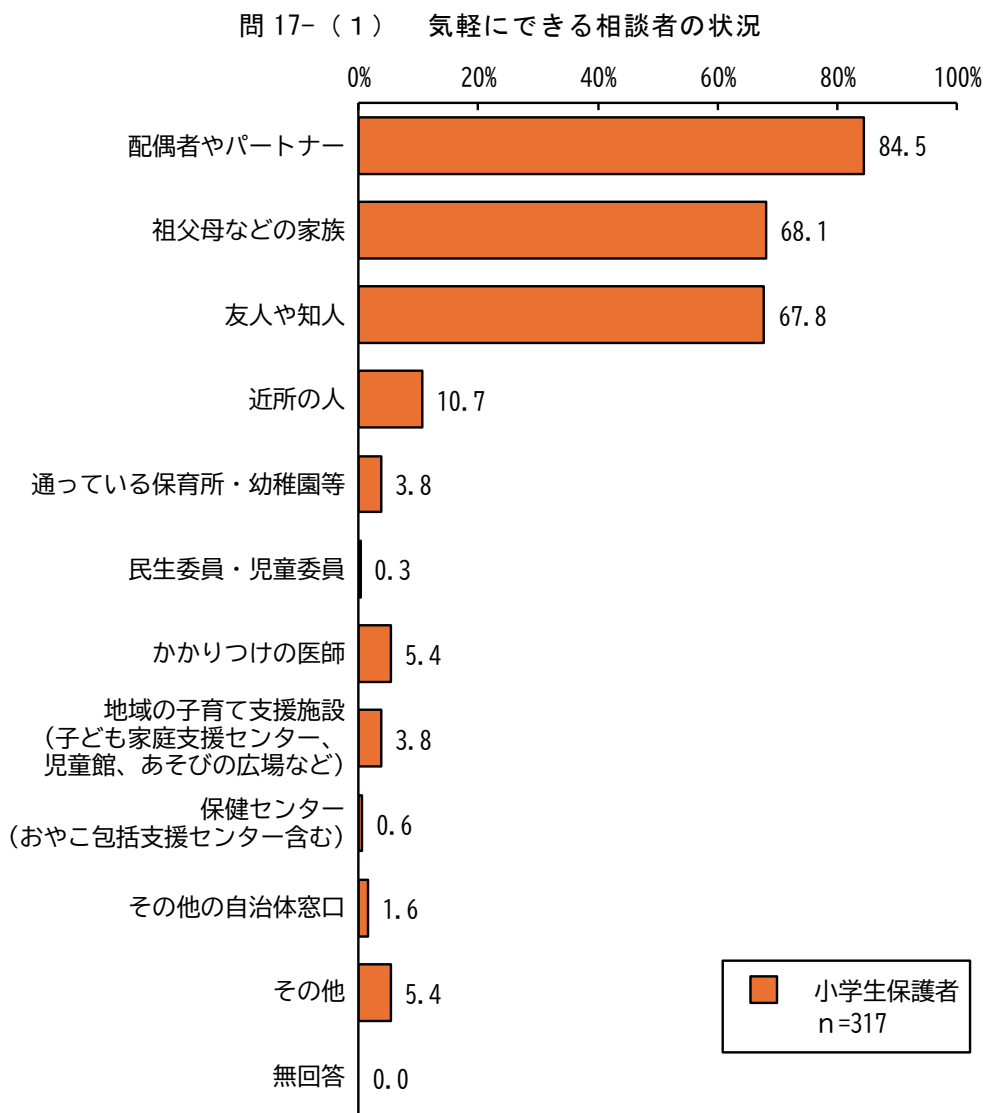
問17 気軽に相談できる人の有無



小学生保護者  
n=406

問 17- (1) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽にできる相談先については「配偶者やパートナー」（84.5%）が最も多く、次いで「祖父母などの家族」（68.1%）、「友人や知人」（67.8%）となっています。



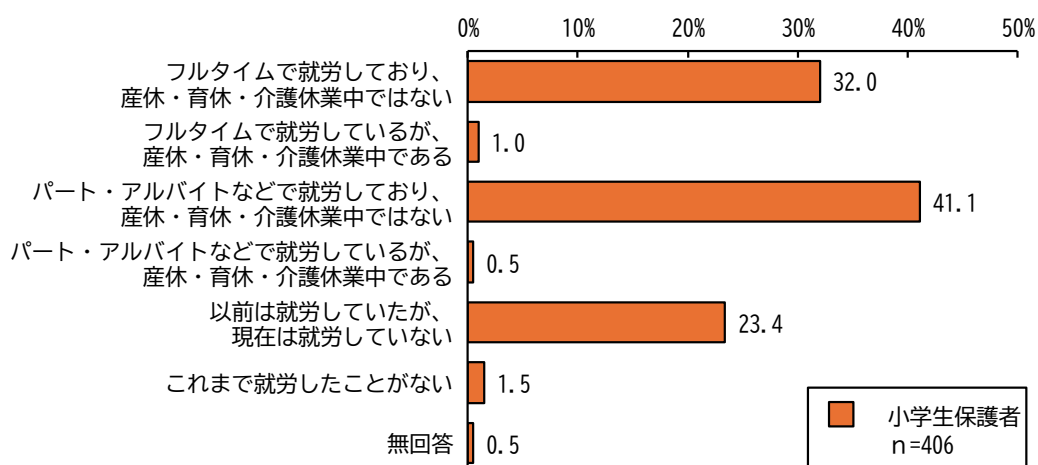
### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

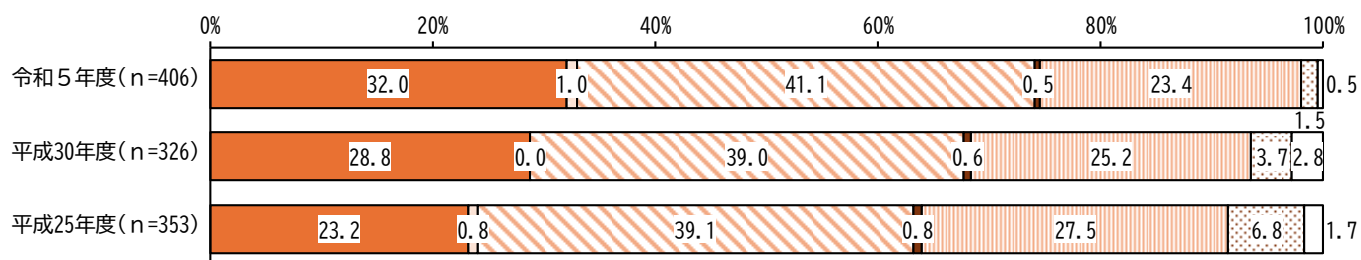
問 19- (1) 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○) ※父子家庭の場合は回答不要です。(1) 就労状況

母親の就労状況については「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(41.1%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(32.0%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(23.4%)となっています。

問 19- (1) 母親の就労状況【経年比較】



#### 【経年比較】

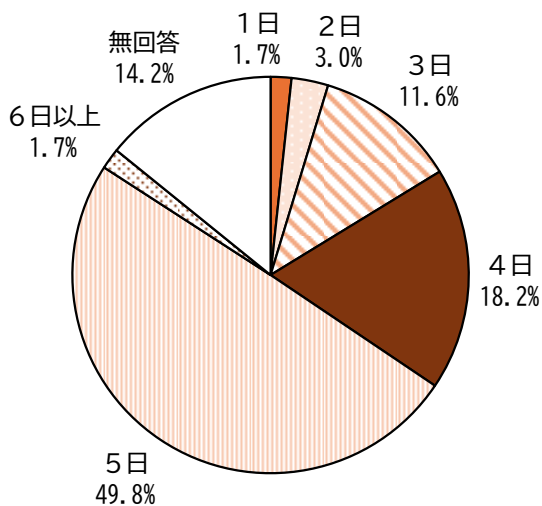


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

問 19- (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

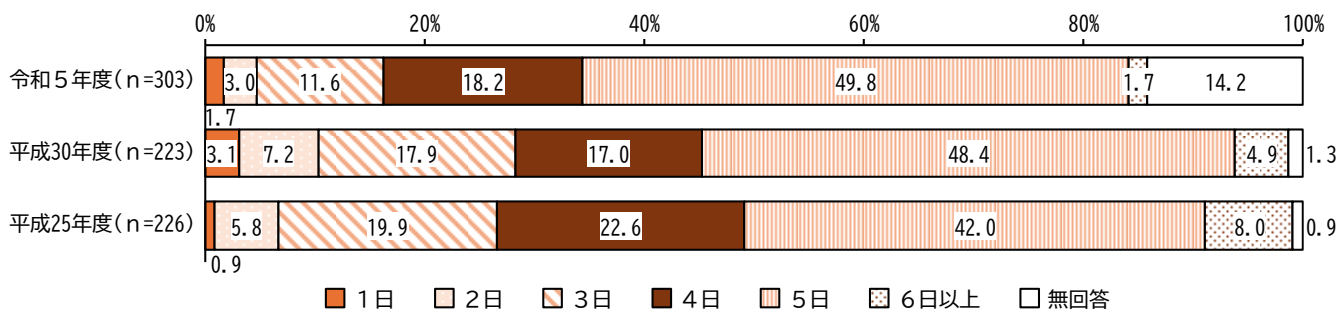
母親の1週当たりの就労日数は「5日」（49.8%）が最も多く、次いで「4日」（18.2%）、「3日」（11.6%）となっています。

A. 母親の就労日数（1週当たり）【経年比較】



小学生保護者  
n=303

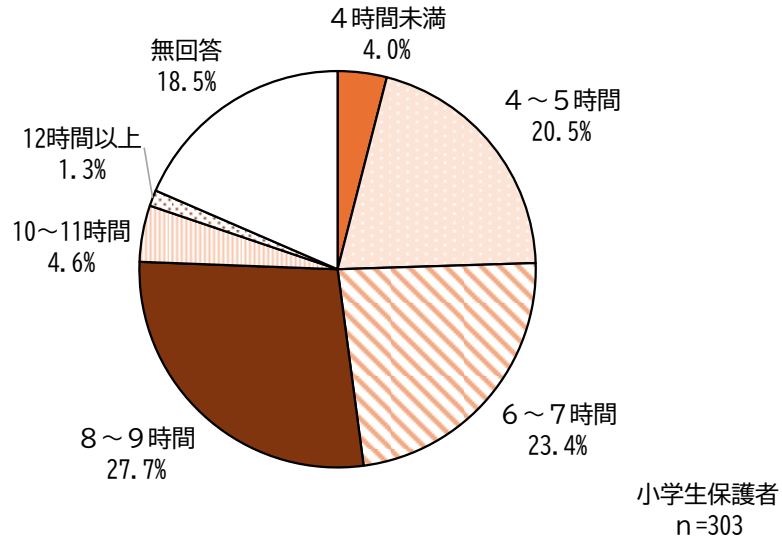
【経年比較】



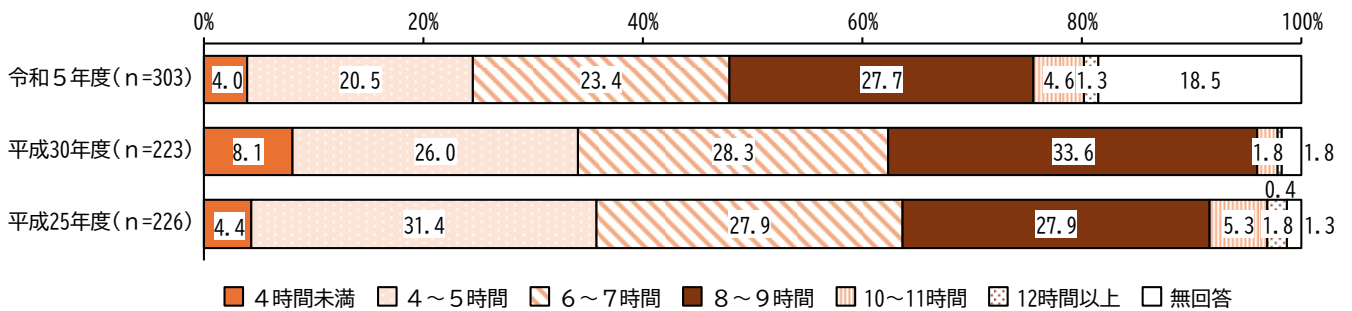
問 19- (1) -1 B. 1日当たり就労時間（残業含む）

母親の1日当たりの就労時間（残業含む）は「8～9時間」（27.7%）が最も多く、次いで「6～7時間」（23.4%）、「4～5時間」（20.5%）となっています。

B. 母親の就労時間（1日当たり）【経年比較】



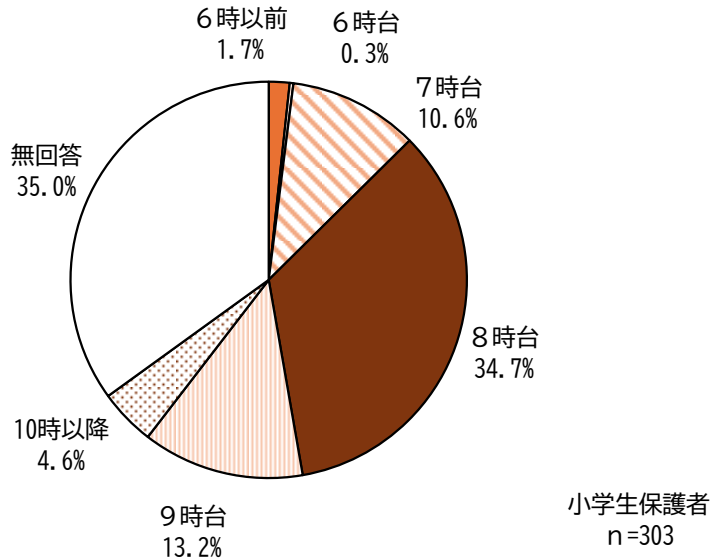
【経年比較】



問 19- (1) -1 C. 家を出る時間

母親が家を出る時間は「8時台」(34.7%)が最も多く、次いで「9時台」(13.2%)、「7時台」(10.6%)となっています。

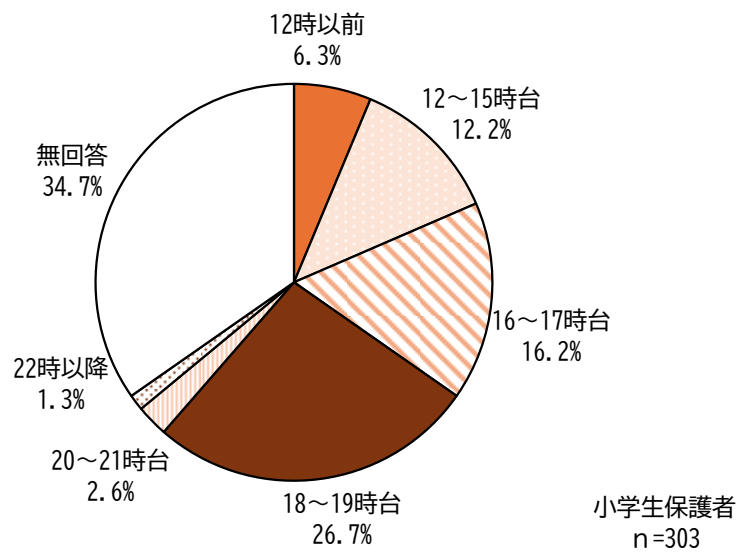
C. 母親の家を出る時間



問 19- (1) -1 D. 帰宅時間

母親が帰宅する時間は「18～19時台」(26.7%)が最も多く、次いで「16～17時台」(16.2%)、「12～15時台」(12.2%)となっています。

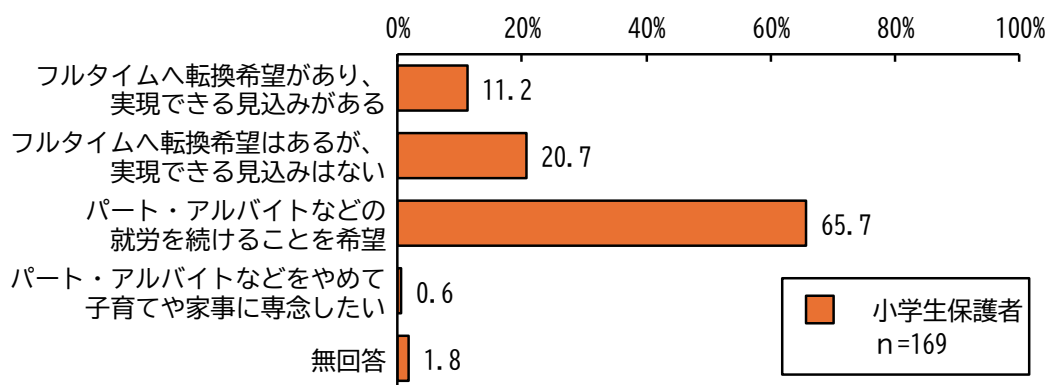
D. 母親の帰宅時間



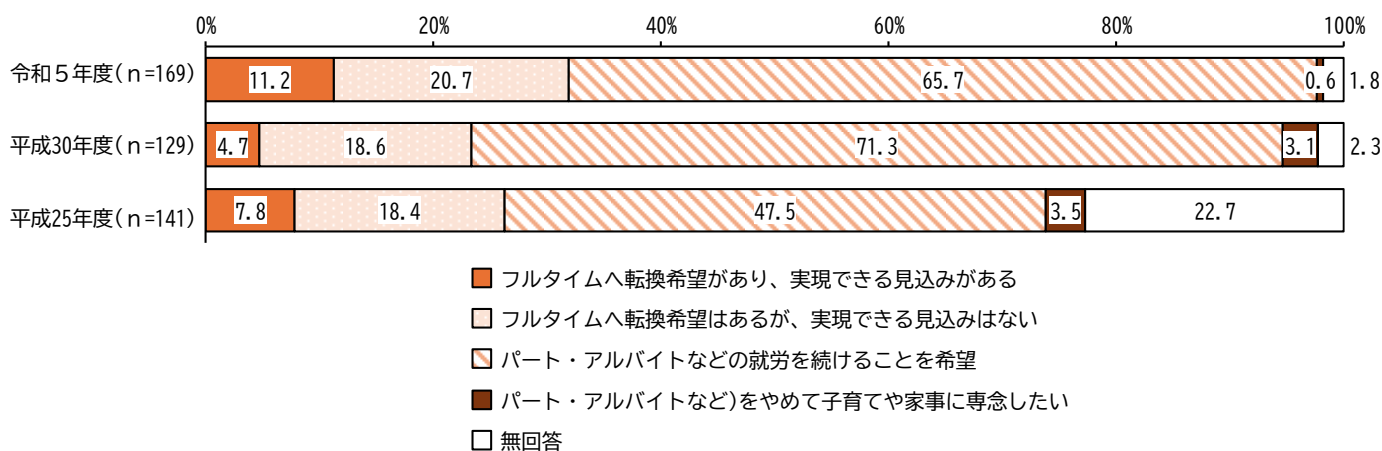
問 19- (1) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(65.7%)が最も多く、次いで「フルタイムへ転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(20.7%)、「フルタイムへ転換希望があり、実現できる見込みがある」(11.2%)となっています。

問 19- (1) -2 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向【経年比較】



【経年比較】

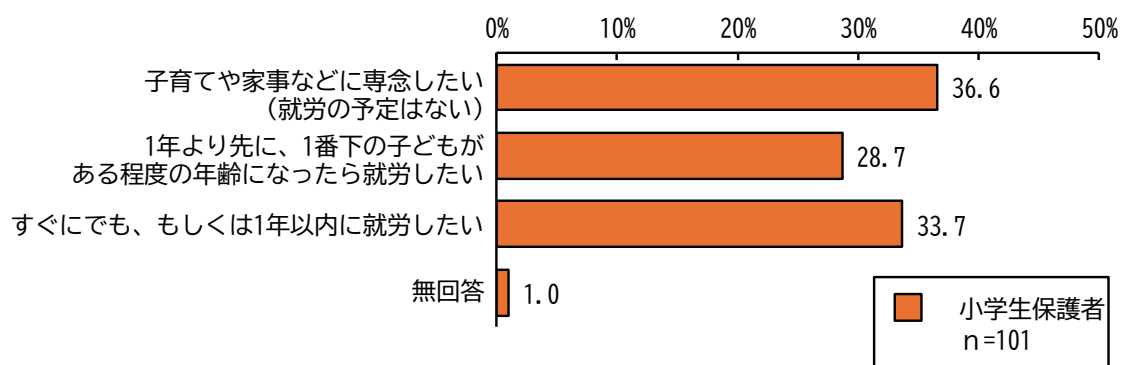




問 19- (1) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

就労していない母親の今後の就労希望は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(36.6%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(33.7%)、「1年より先に、1番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」(28.7%)となっています。

問 19- (1) -3 就労していない母親の今後の就労希望



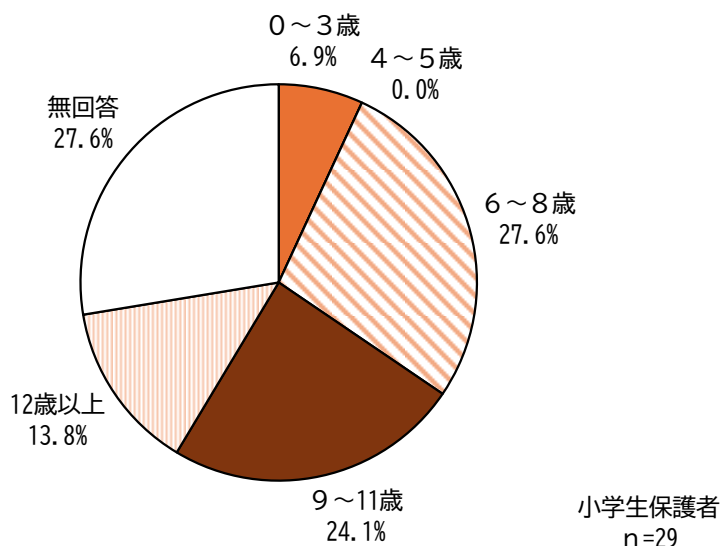
問 19- (1) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。

母親の就労希望時の末子の年齢は「6～8歳」(27.6%)が最も多く、次いで「9～11歳」(24.1%)、「12歳以上」(13.8%)となっています。

問 19- (1) -3 母親の今後の就労希望

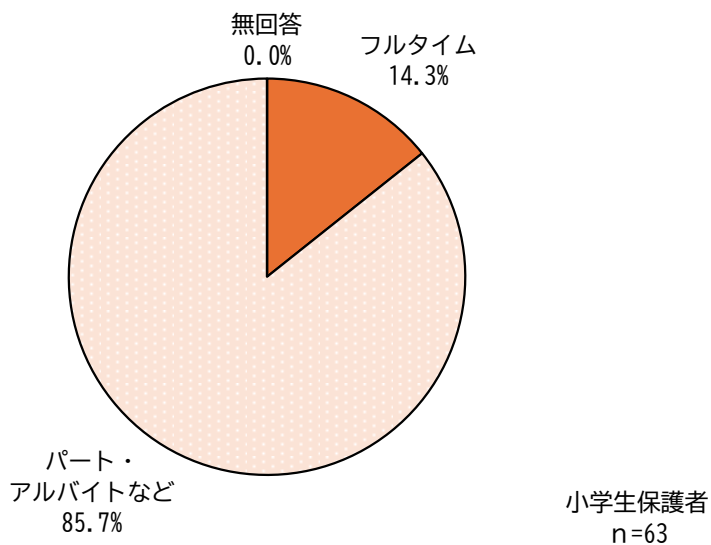
A. 就労希望時の末子の年齢



問 19- (1) -3 B. 希望する就労形態を教えてください。

母親の希望する就労形態については「パート・アルバイトなど」(85.7%)、「フルタイム」(14.3%)となっています。

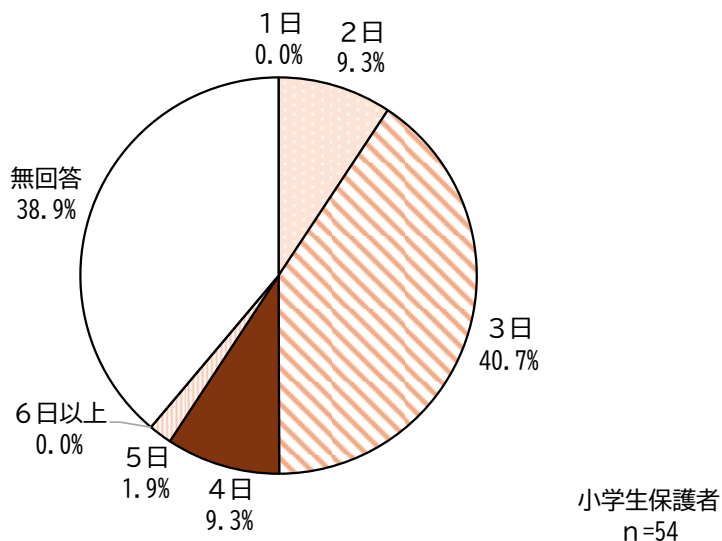
B. 希望する就労形態



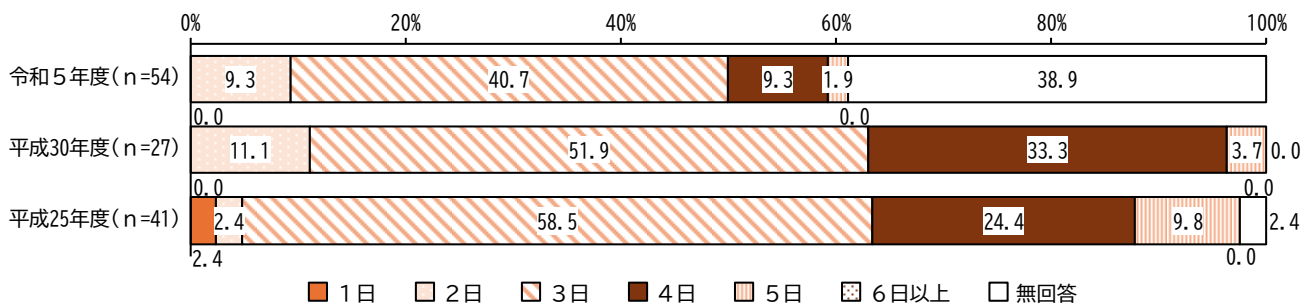
問 19- (1) -3 C. 希望する1週当たりの就労日数

母親の希望する1週当たりの就労日数は「3日」(40.7%)が最も多く、次いで「2日」「4日」(各9.3%)、「5日」(1.9%)となっています。

C. 母親の希望就労日数(1週当たり)【経年比較】



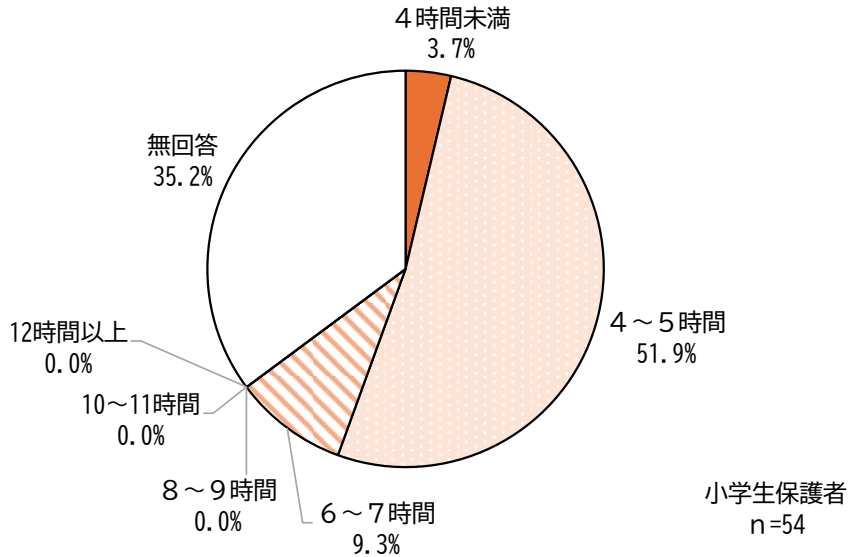
【経年比較】



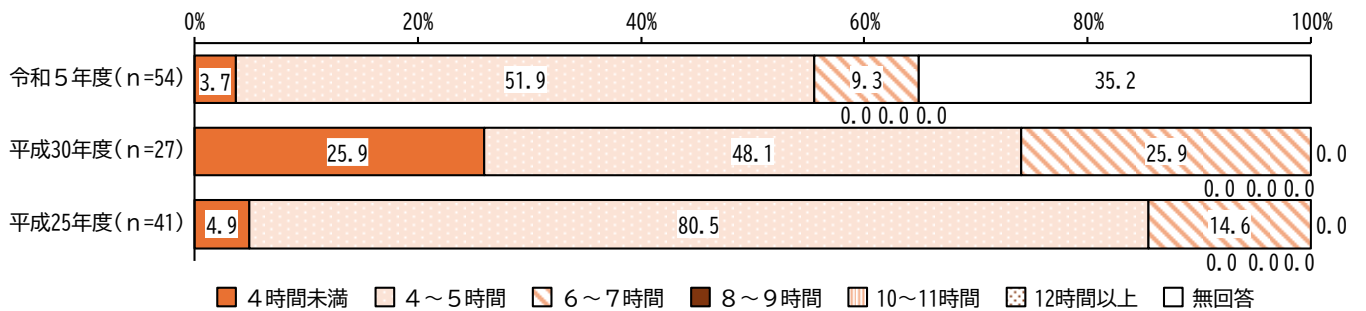
問 19- (1) -3 D. 希望する1日当たりの就労時間

母親の希望する1日当たりの就労時間は「4～5時間」(51.9%)が最も多く、次いで「6～7時間」(9.3%)、「4時間未満」(3.7%)となっています。

D. 母親の希望就労時間（1日当たり）【経年比較】



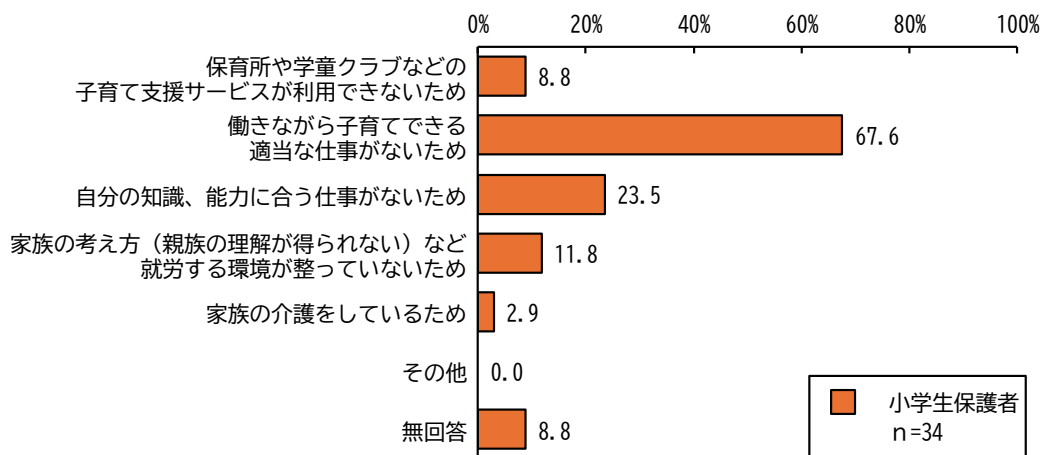
【経年比較】



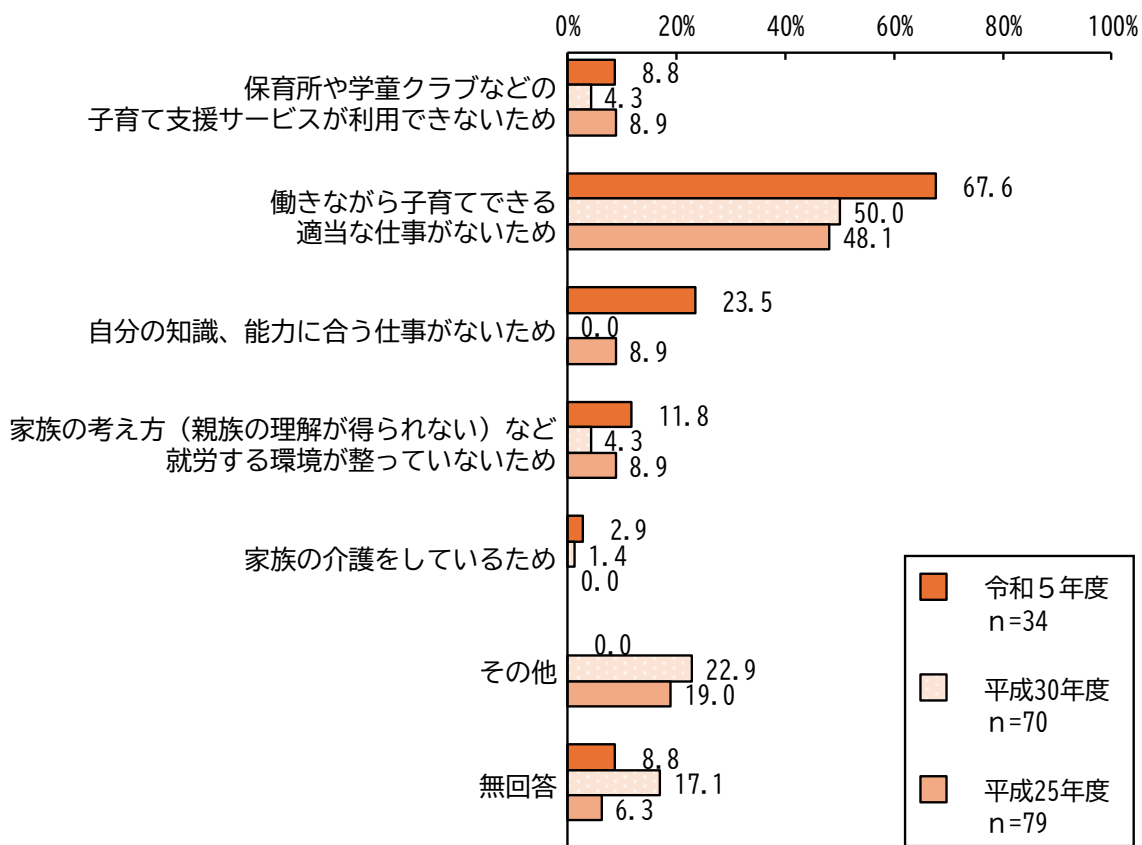
問 19- (1) - 4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

就労希望がありながら働いていない理由は「働きながら子育てできる適当な仕事がないため」(67.6%)が最も多く、次いで「自分の知識、能力に合う仕事がないため」(23.5%)、「家族の考え方(親族の理解が得られない)など就労する環境が整っていないため」(11.8%)となっています。

問 19- (1) - 4 就労を希望する母親の働いていない理由【経年比較】



【経年比較】

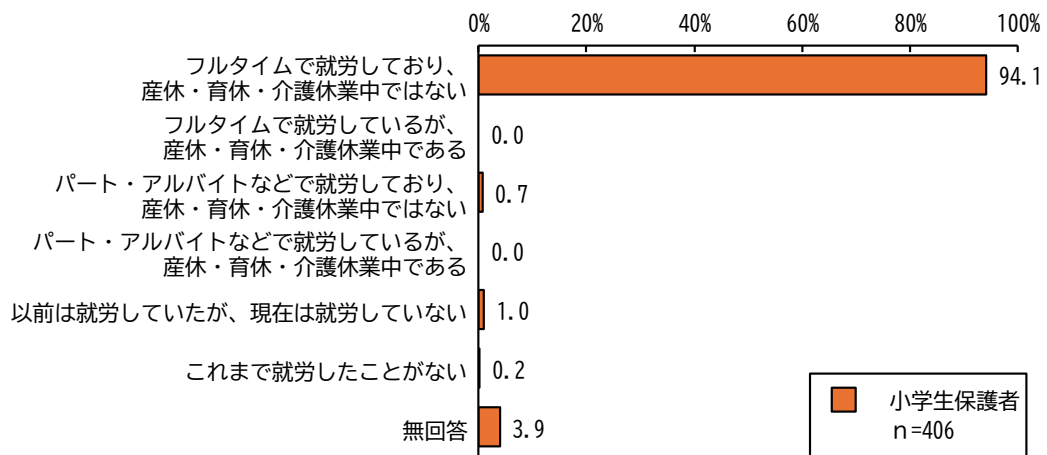


## (2) 父親の就労状況

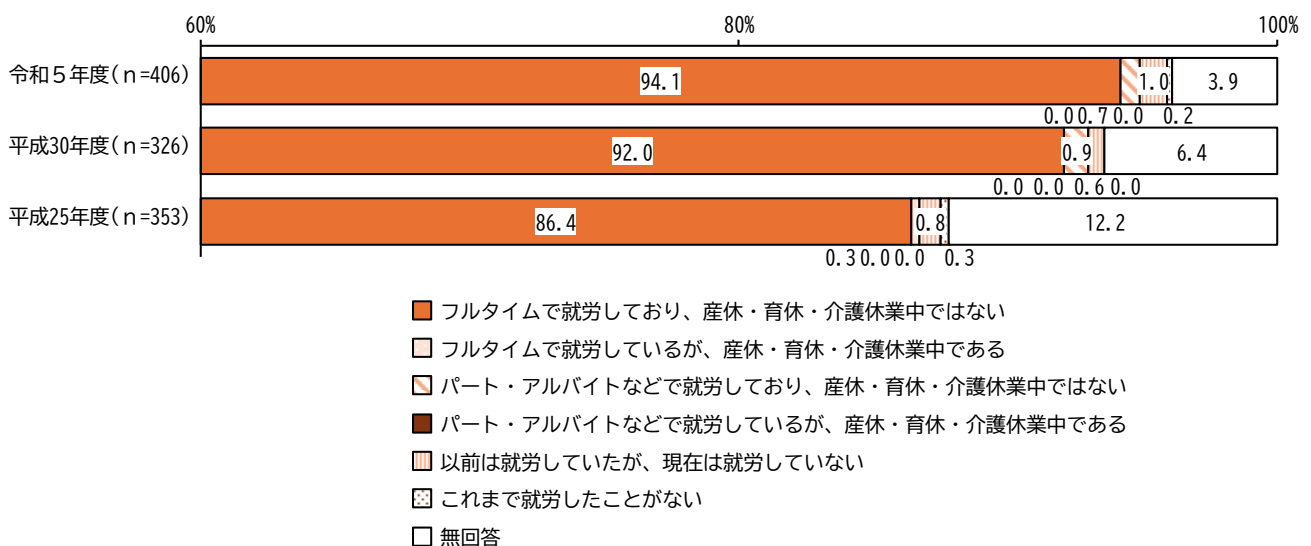
問 20- (2) 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○) ※母子家庭の場合は回答不要です。(2) 就労状況

父親の就労状況については「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(94.1%)が最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(1.0%)、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(0.7%)、となっています。

問 20- (2) 父親の就労状況【経年比較】



### 【経年比較】

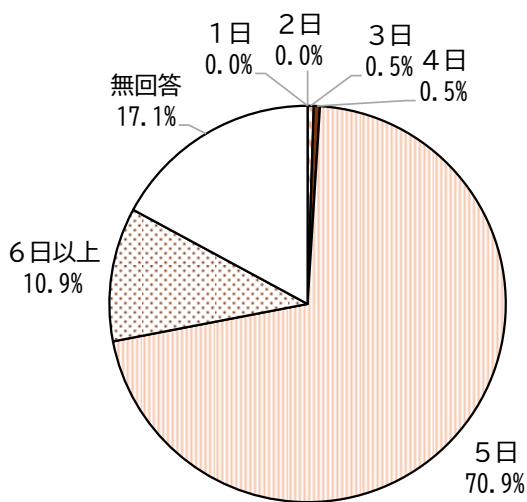


問 20- (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

父親の1週当たりの就労日数は「5日」（70.9%）が最も多く、次いで「6日以上」（10.9%）、「3日」「4日」（各0.5%）となっています。

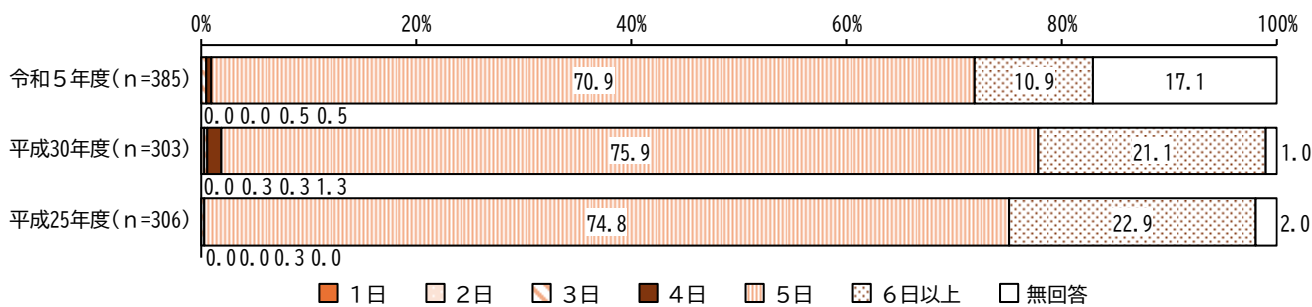
問 20- (2) -1 父親の就労日数（1週当たり）

A. 父親の就労日数（1週当たり）【経年比較】



小学生保護者  
n=385

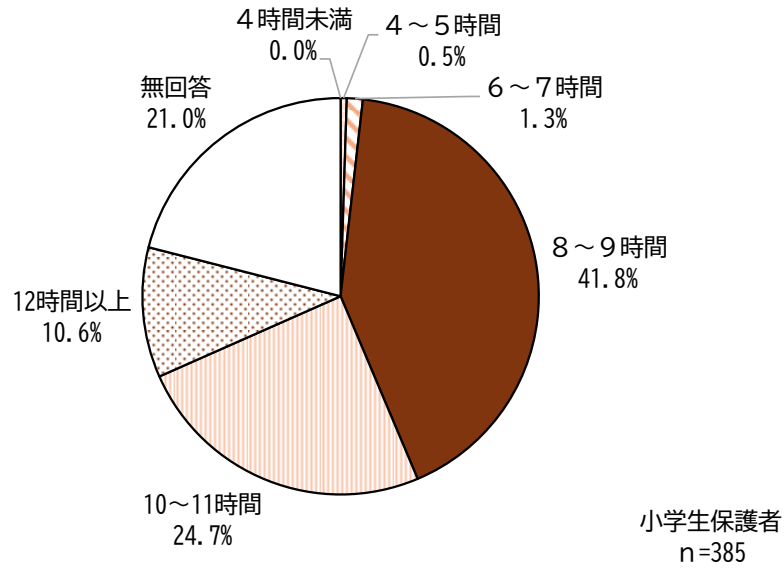
【経年比較】



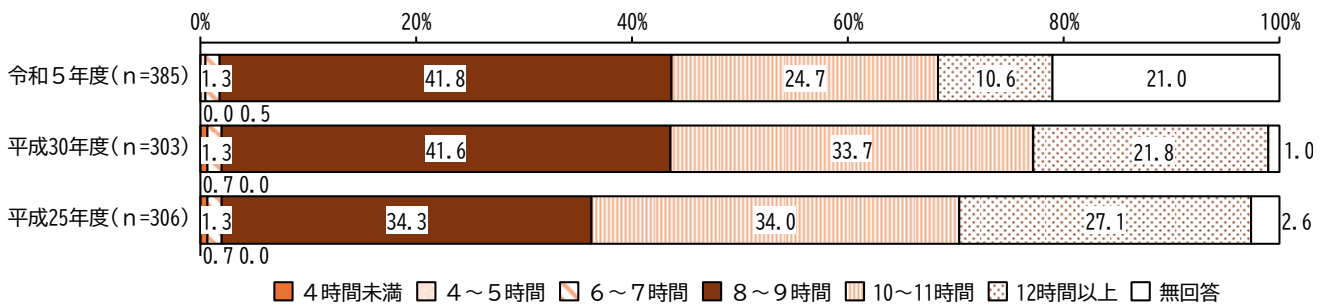
問 20- (2) -1 B. 1日当たりの就労時間（残業含む）

父親の1日当たりの就労時間（残業含む）は「8～9時間」（41.8%）が最も多く、次いで「10～11時間」（24.7%）、「12時間以上」（10.6%）となっています。

B. 父親の就労時間（1日当たり）【経年比較】



【経年比較】

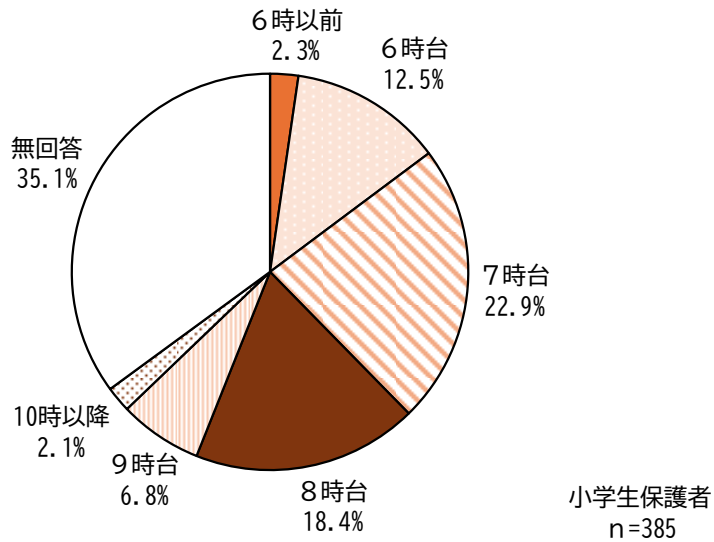




問 20- (2) -1 C. 家を出る時間

父親が家を出る時間は「7時台」(22.9%)が最も多く、次いで「8時台」(18.4%)、「6時台」(12.5%)となっています。

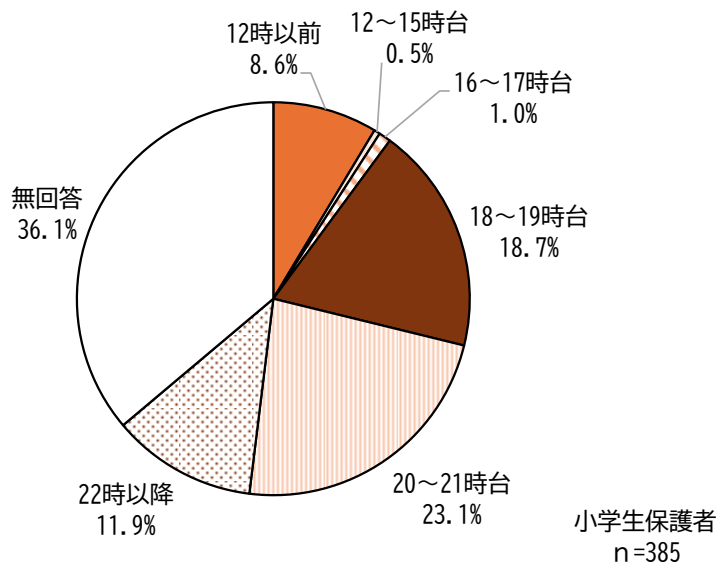
C. 父親が家を出る時間



問 20- (2) -1 D. 帰宅時間

父親が帰宅する時間は「20～21時台」(23.1%)が最も多く、次いで「18～19時台」(18.7%)、「22時以降」(11.9%)となっています。

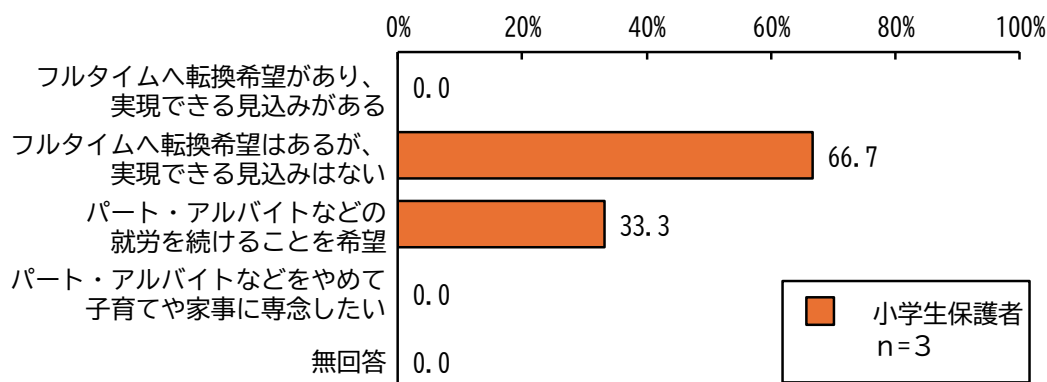
D. 父親が帰宅する時間



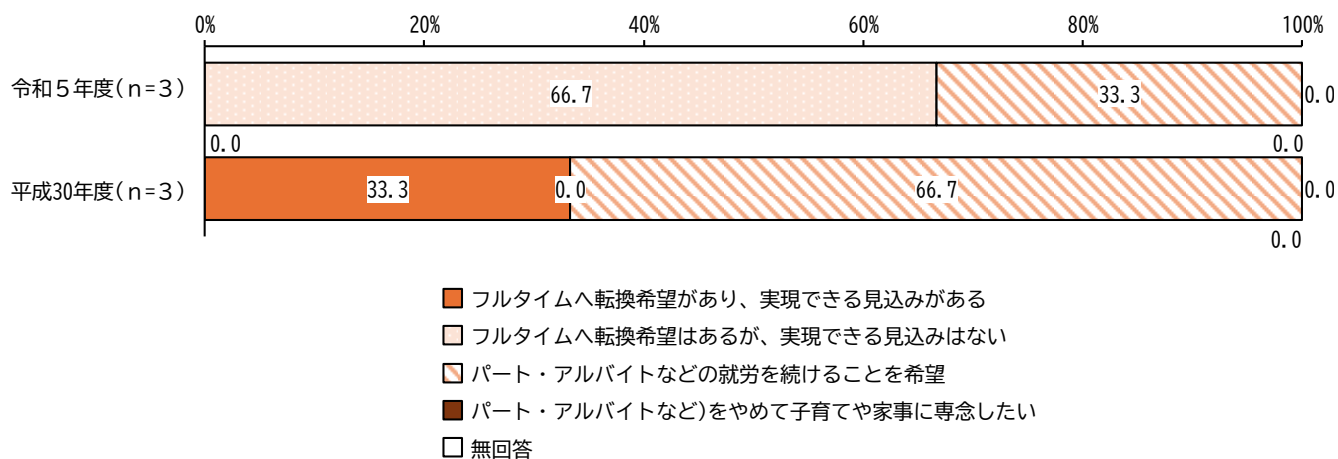
問 20- (2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「フルタイムへ転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(66.7%)「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(33.3%)となっています。

問 20- (2) -2 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向【経年比較】



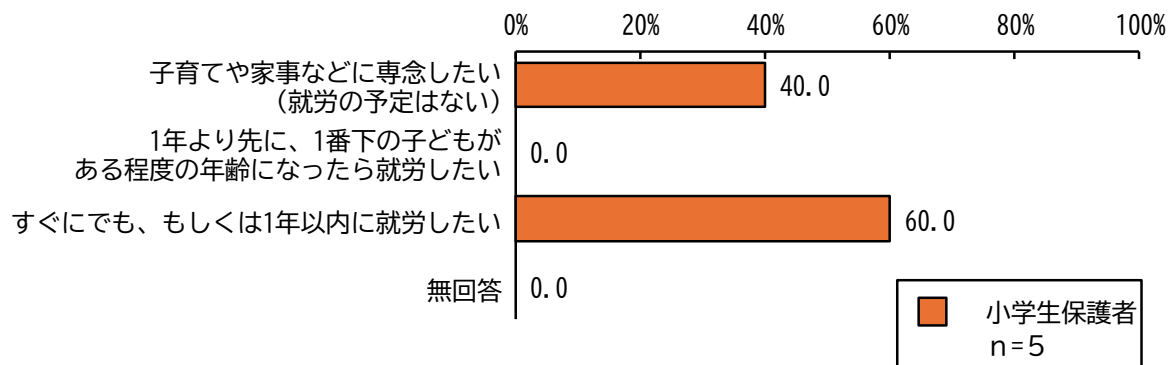
【経年比較】



問 20- (2) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、就労していない父親の今後の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(60.0%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(40.0%)となっています。

問 20- (2) -3 就労していない父親の今後の就労希望



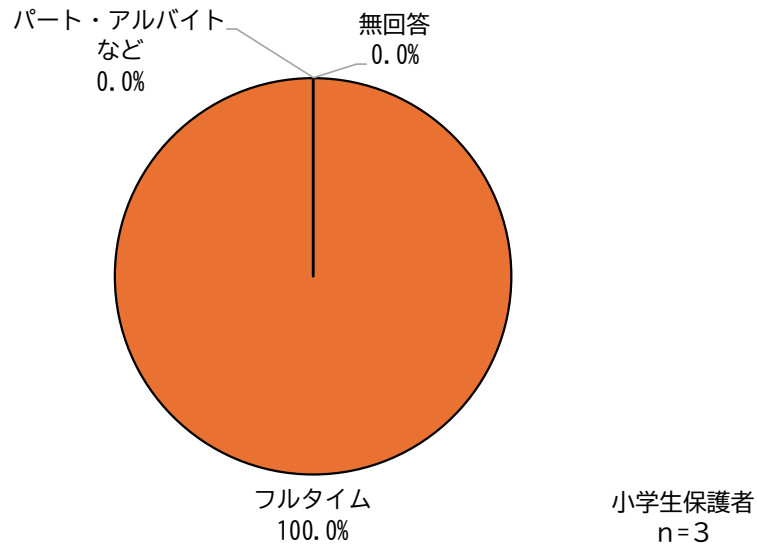
問 20- (2) -3 A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。

回答者がいないため省略。

問 20-(2)-3 B. 希望する就労形態を教えてください。

回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親の希望する就労形態は「フルタイム」(100.0%)となっています。

B. 父親の希望する就労形態



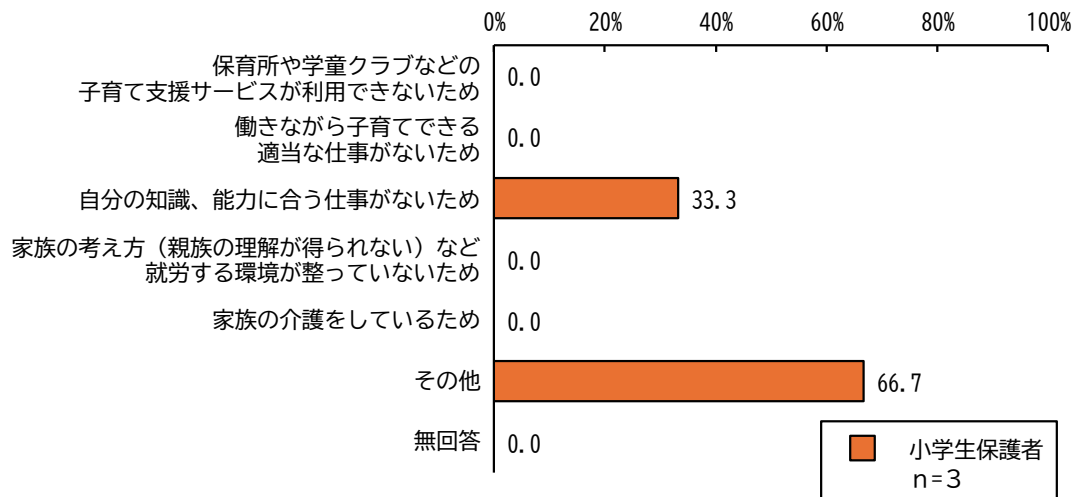
問 20-(2)-3 「C. 希望する一週当たりの就労日数」、「D. 希望する一日当たりの就労時間」について

回答者がいないため省略。

問 20- (2) -4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、就労希望がありながら働いていない理由は「自分の知識、能力に合う仕事がないため」(33.3%)となっています。

問 20- (2) -4 就労を希望する父親の働いていない理由



## 4 平日の放課後・土日祝日の過ごし方について

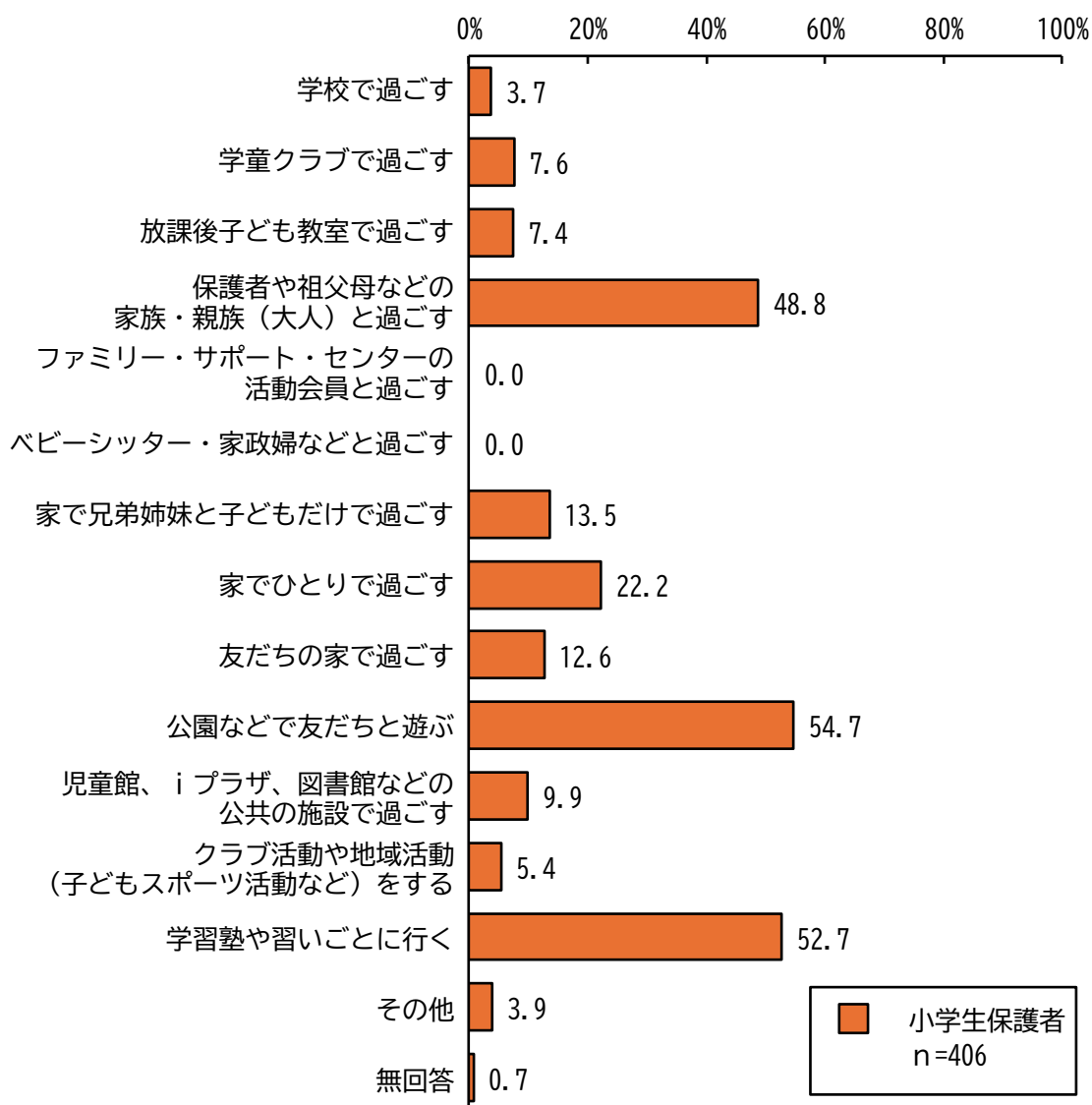
問 21 宛名のお子さんについて、平日の放課後及び土日祝日の日常的な過ごし方で、主なもの3つまでを、時間帯ごとに選択してください。

(1) - 1 平日の放課後（あてはまるもの3つまでに○）

平日の14時から18時までの過ごし方については「公園などで友だちと遊ぶ」(54.7%)が最も多く、次いで「学習塾や習いごとに行く」(52.7%)、「保護者や祖父母などの家族・親族(大人)と過ごす」(48.8%)となっています。

問 21 平日の放課後の過ごし方

(1) - 1 14時～18時まで

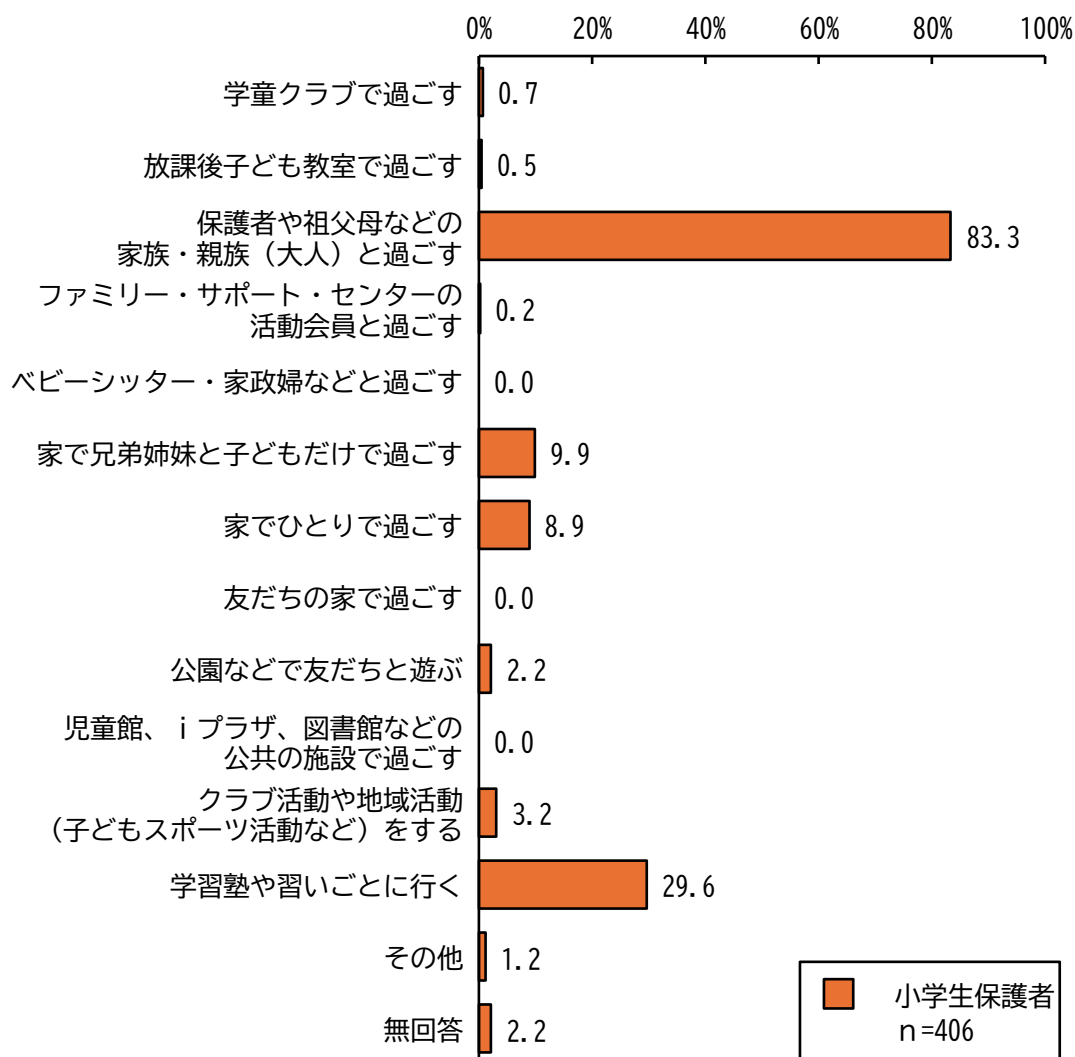


問 21 宛名のお子さんについて、平日の放課後及び土日祝日の日常的な過ごし方で、主なもの3つまでを、時間帯ごとに選択してください。

(1) - 2 平日の放課後（あてはまるもの3つまでに○）

平日の18時以降の過ごし方については「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」(83.3%)が最も多く、次いで「学習塾や習いごとに行く」(29.6%)、「家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす」(9.9%)となっています。

(1) - 2 18時以降



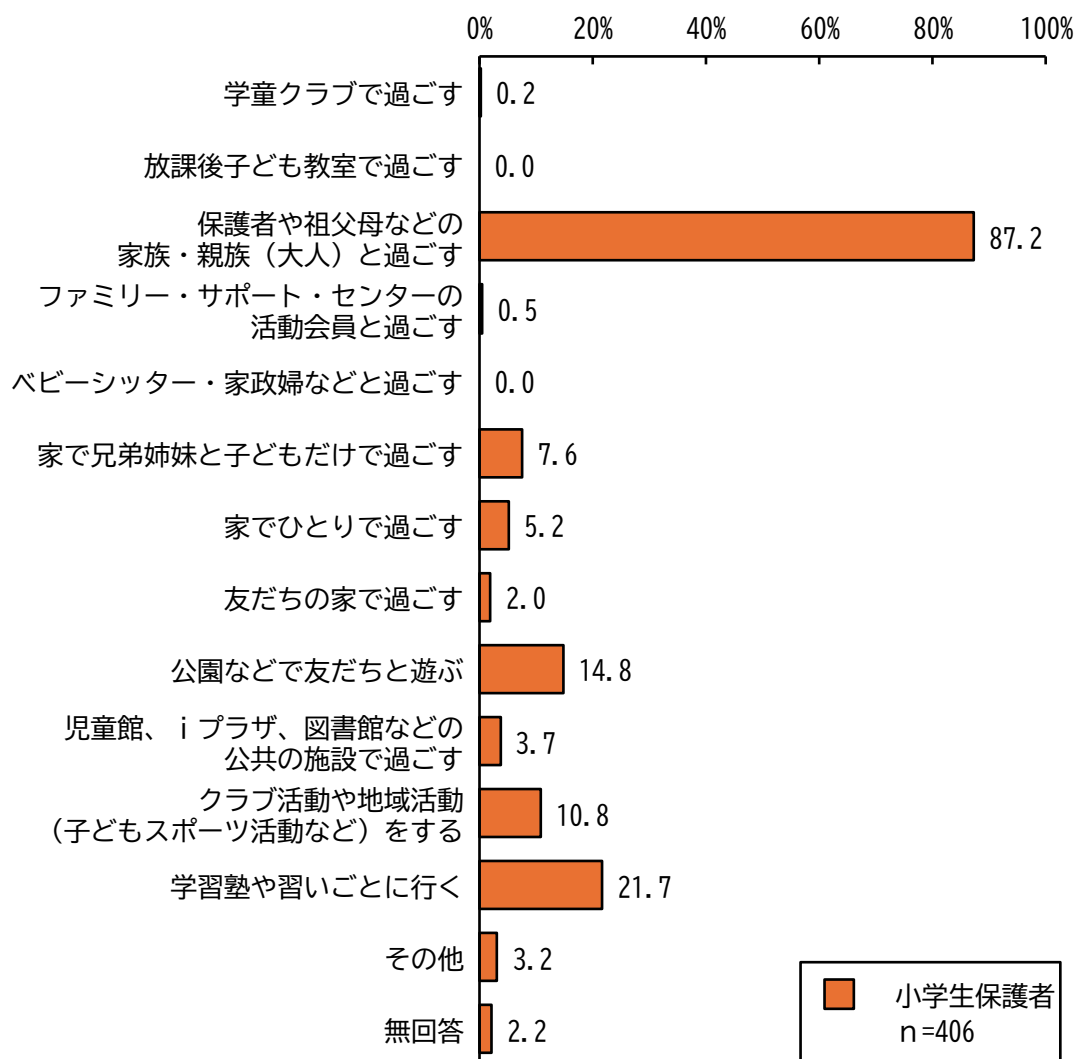
問 21 宛名のお子さんについて、平日の放課後及び土日祝日の日常的な過ごし方で、主なもの3つまでを、時間帯ごとに選択してください。

(2) -1 土日祝日 (あてはまるもの3つまでに○)

土日祝日の8時から12時までの過ごし方については「保護者や祖父母などの家族・親族(大人)と過ごす」(87.2%)が最も多く、次いで「学習塾や習いごとに行く」(21.7%)、「公園などで友だちと遊ぶ」(14.8%)となっています。

問 21 土・日・祝日の過ごし方

(2) -1 8時~12時



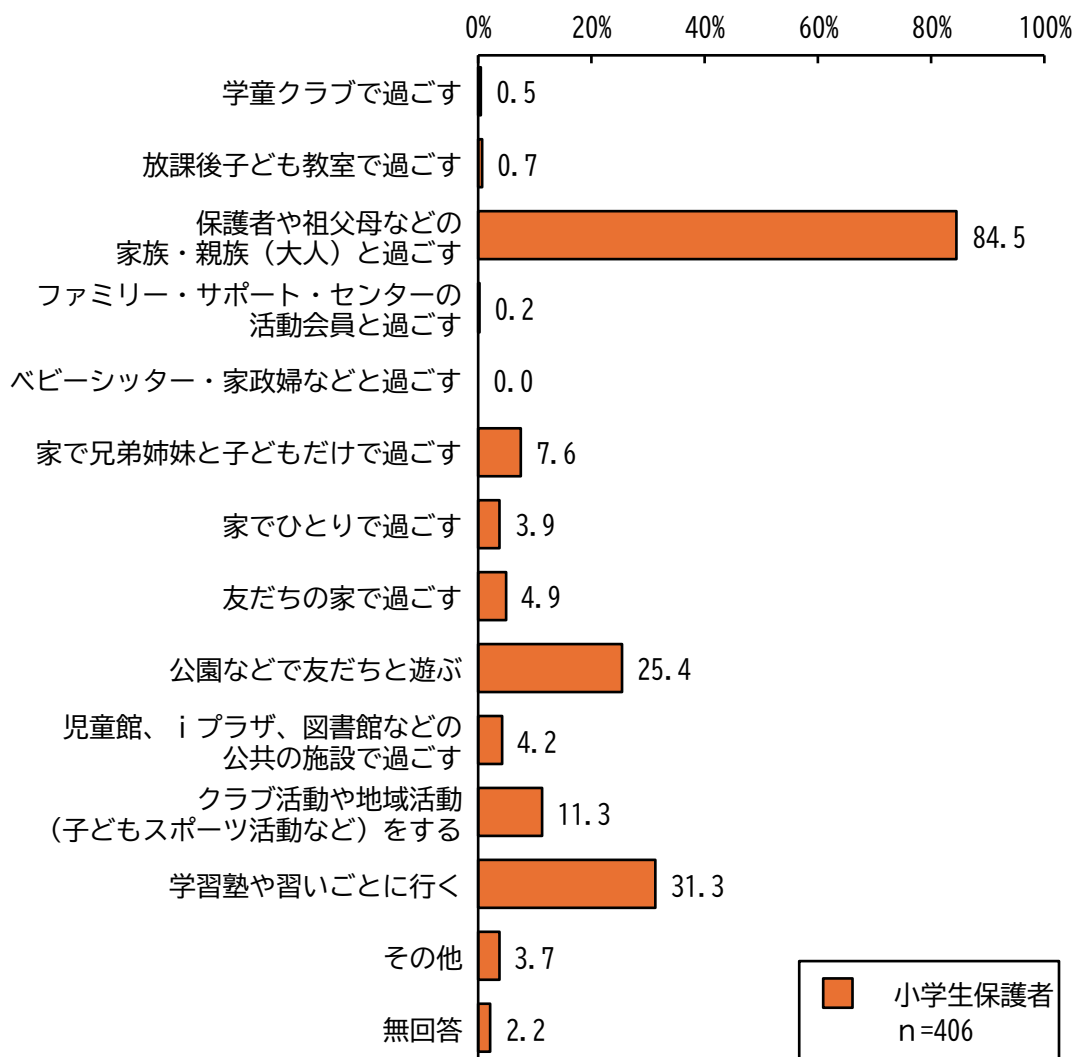


問 21 宛名のお子さんについて、平日の放課後及び土日祝日の日常的な過ごし方で、主なもの3つまでを、時間帯ごとに選択してください。

(2) -2 土日祝日 (あてはまるもの3つまでに○)

土日祝日の 12 時から 18 時までの過ごし方については「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」（84.5%）が最も多く、次いで「学習塾や習いごとに行く」（31.3%）、「公園などで友だちと遊ぶ」（25.4%）となっています。

(2) -2 12時～18時

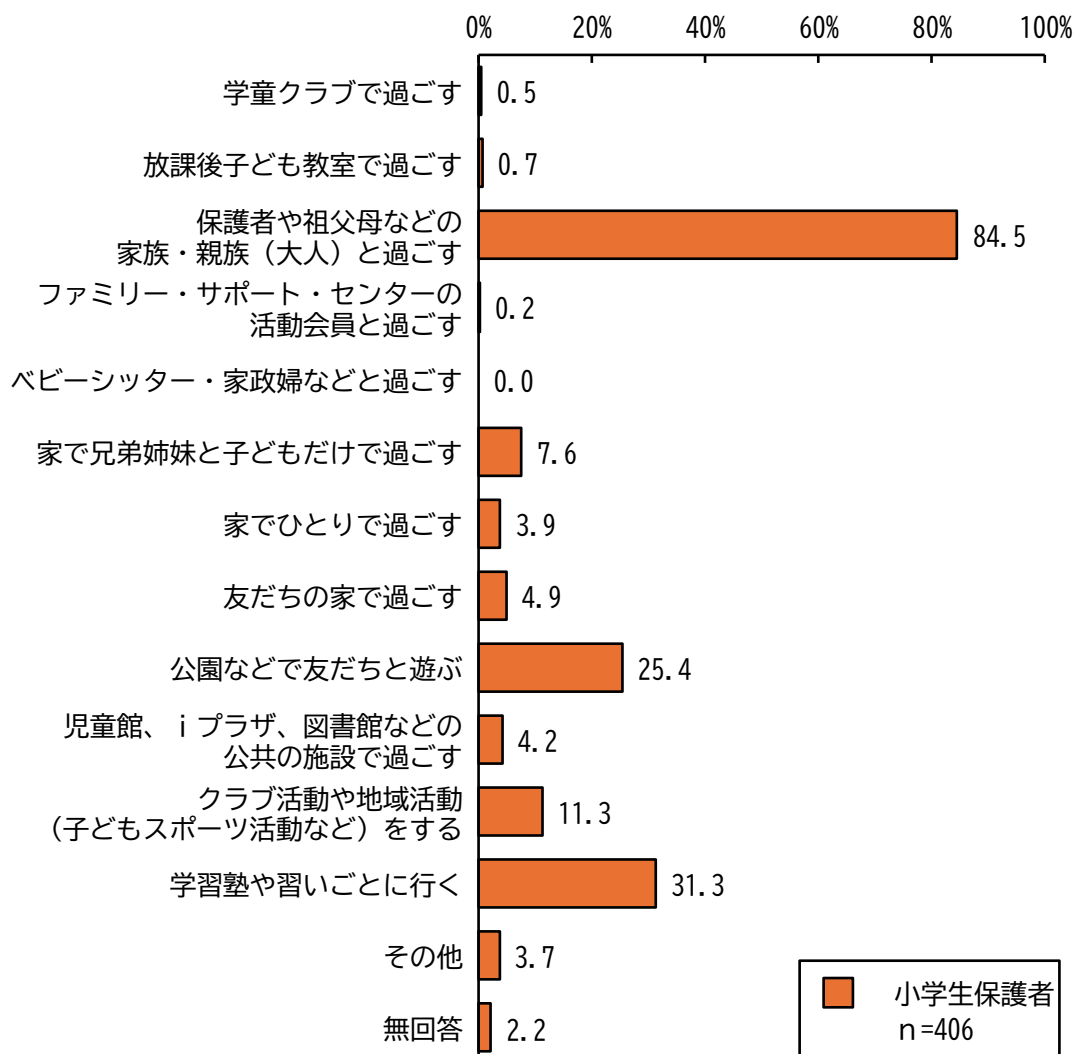


問 21 宛名のお子さんについて、平日の放課後及び土日祝日の日常的な過ごし方で、主なもの3つまでを、時間帯ごとに選択してください。

(2) -3 土日祝日（あてはまるもの3つまでに○）

土日祝日の18時以降の過ごし方については「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」（84.5%）が最も多く、次いで「学習塾や習いごとに行く」（31.3%）、「公園などで友だちと遊ぶ」（25.4%）となっています。

(2) -3 18時以降



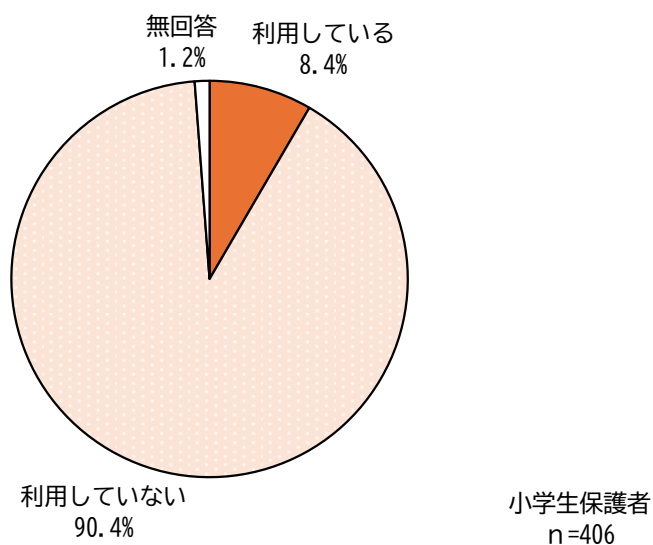
## 5 学童クラブの利用について

### (1) 学童クラブの利用状況

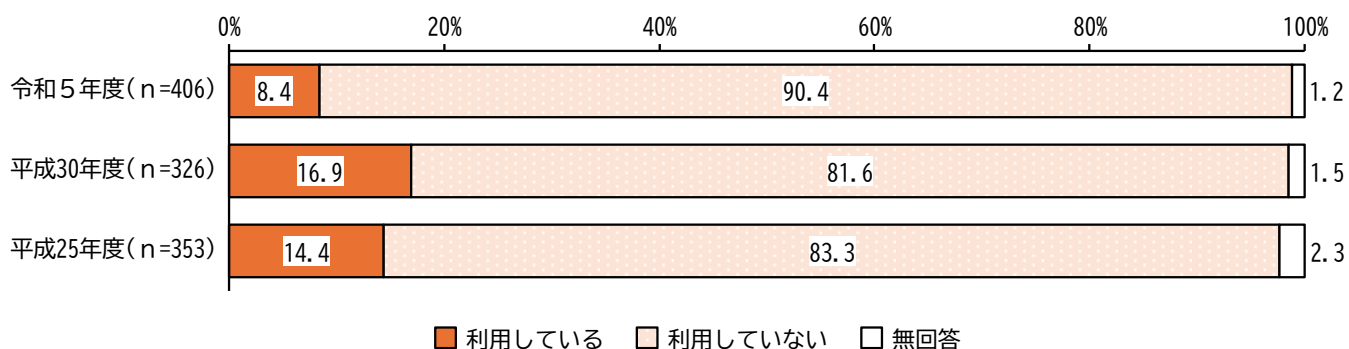
問 22 宛名のお子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

学童クラブの利用については「利用していない」(90.4%)、「利用している」(8.4%)となっています。

問 22 学童クラブの利用の有無【経年比較】



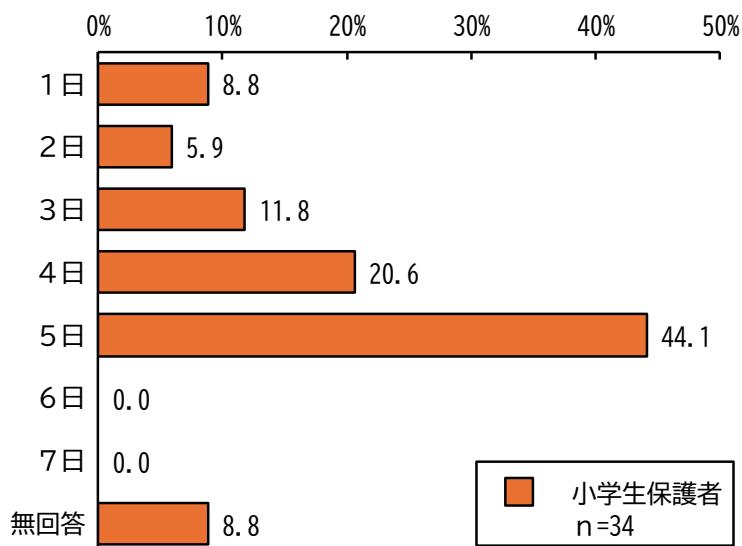
#### 【経年比較】



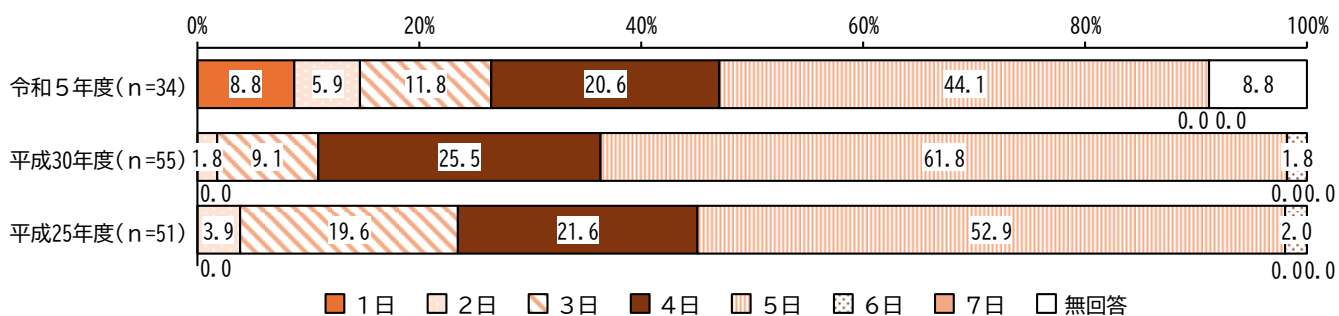
問 22- (1) 宛名のお子さんについて、学童クラブの利用日数及び利用している理由についてお答えください。

学童クラブの1週当たりの利用日数は「5日」(44.1%)が最も多く、次いで「4日」(20.6%)、「3日」(11.8%)となっています。

問 22- (1) 学童クラブの利用日数 (1週間当たり) 【経年比較】



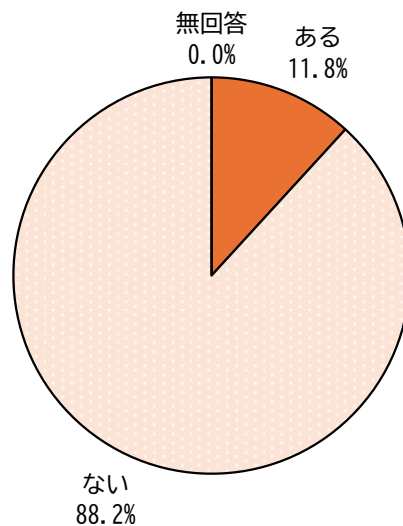
【経年比較】



問 22- (1) 宛名のお子さんについて、学童クラブの利用日数及び利用している理由についてお答えください。A. 土曜日の利用はありますか。(あてはまるもの1つに○)

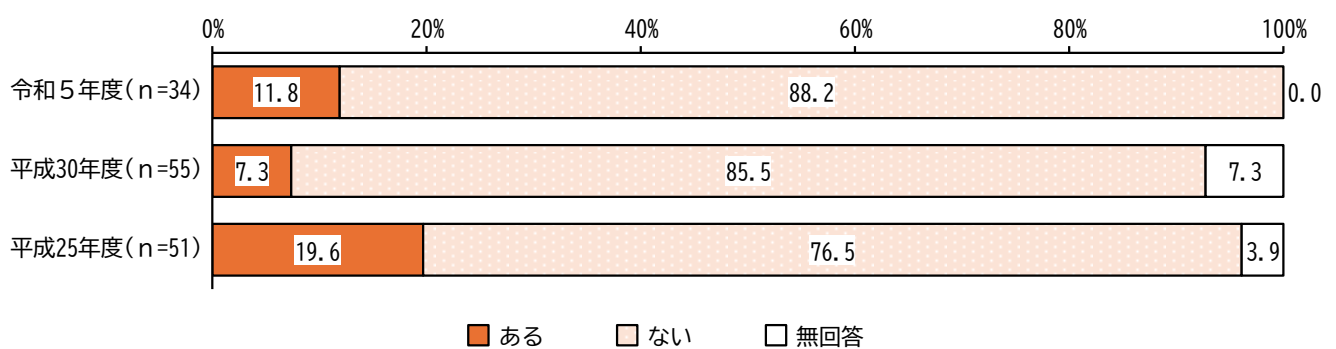
土曜日の学童クラブの利用については「ない」(88.2%)、「ある」(11.8%)となっています。

A. 土曜日の学童クラブ利用の有無【経年比較】



小学生保護者  
n=34

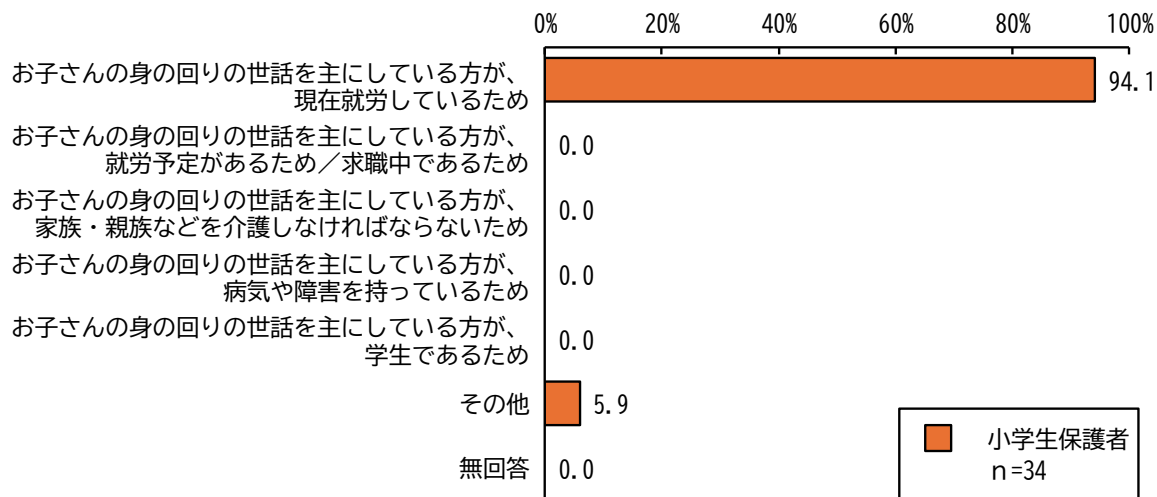
【経年比較】



問 22- (1) B. 利用している理由 (あてはまるものすべてに○)

土曜日に学童クラブを利用している理由は「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、現在就労しているため」(94.1%) となっています。

B. 学童クラブの利用理由

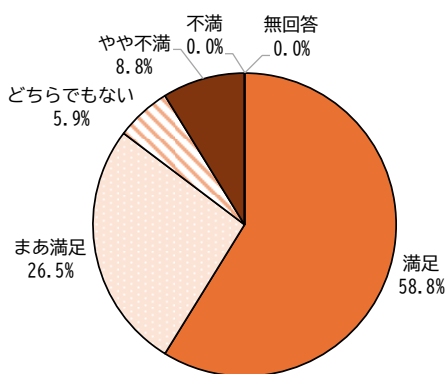


問 22- (2) 現在利用している学童クラブについて満足していますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

学童クラブの利用者の満足度状況は「満足」「まあ満足」を合わせた『満足』が高いのは『職員などの配置状況（人員体制）』『子どもへの接し方、日常の遊び』が各91.2%（満足 58.8%、まあ満足 32.4%）が最も高く、次いで『保護者への連絡』が88.2%（満足 58.8%、まあ満足 29.4%）、『施設・環境』『おやつ』各85.3%（満足 58.8%、まあ満足 26.5%）、『感染症対策（衛生管理含む）』85.3%（満足 41.2%、まあ満足 44.1%）となっています。

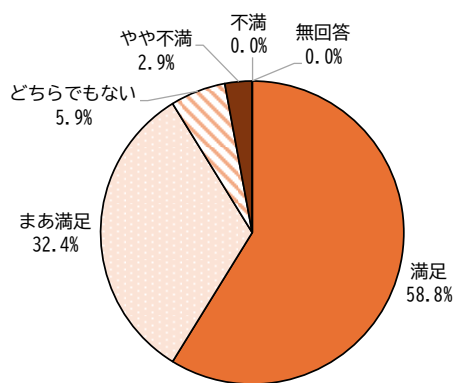
問 22- (2) 学童クラブの利用者の満足度の状況

A. 施設・環境



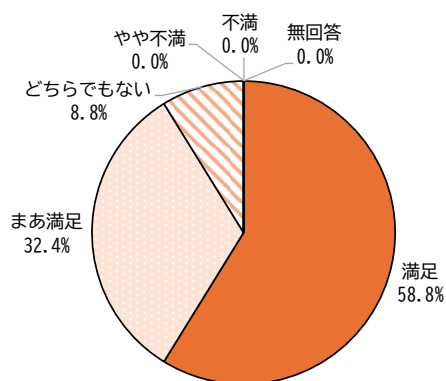
小学生保護者  
n=34

B. 職員などの配置状況（人員体制）



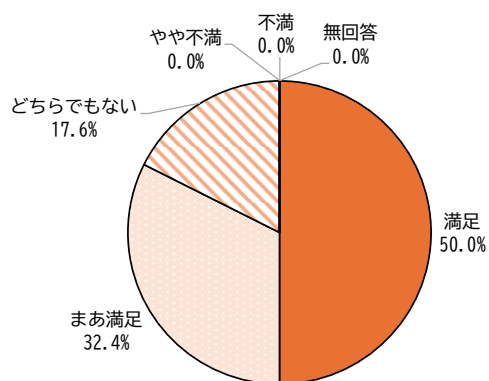
小学生保護者  
n=34

C. 子どもへの接し方、日常の遊び



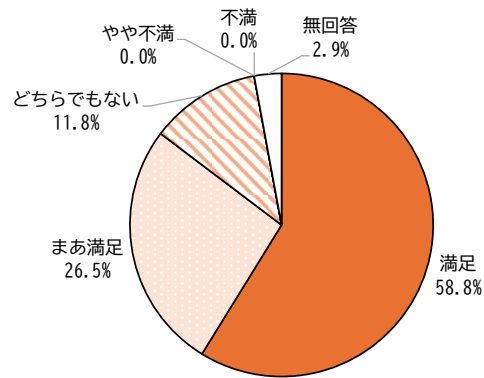
小学生保護者  
n=34

D. 行事



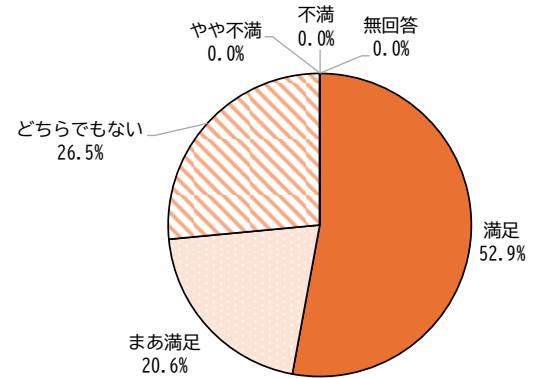
小学生保護者  
n=34

E. おやつ



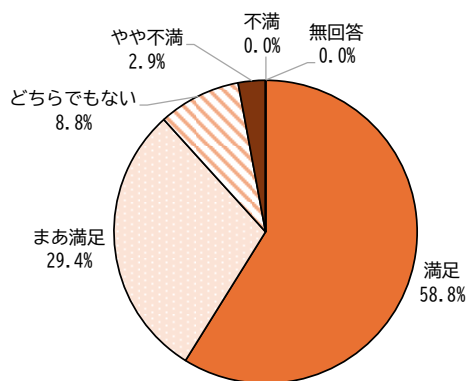
小学生保護者  
n=34

F. 病気やけがのときの対応



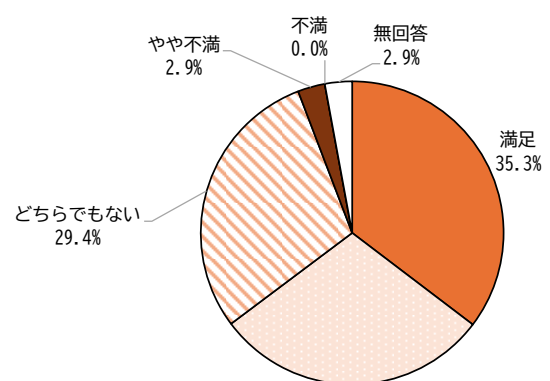
小学生保護者  
n=34

G. 保護者への連絡



小学生保護者  
n=34

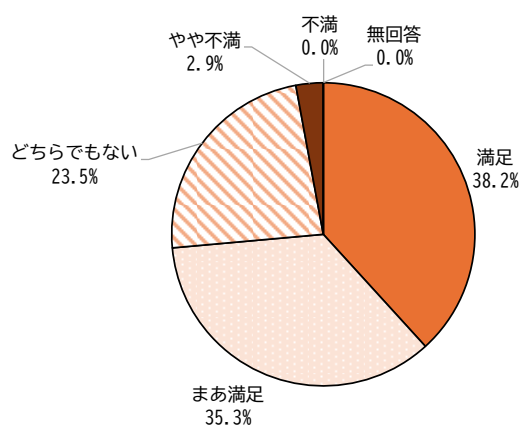
H. 悩みごとなどへの相談対応



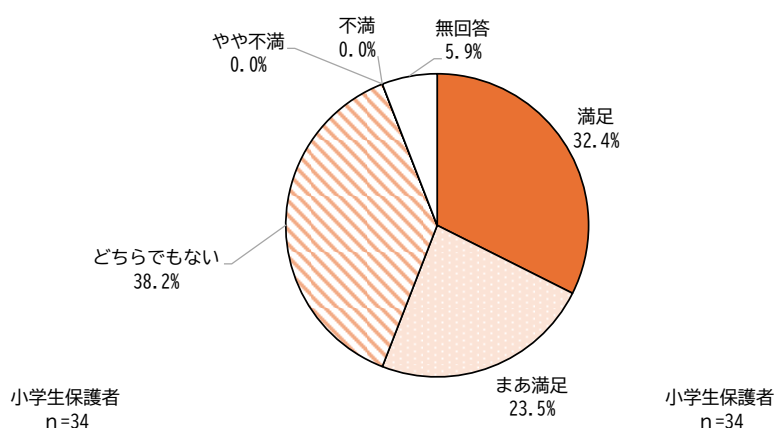
小学生保護者  
n=34



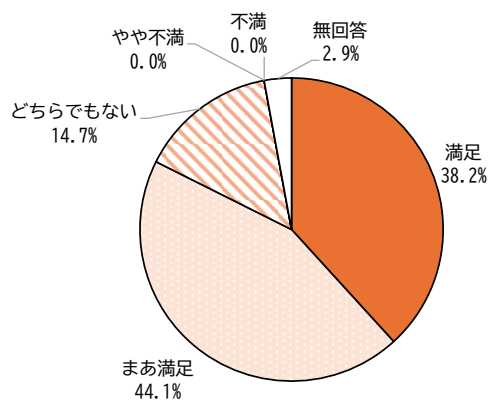
I. 保護者の要望・意見への対応



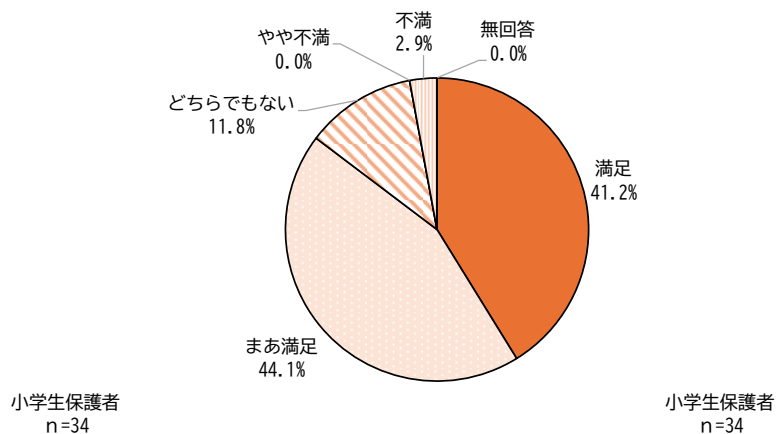
J. 保護者会



K. 安全対策（防災・防犯対策）



L. 感染症対策（衛生管理含む）



## (2) 平日の学童クラブの利用日数及び時間等

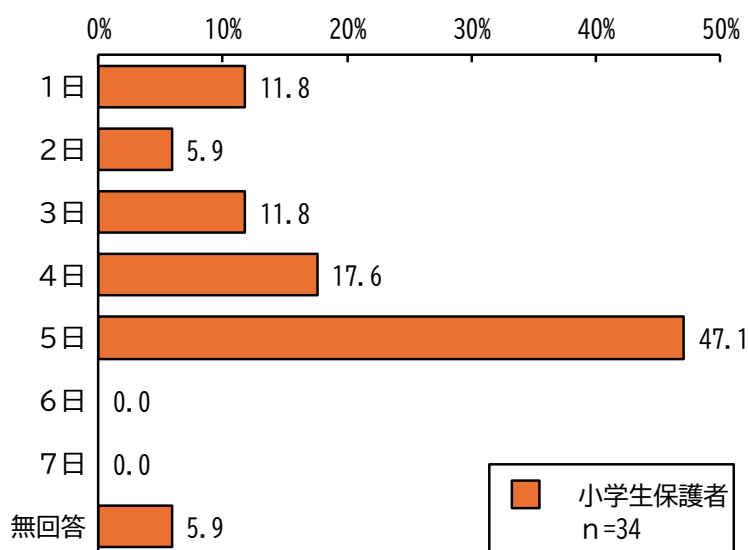
問 22- (3) -1 現在の学童クラブの利用時間と今後の希望について、平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。

### A. 現在の利用日数 平日

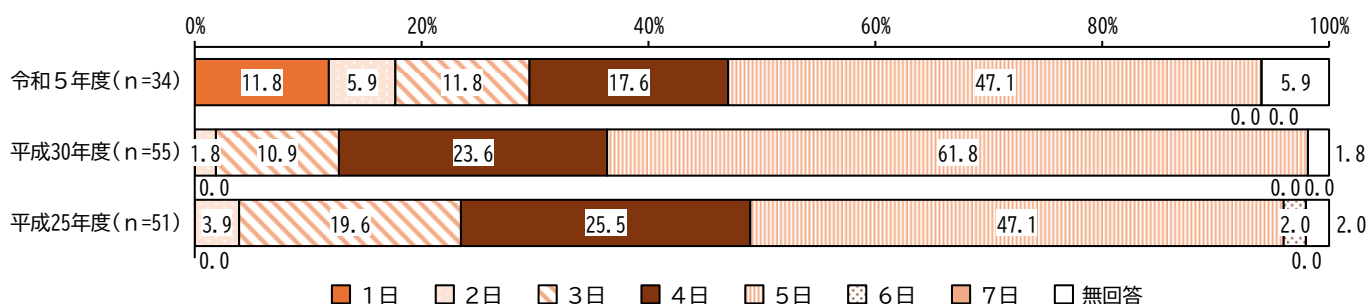
平日の学童クラブの1週当たりの利用について「現在の利用日数」では「5日」（47.1%）が最も多く、次いで「4日」（17.6%）、「1日」「3日」（各 11.8%）となっています。

「今後の利用希望日数」では「5日」（38.2%）が最も多く、次いで「4日」（14.7%）、「1日」「2日」（各 2.9%）となっています。

問 22- (3) -1 平日の学童クラブの利用日数（1週間当たり）【経年比較】



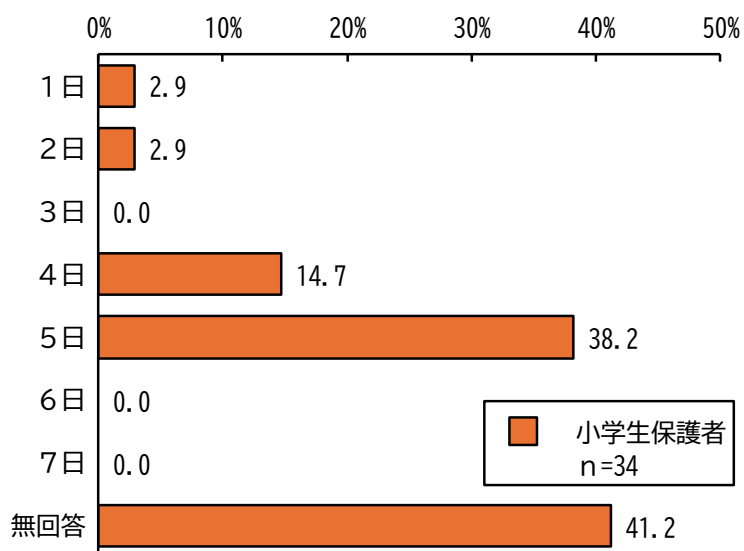
### 【経年比較】



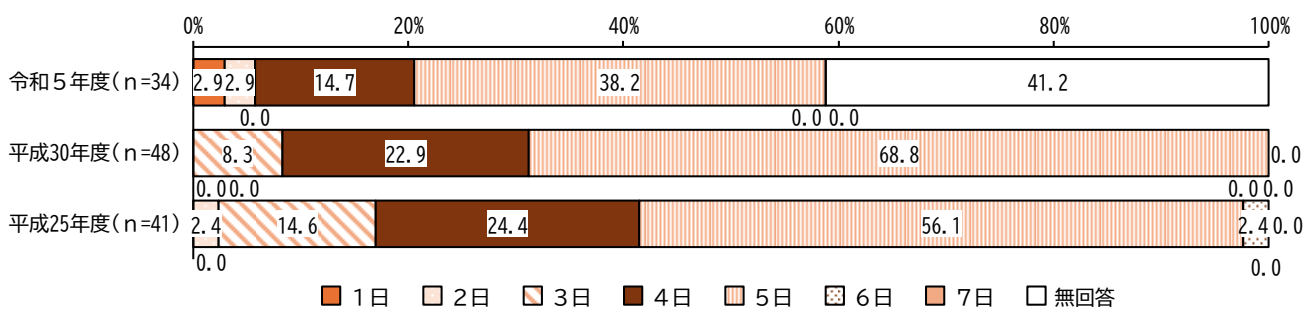
問 22- (3) -2 A. 今後の利用希望日数 平日

平日の学童クラブの1週当たりの利用について「今後の利用希望日数」では「5日」(38.2%)が最も多く、次いで「4日」(14.7%)、「1日」「2日」(各 2.9%)となっています。

問 22- (3) -2 平日の学童クラブの希望日数 (1週間当たり)【経年比較】



【経年比較】



問 22- (3) -1 B. 現在の利用時間 平日 (利用開始時間)

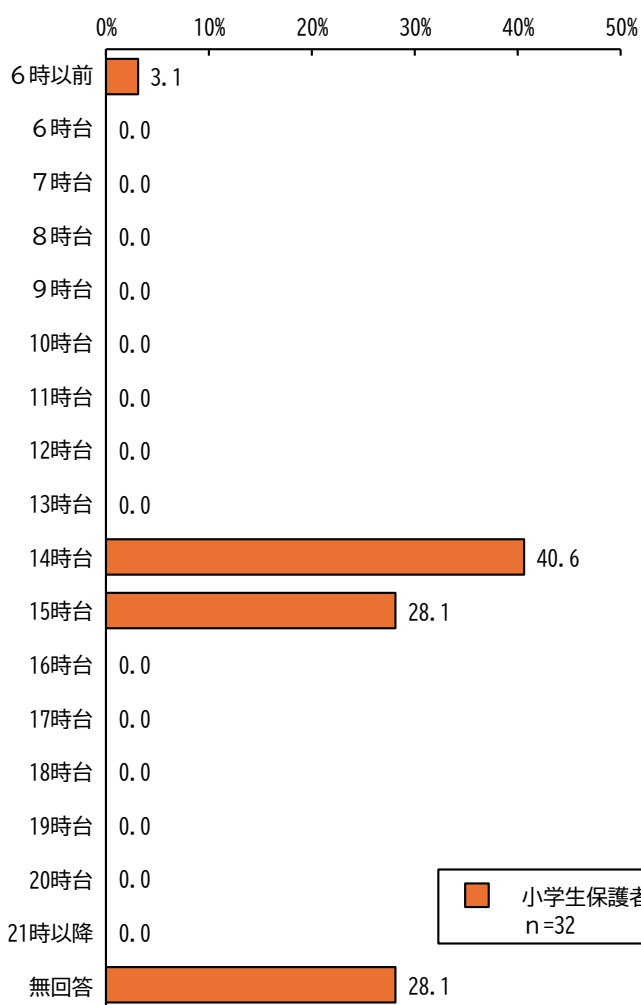
問 22- (3) -2 B. 今後の利用希望時間 平日 (利用開始時間)

平日の学童クラブの利用について「現在の利用開始時間」では「14 時台」(40.6%) が最も多く、次いで「15 時台」(28.1%)、「6 時以前」(3.1%) となっています。

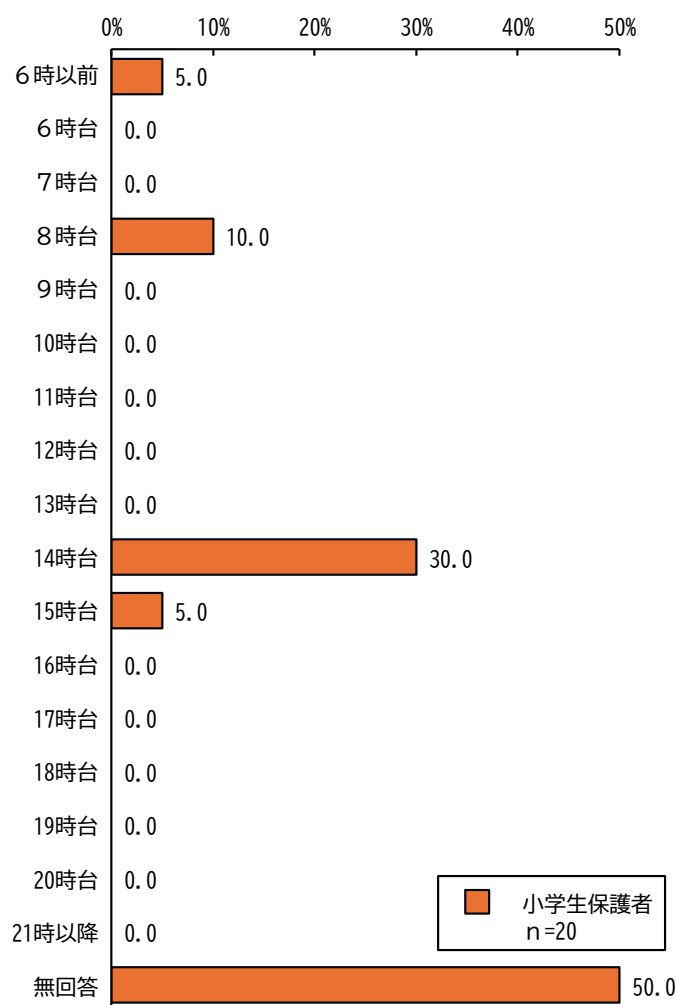
「今後の希望開始時間」では「14 時台」(30.0%) が最も多く、次いで「8 時台」(10.0%)、「6 時以前」「15 時台」(各 5.0%) となっています。

問 22- (3) 平日の利用開始時間と希望開始時間

1 B. 現在の利用開始時間



2 B. 今後の希望開始時間



問 22- (3) -1 C. 現在の利用時間 平日 (利用終了時間)

問 22- (3) -2 C. 今後の利用希望時間 平日 (利用終了時間)

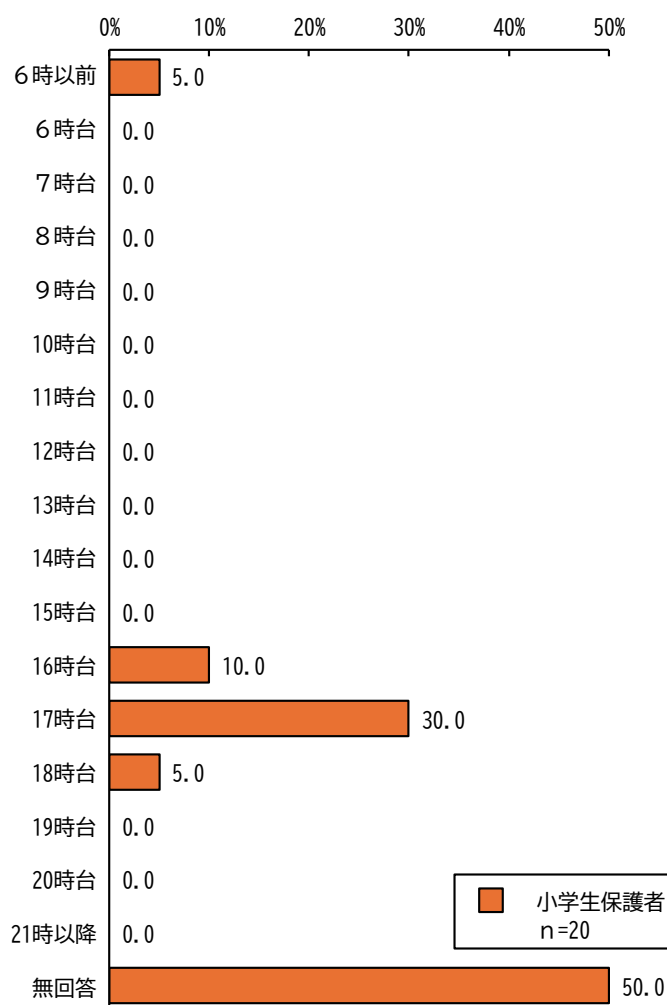
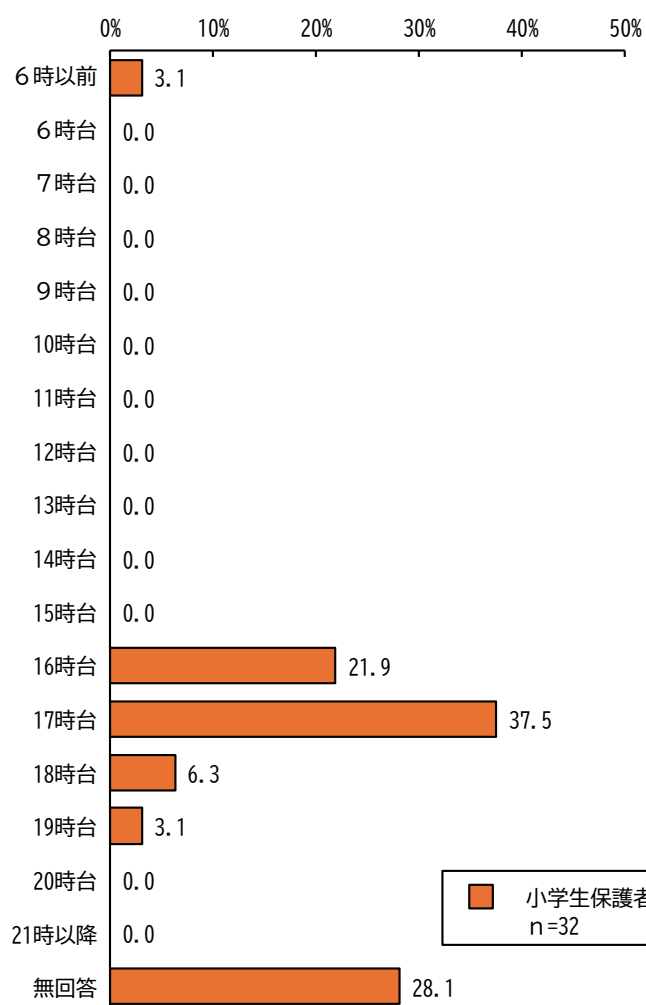
平日の学童クラブの利用について「現在の利用終了時間」では「17 時台」(37.5%) が最も多く、次いで「16 時台」(21.9%)、「18 時台」(6.3%) となっています。

「今後の希望終了時間」では「17 時台」(30.0%) が最も多く、次いで「16 時台」(10.0%)、「6 時以前」「18 時台」(各 5.0%) となっています。

問 22- (3) 平日の利用終了時間と希望終了時間

1C. 現在の利用終了時間

2C. 今後の希望終了時間



### (3) 土曜日の学童クラブの利用日数及び時間等

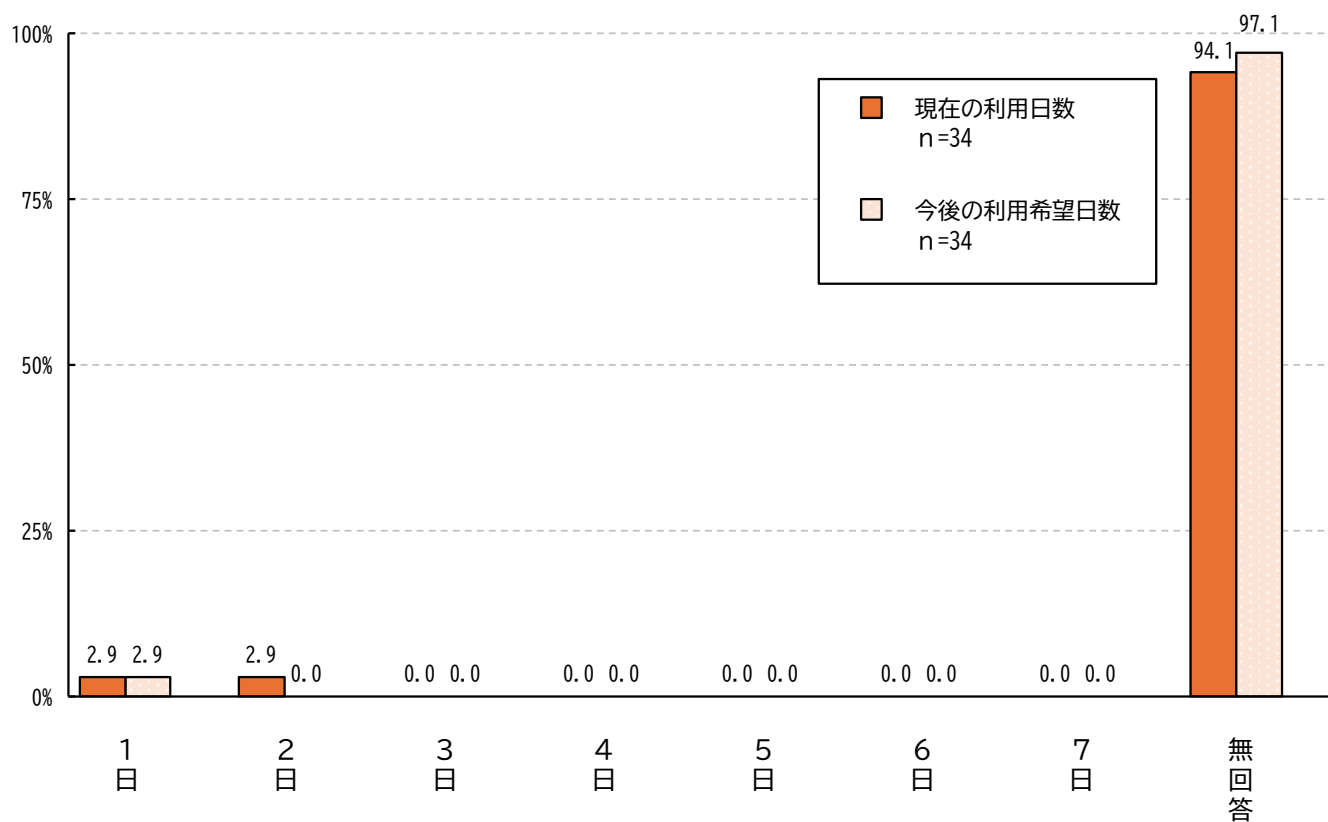
問 22- (3) -1 現在の学童クラブの利用時間と今後の希望について、平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。

D. 現在の利用日数 土曜

問 22- (3) -2 D. 今後の利用希望日数 土曜

土曜日の学童クラブの1週当たりの利用について「現在の利用日数」では「1日」「2日」（各 2.9%）となっています。  
 「今後の利用希望日数」では「1日」（2.9%）となっています。

問 22- (3) 土曜日の学童クラブの利用日数と希望日数（1週間当たり）



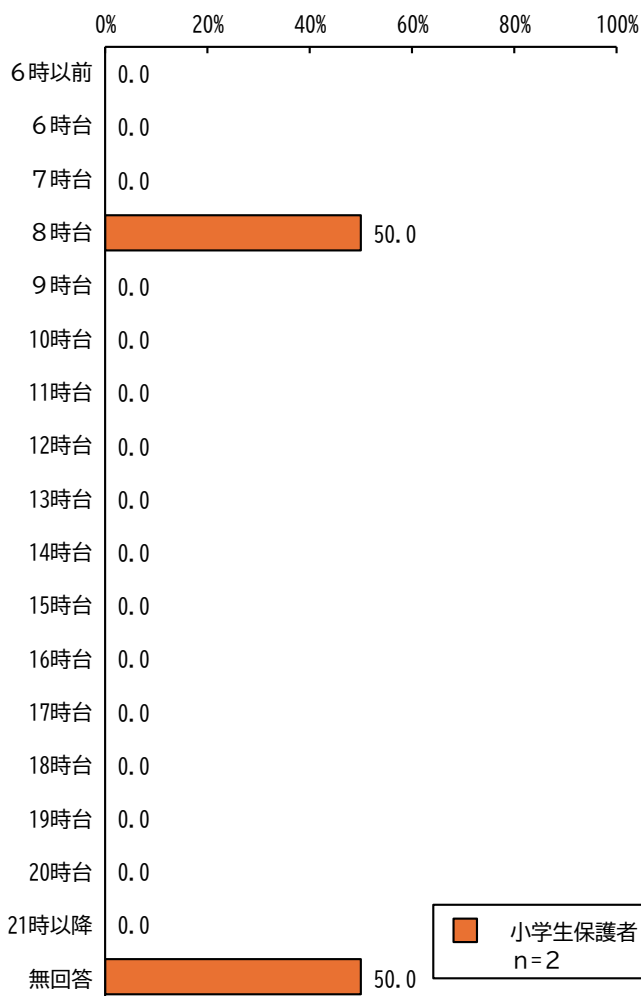
問 22- (3) -1 E. 現在の利用時間 土曜 (利用開始時間)

問 22- (3) -2 E. 今後の利用希望時間 土曜 (利用開始時間)

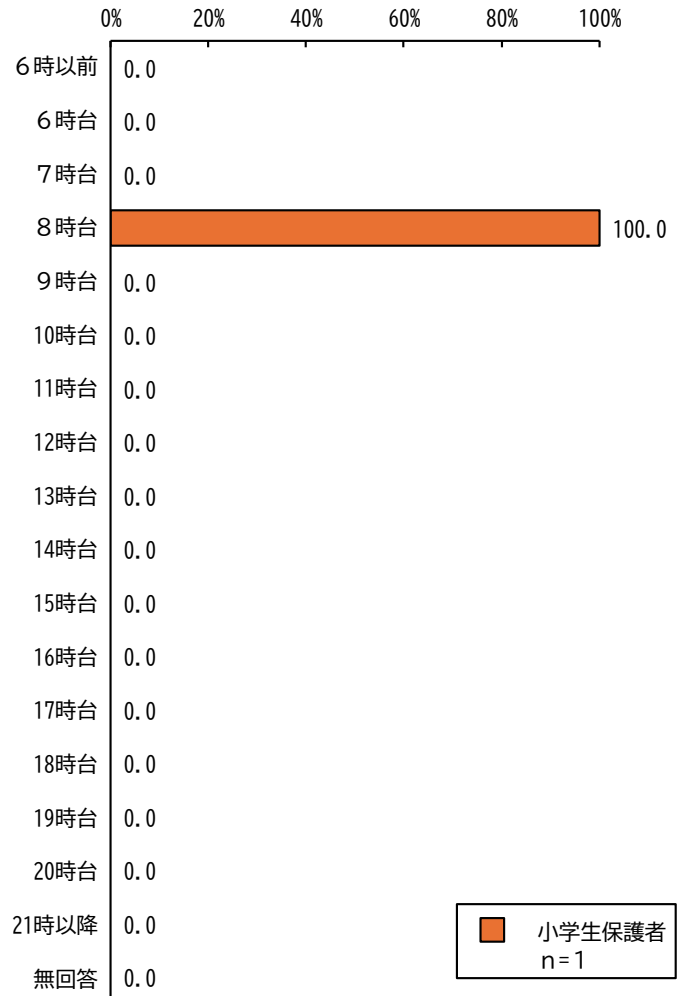
回答者が少ないため参考として掲載しますが、土曜日の学童クラブの利用について「現在の利用開始時間」では「8時台」(50.0%)となっています。  
「今後の希望開始時間」では「8時台」(100.0%)となっています。

問 22- (3) 土曜日の利用開始時間と希望開始時間

1 E. 現在の利用開始時間



2 E. 今後の希望開始時間



問 22- (3) -1 F. 現在の利用時間 土曜 (利用終了時間)

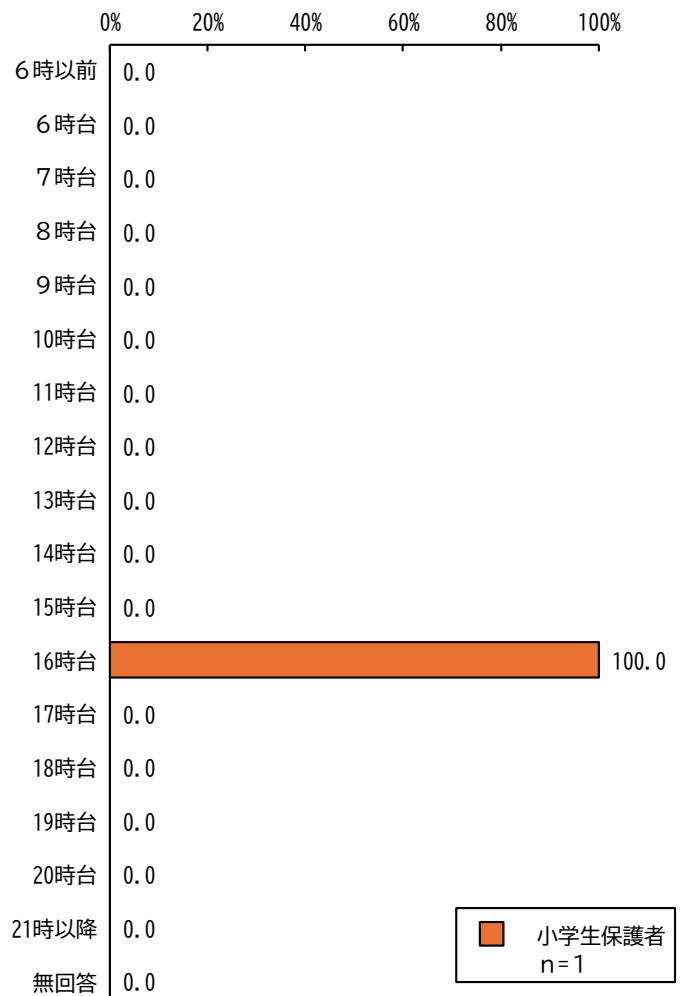
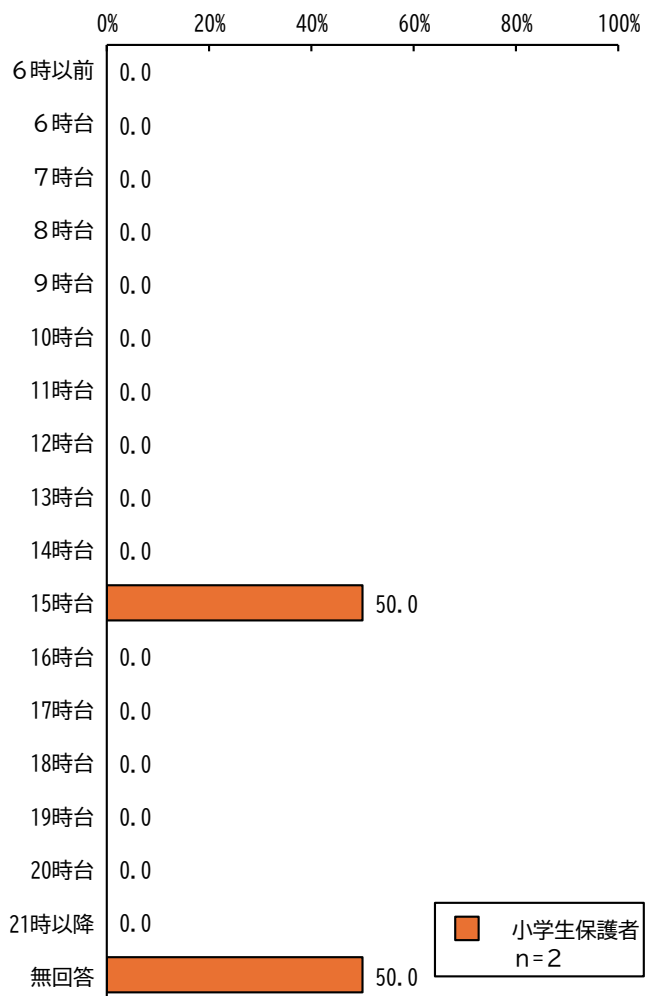
問 22- (3) -2 F. 今後の利用希望時間 土曜 (利用終了時間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、土曜日の学童クラブの利用について「現在の利用終了時間」では「15 時台」(50.0%) となっています。  
「今後の希望終了時間」では「16 時台」(100.0%) となっています。

問 22- (3) 土曜日の利用終了時間と希望終了時間

1 F. 現在の利用終了時間

2 F. 今後の希望終了時間





#### (4) 長期休暇中の学童クラブの利用日数及び時間等

問 22- (3) -1 現在の学童クラブの利用時間と今後の希望について、平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。

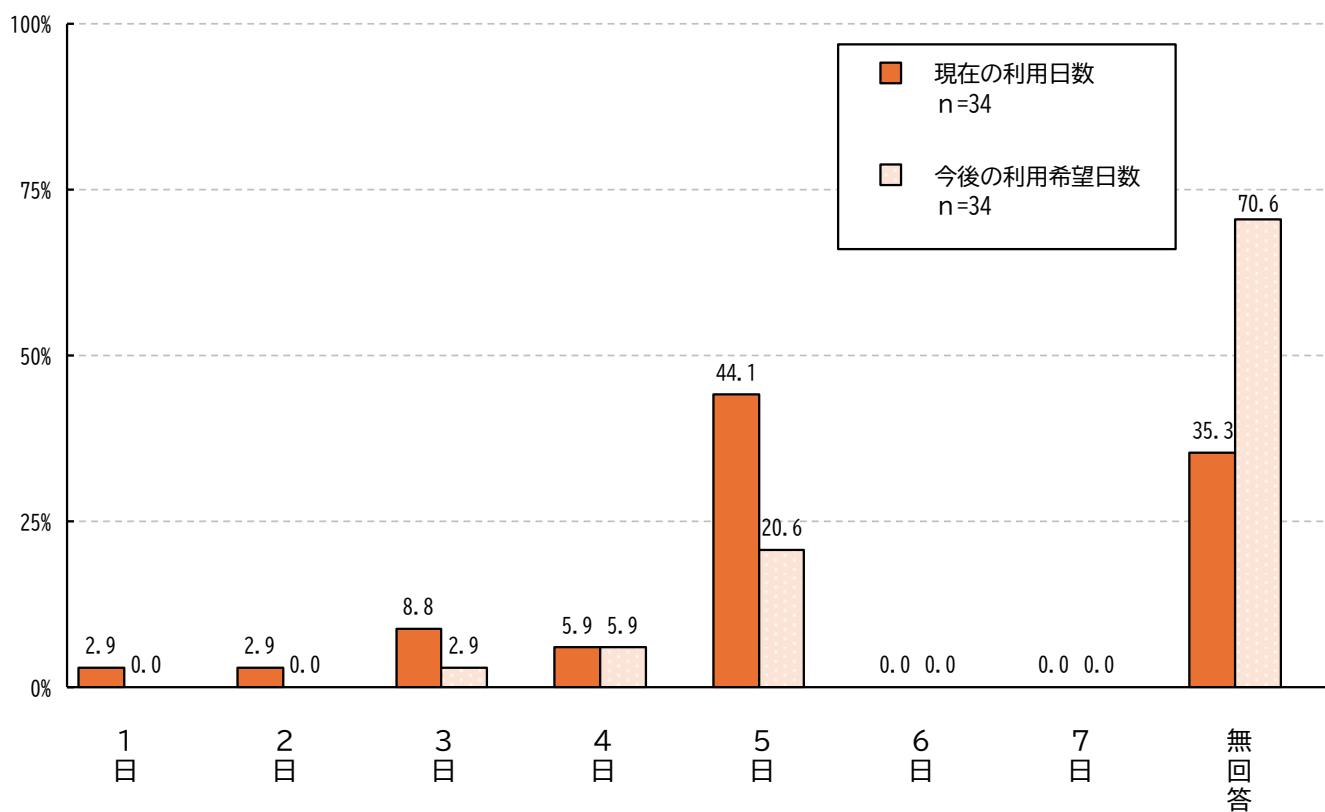
G. 現在の利用日数 長期休暇

問 22- (3) -2 G. 今後の利用希望日数 長期休暇

長期休暇中の学童クラブの1週当たりの利用について「現在の利用日数」では「5日」(44.1%)が最も多く、次いで「3日」(8.8%)、「4日」(5.9%)となっています。

「今後の利用希望日数」では「5日」(20.6%)が最も多く、次いで「4日」(5.9%)、「3日」(2.9%)となっています。

問 22- (3) 長期休暇中の学童クラブの利用日数と希望日数（1週間当たり）



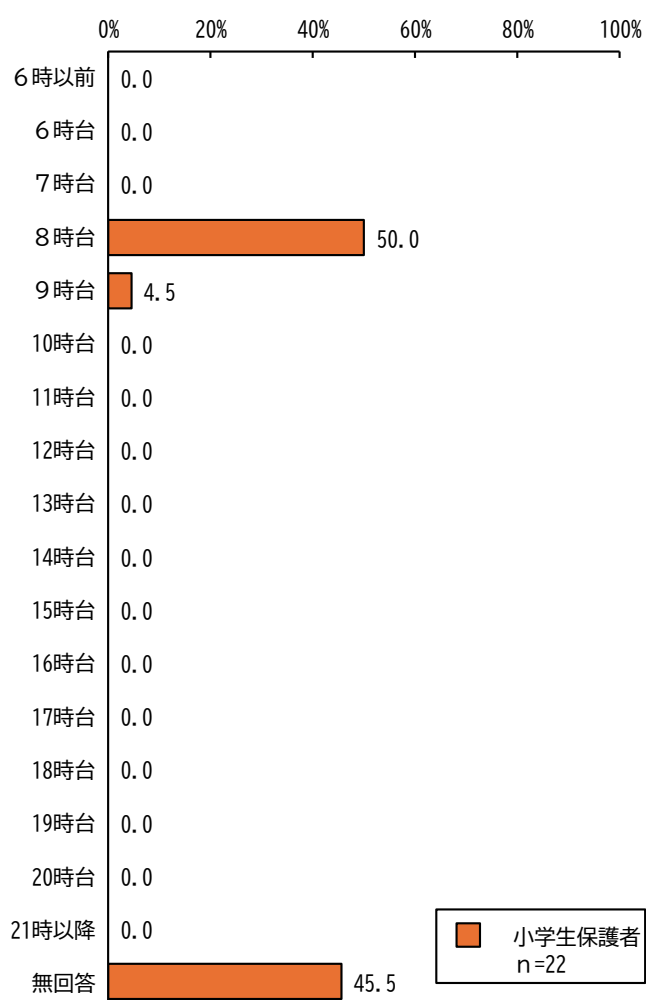
問 22- (3) - 1 H. 現在の利用時間 長期休暇（利用開始時間）

問 22- (3) - 2 H. 今後の利用希望時間 長期休暇（利用開始時間）

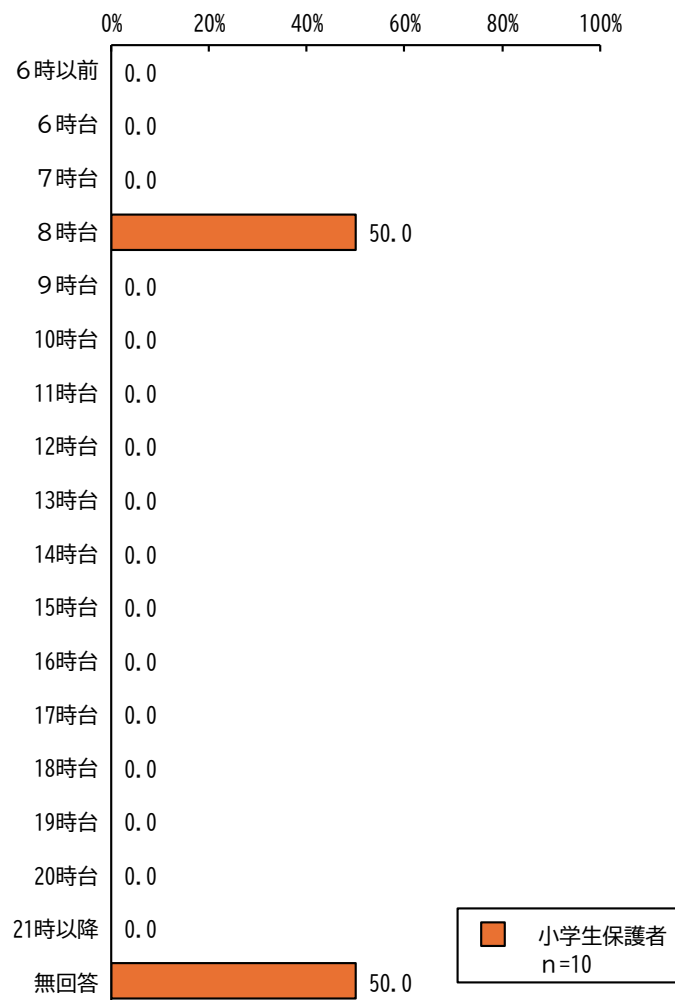
長期休暇中の学童クラブの利用について「現在の利用開始時間」では「8時台」(50.0%) が最も多く、次いで「9時台」(4.5%) となっています。  
「今後の希望開始時間」では「8時台」(50.0%) となっています。

問 22- (3) 長期休暇中の利用開始時間と希望開始時間

1 H. 現在の利用開始時間



2 H. 今後の希望開始時間



問 22- (3) -1 I. 現在の利用時間 長期休暇（利用終了時間）

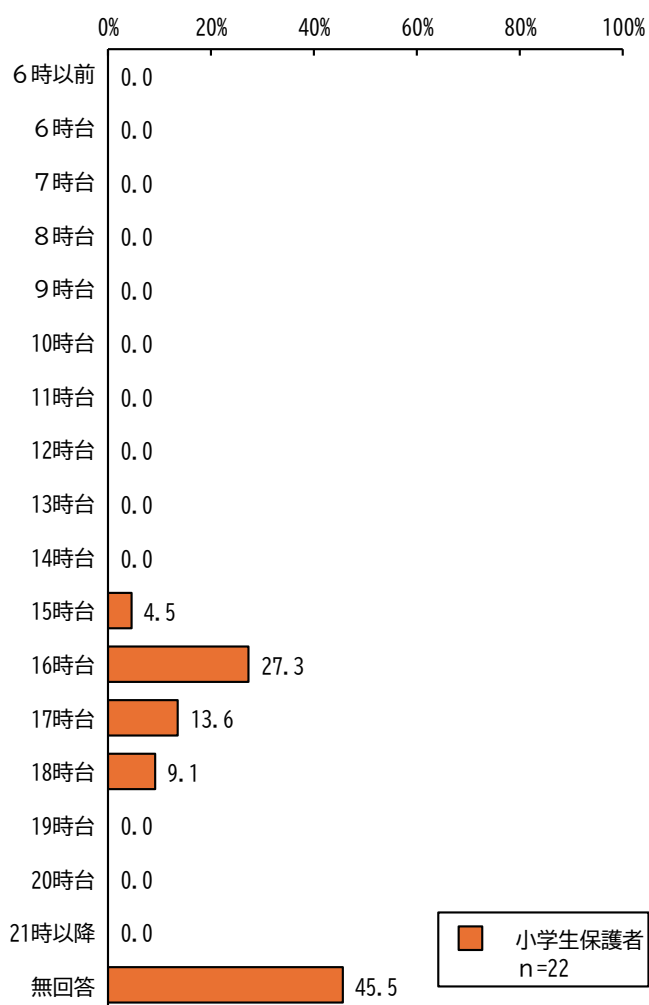
問 22- (3) -2 I. 今後の利用希望時間 長期休暇（利用終了時間）

長期休暇中の学童クラブの利用について「現在の利用終了時間」では「16 時台」（27.3%）が最も多く、次いで「17 時台」（13.6%）、「18 時台」（9.1%）となっています。

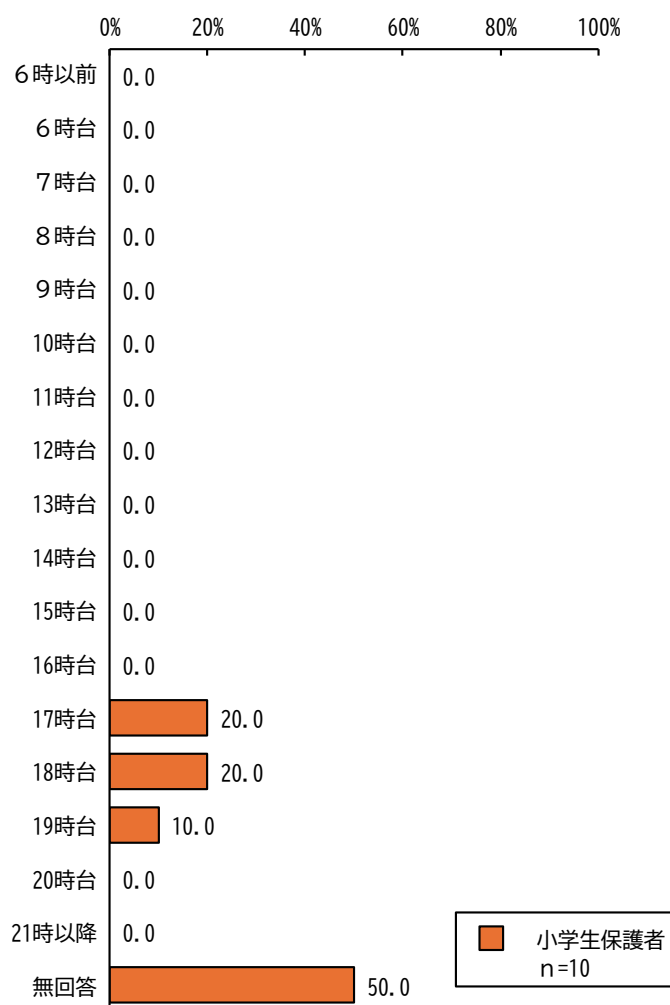
「今後の希望終了時間」では「17 時台」「18 時台」（各 20.0%）が最も多く、次いで「19 時台」（10.0%）となっています。

問 22- (3) 長期休暇中の利用終了時間と希望終了時間

1 I. 現在の利用終了時間



2 I. 今後の希望終了時間

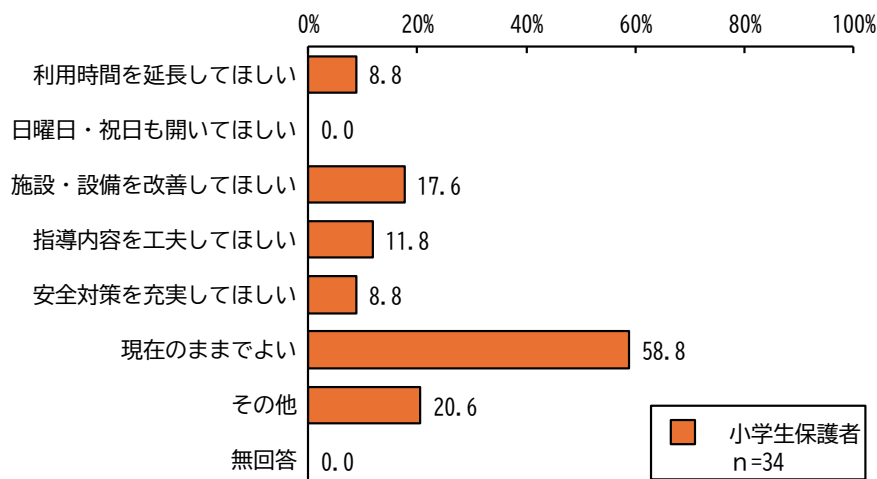


## (5) 学童クラブへの希望

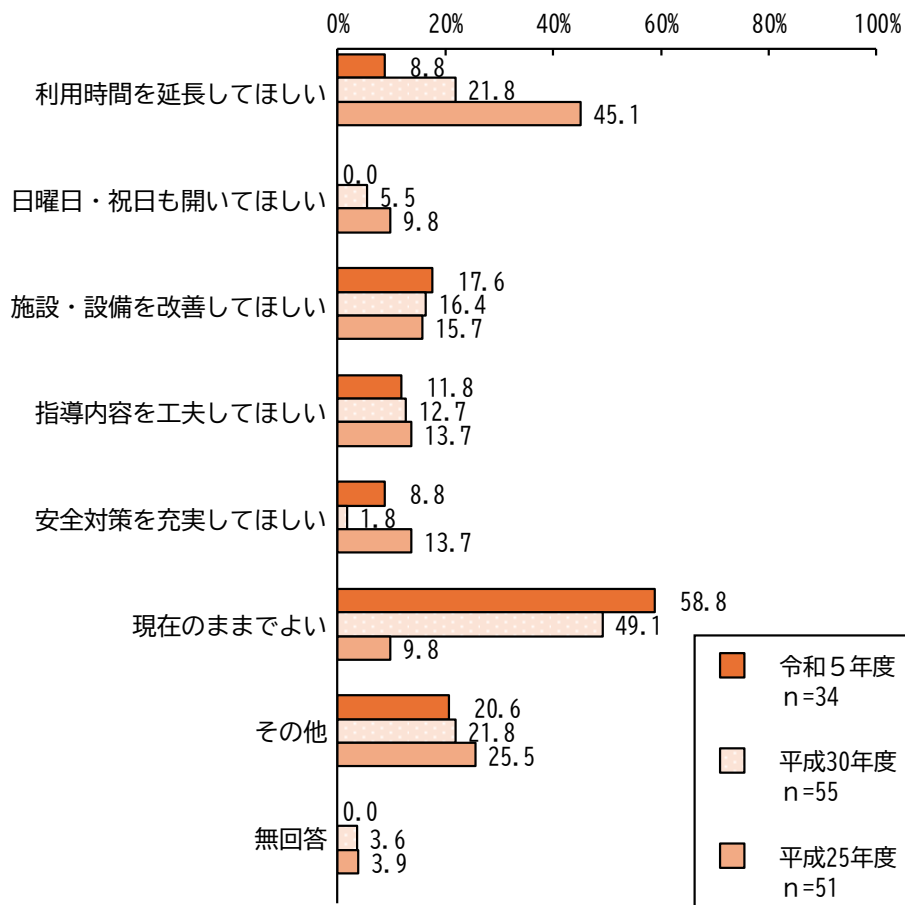
問 22- (4) 現在通っている学童クラブについて希望することはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在通っている学童クラブについて希望することは「現在のままでよい」(58.8%)が最も多く、次いで「施設・設備を改善してほしい」(17.6%)、「指導内容を工夫してほしい」(11.8%)となっています。

問 22- (4) 通っている学童クラブへの希望【経年比較】



### 【経年比較】

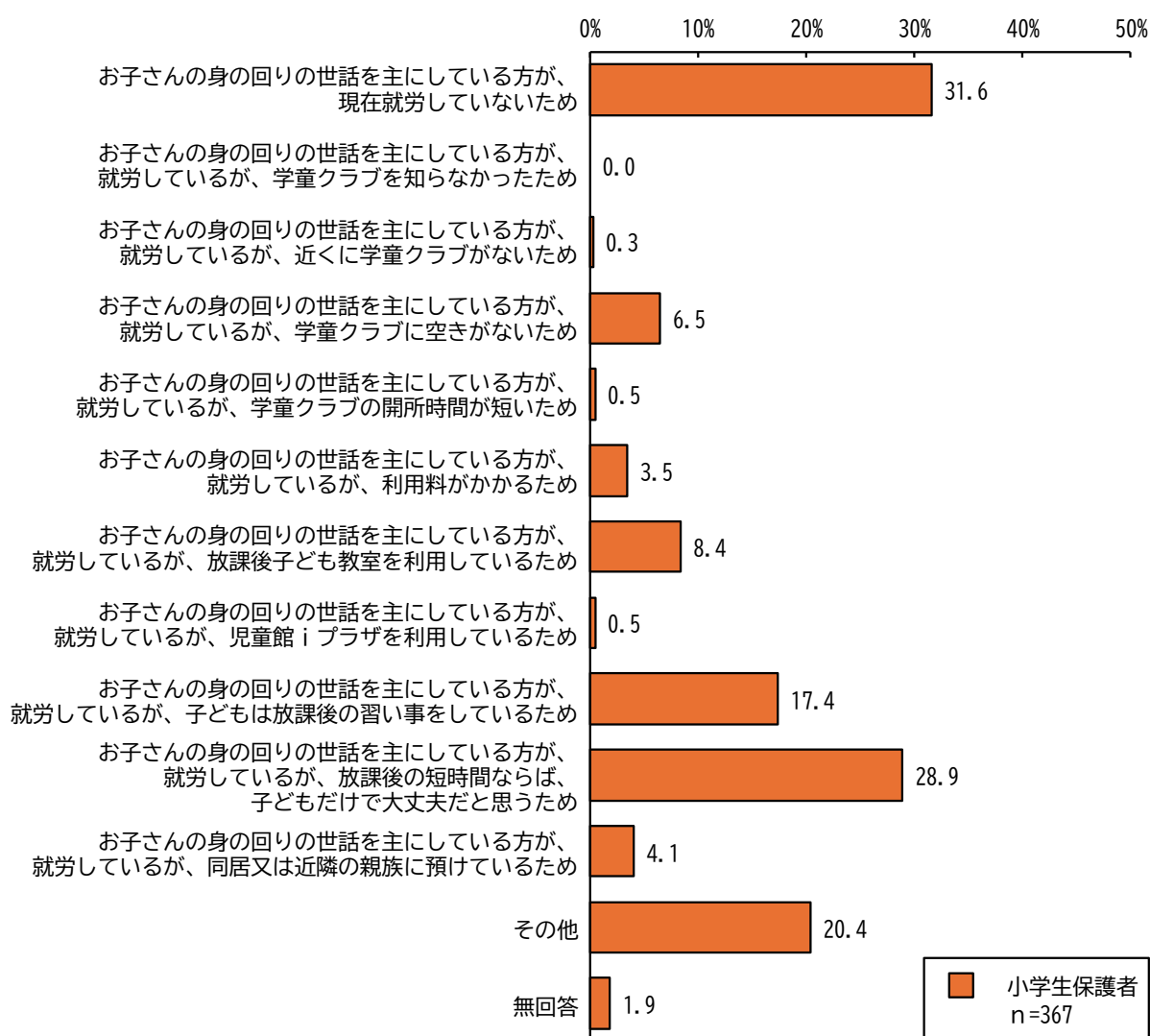


## (6) 学童クラブを利用していない理由や今後の利用意向

問 22-(5) 利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

学童クラブを利用していない理由は「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、現在就労していないため」(31.6%)が最も多く、次いで「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うため」(28.9%)、「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているため」(17.4%)となっています。

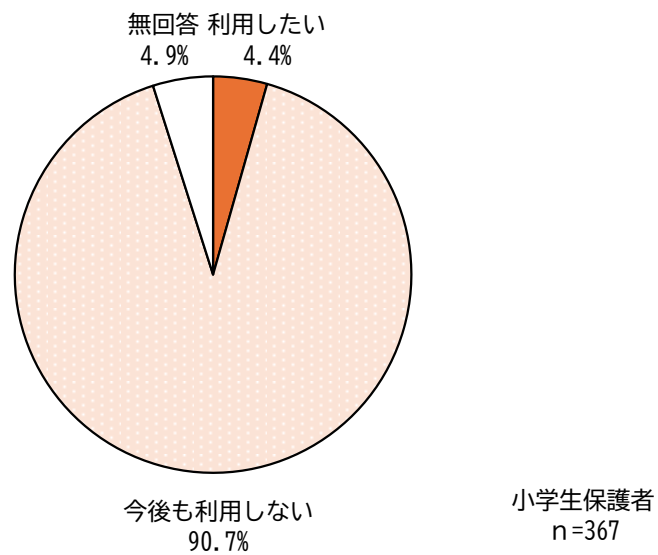
問 22-(5) 学童クラブを利用していない理由



問 22-（6） 宛名のお子さんについて、今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。  
（あてはまるもの1つに○）

学童クラブ未利用者の今後の利用意向については「今後も利用しない」  
（90.7%）、「利用したい」（4.4%）となっています。

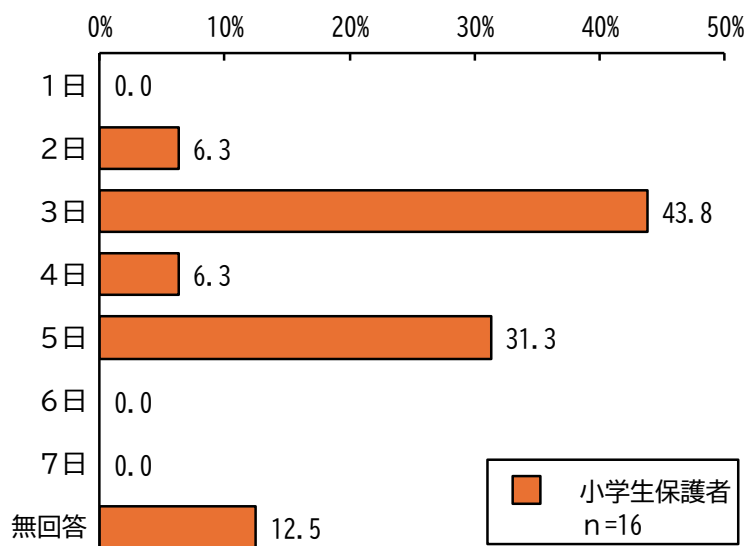
問 22-（6） 学童クラブ未利用の方の今後の利用意向



問 22- (6) -1 週何日くらい利用したいか。(あてはまるもの1つに○)

今後の学童クラブの1週間当たりの利用希望日数については「3日」(43.8%)が最も多く、次いで「5日」(31.3%)、「2日」「4日」(各 6.3%)となっています。

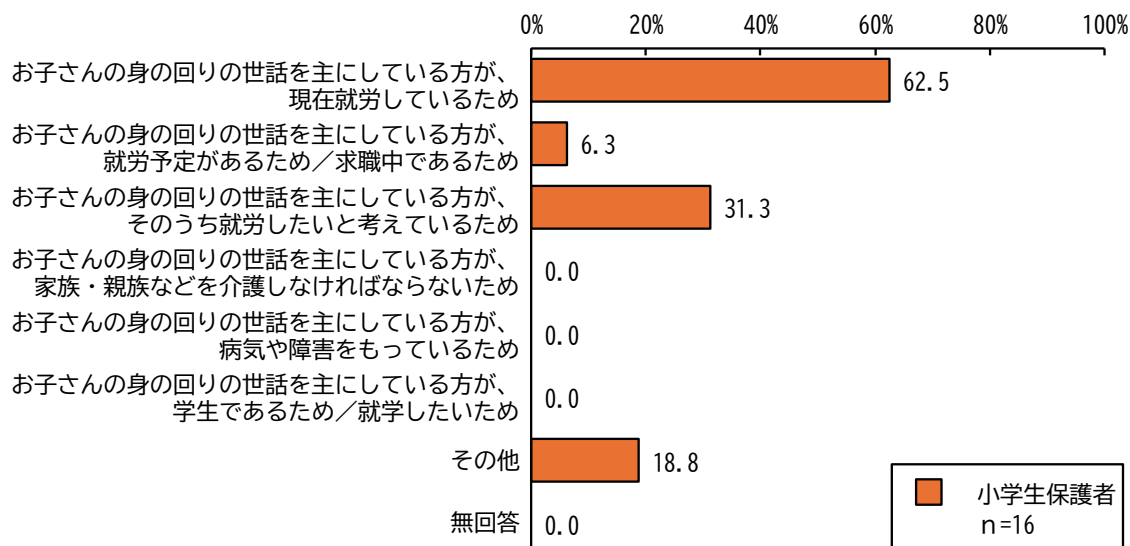
問 22- (6) -1 未利用の方の今後の利用希望日数 (1週間当たり)



問 22- (7) 今後、学童クラブを利用したい理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

今後、学童クラブを利用したい理由については「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、現在就労しているため」(62.5%)が最も多く、次いで「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、そのうち就労したいと考えているため」(31.3%)、「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労予定があるため/求職中であるため」(6.3%)となっています。

問 22- (7) 未利用の方の今後利用したい理由



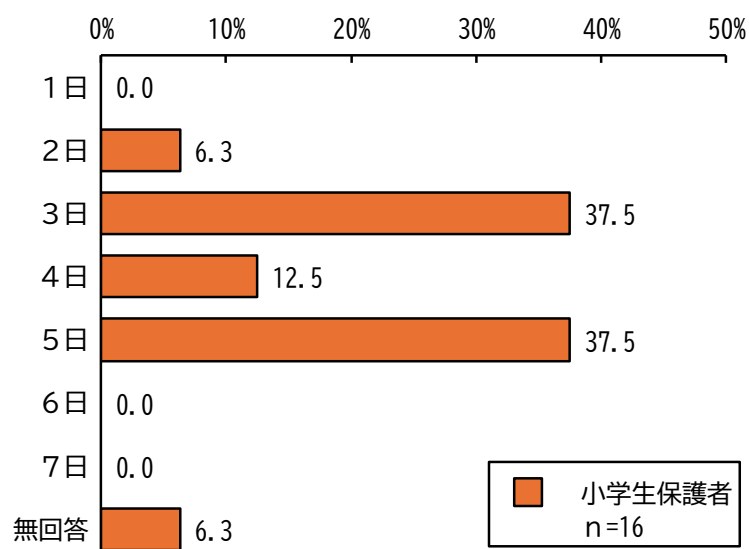
### (7) 未利用者が希望する平日の学童クラブの利用日数等

問 22- (8) 今後、学童クラブを利用するとしたら、どのような時間帯に利用したいですか。平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。A. 今後の希望日数 平日（※希望しない場合は0を記入してください。）

学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの1週当たりの利用について「平日の利用希望日数」では「3日」「5日」（各 37.5%）が最も多く、次いで「4日」（12.5%）、「2日」（6.3%）となっています。

#### 問 22- (8) 学童クラブの利用希望

##### A. 平日の利用希望日数（1週間当たり）

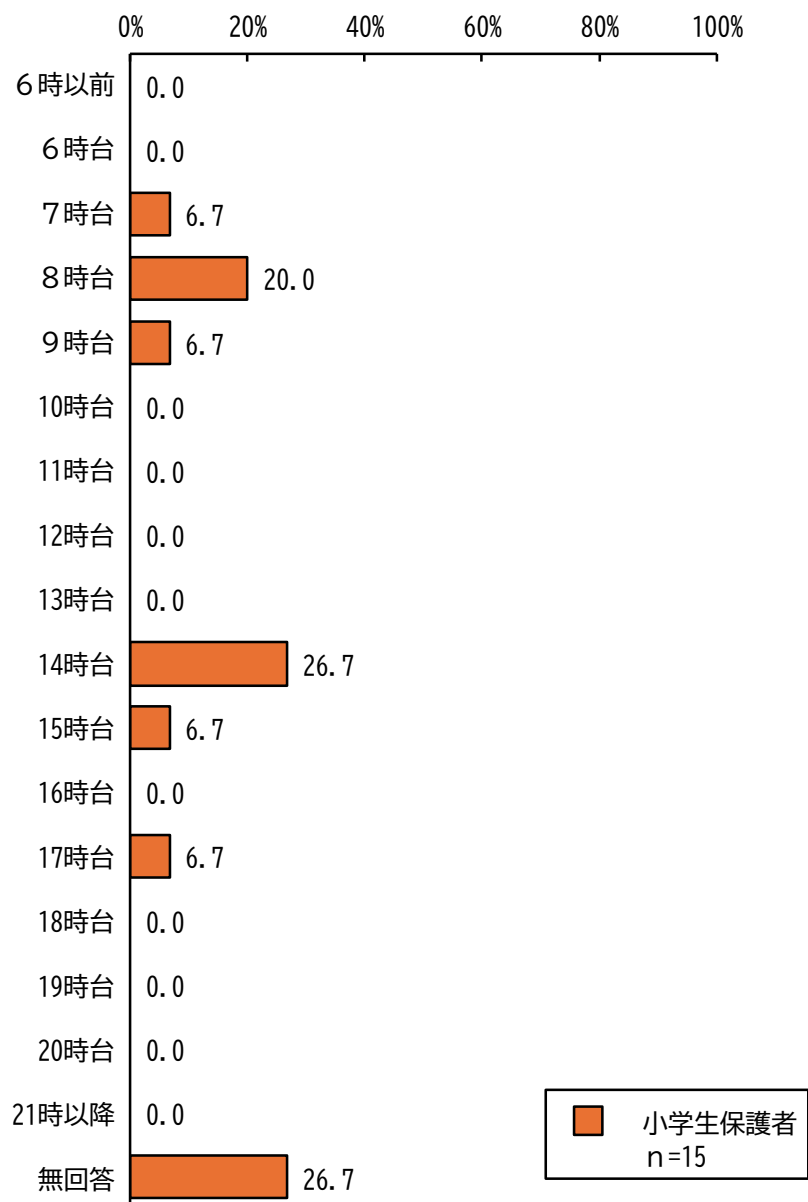




問 22- (8) B. 今後の希望時間 平日 (利用開始時間)

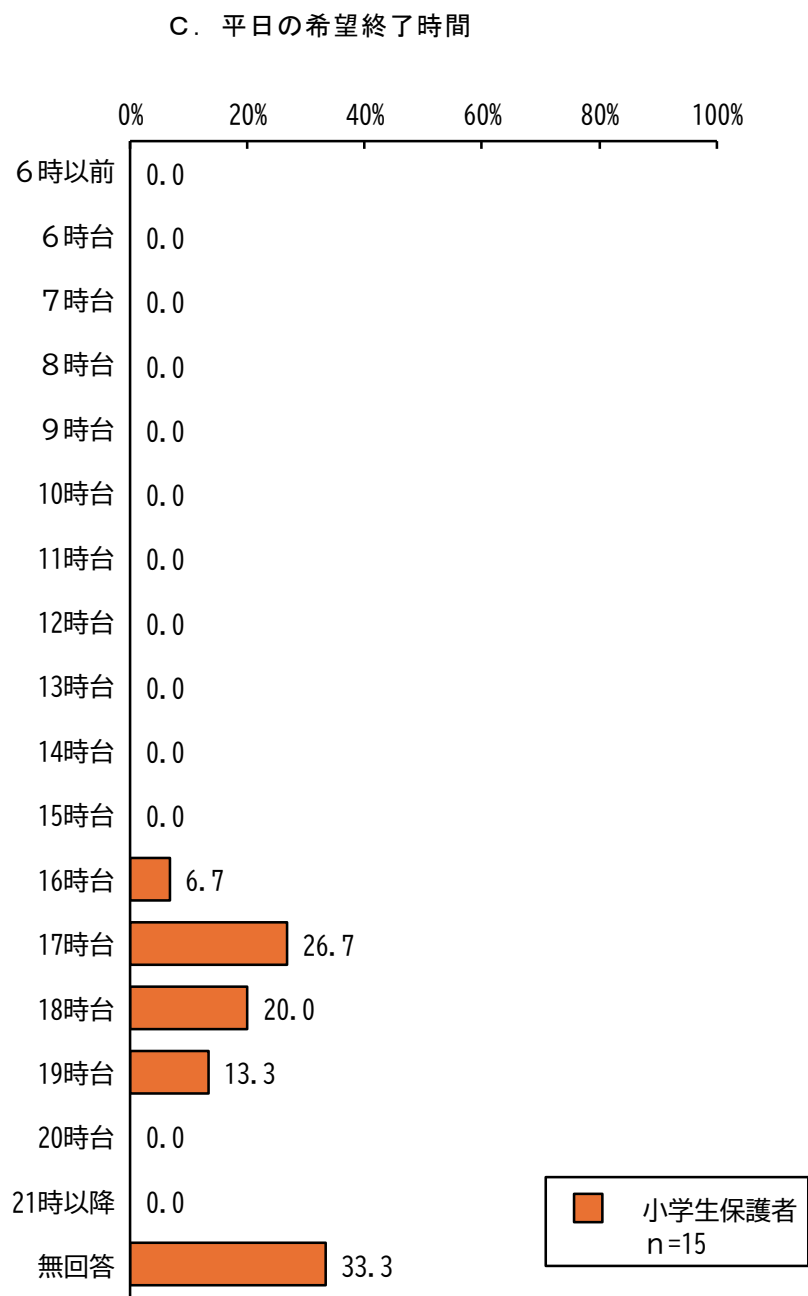
学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの利用について「平日の利用希望開始時間」では「14 時台」(26.7%) が最も多く、次いで「8 時台」(20.0%)、「7 時台」「9 時台」「15 時台」「17 時台」(各 6.7%) となっています。

B. 平日の利用希望開始時間



問 22- (8) C. 今後の希望時間 平日 (利用終了時間)

学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの利用について「平日の希望終了時間」では「17 時台」(26.7%) が最も多く、次いで「18 時台」(20.0%)、「19 時台」(13.3%) となっています。



### (8) 未利用者が希望する土曜日の学童クラブの利用日数等

問 22- (8) 今後、学童クラブを利用するとしたら、どのような時間帯に利用したいですか。平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。D. 今後の希望日数 土曜（※希望しない場合は0を記入してください。）

学童クラブ未利用で、今後学童クラブを利用したいと答えた方 16 名のうち、土曜日の利用を希望する方は「1名」(6.3%)となっています。利用希望開始時間と希望終了時間について回答はありませんでした。

問 22- (8) 「E. 今後の希望時間 土曜（利用開始時間）」、「F. 今後の希望時間 土曜（利用終了時間）」について

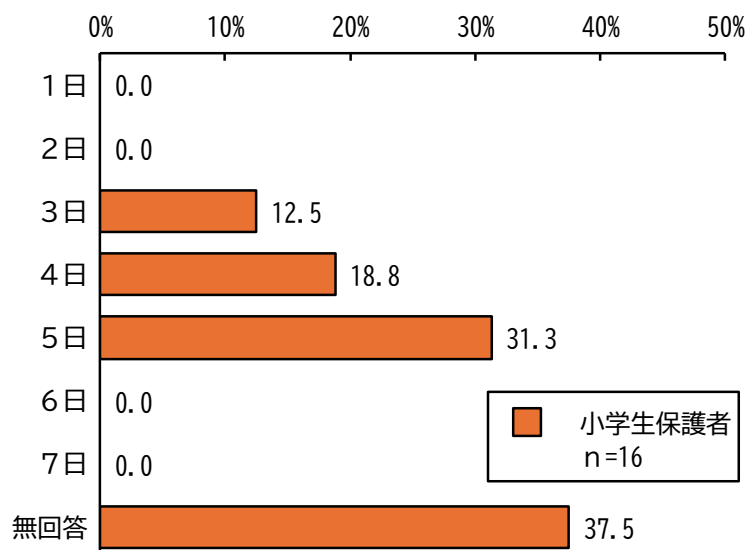
回答者がいないため省略。

### (9) 未利用者が希望する長期休暇中の学童クラブの利用日数等

問 22- (8) 今後、学童クラブを利用するとしたら、どのような時間帯に利用したいですか。平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。G. 今後の希望日数 長期休暇（※平日・土曜合わせて記入してください、希望しない場合は0を記入してください。）

学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの1週当たりの利用について「長期休暇中の利用希望日数」では「5日」(31.3%)が最も多く、次いで「4日」(18.8%)、「3日」(12.5%)となっています。

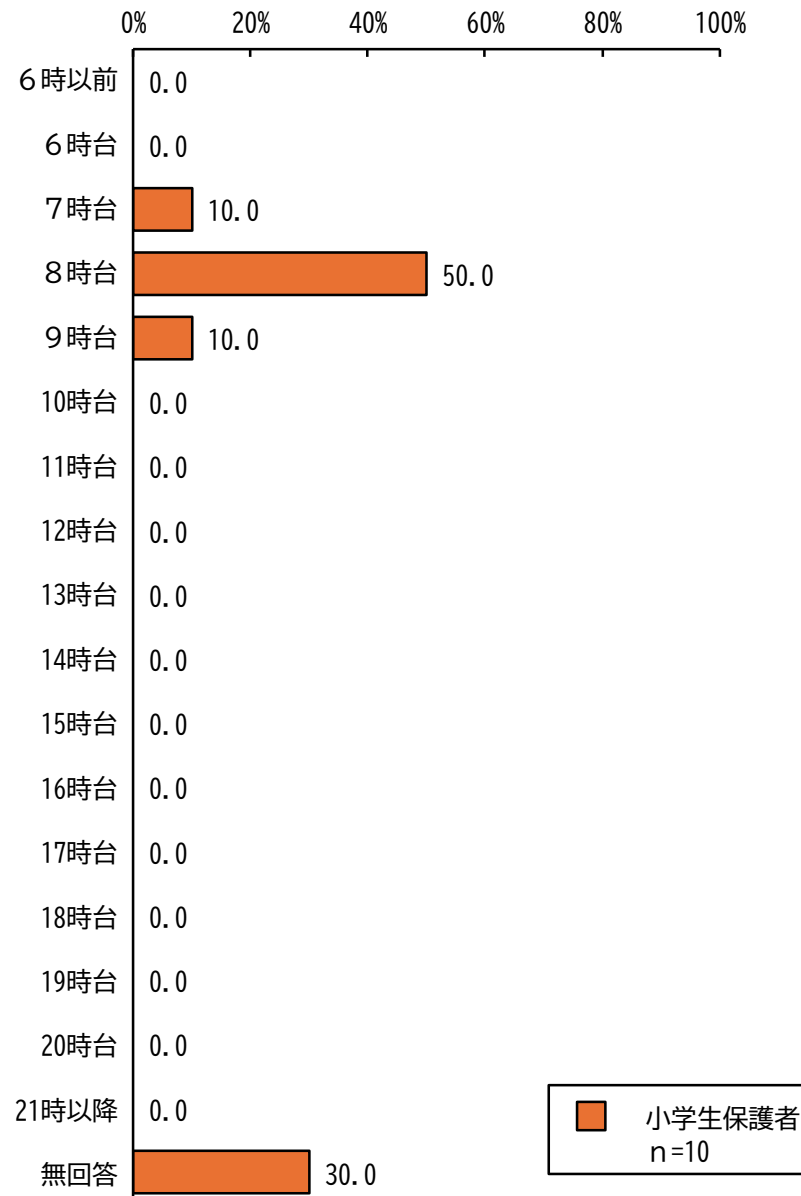
G. 長期休暇中の利用希望日数（1週間当たり）



問 22- (8) 今後、学童クラブを利用するとしたら、どのような時間帯に利用したいですか。平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。H. 今後の希望時間 長期休暇（利用開始時間）

学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの利用について「長期休暇中の利用希望開始時間」では「8時台」（50.0%）が最も多く、次いで「7時台」「9時台」（各 10.0%）となっています。

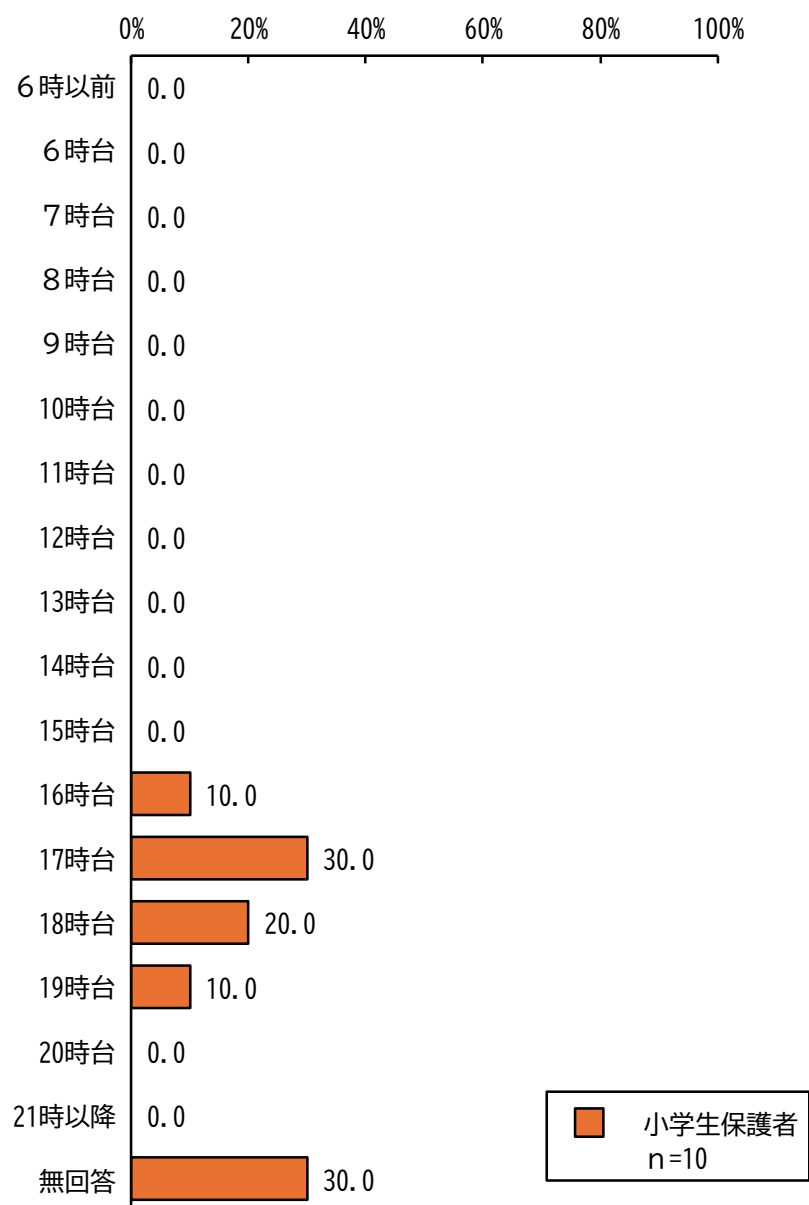
H. 長期休暇中の利用希望開始時間



問 22- (8) 今後、学童クラブを利用するとしたら、どのような時間帯に利用したいですか。平日（月～金）、土曜、長期休暇（夏休みなど）それぞれについてお答えください。I. 今後の希望時間 長期休暇（利用終了時間）

学童クラブ未利用者が希望する学童クラブの利用について「長期休暇中の希望終了時間」では「17 時台」(30.0%) が最も多く、次いで「18 時台」(20.0%)、「16 時台」「19 時台」(各 10.0%) となっています。

I. 長期休暇中の希望終了時間

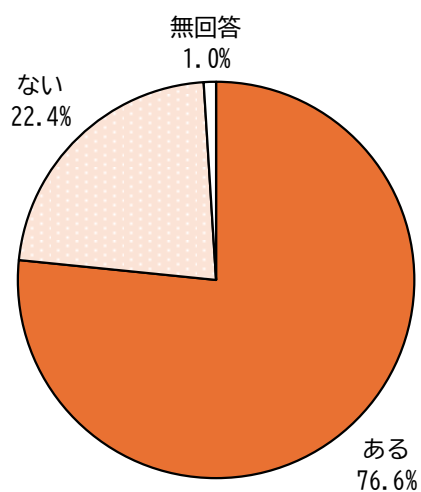


## 6 児童館の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、市内の児童館や i プラザを利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

児童館や i プラザの利用については「ある」(76.6%)、「ない」(22.4%)となっています。

問 23 児童館や i プラザの利用有無

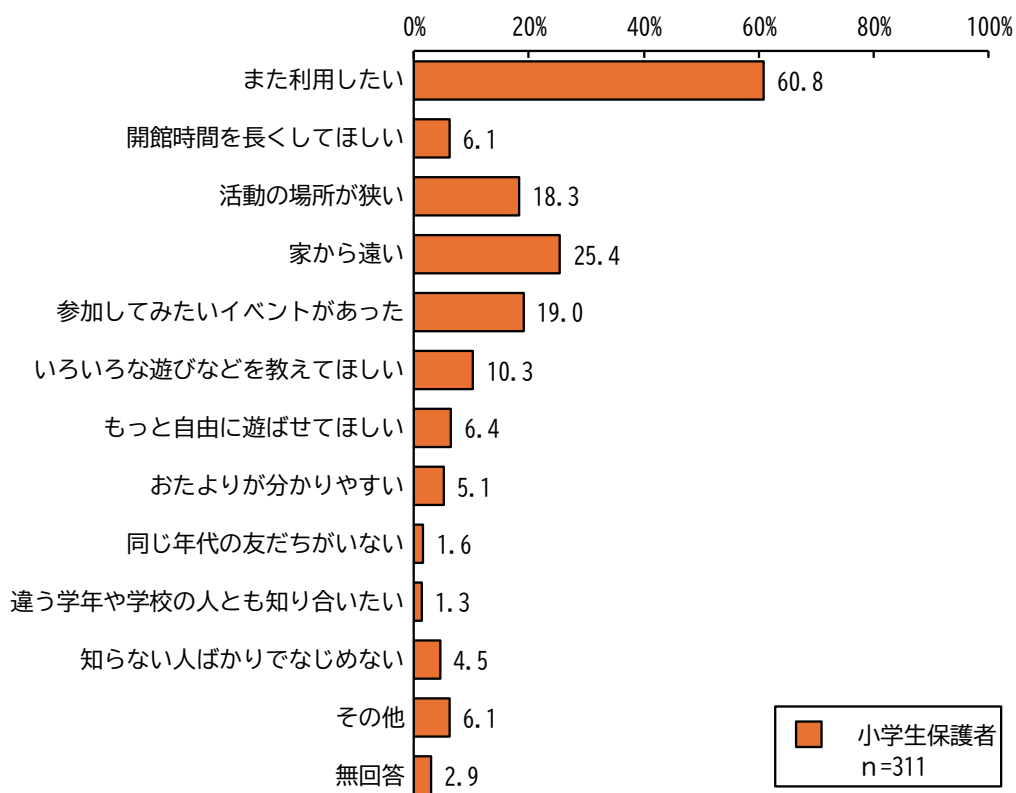


小学生保護者  
n=406

問 23- (1) 児童館や i プラザを利用して、感じたことはありますか。(あてはまるもの3つまでに○)

児童館や i プラザを利用して感じたことは「また利用したい」(60.8%) が最も多く、次いで「家から遠い」(25.4%)、「参加してみたいイベントがあった」(19.0%) となっています。

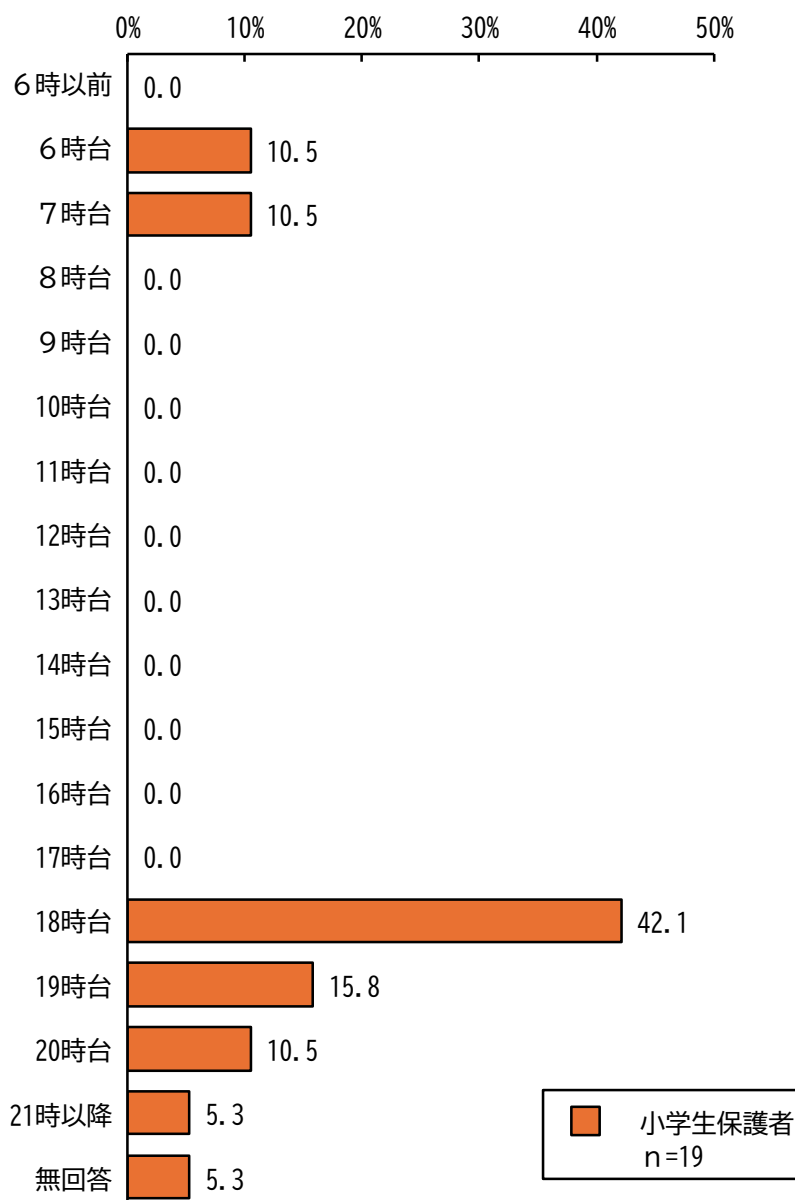
問 23- (1) 児童館や i プラザを利用して感じたこと



問 23- (1) A. 「開館時間を長くしてほしい」と答えた方は、何時までを希望していますか。

児童館や i プラザを利用して感じたことについて「開館時間を長くしてほしい」と答えた方の希望開館時間」では「18 時台」(42.1%) が最も多く、次いで「19 時台」(15.8%)、「6 時台」「7 時台」「20 時台」(各 10.5%) となっています。

問 23- (1) A. 「開館時間を長くしてほしい」と答えた方の希望開館時間

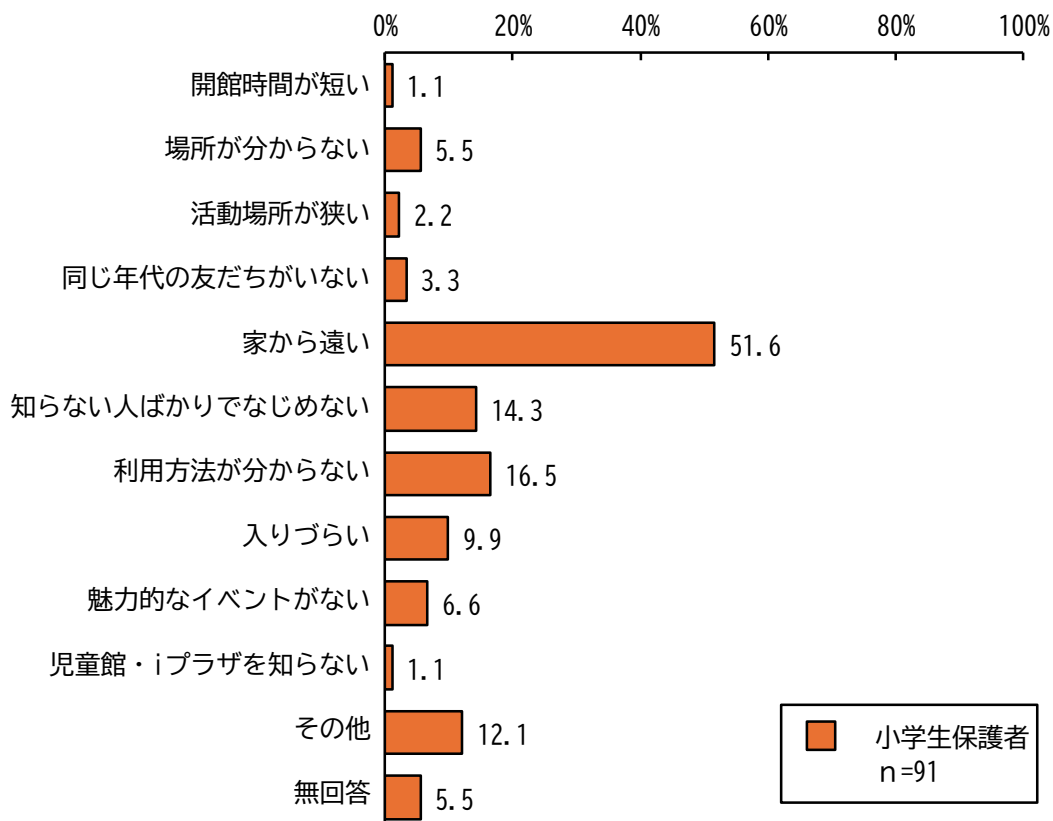




問 23- (2) 児童館や i プラザを利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

児童館や i プラザを利用したことがない理由は「家から遠い」(51.6%) が最も多く、次いで「利用方法が分からない」(16.5%)、「知らない人ばかりでなじめない」(14.3%) となっています。

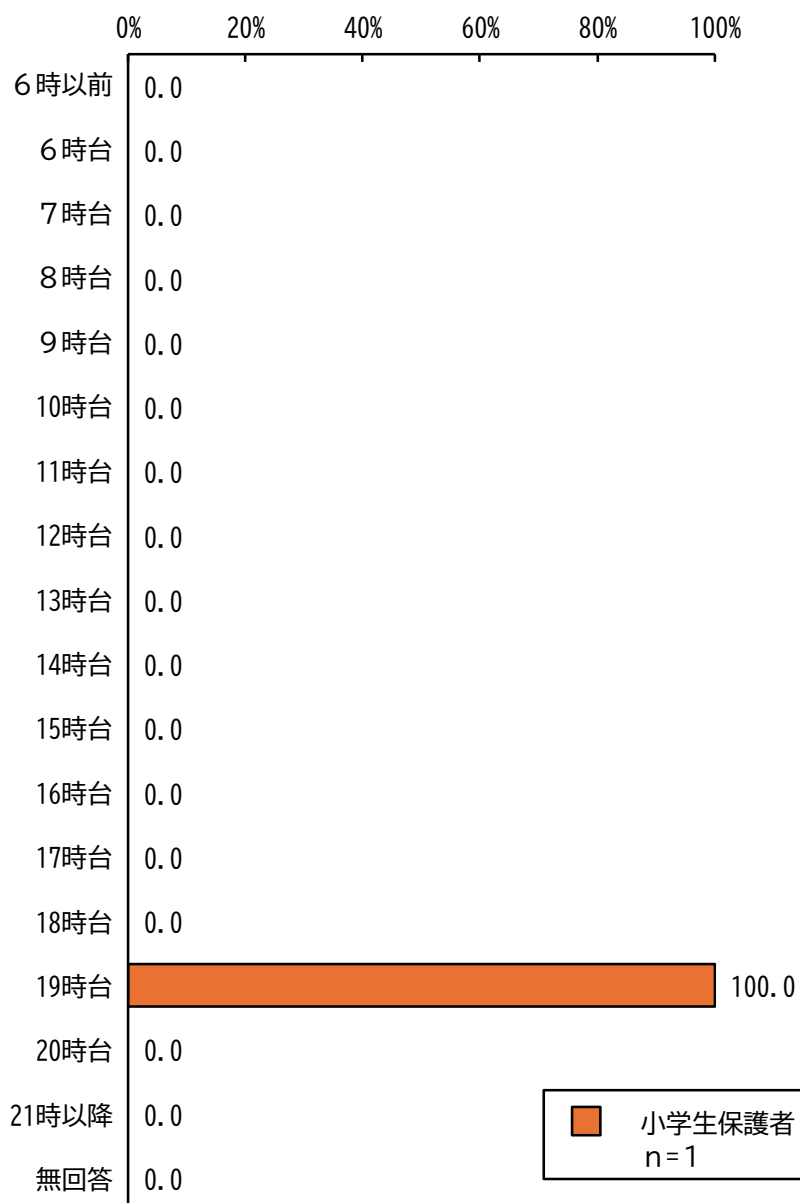
問 23- (2) 児童館や i プラザを利用したことがない理由



問 23- (2) A. 「開館時間が短い」と答えた方は、何時までを希望していますか。

回答者が少ないため参考として掲載しますが、児童館や i プラザを利用して感じたことについて「開館時間が短い」と答えた方の希望開館時間」では「19 時台」(100.0%) となっています。

A. 「開館時間が短い」と答えた方の希望開館時間

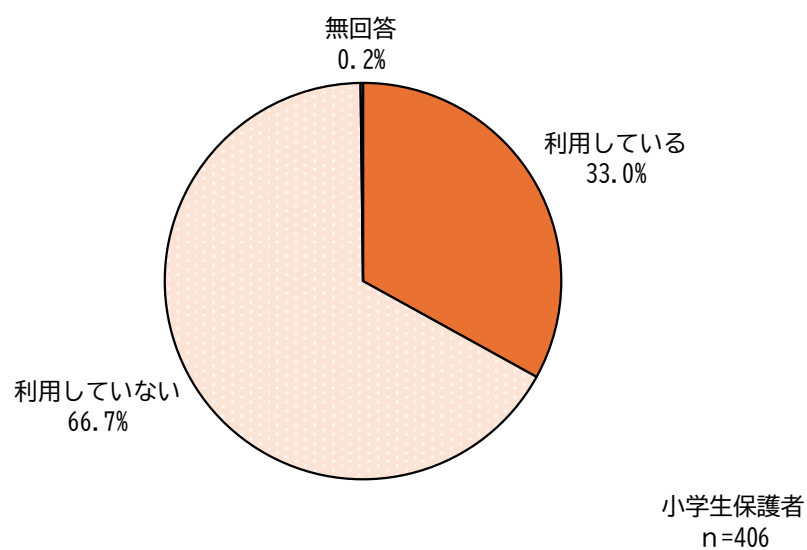


## 7 放課後子ども教室等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、現在、放課後子ども教室を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

放課後子ども教室の利用については「利用していない」(66.7%)、「利用している」(33.0%)となっています。

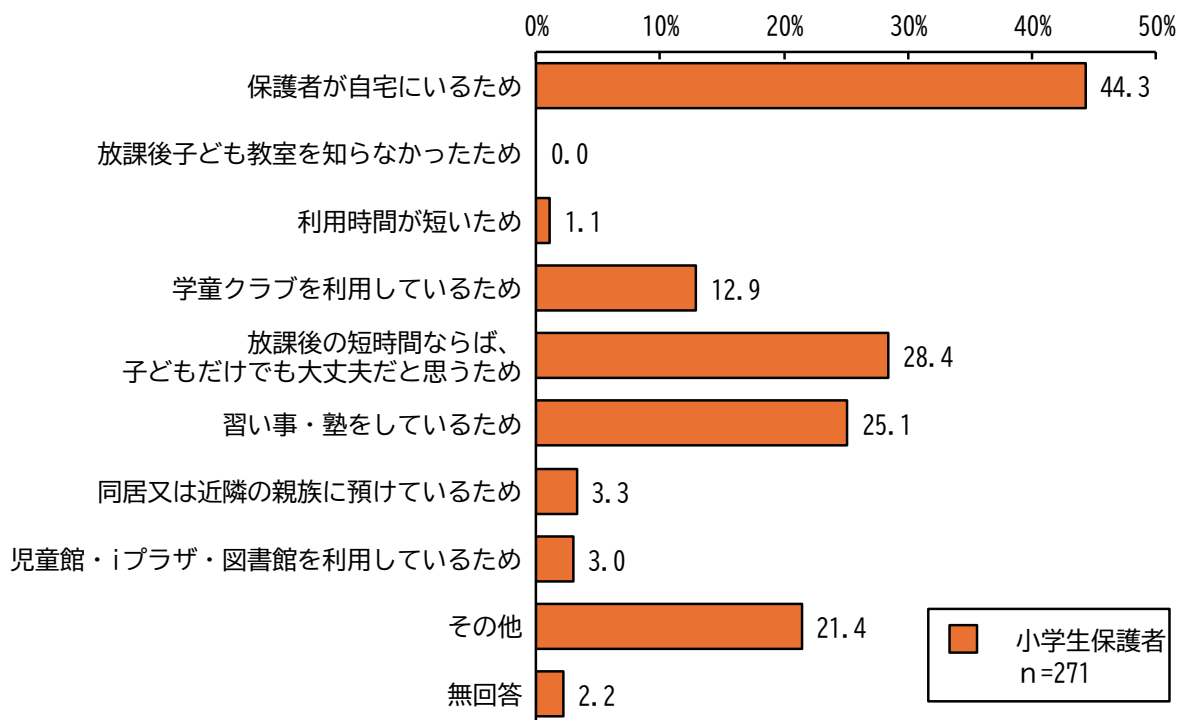
問 24 放課後子ども教室の利用有無



問 24- (1) 放課後子ども教室を利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

放課後子ども教室を利用したことがない理由については「保護者が自宅にいるため」(44.3%)が最も多く、次いで「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うため」(28.4%)、「習い事・塾をしているため」(25.1%)となっています。

問 24- (1) 放課後子ども教室を利用したことがない理由

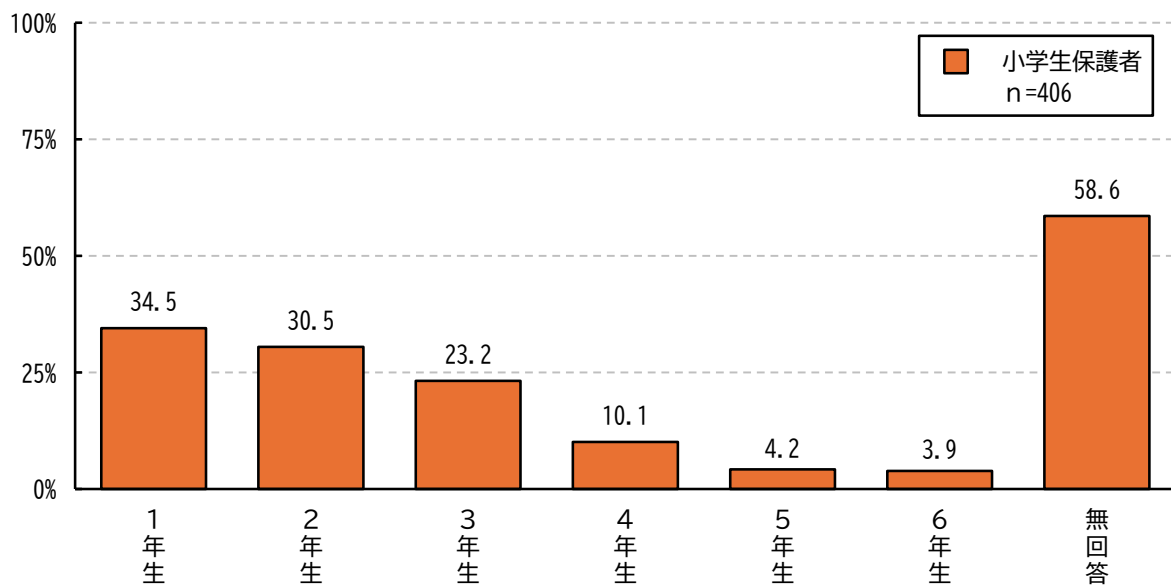


問 25 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごした・過ごさせたいと思いますか。（項目ごとにあてはまる学年すべてに○） A. 学童クラブを利用する

放課後の過ごし方の希望について「学童クラブを利用する」では「1年生」（34.5%）が最も多く、次いで「2年生」（30.5%）、「3年生」（23.2%）となっています。

問 25 放課後の過ごし方の希望（学年別）

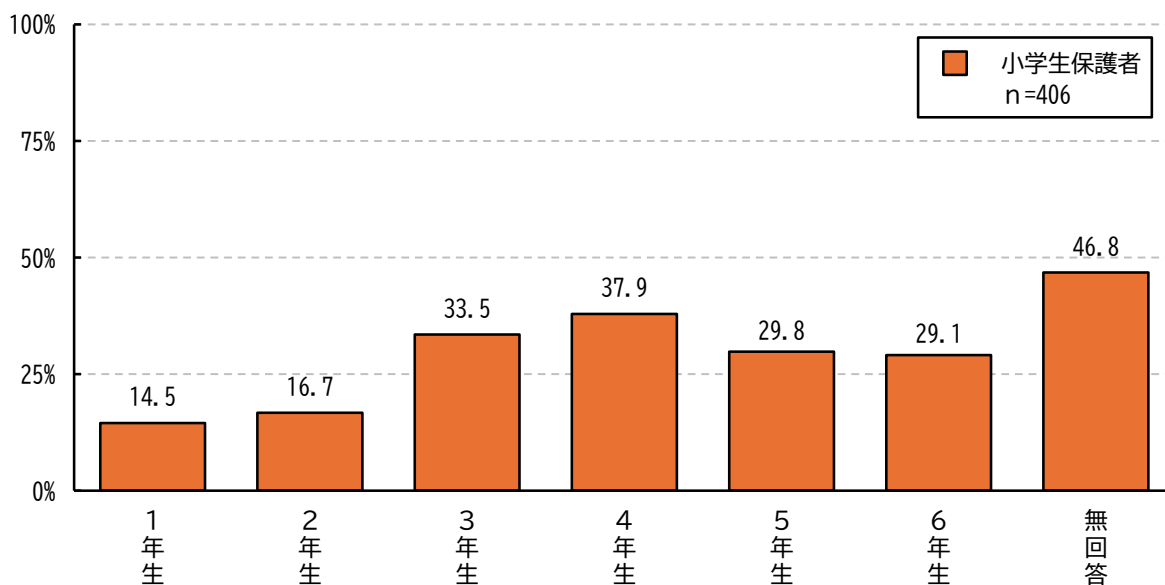
A. 学童クラブを利用する



問 25 B. 児童館・iプラザ・図書館を利用する

放課後の過ごし方の希望について「放課後子ども教室を利用する」では「3年生」(30.8%)が最も多く、次いで「2年生」(24.6%)、「1年生」(23.9%)となっています。

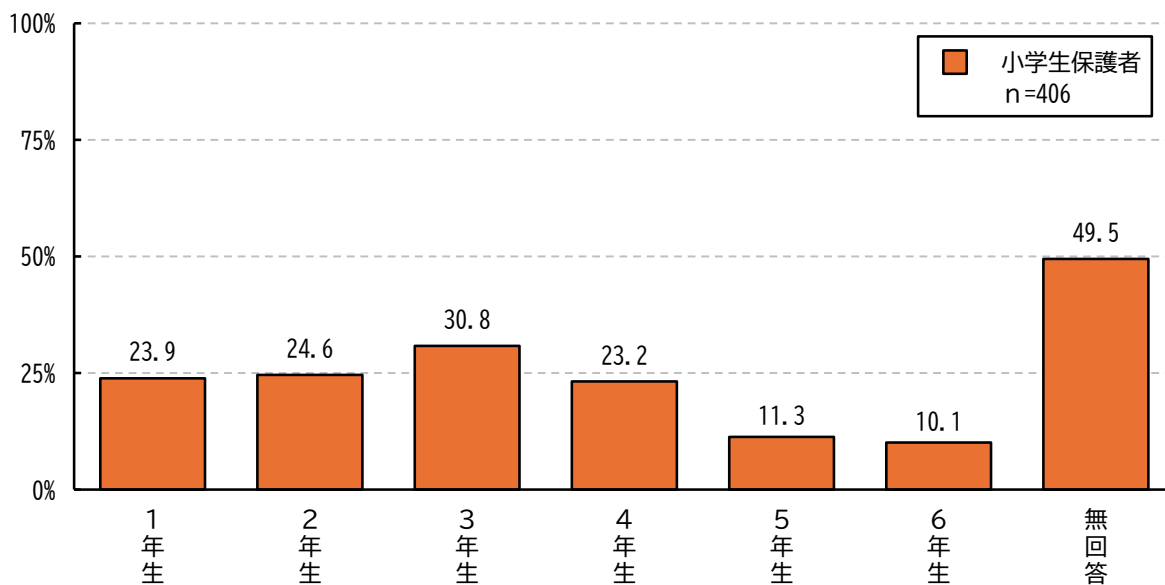
B. 児童館・iプラザ・図書館を利用する



問 25 C. 放課後子ども教室を利用する

放課後の過ごし方の希望について「児童館・iプラザ・図書館を利用する」では「4年生」(37.9%)が最も多く、次いで「3年生」(33.5%)、「5年生」(29.8%)となっています。

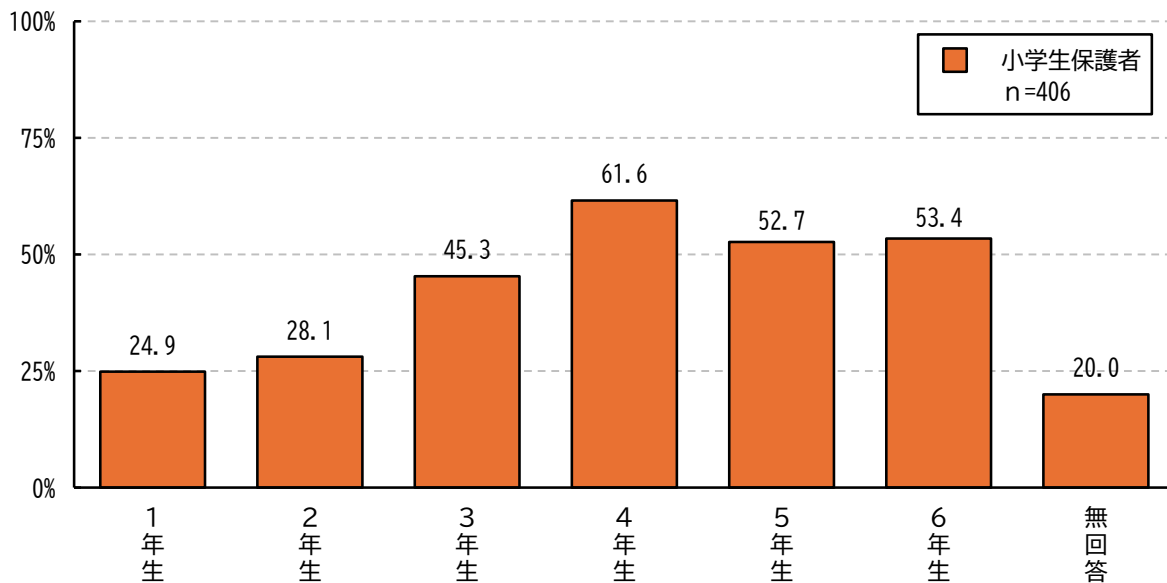
C. 放課後子ども教室を利用する



問 25 D. 塾やクラブ活動・習い事等をする

「塾やクラブ活動・習い事等をする」では「4年生」(61.6%)が最も多く、次いで「6年生」(53.4%)、「5年生」(52.7%)となっています。

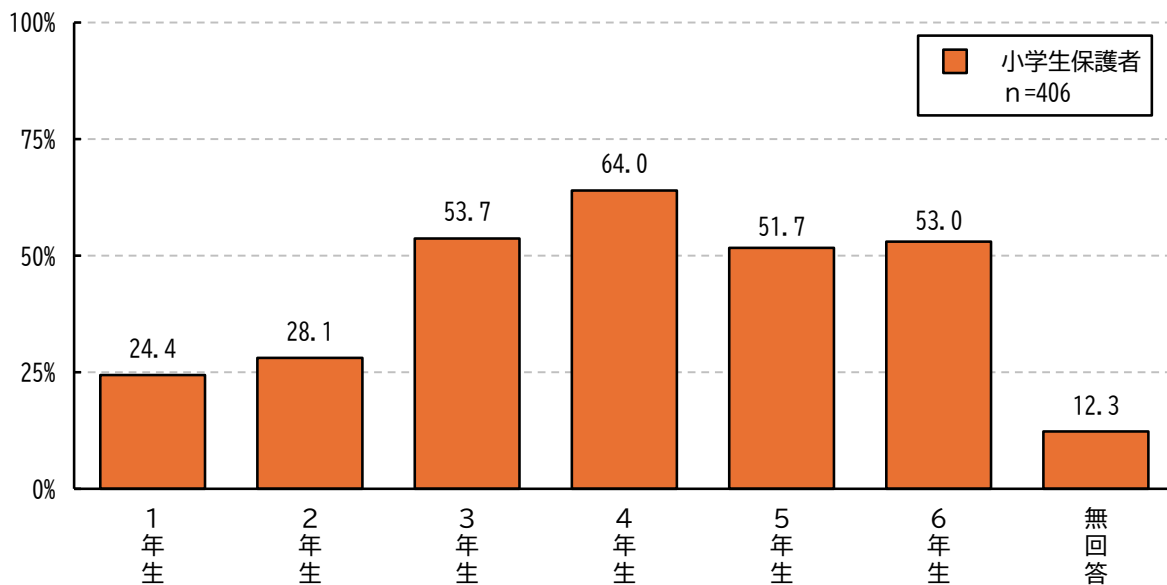
D. 塾やクラブ活動・習い事等をする



問 25 E. 自宅や公園等で自由に過ごす

「自宅や公園等で自由に過ごす」では「4年生」(64.0%)が最も多く、次いで「3年生」(53.7%)、「6年生」(53.0%)となっています。

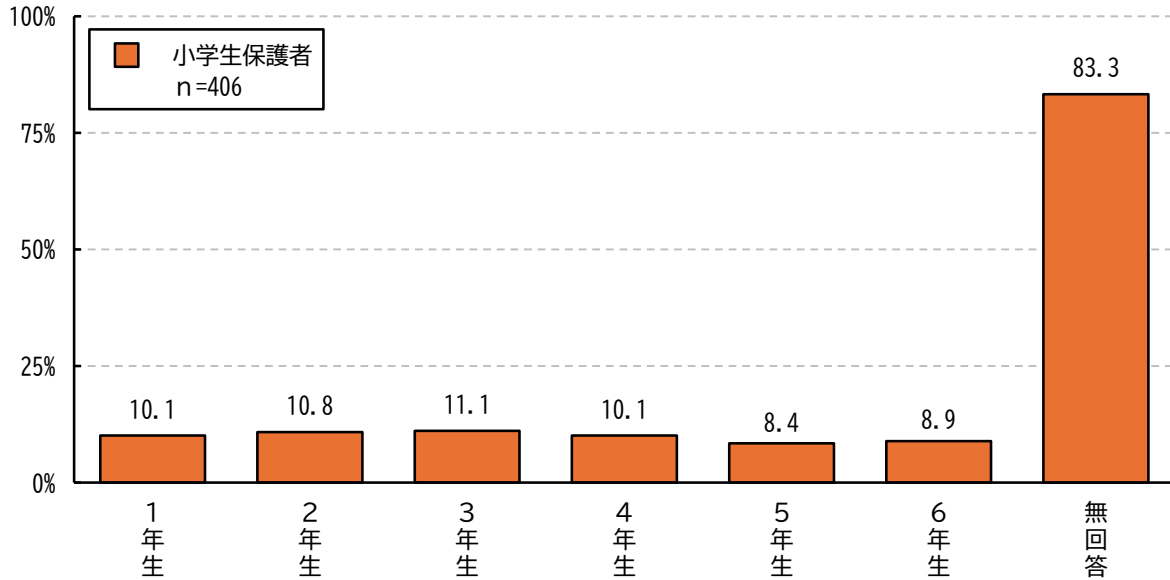
E. 自宅や公園等で自由に過ごす



問 25 F. 近隣の親族宅で過ごす

「近隣の親族宅で過ごす」では「3年生」(11.1%)が最も多く、次いで「2年生」(10.8%)、「1年生」「4年生」(各 10.1%)となっています。

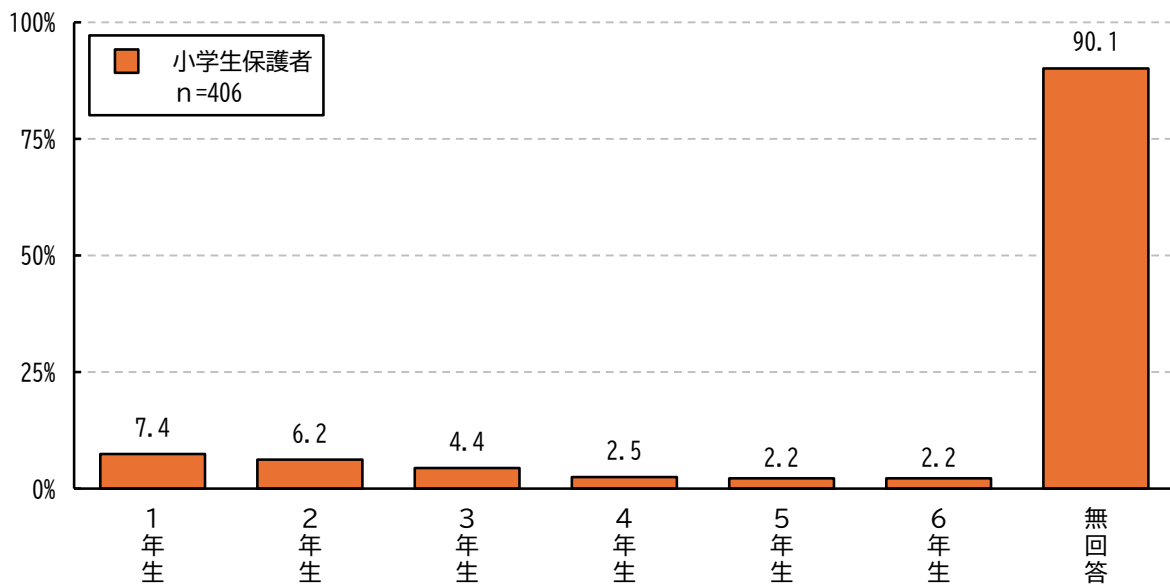
F. 近隣の親族宅で過ごす



問 25 G. ファミリー・サポート・センター事業を利用する

「ファミリー・サポート・センター事業を利用する」では「1年生」(7.4%)が最も多く、次いで「2年生」(6.2%)、「3年生」(4.4%)となっています。

G. ファミリー・サポート・センター事業を利用する

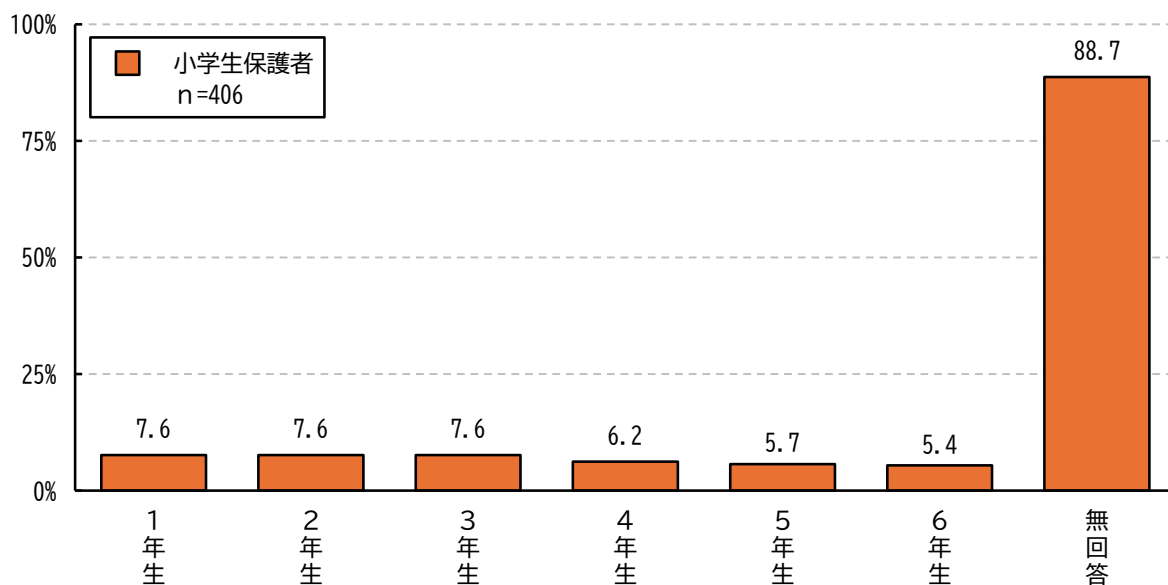




問 25 H. 放課後等デイサービスを利用する

「放課後等デイサービスを利用する」では「1年生」「2年生」「3年生」(各7.6%)が最も多く、次いで「4年生」(6.2%)、「5年生」(5.7%)となっています。

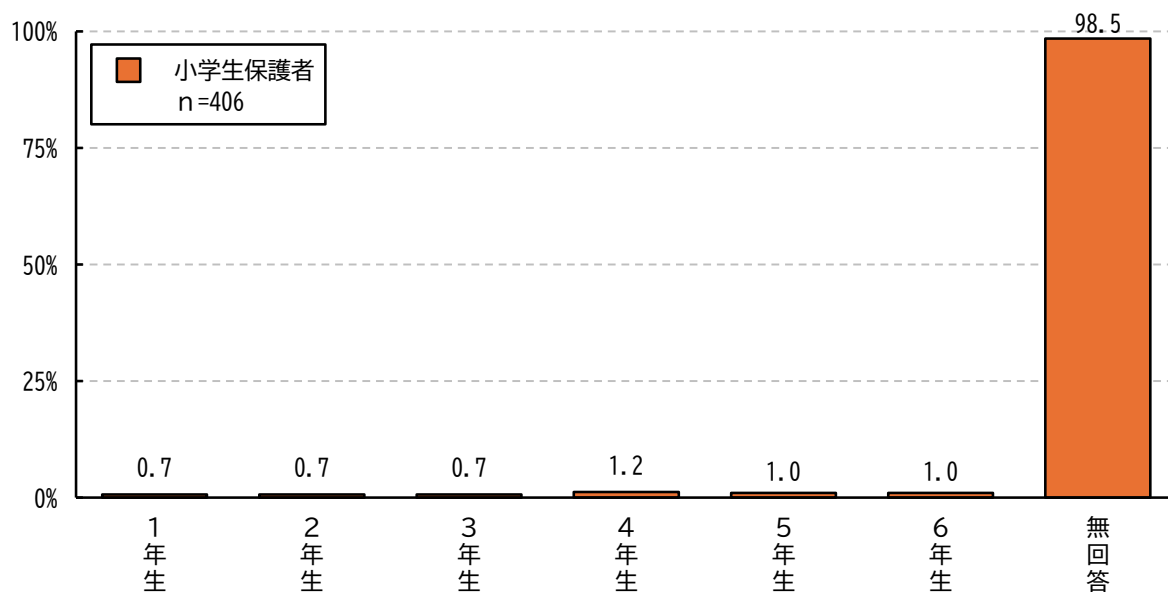
H. 放課後等デイサービスを利用する



問 25 I. その他

「その他」では「4年生」(1.2%)が最も多く、次いで「5年生」「6年生」(各1.0%)、「1年生」「2年生」「3年生」(各0.7%)となっています。

I. その他

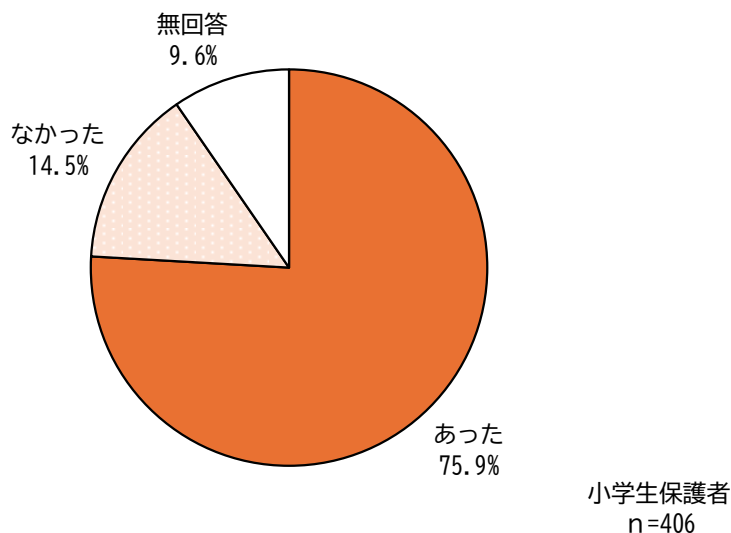


## 8 病児・病後児預かり事業の現状と利用意向について

問 26 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校に行けなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

この1年間に病気やけがで、学校に行けなかったことについては「あった」(75.9%)、「なかった」(14.5%)となっています。

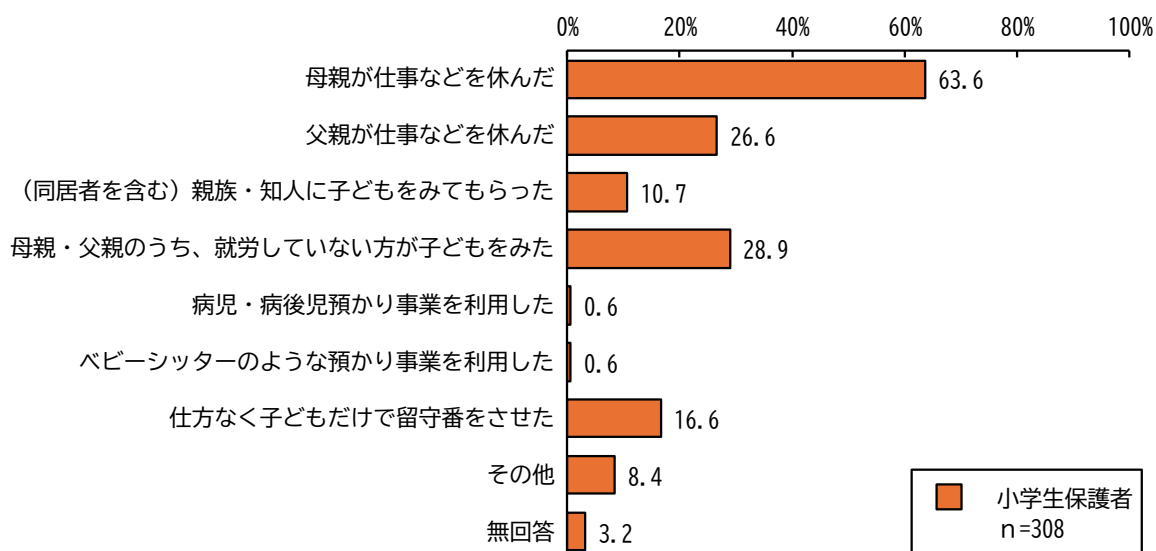
問 26 この1年間に病気やけがで、学校に行けなかったことの有無



問 26- (1) その時の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまるものをすべて選び、それぞれの日数を記入してください。

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法は「母親が仕事などを休んだ」(63.6%)が最も多く、次いで「母親・父親のうち、就労していない方が子どもをみた」(28.9%)、「父親が仕事などを休んだ」(26.6%)となっています。

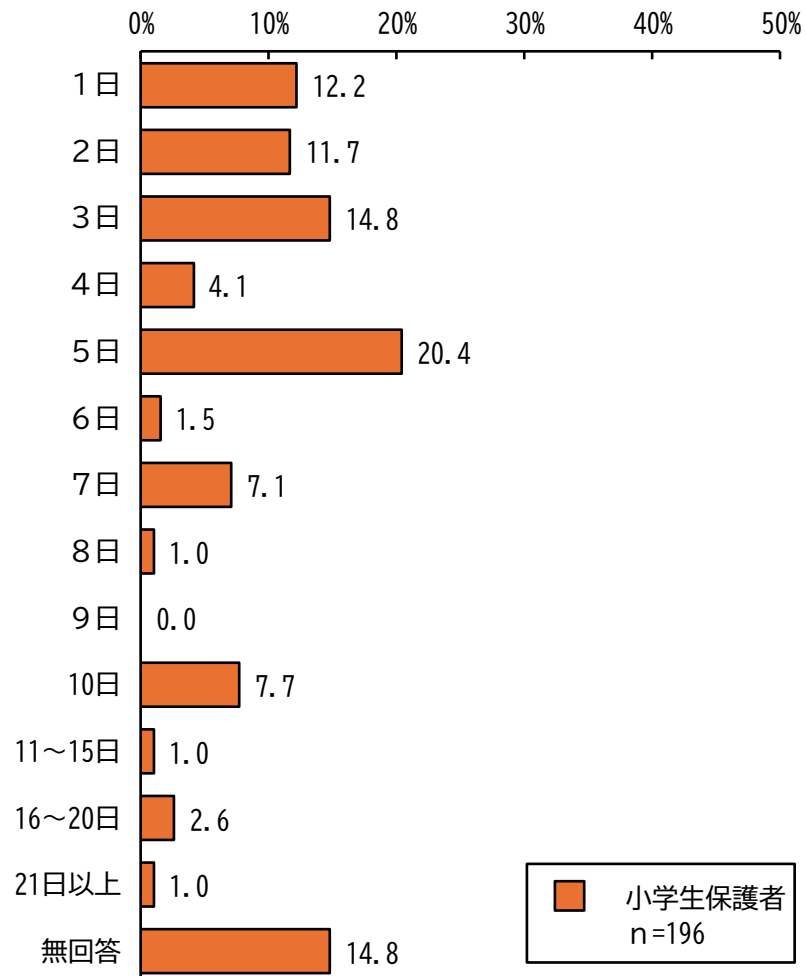
問 26- (1) この1年間の対処方法



問 26- (1) その時の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまるものをすべて選び、それぞれの日数を記入してください。A. 母親が仕事などを休んだ

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「母親が仕事を休んだ日数（年間）」では「5日」（20.4%）が最も多く、次いで「3日」（14.8%）、「1日」（12.2%）となっています。

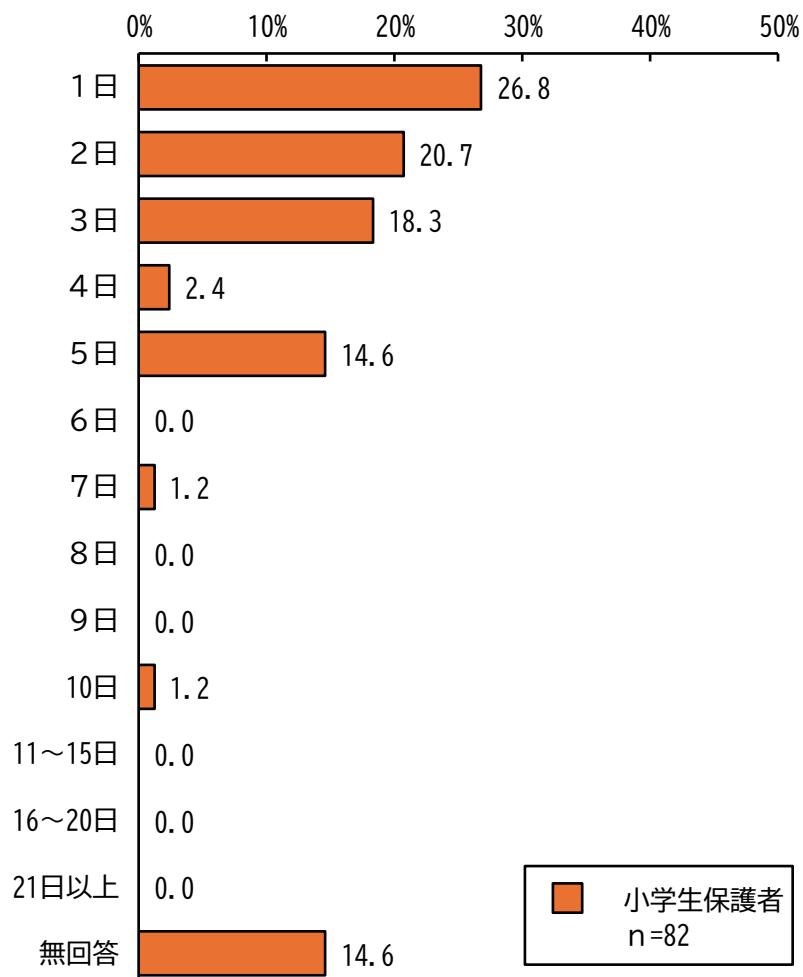
A. 母親が仕事を休んだ日数（年間）



問 26- (1) B. 父親が仕事などを休んだ

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「父親が仕事を休んだ日数（年間）」では「1日」（26.8%）が最も多く、次いで「2日」（20.7%）、「3日」（18.3%）となっています。

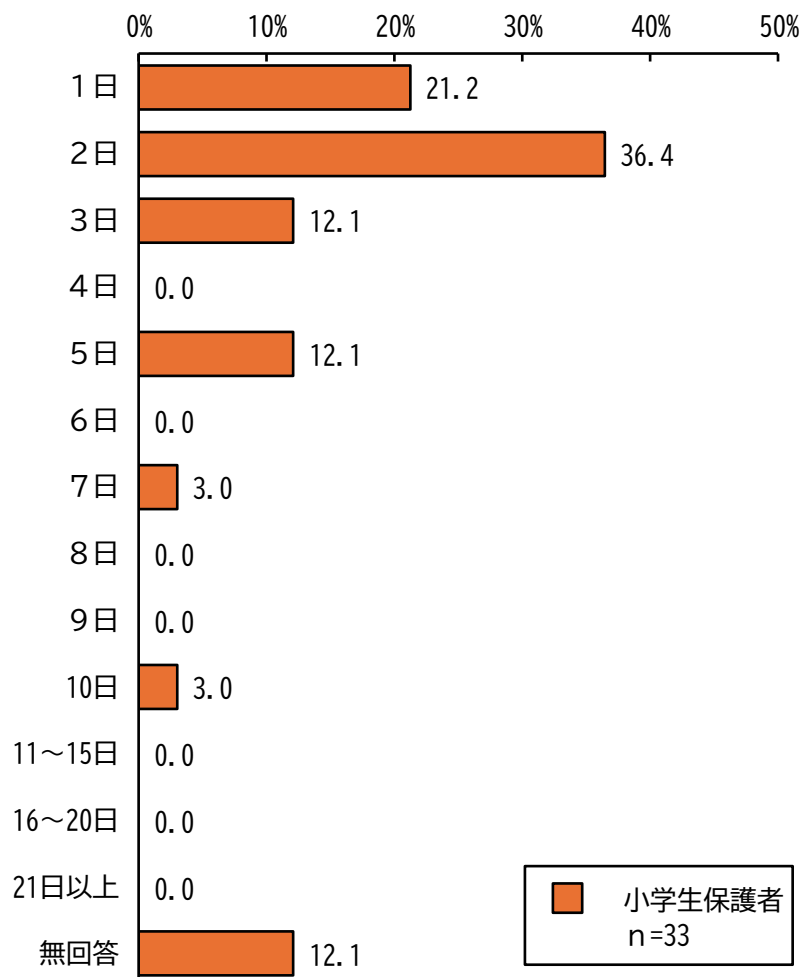
B. 父親が仕事を休んだ日数（年間）



問 26- (1) C. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「(同居者を含む) 親族・知人に預けた日数(年間)」では「2日」(36.4%)が最も多く、次いで「1日」(21.2%)、「3日」「5日」(各 12.1%)となっています。

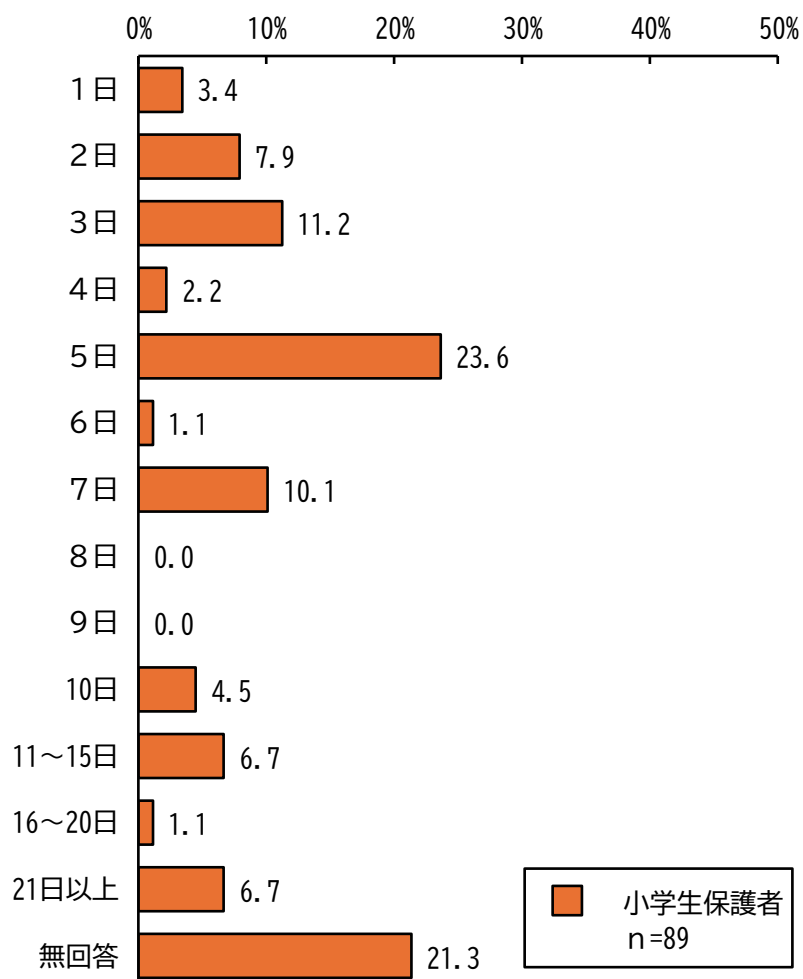
C. (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数(年間)



問 26- (1) D. 母親・父親のうち、就労していない方が子どもをみた

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「就労していない保護者がみた日数(年間)」では「5日」(23.6%)が最も多く、次いで「3日」(11.2%)、「7日」(10.1%)となっています。

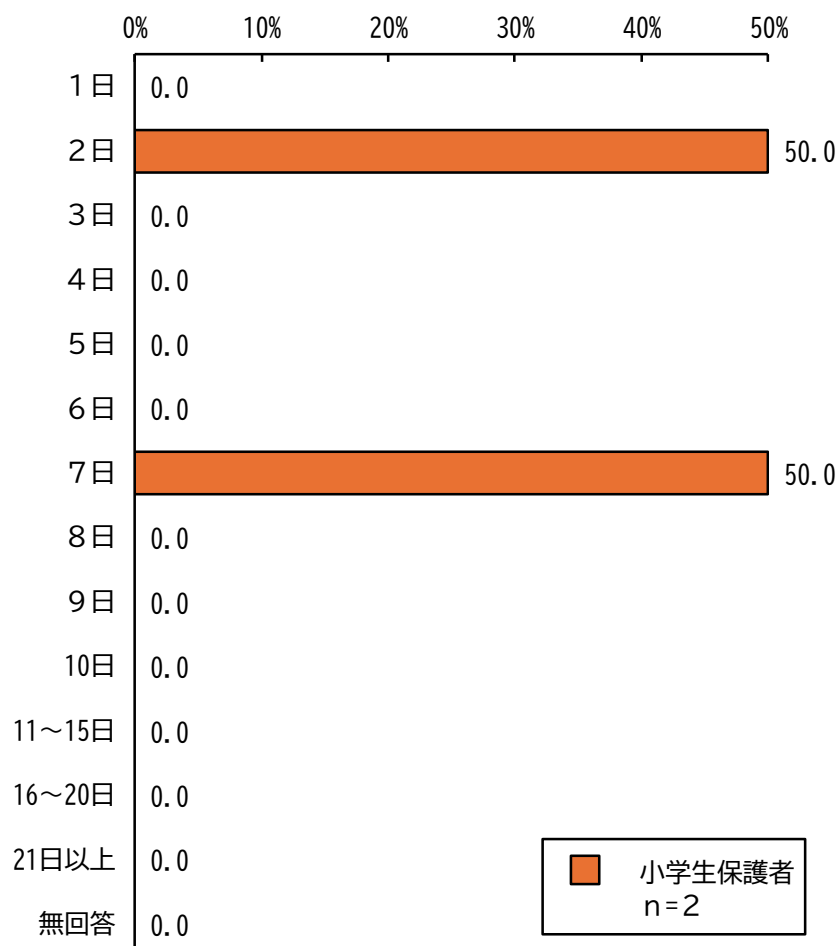
D. 就労していない保護者がみた日数(年間)



問 26- (1) E. 病児・病後児保育事業を利用した

回答者が少ないため参考として掲載しますが、病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「病児・病後児預かり事業を利用した日数（年間）」では「2日」「7日」（各 50.0%）となっています。

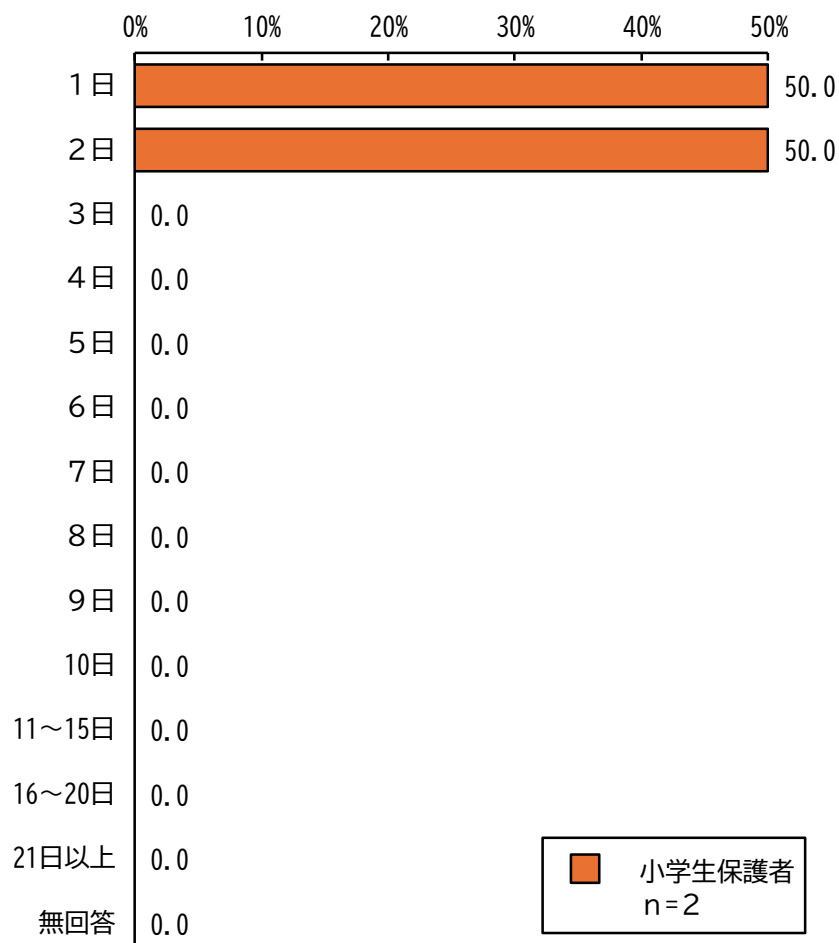
E. 病児・病後児預かり事業を利用した日数（年間）



問 26- (1) F. ベビーシッターのような預かり事業を利用した

回答者が少ないため参考として掲載しますが、病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「ベビーシッターのような預かり事業を利用した日数（年間）」では「1日」「2日」（各 50.0%）となっています。

F. ベビーシッターのような預かり事業を利用した日数（年間）

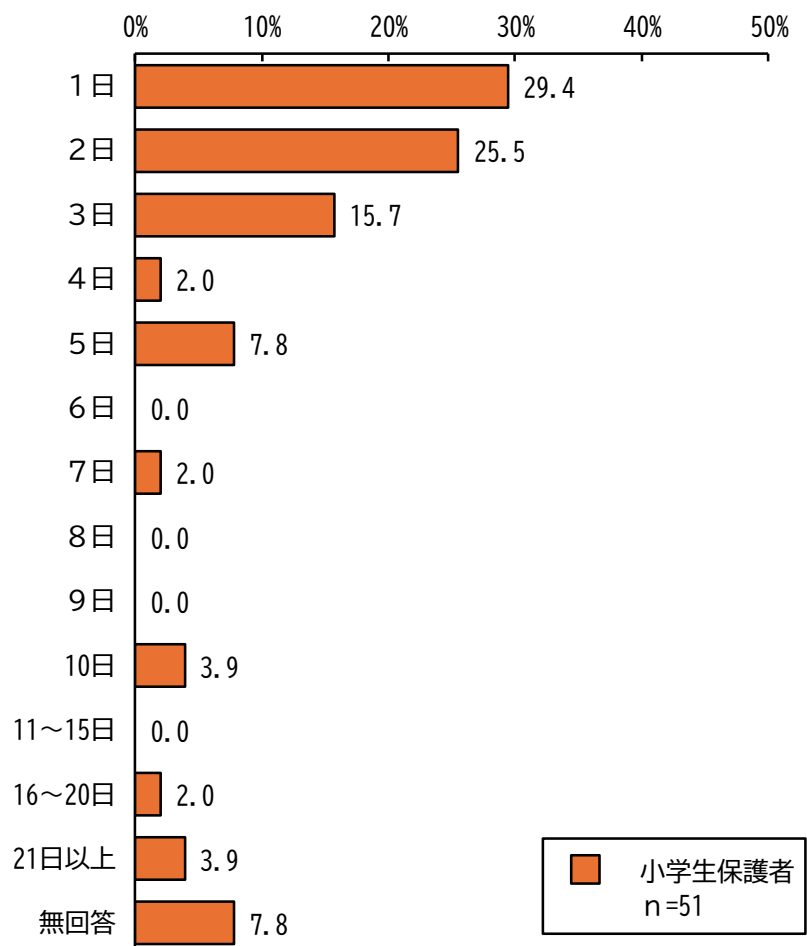




問 26- (1) G. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「子どもだけで留守番をさせた日数(年間)」では「1日」(29.4%)が最も多く、次いで「2日」(25.5%)、「3日」(15.7%)となっています。

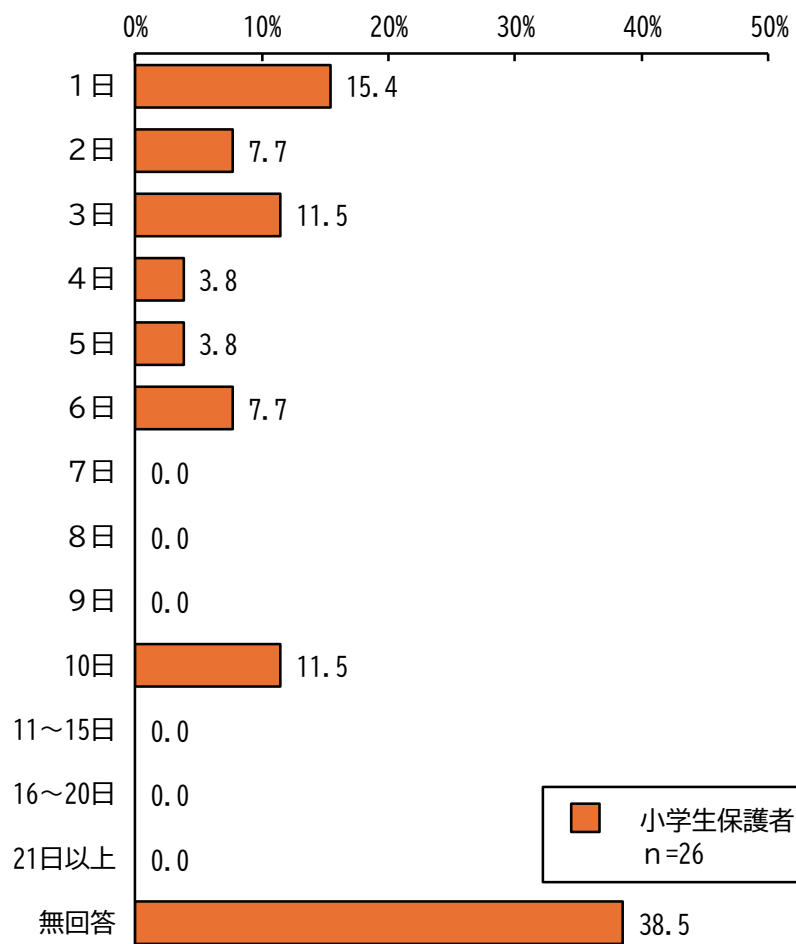
G. 子どもだけで留守番をさせた日数(年間)



問 26- (1) H. その他

病気やけがで学校に行けなかった時の対処方法について「その他（年間）」では「1日」（15.4%）が最も多く、次いで「3日」「10日」（各 11.5%）、「2日」「6日」（各 7.7%）となっています。

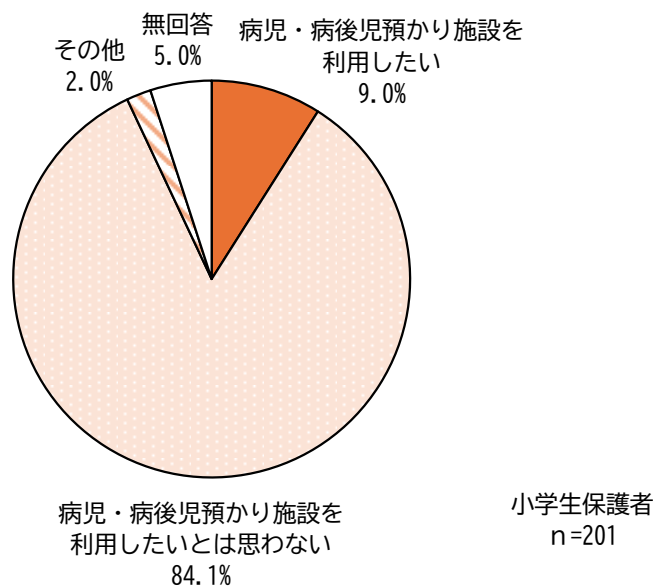
H. その他（年間）



問 26- (2) 「母親が仕事などを休んだ」または「父親が仕事などを休んだ」のいずれかを選んだ方にうかがいます。その際、病児・病後児預かり施設に預けたいと思いましたが。また日数はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

病児・病後児預かり施設の利用については「病児・病後児預かり施設を利用したいとは思わない」(84.1%)が最も多く、次いで「病児・病後児預かり施設を利用したい」(9.0%)となっています。

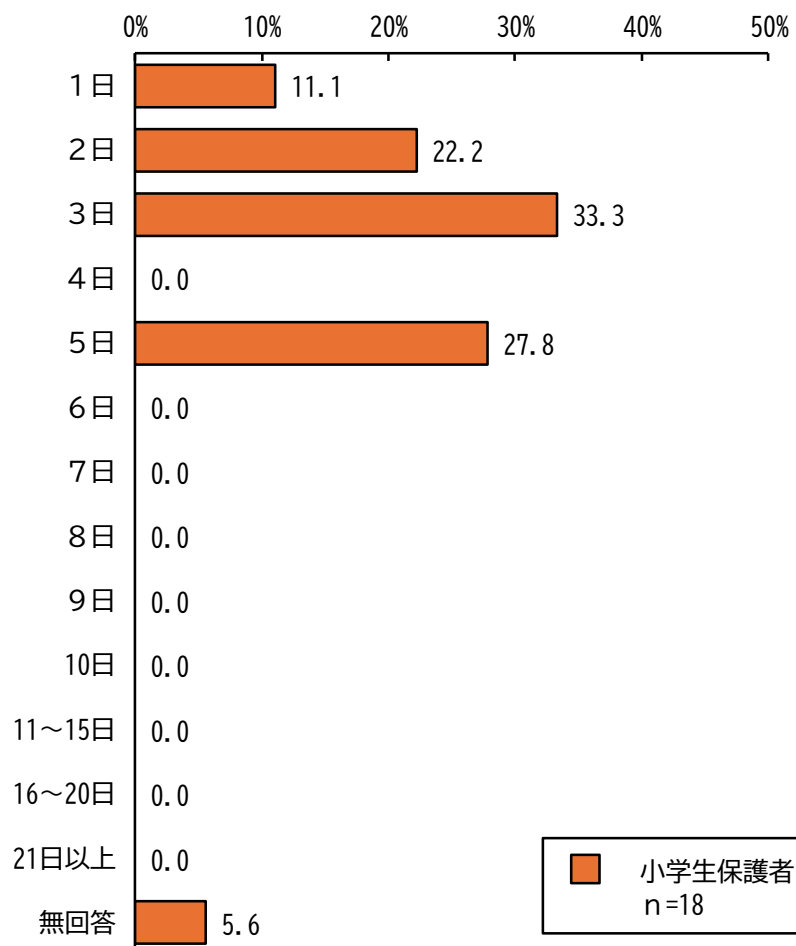
問 26- (2) 母親・父親が休んだ方の病児・病後児預かり施設利用意向



問 26- (2) -1 利用したい日数についてもご入力ください。

病児・病後児預かり施設に子どもを預ける場合の希望日数（年間）は「3日」（33.3%）が最も多く、次いで「5日」（27.8%）、「2日」（22.2%）となっています。

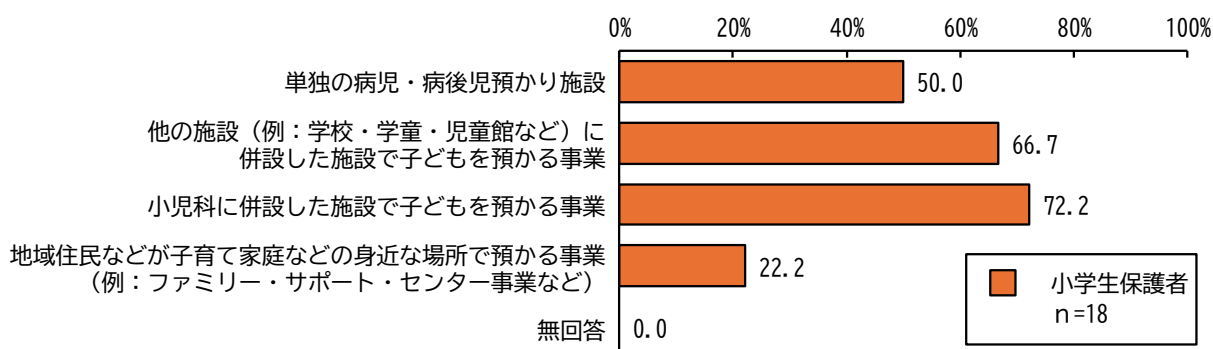
問 26- (2) -1 子どもを預ける場合の希望日数（年間）



問 26- (3) 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児預かり施設に子どもを預ける場合の希望事業形態は「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」(72.2%)が最も多く、次いで「他の施設(例:学校・学童・児童館など)に併設した施設で子どもを預かる事業」(66.7%)、「単独の病児・病後児預かり施設」(50.0%)となっています。

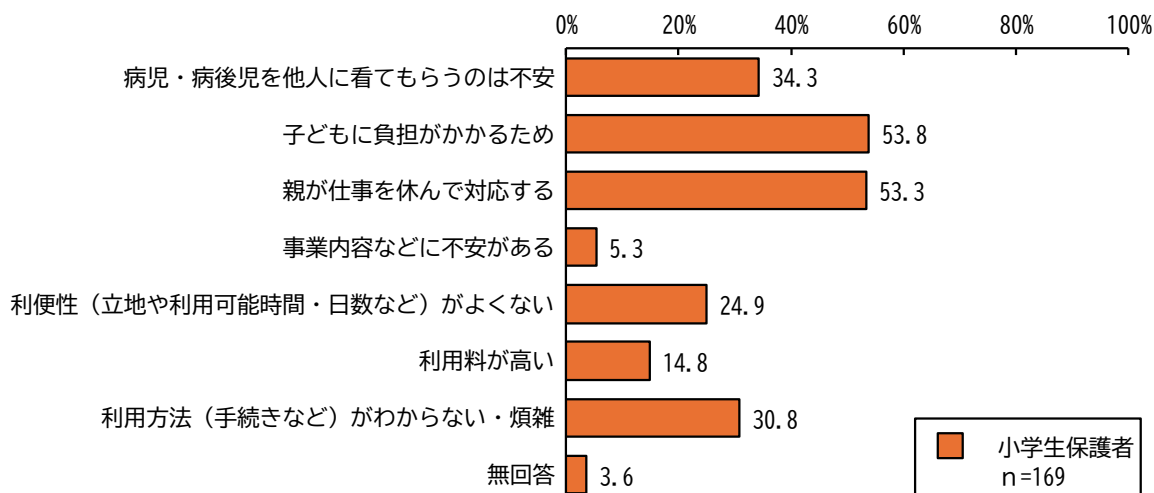
問 26- (3) 子どもを預ける場合の希望事業形態



問 26- (4) 病児・病後児預かり施設を利用したいとは思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児預かり施設を利用したいとは思わない理由については「子どもに負担がかかるため」(53.8%)が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(53.3%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(34.3%)となっています。

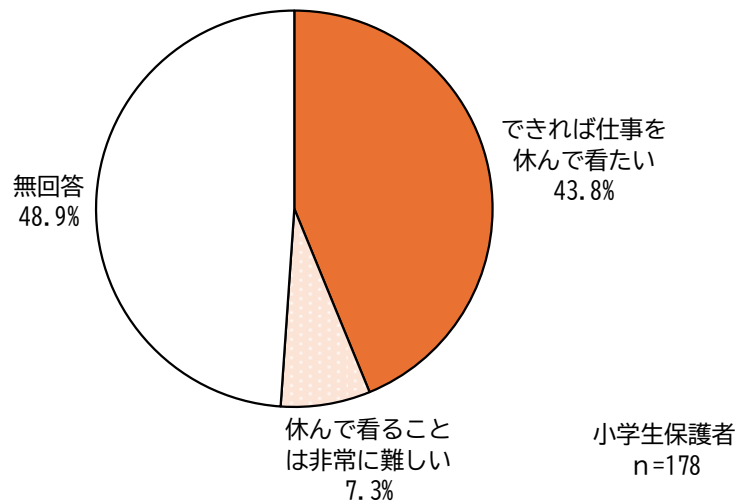
問 26- (4) 病児・病後児のための預かり施設利用意向のない方の理由



問 26- (5) 「母親が仕事などを休んだ」または「父親が仕事などを休んだ」以外のいずれかを選んだ方にうかがいます。できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。(あてはまるもの1つに○)

父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについては「できれば仕事を休んで看たい」(43.8%)、「休んで看ることは非常に難しい」(7.3%)となっています。

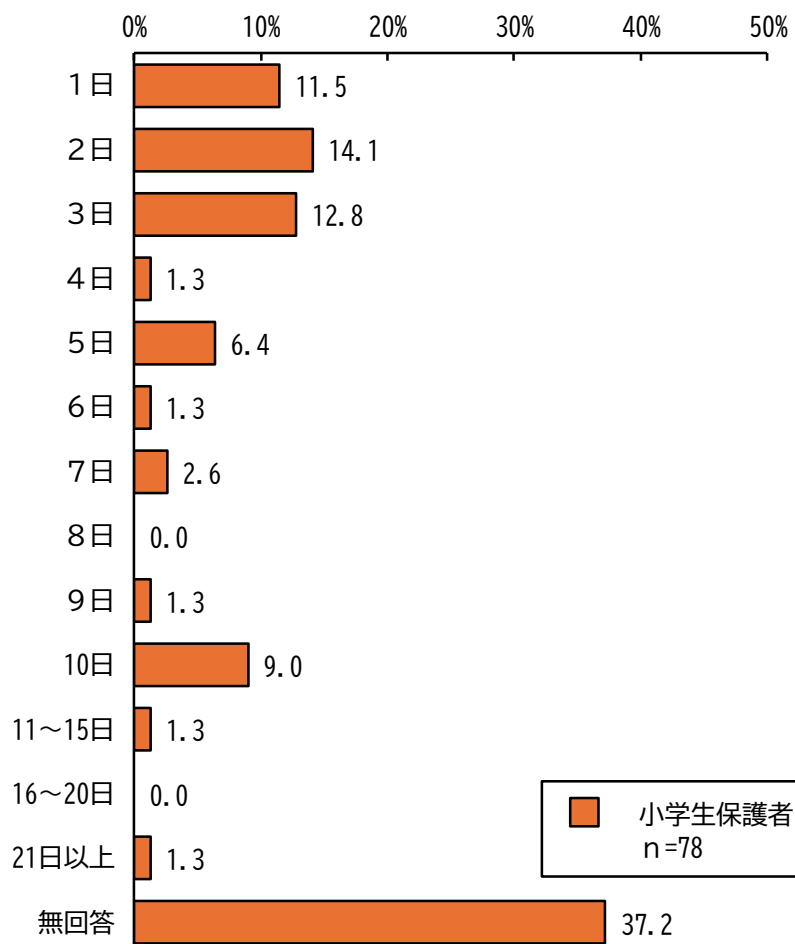
問 26- (5) 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の、「父母が休んで看たい」意向



問 26- (5) -1 仕事を休んで見たかった日数についてもご入力ください。

仕事を休んで見たかった日数（年間）は「2日」（14.1%）が最も多く、次いで「3日」（12.8%）、「1日」（11.5%）となっています。

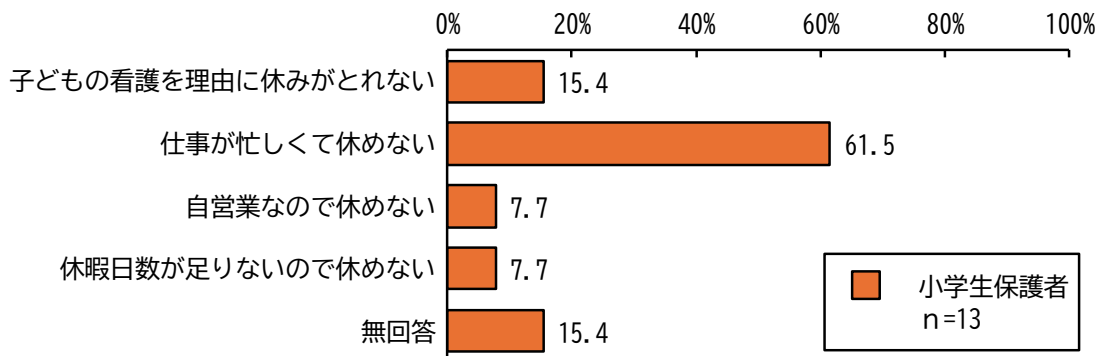
問 26- (5) -1 仕事を休んで見たかった日数（年間）



問 26-（6） 難しい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

仕事を休んで看ることが難しい理由については「仕事が忙しくて休めない」（61.5%）が最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」（15.4%）、「自営業なので休めない」「休暇日数が足りないので休めない」（各7.7%）となっています。

問 26-（6） 「仕事を休んで看することは非常に難しい」と回答した理由





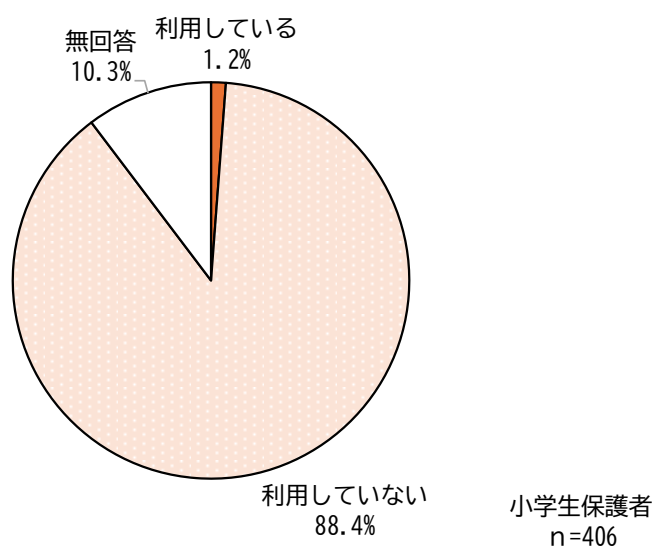
## 9 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり事業の現状と今後の意向について

### (1) 不特定の一時預かり事業の利用について

問 27 宛名のお子さんについて、病気などのため以外に、保護者の用事（冠婚葬祭など）、保護者・家族の病気・通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業はありますか。（あてはまるもの1つに○）

不特定の一時預かり事業の利用については「利用していない」（88.4%）、「利用している」（1.2%）となっています。

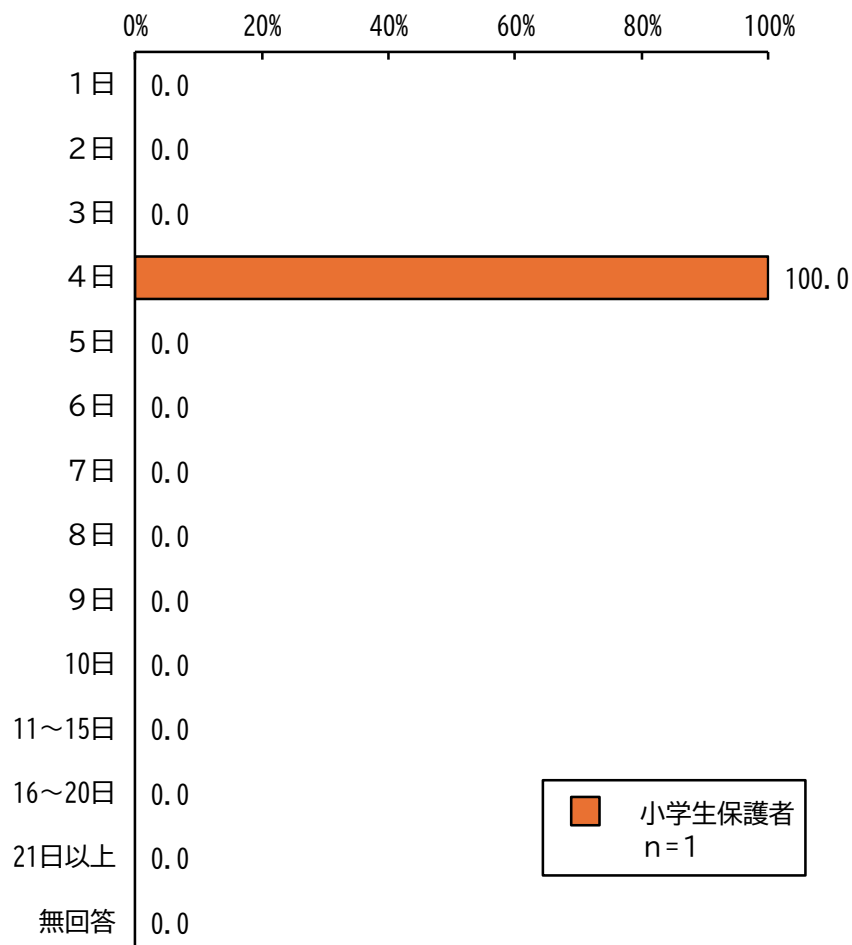
問 27 不特定の一時預かり事業の利用状況



問 27- (1) 利用している事業は何ですか。(あてはまるものそれぞれに○を選び、その日数を入力してください) A. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かる事業)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時預かり事業について「一時預かり事業の利用日数(年間)」では「4日」(100.0%)となっています。

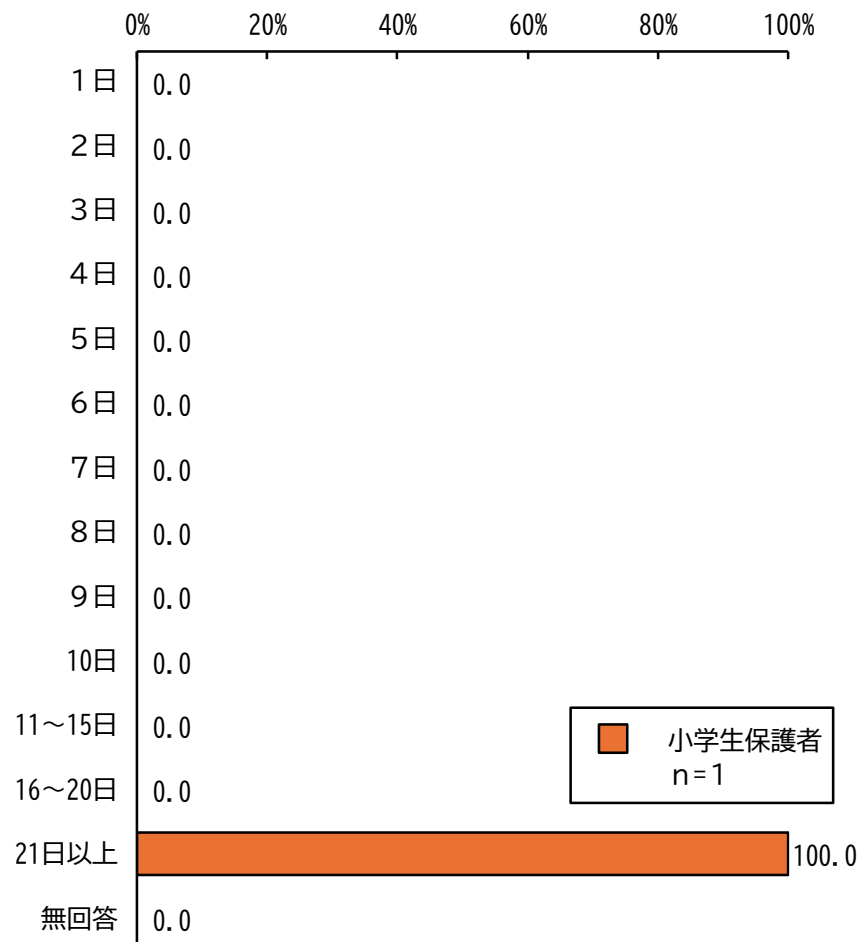
A. 一時預かり事業の利用日数(年間)



問 27- (1) B. ファミリー・サポート・センター事業（会員登録した地域住民が子どもを預かる事業）

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時預かり事業について「ファミリー・サポート・センター事業の利用日数（年間）」では「21日以上」（100.0%）となっています。

B. ファミリー・サポート・センター事業の利用日数（年間）



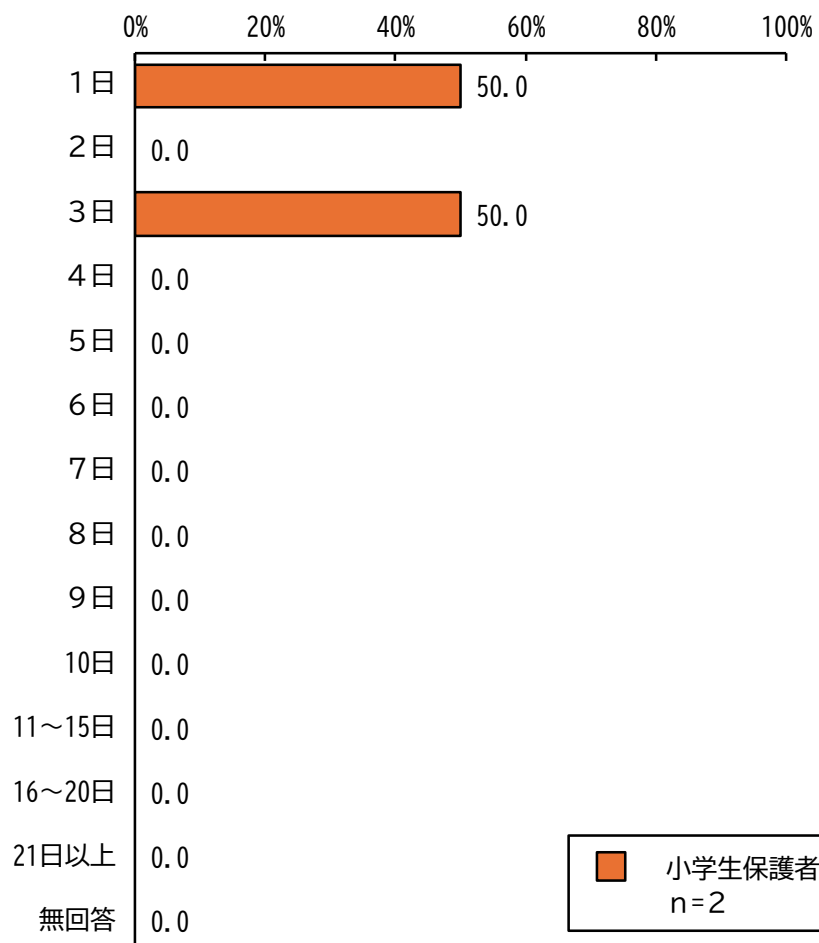
問 27- (1) C. 子どもショートステイ事業（施設などで一定期間、宿泊を伴いながら子どもを預かる事業）

回答者がいないため省略。

問 27- (1) D. その他

回答者が少ないため参考として掲載しますが、不定期に利用している一時預かり事業について「その他の利用日数（年間）」では「1日」「3日」（各 50.0%）となっています。

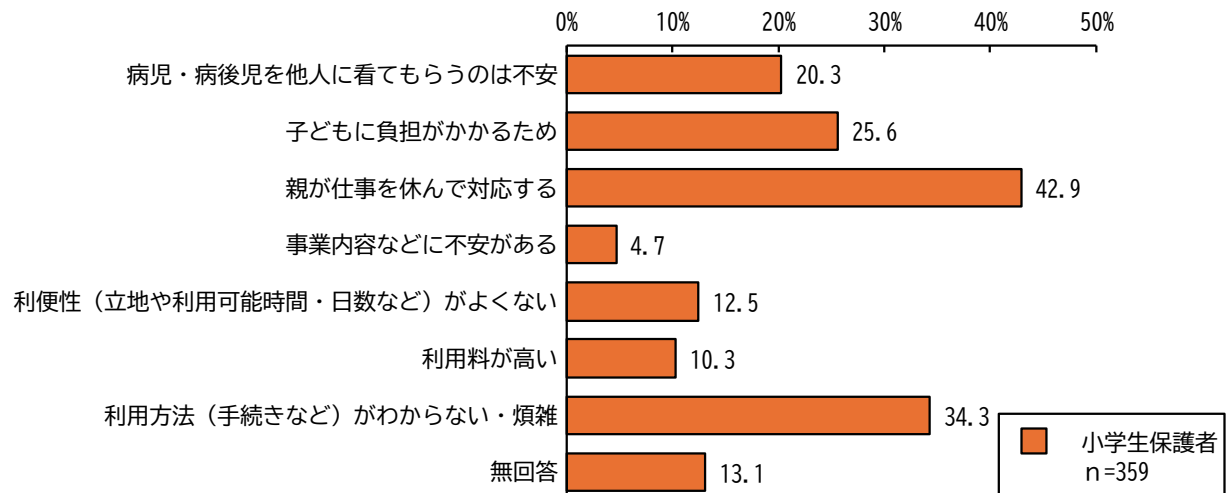
D. その他の利用日数（年間）



問 27- (2) 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の一時預かり事業を利用していない理由は「親が仕事を休んで対応する」(42.9%)が最も多く、次いで「利用方法(手続きなど)がわからない・煩雑」(34.3%)、「子どもに負担がかかるため」(25.6%)となっています。

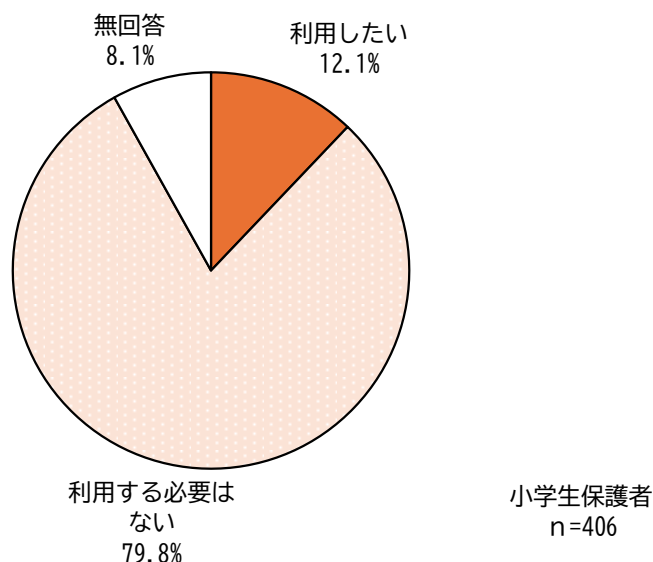
問 27- (2) 不定期の一時預かり事業を利用していない理由



問 28 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭など）、保護者・家族の病気・通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい預かり事業を利用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

不定期の一時預かり事業の利用については「利用する必要はない」（79.8%）、「利用したい」（12.1%）となっています。

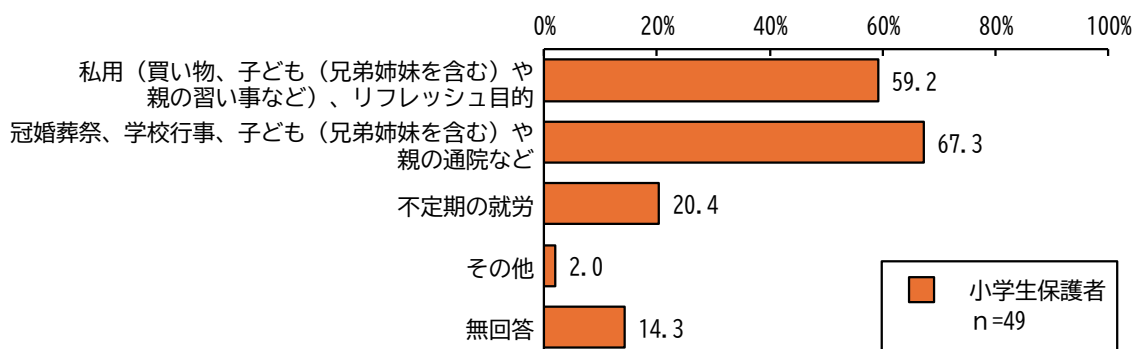
問 28 一時預かり事業の利用希望



問 28-1 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭など）、保護者・家族の病気・通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい預かり事業を利用したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

一時預かり事業の利用目的については「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」（67.3%）が最も多く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」（59.2%）、「不定期の就労」（20.4%）となっています。

問 28-1 一時預かり事業の利用希望年間合計日数



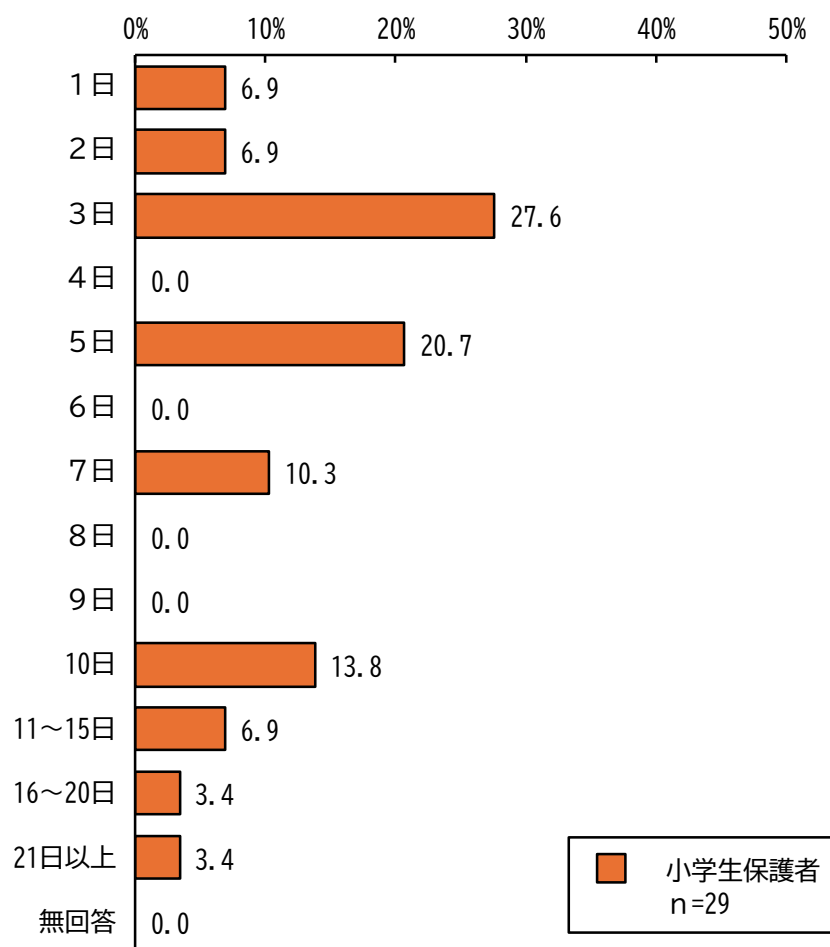
問 28-2 利用に当たっての目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

A. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の利用希望日数（年間）

一時預かり事業の利用目的について「私用、リフレッシュ目的の希望利用日数（年間）」では「3日」（27.6%）が最も多く、次いで「5日」（20.7%）、「10日」（13.8%）となっています。

問 28-2 一時預かり事業の利用目的と希望利用日数

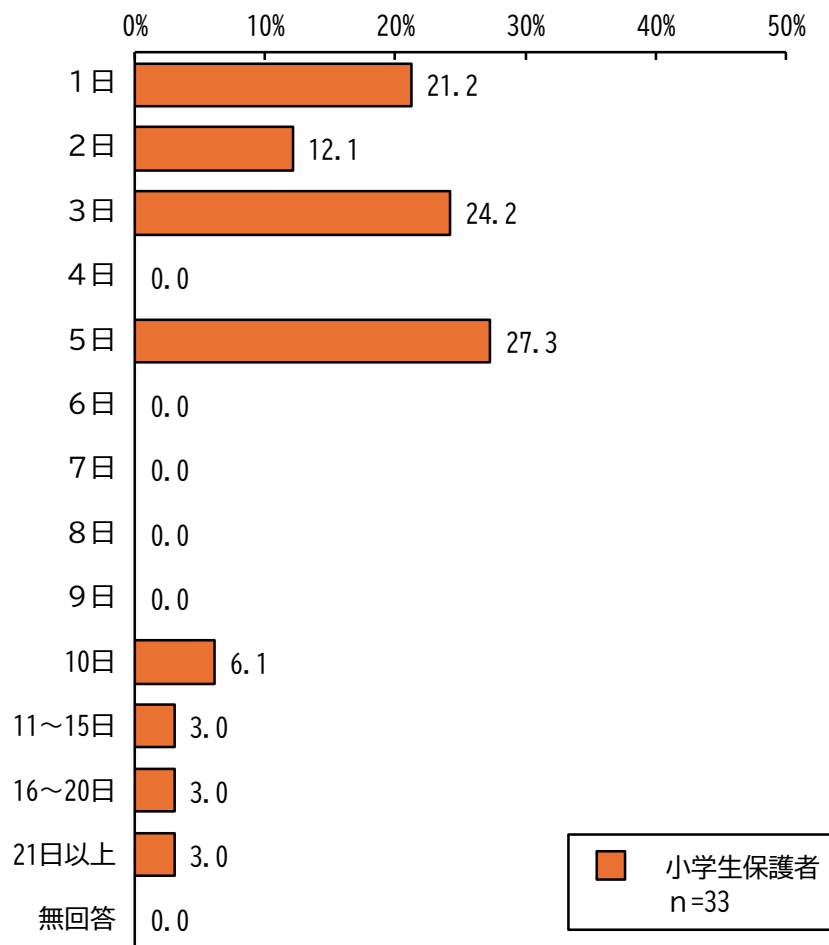
A. 私用、リフレッシュ目的の希望利用日数（年間）



問 28-2 B. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの利用希望日数（年間）

一時預かり事業の利用目的について「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの利用希望日数（年間）」では「5日」（27.3%）が最も多く、次いで「3日」（24.2%）、「1日」（21.2%）となっています。

B. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的の希望利用日数（年間）

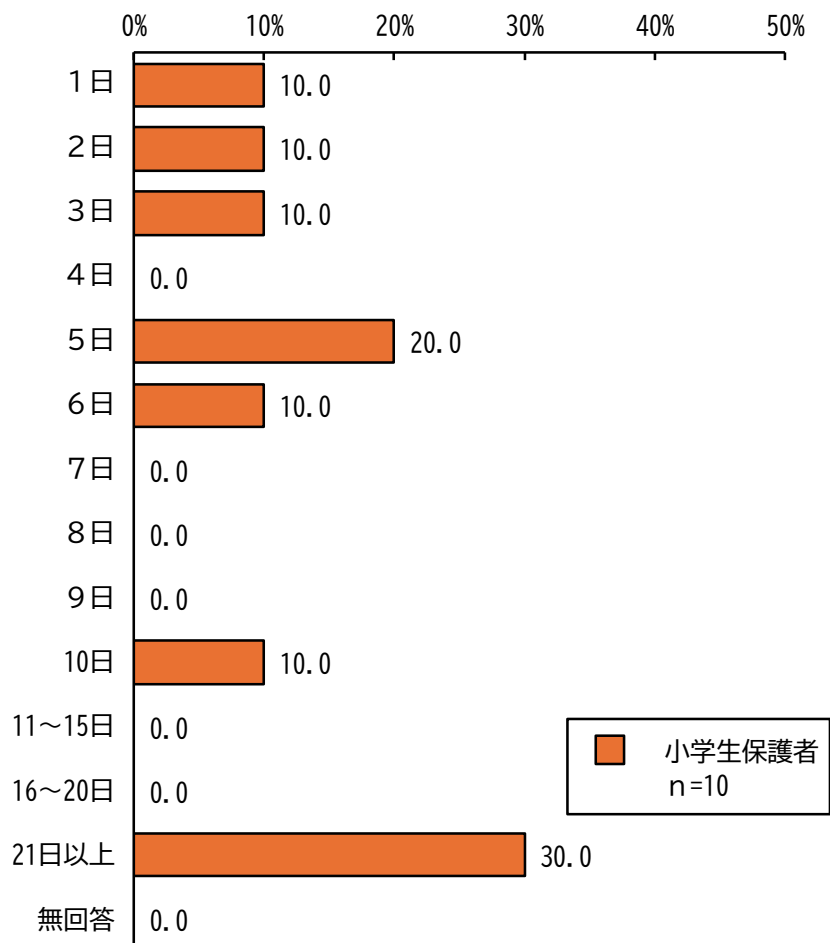




問 28-2 C. 不定期の就労での利用希望日数（年間）

一時預かり事業の利用目的について「不定期の就労での利用希望日数（年間）」では「21日以上」（30.0%）が最も多く、次いで「5日」（20.0%）、「1日」「2日」「3日」「6日」「10日」（各 10.0%）となっています。

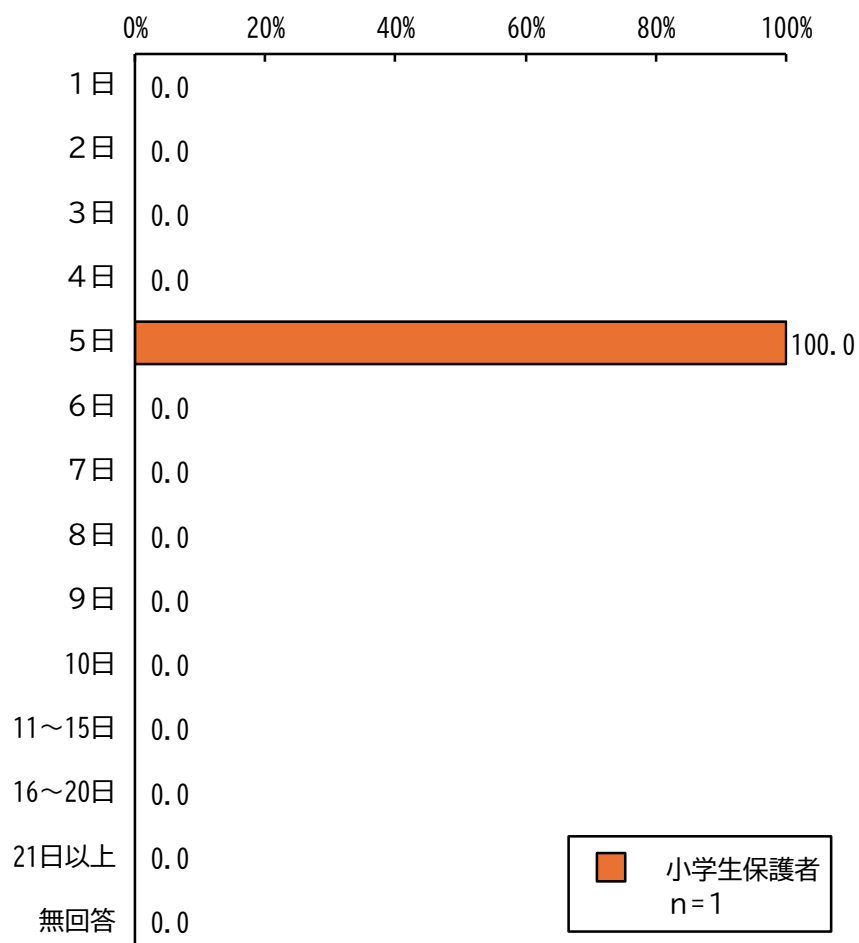
C. 不定期の就労目的の希望利用日数（年間）



問 28-2 D. その他での利用希望日数（年間）

回答者が少ないため参考として掲載しますが、一時預かり事業の利用目的について「その他での利用希望日数（年間）」では「5日」（100.0%）となっています。

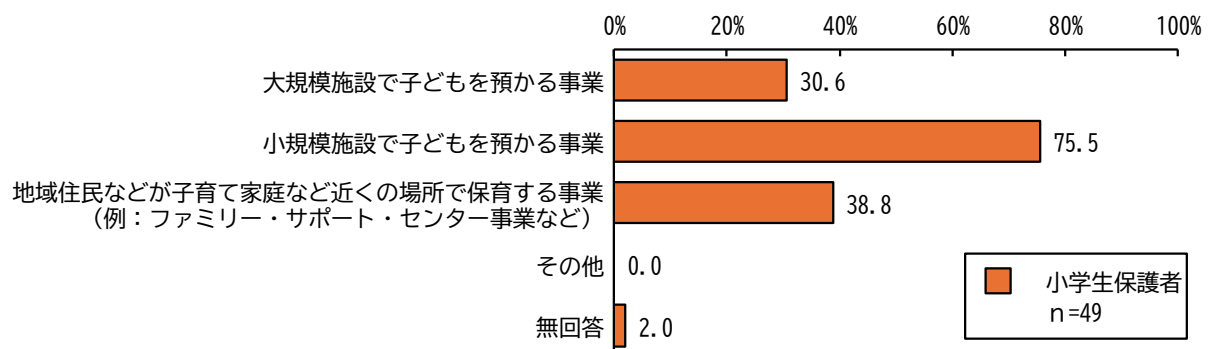
D. その他の目的の希望利用日数（年間）



問 28- (1) 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

子どもを預ける場合の望ましい事業形態は「小規模施設で子どもを預かる事業」(75.5%)が最も多く、次いで「地域住民などが子育て家庭など近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター事業など)」(38.8%)、「大規模施設で子どもを預かる事業」(30.6%)となっています。

問 28- (1) 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

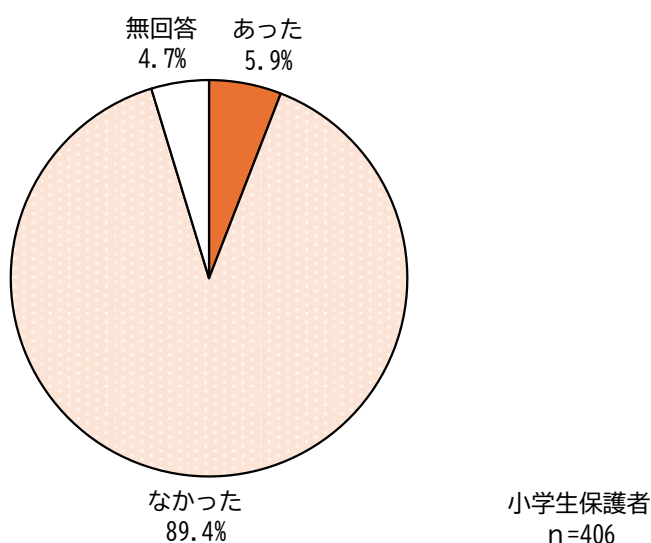


## (2) 宿泊を伴う一時預かり事業の利用について

問 29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）（あてはまるもの1つに○）

この1年間に保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことは「なかった」（89.4%）、「あった」（5.9%）となっています。

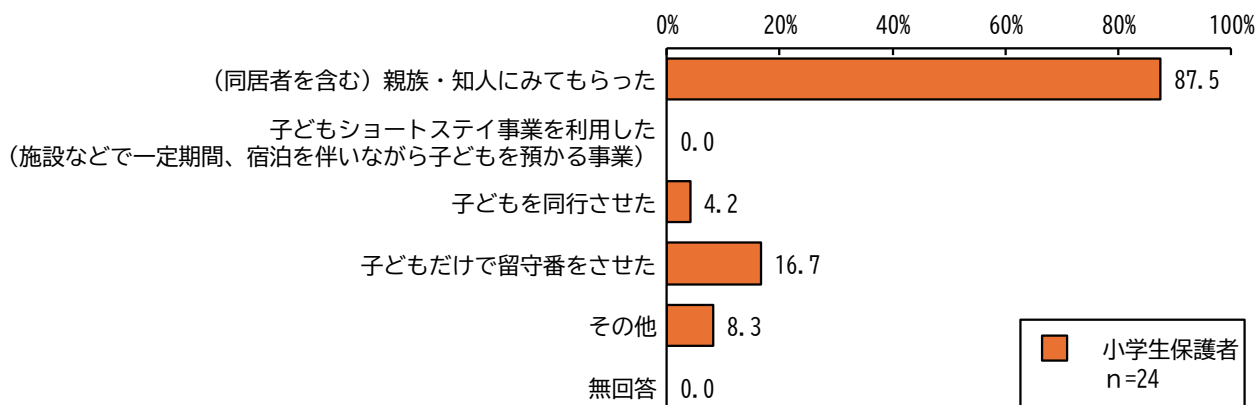
問 29 この1年間に保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



問 29- (1) その時の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるものそれぞれに○を選び、その日数を入力してください）

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法については「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（87.5%）が最も多く、次いで「子どもだけで留守番をさせた」（16.7%）、「子どもを同行させた」（4.2%）となっています。

問 29- (1) 1年間の対処方法

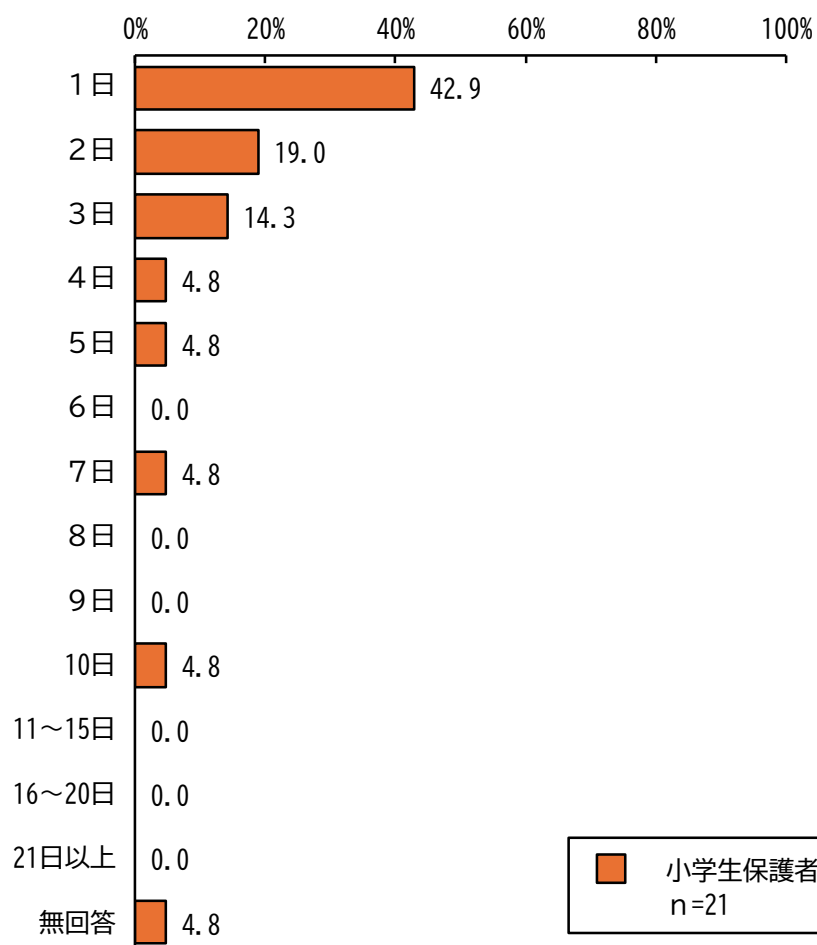


問 29- (1) その時の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまるものそれぞれに○を選び、その日数を入力してください)

A. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数」では「1日」(42.9%)が最も多く、次いで「2日」(19.0%)、「3日」(14.3%)となっています。

A. (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数



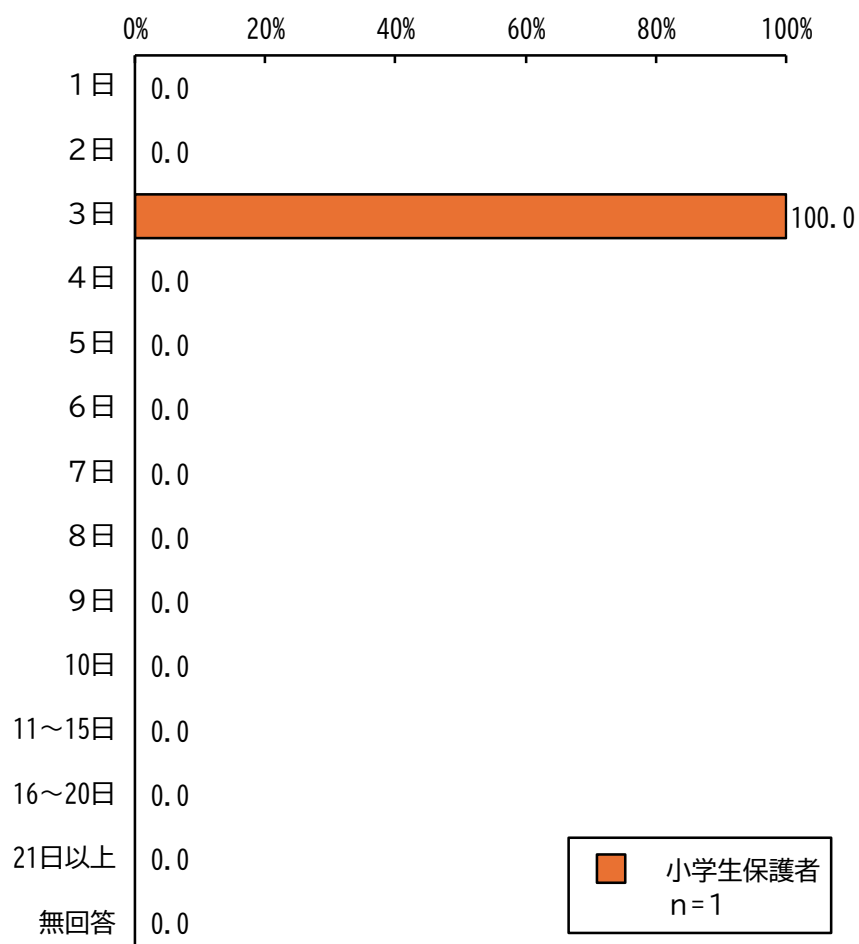
問 29- (1) B. 子どもショートステイ事業を利用した(施設などで一定期間、宿泊を伴いながら子どもを預かる事業)

回答者がいないため省略。

問 29- (1) C. 子どもを同行させた

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「子どもを同行させた日数」では「3日」(100.0%)となっています。

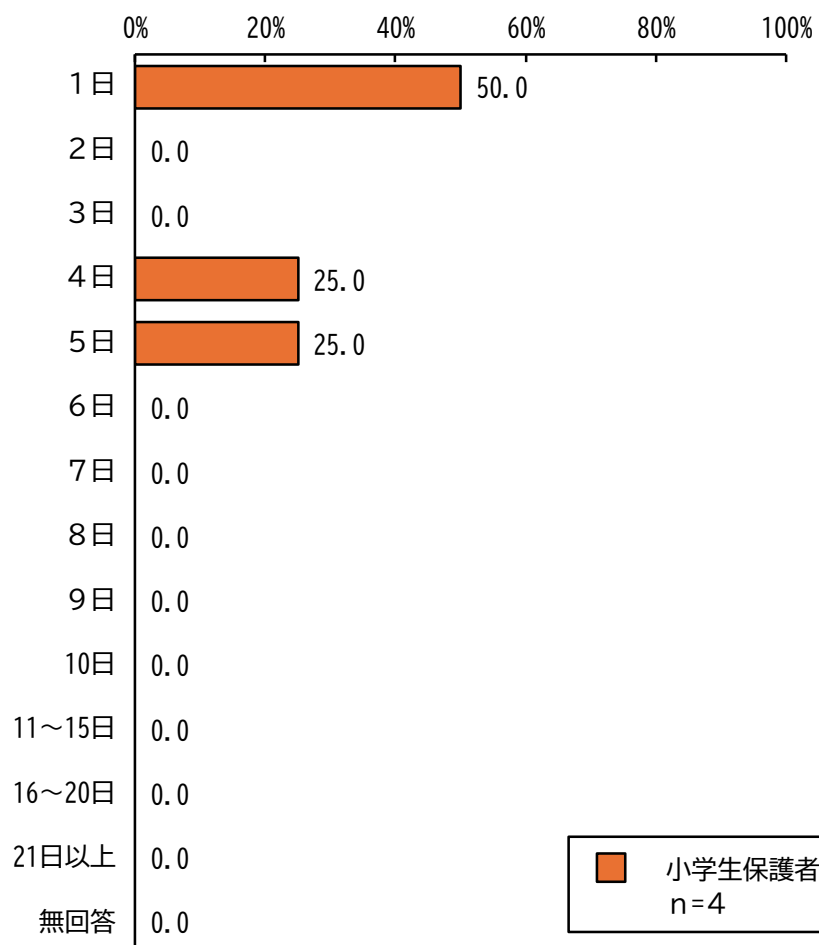
C. 子どもを同行させた日数



問 29- (1) D. 子どもだけで留守番をさせた

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「子どもだけで留守番をさせた日数」では「1日」(50.0%)が最も多く、次いで「4日」「5日」(各 25.0%)となっています。

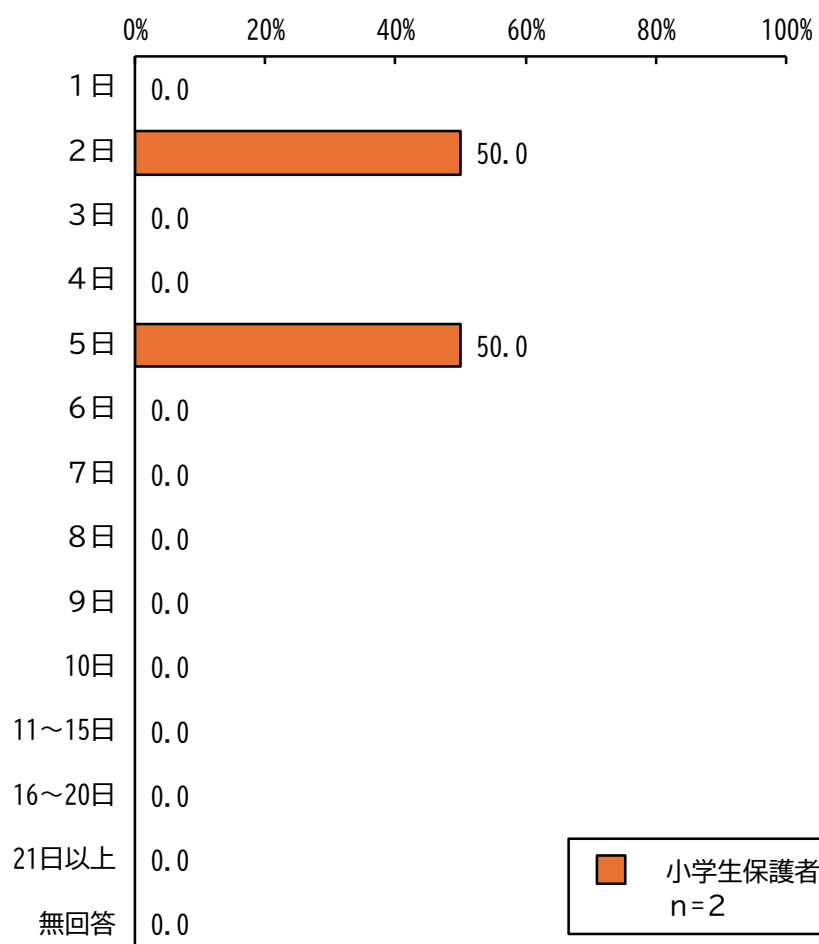
D. 子どもだけで留守番をさせた日数



問 29- (1) E. その他を利用した

回答者が少ないため参考として掲載しますが、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない時の対処方法について「その他を利用した日数」では「2日」「5日」(各 50.0%) となっています。

E. その他を利用した日数



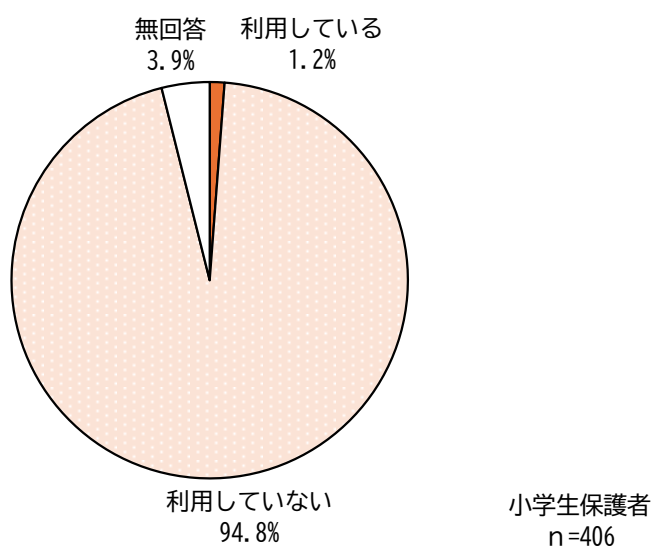


## 10 ファミリー・サポート・センター事業の現状と利用意向について

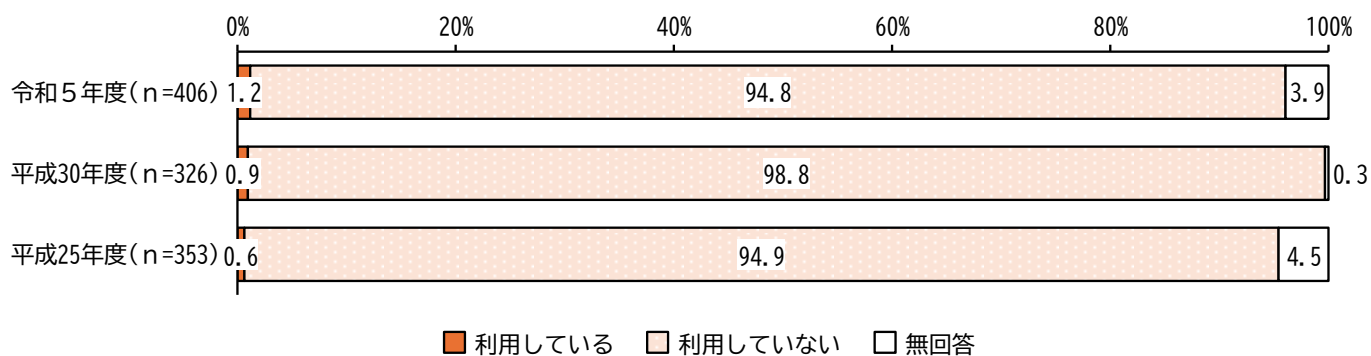
問 30 宛名のお子さんについて、ファミリー・サポート・センター事業を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

ファミリー・サポート・センター事業の利用については「利用していない」(94.8%)が最も多く、次いで「利用している」(1.2%)となっています。

問 30 ファミリー・サポート・センター事業の利用状況【経年比較】



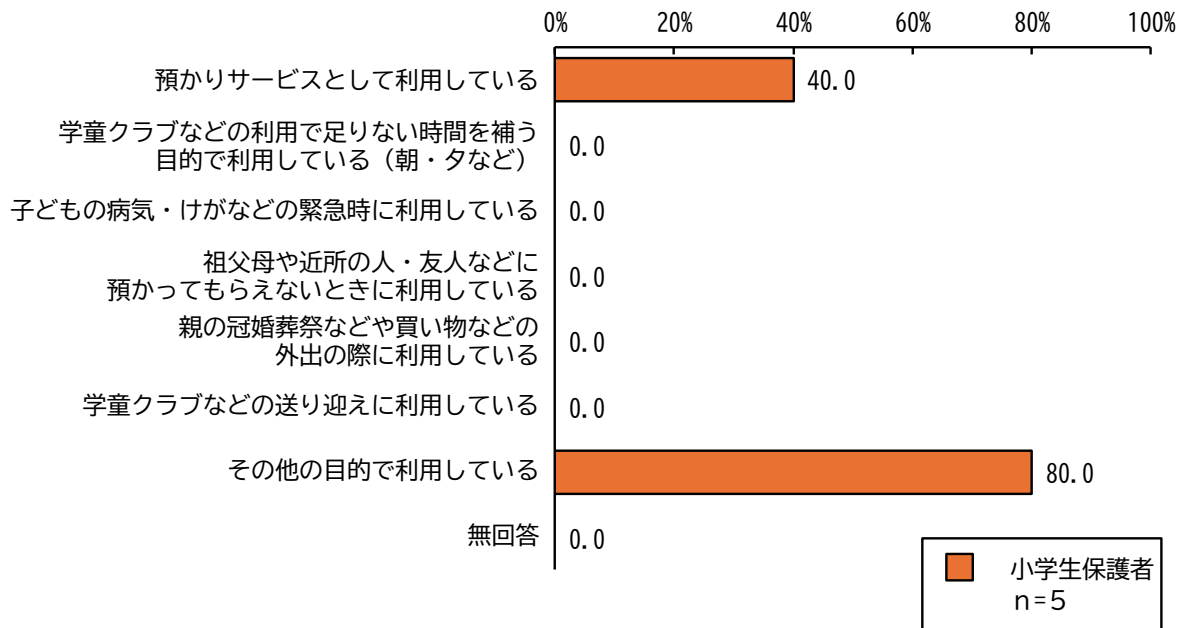
【経年比較】



問 30-（1） どのような目的で利用していらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

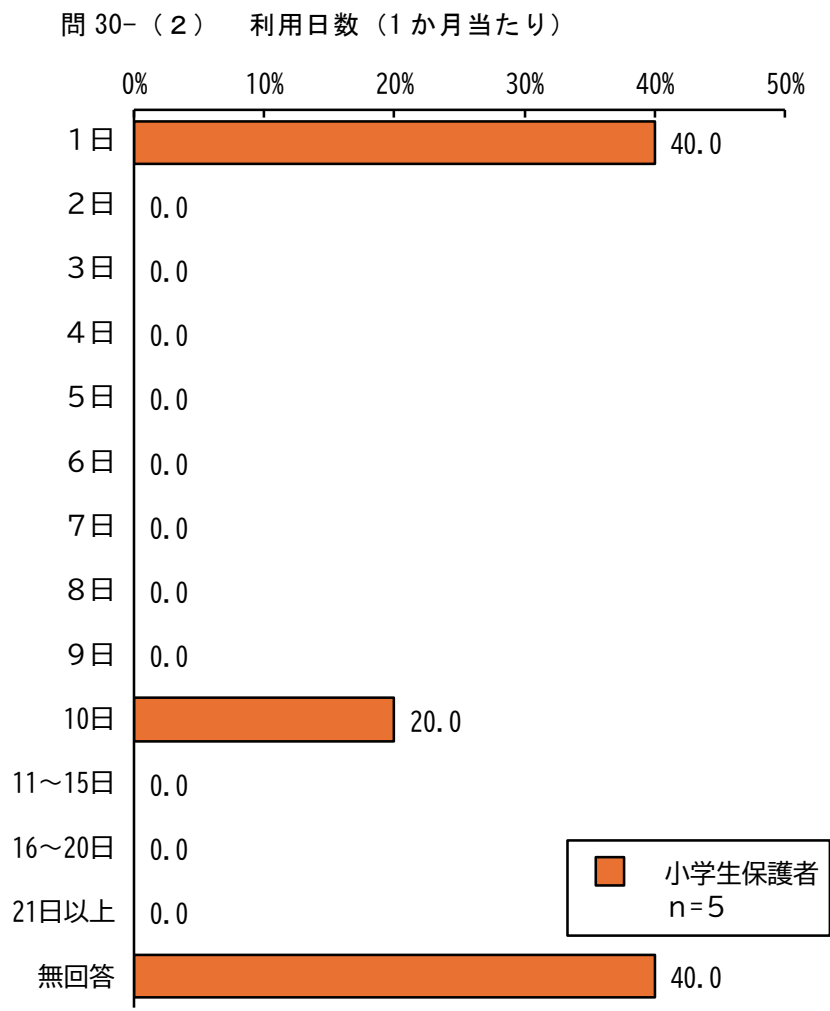
回答者が少ないため参考として掲載しますが、ファミリー・サポート・センター事業の利用目的は「その他の目的で利用している」（80.0%）、「預かりサービスとして利用している」（40.0%）となっています。

問 30-（1） 利用の目的



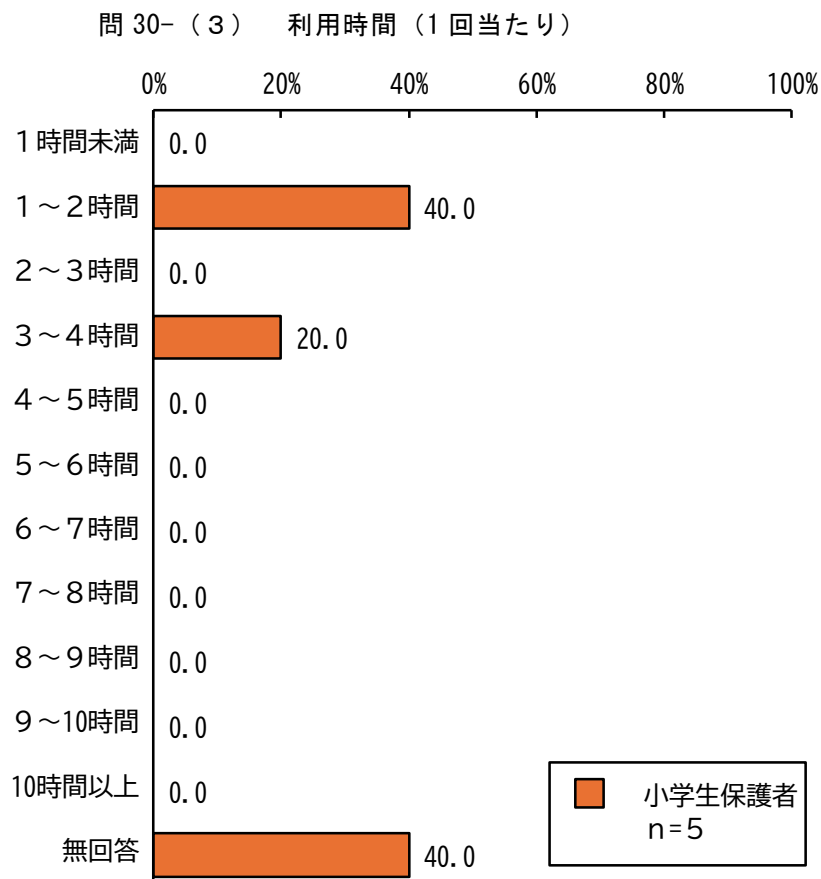
問 30- (2) どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。(月の日数)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、ファミリー・サポート・センター事業の1か月当たりの利用日数は「1日」(40.0%)が最も多く、次いで「10日」(20.0%)となっています。



問 30- (3) どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。(1回当たりの時間)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、ファミリー・サポート・センター事業の1回当たりの利用時間は「1～2時間」(40.0%)が最も多く、次いで「3～4時間」(20.0%)となっています。

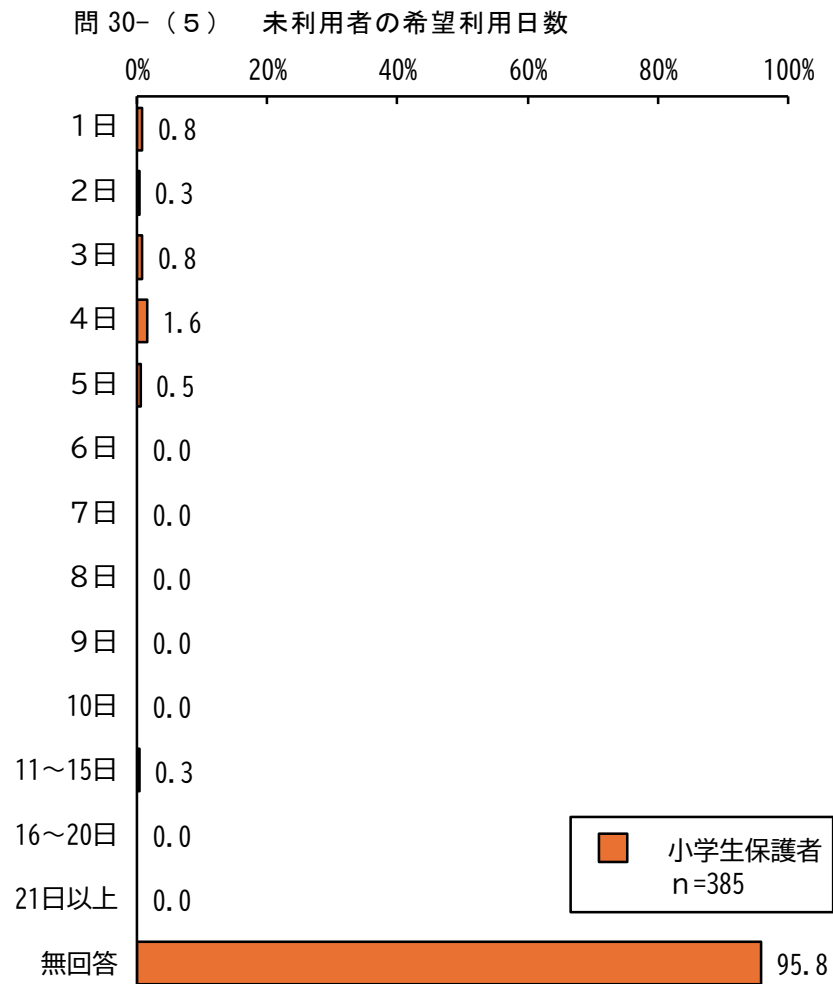


問 30- (4) 利用日数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は数字をご記入ください。

回答者がいないため省略。

問 30- (5) 今は利用していないが、できれば利用したい方は、数字をご記入ください。

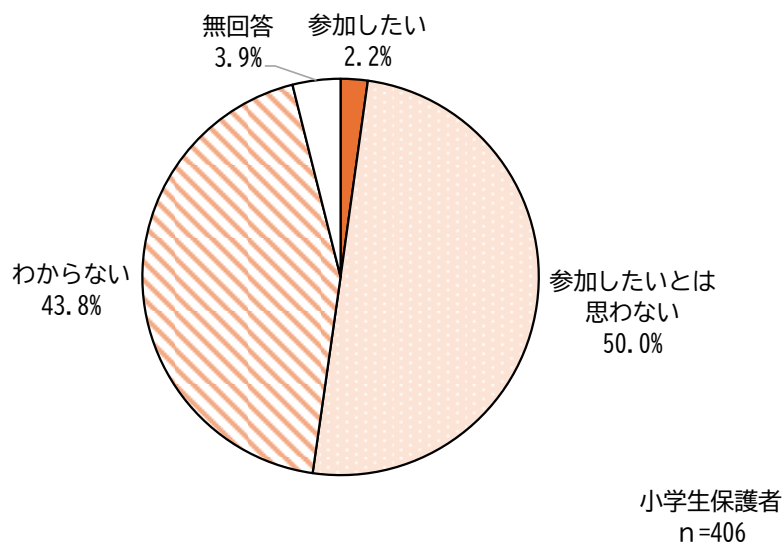
ファミリー・サポート・センター事業未利用者の希望利用日数は「4日」(1.6%)が最も多く、次いで「1日」「3日」(各 0.8%)、「5日」(0.5%)となっています。



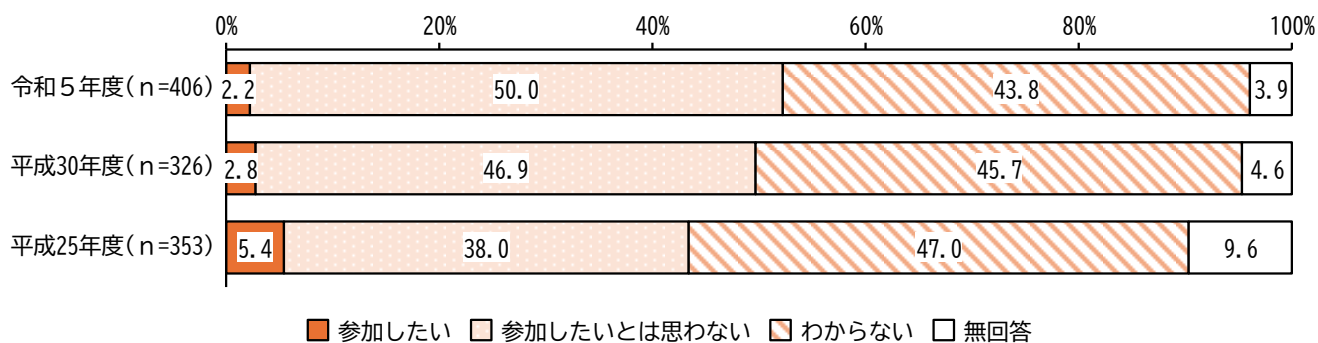
問 31 ファミリー・サポート・センター事業について、今後、お子さんを預かる活動会員として参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

ファミリー・サポート・センター事業の活動会員への参加については「参加したいとは思わない」(50.0%)が最も多く、次いで「わからない」(43.8%)、「参加したい」(2.2%)となっています。

問 31 ファミリー・サポート・センター事業の活動会員への参加希望の状況【経年比較】



【経年比較】



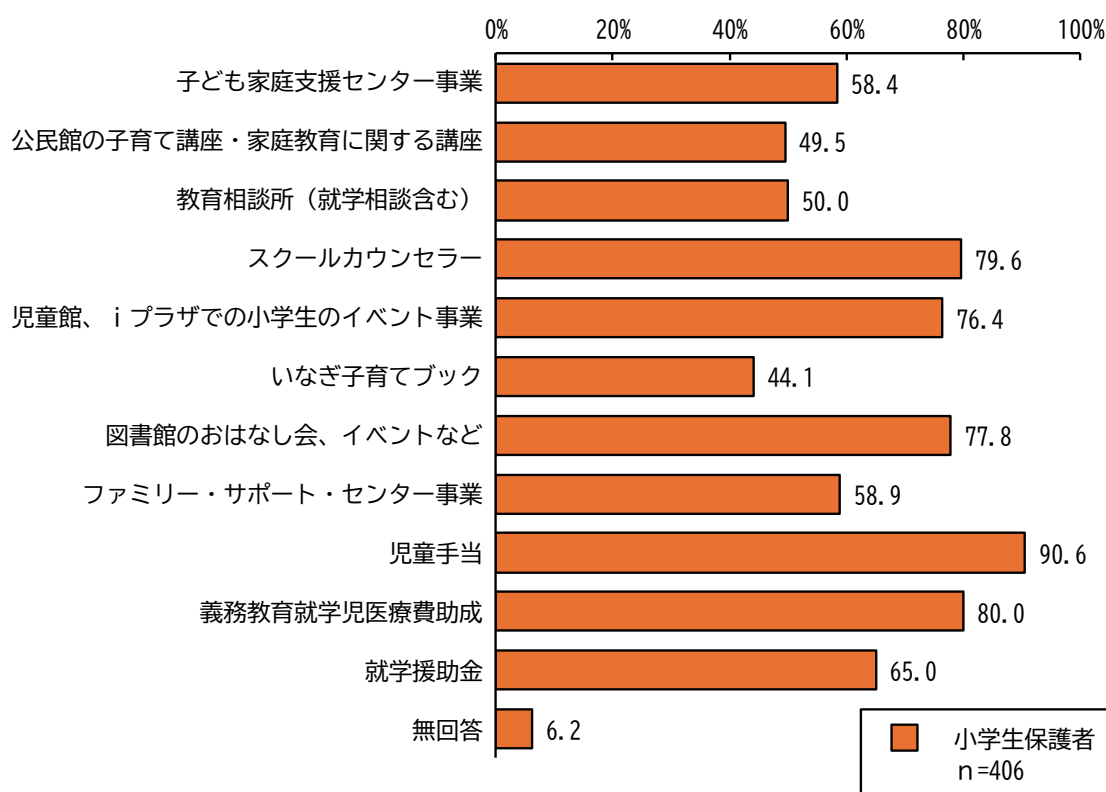
## 11 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向について

問 32 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについてお答えください。A. 知っている（はい）

地域子育て支援事業の周知について「知っている（はい）」では「児童手当」（90.6%）が最も多く、次いで「義務教育就学児医療費助成」（80.0%）、「スクールカウンセラー」（79.6%）となっています。

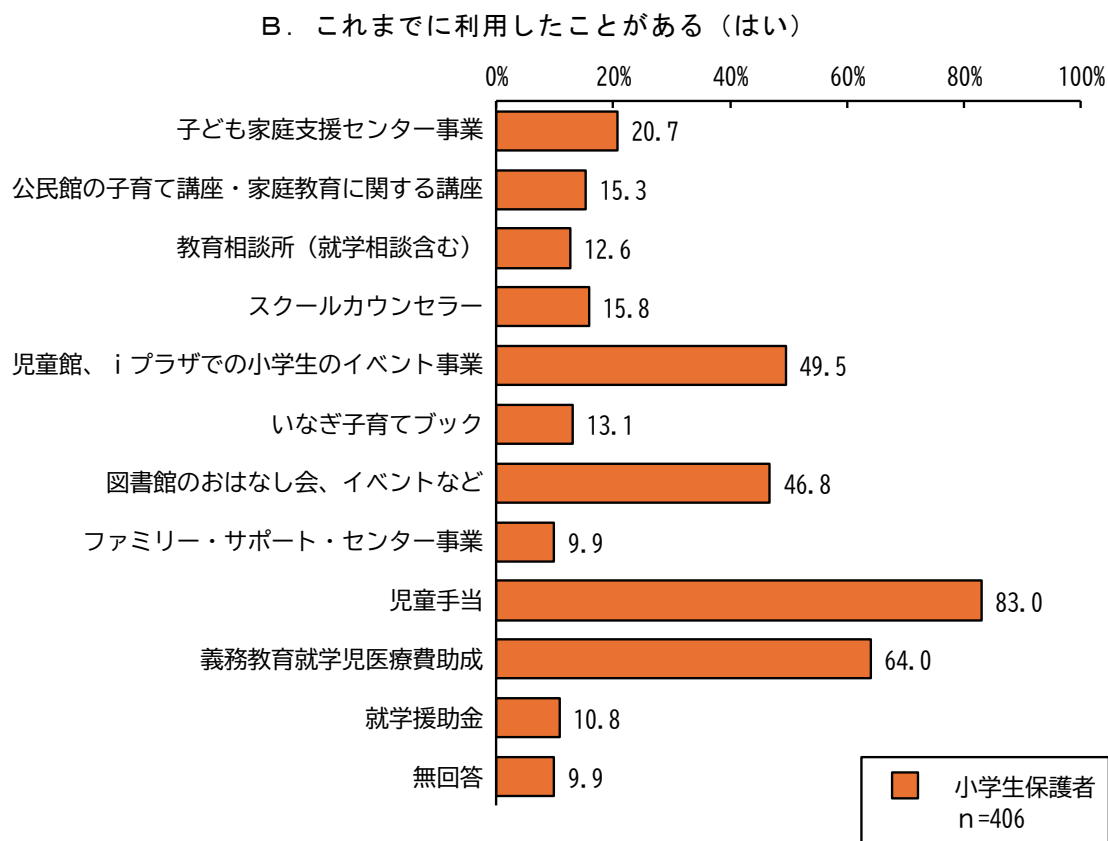
問 32 地域子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向

A. 知っている（はい）



問 32 B. これまでに利用したことがある（はい）

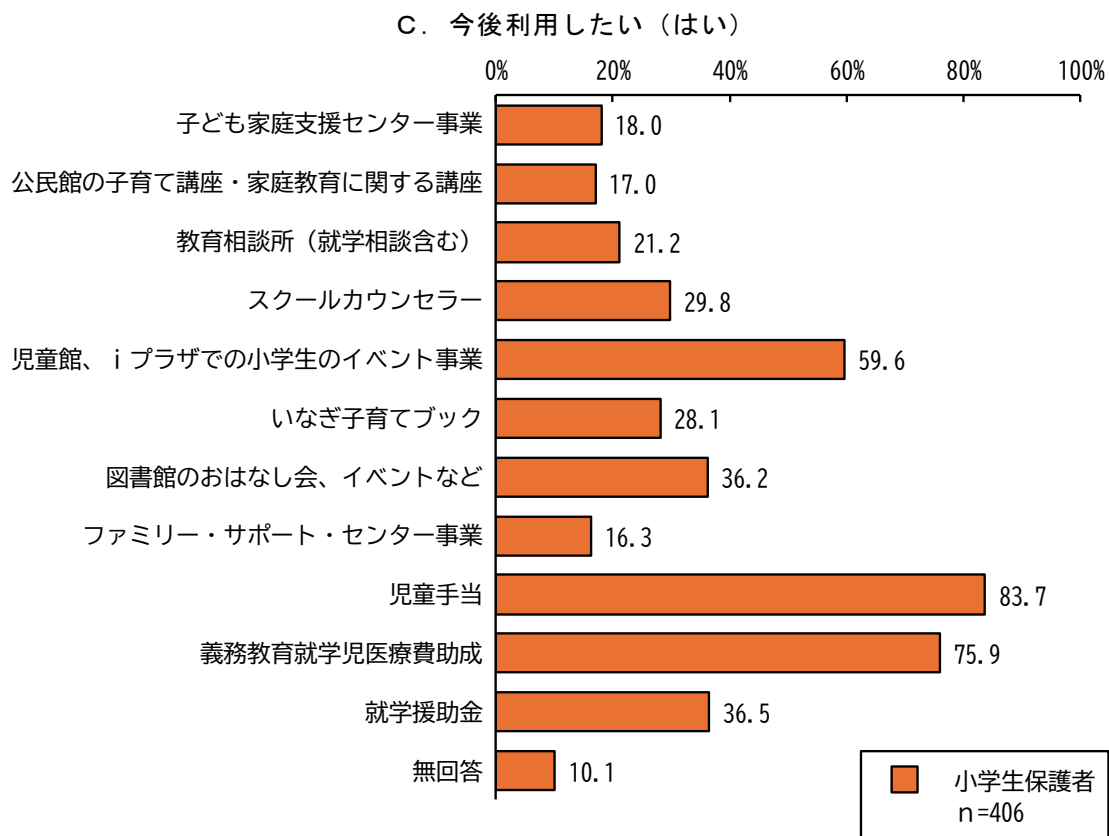
地域子育て支援事業の利用について「これまでに利用したことがある（はい）」では「児童手当」（83.0%）が最も多く、次いで「義務教育就学児医療費助成」（64.0%）、「児童館、iプラザでの小学生のイベント事業」（49.5%）となっています。





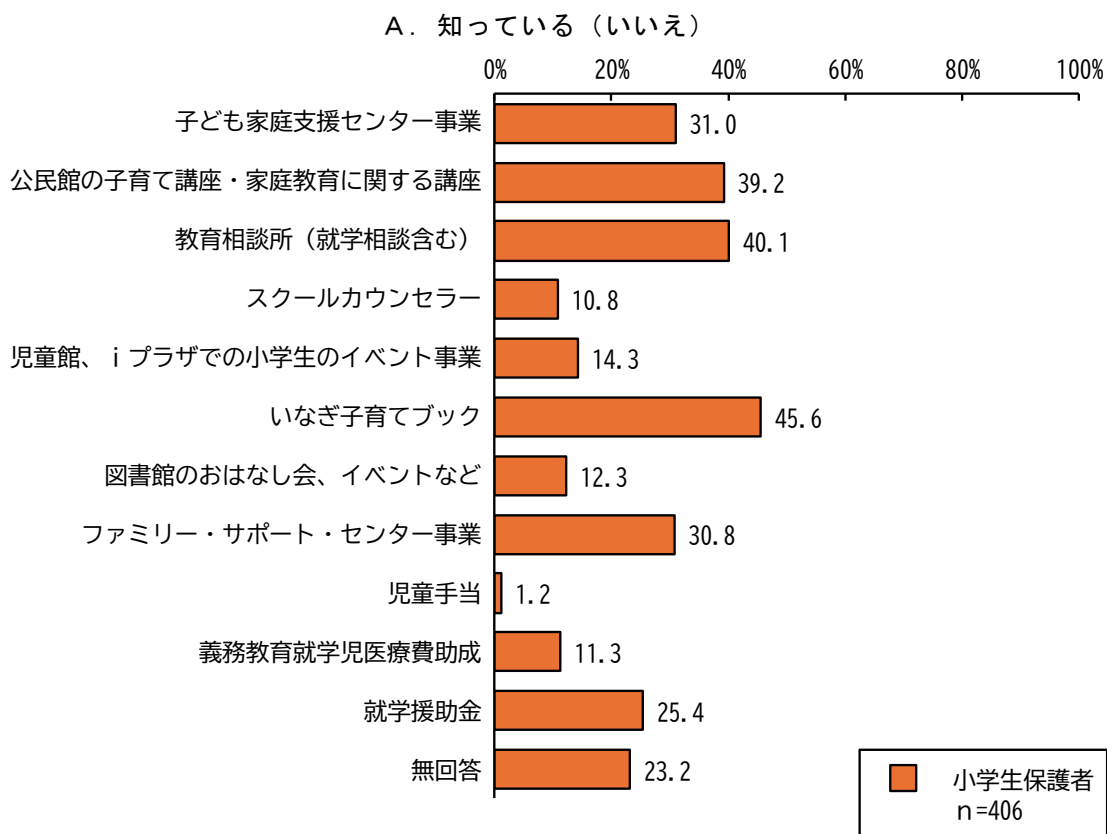
問 32 C. 今後利用したい（はい）

地域子育て支援事業の利用について「今後利用したい（はい）」では「児童手当」（83.7%）が最も多く、次いで「義務教育就学児医療費助成」（75.9%）、「児童館、iプラザでの小学生のイベント事業」（59.6%）となっています。



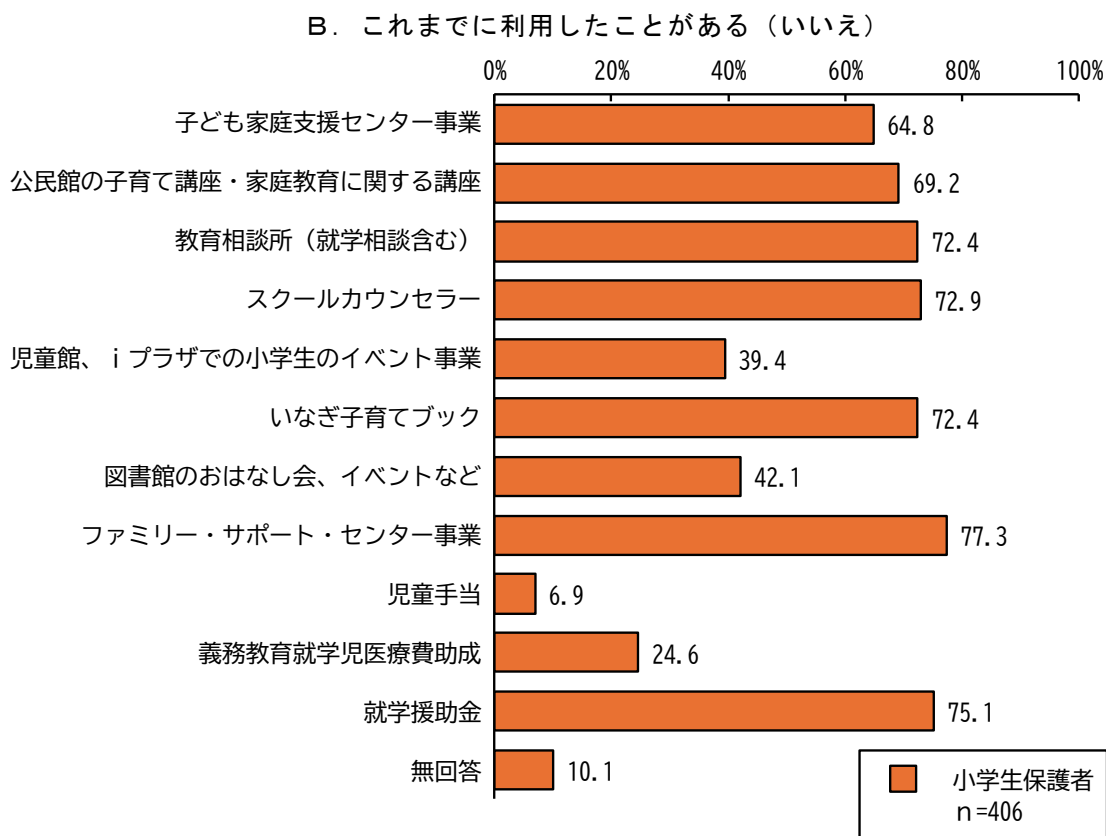
問 32 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについてお答えください。A. 知っている（いいえ）

地域子育て支援事業の周知について「知っている（いいえ）」では「いなぎ子育てブック」(45.6%)が最も多く、次いで「教育相談所（就学相談含む）」(40.1%)、「公民館の子育て講座・家庭教育に関する講座」(39.2%)となっています。



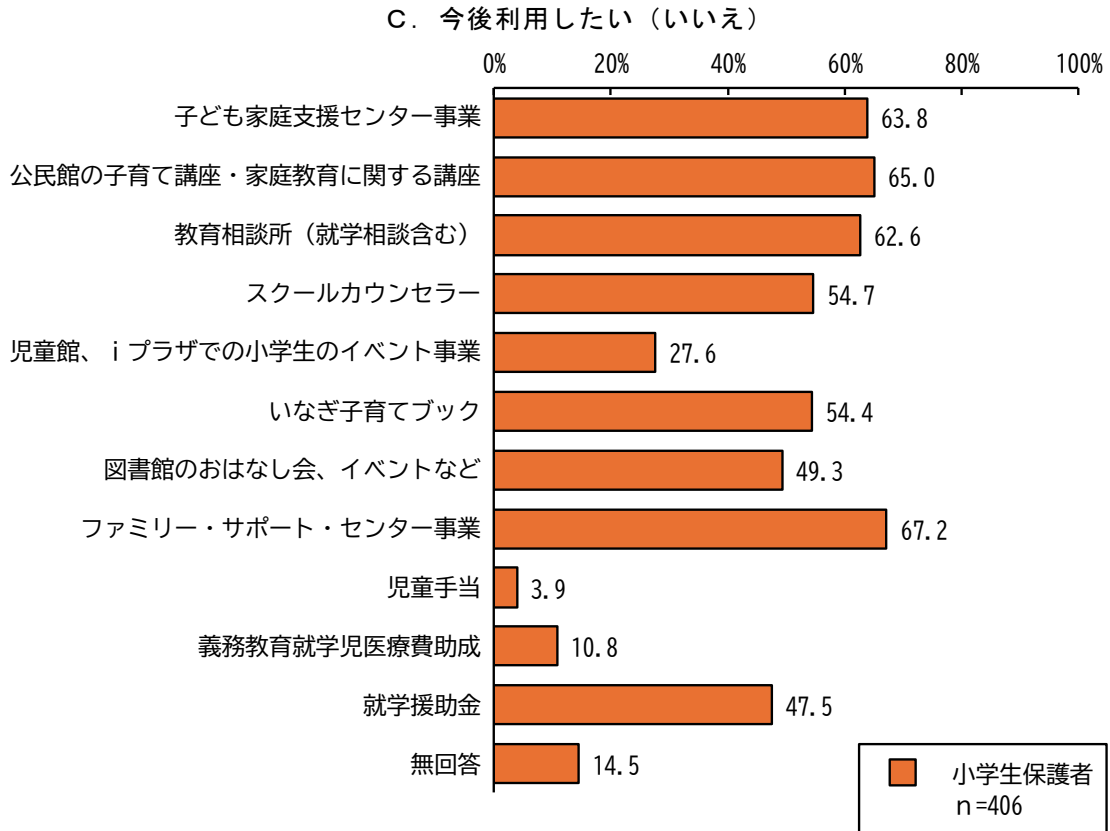
問 32 B. これまでに利用したことがある（いいえ）

地域子育て支援事業の利用について「これまでに利用したことがある（いいえ）」では「ファミリー・サポート・センター事業」（77.3%）が最も多く、次いで「就学援助金」（75.1%）、「スクールカウンセラー」（72.9%）となっています。



問 32 C. 今後利用したい（いいえ）

地域子育て支援事業の利用について「今後利用したい（いいえ）」では「ファミリー・サポート・センター事業」（67.2%）が最も多く、次いで「公民館の子育て講座・家庭教育に関する講座」（65.0%）、「子ども家庭支援センター事業」（63.8%）となっています。

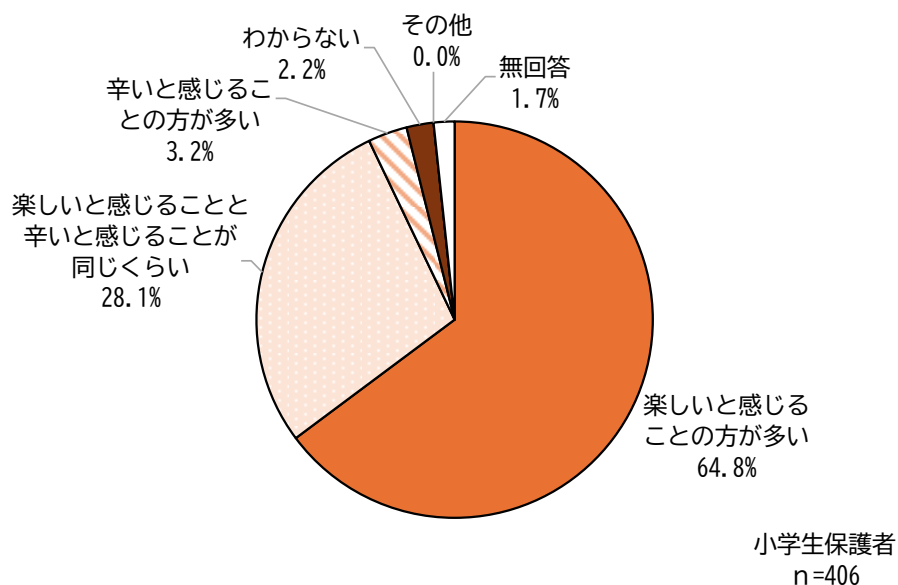


## 12 子育てで感じていることについて

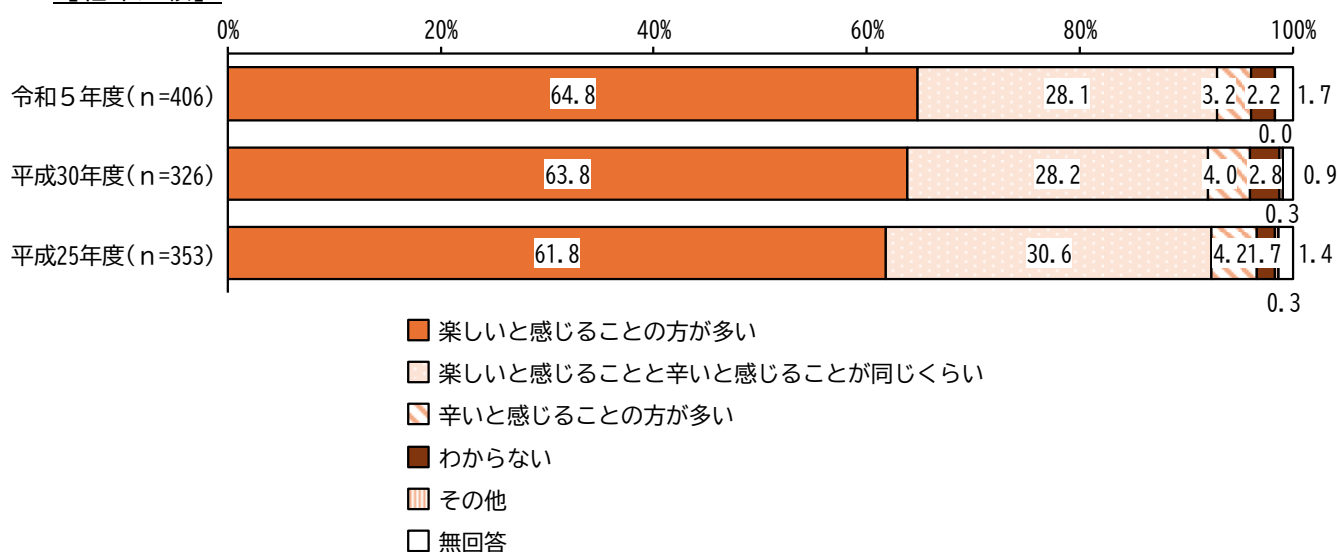
問 33 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

子育てで感じる思いについては「楽しいと感じることが多い」(64.8%)が最も多く、次いで「楽しいと感じることが多い」と「辛いと感じることが多い」(28.1%)、「辛いと感じることが多い」(3.2%)となっています。

問 33 子育てで感じる思い【経年比較】



【経年比較】

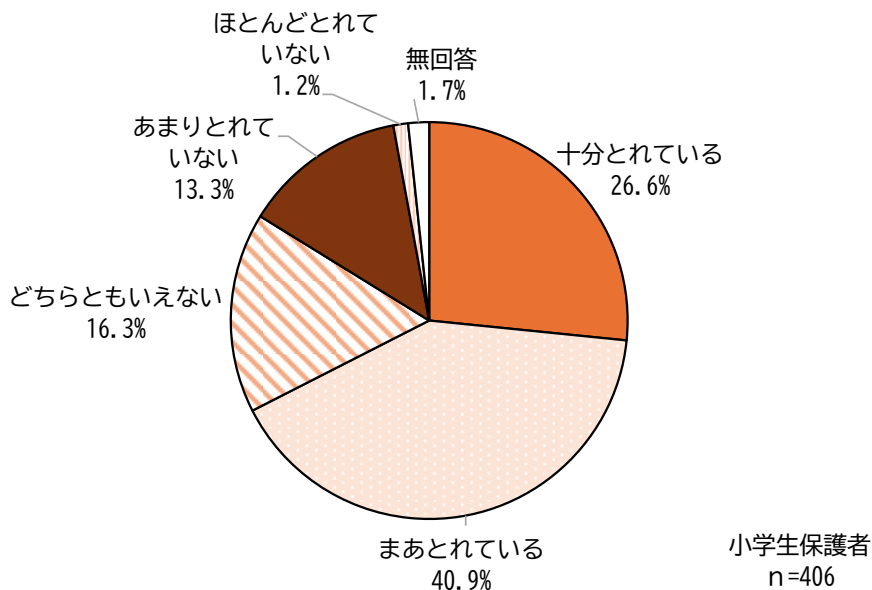


問 34 あなたは、子育てに十分な時間がとれていますか。また、今後どのような時間を増やしたいと思いますか。A. 子育ての時間（あてはまるもの1つに○）

子育てに費やす時間については「まあとれている」（40.9%）が最も多く、次いで「十分とれている」（26.6%）、「どちらともいえない」（16.3%）となっています。

問 34 子育てに費やす時間の状況

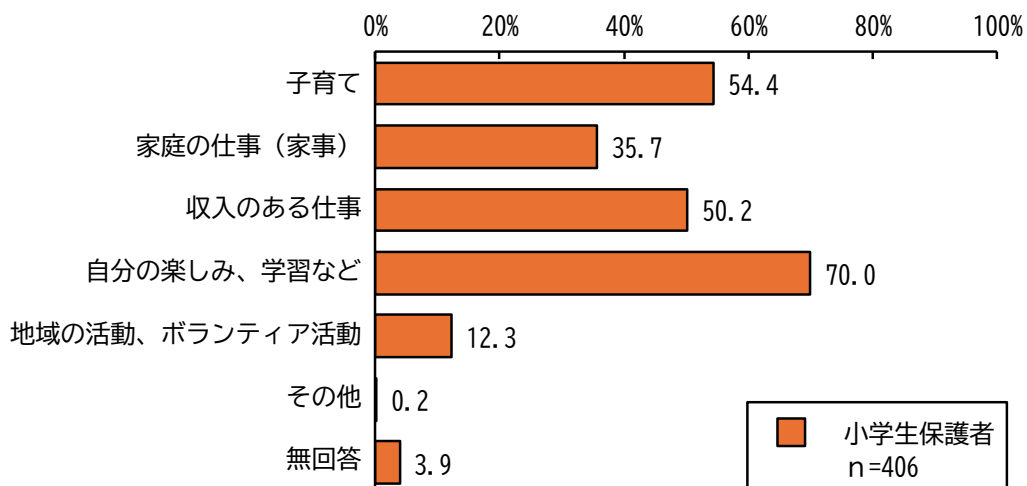
A. 子育ての時間



問 34 B. 今後増やしたい時間（あてはまるものすべてに○）

今後増やしたい時間については「自分の楽しみ、学習など」（70.0%）が最も多く、次いで「子育て」（54.4%）、「収入のある仕事」（50.2%）となっています。

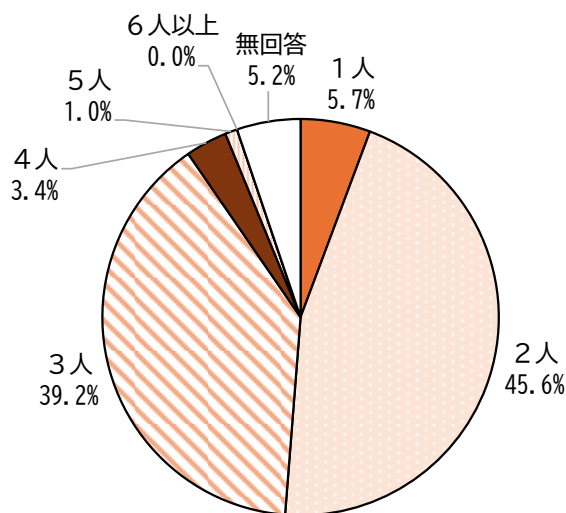
B. 今後増やしたい時間



問 35 あなたにとって理想のお子さんの人数は何人だとお考えですか。

理想の子ども的人数は「2人」(45.6%)が最も多く、次いで「3人」(39.2%)、「1人」(5.7%)となっています。

問 35 理想の子ども的人数

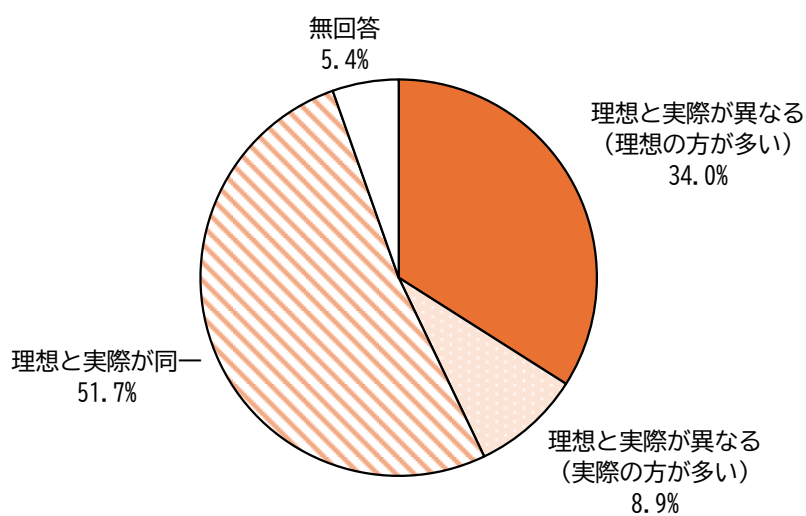


小学生保護者  
n=406

問 35-1 理想のお子さんの人数と実際との差

理想の子ども的人数と実際との差は「理想と実際が同一」(51.7%)が最も多く、次いで「理想と実際が異なる(理想の方が多い)」(34.0%)、「理想と実際が異なる(実際の方が多い)」(8.9%)となっています。

問 35-1 理想と実際の子どもの人数差

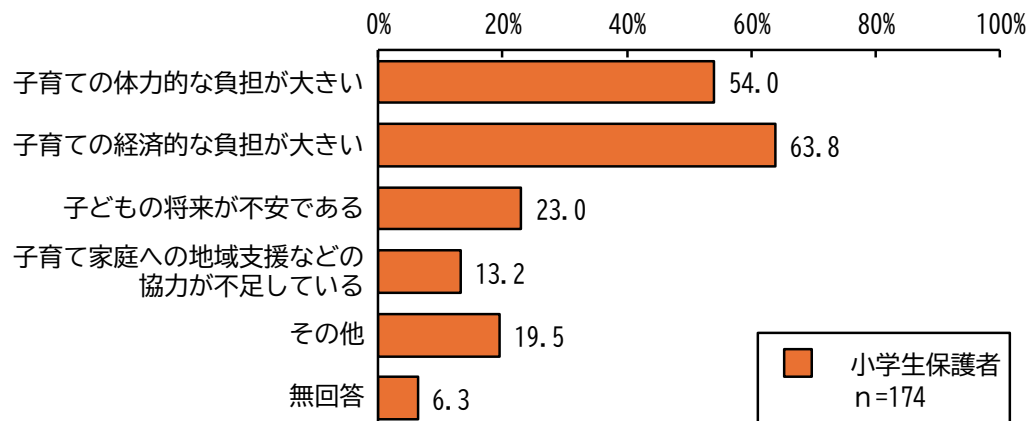


小学生保護者  
n=406

問 35- (1) あなたにとって理想のお子さんの人数と、実際のお子さんの人数が違う場合、その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

理想の子ども的人数と、実際の子ども的人数が違う理由は「子育ての経済的な負担が大きい」(63.8%)が最も多く、次いで「子育ての体力的な負担が大きい」(54.0%)、「子どもの将来が不安である」(23.0%)となっています。

問 35- (1) 理想の子ども的人数と、実際の子ども的人数が違う場合の理由

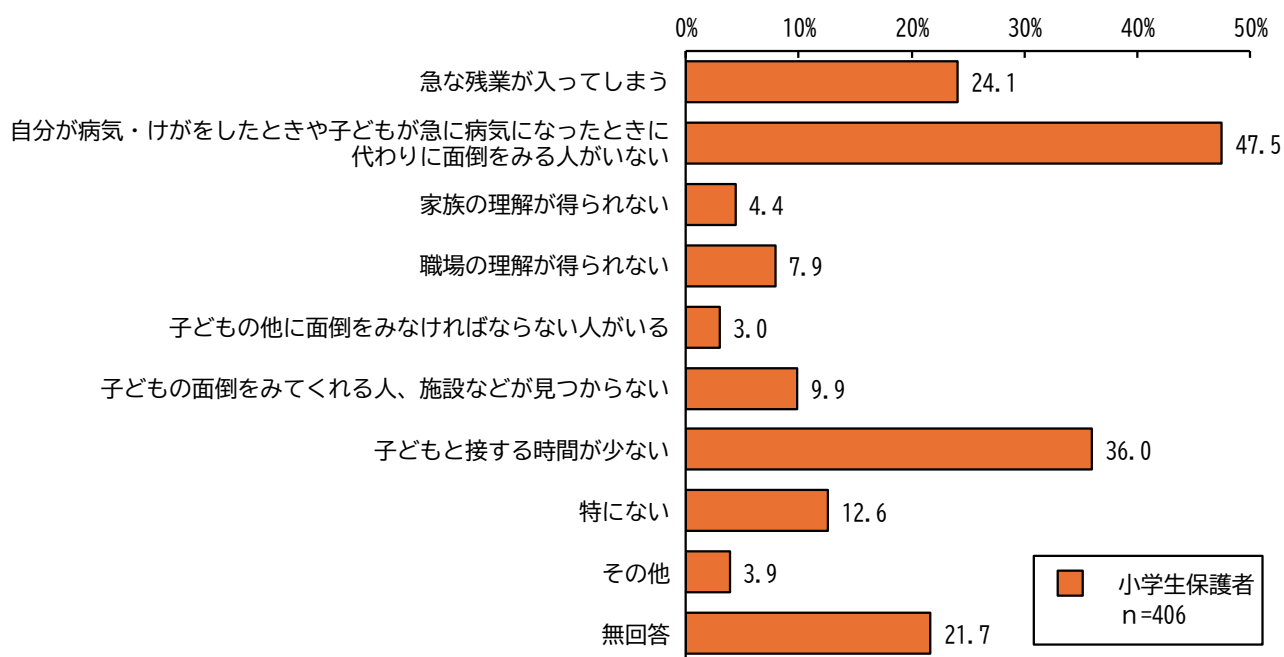




問 36 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」(47.5%)が最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(36.0%)、「急な残業が入ってしまう」(24.1%)となっています。

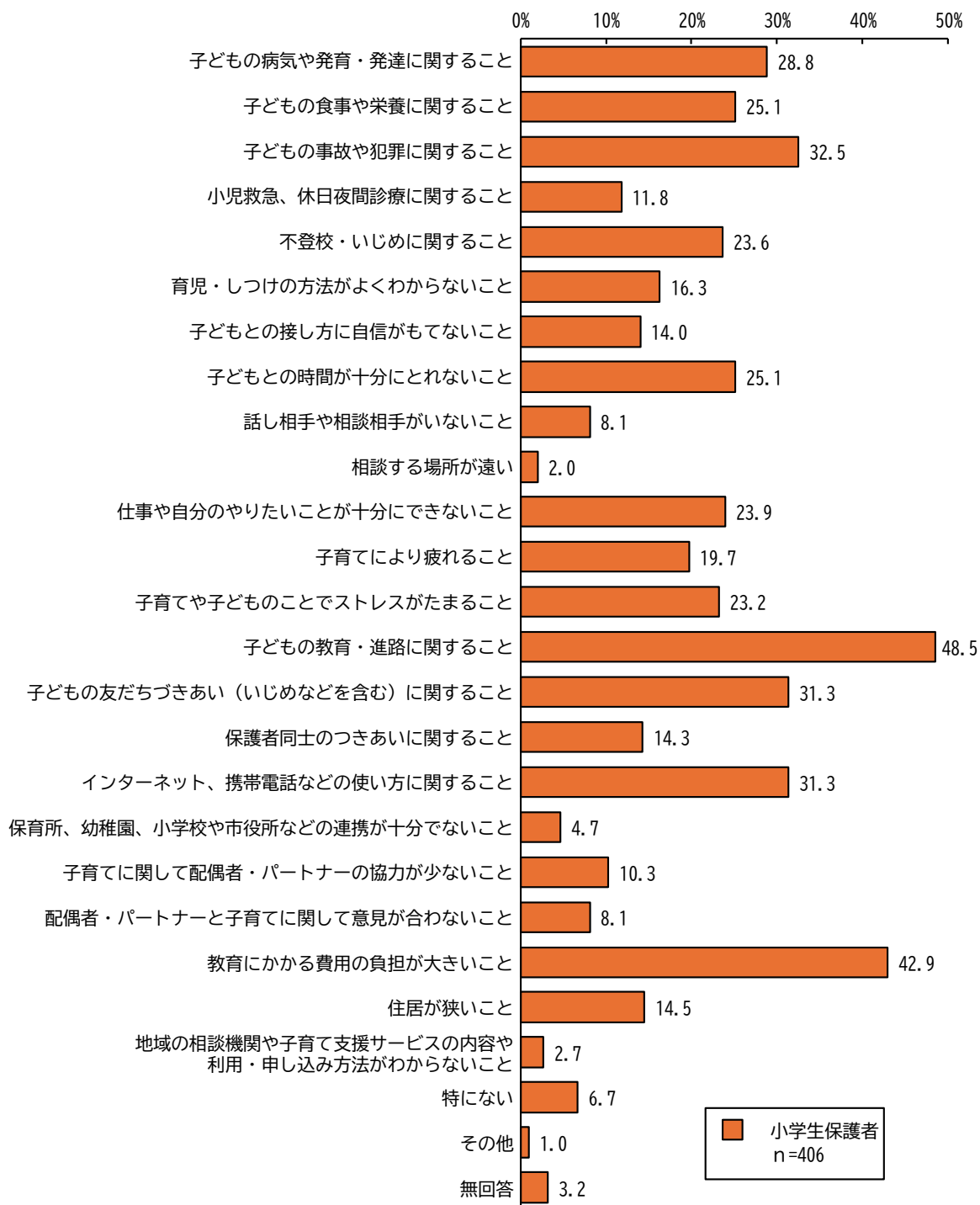
問 36 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じる理由



問 37 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることは「子どもの教育・進路に関すること」(48.5%)が最も多く、次いで「教育にかかる費用の負担が大きいこと」(42.9%)、「子どもの事故や犯罪に関すること」(32.5%)となっています。

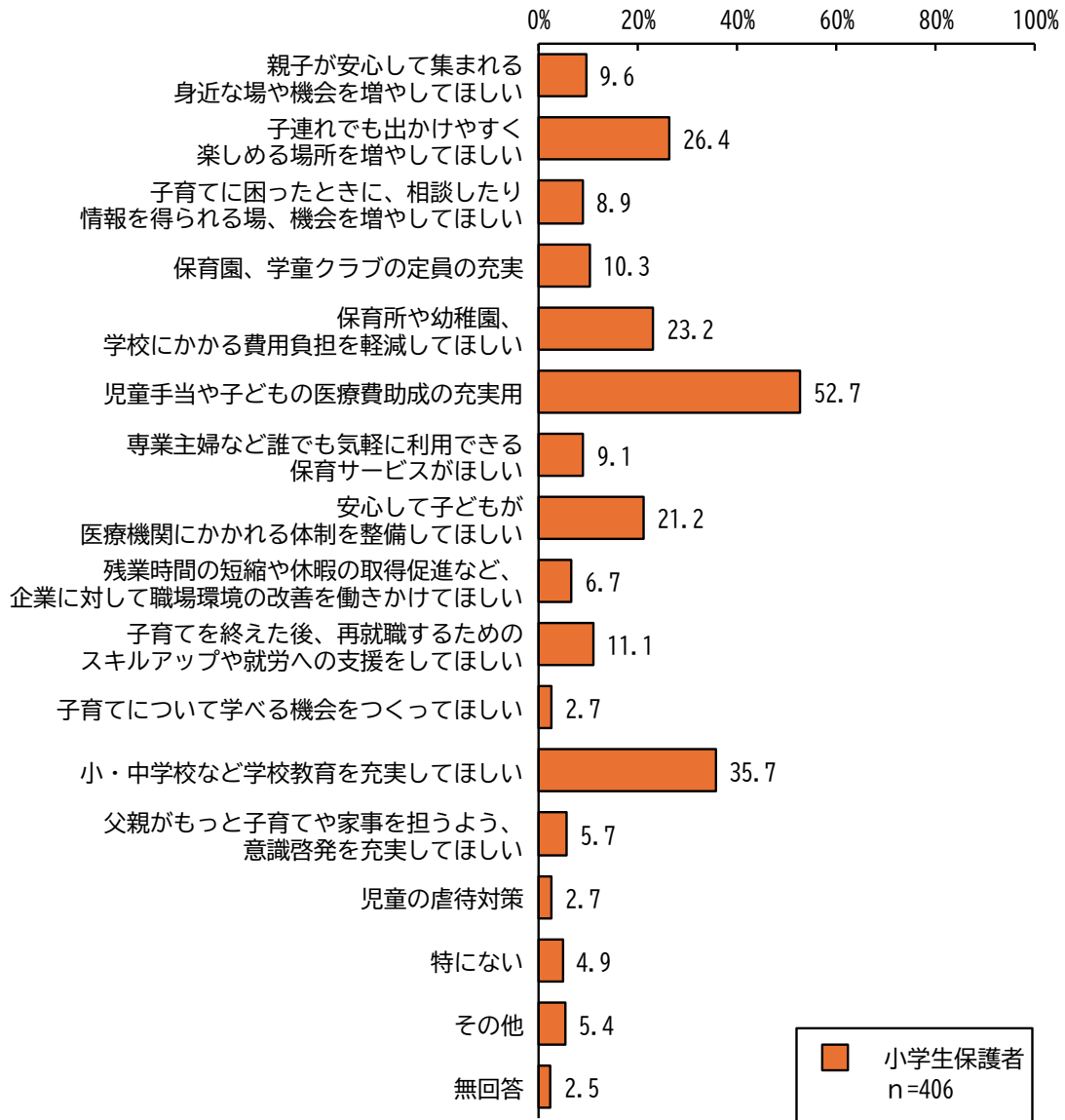
問 37 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることの状況



問 38 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。  
 (主なもの3つまでに○)

子育て支援充実への要望は「児童手当や子どもの医療費助成の充実」(52.7%)  
 が最も多く、次いで「小・中学校など学校教育を充実してほしい」(35.7%)、「子  
 連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(26.4%)となっていま  
 す。

問 38 子育て支援充実への要望

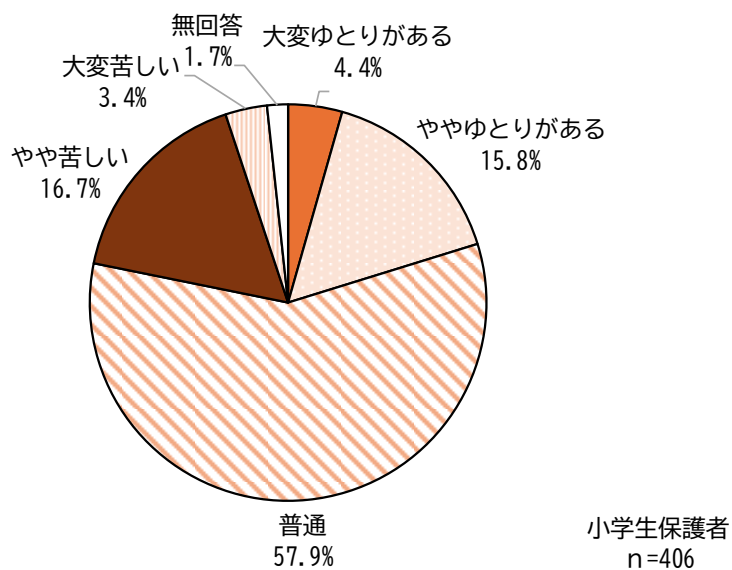


### 13 家庭の暮らし向きについて

問 39 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どのように感じていますか。(あてはまるものの1つに○)

総合的な暮らしの状況については「普通」(57.9%)が最も多く、次いで「やや苦しい」(16.7%)、「ややゆとりがある」(15.8%)となっています。

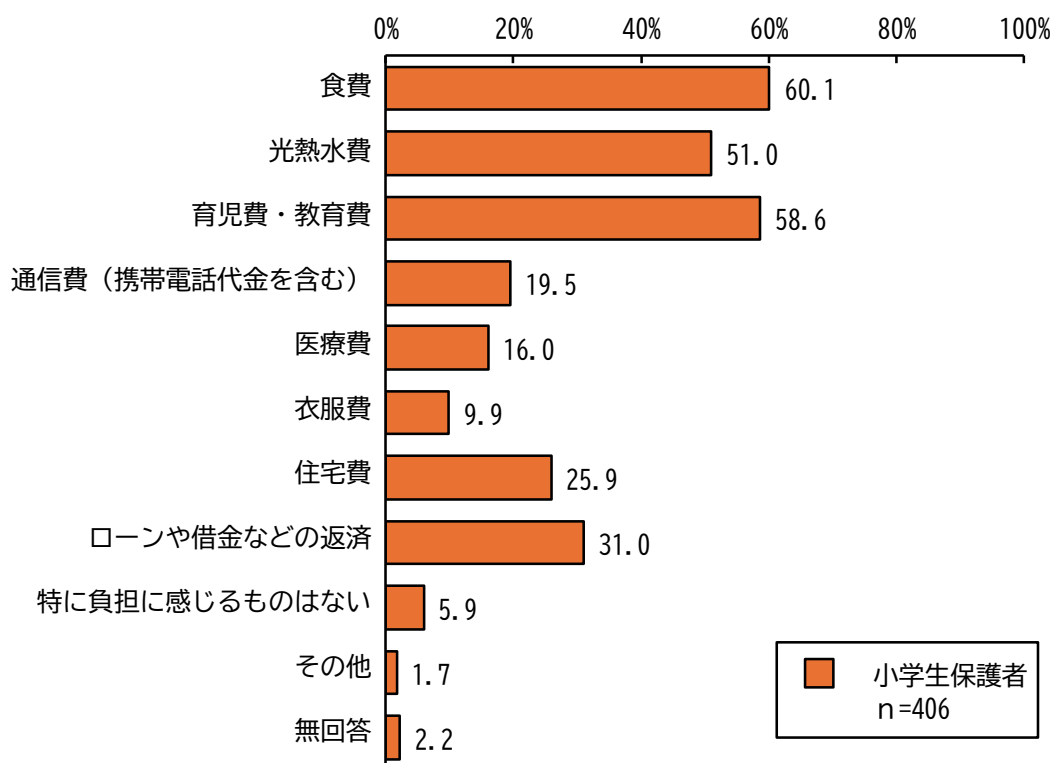
問 39 総合的な暮らしの状況



問 40 生活費の中で負担に感じる費用はありますか。(あてはまるものすべてに○)

生活費の中で負担に感じる費用は「食費」(60.1%)が最も多く、次いで「育児費・教育費」(58.6%)、「光熱水費」(51.0%)となっています。

問 40 生活費の中で負担に感じるもの

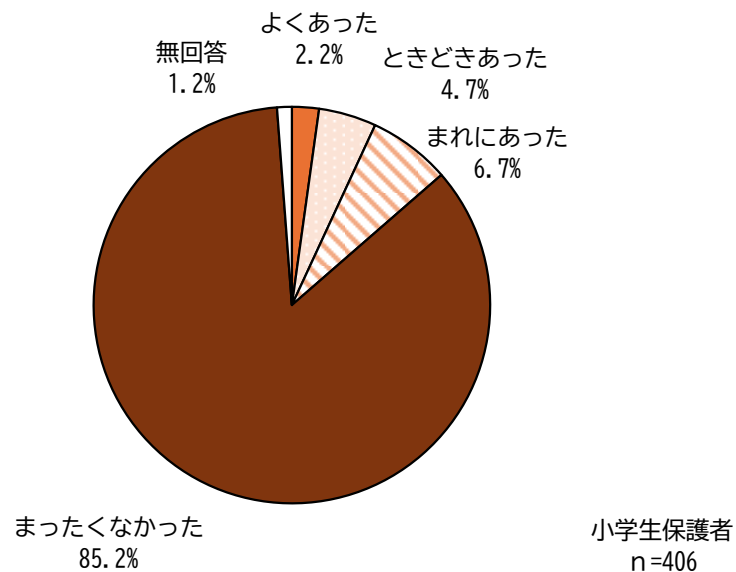


問 41 あなたの家庭では、過去1年の間にお金が足りずに、家族が必要とする食料や衣類を買えないことがありましたか。A. 食料（あてはまるもの1つに○）

過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「食料」では「まったくなかった」（85.2%）が最も多く、次いで「まれにあった」（6.7%）、「ときどきあった」（4.7%）となっています。

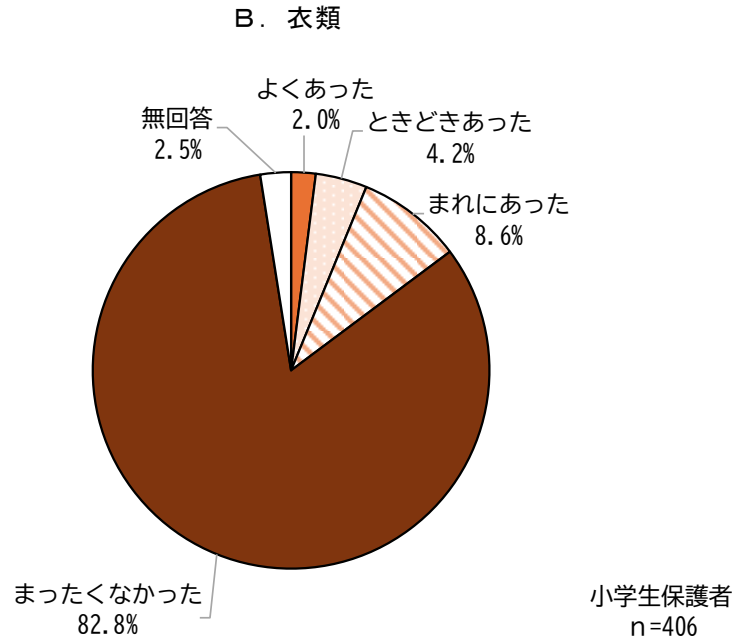
問 41 過去1年間に、必要なものを買えなかったこと

A. 食料



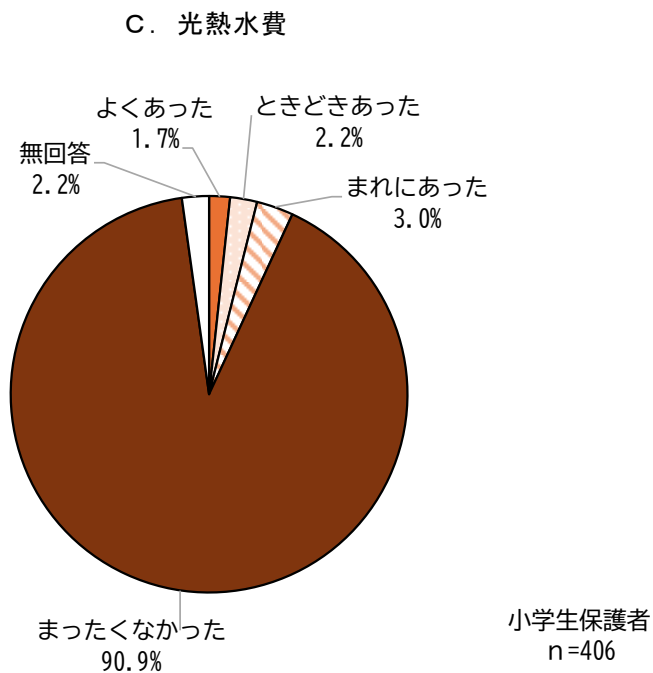
問 41 B. 衣類（あてはまるもの1つに○）

過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「衣類」では「まったくなかった」（82.8%）が最も多く、次いで「まれにあった」（8.6%）、「ときどきあった」（4.2%）となっています。



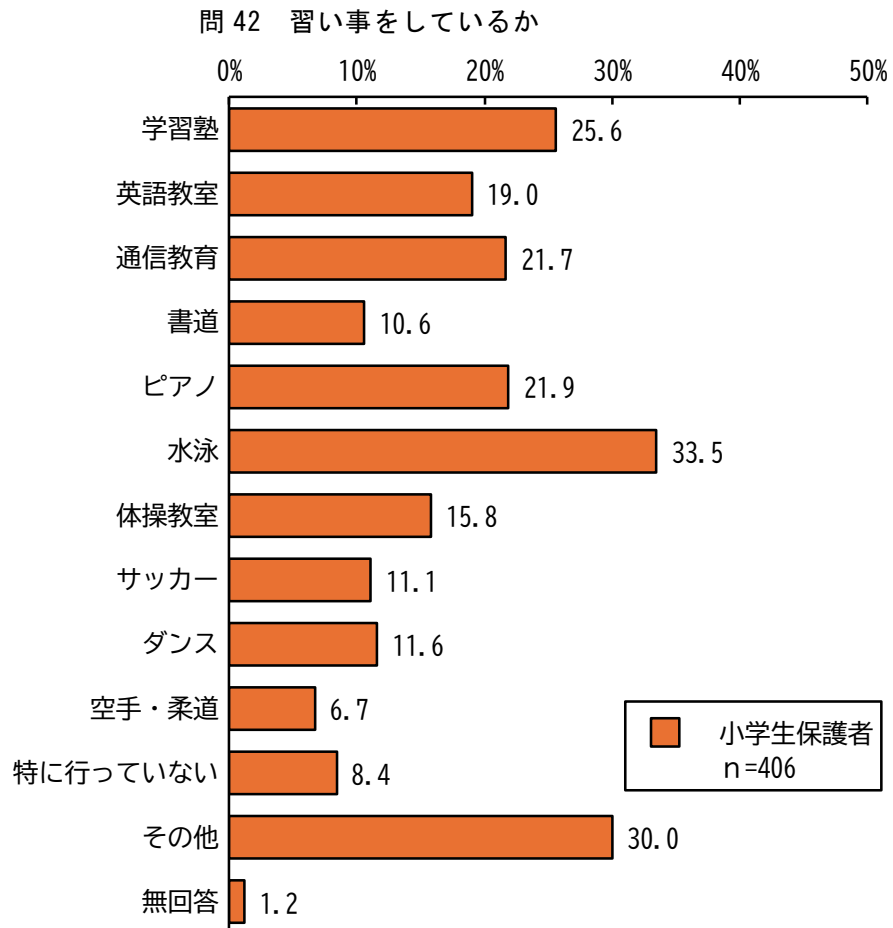
問 41 C. 光熱水費（あてはまるもの1つに○）

過去1年間に必要なものが買えなかったことについて「光熱水費」では「まったくなかった」（90.9%）が最も多く、次いで「まれにあった」（3.0%）、「ときどきあった」（2.2%）となっています。



問 42 宛名のお子さんは現在習い事等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

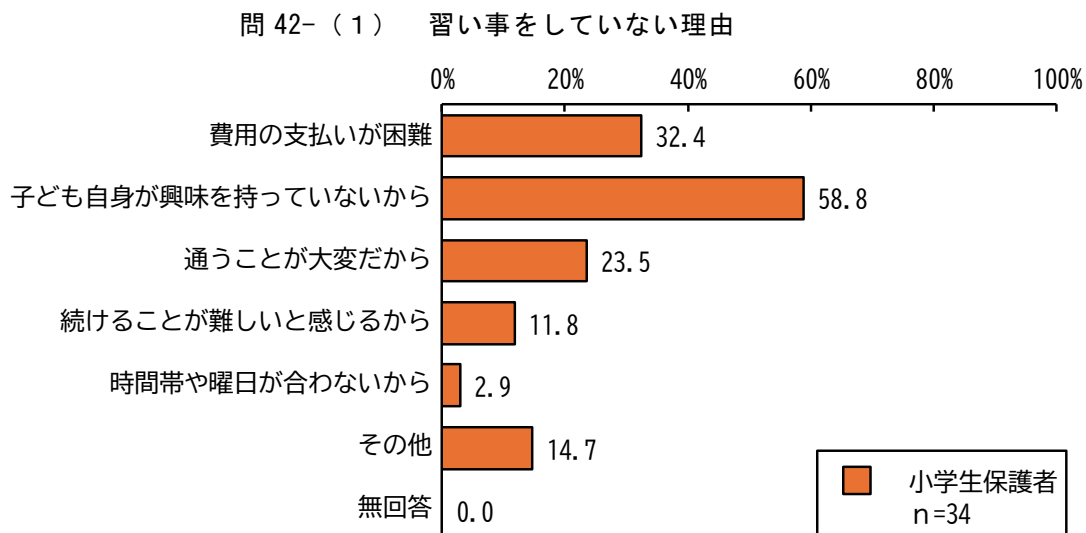
子どもの習い事については「水泳」(33.5%)が最も多く、次いで「学習塾」(25.6%)、「ピアノ」(21.9%)となっています。





問 42- (1) 塾や習い事をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

塾や習い事をしていない理由は「子ども自身が興味を持っていないから」(58.8%)が最も多く、次いで「費用の支払いが困難」(32.4%)、「通うことが大変だから」(23.5%)となっています。

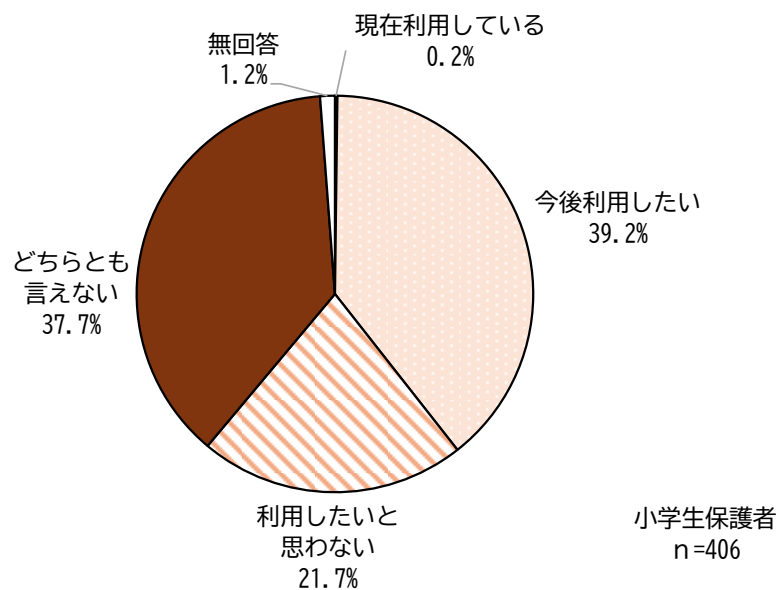


問 43 お子さんについて、ボランティア等による、無料の学習支援制度（学習の手助けなど）や子ども食堂（地域住民や自治体が主体となって無料または低料金で子どもたちに食事を提供する場）があった場合、利用したいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○） A. 無料の学習支援

無料の学習支援制度や子ども食堂の利用について「無料の学習支援」では「今後利用したい」（39.2%）が最も多く、次いで「どちらとも言えない」（37.7%）、「利用したいと思わない」（21.7%）となっています。

問 43 無料の学習支援制度や子ども食堂の利用希望

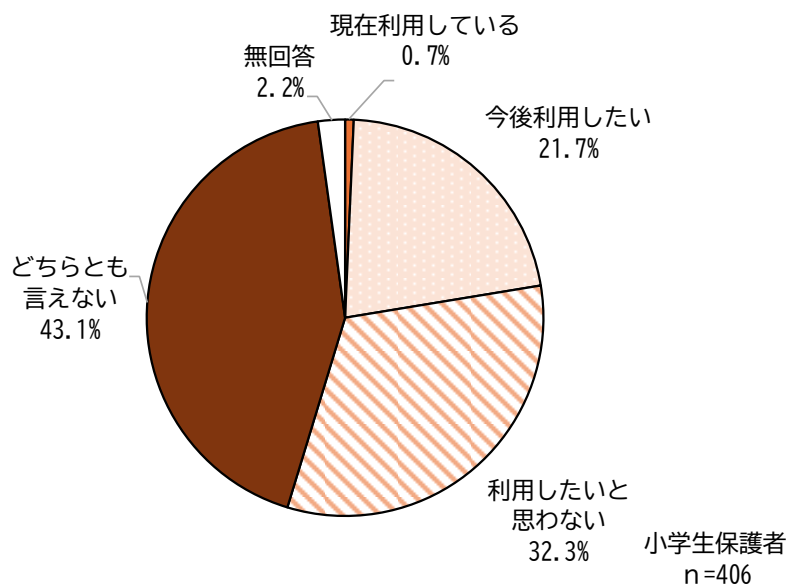
A. 無料の学習支援



問 43 B. 子ども食堂

無料の学習支援制度や子ども食堂の利用について「子ども食堂」では「どちらとも言えない」(43.1%)が最も多く、次いで「利用したいと思わない」(32.3%)、「今後利用したい」(21.7%)となっています。

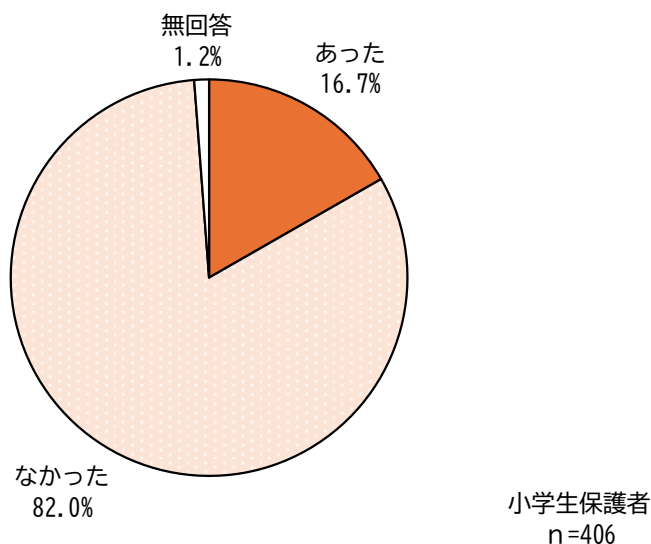
B. 子ども食堂



問 44 あなたのご家庭では、過去1年間に、宛名のお子さんを医療機関で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

過去1年間に必要があるが、病院などを受診しなかったことは「なかった」(82.0%)、「あった」(16.7%)となっています。

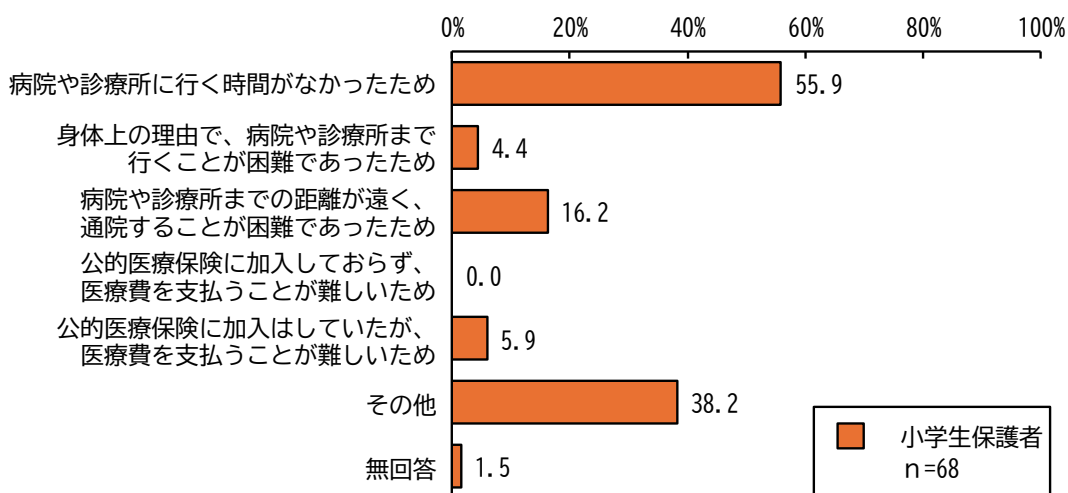
問 44 過去1年間に必要があるが、病院などを受診しなかったこと



問 44-1 その理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

病院などを受診しなかった理由については「病院や診療所に行く時間がなかったため」(55.9%)が最も多く、次いで「病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため」(16.2%)、「公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しいため」(5.9%)となっています。

問 44-1 受診しなかった理由

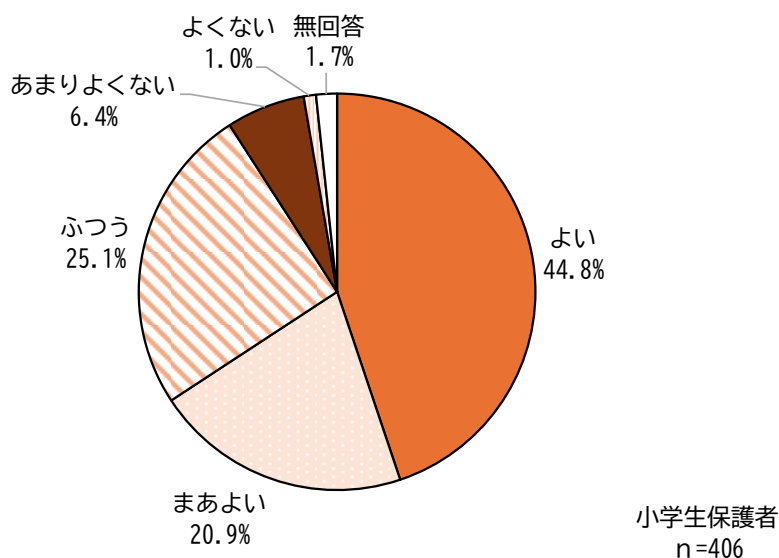


問 45 あなた（回答者）と宛名のお子さんの健康状態についておうかがいします。（それぞれ最も近いもの1つに○） A. あなた（回答者）

回答者の健康状態については「よい」（44.8%）が最も多く、次いで「ふつう」（25.1%）、「まあよい」（20.9%）となっています。

問 45 回答者から見た健康状態について

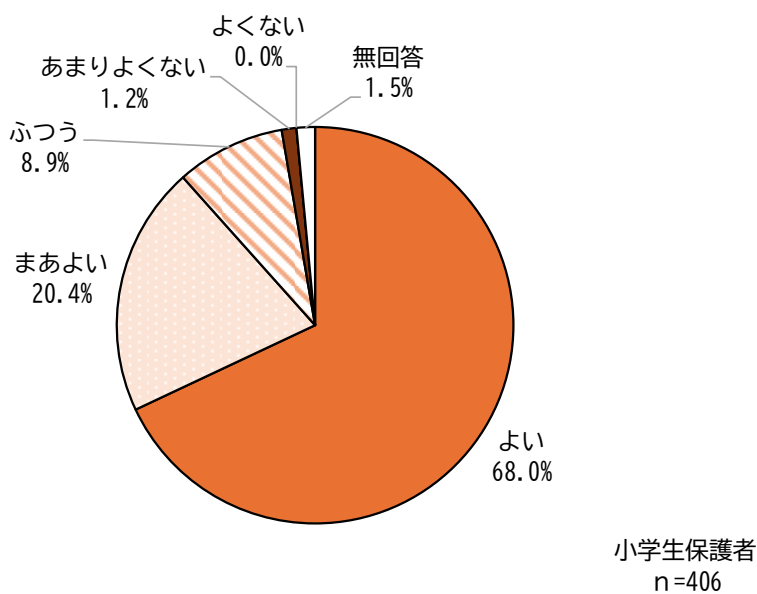
A. あなた（回答者）



問 45 B. 宛名のお子さん

子どもの健康状態については「よい」（68.0%）が最も多く、次いで「まあよい」（20.4%）、「ふつう」（8.9%）となっています。

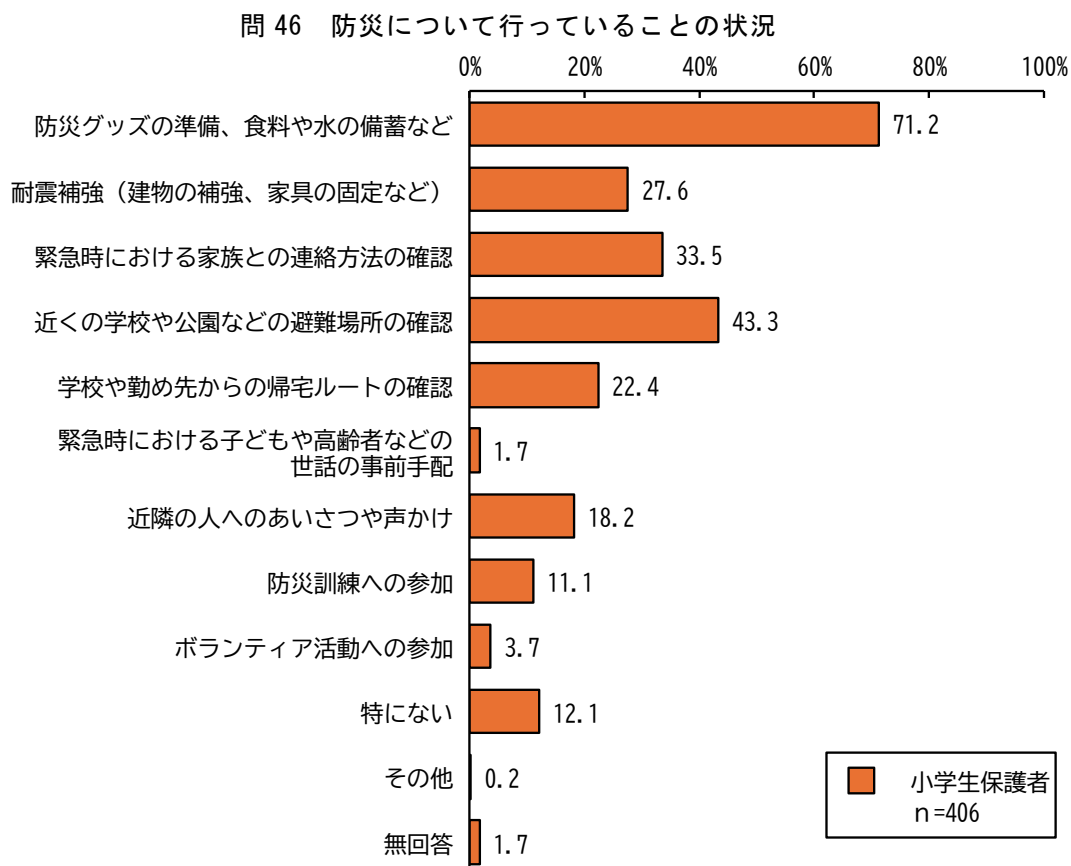
B. 子ども



## 14 地域での生活について

問 46 防災について、あなたが行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

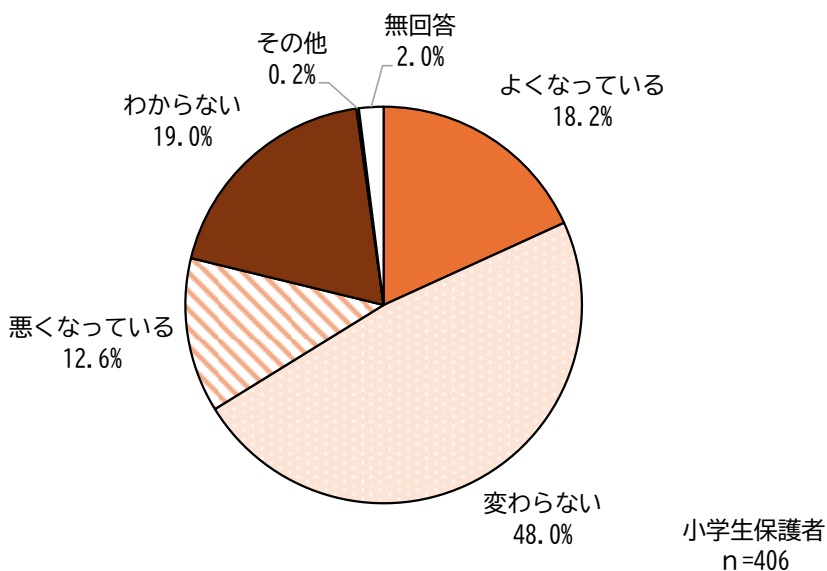
防災について行っていることは「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」(71.2%)が最も多く、次いで「近くの学校や公園などの避難場所の確認」(43.3%)、「緊急時における家族との連絡方法の確認」(33.5%)となっています。



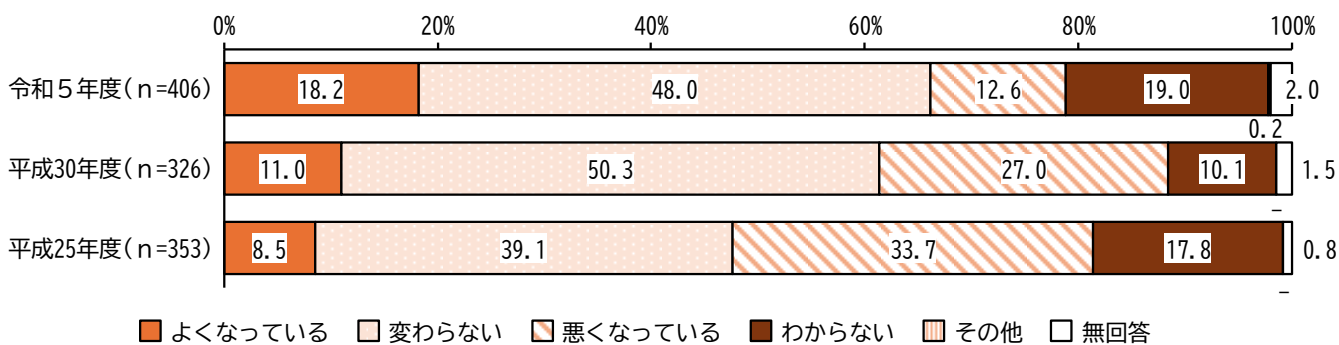
問 47 お住まい周辺の道路交通環境について、ここ数年でどのように感じますか。(あてはまるもの1つに○)

周辺の道路交通環境については「変わらない」(48.0%)が最も多く、次いで「わからない」(19.0%)、「よくなっている」(18.2%)となっています。

問 47 周辺の道路交通環境について【経年比較】



【経年比較】

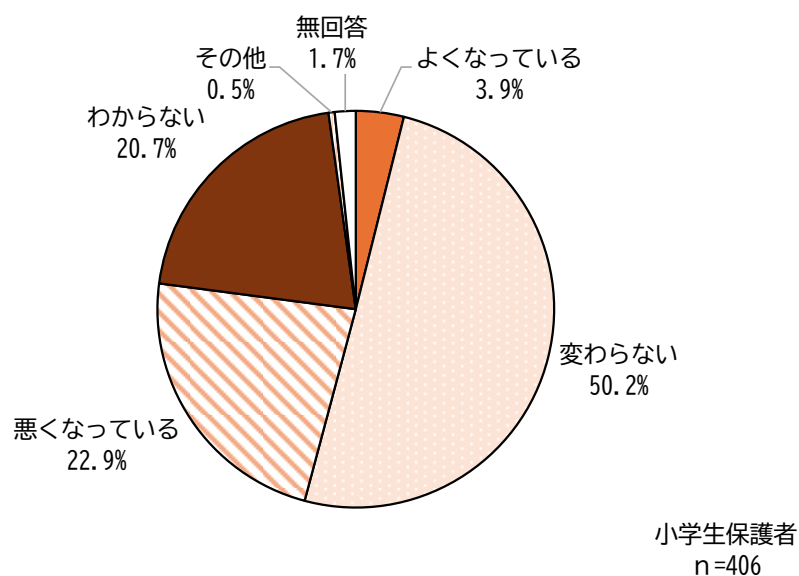


※平成 25 年度及び平成 30 年度のアンケート調査では「その他」の選択肢はありませんでした。

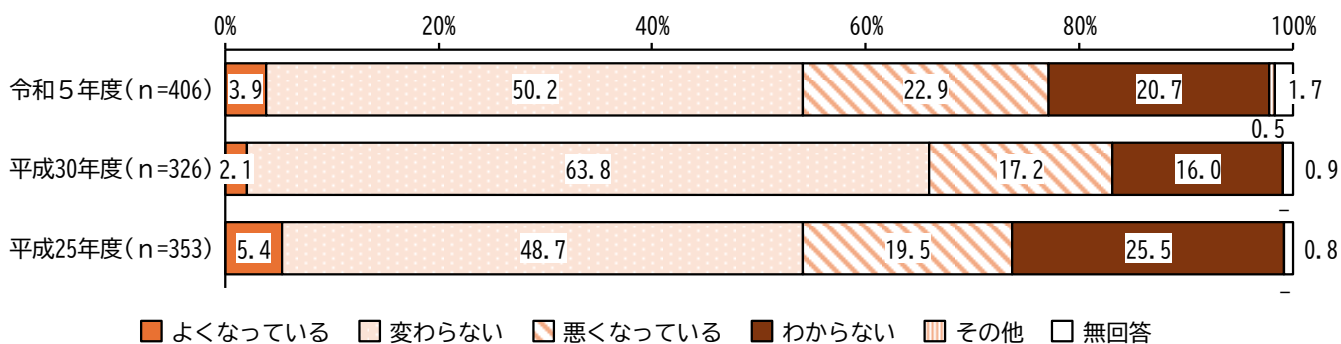
問 48 お住まい周辺の治安について、ここ数年でどのように感じますか。(あてはまるもの1つに○)

周辺の治安については「変わらない」(50.2%)が最も多く、次いで「悪くなっている」(22.9%)、「わからない」(20.7%)となっています。

問 48 周辺の治安について【経年比較】



【経年比較】



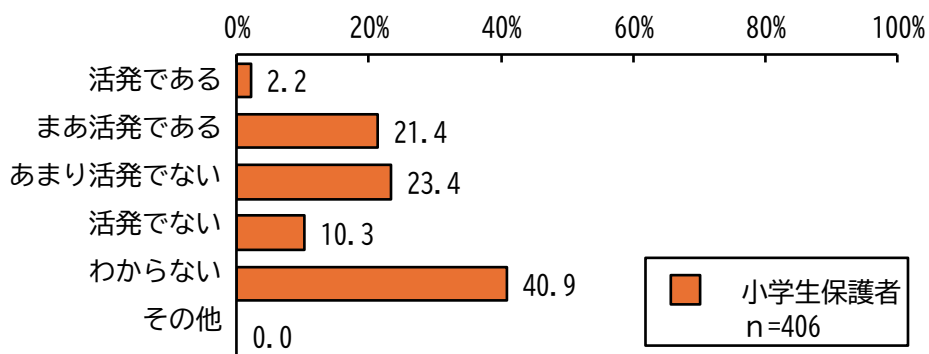
※平成 25 年度及び平成 30 年度のアンケート調査では「その他」の選択肢はありませんでした。



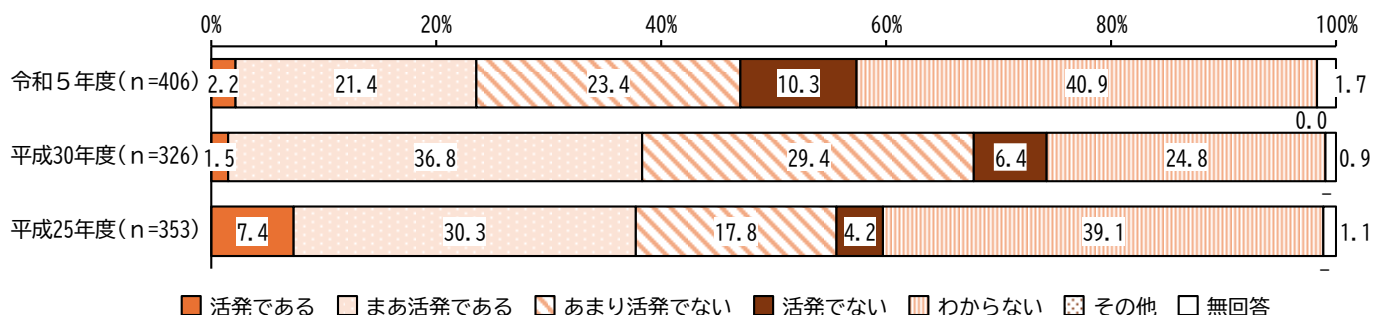
問 49 お住まいの地域における防犯活動は、活発に行われていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

地域の防犯活動については「わからない」(40.9%)が最も多く、次いで「あまり活発でない」(23.4%)、「まあ活発である」(21.4%)となっています。

問 49 地域の防犯活動の状況【経年比較】



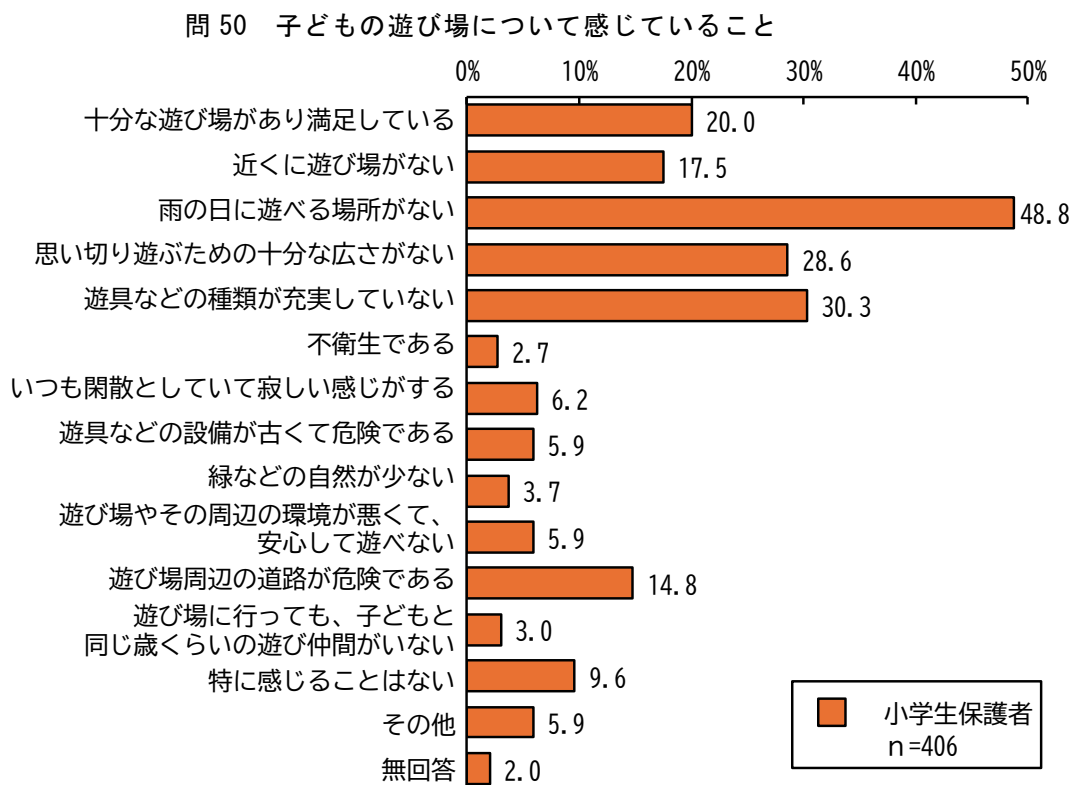
【経年比較】



※平成 25 年度及び平成 30 年度のアンケート調査では「その他」の選択肢はありませんでした。

問 50 お住まいの近くの子どもの遊び場について日頃感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

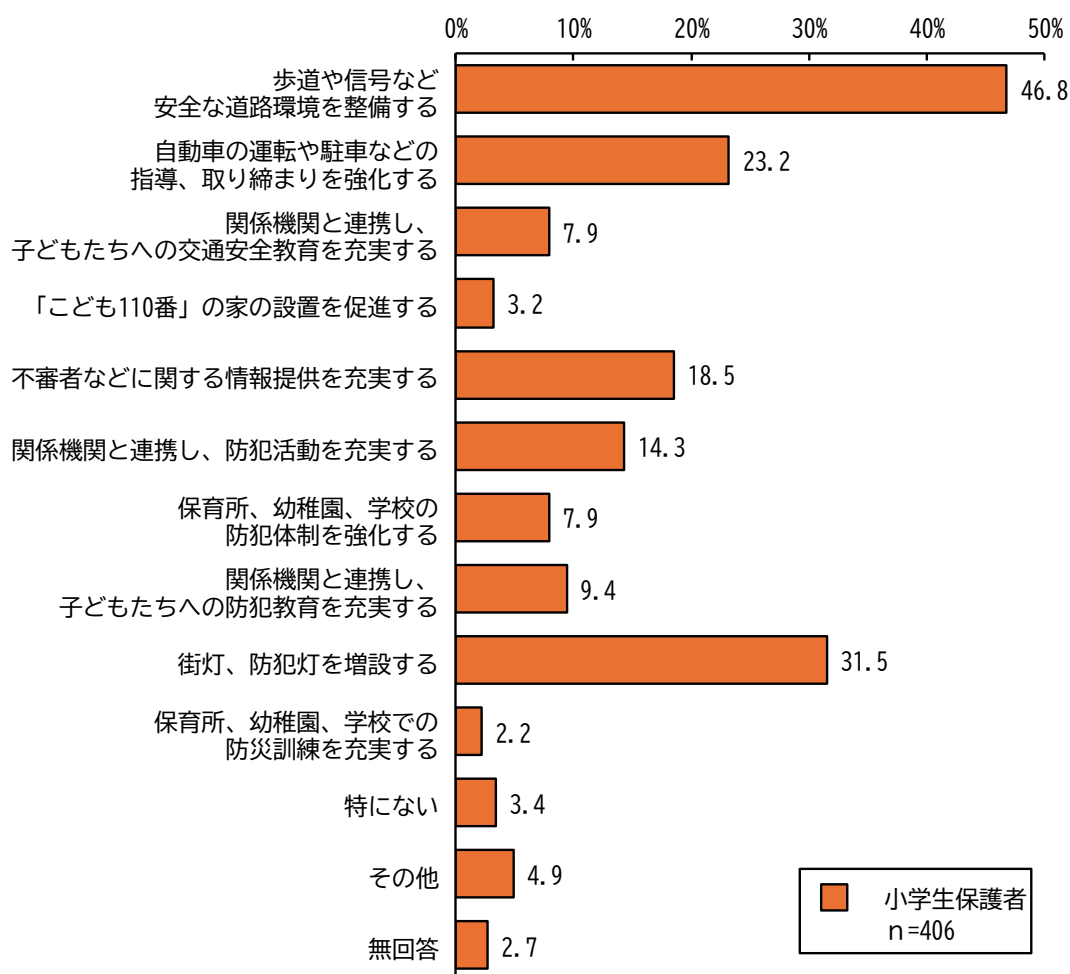
子どもの遊び場について感じていることは「雨の日に遊べる場所がない」(48.8%)が最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(30.3%)、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」(28.6%)となっています。



問 51 子どもたちが地域で安全に暮らせるため、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(主なもの2つまでに○)

地域で安全に暮らせるために力を入れたらよいと思うことは「歩道や信号など安全な道路環境を整備する」(46.8%)が最も多く、次いで「街灯、防犯灯を増設する」(31.5%)、「自動車の運転や駐車などの指導、取り締まりを強化する」(23.2%)となっています。

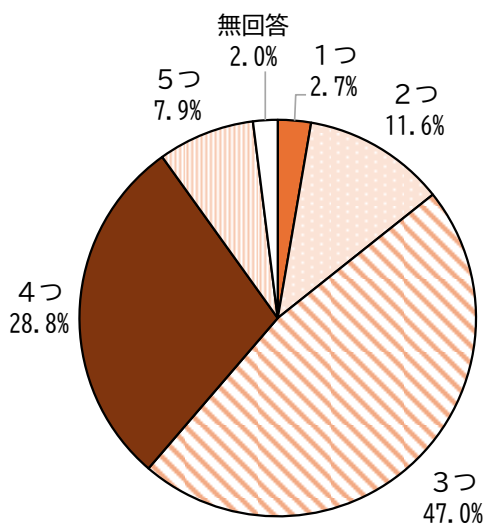
問 51 地域で安全に暮らせるために力を入れたらよいと思うこと



問 52 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。「1」（まったく満足していない）から「5」（十分に満足している）までで評価してください。

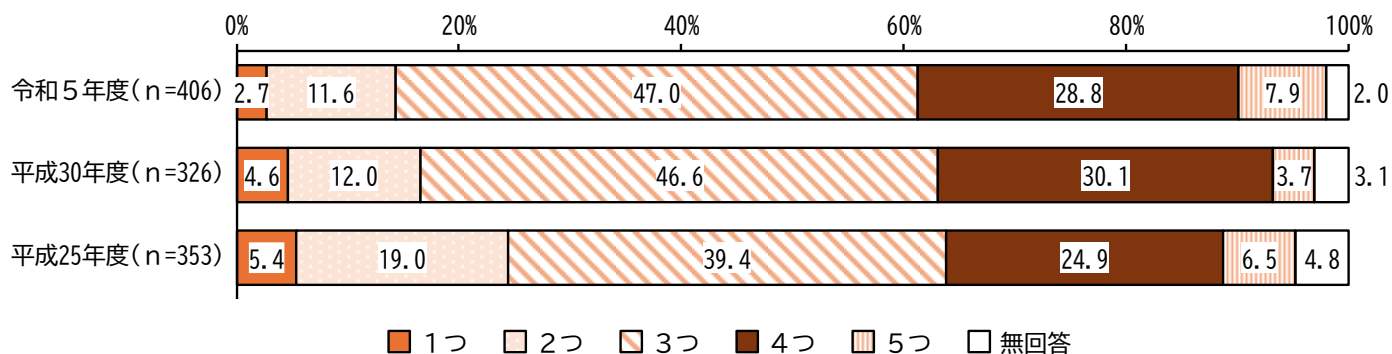
地域の子育て支援の環境や支援への満足度については「3つ」（47.0%）が最も多く、次いで「4つ」（28.8%）、「2つ」（11.6%）となっています。

問 52 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況【経年比較】



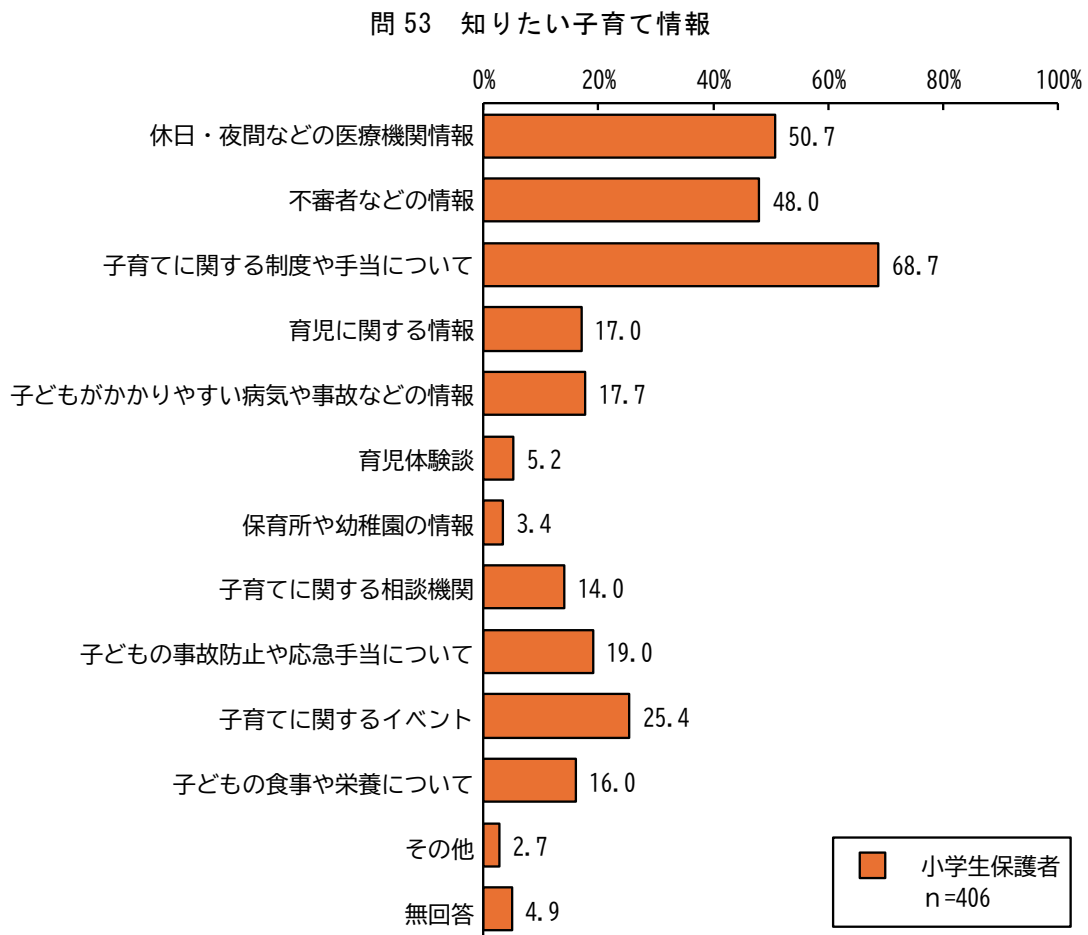
小学生保護者  
n=406

【経年比較】



問 53 あなたは、子育て情報としてどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

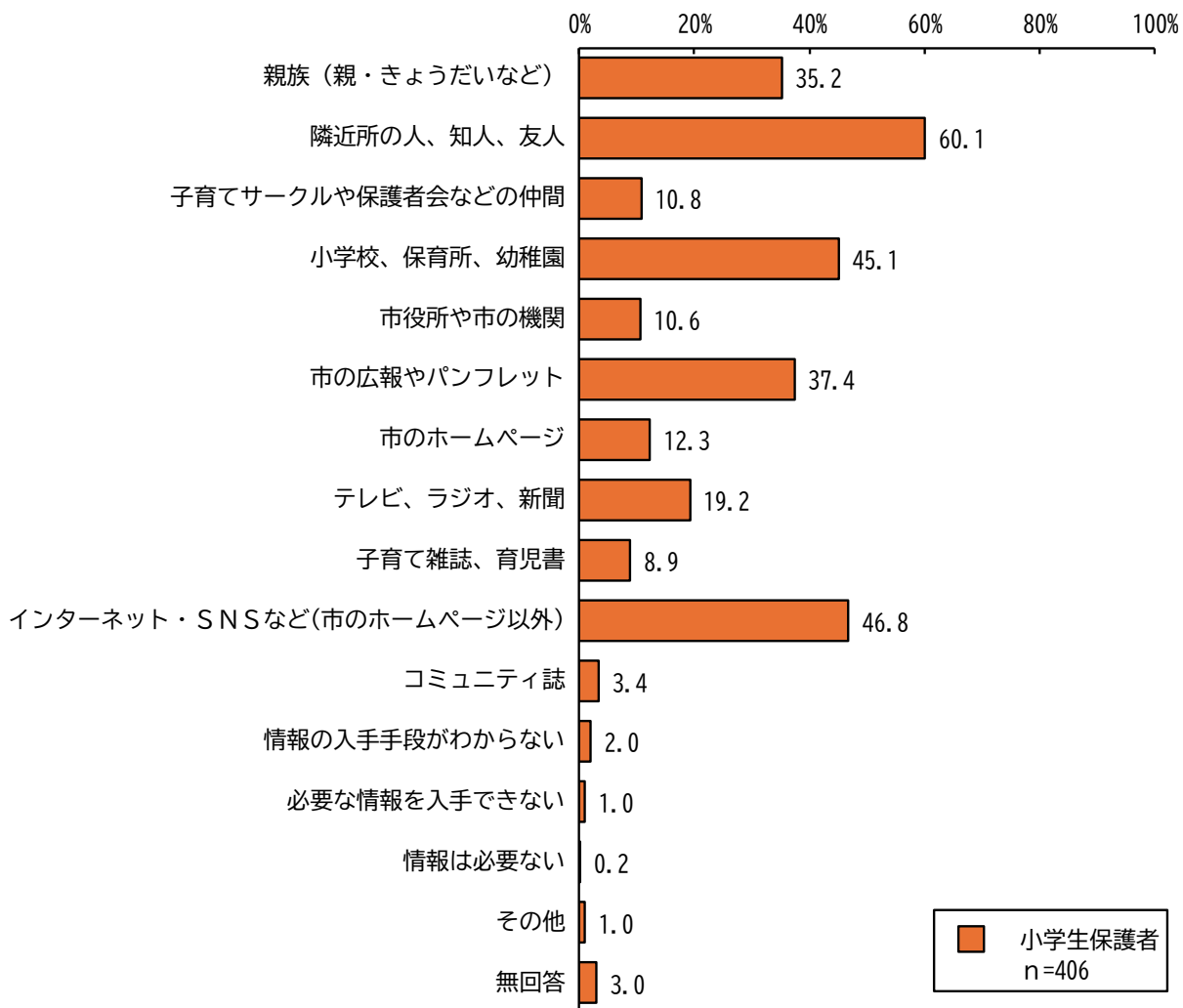
知りたい子育て情報については「子育てに関する制度や手当について」(68.7%)が最も多く、次いで「休日・夜間などの医療機関情報」(50.7%)、「不審者などの情報」(48.0%)となっています。



問 54 あなたは、子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手方法については「隣近所の人、知人、友人」(60.1%)が最も多く、次いで「インターネット・SNSなど(市のホームページ以外)」(46.8%)、「小学校、保育所、幼稚園」(45.1%)となっています。

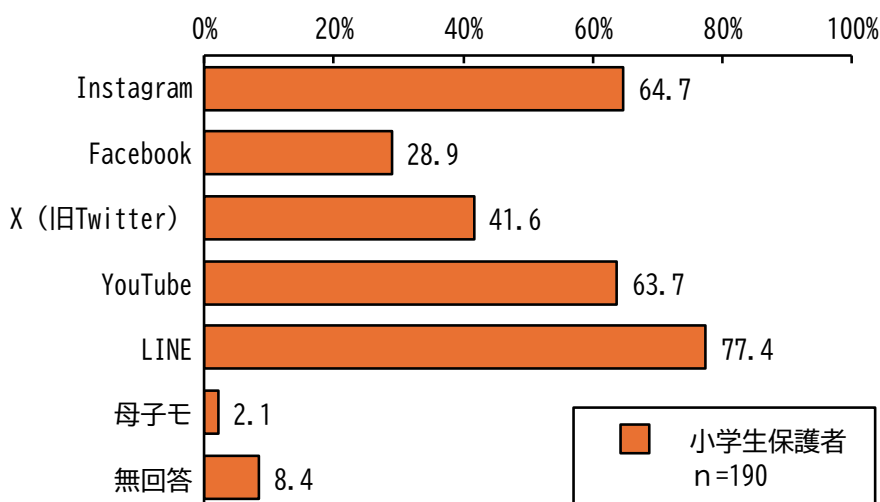
問 54 子育てに関する情報の入手方法



問 54-1 以下のうちどれを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手先は「LINE」(77.4%)が最も多く、次いで「Instagram」(64.7%)、「YouTube」(63.7%)となっています。

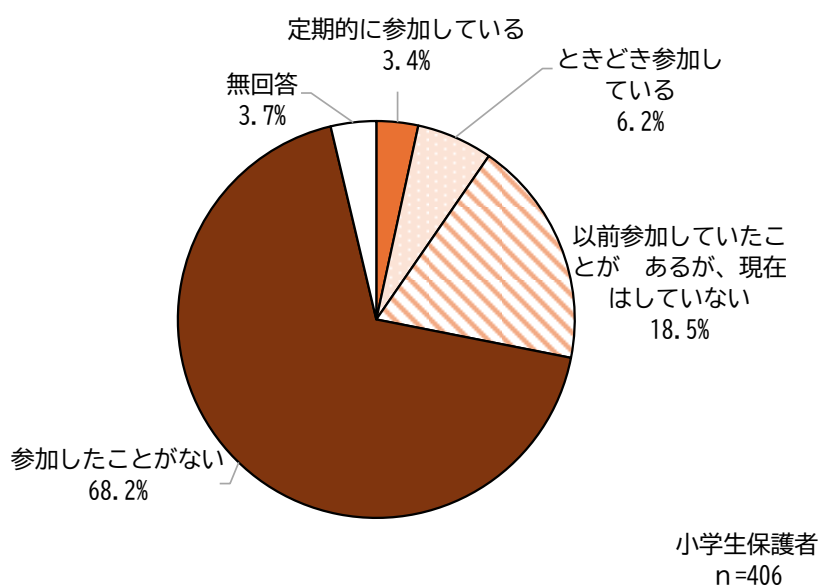
問 54-1 子育てに関する情報の入手先



問 55 あなたは、子育てに関するサークルや自主的な活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

子育てに関するサークルや自主的な活動の参加については「参加したことがない」(68.2%)が最も多く、次いで「以前参加していたことがあるが、現在はしていない」(18.5%)、「ときどき参加している」(6.2%)となっています。

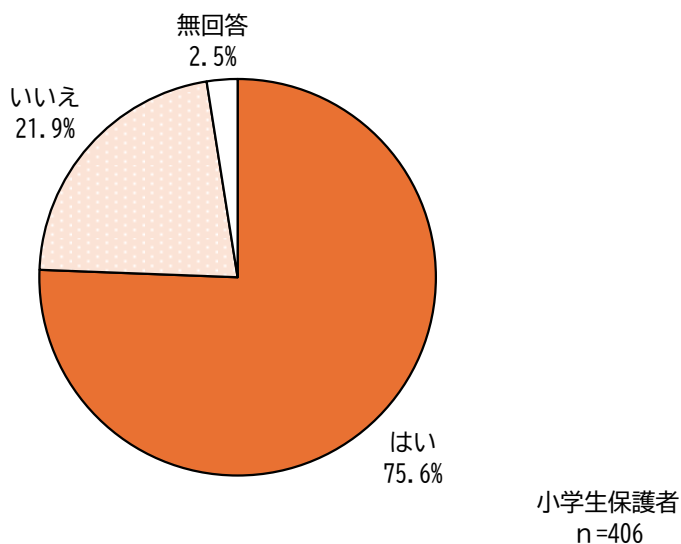
問 55 保護者のサークルや自主的活動の参加状況



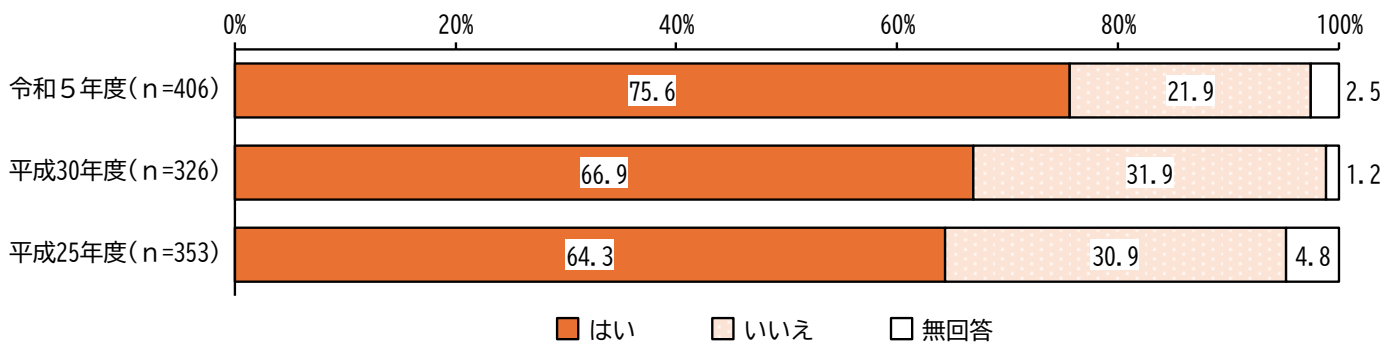
問 56 児童虐待に関する下記の設問について、それぞれ「はい」、「いいえ」のどちらかを選択してください。(1)「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)については「はい」(75.6%)、「いいえ」(21.9%)となっています。

問 56- (1) 「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)を知っているか【経年比較】



【経年比較】

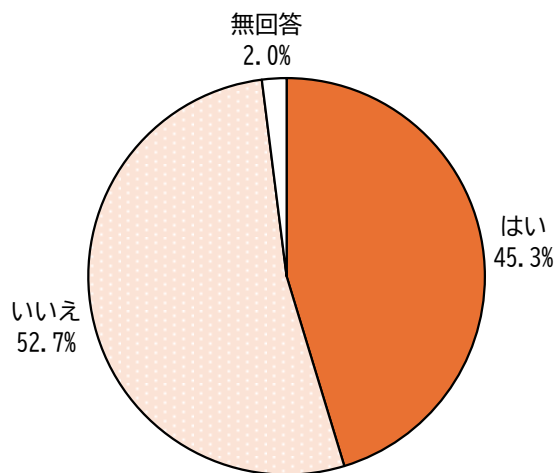




問 56- (2) 児童虐待についての相談先をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

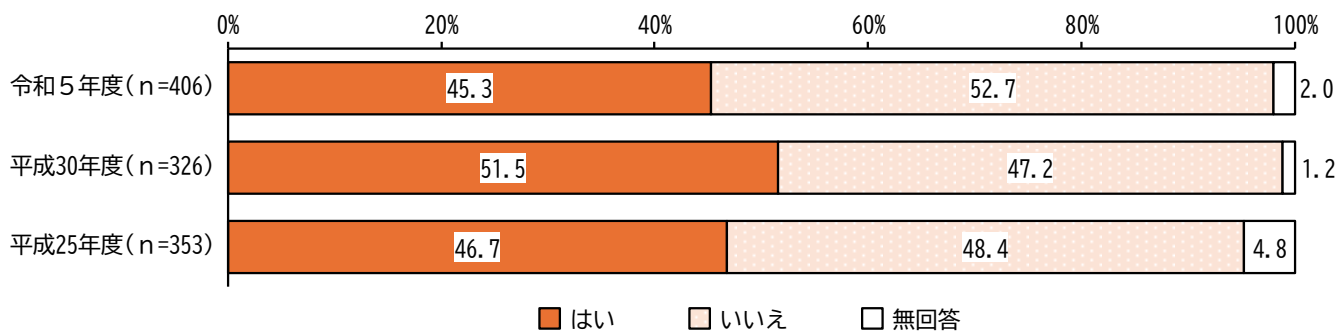
児童虐待の相談先については「いいえ」(52.7%)、「はい」(45.3%) となっています。

問 56- (2) 児童虐待についての相談先を知っているか【経年比較】



小学生保護者  
n=406

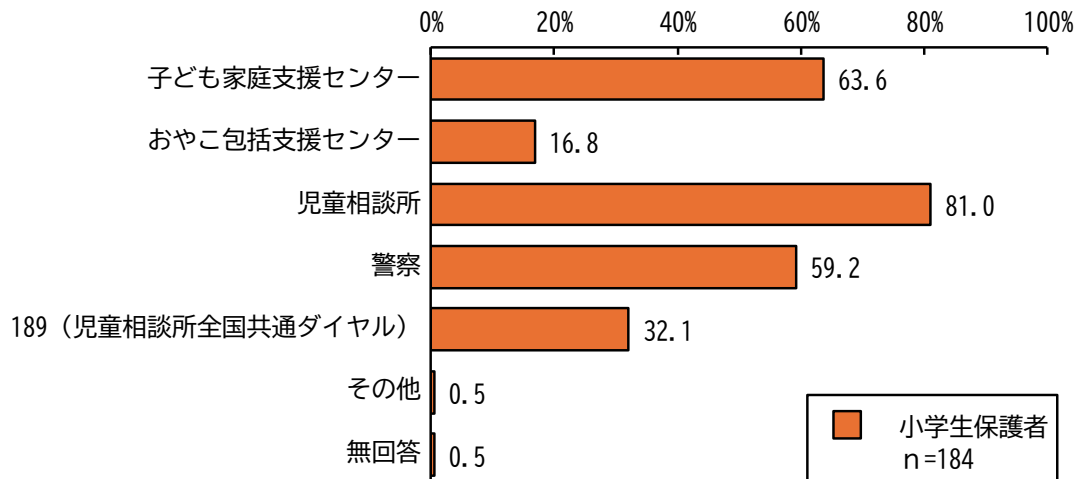
**【経年比較】**



問 56 (2) -1 相談先と考える機関に○をしてください (あてはまるものすべてに○)

児童虐待の相談先と考える機関は「児童相談所」(81.0%)が最も多く、次いで「子ども家庭支援センター」(63.6%)、「警察」(59.2%)となっています。

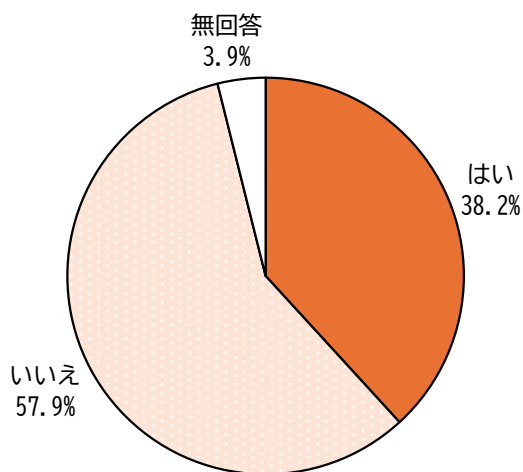
問 56- (2) -1 相談先と考える機関



問 56- (3) 児童虐待を発見した場合の通報先をご存じですか。(あてはまるもの1つに○)

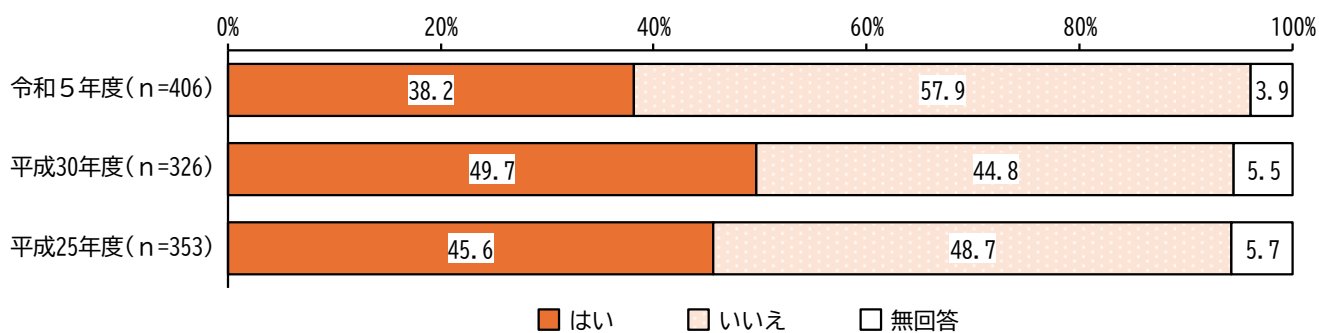
児童虐待を発見した場合の通報先については「いいえ」(57.9%)、「はい」(38.2%)となっています。

問 56- (3) 児童虐待を発見した場合の通報先を知っているか【経年比較】



小学生保護者  
n=406

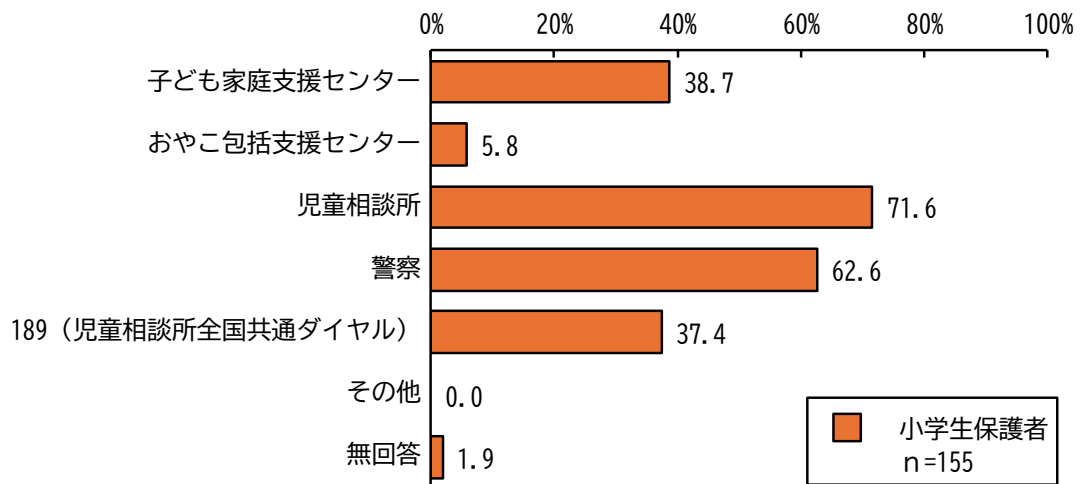
【経年比較】



問 56- (3) -1 通報先と考える機関に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

通報先と考える機関については「児童相談所」(71.6%)が最も多く、次いで「警察」(62.6%)、「子ども家庭支援センター」(38.7%)となっています。

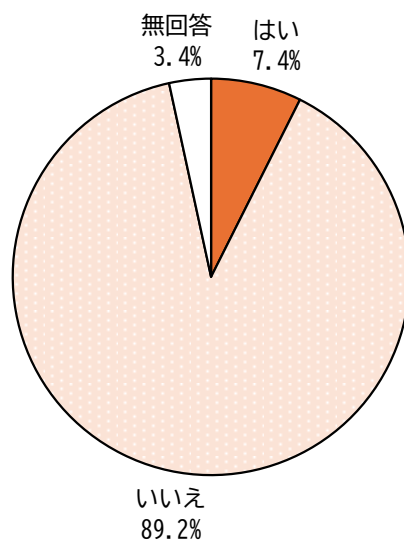
問 56- (3) -1 通報先と考える機関



問 56- (4) 身近で児童虐待と思われるようなことを見かけたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

身近で児童虐待と思われるようなことを見かけたことは「いいえ」(89.2%)、「はい」(7.4%)となっています。

問 56- (4) 身近で児童虐待と思われるようなことを見かけた経験の有無

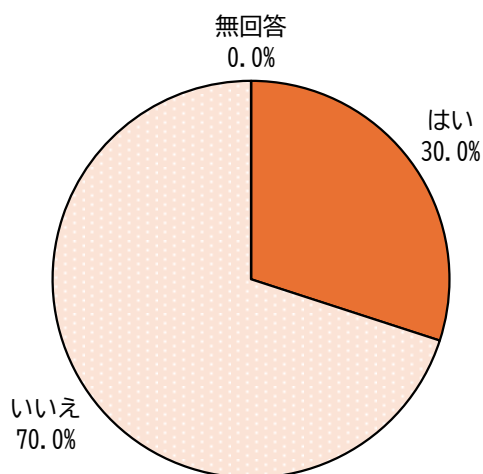


小学生保護者  
n=406

問 56- (4) -1 そのとき公的な機関に通報しましたか。(あてはまるもの1つに○)

公的機関への通報については「いいえ」(70.0%)「はい」(30.0%)となっています。

問 56- (4) -1 公的機関への通報の有無



小学生保護者  
n=30



**第 4 章**  
**小学生・中学生本人**





## 第4章 小学生・中学生本人

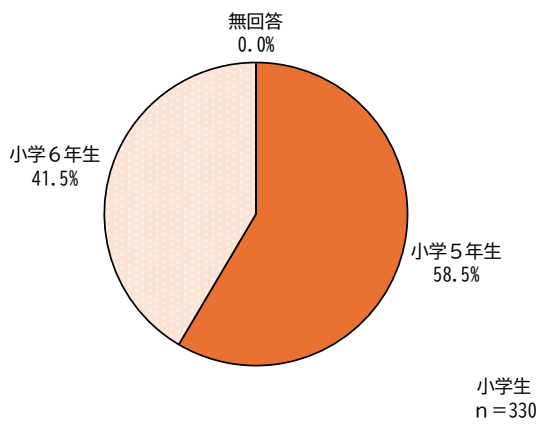
### 1 あなたのことについて

問2 あなたの学年をうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

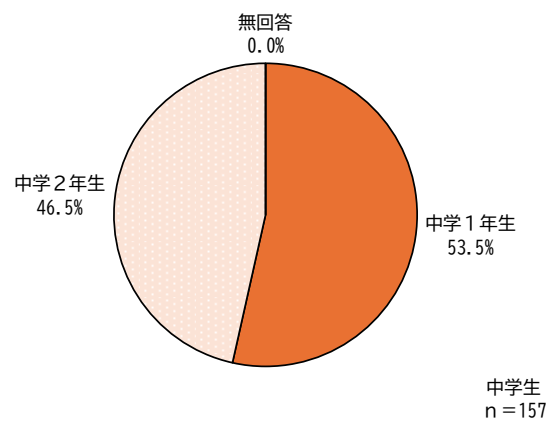
小学生の学年は「小学5年生」(58.5%)、「小学6年生」(41.5%)、となっています。  
中学生の学年は「中学1年生」(53.5%)、「中学2年生」(46.5%)、となっています。

問2 学年

【小学生】



【中学生】



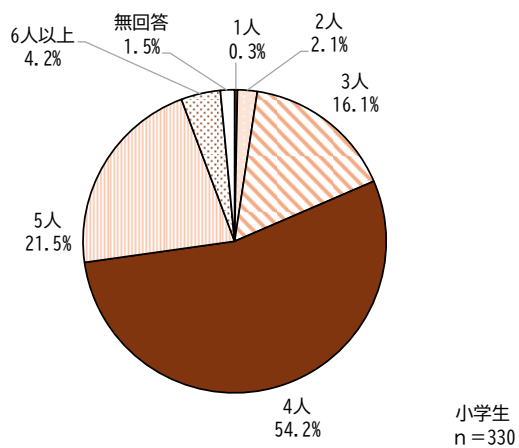
問3 あなたと同居しているご家族の人数を教えてください（あなたも含む）。単身赴任しているご家族も含めてください。

小学生の同居している家族の人数は「4人」（54.2%）、「5人」（21.5%）、「3人」（16.1%）となっています。

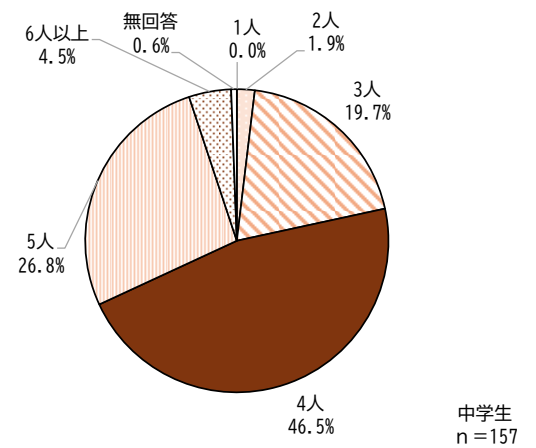
中学生の同居している家族の人数は「4人」（46.5%）、「5人」（26.8%）、「3人」（19.7%）となっています。

問3 同居している家族の人数

**【小学生】**

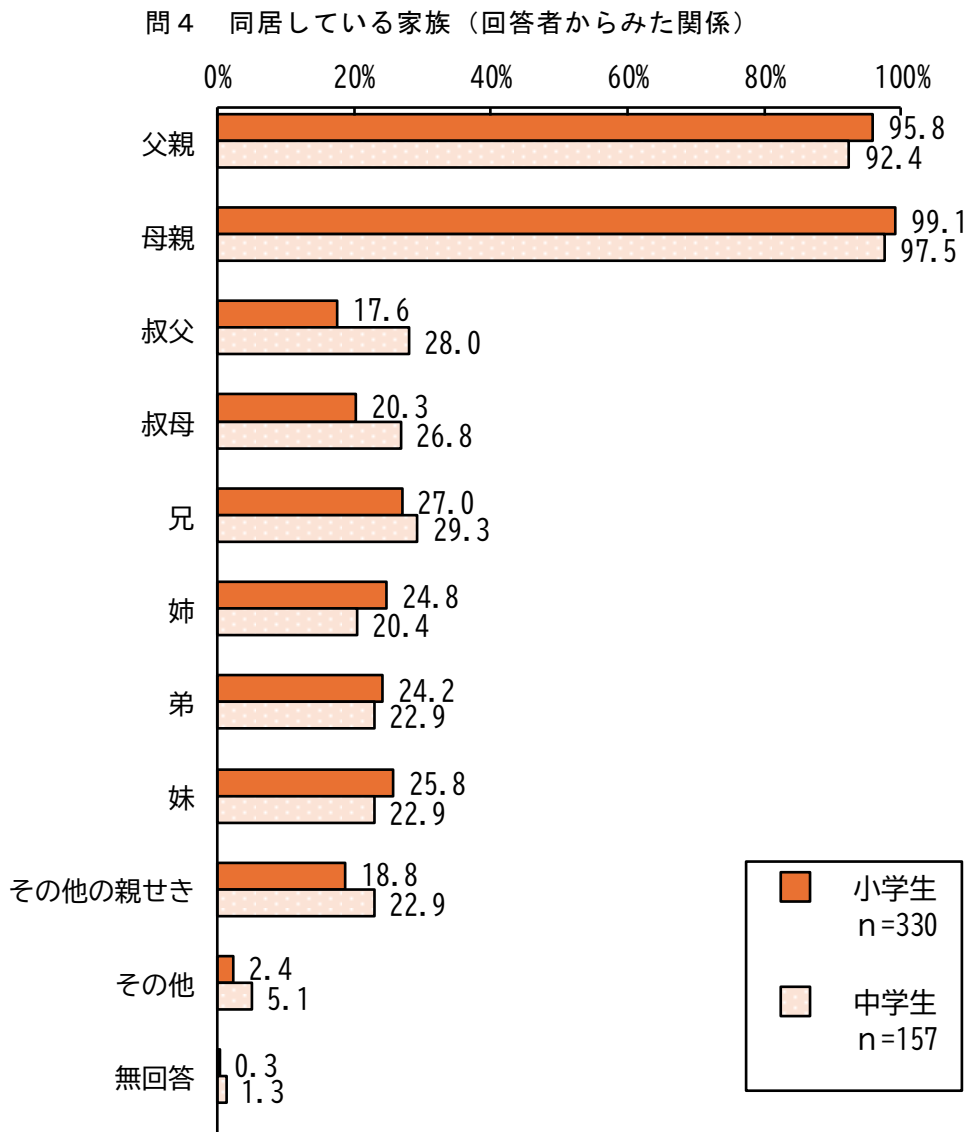


**【中学生】**



問4 あなたと同居している（または約30分以内程度で行き来できる範囲に住んでいる）方についてうかがいます。あなたからみた関係でお答えください。（あてはまるものそれぞれに○を選び、その人数を入力してください）

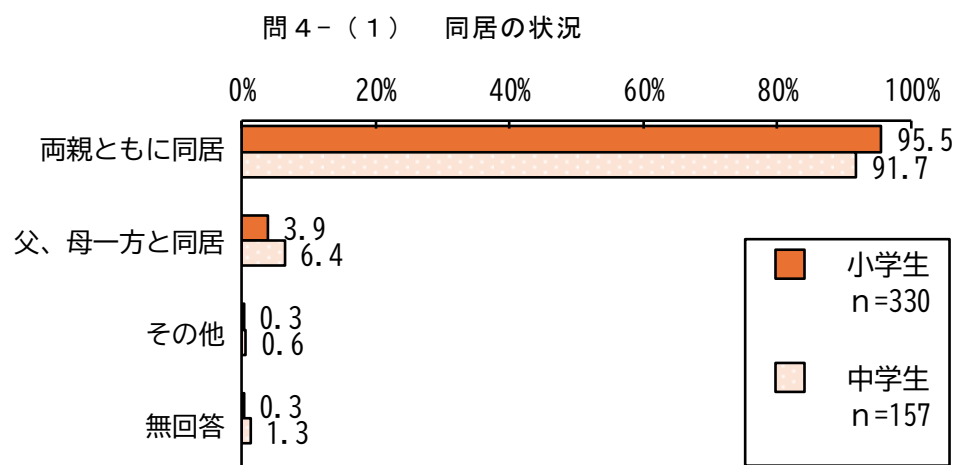
小学生の同居している家族は「母親」（99.1%）、「父親」（95.8%）、「兄」（27.0%）となっています。  
 中学生の同居している家族は「母親」（97.5%）、「父親」（92.4%）、「兄」（29.3%）となっています。



#### 問4-(1) 両親について

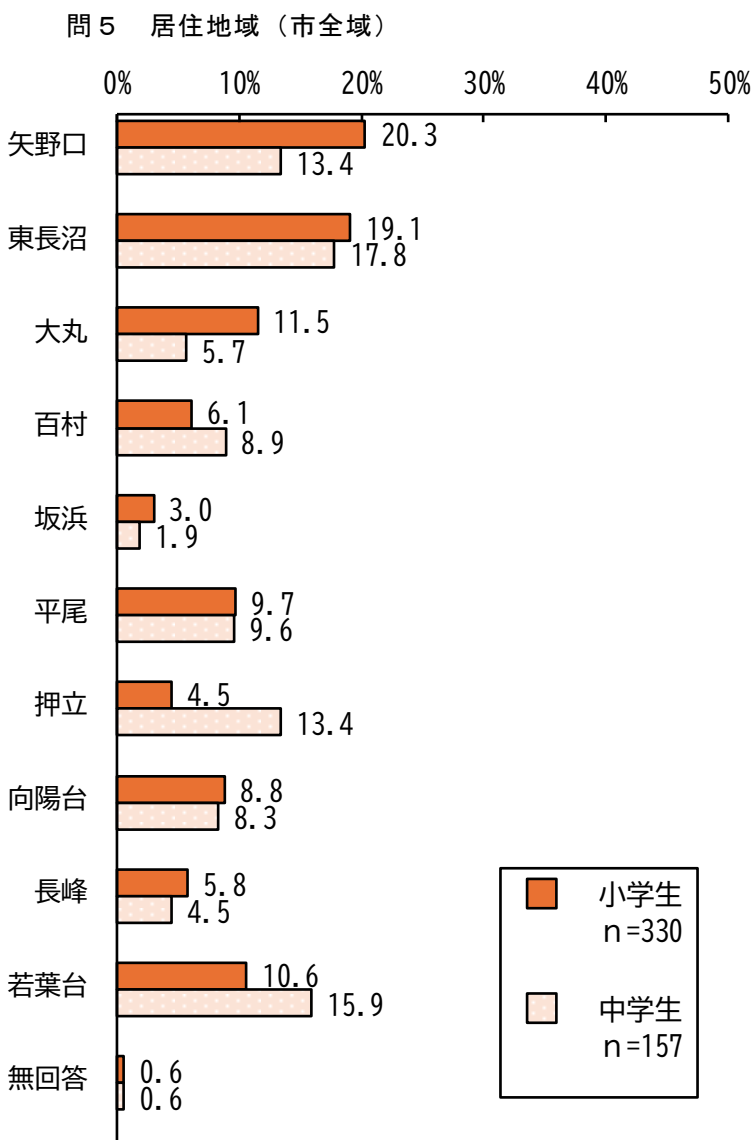
小学生の同居の状況は「両親ともに同居」(95.5%)、「父、母一方と同居」(3.9%)となっています。

中学生の同居の状況は「両親ともに同居」(91.7%)、「父、母一方と同居」(6.4%)となっています。



問5 あなたが住んでいる地区をうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

小学生の住んでいる地区は「矢野口」(20.3%)が最も多く、次いで「東長沼」(19.1%)、「大丸」(11.5%)となっています。  
 中学生の住んでいる地区は「東長沼」(17.8%)が最も多く、次いで「若葉台」(15.9%)、「矢野口」「押立」(各13.4%)となっています。



## 2 日頃の生活について

問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

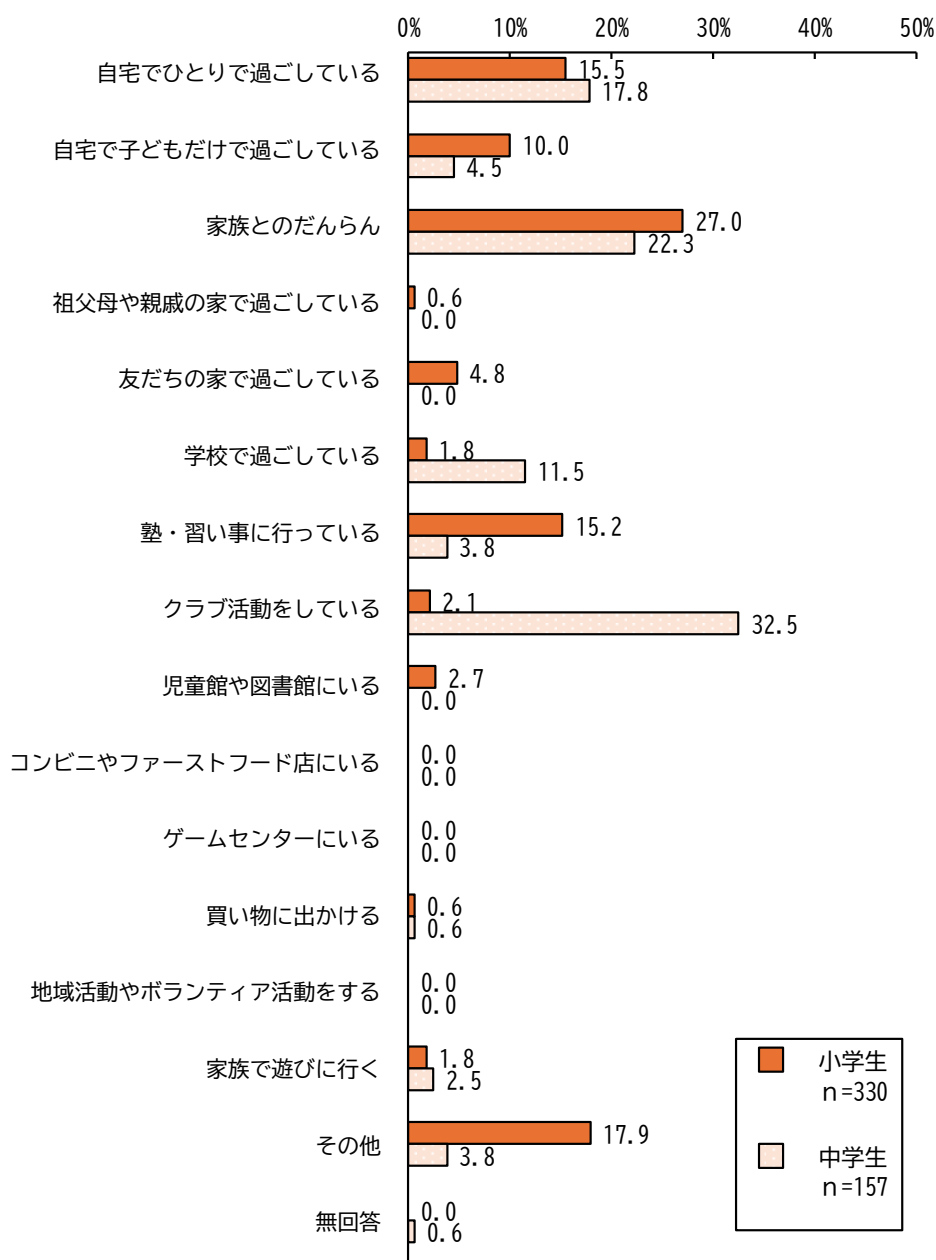
A. 平日の放課後 17時まで

小学生の平日の放課後から17時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(27.0%)が最も多く、次いで「自宅でひとりで過ごしている」(15.5%)となっています。

中学生の平日の放課後から17時までの過ごし方では「クラブ活動をしている」(32.5%)が最も多く、次いで「家族とのだんらん」(22.3%)となっています。

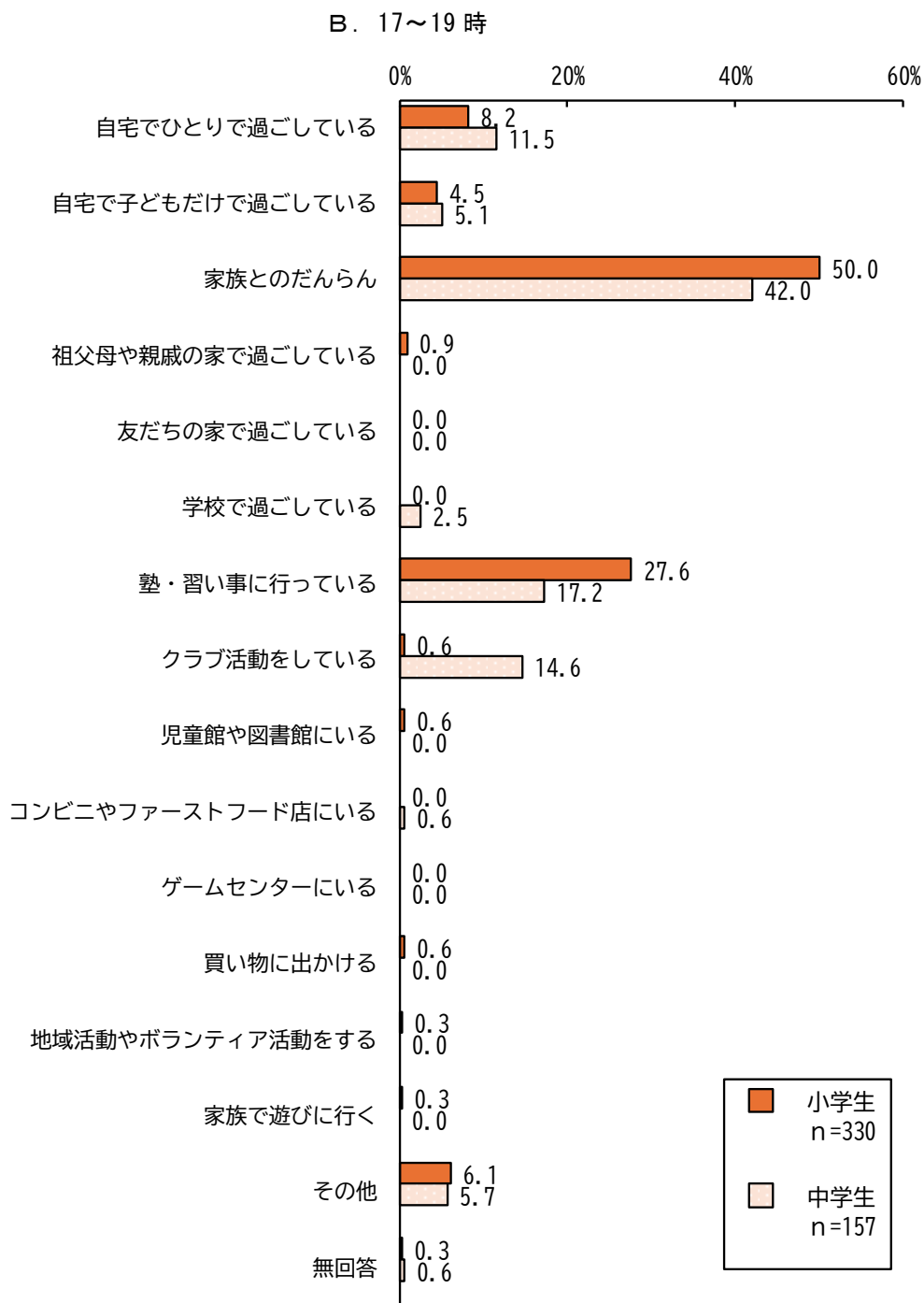
問6 平日の放課後の過ごし方

A. ~17時



問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）  
 B. 平日の放課後 17～19時

小学生の17時から19時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(50.0%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(27.6%)となっています。  
 中学生の17時から19時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(42.0%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(17.2%)となっています。

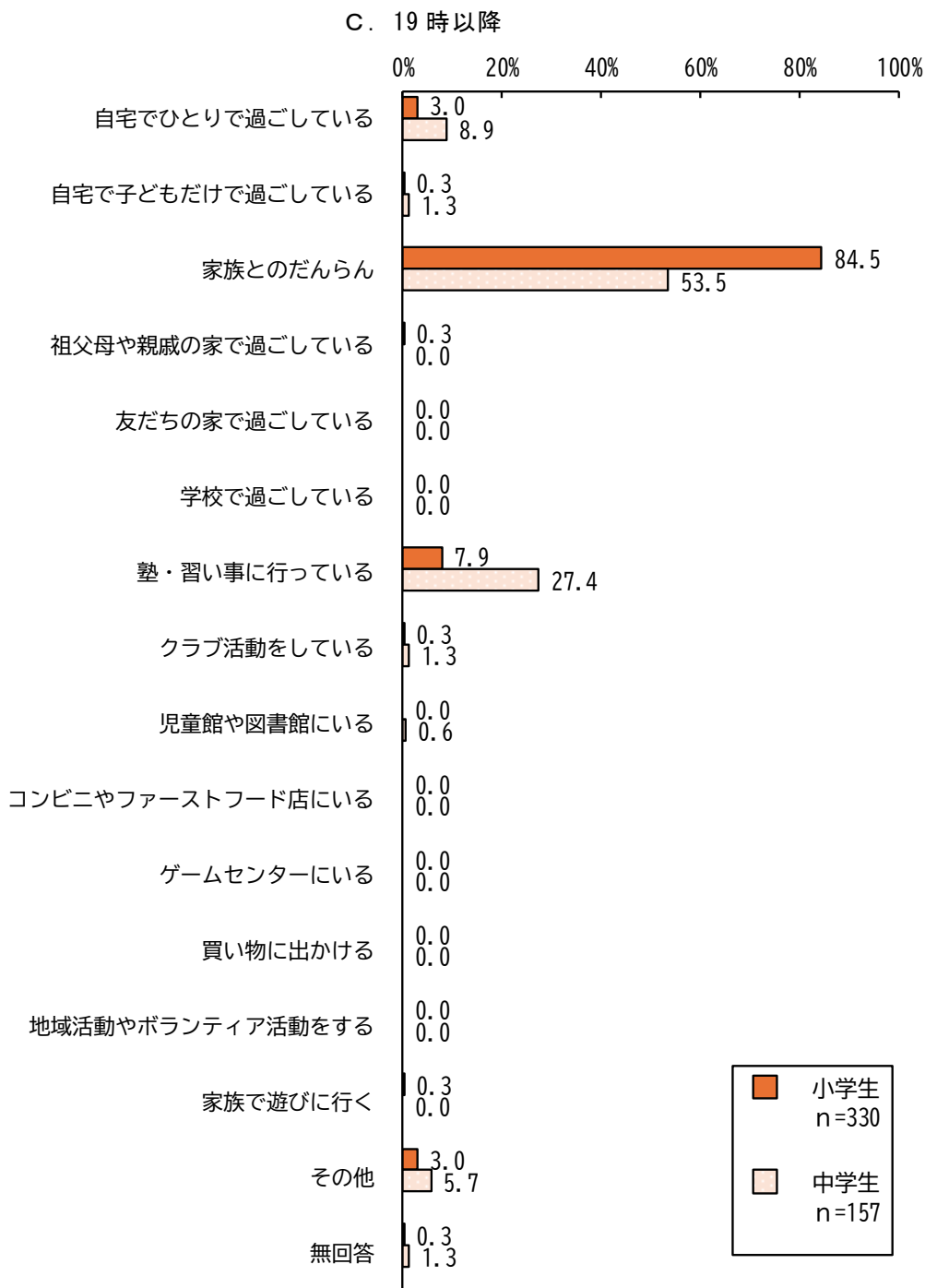


問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

C. 平日の放課後 19時以降

小学生の19時以降の過ごし方では「家族とのだんらん」(84.5%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(7.9%)となっています。

中学生の19時以降の過ごし方では「家族とのだんらん」(53.5%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(27.4%)となっています。

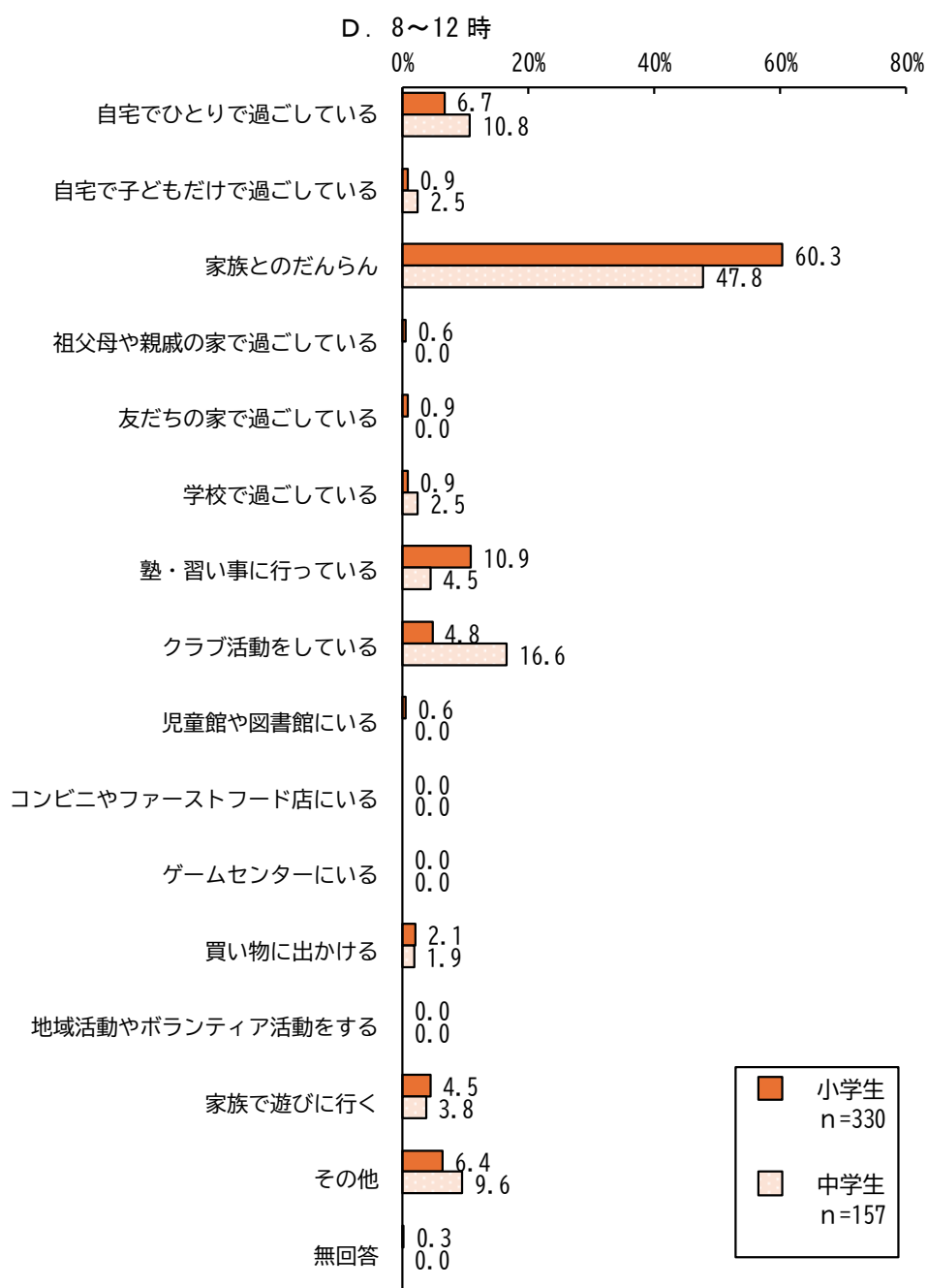




問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）  
D. 土・日・祝日 8～12時

小学生の土・日・祝日の8時から12時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(60.3%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(10.9%)となっています。  
中学生の土・日・祝日の8時から12時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(47.8%)が最も多く、次いで「クラブ活動をしている」(16.6%)となっています。

問6 土・日・祝日の過ごし方

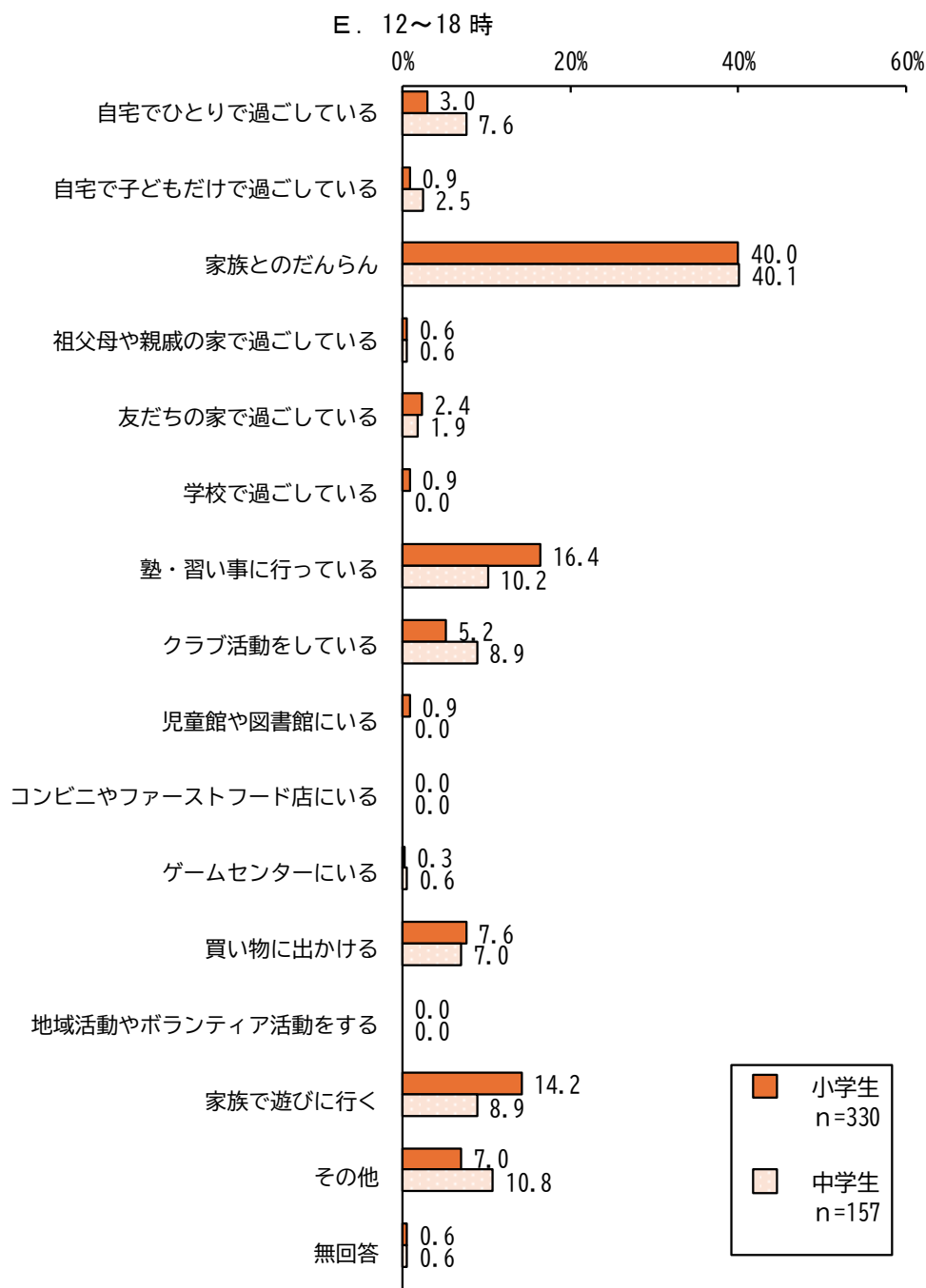


問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

E. 土・日・祝日 12～18時

小学生の土・日・祝日の12時から18時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(40.0%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(16.4%)となっています。

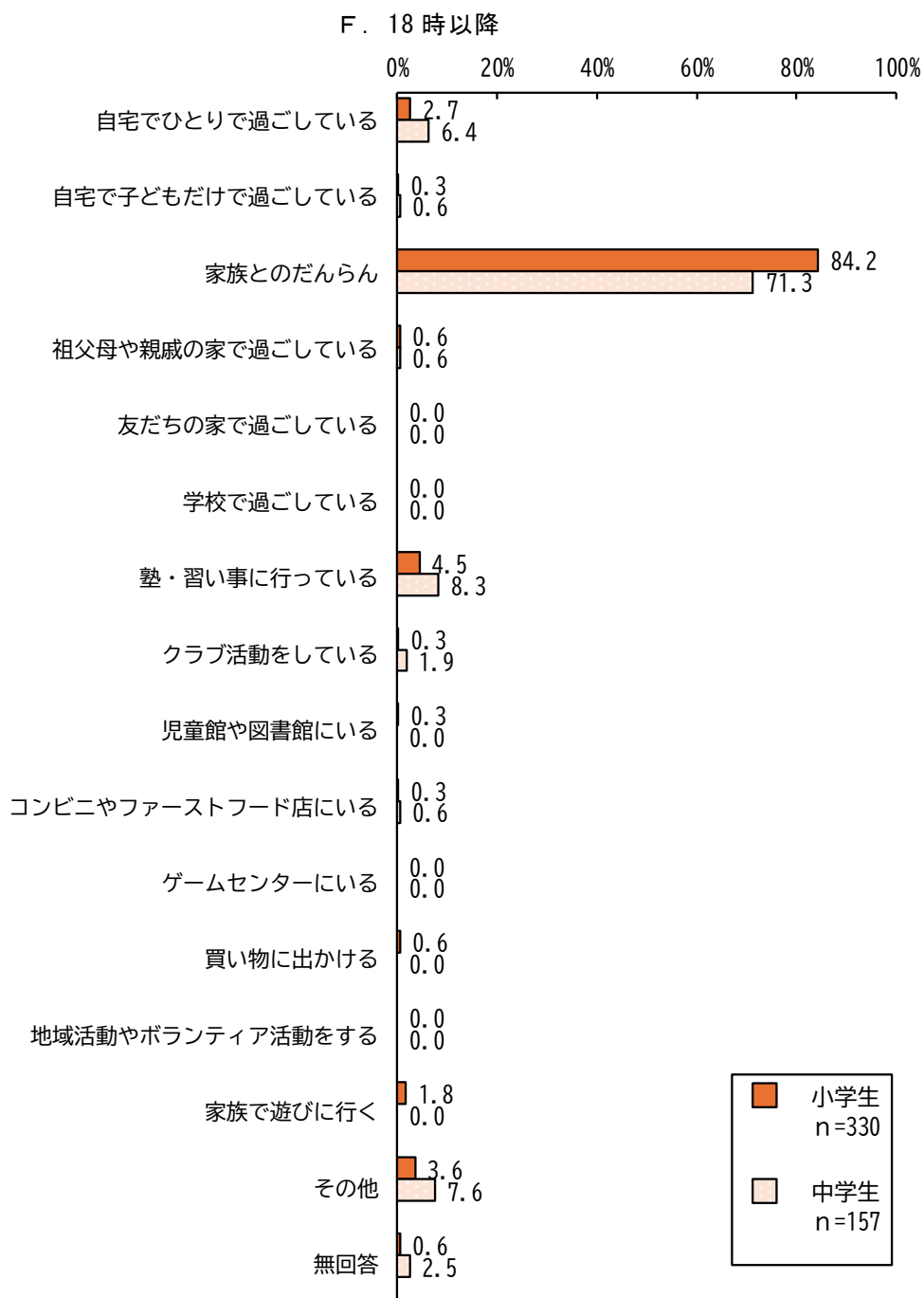
中学生の土・日・祝日の12時から18時までの過ごし方では「家族とのだんらん」(40.1%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(10.2%)となっています。



問6 あなたは、放課後や土・日・祝日をどのように過ごすことが多いですか？時間帯ごとに一番多い過ごし方を○してください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

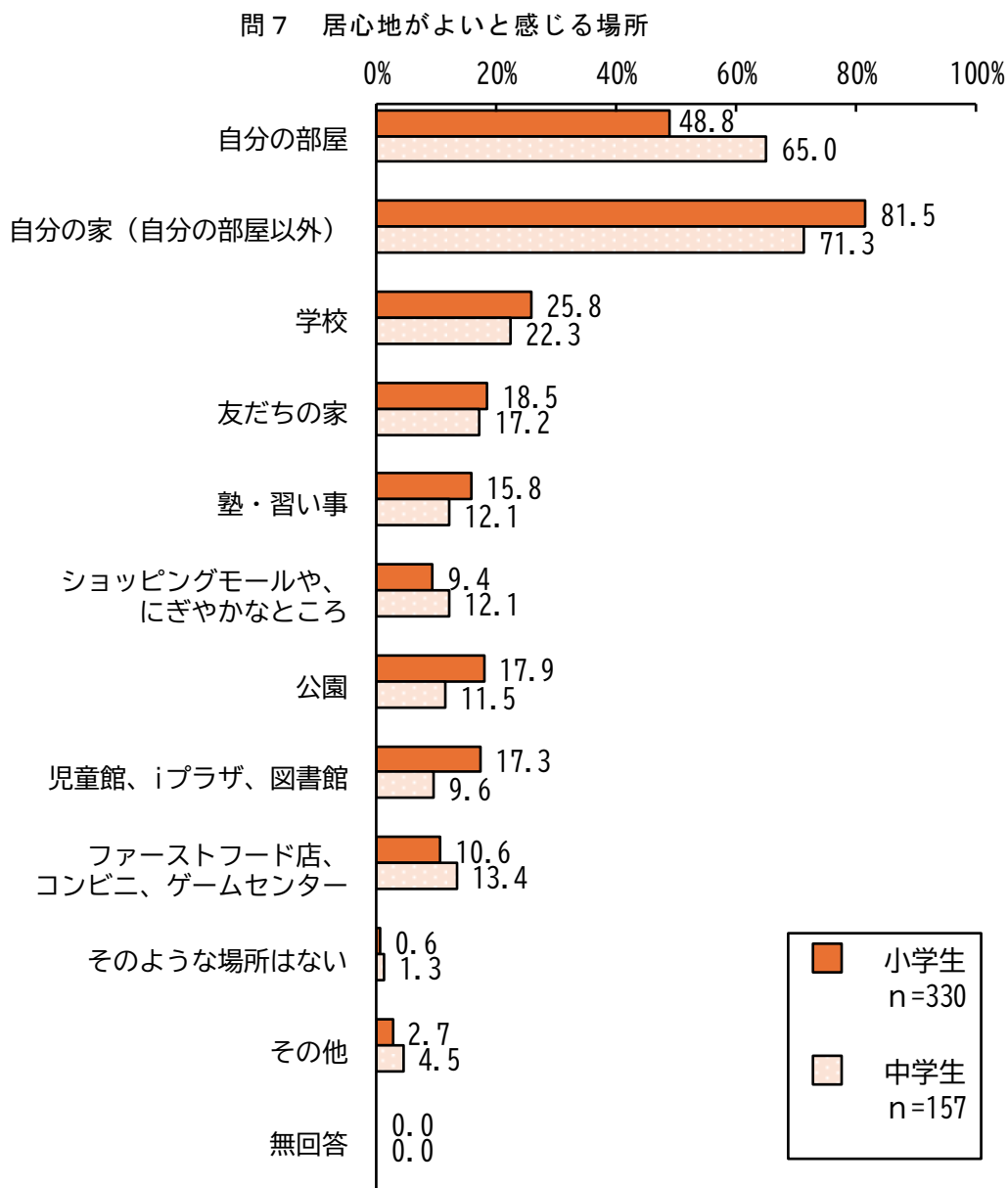
F. 土・日・祝日 18時以降

小学生の土・日・祝日の18時以降の過ごし方では「家族とのだんらん」(84.2%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(4.5%)となっています。  
 中学生の土・日・祝日の18時以降の過ごし方では「家族とのだんらん」(71.3%)が最も多く、次いで「塾・習い事に行っている」(8.3%)となっています。



問7 あなたが居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

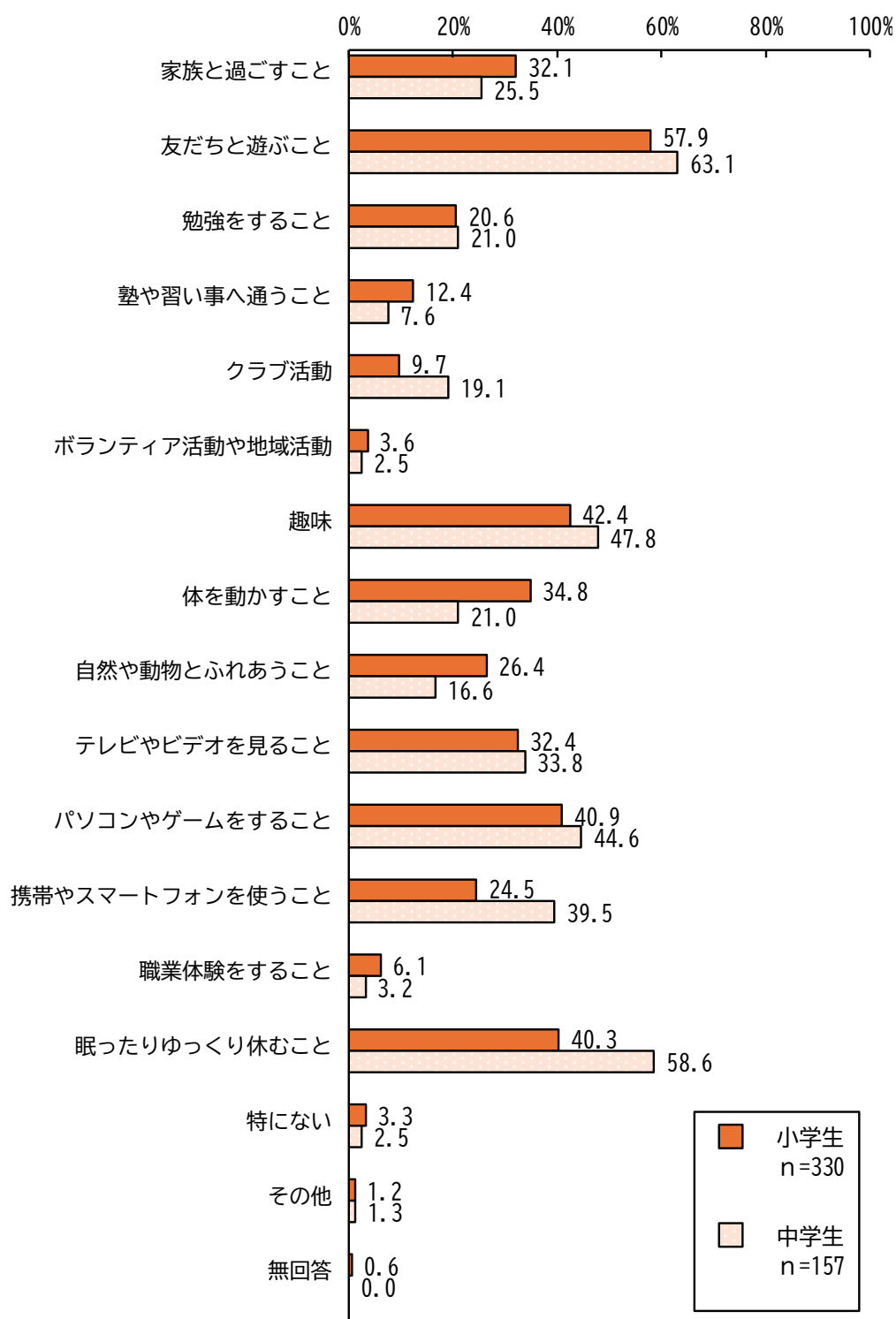
小学生の居心地がよいと感じる場所では「自分の家（自分の部屋以外）」（81.5%）が最も多く、次いで「自分の部屋」（48.8%）となっています。  
 中学生の居心地がよいと感じる場所では「自分の家（自分の部屋以外）」（71.3%）が最も多く、次いで「自分の部屋」（65.0%）となっています。



問8 あなたが日頃、もっとしたいと思っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の日頃もっとしたいと思っていることは「友だちと遊ぶこと」(57.9%)が最も多く、次いで「趣味」(42.4%)となっています。  
 中学生の日頃もっとしたいと思っていることは「友だちと遊ぶこと」(63.1%)が最も多く、次いで「眠ったりゆっくり休むこと」(58.6%)となっています。

問8 日頃、もっとしたいと思っていること

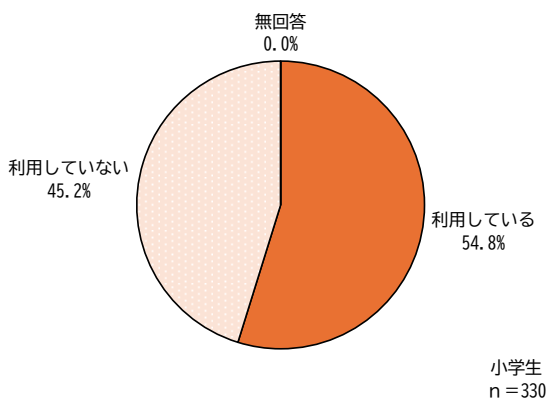


問9 あなたは、稲城市内の図書館を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

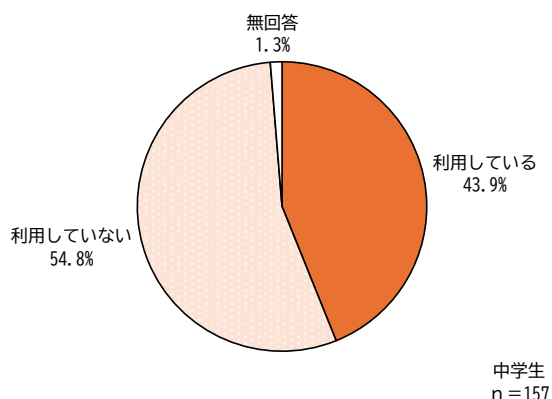
小学生の稲城市内の図書館の利用状況は「利用している」(54.8%)となっています。  
 中学生の稲城市内の図書館の利用状況は「利用している」(43.9%)となっており、前回調査と比較して微減しています。

問9 稲城市内の図書館の利用状況【経年比較】

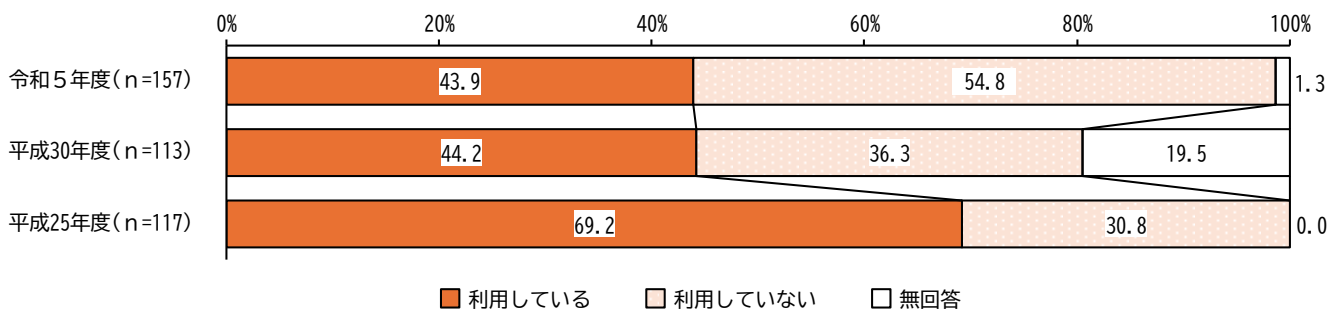
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ

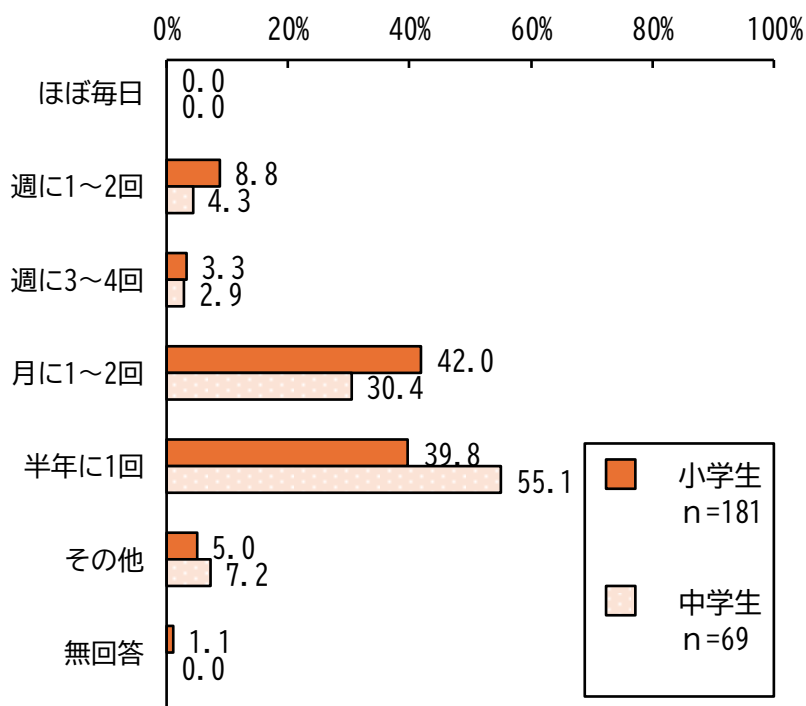


問9-(1) どのくらい稲城市内の図書館を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

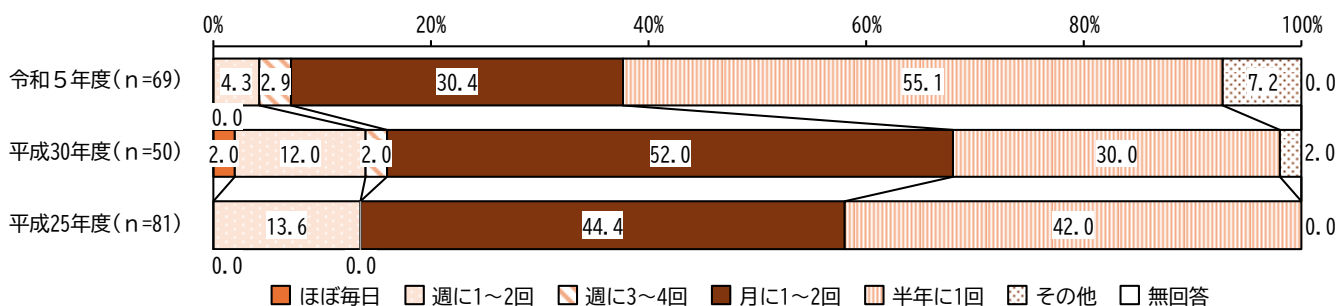
小学生の稲城市内の図書館の利用頻度は「月に1～2回」(42.0%)が最も多く、次いで「半年に1回」(39.8%)となっています。

中学生の稲城市内の図書館の利用頻度は「半年に1回」(55.1%)が最も多く、前回調査と比較して増加しています。「月に1～2回」は30.4%となっており、前回調査よりも減少しています。

問9-(1) 稲城市内の図書館の利用頻度【経年比較】



【経年比較】※中学生調査のみ

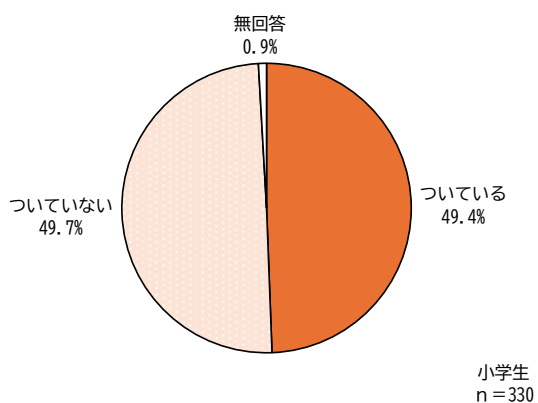


問 10 あなたは、読書の習慣がついていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

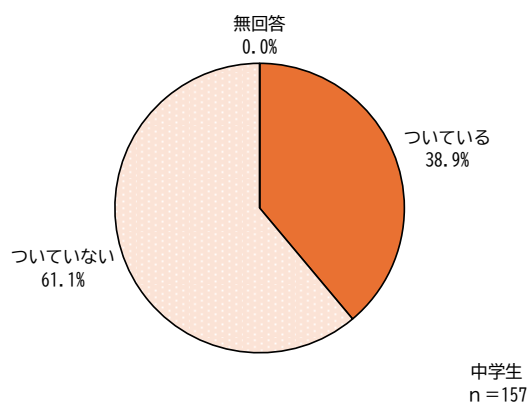
小学生の読書の習慣については「ついている」(49.4%)、「ついていない」(49.7%)となっています。  
 中学生の読書の習慣については「ついている」(38.9%)、「ついていない」(61.1%)となっています。「ついている」は前回調査と比べて減少しています。

問 10 読書の習慣について【経年比較】

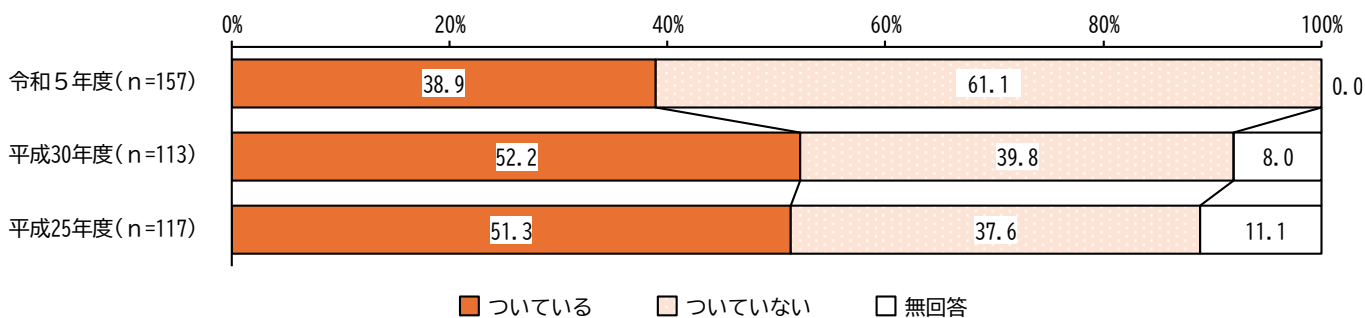
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ



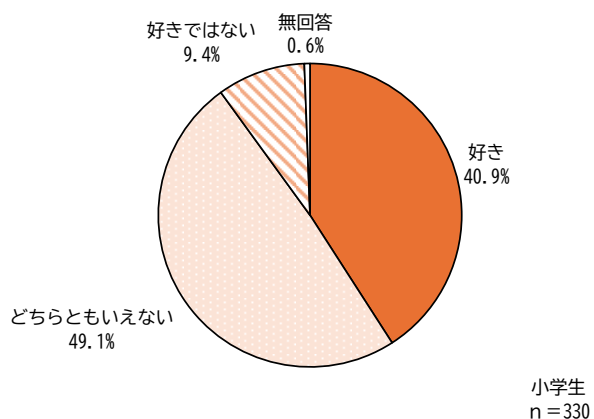


問 11 あなたは、自分自身のことが好きですか。(あてはまるもの1つに○)

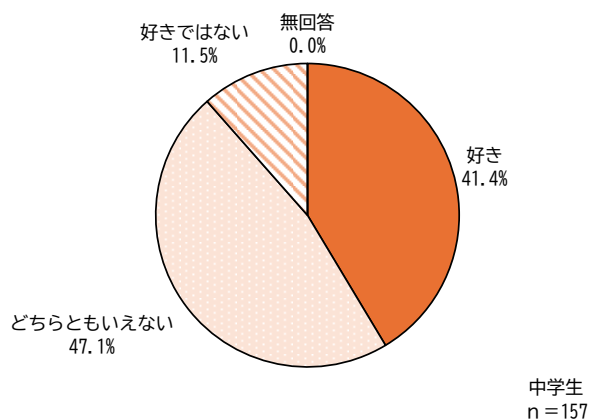
小学生の自分自身のことを好きかどうかでは「どちらともいえない」(49.1%)、「好き」(40.9%)となっています。  
 中学生の自分自身のことを好きかどうかでは「どちらともいえない」が47.1%で、前回調査と比較して減少しており、「好き」が41.4%で、前回から増加しています。

問 11 自分自身のことが好きか【経年比較】

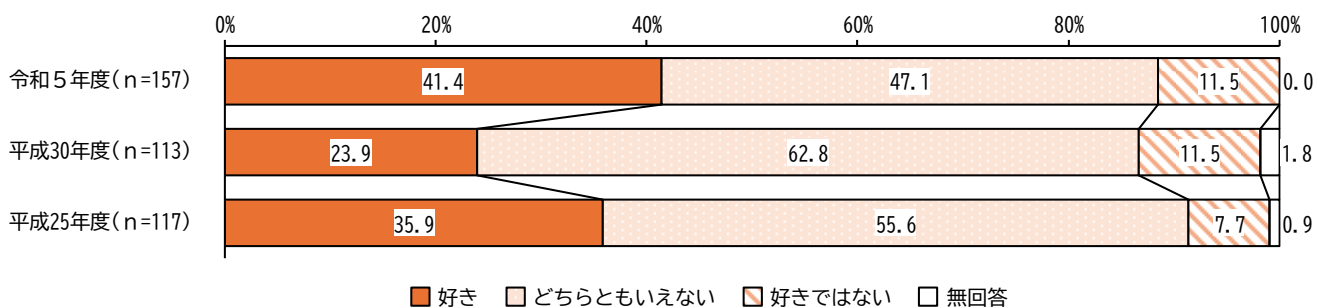
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ

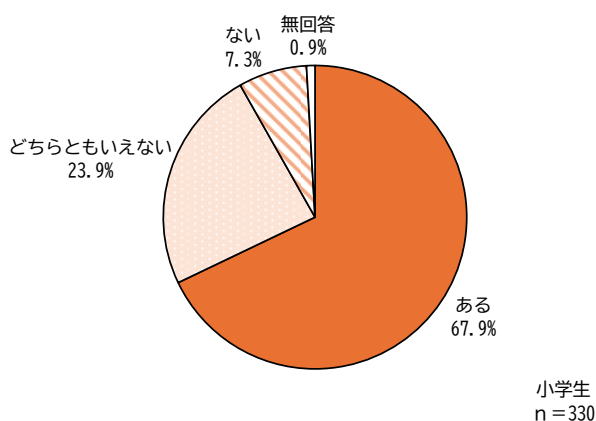


問 12 あなたは、食事のことについて関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

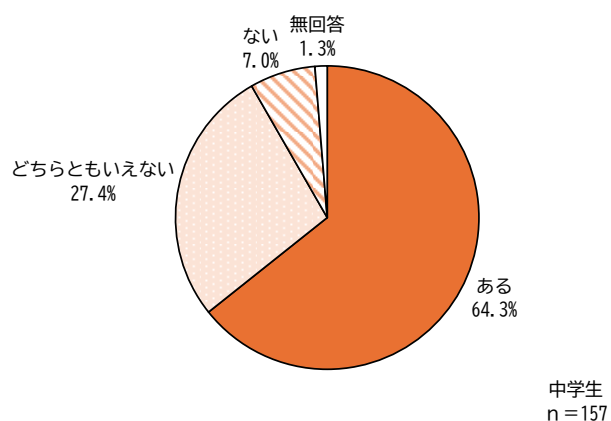
小学生の食事への関心の有無は「ある」(67.9%)、「どちらともいえない」(23.9%)となっています。  
 中学生の食事への関心の有無は「ある」(64.3%)、「どちらともいえない」(27.4%)となっています。前回調査と比較して、「ある」が増加し、「ない」が減少しています。

問 12 食事への関心の有無【経年比較】

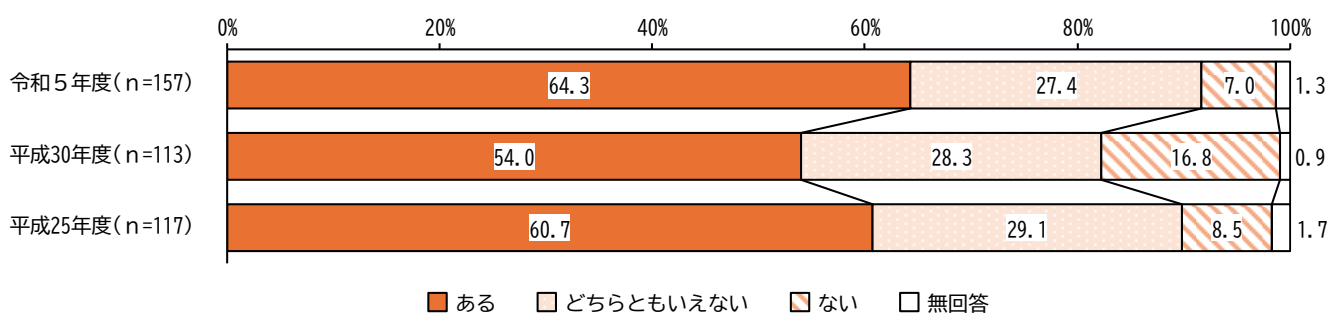
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ

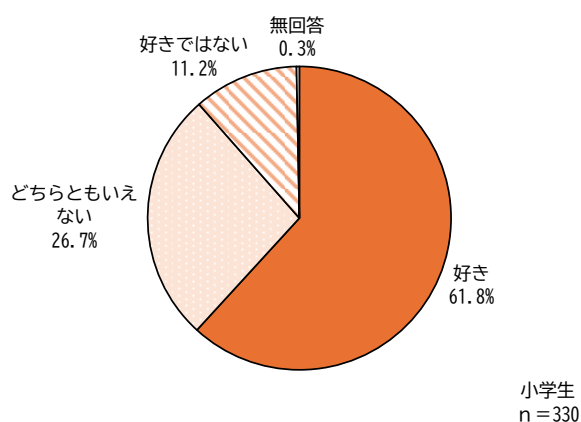


問 13 あなたは、食品の栄養的な特徴を勉強することや調理実習などを行うことが好きですか。(あてはまるもの1つに○)

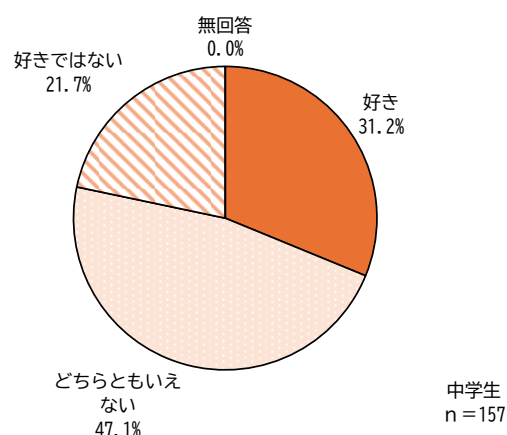
小学生の食品の栄養的な特徴を勉強することや調理実習などを行うことが好きかでは「好き」(61.8%)、「どちらともいえない」(26.7%)となっています。  
 中学生の食品の栄養的な特徴を勉強することや調理実習などを行うことが好きかでは「どちらともいえない」が47.1%で、前回調査と比較して微増しており、「好き」は31.2%で、前回から微増しています。

問 13 食品の栄養的な特徴を勉強することや調理実習などを行うことが好きか【経年比較】

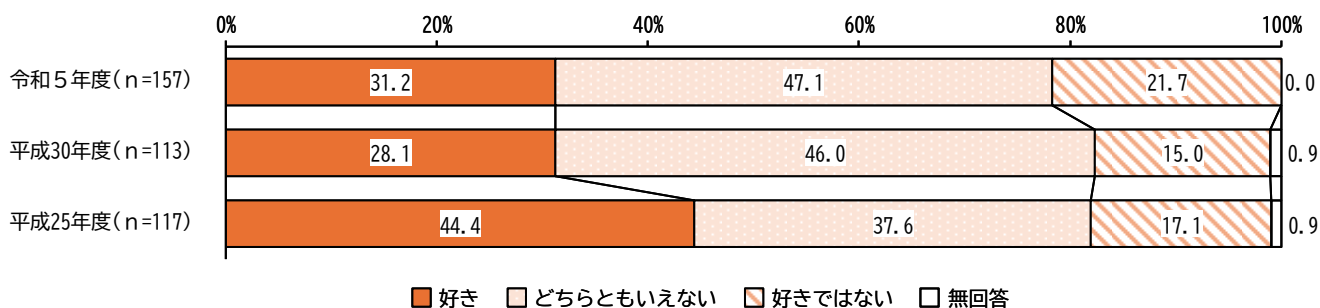
【小学生】



【中学生】



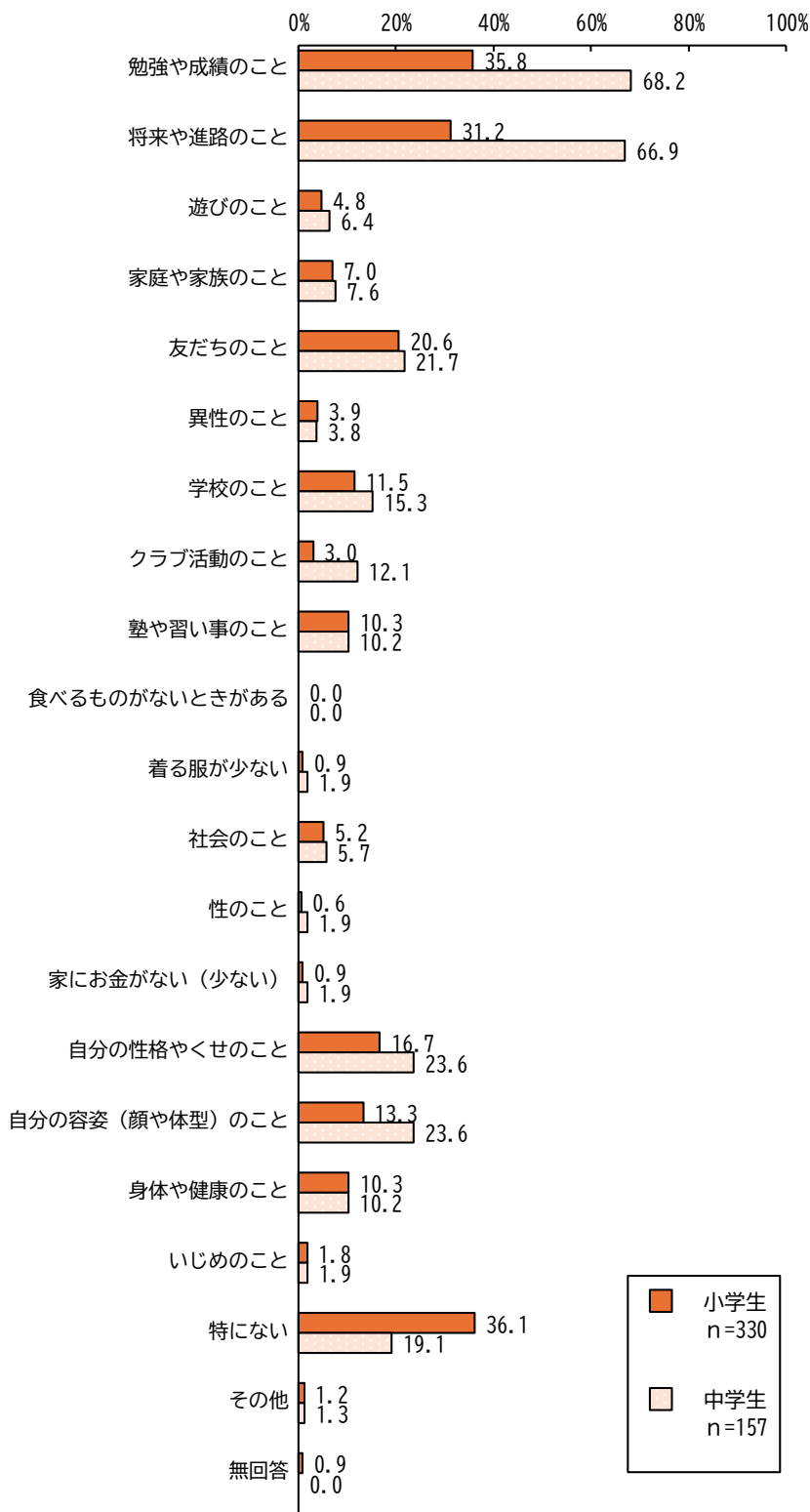
【経年比較】※中学生調査のみ



問 14 あなたは今、不安に思うことや悩んでいることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の不安に思うことや悩んでいることは「特にない」(36.1%)が最も多く、次いで「勉強や成績のこと」(35.8%)となっています。  
 中学生の不安に思うことや悩んでいることは「勉強や成績のこと」(68.2%)が最も多く、次いで「将来や進路のこと」(66.9%)となっています。

問 14 不安に思うことや悩んでいること

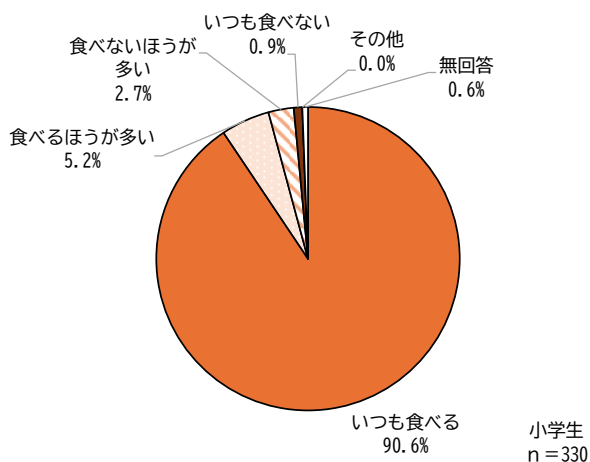


問 15 あなたは、普段（月曜日～金曜日）毎日、朝食を食べますか。（あてはまるもの1つに○）

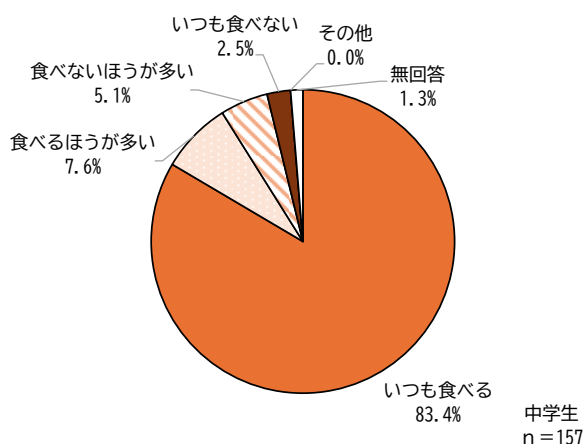
小学生の普段（月曜日～金曜日）毎日朝食を食べるかは「いつも食べる」（90.6%）が最も多く、次いで「食べるほうが多い」（5.2%）となっています。  
 中学生の普段（月曜日～金曜日）毎日朝食を食べるかは「いつも食べる」（83.4%）が最も多く、次いで「食べるほうが多い」（7.6%）となっています。

問 15 普段（月曜日～金曜日）毎日朝食を食べるか

【小学生】



【中学生】

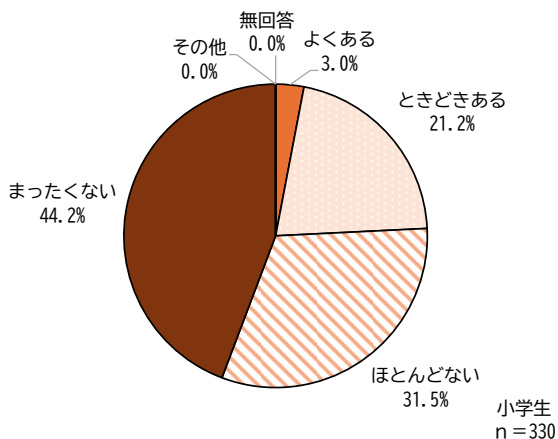


問 16 あなたは、家でひとりで食事をすることがありますか。（あてはまるもの1つに○）

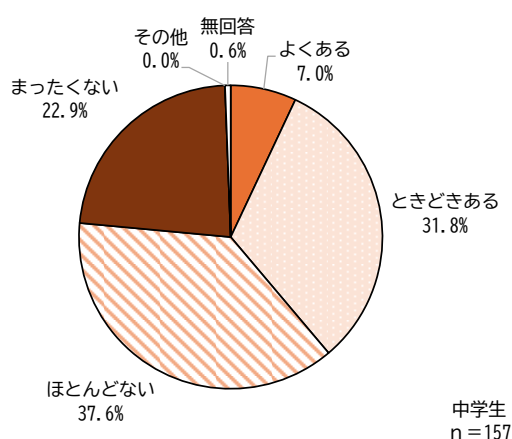
小学生の家でひとりで食事をするものの有無は「まったくない」（44.2%）が最も多く、次いで「ほとんどない」（31.5%）となっています。  
 中学生の家でひとりで食事をするものの有無は「ほとんどない」（37.6%）が最も多く、次いで「ときどきある」（31.8%）となっています。

問 16 家でひとりで食事をするものの有無

【小学生】



【中学生】



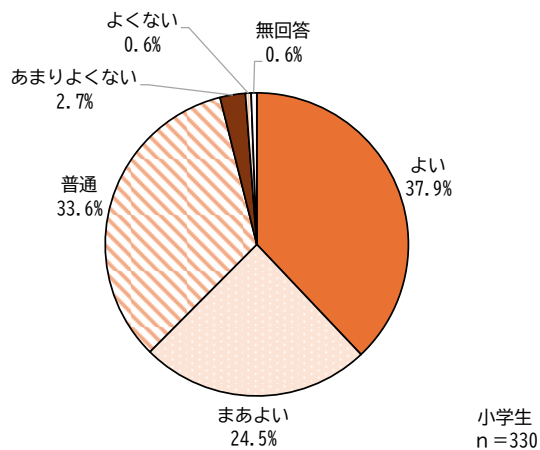
問 17 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の自分の健康状態については「よい」(37.9%)が最も多く、次いで「普通」(33.6%)となっています。

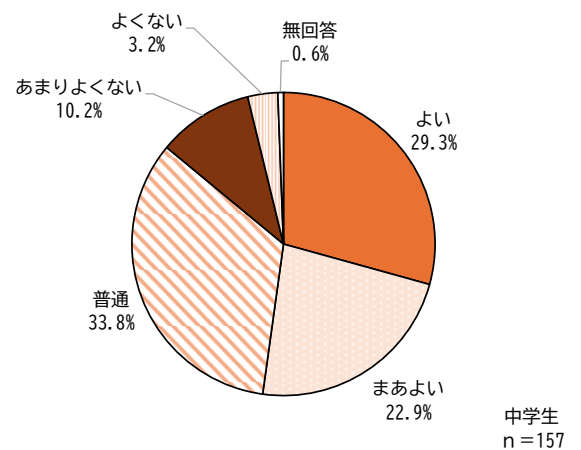
中学生の自分の健康状態については「普通」(33.8%)が最も多く、次いで「よい」(29.3%)となっています。

問 17 自分の健康状態についてどう感じているか

**【小学生】**



**【中学生】**

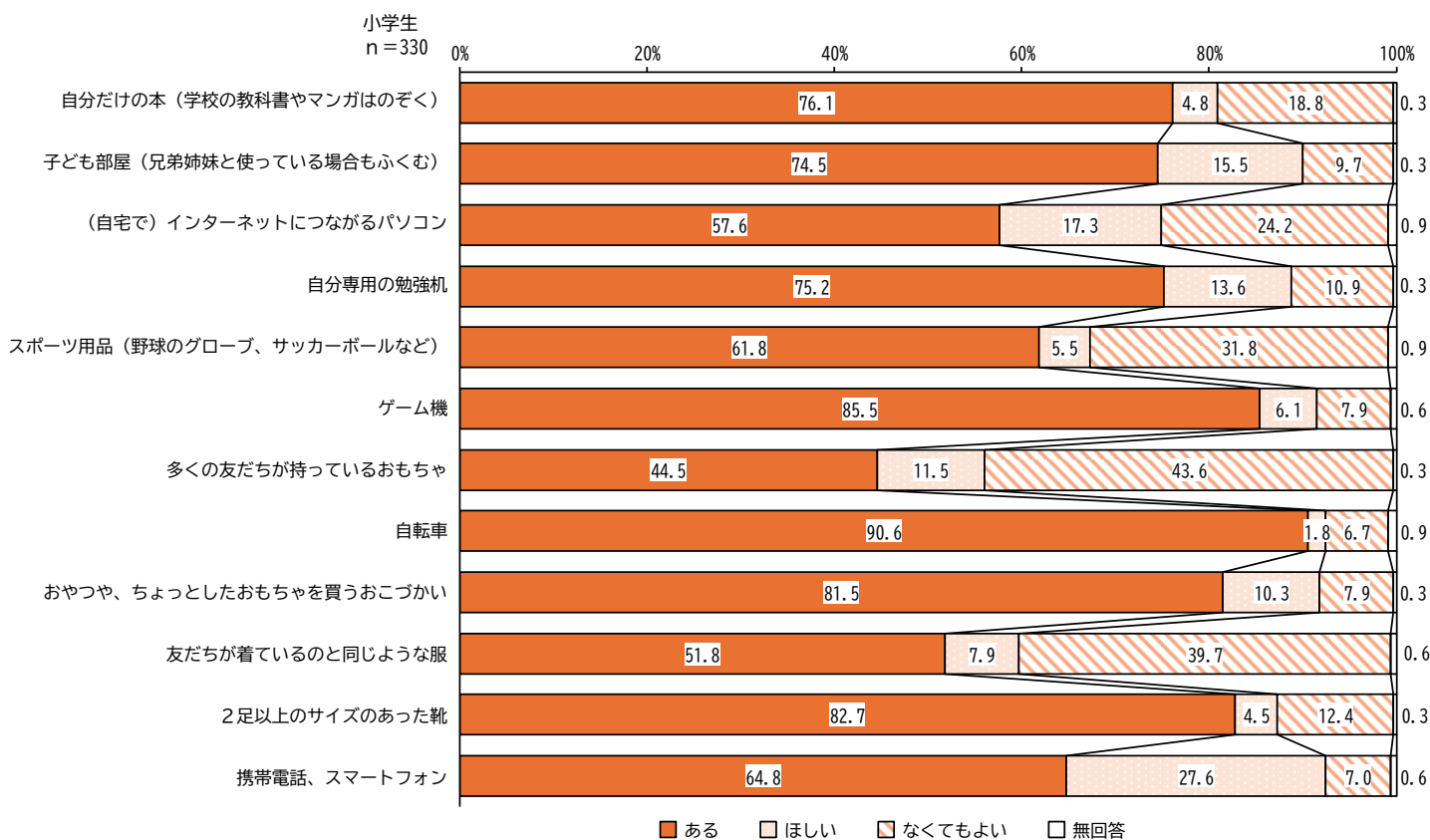


問 18 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「ある」に、ない場合は、それがほしいものであれば「ほしい」に、いらなと思うものであれば「なくてもよい」に○をつけてください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

小学生の自分が使うことのできるものを持っているかについて、「ある」で最も多いのは「自転車」(90.6%)、次いで「ゲーム機」(85.5%)となっています。  
 「ほしい」で最も多いのは「携帯電話、スマートフォン」(27.6%)で、「なくてもよい」で最も多いのは「多くの友だちが持っているおもちゃ」(43.6%)となっています。

問 18 自分が使うことができるものを持っているか

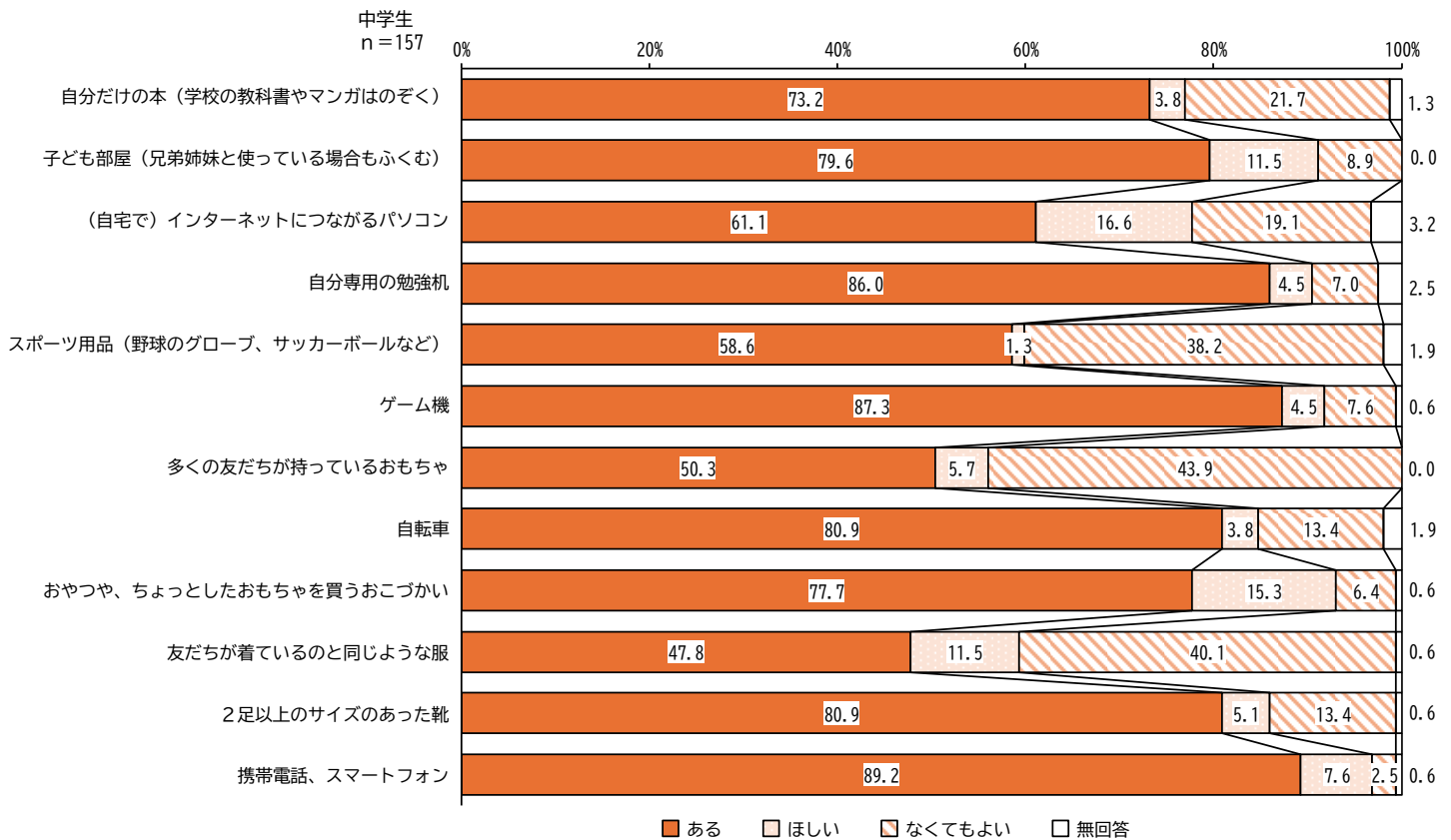
【小学生】



中学生の自分が使うことのできるものを持っているかについて、「ある」で最も多いのは「携帯電話、スマートフォン」(89.2%)、次いで「ゲーム機」(87.3%)となっています。

「ほしい」で最も多いのは「(自宅で) インターネットにつながるパソコン」(16.6%)で、「なくてもよい」で最も多いのは「多くの友だちが持っているおもちゃ」(43.9%)となっています。

### 【中学生】



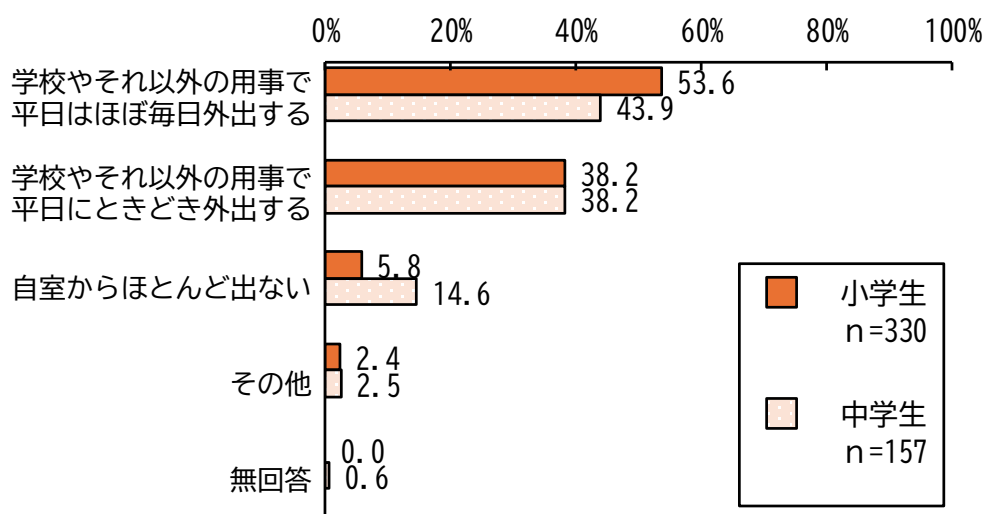


問 19 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の普段の外出頻度については「学校やそれ以外の用事で平日はほぼ毎日外出する」(53.6%)が最も多く、次いで「学校やそれ以外の用事で平日にときどき外出する」(38.2%)となっています。

中学生の普段の外出頻度については「学校やそれ以外の用事で平日はほぼ毎日外出する」(43.9%)が最も多く、次いで「学校やそれ以外の用事で平日にときどき外出する」(38.2%)となっています。

問 19 普段、どのくらい外出するか

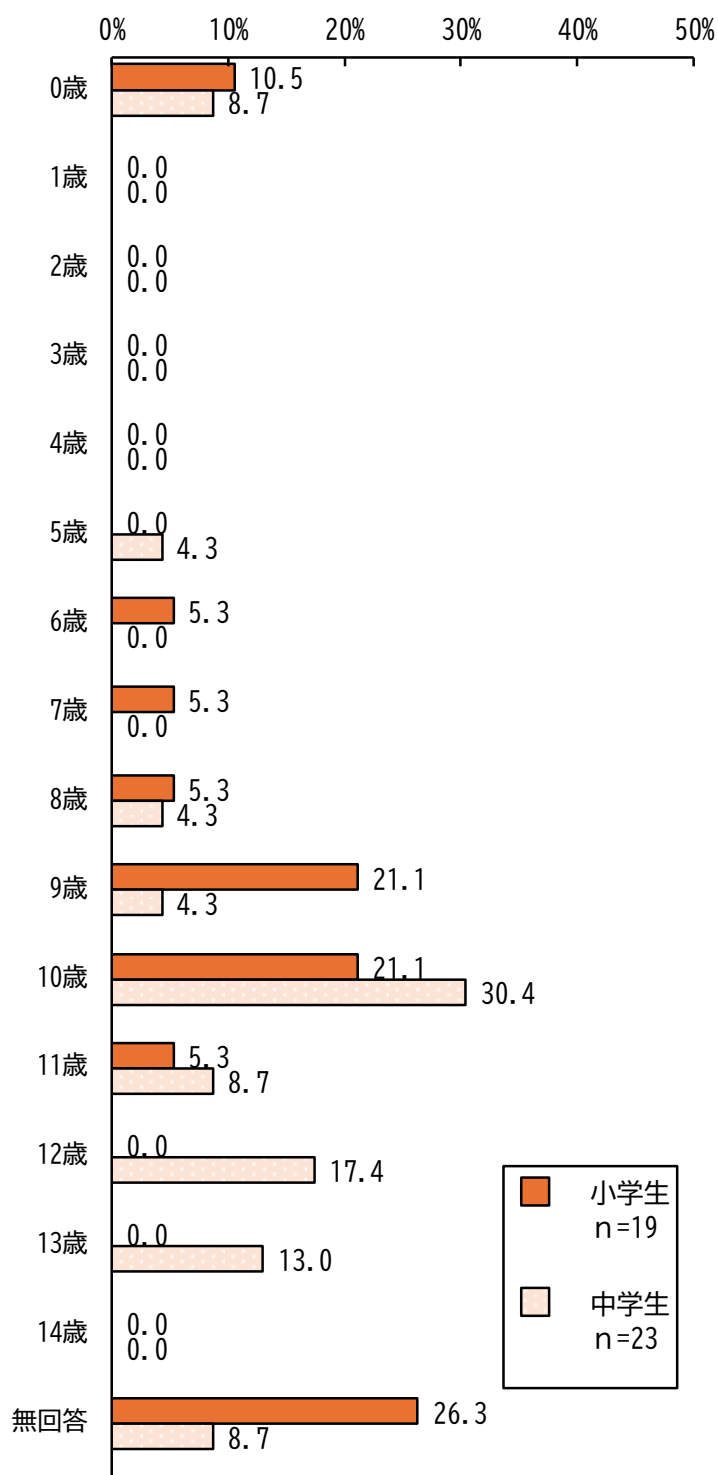


問 19- (1) 現在の外出頻度になったのは、あなたが何歳のころからですか。

小学生の現在の外出頻度になった年齢は「9歳」「10歳」(各21.1%)が最も多く、次いで「0歳」(10.5%)となっています。

中学生の現在の外出頻度になった年齢は「10歳」(30.4%)が最も多く、次いで「12歳」(17.4%)となっています。

問 19- (1) 現在の外出頻度になった年齢

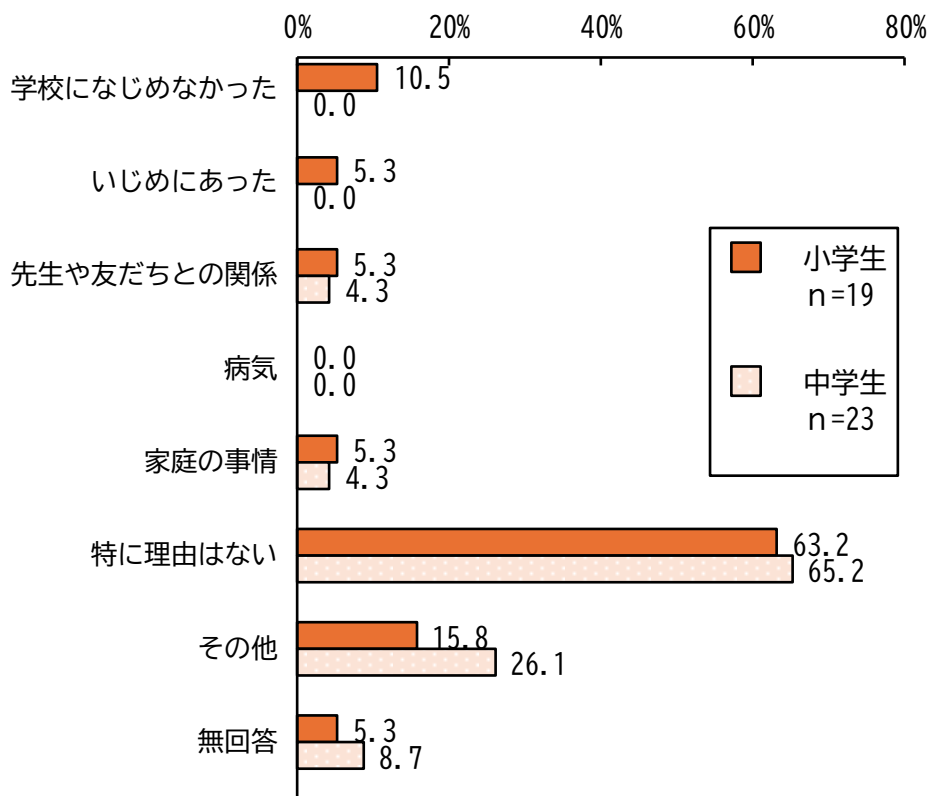


問 19- (2) 現在の状態になったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の現在の状態になったきっかけは「特に理由はない」(63.2%)が最も多く、次いで「学校になじめなかった」(10.5%)となっています。

中学生の現在の状態になったきっかけは「特に理由はない」(65.2%)が最も多く、次いで「先生や友だちとの関係」「家庭の事情」(各 4.3%)となっています。

問 19- (2) 現在の状態になったきっかけ



### 3 学校での生活について

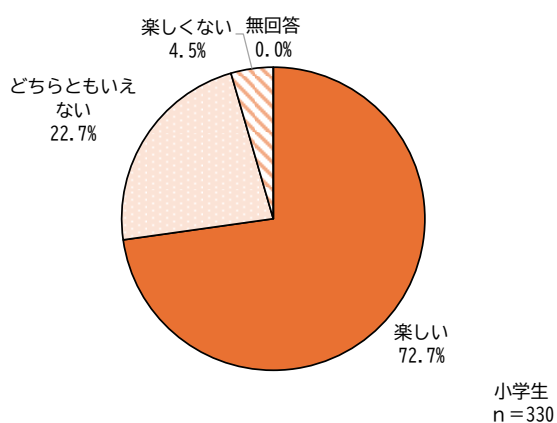
問 20 あなたは、学校での生活は楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の学校での生活については「楽しい」(72.7%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(22.7%)となっています。

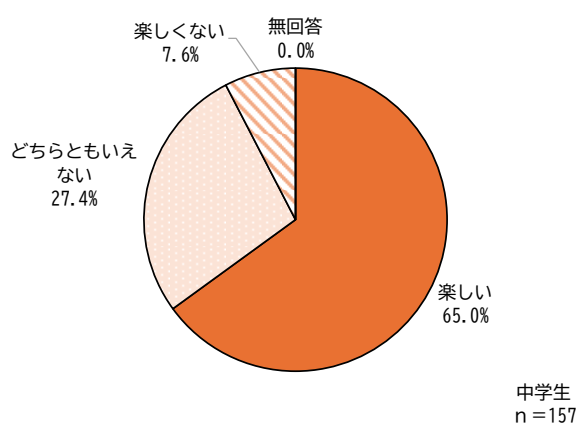
中学生の学校での生活については「楽しい」が65.0%で、前回調査と比較して微減しており、次いで「どちらともいえない」が27.4%で、前回から微減しています。

問 20 学校での生活について【経年比較】

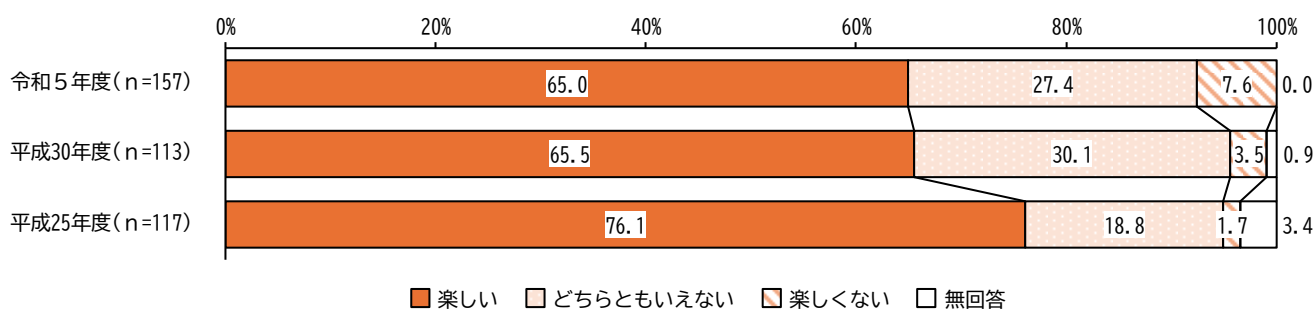
#### 【小学生】



#### 【中学生】



#### 【経年比較】※中学生調査のみ

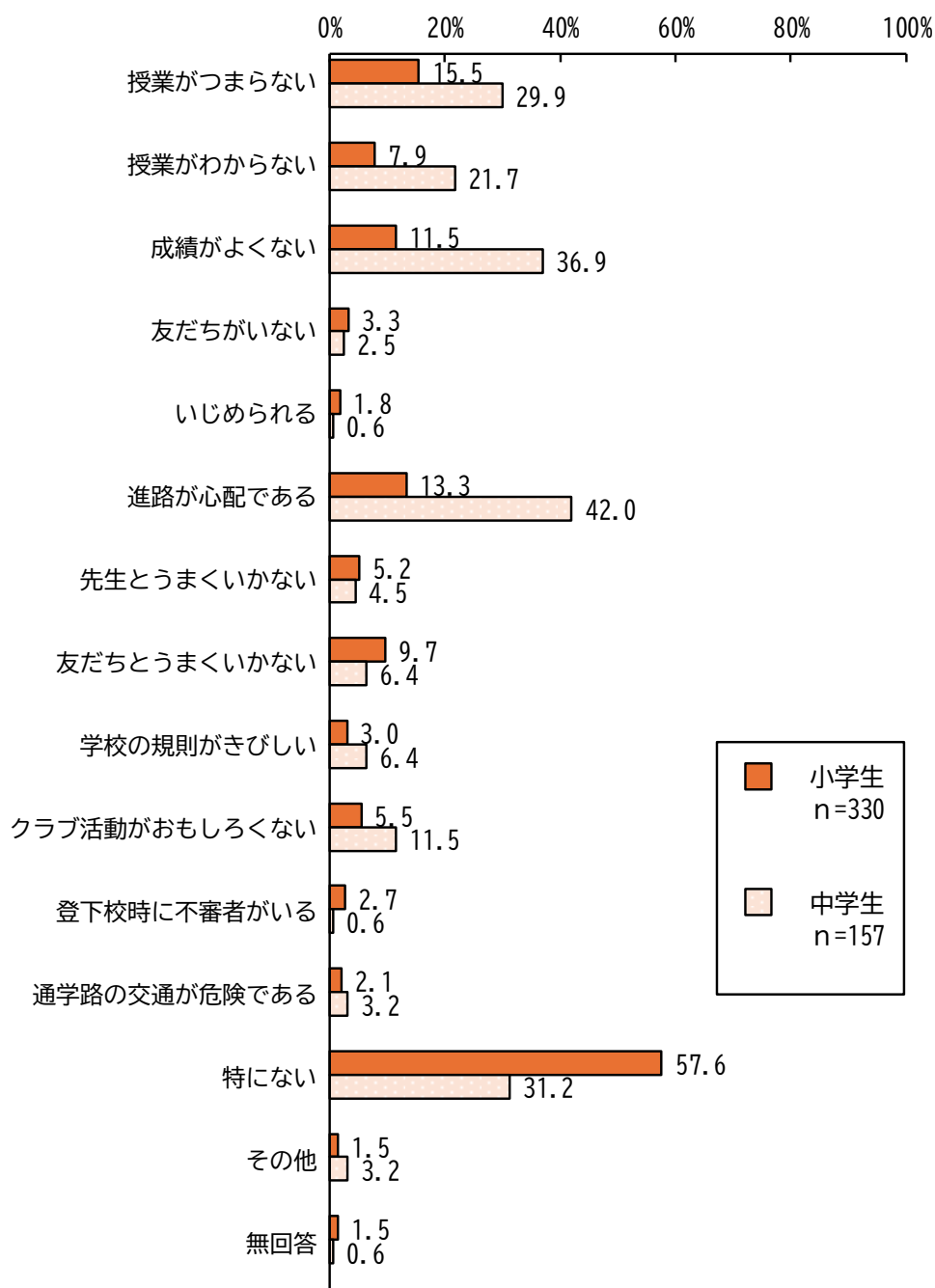


問 21 あなたは、学校の生活で悩んでいること、心配していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の学校の生活での悩みごと、心配ごとは「特にない」(57.6%)が最も多く、次いで「授業がつまらない」(15.5%)、「進路が心配である」(13.3%)となっています。

中学生の学校の生活での悩みごと、心配ごとは「進路が心配である」(42.0%)が最も多く、次いで「成績がよくない」(36.9%)、「特にない」(31.2%)となっています。

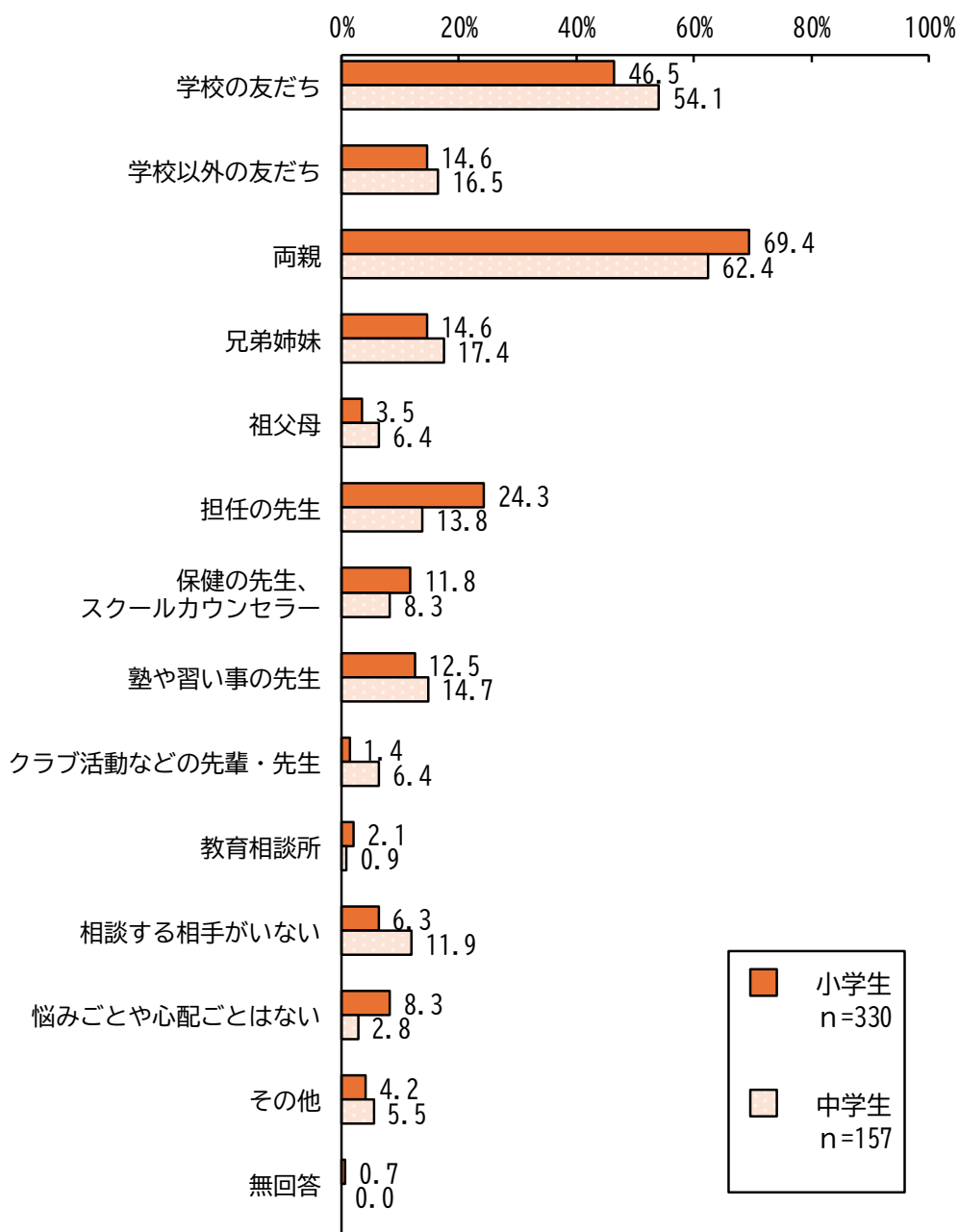
問 21 学校の生活での悩み事、心配事



問 22 その悩みは、どんな人や場所に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の学校生活での悩みごとを相談する人や場所は「両親」(69.4%)が最も多く、次いで「学校の友だち」(46.5%)となっています。  
 中学生の学校生活での悩みごとを相談する人や場所は「両親」(62.4%)が最も多く、次いで「学校の友だち」(54.1%)となっています。

問 22 学校生活での悩みごとを相談する人や場所



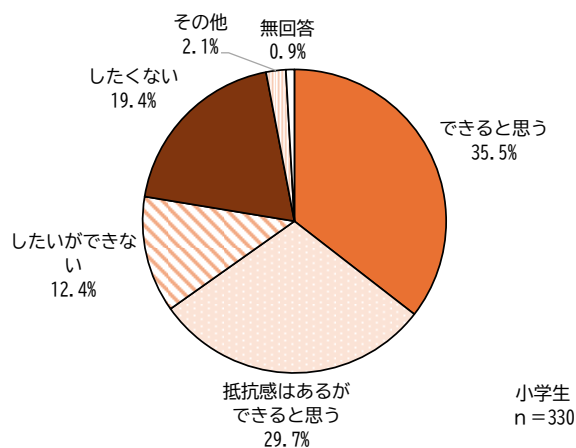
問 23 あなたは、悩みごとや心配ごとができた場合、学校の先生やスクールカウンセラーなどに、話すことができますか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の学校生活での悩みごとや心配ごとを学校の先生やスクールカウンセラーなどに話せるかどうかでは、「できると思う」(34.5%)が最も多く、次いで「抵抗感はあるができると思う」(31.4%)、「したくない」(20.4%)となっています。

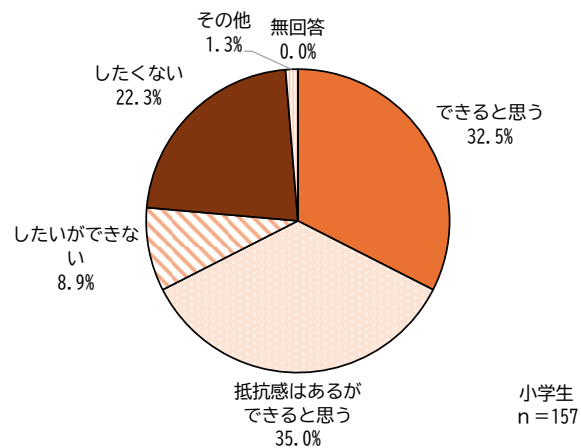
中学生の学校生活での悩みごとや心配ごとを学校の先生やスクールカウンセラーなどに話せるかどうかでは、「抵抗感はあるができると思う」(35.0%)が最も多く、次いで「できると思う」(32.5%)、「したくない」(22.3%)となっています。

問 23 学校生活での悩みごとや心配ごとを学校の先生やスクールカウンセラーなどに話せるかどうか

**【小学生】**



**【中学生】**



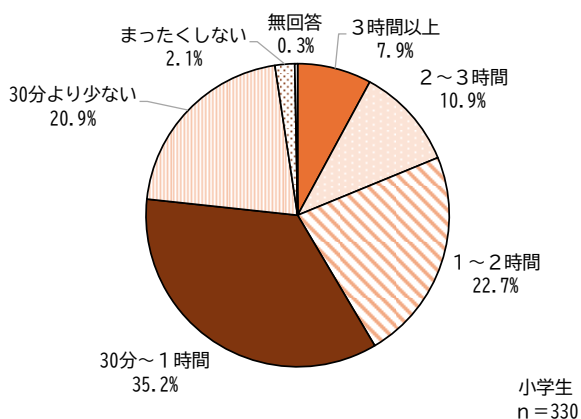
問 24 あなたは、普段（月曜日～金曜日）学校の授業以外に平均してどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。（最も近いもの1つに○）※ 塾などでの時間もふくみます

小学生の普段（月～金曜日）の学校の授業以外での勉強時間は「30分～1時間」（35.2%）が最も多く、次いで「1～2時間」（22.7%）、「30分より少ない」（20.9%）となっています。

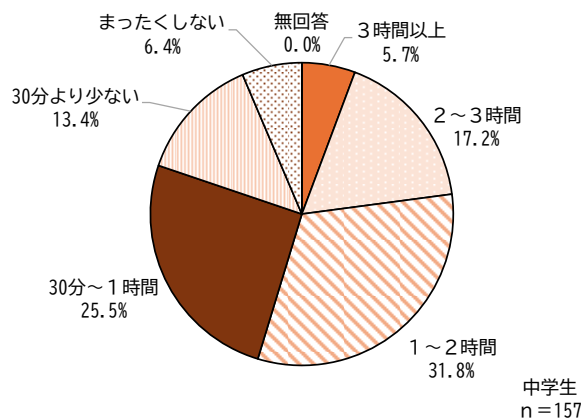
中学生の普段（月～金曜日）の学校の授業以外での勉強時間は「1～2時間」（31.8%）が最も多く、次いで「30分～1時間」（25.5%）、「2～3時間」（17.2%）となっています。

問 24 普段（月～金曜日）学校の授業以外での勉強時間

**【小学生】**



**【中学生】**



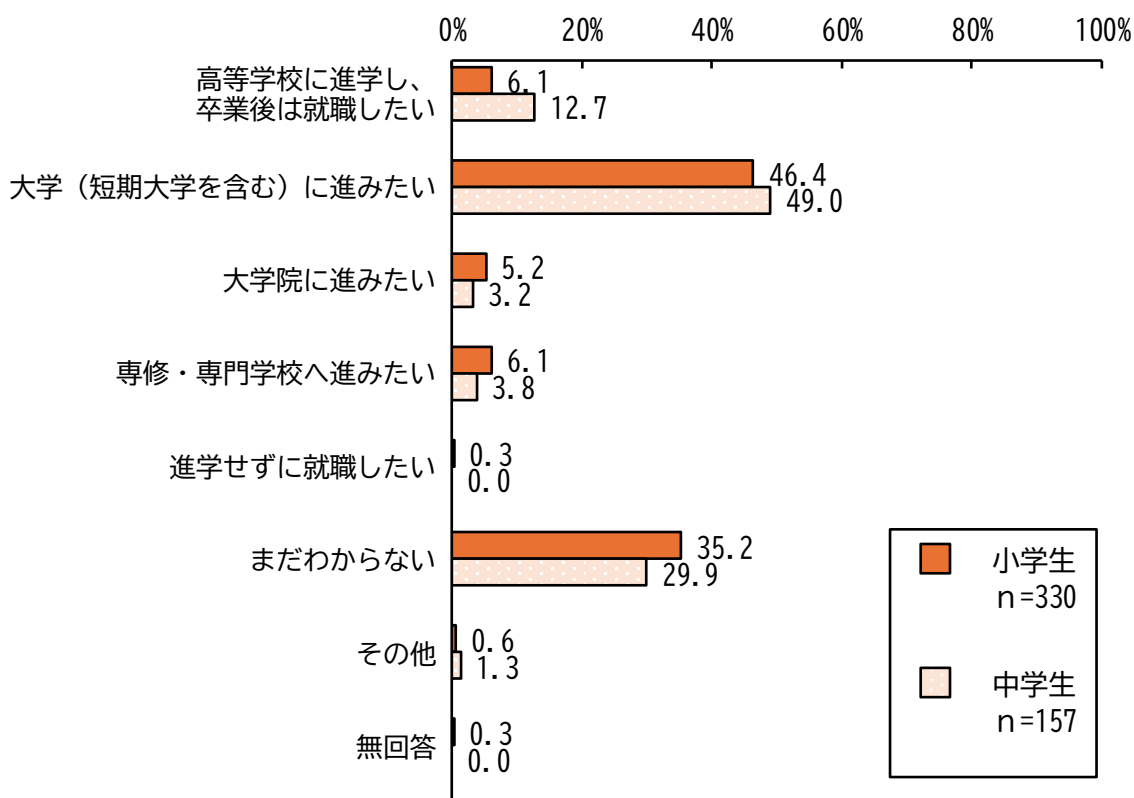


問 25 あなたはこれからの進路についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の今後の進路については「大学(短期大学を含む)に進みたい」(46.4%)が最も多く、次いで「まだわからない」(35.2%)、「高等学校に進学し、卒業後は就職したい」「専修・専門学校へ進みたい」(各 6.1%)となっています。

中学生の今後の進路については「大学(短期大学を含む)に進みたい」(49.0%)が最も多く、次いで「まだわからない」(29.9%)、「高等学校に進学し、卒業後は就職したい」(12.7%)となっています。

問 25 今後の進路について

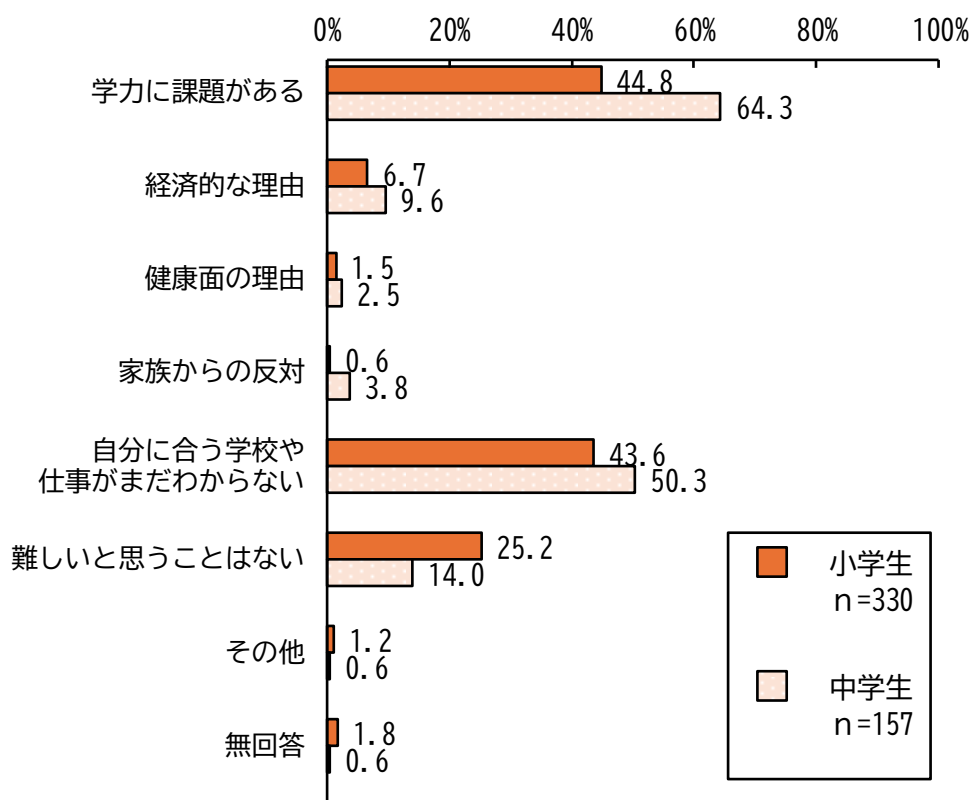


問 25- (1) 進路について考えた際、実現することが難しいと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の希望する進路について、実現することが難しいことがあるかについては「学力に課題がある」(44.8%)が最も多く、次いで「自分に合う学校や仕事がまだわからない」(43.6%)、「難しいと思うことはない」(25.2%)となっています。

中学生の希望する進路について、実現することが難しいことがあるかについては「学力に課題がある」(64.3%)が最も多く、次いで「自分に合う学校や仕事がまだわからない」(50.3%)、「難しいと思うことはない」(14.0%)となっています。

問 25- (1) 希望する進路について、実現することが難しいことがあるか



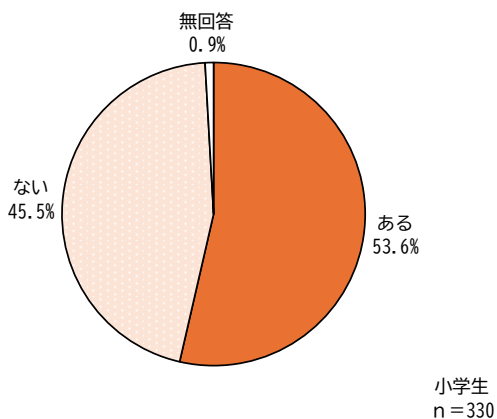
## 4 地域での生活について

問 26 あなたは、地域のグループ活動やボランティア活動に参加したことがありますか。  
(あてはまるもの1つに○)

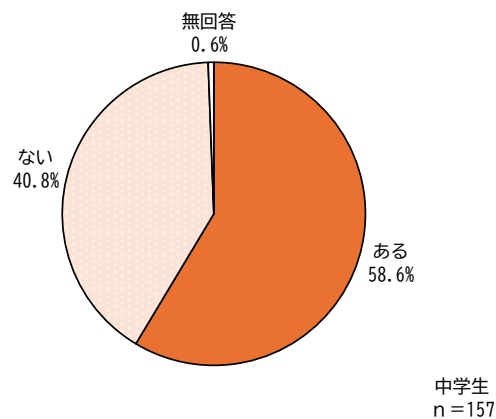
小学生の地域のグループ活動やボランティア活動への参加の有無は「ある」(53.6%)、「ない」(45.5%)となっています。  
中学生の地域のグループ活動やボランティア活動への参加の有無は「ある」(58.6%)、「ない」(40.8%)となっています。前回調査と比較すると、「ない」が増加しています。

問 26 地域のグループ活動やボランティア活動への参加の有無【経年比較】

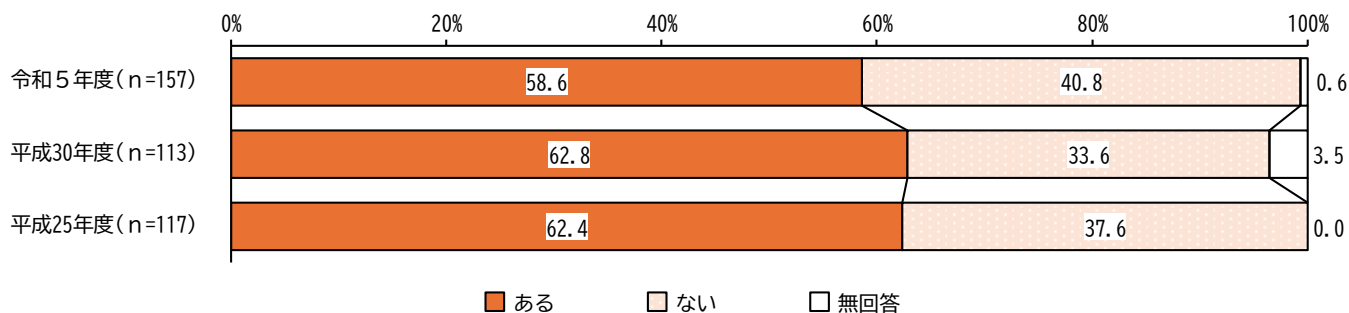
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ

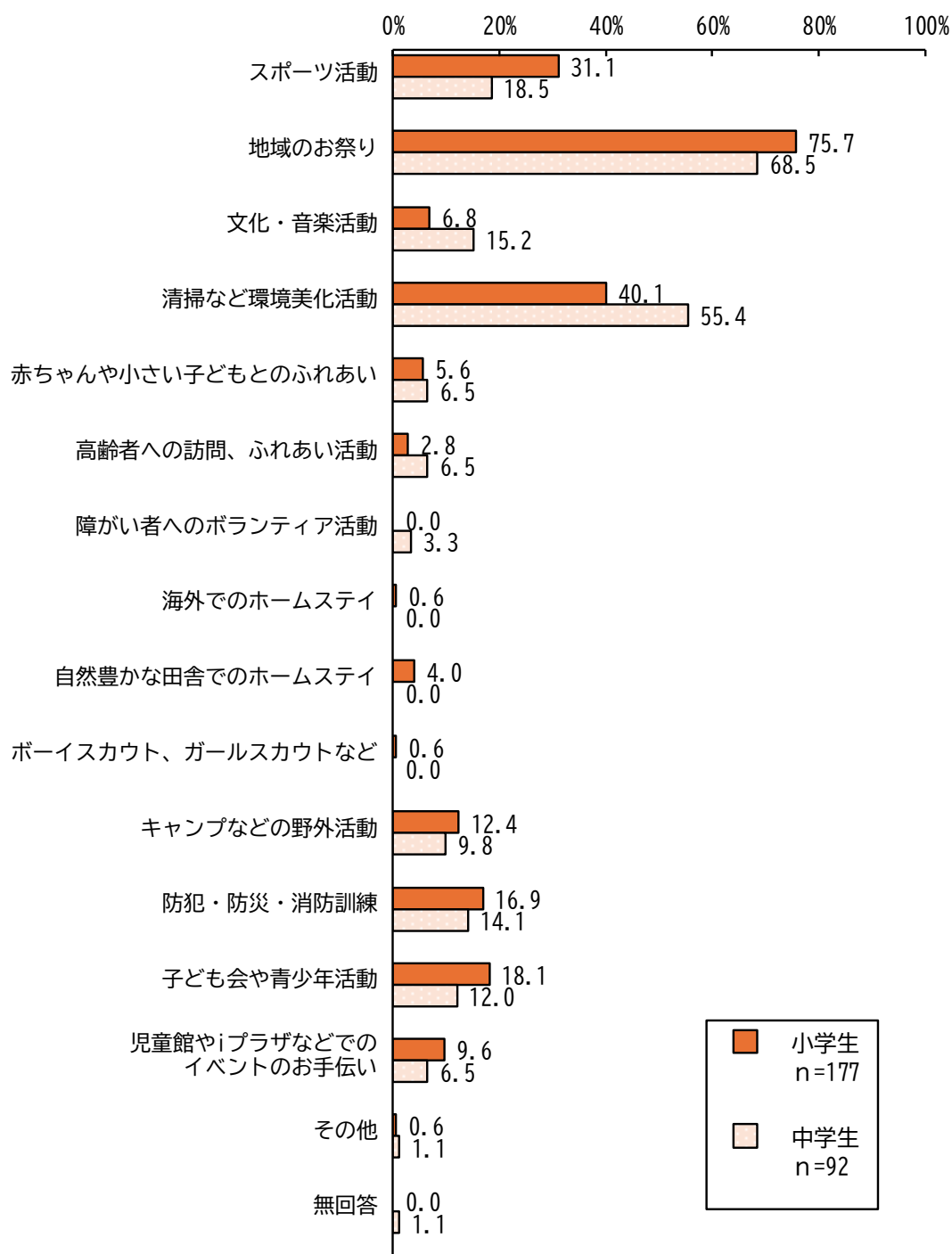


問 26- (1) あなたが参加したことがある活動をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

小学生の参加したことがある活動は「地域のお祭り」(75.7%)が最も多く、次いで「清掃など環境美化活動」(40.1%)、「スポーツ活動」(31.1%)となっています。

中学生の参加したことがある活動は「地域のお祭り」(68.5%)が最も多く、次いで「清掃など環境美化活動」(55.4%)、「スポーツ活動」(18.5%)となっています。

問 26- (1) 参加したことがある活動

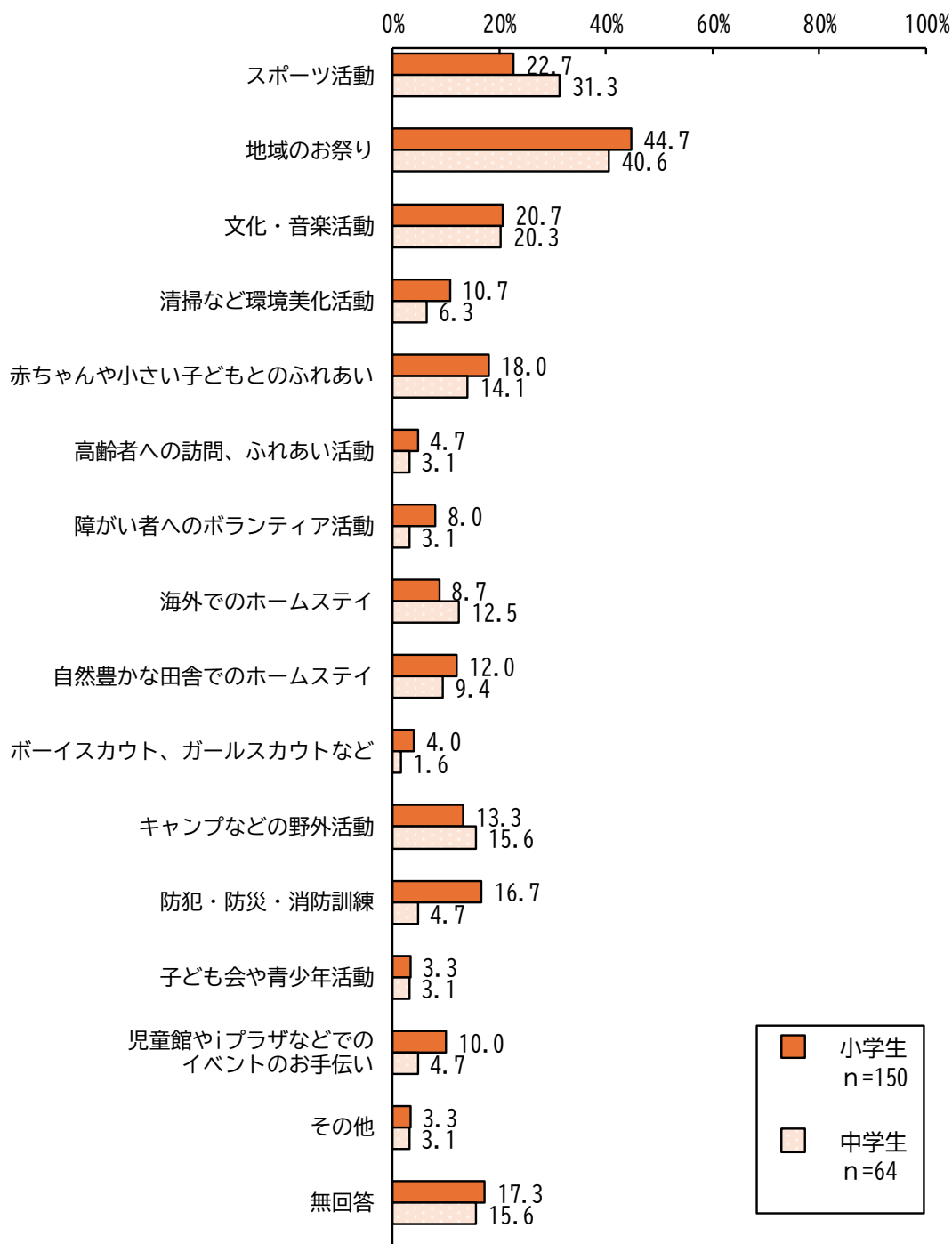


問 26- (2) 参加したことはないが興味のある活動をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

小学生の参加したことはないが興味のある活動は「地域のお祭り」(44.7%)が最も多く、次いで「スポーツ活動」(22.7%)、「文化・音楽活動」(20.7%)となっています。

中学生の参加したことはないが興味のある活動は「地域のお祭り」(40.6%)が最も多く、次いで「スポーツ活動」(31.3%)、「文化・音楽活動」(20.3%)となっています。

問 26- (2) 参加したことはないが興味のある活動

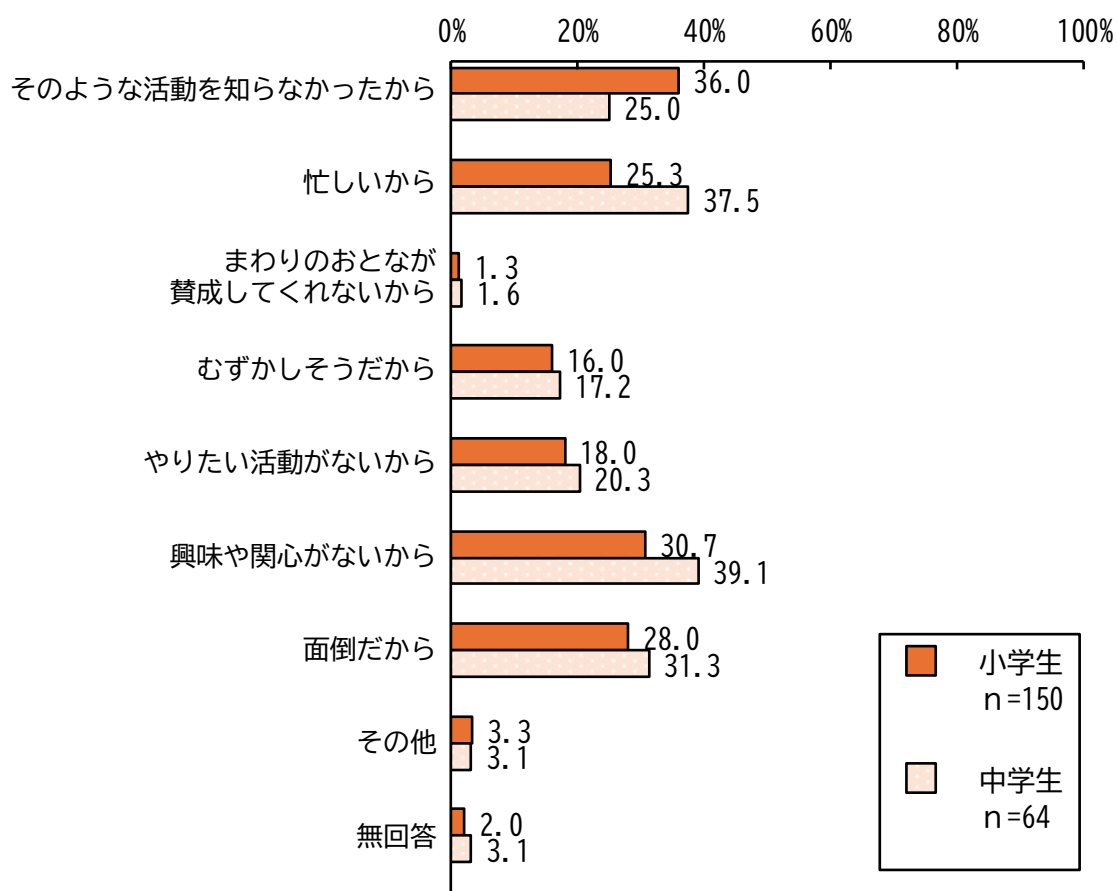


問 26- (3) 参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の参加したことがない理由は「そのような活動を知らなかったから」(36.0%)が最も多く、次いで「興味や関心がないから」(30.7%)、「面倒だから」(28.0%)となっています。

中学生の参加したことがない理由は「興味や関心がないから」(39.1%)が最も多く、次いで「忙しいから」(37.5%)、「面倒だから」(31.3%)となっています。

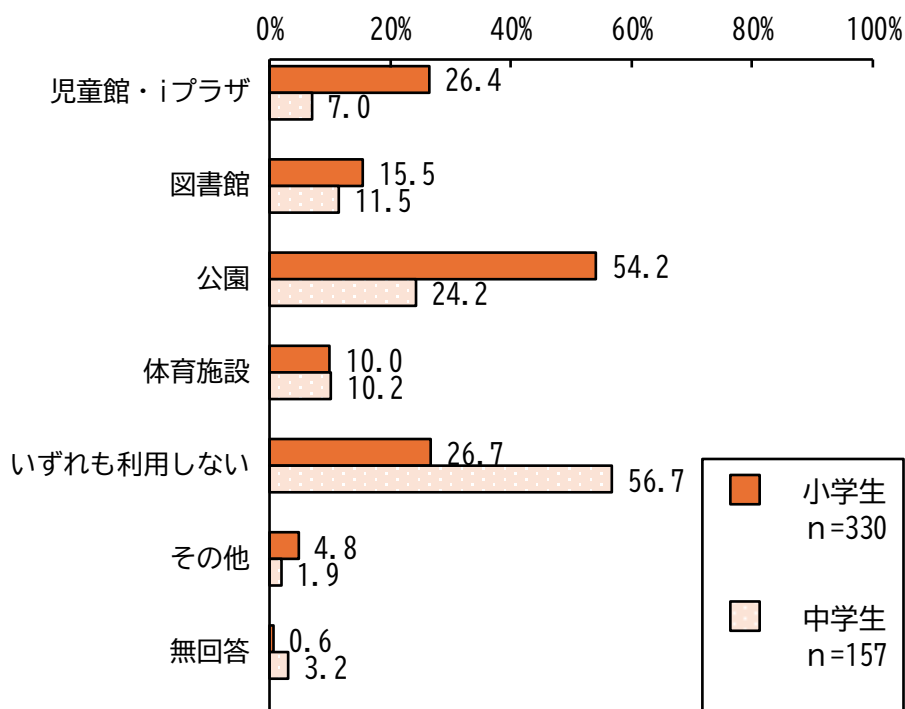
問 26- (3) 参加したことがない理由



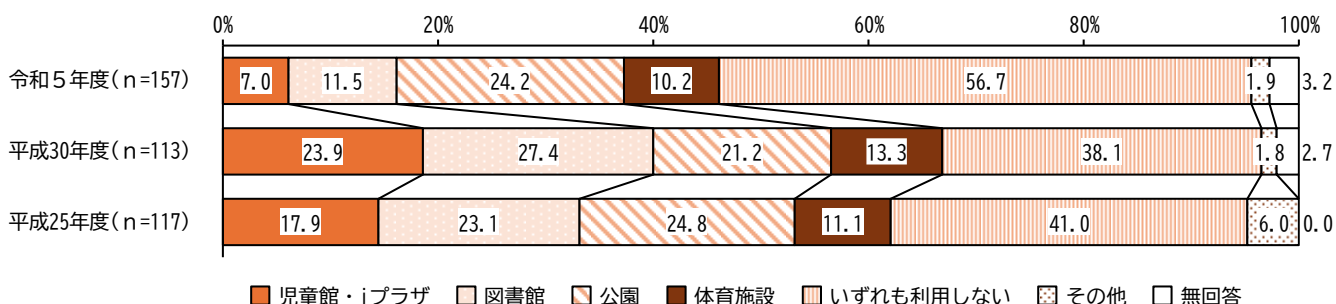
問 27 あなたが放課後や休日などによく利用する公共施設は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の放課後や休日などによく利用する公共施設は「公園」(54.2%)、「いずれも利用しない」(26.7%)、「児童館・iプラザ」(26.4%)となっています。  
 中学生の放課後や休日などによく利用する公共施設は「いずれも利用しない」(56.7%)、「公園」(24.2%)、「図書館」(11.5%)となっています。前回調査と比較すると、「図書館」「いずれも利用しない」は増加しています。

問 27 放課後や休日などによく利用する公共施設【経年比較】



【経年比較】※中学生調査のみ



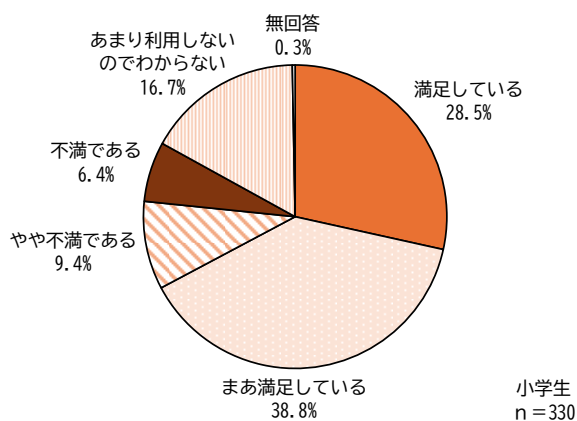
問 28 あなたは、近くの公園、児童館や体育施設について満足していますか。(あてはまるもの1つに〇)

小学生の近くの公園や児童館、体育施設についての満足度は「まあ満足している」(38.8%)が最も多く、次いで「満足している」(28.5%)、「あまり利用しないのでわからない」(16.7%)となっています。

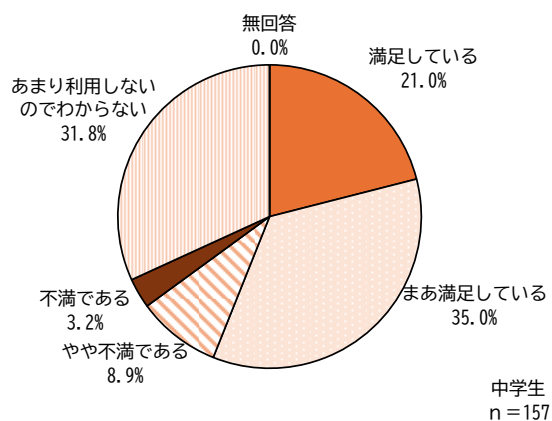
中学生の近くの公園や児童館、体育施設についての満足度は「まあ満足している」(35.0%)が最も多く、前回調査から微減しています。「あまり利用しないのでわからない」は31.8%、「満足している」は21.0%となっています。

問 28 近くの公園や児童館、体育施設についての満足度【経年比較】

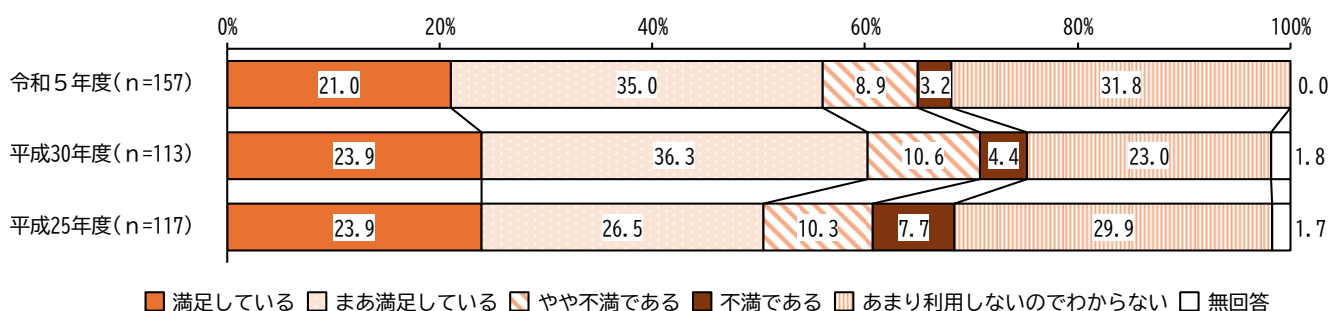
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ



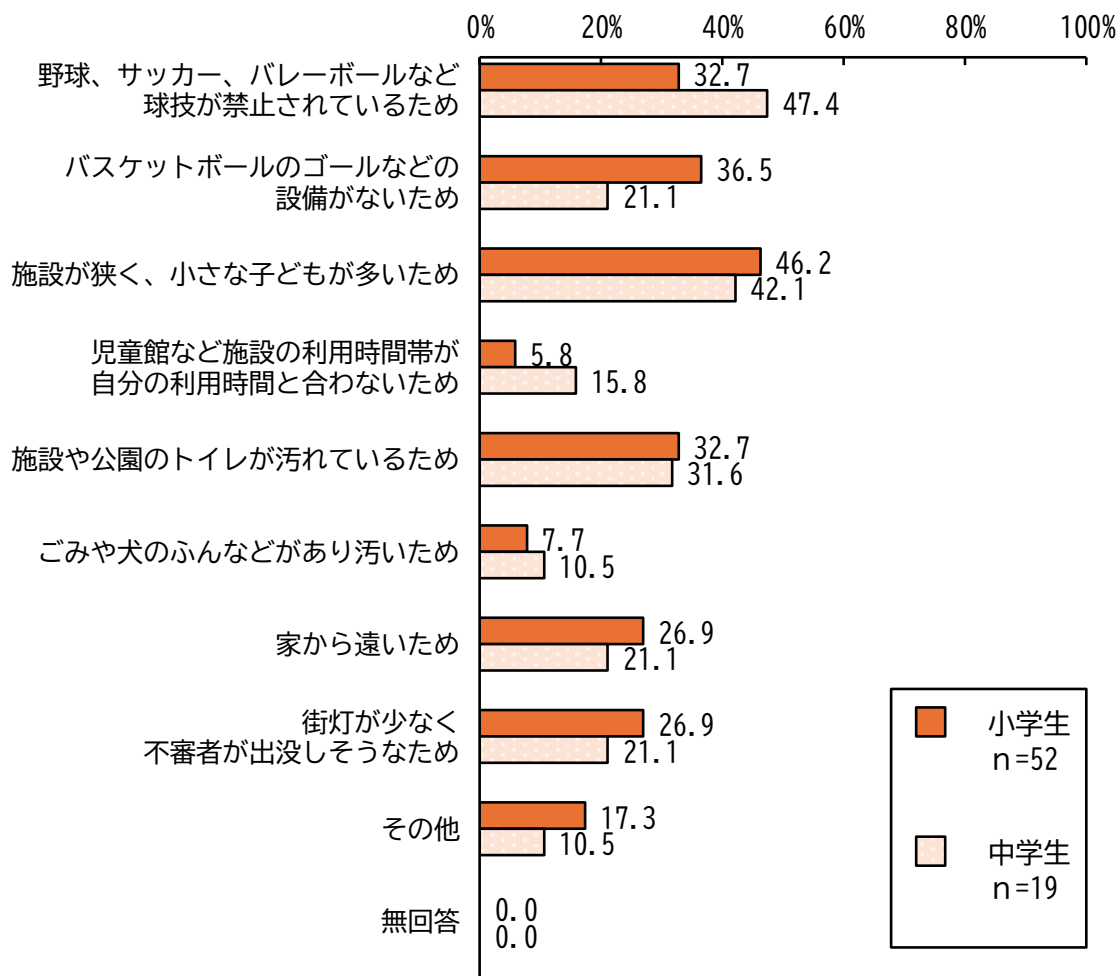


問 28- (1) 公園、児童館や体育施設について不満な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学生の近くの公園や児童館、体育施設が不満な理由は「施設が狭く、小さな子どもが多いため」(46.2%)が最も多く、次いで「バスケットボールのゴールなどの設備がないため」(36.5%)となっています。

中学生の近くの公園や児童館、体育施設が不満な理由は「野球、サッカー、バレーボールなど球技が禁止されているため」(47.4%)が最も多く、次いで「施設が狭く、小さな子どもが多いため」(42.1%)となっています。

問 28- (1) 近くの公園や児童館・体育施設が不満な理由

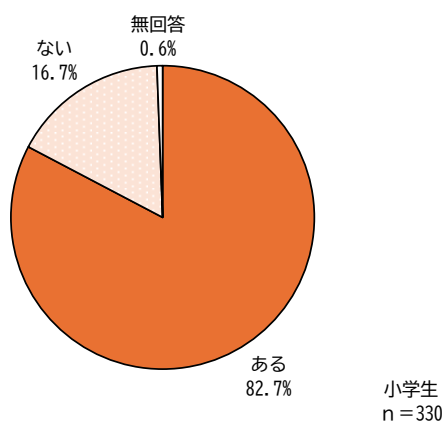


問 29 あなたは、市内の児童館や i プラザを利用したことがありますか。(あてはまるもの  
1つに○)

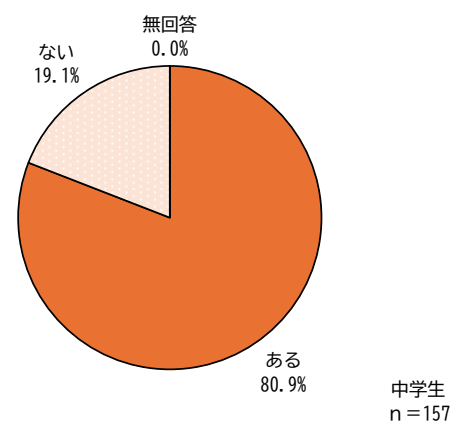
小学生の市内の児童館や i プラザの利用状況は「利用したことがある」  
(82.8%) となっています。  
中学生の市内の児童館や i プラザの利用状況は「利用したことがある」  
(80.9%) となっています。

問 29 市内の児童館や i プラザの利用状況

【小学生】



【中学生】

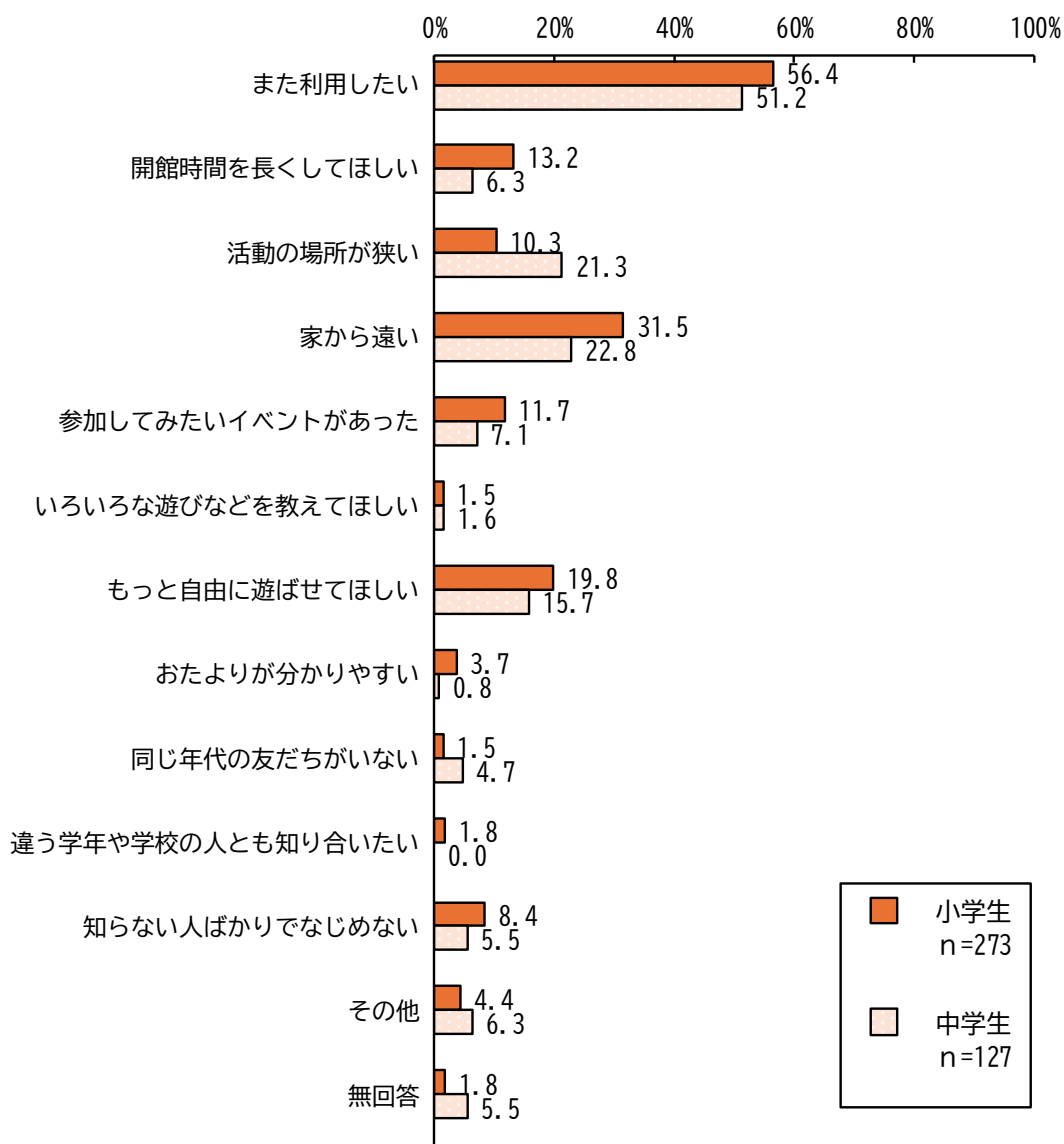


問 29- (1) 児童館や i プラザを利用してみて、感じたことはありますか。(主なもの 3 つまでに〇)

小学生の市内の児童館や i プラザを利用して感じたことは「また利用したい」(56.4%) が最も多く、次いで「家から遠い」(31.5%)、「もっと自由に遊ばせてほしい」(19.8%) となっています。

中学生の市内の児童館や i プラザを利用して感じたことは「また利用したい」(51.2%) が最も多く、次いで「家から遠い」(22.8%)、「活動の場所が狭い」(21.3%) となっています。

問 29- (1) 市内の児童館や i プラザを利用して感じたこと



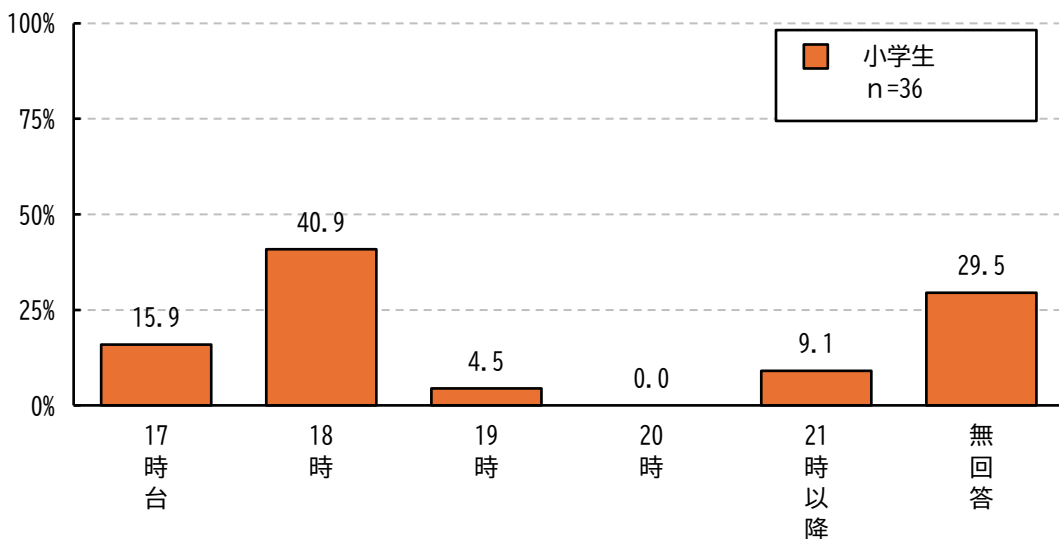
問 29- (1) 「開館時間を長くしてほしい」と答えた方は、何時までが希望か記入してください。※時間は、24 時間制でお答えください。

小学生の市内の児童館や i プラザの開館の利用希望時間については、「18 時」(40.9%) が最も多く、次いで「17 時台」(15.9%)、「21 時以降」(9.1%) となっています。

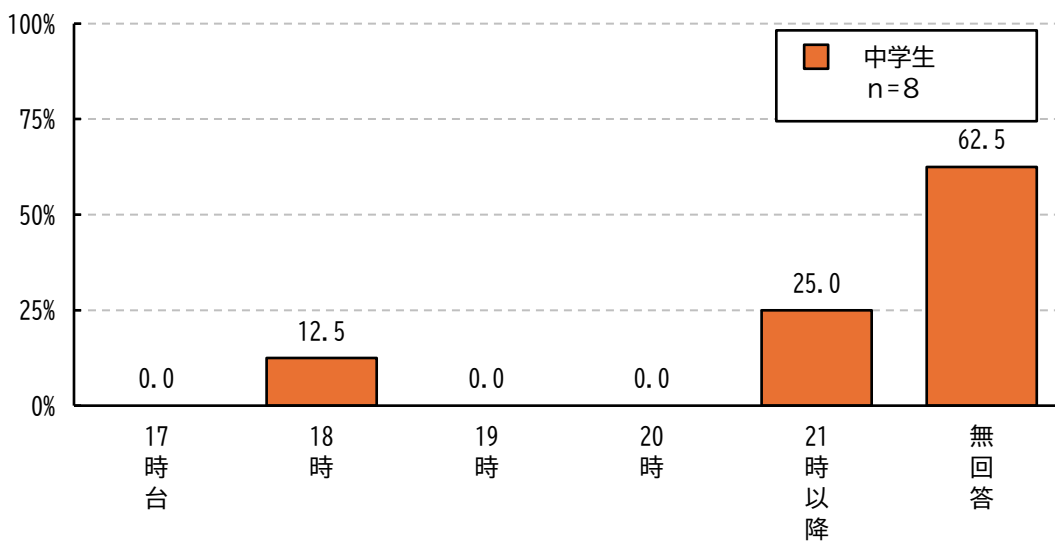
回答者が少ないため参考として掲載しますが、中学生の市内の児童館や i プラザの開館の利用希望時間については、「21 時以降」(25.0%) が最も多く、次いで「18 時」(12.5%) となっています。

問 29- (1) 開館の利用希望時間

【小学生】



【中学生】

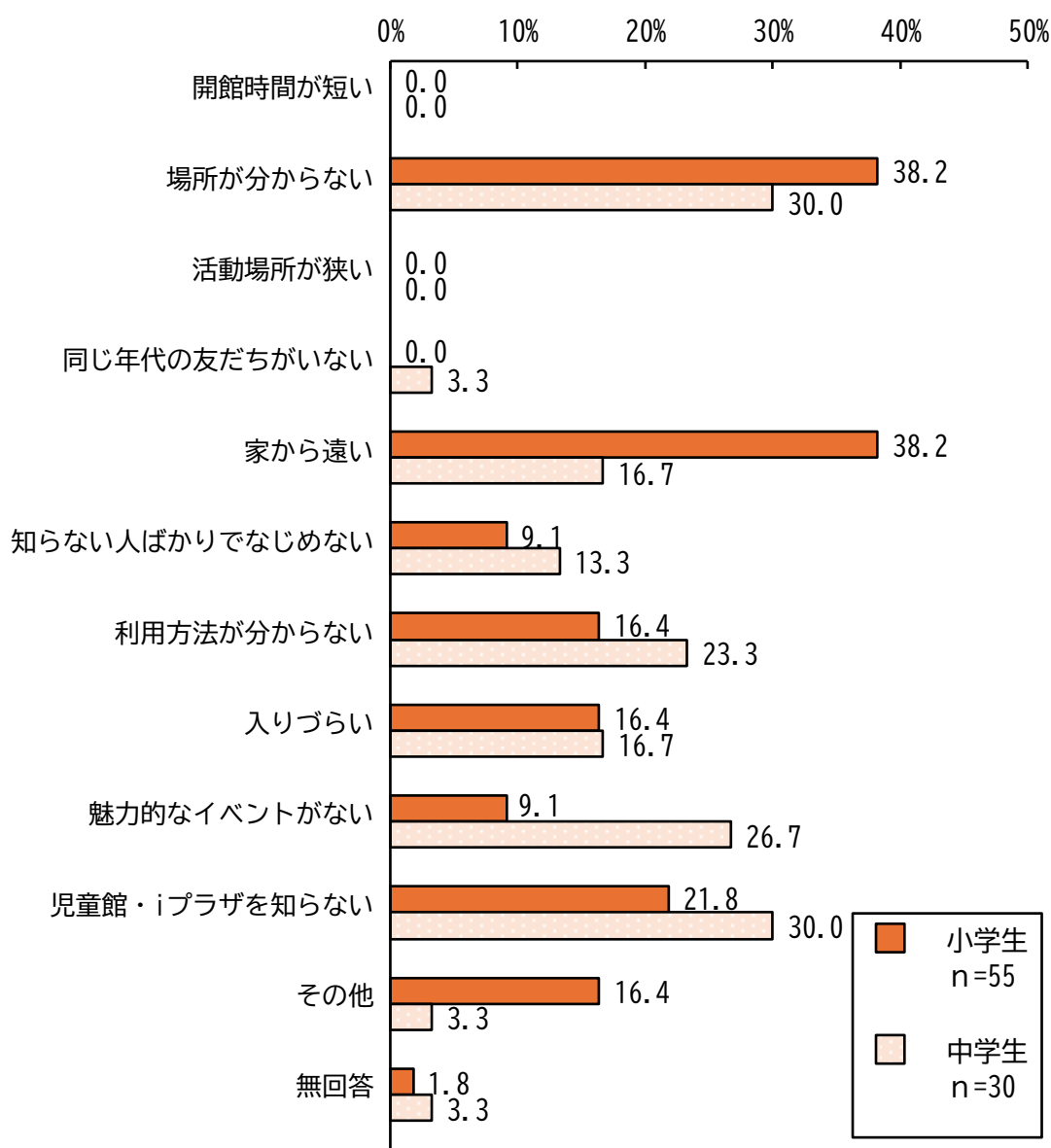


問 29- (2) 児童館や i プラザを利用したことがない理由は何ですか。(主なものを3つまでに○)

小学生の市内の児童館や i プラザを利用したことがない理由は「場所が分からない」「家から遠い」(各 38.2%) が最も多く、次いで「児童館・ i プラザを知らない」(21.8%)、「利用方法が分からない」「入りづらい」(各 16.4%) となっています。

中学生の市内の児童館や i プラザを利用したことがない理由は「場所が分からない」「児童館・ i プラザを知らない」(各 30.0%) が最も多く、次いで「魅力的なイベントがない」(26.7%)、「利用方法が分からない」(23.3%) となっています。

問 29- (2) 市内の児童館や i プラザを利用したことがない理由



問 29- (2) 「開館時間が短い」と答えた方は、何時までだと短いか記入してください。

※時間は、24 時間制でお答えください。

回答者がいないため省略。

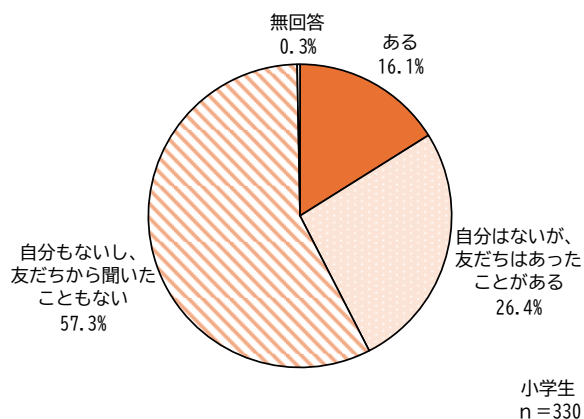
問 30 あなたはこれまで、不審者に話しかけられたり、追われたなど、怖いことにあったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の不審者に出会ったことの有無は「自分もないし、友だちから聞いたこともない」(57.3%)が最も多く、「自分はないが、友だちはあったことがある」(26.4%)となっています。

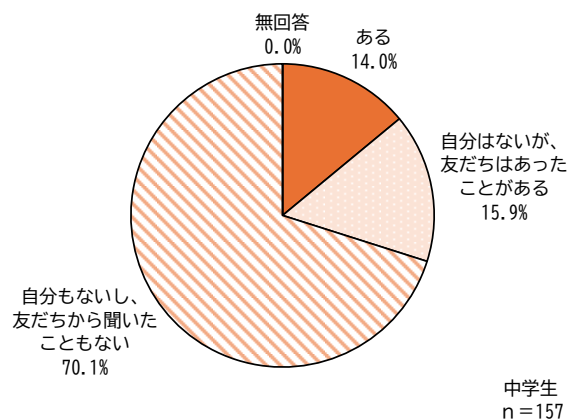
中学生の不審者に出会ったことの有無は「自分もないし、友だちから聞いたこともない」(70.1%)が最も多く、「自分はないが、友だちはあったことがある」(15.9%)となっています。

問 30 不審者に出会ったことの有無

【小学生】



【中学生】

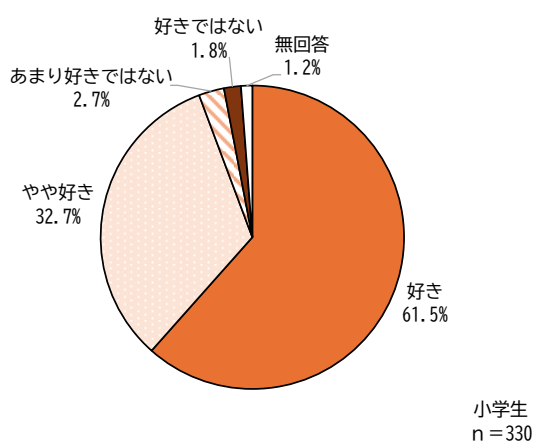


問 31 あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。(あてはまるもの1つに○)

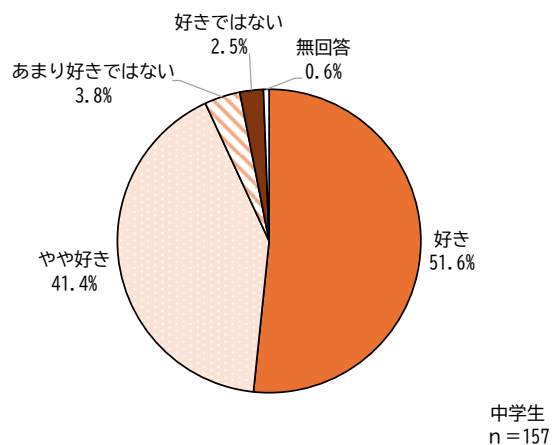
小学生の現在住んでいる地域への思いは「好き」(61.5%)と「やや好き」(32.7%)を合わせた『好き』では94.2%、「あまり好きではない」(2.7%)と「好きではない」(1.8%)を合わせた『好きではない』が4.5%となっています。中学生の現在住んでいる地域への思いは「好き」(51.6%)と「やや好き」(41.4%)を合わせた『好き』では93.0%、「あまり好きではない」(3.8%)と「好きではない」(2.5%)を合わせた『好きではない』が6.3%となっています。前回調査と比較すると『好き』が増加しています。

問 31 現在住んでいる地域への思い【経年比較】

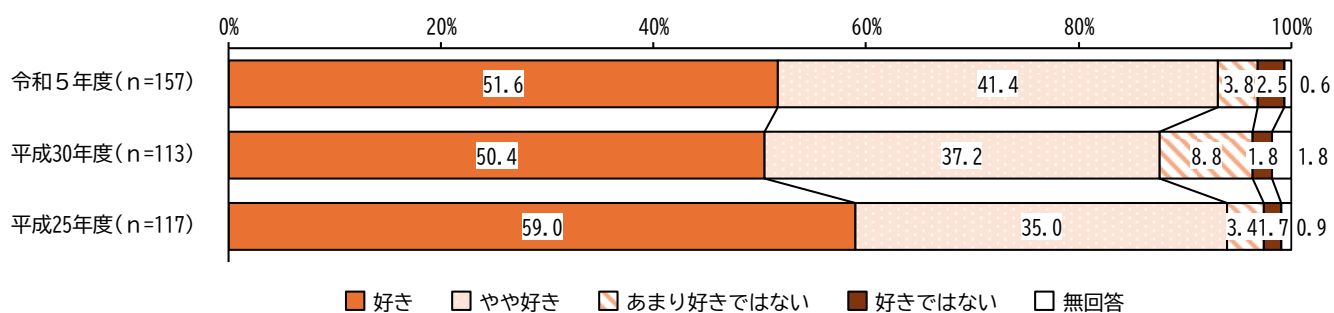
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ



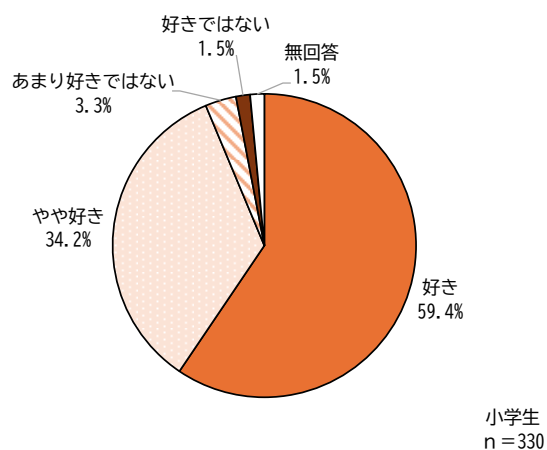
問 32 あなたは、稲城市が好きですか。(あてはまるもの1つに○)

小学生の稲城市への思いは「好き」(59.4%)と「やや好き」(34.2%)を合わせた『好き』では93.6%、「あまり好きではない」(3.3%)と「好きではない」(1.5%)を合わせた『好きではない』が4.8%となっています。

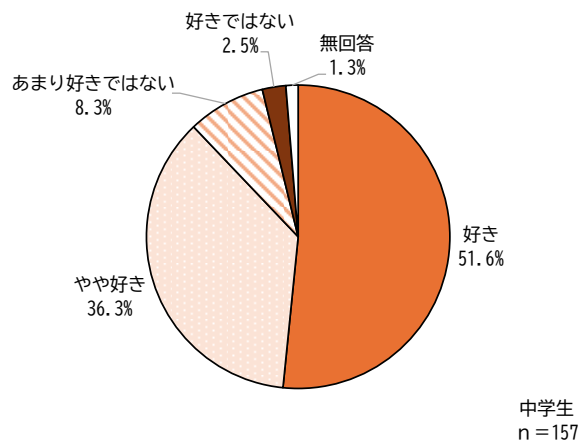
中学生の稲城市への思いは「好き」(51.6%)と「やや好き」(36.3%)を合わせた『好き』では87.9%、「あまり好きではない」(8.3%)と「好きではない」(2.5%)を合わせた『好きではない』が10.8%となっています。前回調査と比較すると『好き』が減少しています。

問 32 稲城市への思い【経年比較】

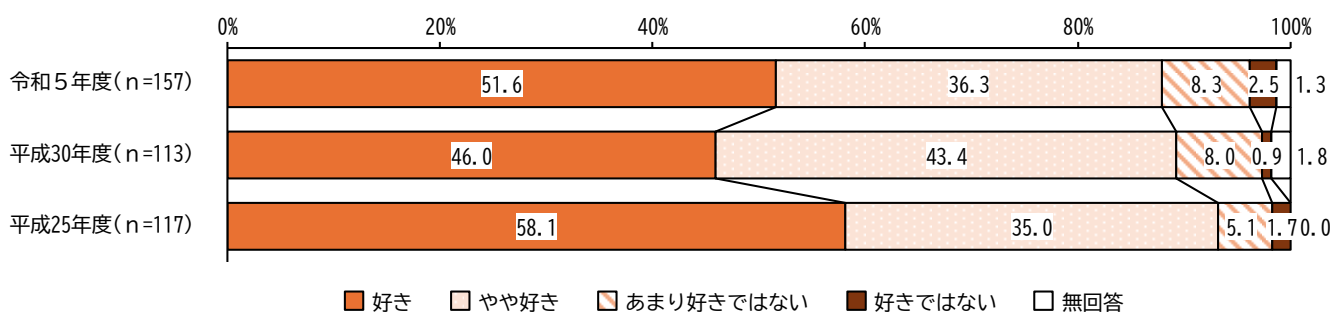
【小学生】



【中学生】



【経年比較】※中学生調査のみ



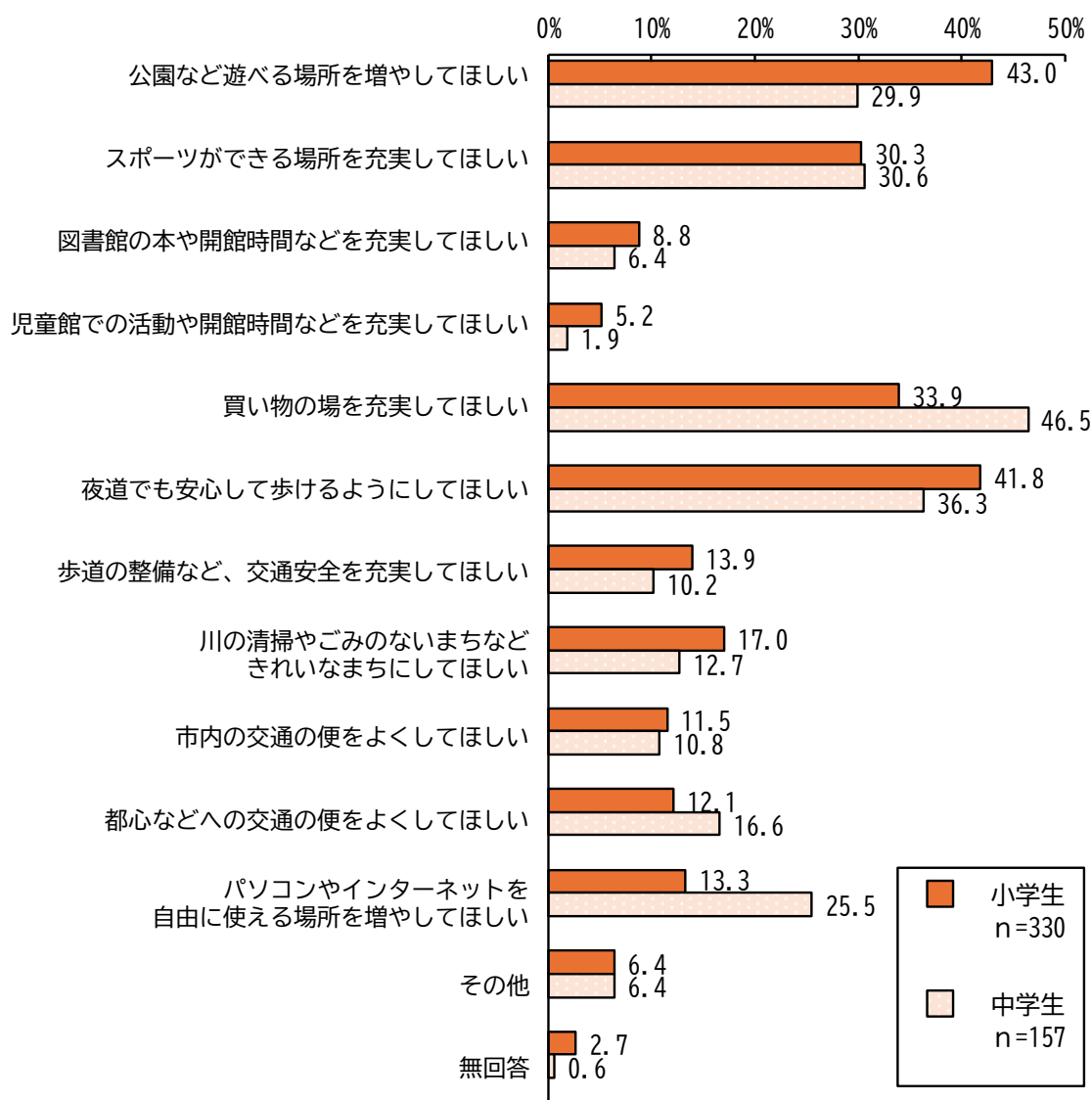


問 33 稲城市がもっと暮らしやすくなるために、望むことはありますか。(主なもの3つまでに○)

小学生の稲城市がもっと暮らしやすくなるために望むことは「公園など遊べる場所を増やしてほしい」(43.0%)が最も多く、次いで「夜道でも安心して歩けるようにしてほしい」(41.8%)、「買い物の場を充実してほしい」(33.9%)となっています。

中学生の稲城市がもっと暮らしやすくなるために望むことは「買い物の場を充実してほしい」(46.5%)が最も多く、次いで「夜道でも安心して歩けるようにしてほしい」(36.3%)、「スポーツができる場所を充実してほしい」(30.6%)となっています。

問 33 稲城市がもっと暮らしやすくなるために、望むこと





**第 5 章**  
**青少年・若者**

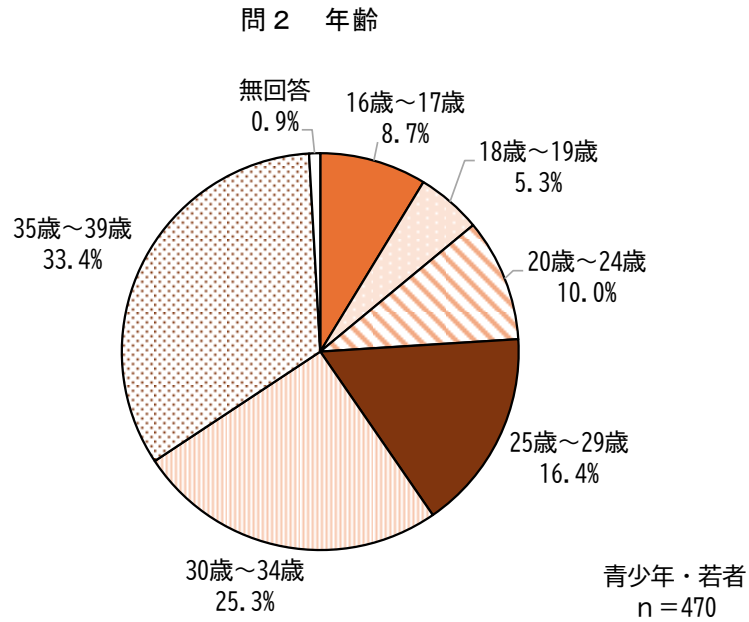


## 第5章 青少年・若者

### 1 あなたのことについて

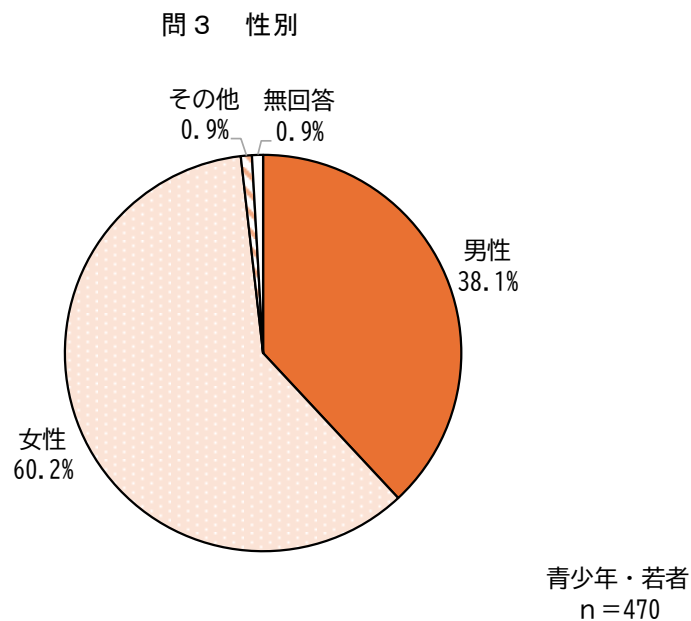
問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

年齢は「35歳～39歳」(33.4%)が最も多く、次いで「30歳～34歳」(25.3%)、「25歳～29歳」(16.4%)となっています。



問3 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

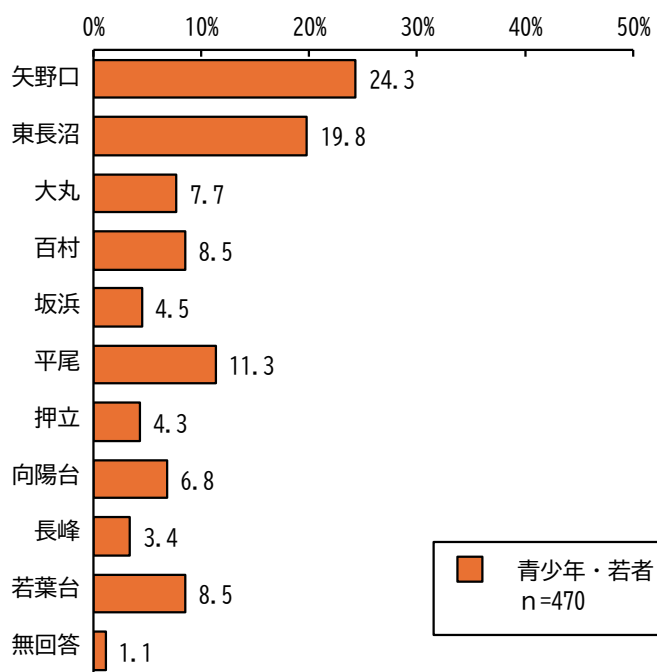
性別は「女性」(60.2%)、「男性」(38.1%)となっています。



問4 あなたが住んでいる地区を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

居住地域(市全域)は「矢野口」(24.3%)が最も多く、次いで「東長沼」(19.8%)、「平尾」(11.3%)となっています。

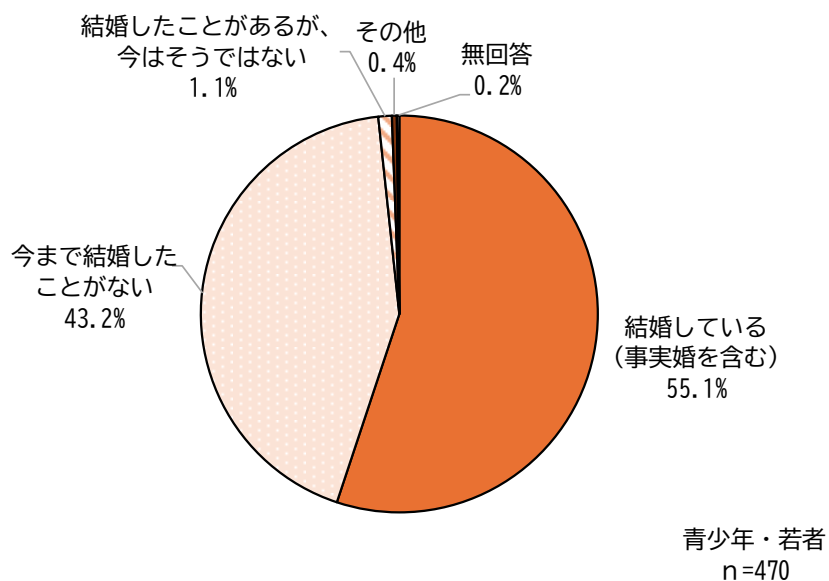
問4 居住地域(市全域)



問5 あなたは、結婚していますか。(あてはまるもの1つに○)

結婚状況は「結婚している(事実婚を含む)」(55.1%)が最も多く、次いで「今まで結婚したことがない」(43.2%)、「結婚したことがあるが、今はそうではない」(1.1%)となっています。

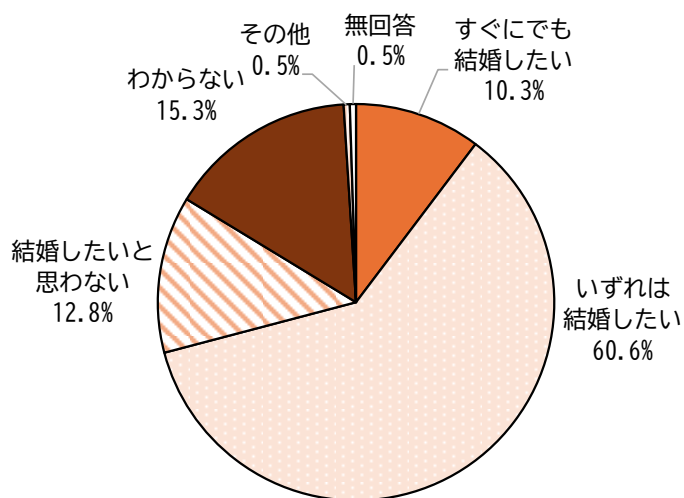
問5 結婚状況



問5-(1) 今後結婚したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

結婚願望については「いずれは結婚したい」(60.6%)が最も多く、次いで「わからない」(15.3%)、「結婚したいと思わない」(12.8%)となっています。

問5-(1) 結婚願望

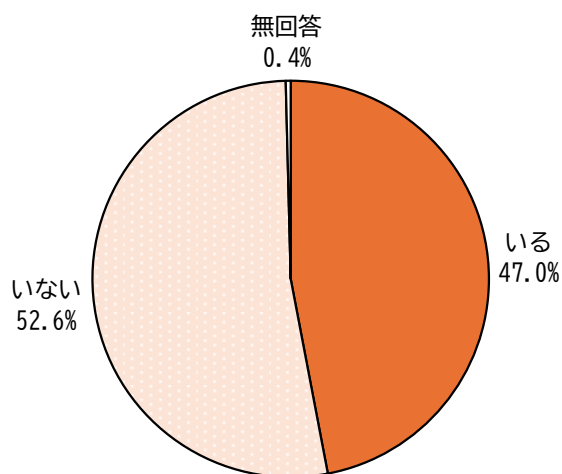


青少年・若者  
n=203

問6 あなたには、お子さんはいますか。いる場合には、お子さんの人数も教えてください。(妊娠中も含む)(あてはまるもの1つに○)

子どもの有無については「いる」(47.0%)、「いない」(52.6%)となっています。

問6 子どもの有無について

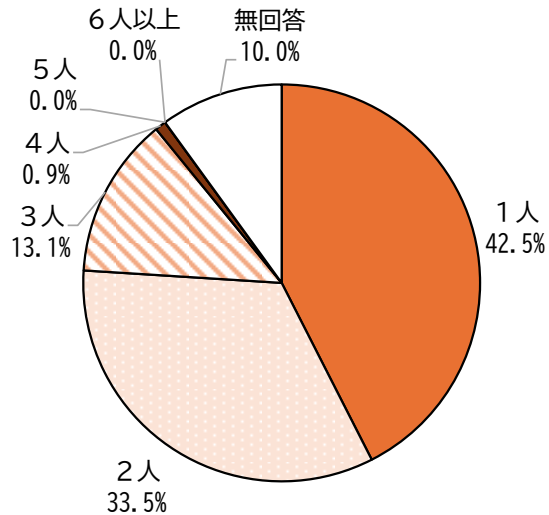


青少年・若者  
n=470

問6-(1) お子さんの人数をお答えください。

子どもの人数は「1人」(42.5%)が最も多く、次いで「2人」(33.5%)、「3人」(13.1%)となっています。

問6-(1) 子どもの人数

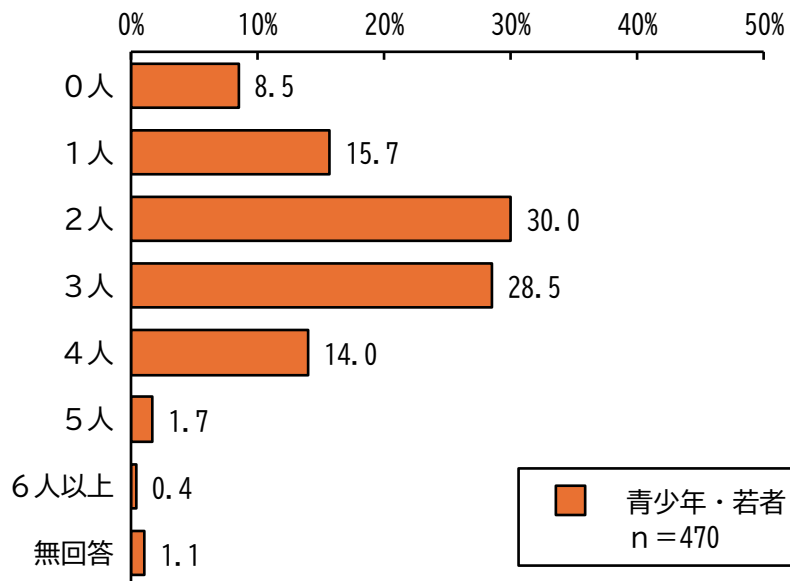


青少年・若者  
n=221

問7 現在あなたと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたを除く)。

同居している家族の人数は「2人」(30.0%)が最も多く、次いで「3人」(28.5%)、「1人」(15.7%)となっています。

問7 同居している家族の人数(回答者を除く)

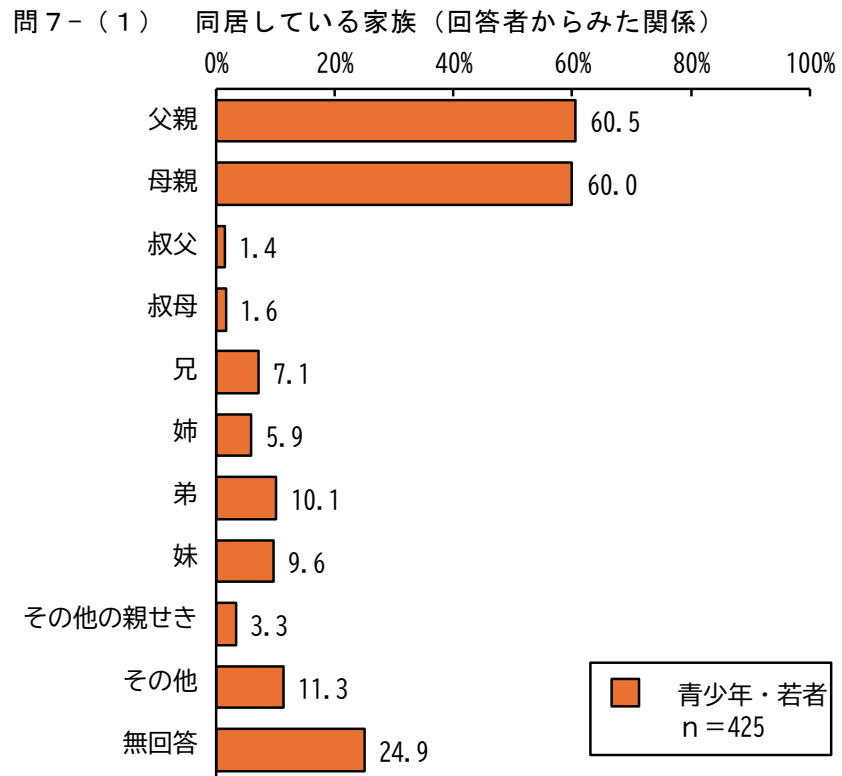


青少年・若者  
n=470



問7-(1) 宛名のお子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、それぞれ人数も教えてください。(あてはまるものそれぞれに○を選び、その人数を入力してください)

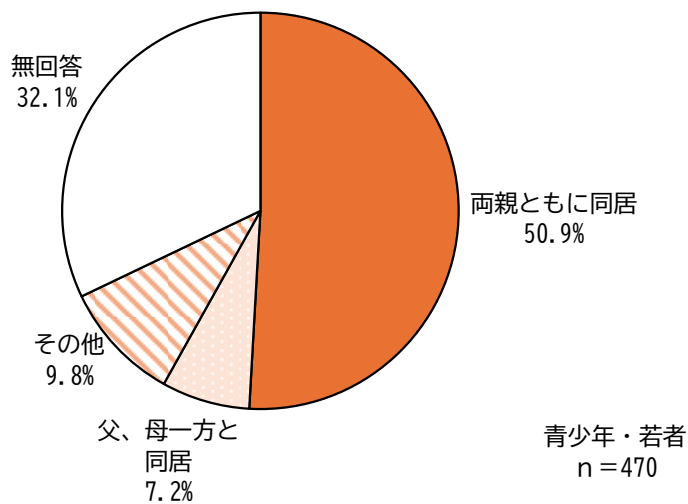
同居している家族は「父親」(60.5%)が最も多く、次いで「母親」(60.0%)、「弟」(10.1%)となっています。



問7-(1)-1 同居の状況について

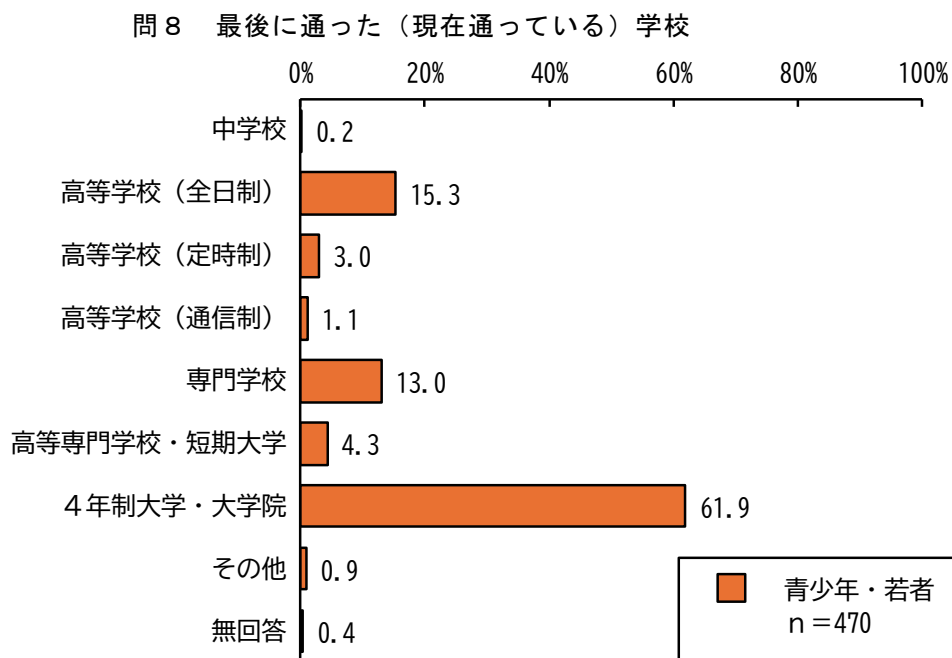
同居の状況については「両親ともに同居」(50.9%)が最も多く、次いで「父、母一方と同居」(7.2%)となっています。

問7-(1)-1 同居の状況



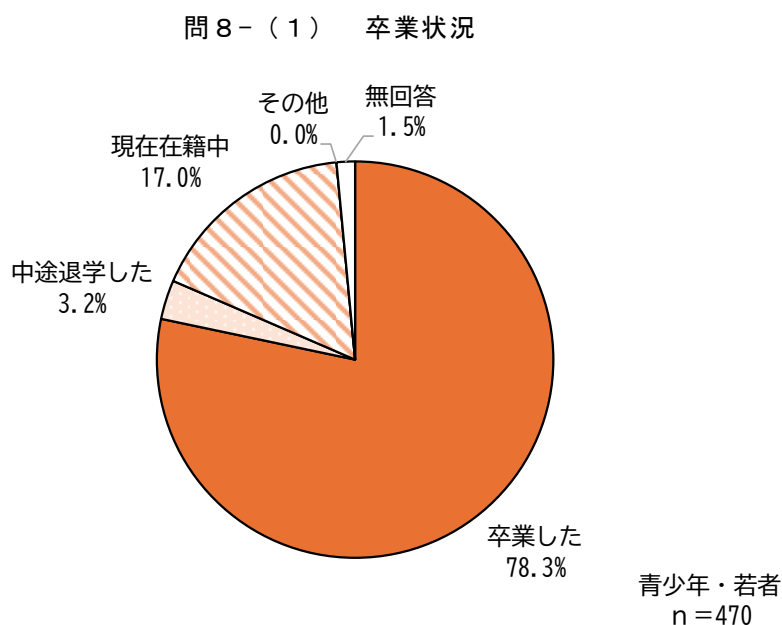
問8 あなたが最後に通った（現在通っている）学校はどれですか。（あてはまるもの1つに○）

最後に通った（現在通っている）学校は「4年制大学・大学院」（61.9%）が最も多く、次いで「高等学校（全日制）」（15.3%）、「専門学校」（13.0%）となっています。



問8-（1） 問8で回答いただいた学校を卒業しましたか。（あてはまるもの1つに○）

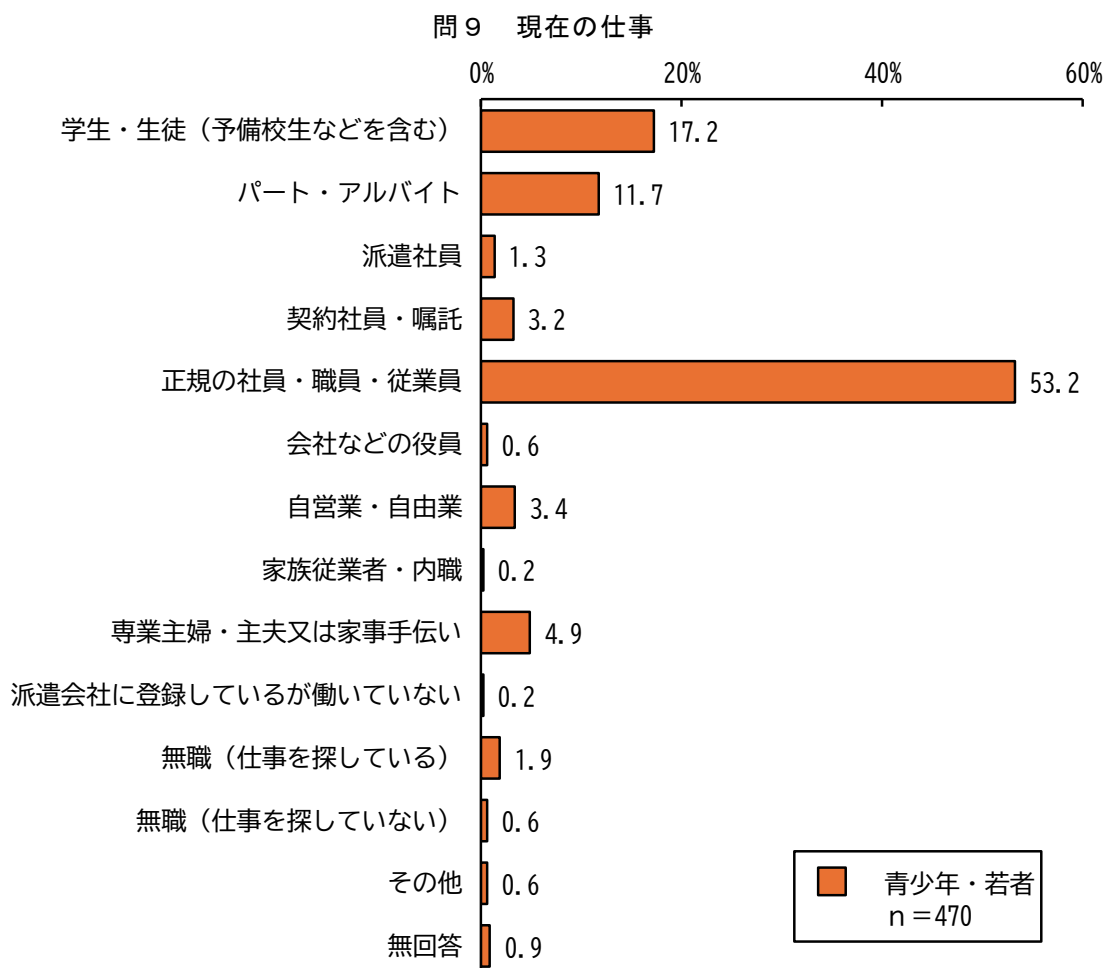
卒業の状況は「卒業した」（78.3%）が最も多く、次いで「現在在籍中」（17.0%）、「中途退学した」（3.2%）となっています。



## 2 現在の仕事の状況について

問9 あなたの現在の仕事などについてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

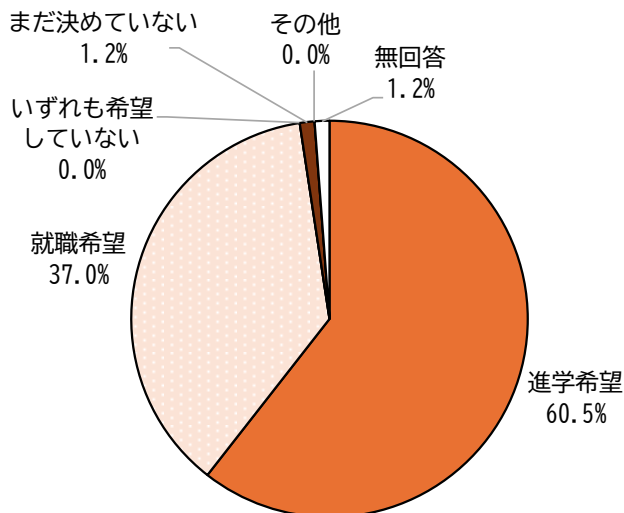
現在の仕事は「正規の社員・職員・従業員」(53.2%)が最も多く、次いで「学生・生徒(予備校生などを含む)」(17.2%)、「パート・アルバイト」(11.7%)となっています。



問9-(1) 卒業後の希望について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。  
 (あてはまるもの1つに○)

卒業後の進路希望は「進学希望」(60.5%)が最も多く、次いで「就職希望」(37.0%)、「まだ決めていない」(1.2%)となっています。

問9-(1) 卒業後の進路希望

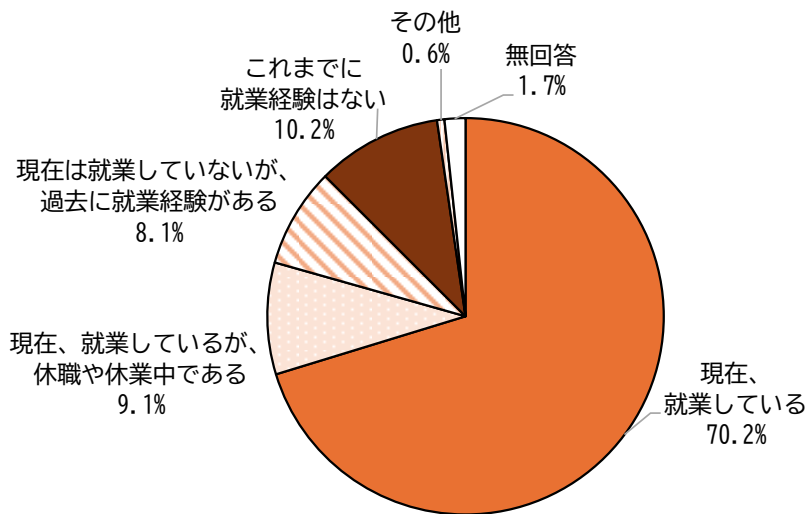


青少年・若者  
n=81

問9-(2) あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトを含む)  
 (あてはまるもの1つに○)

就業経験については「現在、就業している」(70.2%)が最も多く、次いで「これまでに就業経験はない」(10.2%)、「現在、就業しているが、休職や休業中である」(9.1%)となっています。

問9-(2) 就業経験

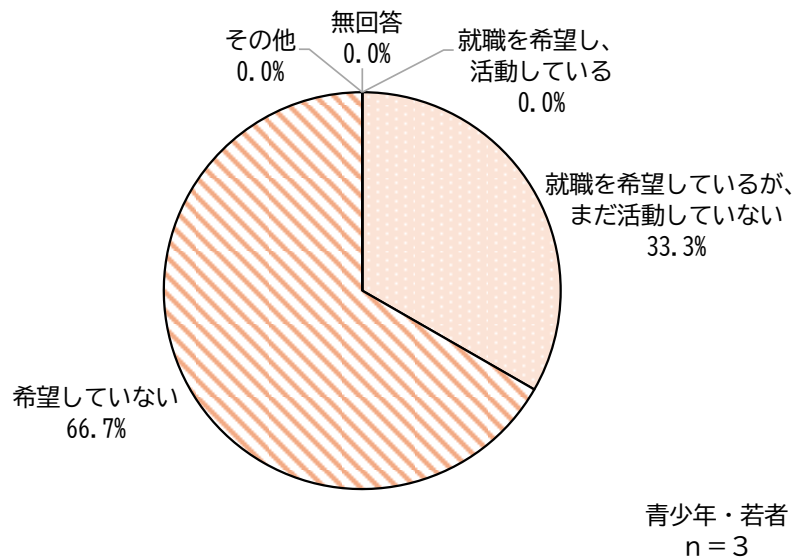


青少年・若者  
n=470

問9-(3) 現在就職を希望していますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、現在就職を希望しているかについては「希望していない」(66.7%)が最も多く、次いで「就職を希望しているが、まだ活動していない」(33.3%)となっています。

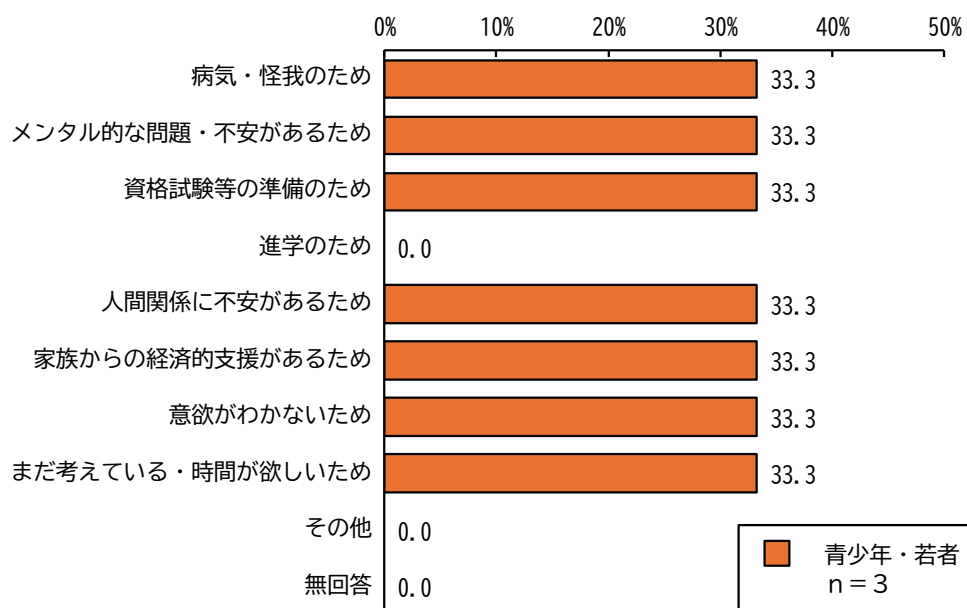
問9-(3) 現在の就職希望



問9-(4) 就職を希望していない、または就職活動をしていない主な理由は何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、就職を希望していない・就職活動行っていない理由は「病気・怪我のため」「メンタル的な問題・不安があるため」「資格試験等の準備のため」「人間関係に不安があるため」「家族からの経済的支援があるため」「意欲がわからないため」「まだ考えている・時間が欲しいため」(各33.3%)となっています。

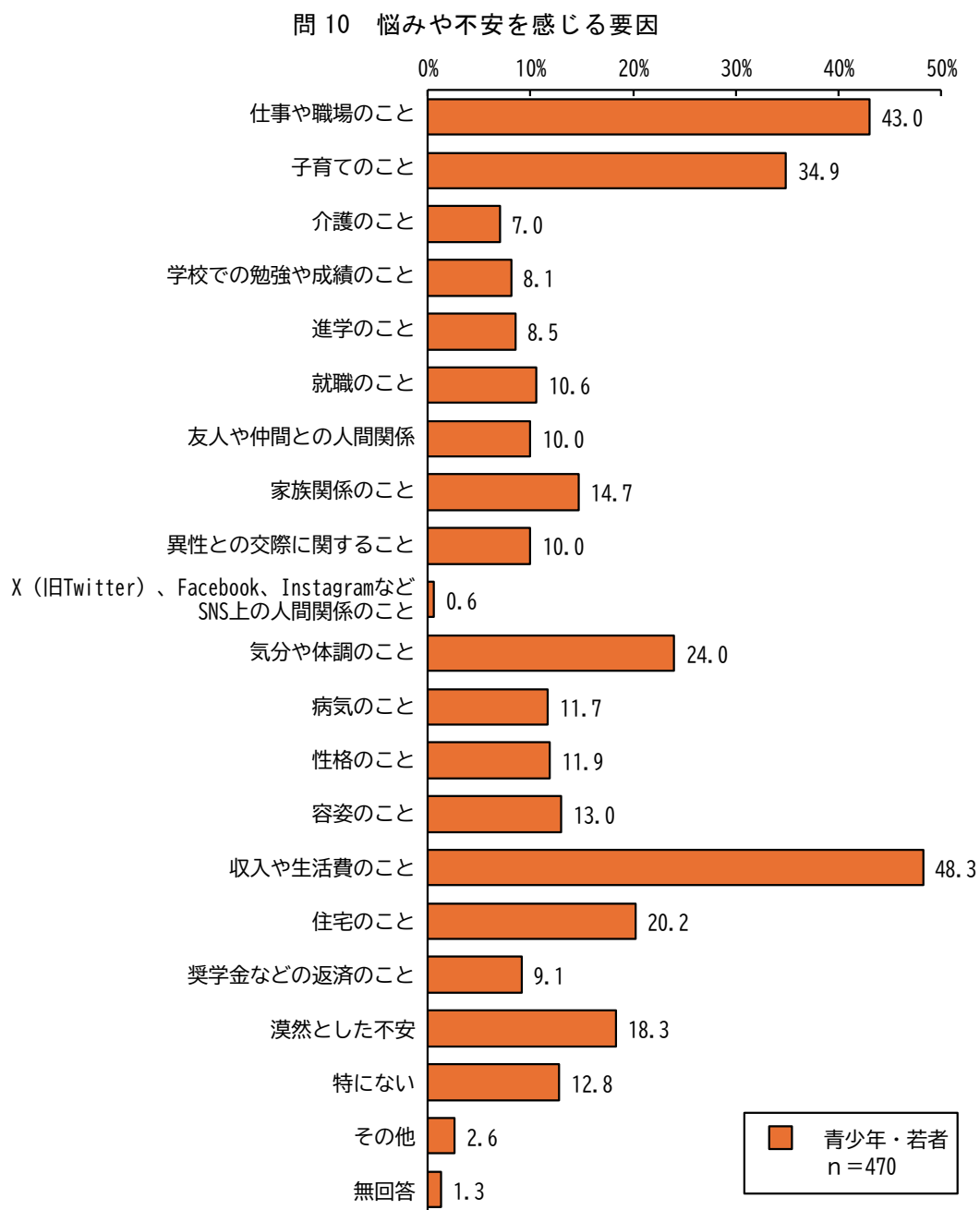
問9-(4) 就職を希望していない・就職活動行っていない理由



### 3 悩みや不安、経験について

問 10 現在、悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

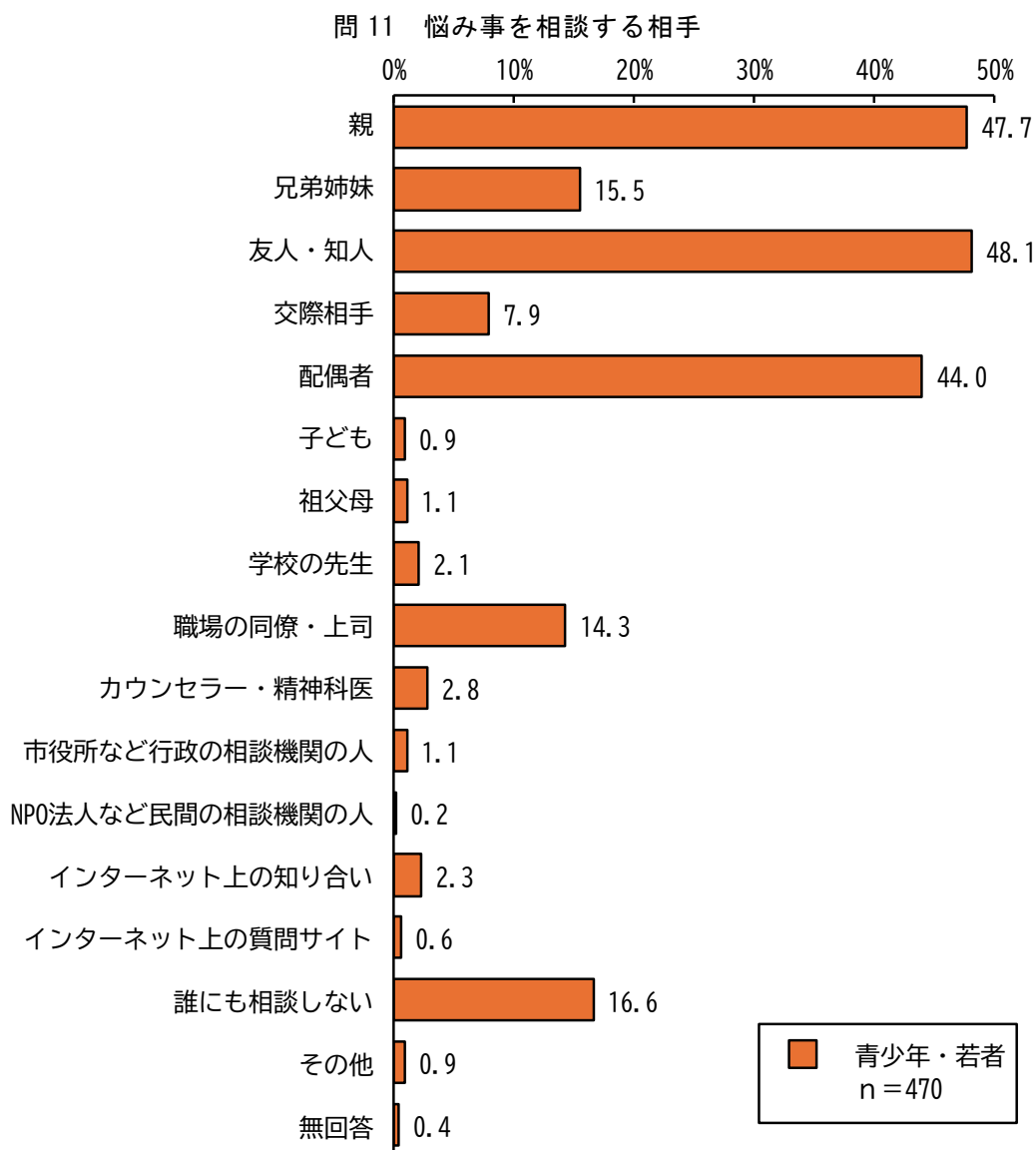
悩みや不安を感じる要因は「収入や生活費のこと」(48.3%)が最も多く、次いで「仕事や職場のこと」(43.0%)、「子育てのこと」(34.9%)となっています。





問 11 普段悩み事を誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

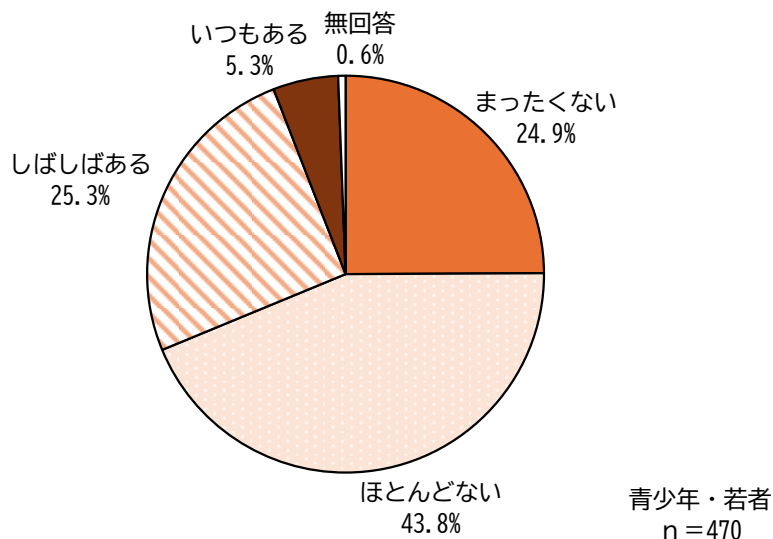
悩み事を相談する相手は「友人・知人」(48.1%)が最も多く、次いで「親」(47.7%)、「配偶者」(44.0%)となっています。



問 12 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

孤独であると感じることについては「ほとんどない」(43.8%)が最も多く、次いで「しばしばある」(25.3%)、「まったくない」(24.9%)となっています。

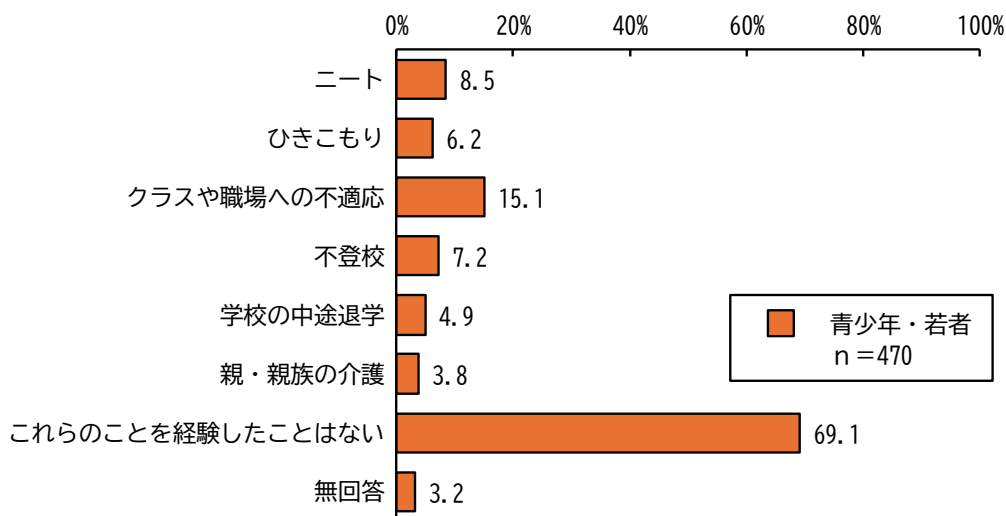
問 12 孤独であると感じること



問 13 あなたはこれまでに、次のようなことを経験したことはありますか。実際に経験したことがあるものをすべて選択してください。(あてはまるものすべてに○)

特定の経験の有無は「これらのことを経験したことはない」(69.1%)が最も多く、次いで「クラスや職場への不適應」(15.1%)、「ニート」(8.5%)となっています。

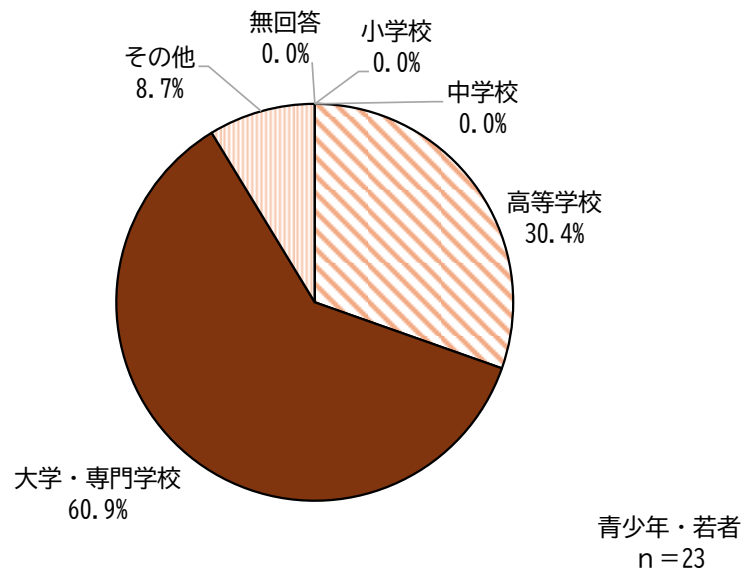
問 13 特定の経験の有無



問 13- (1) 通っていた学校の種類(あてはまるもの1つに○)

通っていた学校の種類は「大学・専門学校」(60.9%)が最も多く、次いで「高等学校」(30.4%)となっています。

問 13- (1) 通っていた学校の種類

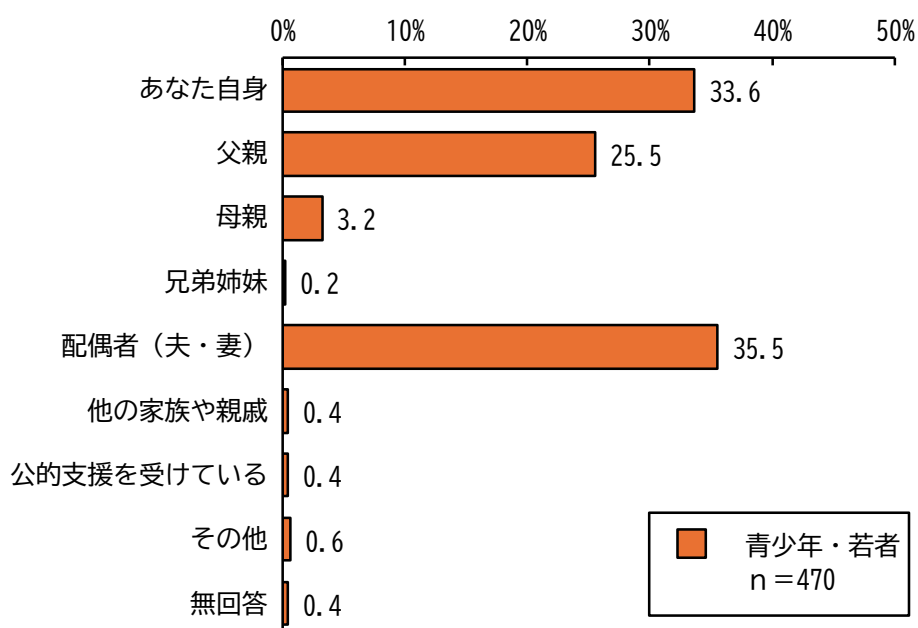


## 4 生活について

問 14 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。  
(あてはまるもの1つに○)

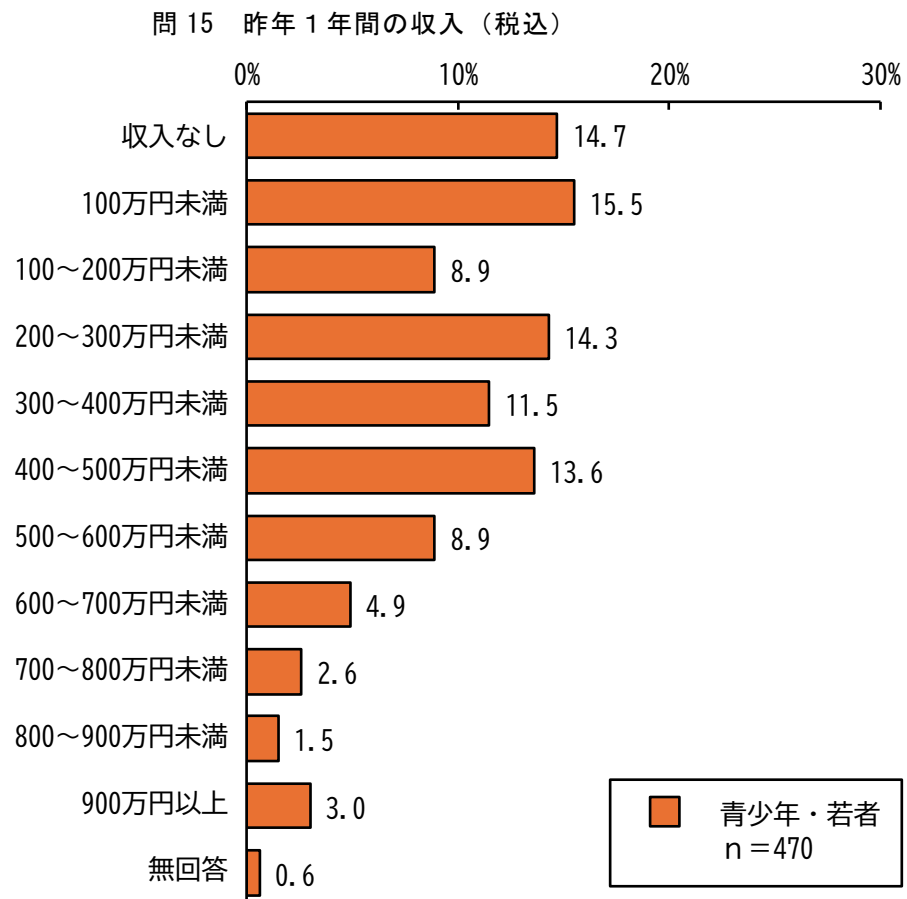
もっとも多く家計を負担している人(仕送りを含む)は「配偶者(夫・妻)」(35.5%)が最も多く、次いで「あなた自身」(33.6%)、「父親」(25.5%)となっています。

問 14 もっとも多く家計を負担している人(仕送りを含む)



問 15 あなたの昨年1年間の収入（税込）はおよそいくらですか。（あてはまるものに1つに○）※仕事による収入のほか、不動産収入や利子・配当金、年金、仕送りや養育費など仕事外の収入も合わせた額でご回答ください。

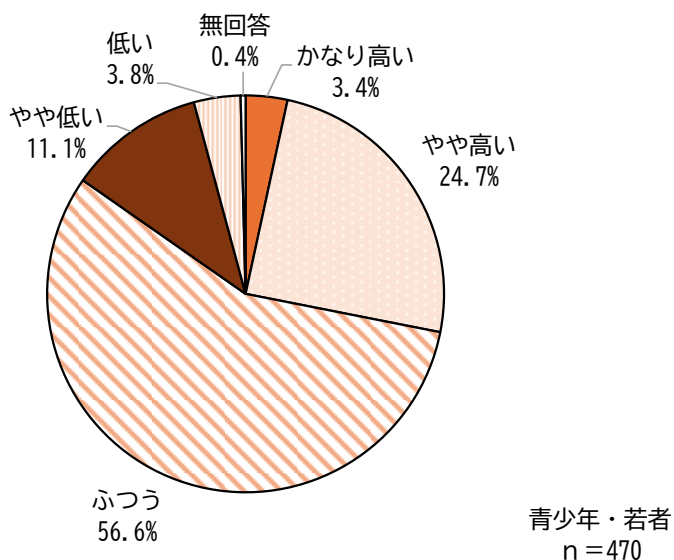
昨年1年間の収入（税込）は「100万円未満」（15.5%）が最も多く、次いで「収入なし」（14.7%）、「200～300万円未満」（14.3%）となっています。



問 16 あなたの家の暮らし向き（衣食住、レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、どの程度だと思えますか。あなたの実感でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

自身の生活水準と世間一般を比較した場合の実感は「ふつう」（56.6%）が最も多く、次いで「やや高い」（24.7%）、「やや低い」（11.1%）となっています。

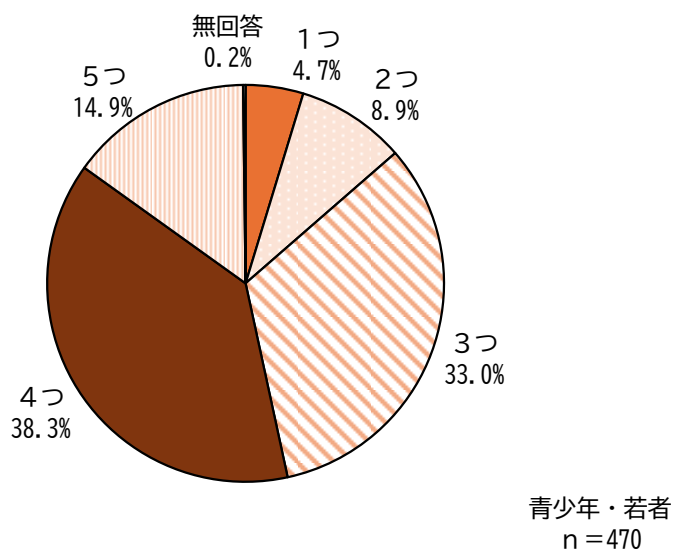
問 16 自身の生活水準と世間一般を比較した場合の実感



問 17 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「1」（まったく満足していない）から「5」（十分に満足している）までで評価してください。

最近の生活についての満足度は「4」（38.3%）が最も多く、次いで「3」（33.0%）、「5」（14.9%）となっています。

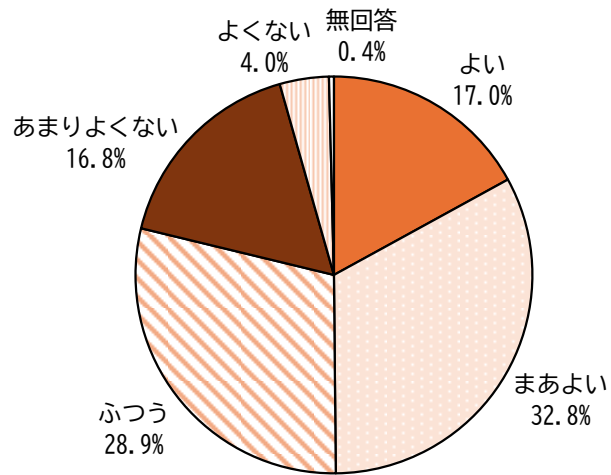
問 17 最近の生活についての満足度



問 18 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

自身の健康状態について感じることは「まあよい」(32.8%)が最も多く、次いで「ふつう」(28.9%)、「よい」(17.0%)となっています。

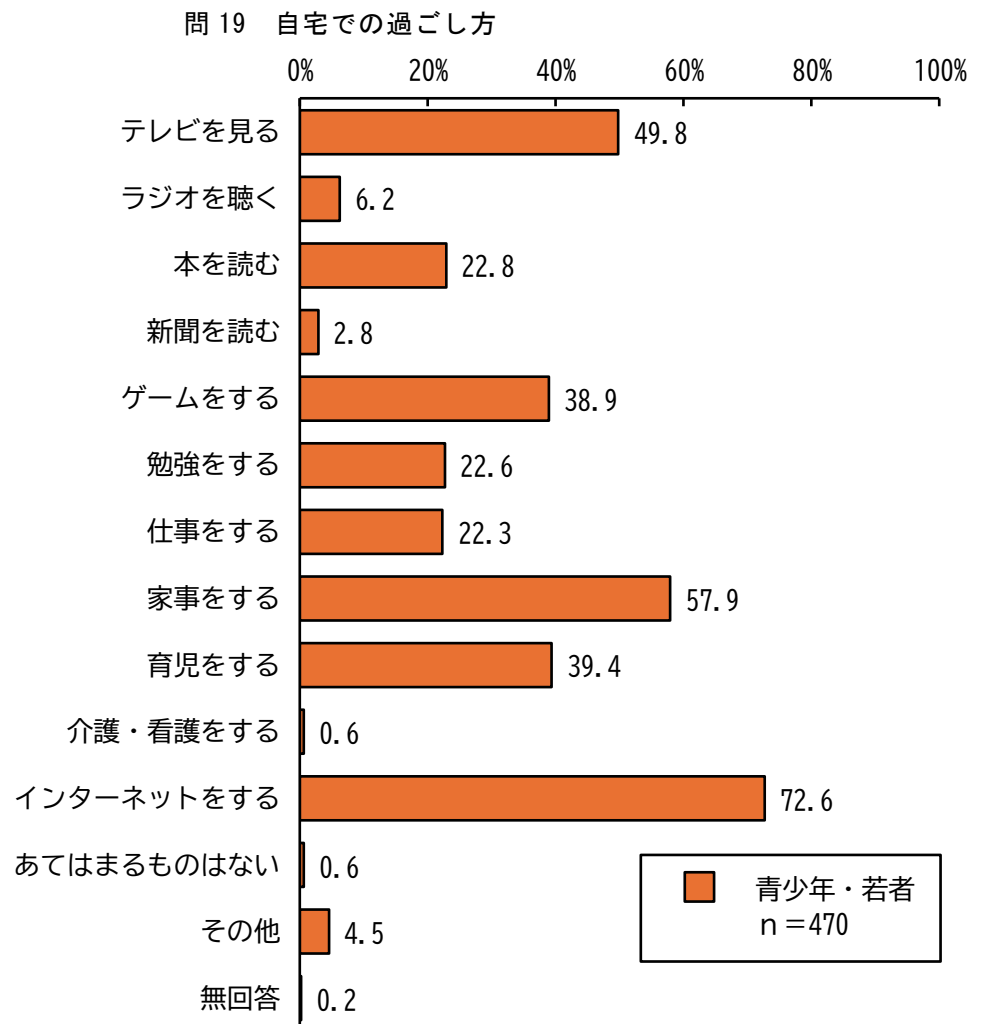
問 18 自身の健康状態について感じること



青少年・若者  
n=470

問 19 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

自宅での過ごし方は「インターネットをする」(72.6%) が最も多く、次いで「家事をする」(57.9%)、「テレビを見る」(49.8%) となっています。

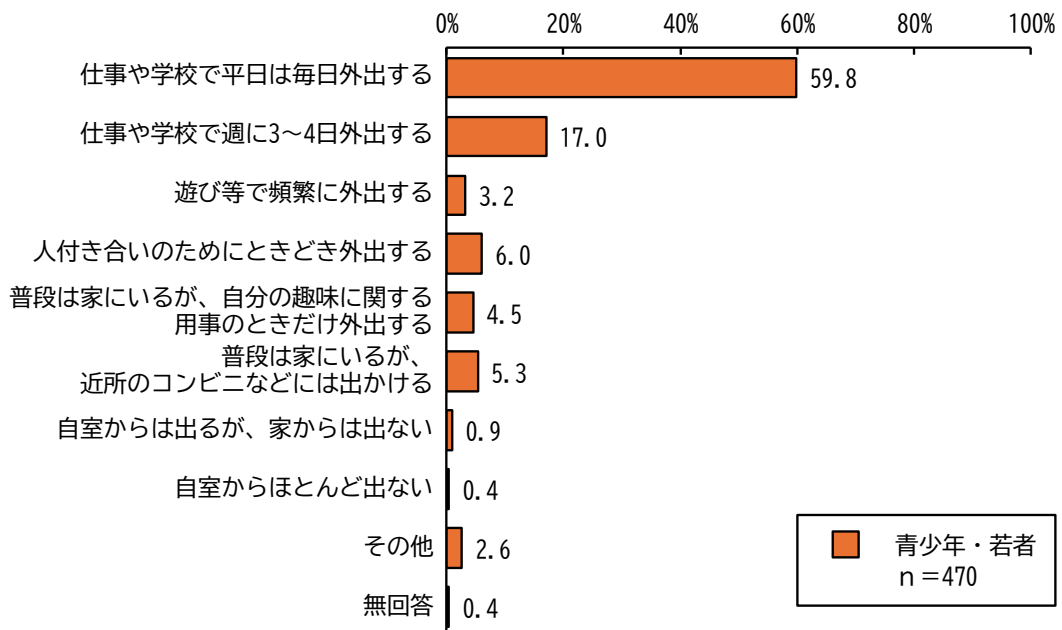




問 20 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

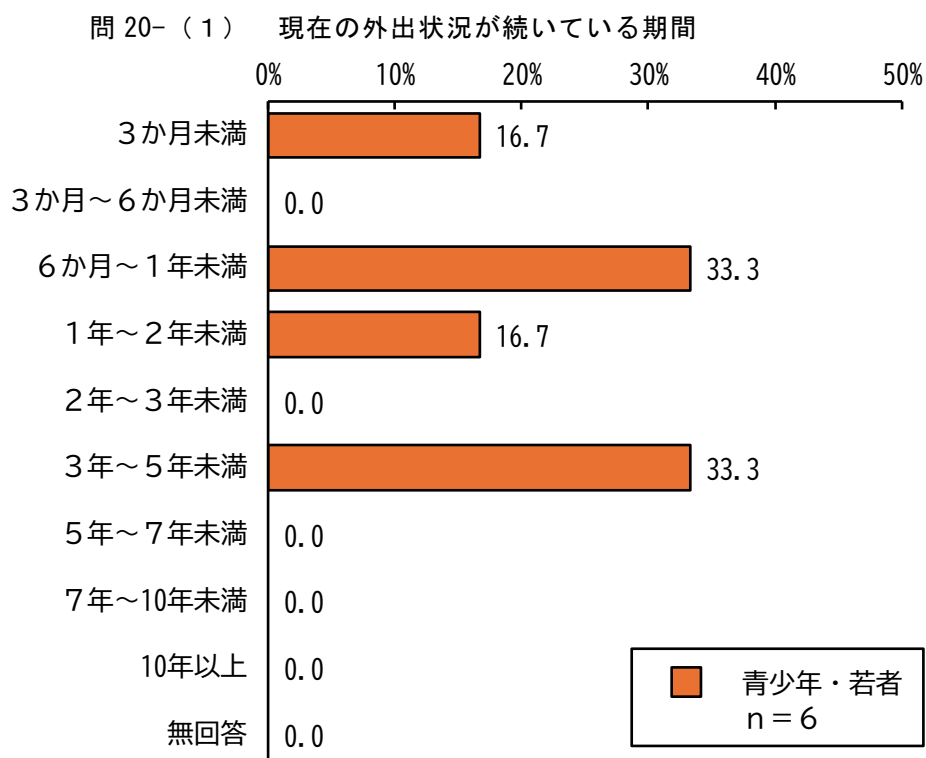
外出の頻度は「仕事や学校で平日は毎日外出する」(59.8%)が最も多く、次いで「仕事や学校で週に3~4日外出する」(17.0%)、「人付き合いのためにときどき外出する」(6.0%)となっています。

問 20 外出の頻度



問 20- (1) あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(あてはまるもの1つに○)

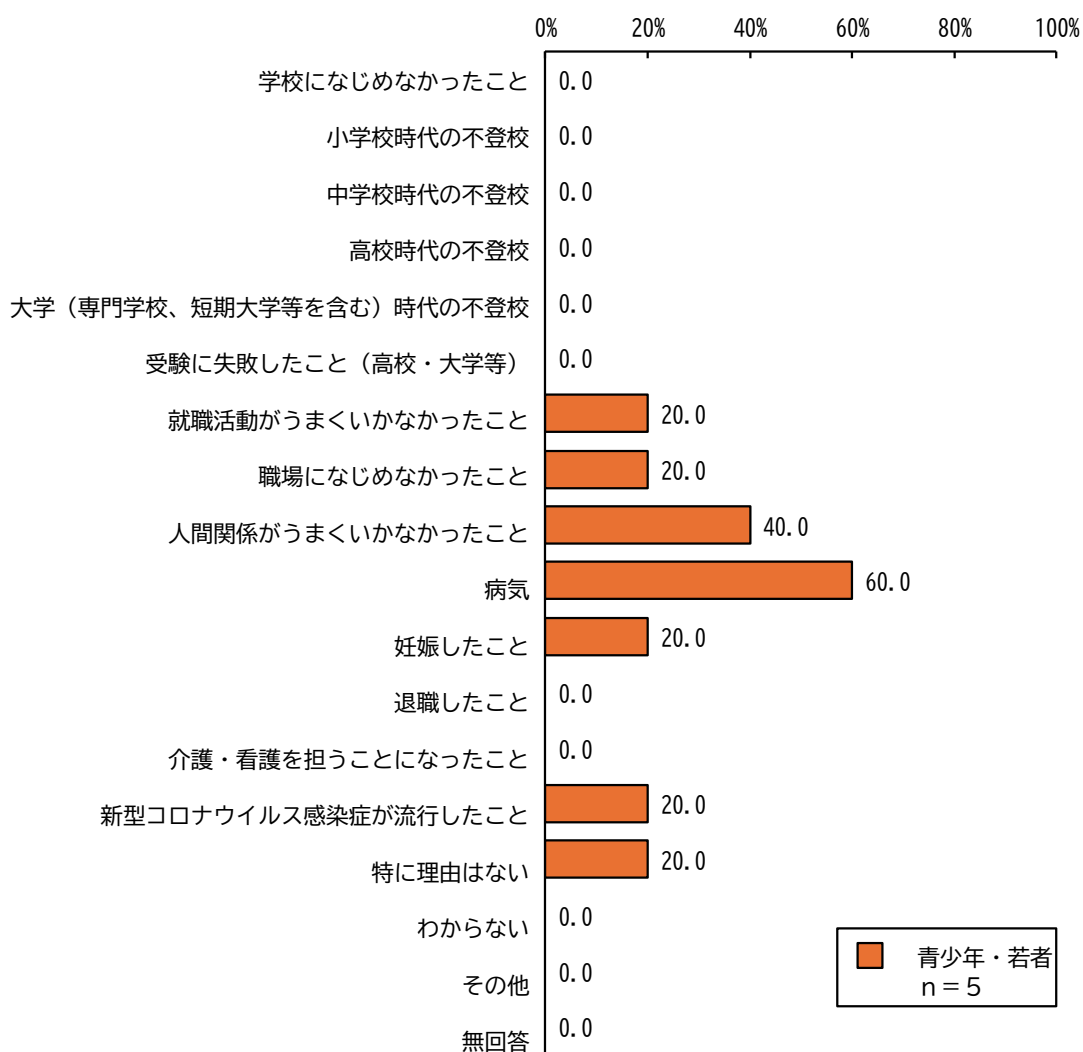
回答者が少ないため参考として掲載しますが、現在の外出状況が続いている期間は「6か月～1年未満」「3年～5年未満」(各 33.3%)が最も多く、次いで「3か月未満」「1年～2年未満」(各 16.7%)となっています。



問 20-（2） あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

回答者が少ないため参考として掲載しますが、現在の外出状況になった、主な理由は「病気」（60.0%）が最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」（40.0%）、「就職活動がうまくいかなかったこと」「職場になじめなかったこと」「妊娠したこと」「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」「特に理由はない」（各 20.0%）となっています。

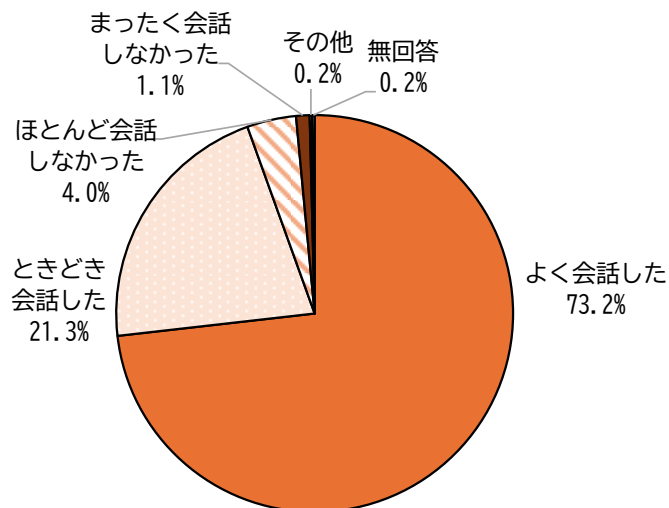
問 20-（2） 現在の外出状況になった主な理由



問 21 最近 6 か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

家族以外の人との会話の状況(最近 6 か月以内)は「よく会話した」(73.2%)が最も多く、次いで「ときどき会話した」(21.3%)、「ほとんど会話しなかった」(4.0%)となっています。

問 21 家族以外の人との会話の状況(最近 6 か月以内)

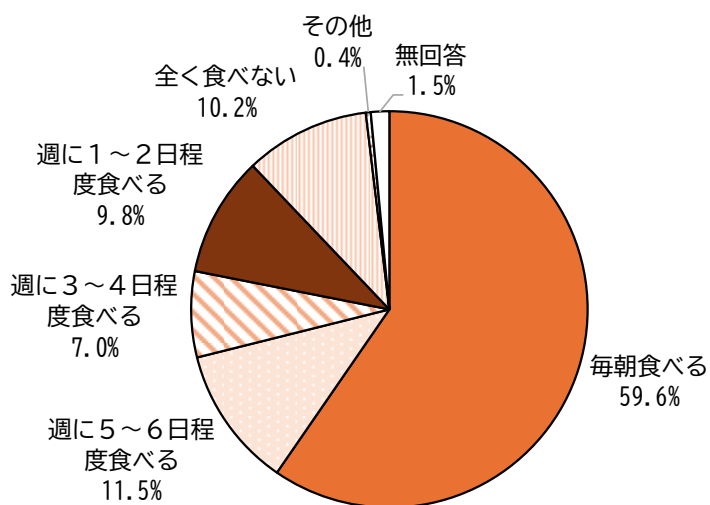


青少年・若者  
n=470

問 22 朝ごはんを食べる頻度について。(あてはまるもの 1 つに○)

朝ごはんを食べる頻度は「毎朝食べる」(59.6%)が最も多く、次いで「週に 5~6 日程度食べる」(11.5%)、「全く食べない」(10.2%)となっています。

問 22 朝ごはんを食べる頻度

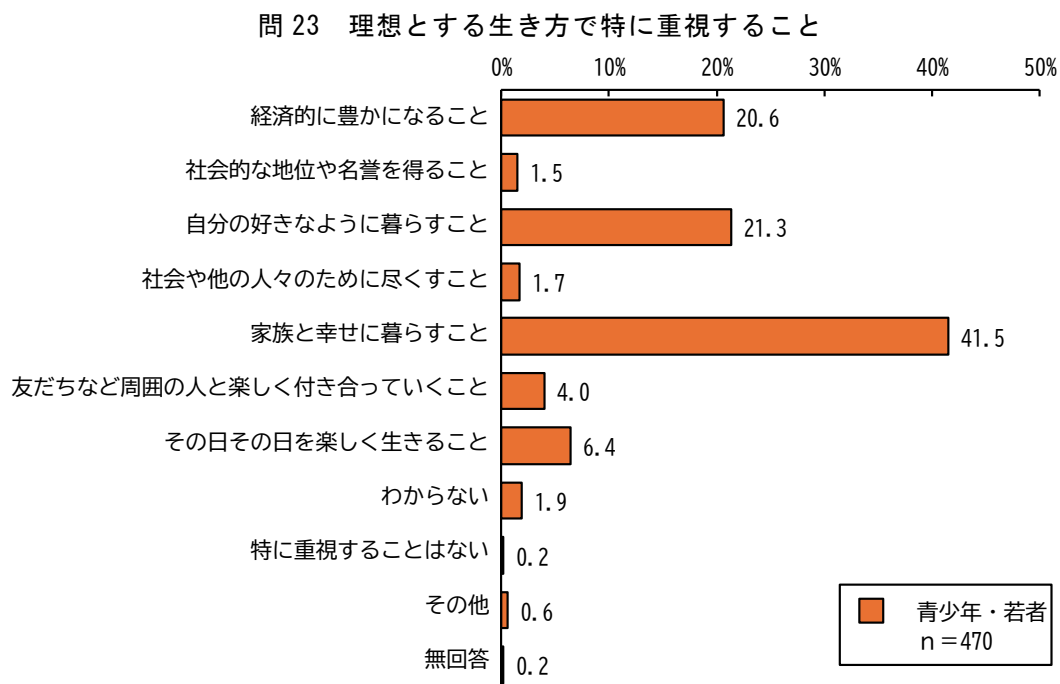


青少年・若者  
n=470

## 5 将来について

問 23 理想とする生き方について、次の中で特に重視することは何ですか。(あてはまるものの1つに○)

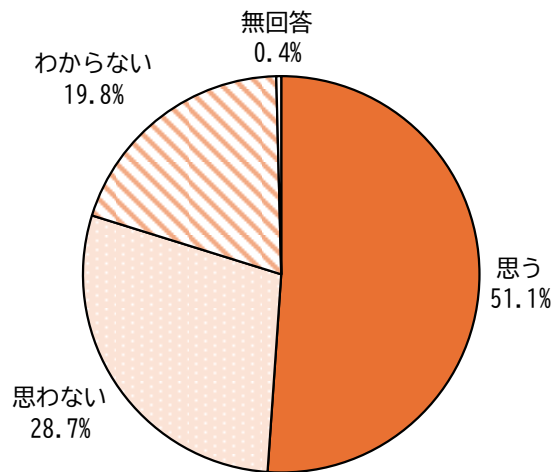
理想とする生き方で特に重視することは「家族と幸せに暮らすこと」(41.5%)が最も多く、次いで「自分の好きなように暮らすこと」(21.3%)、「経済的に豊かになること」(20.6%)となっています。



問 24 今後お子さんを持ちたいと思いますか。現在すでにお子さんがいらっしゃる方は、さらにお子さんを持ちたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

今後、子どもを持ちたいと思うかについては「思う」(51.1%)が最も多く、次いで「思わない」(28.7%)、「わからない」(19.8%)となっています。

問 24 今後、子どもを持ちたいと思うか

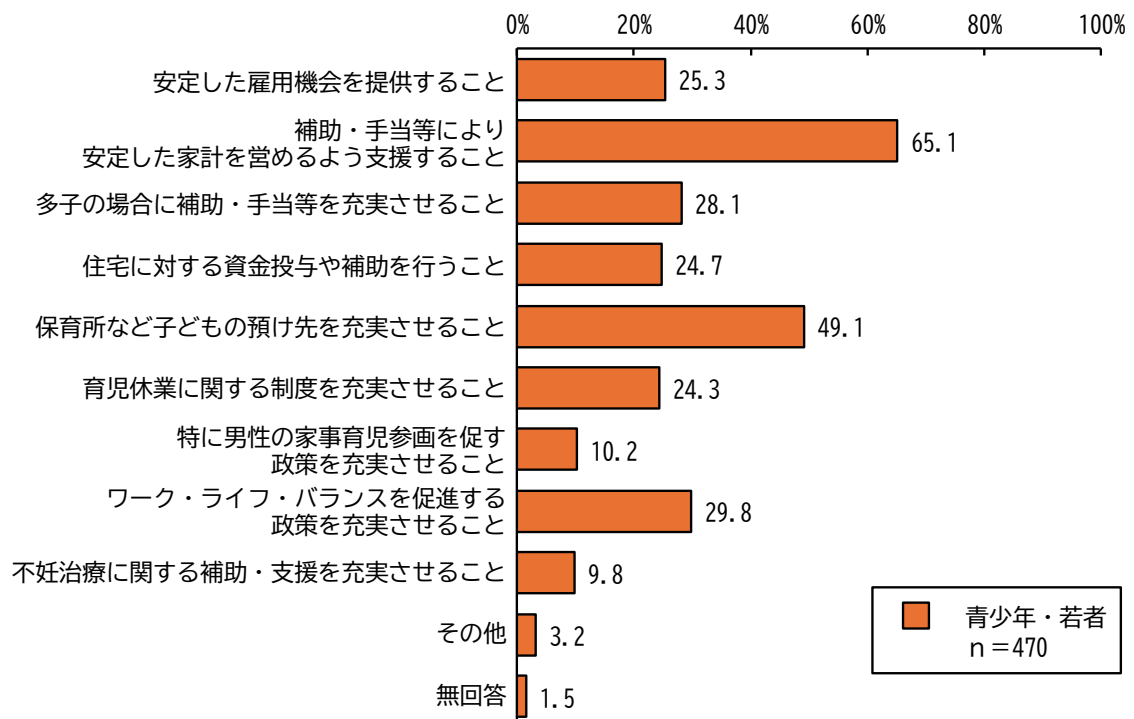


青少年・若者  
n=470

問 25 子どもを持つことを希望する人を支援する施策としてどのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

子どもを持つことを希望する人を支援する施策で重要だと思うことは「補助・手当等により安定した家計を営めるよう支援すること」(65.1%)が最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先を充実させること」(49.1%)、「ワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」(29.8%)となっています。

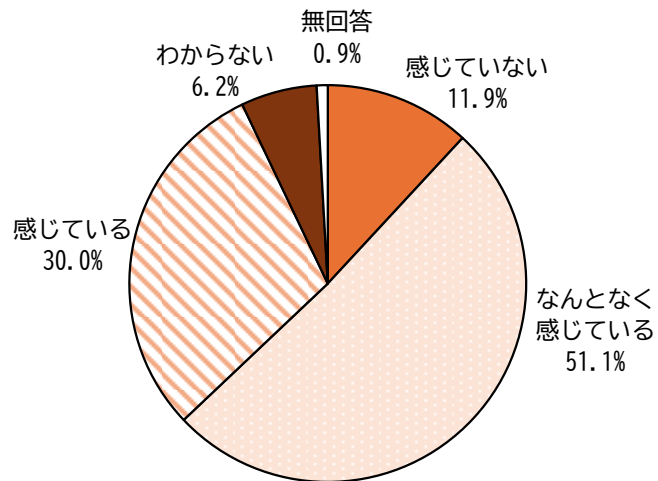
問 25 子どもを持つことを希望する人を支援する施策で重要だと思うこと



問 26 将来に不安を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

将来への不安は「なんとなく感じている」(51.1%)が最も多く、次いで「感じている」(30.0%)、「感じていない」(11.9%)となっています。

問 26 将来への不安

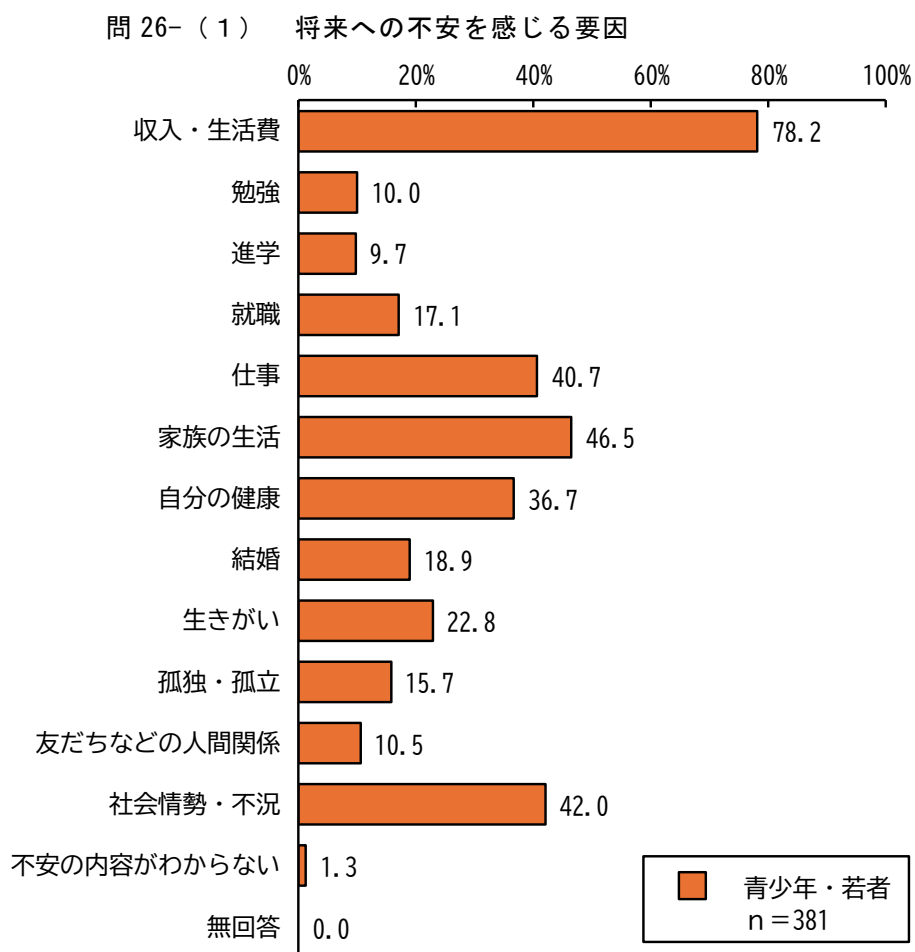


青少年・若者  
n=470



問 26- (1) 将来への不安は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

将来への不安を感じる要因は「収入・生活費」(78.2%)が最も多く、次いで「家族の生活」(46.5%)、「社会情勢・不況」(42.0%)となっています。

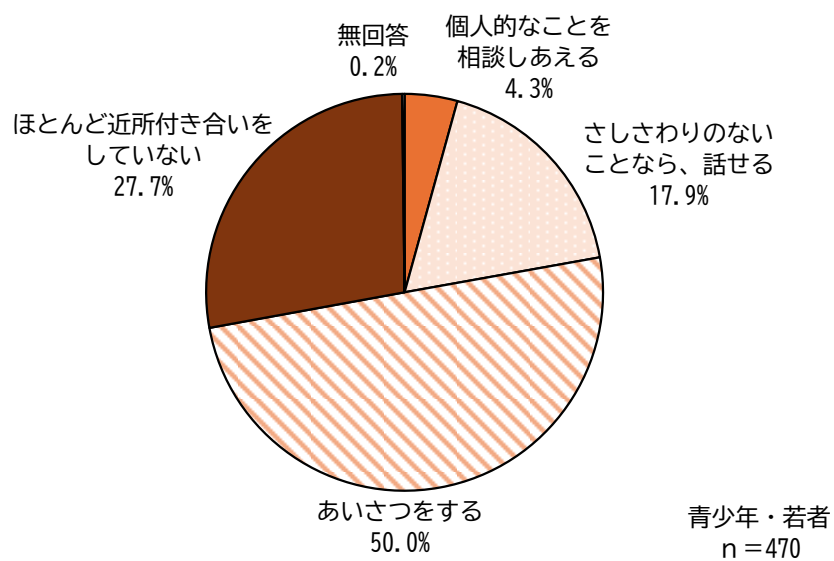


## 6 地域との関わりについて

問 27 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所付き合いをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

近所付き合いの程度は「あいさつをする」(50.0%)が最も多く、次いで「ほとんど近所付き合いをしていない」(27.7%)、「さしさわりのないことなら、話せる」(17.9%)となっています。

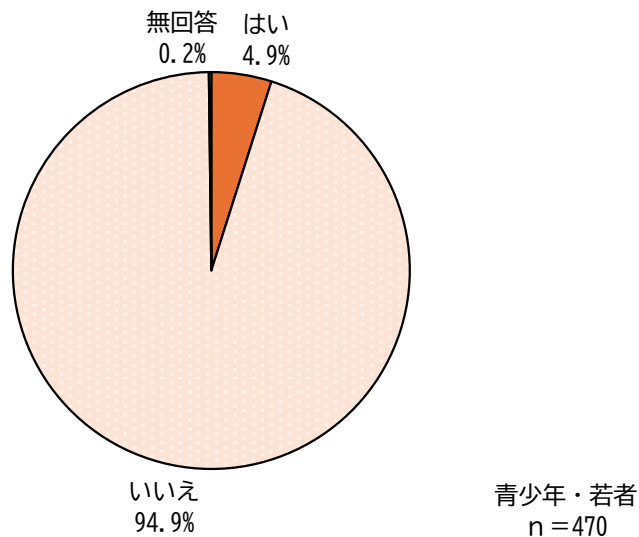
問 27 近所付き合いの程度



問 28 あなたの近所で、子どもに対する暴力や過剰な怒鳴り声、大きな物音がしたり、子どもの衣服の汚れや臭いが気になるなどの状況を見聞きしたことはありますか。  
(あてはまるもの1つに○)

子どもに対する暴力等を見聞きした経験は「いいえ」(94.9%)、「はい」(4.9%)  
となっています。

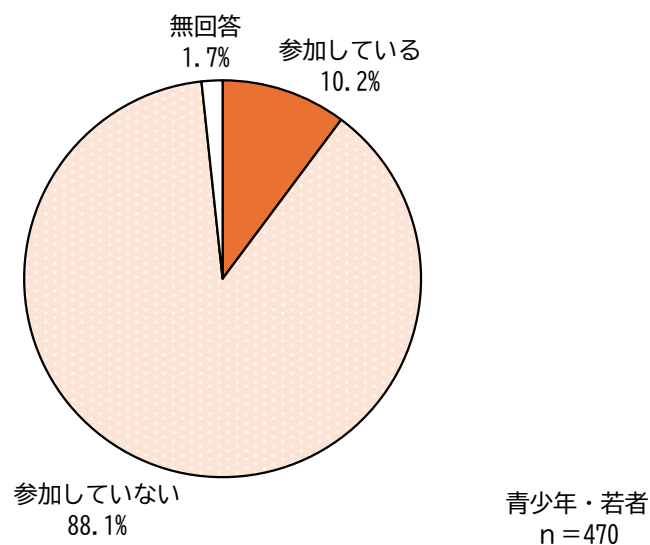
問 28 子どもに対する暴力等を見聞きした経験



問 29 あなたは、現在、地域活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

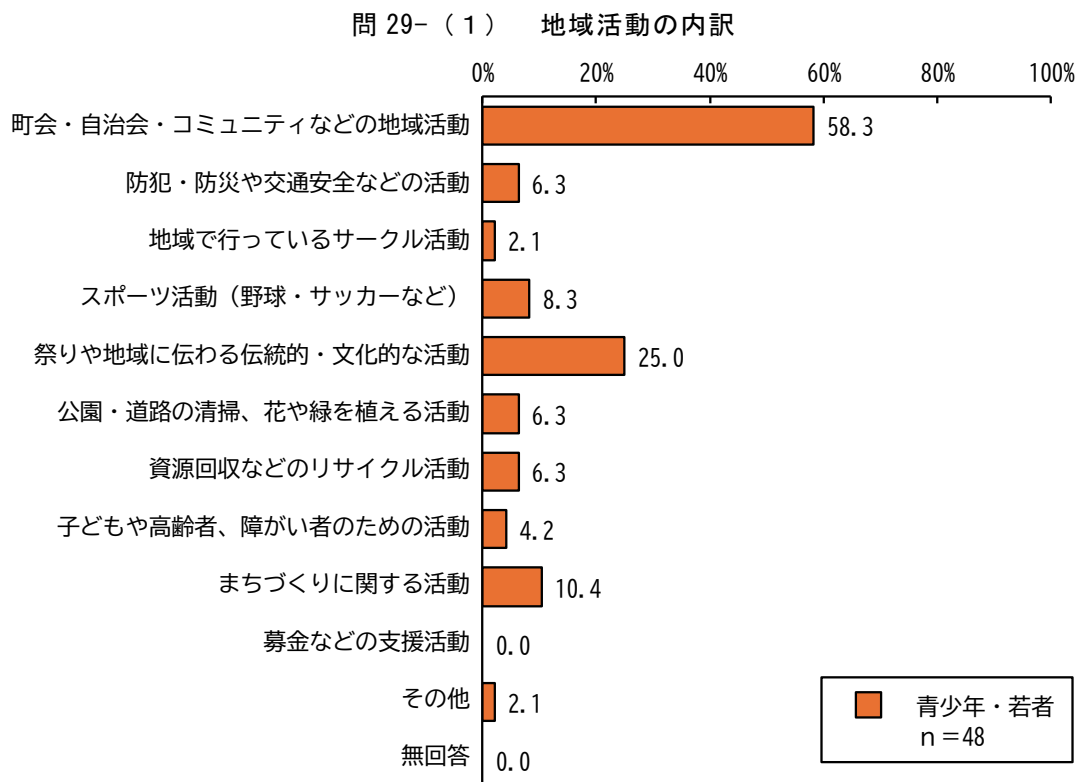
地域活動の参加状況は「参加していない」(88.1%)、「参加している」(10.2%)  
となっています。

問 29 地域活動の参加状況



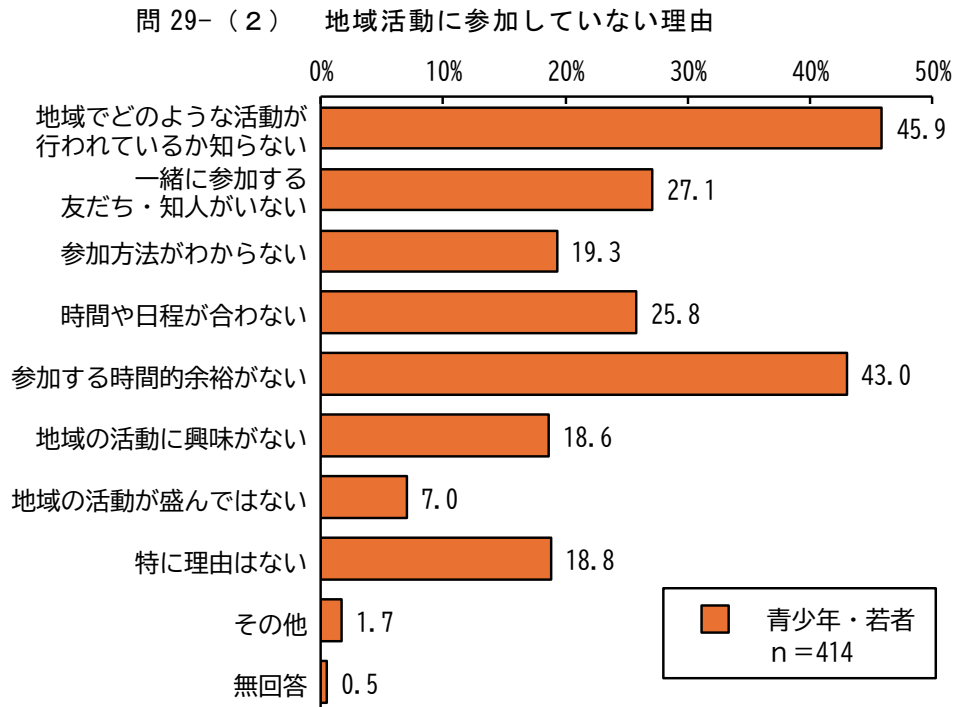
問 29- (1) その地域活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動の内訳は「町会・自治会・コミュニティなどの地域活動」(58.3%)が最も多く、次いで「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」(25.0%)、「まちづくりに関する活動」(10.4%)となっています。



問 29-（2） 地域活動に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

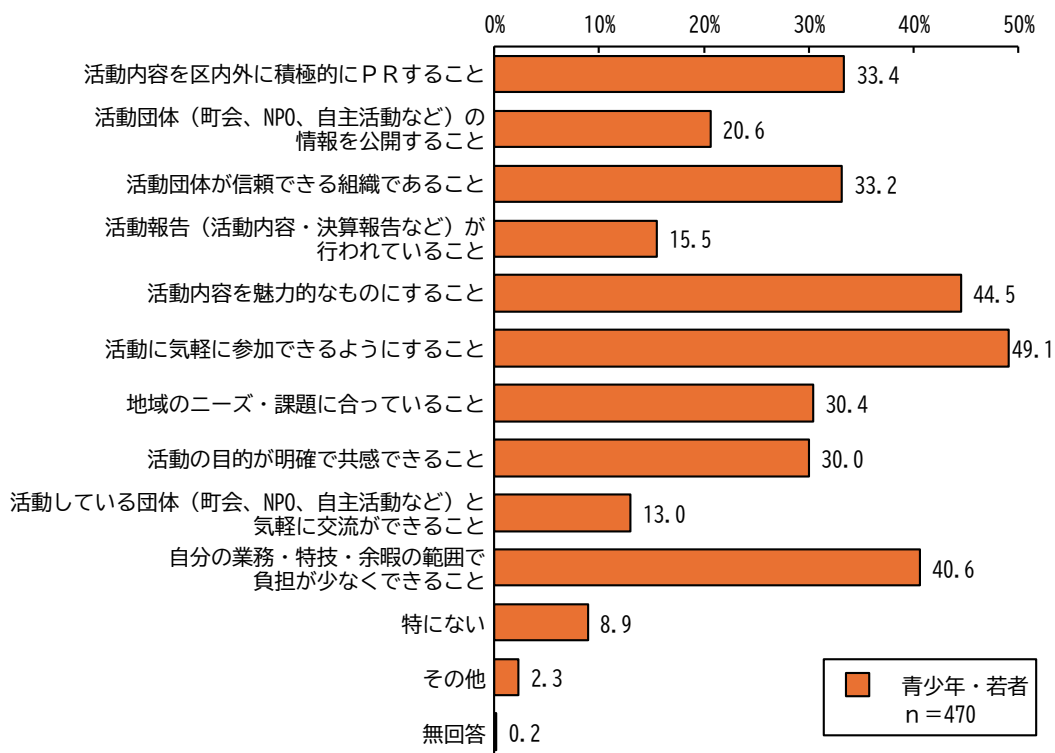
地域活動に参加していない理由は「地域でどのような活動が行われているか知らない」（45.9%）が最も多く、次いで「参加する時間的余裕がない」（43.0%）、  
「一緒に参加する友だち・知人がいない」（27.1%）となっています。



問 30 地域活動に多くの人が参加するために必要なことはどのようなことだと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

多くの人が地域活動に参加するために必要なことは「活動に気軽に参加できるようにすること」(49.1%)が最も多く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」(44.5%)、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」(40.6%)となっています。

問 30 多くの人が地域活動に参加するために必要なこと



## 7 非行的な行為について

問 31 あなたは、未成年者が次のようなことを行うことについて、どう思いますか。(あてはまるものそれぞれに○)

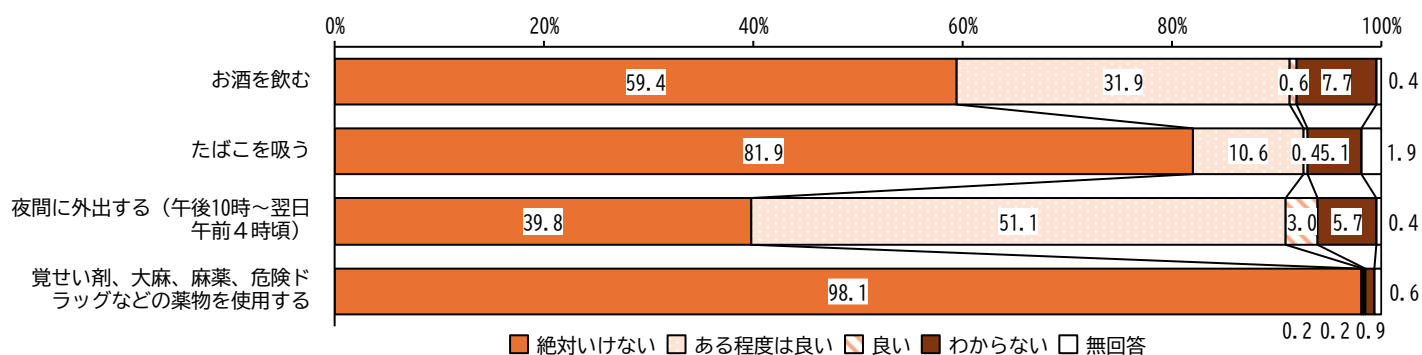
未成年の非行について感じることは、「お酒を飲む」では「絶対いけない」(59.4%)が最も多く、次いで「ある程度は良い」(31.9%)となっています。

「たばこを吸う」では「絶対いけない」(81.9%)が最も多く、次いで「ある程度は良い」(10.6%)となっています。

「夜間に外出する(午後10時～翌日午前4時頃)」では「ある程度は良い」(51.1%)が最も多く、次いで「絶対いけない」(39.8%)となっています。

「覚せい剤、大麻、麻薬、危険ドラッグなどの薬物を使用する」では「絶対いけない」(98.1%)が最も多く、次いで「わからない」(0.9%)となっています。

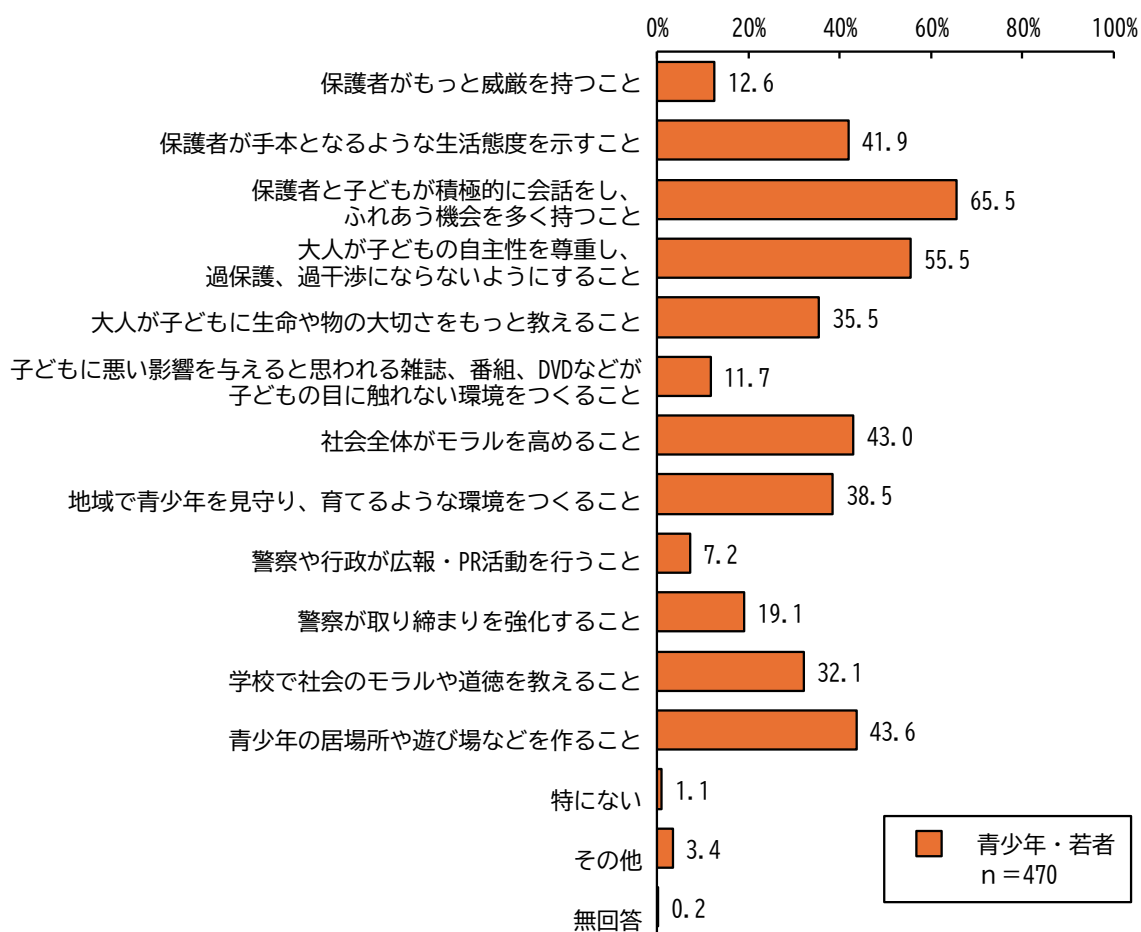
問 31 未成年の非行について感じること



問 32 青少年の健やかな成長、非行防止に特に何が大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

青少年の健やかな成長、非行防止について大切だと思うことは「保護者と子どもが積極的に会話をし、ふれあう機会を多く持つこと」(65.5%)が最も多く、次いで「大人が子どもの自主性を尊重し、過保護、過干渉にならないようにすること」(55.5%)、「青少年の居場所や遊び場などを作ること」(43.6%)となっています。

問 32 青少年の健やかな成長、非行防止について大切だと思うこと

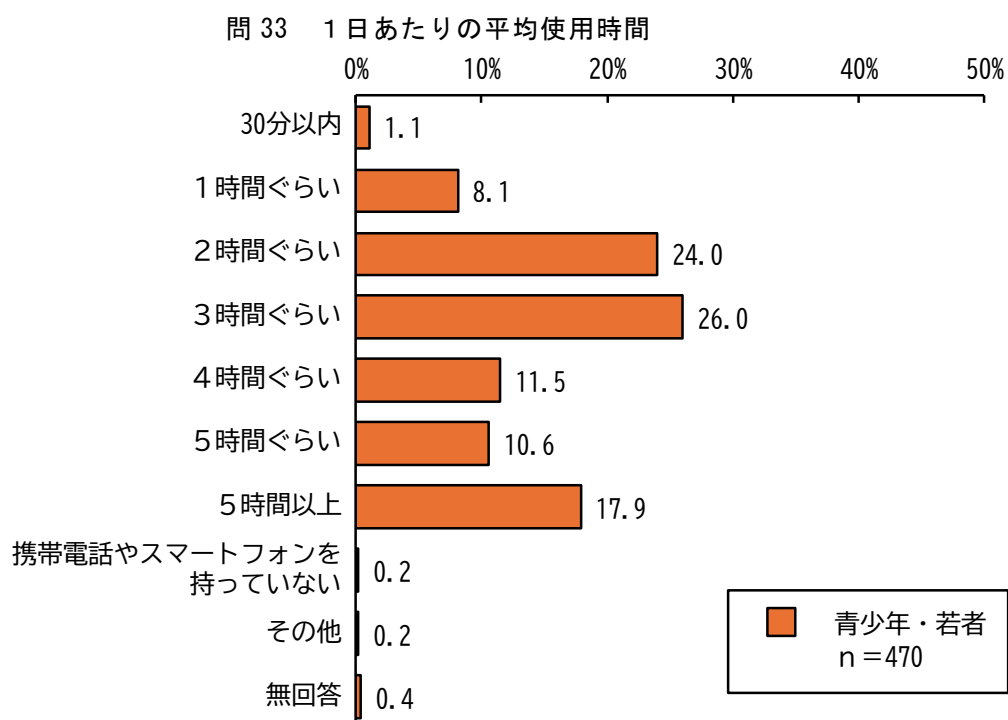




## 8 携帯電話・スマートフォンの利用について

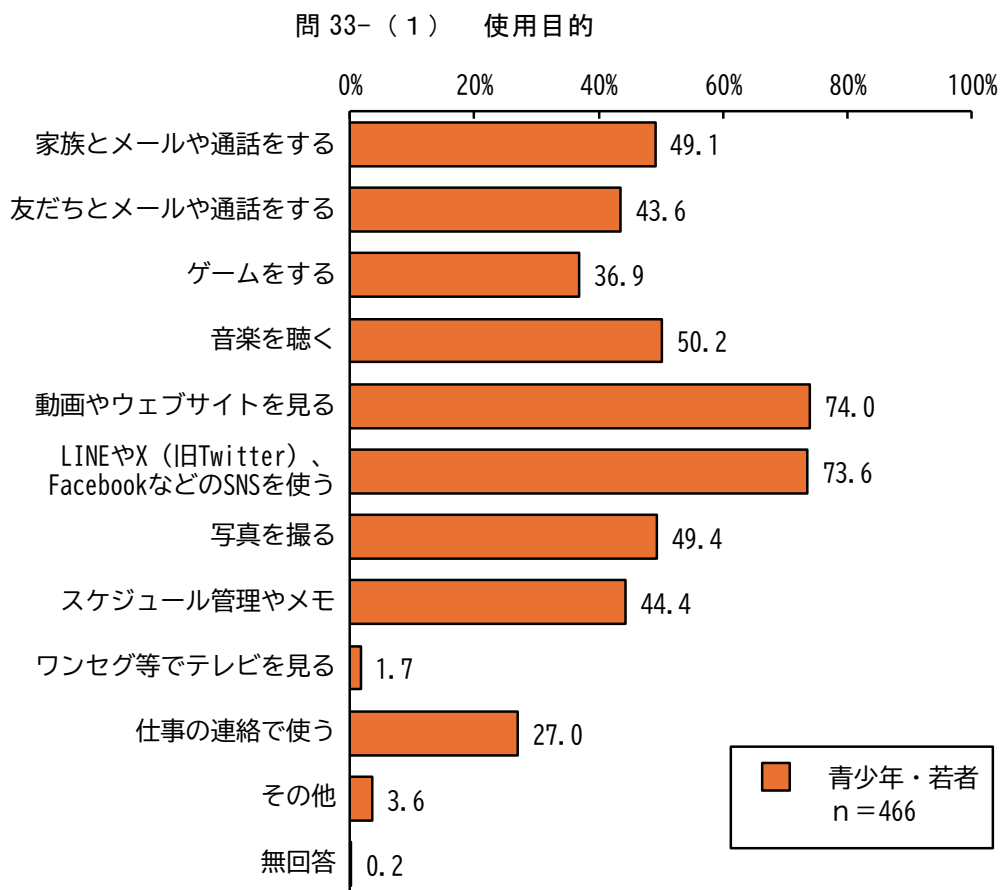
問 33 あなたは、学校や仕事以外で、携帯電話やスマートフォンなどをどのくらい使いますか。1日あたりの平均使用時間に近いものを選んでください。(あてはまるもの1つに○)

携帯電話・スマートフォンの1日あたりの平均使用時間は「3時間ぐらい」(26.0%)が最も多く、次いで「2時間ぐらい」(24.0%)、「5時間以上」(17.9%)となっています。



問 33- (1) 携帯電話やスマートフォンなどをどのような目的で使うことが多いですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

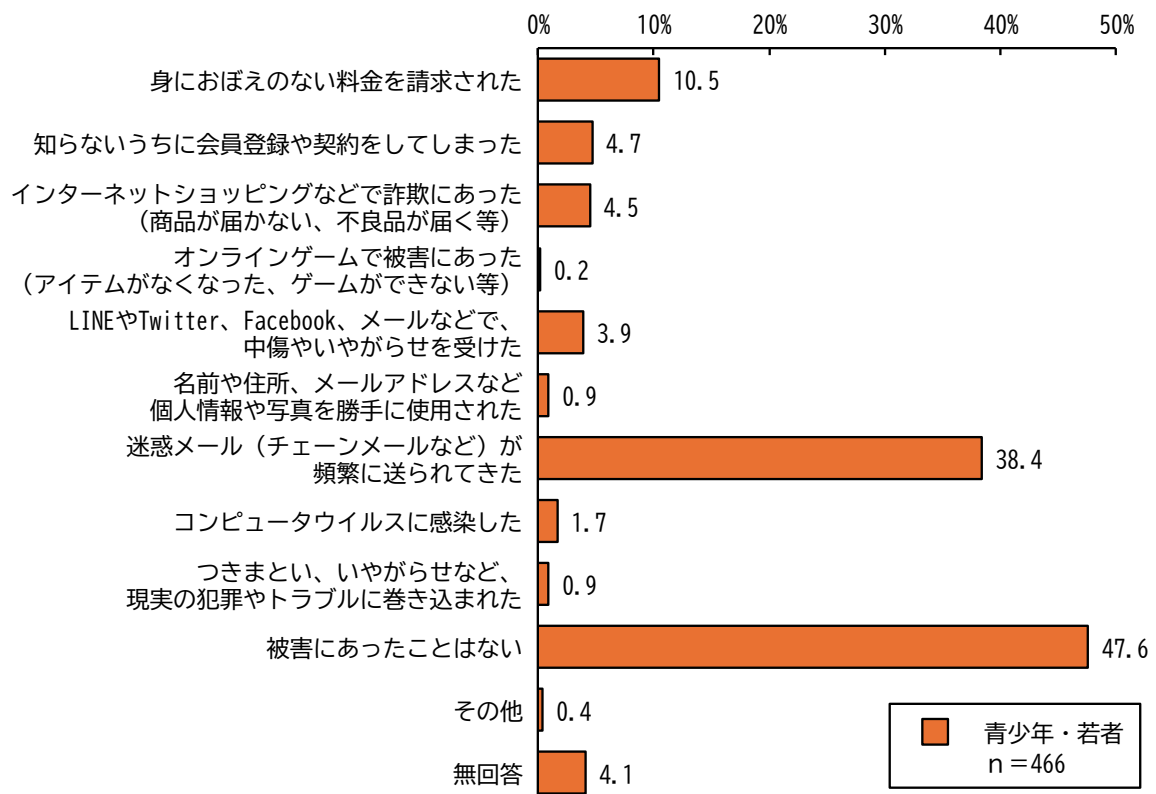
携帯電話・スマートフォンの使用目的は「動画やウェブサイトを見る」(74.0%)  
 が最も多く、次いで「LINE や X (旧 Twitter)、Facebook などの SNS を使う」  
 (73.6%)、「音楽を聴く」(50.2%) となっています。



問 33- (2) 携帯電話やスマートフォンなどでインターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

インターネットの利用で経験したトラブルは「被害にあったことはない」(47.6%)が最も多く、次いで「迷惑メール(チェーンメールなど)が頻繁に送られてきた」(38.4%)、「身におぼえのない料金を請求された」(10.5%)となっています。

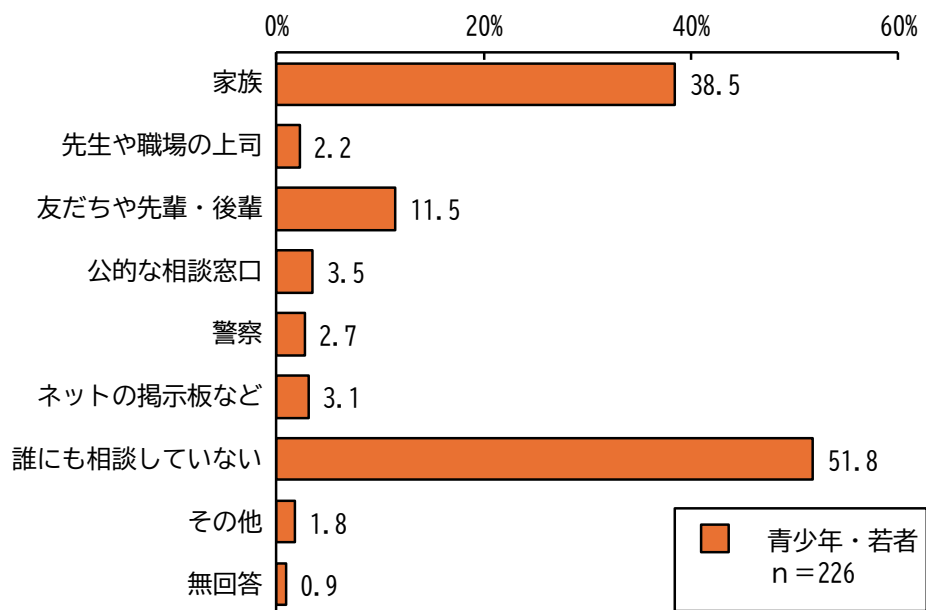
問 33- (2) インターネットの利用で経験したトラブル



問 33- (3) あなたは、トラブルにあった時、誰かに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

経験したトラブルの相談先については「誰にも相談していない」(51.8%)が最も多く、次いで「家族」(38.5%)、「友だちや先輩・後輩」(11.5%)となっています。

問 33- (3) 経験したトラブルの相談先について

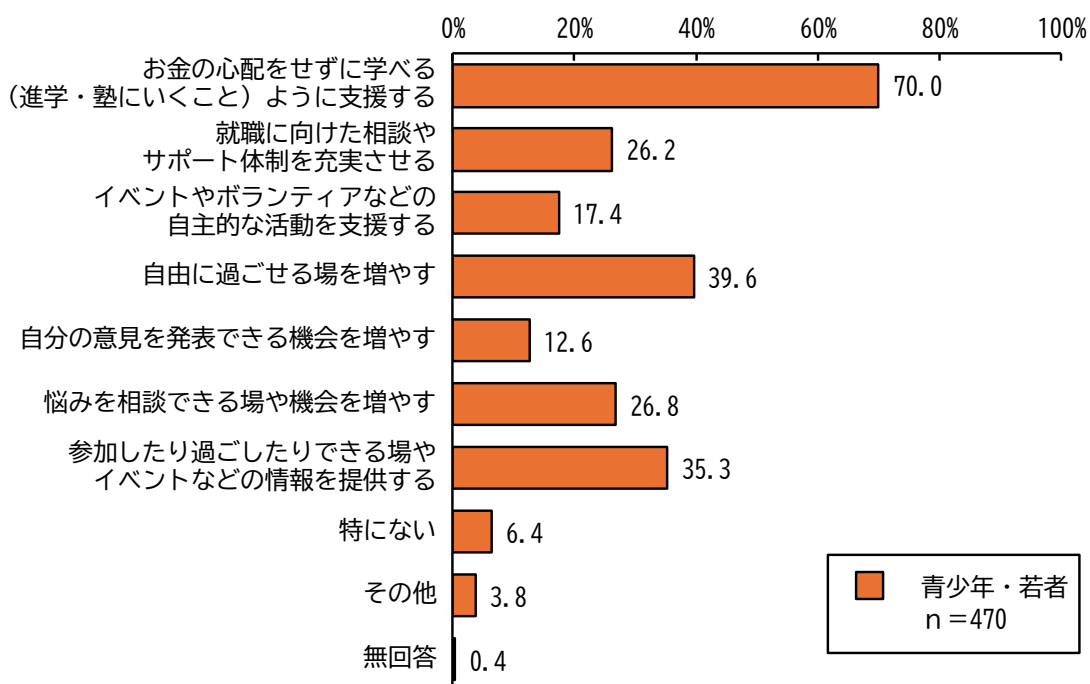


## 9 稲城市の施策について

問 34 若者のために、(今後) 稲城市に必要な取組は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

若者のために必要と思う取組は「お金の心配をせずに学べる（進学・塾に行くこと）ように支援する」（70.0%）が最も多く、次いで「自由に過ごせる場を増やす」（39.6%）、「参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する」（35.3%）となっています。

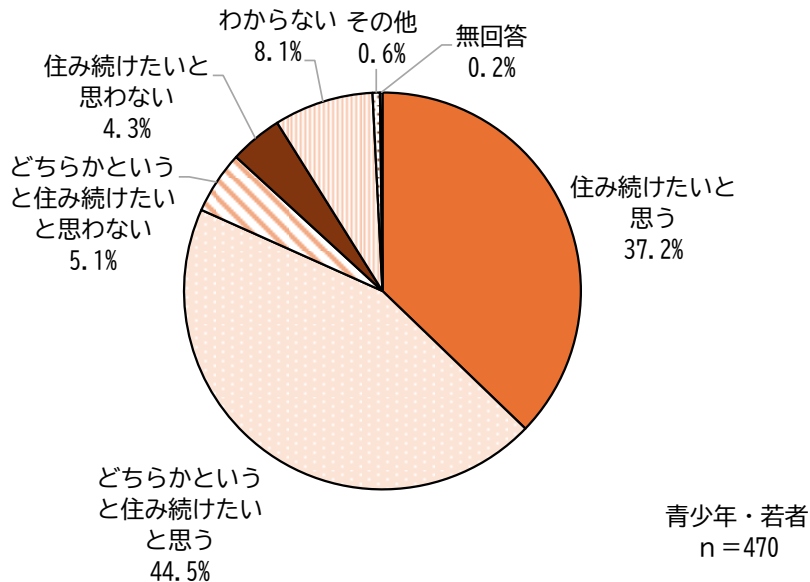
問 34 若者のために必要と思う取組



問 35 あなたは、これからも稲城市に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

これからも稲城市に住み続けたいと思うかは「どちらかというに住み続けたいと思う」(44.5%)が最も多く、次いで「住み続けたいと思う」(37.2%)、「わからない」(8.1%)となっています。

問 35 これからも稲城市に住み続けたいと思うか



## **第 6 章**

### **妊娠届出をした方**



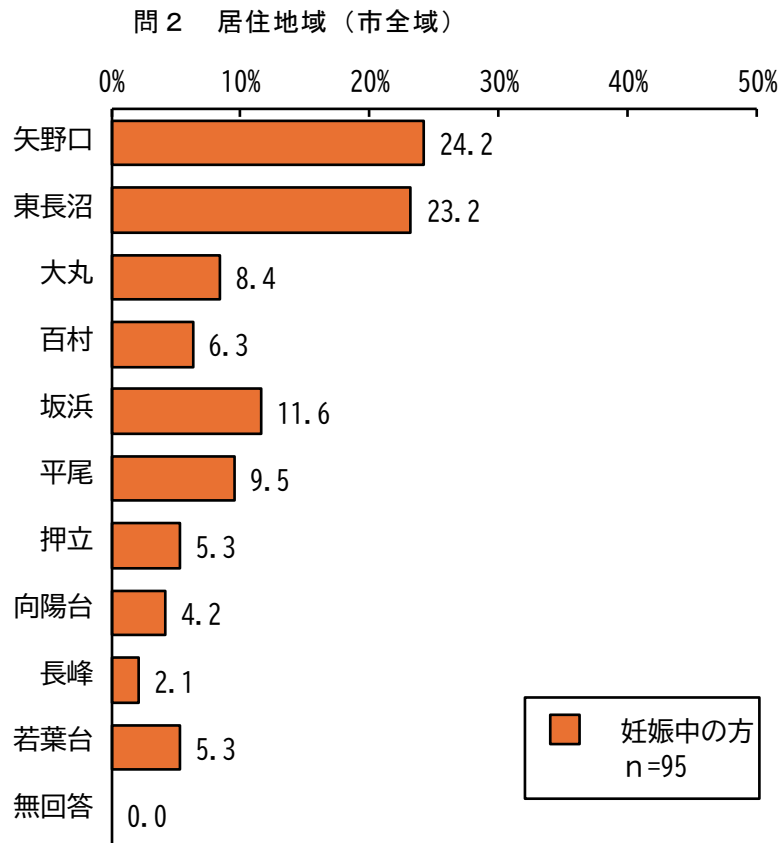


## 第6章 妊娠届出をした方

### 1 あなたのことについて

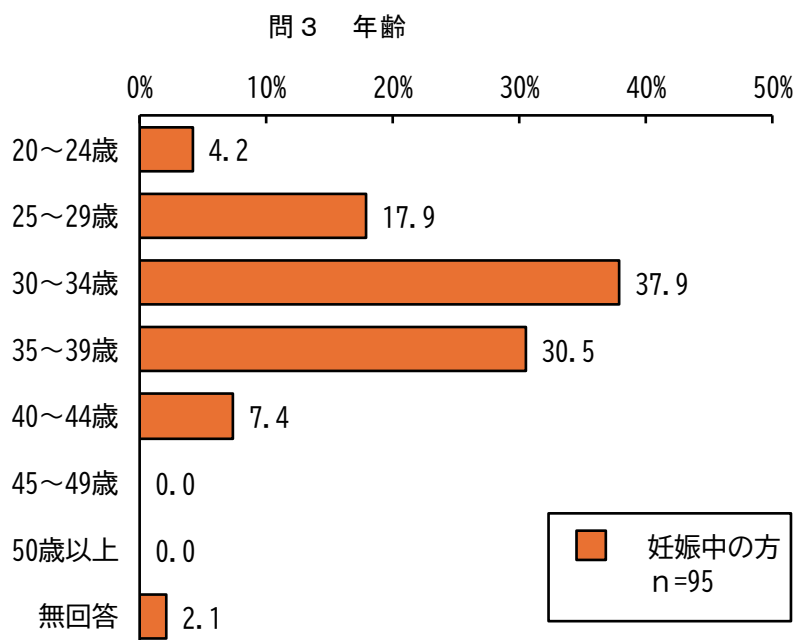
問2 お住まいの地区はどちらですか。(あてはまるもの1つに○)

居住地域(市全域)は「矢野口」(24.2%)が最も多く、次いで「東長沼」(23.2%)、「坂浜」(11.6%)となっています。



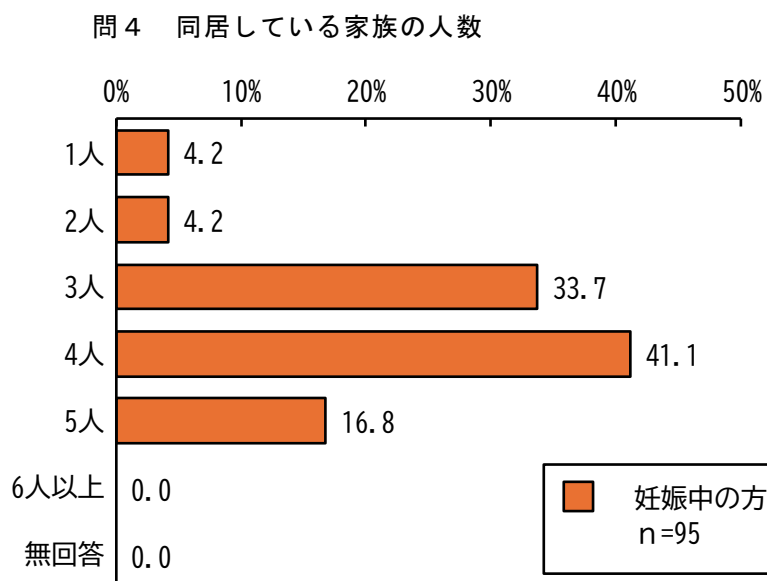
問3 あなたの年齢を教えてください。

年齢は「30～34歳」(37.9%)が最も多く、次いで「35～39歳」(30.5%)、「25～29歳」(17.9%)となっています。



問4 宛名の方と同居しているご家族の人数を教えてください(あなたと出産予定のお子さんも含む)。単身赴任しているご家族も含めてください。

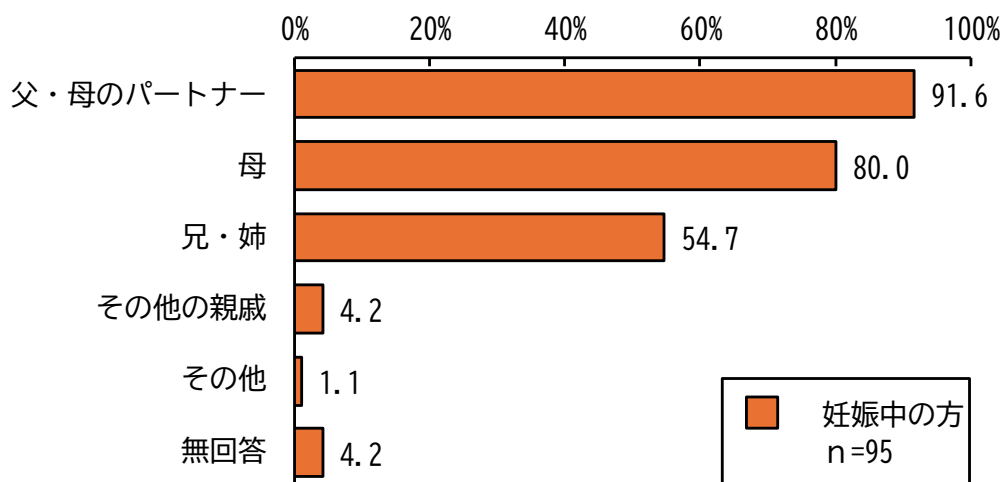
同居している家族の人数は「4人」(41.1%)が最も多く、次いで「3人」(33.7%)、「5人」(16.8%)となっています。



問5 宛名の方と同居しているご家族の方は、どなたですか。出産予定のお子さんからみた関係で、それぞれ人数も教えてください。（あてはまるものそれぞれに○を選び、その人数を入力してください）

同居している家族（出産予定の子からみた関係）は「父・母のパートナー」（91.6%）が最も多く、次いで「母」（80.0%）、「兄・姉」（54.7%）となっています。

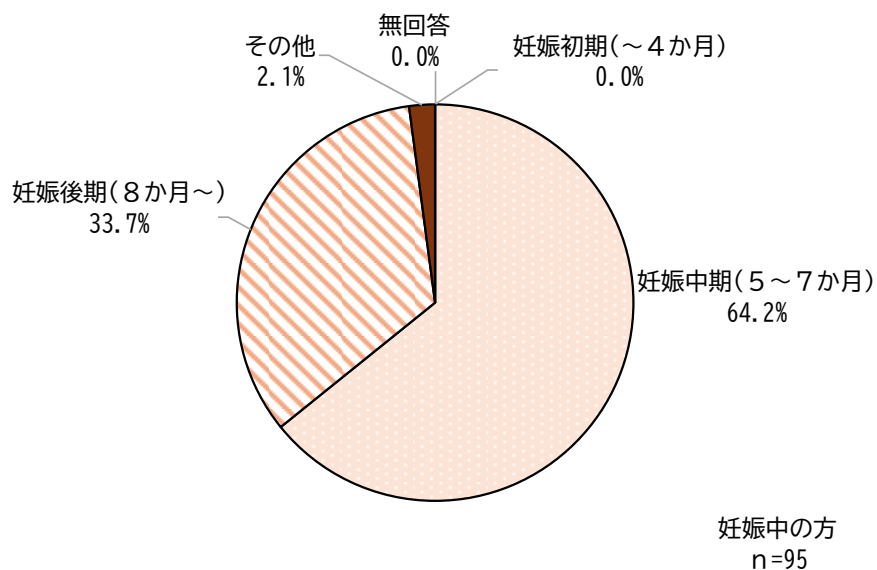
問5 同居している家族（出産予定の子からみた関係）



問6 妊娠経過を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

妊娠経過については「妊娠中期（5～7か月）」（64.2%）が最も多く、次いで「妊娠後期（8か月～）」（33.7%）、「その他」（2.1%）となっています。

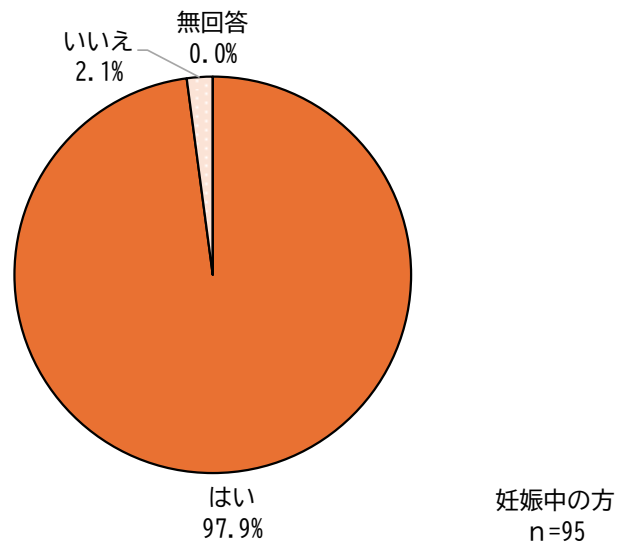
問6 妊娠経過



問7 出産予定のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(または場所)はいますか。(あてはまるもの1つに○)

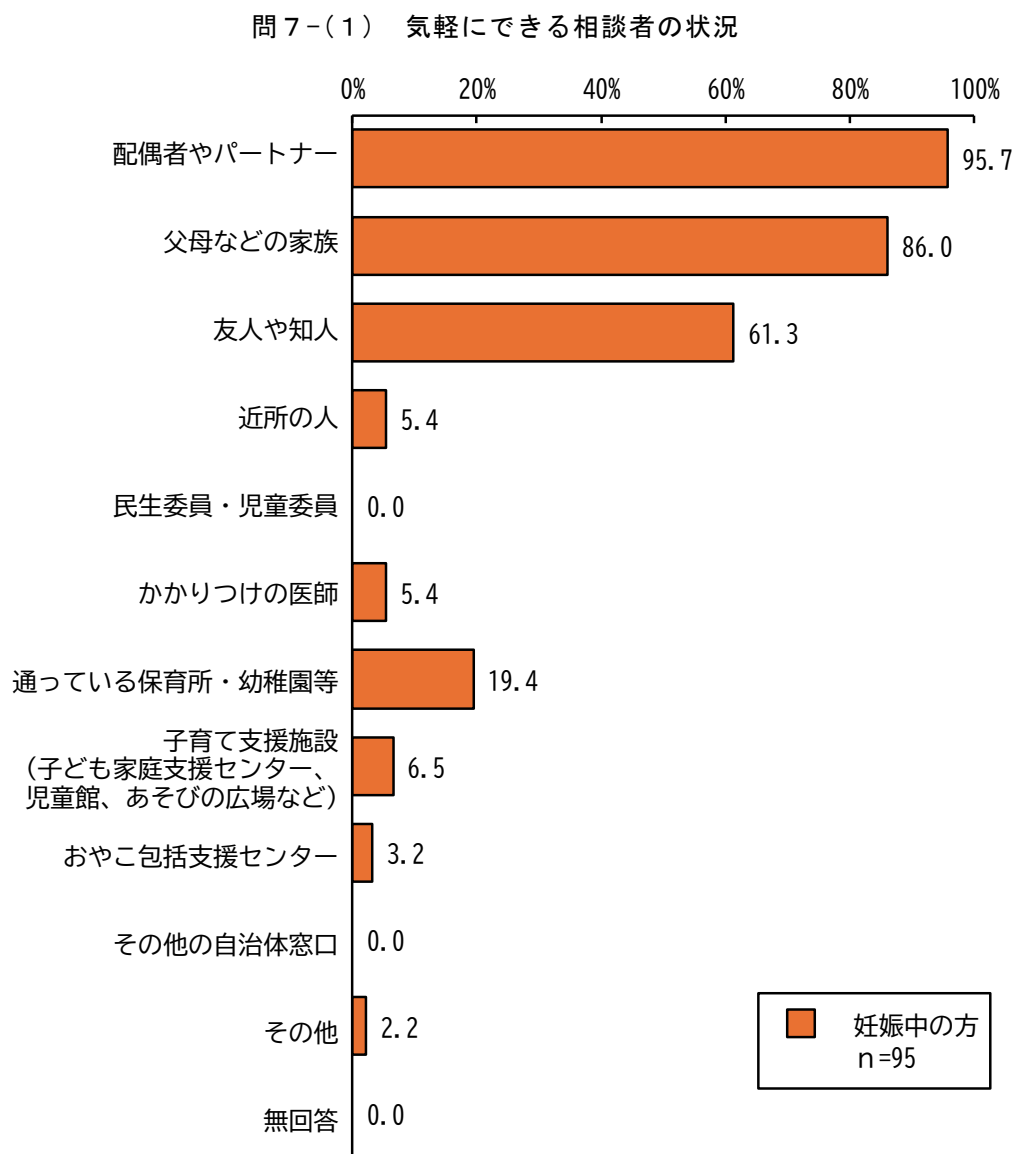
気軽に相談できる人(場所)の有無は「はい」(97.9%)、「いいえ」(2.1%)となっています。

問7 気軽に相談できる人(場所)の有無



問7-(1) お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

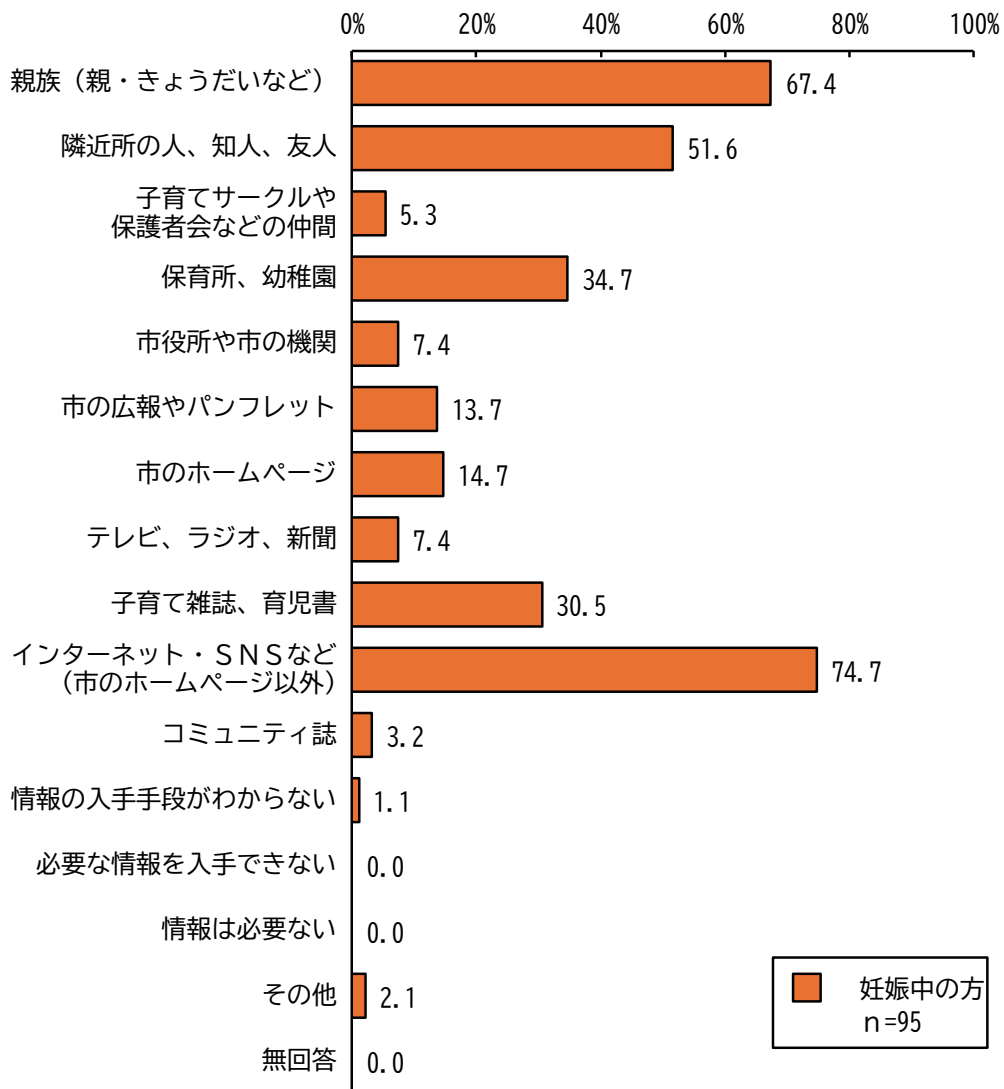
気軽にできる相談者の状況は「配偶者やパートナー」(95.7%)が最も多く、次いで「父母などの家族」(86.0%)、「友人や知人」(61.3%)となっています。



問8 あなたは、子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

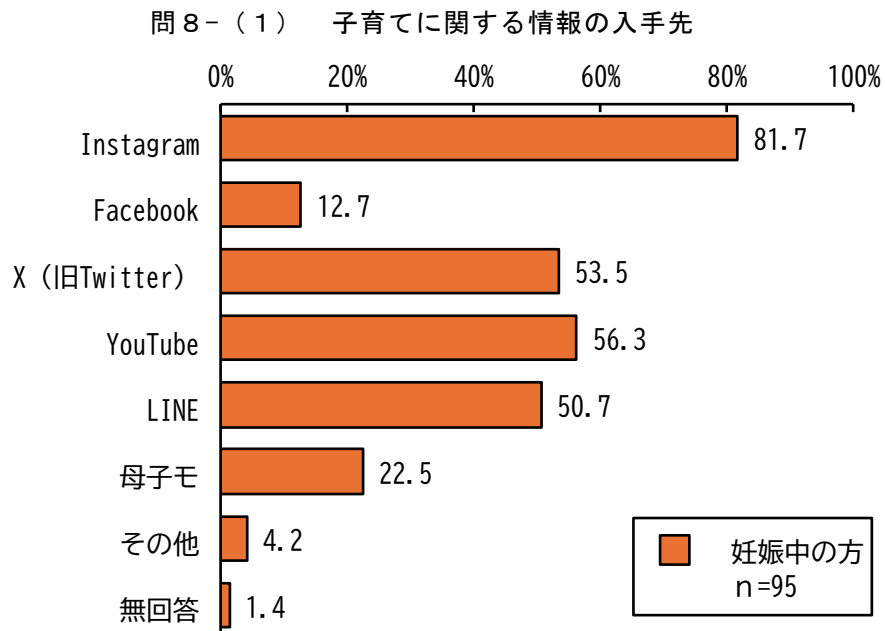
子育てに関する情報の入手方法は「インターネット・SNSなど(市のホームページ以外)」(74.7%)が最も多く、次いで「親族(親・きょうだいなど)」(67.4%)、「隣近所の人、知人、友人」(51.6%)となっています。

問8 子育てに関する情報の入手方法



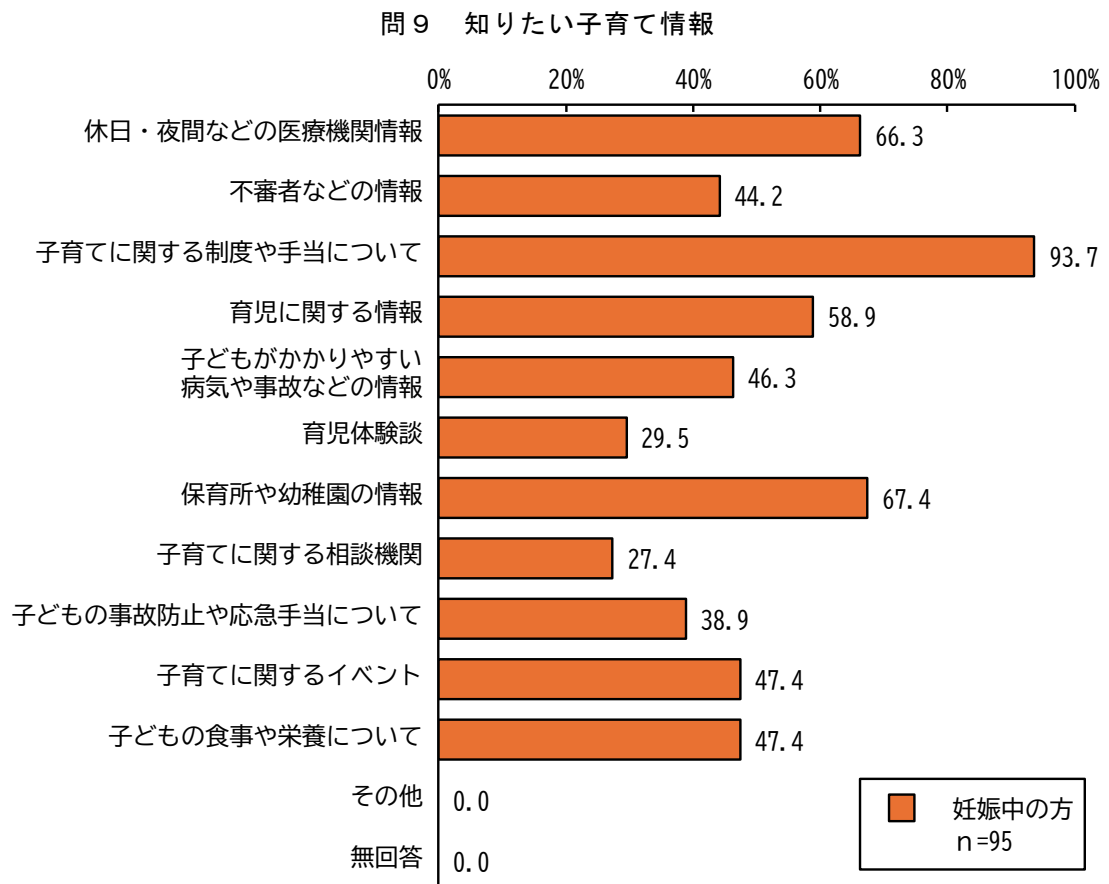
問8-(1) 以下のうちどれを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手先は「Instagram」(81.7%)が最も多く、次いで「YouTube」(56.3%)、「X(旧Twitter)」(53.5%)となっています。



問9 あなたは、子育てに関する情報としてどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

知りたい子育て情報は「子育てに関する制度や手当について」(93.7%)が最も多く、次いで「保育所や幼稚園の情報」(67.4%)、「休日・夜間などの医療機関情報」(66.3%)となっています。

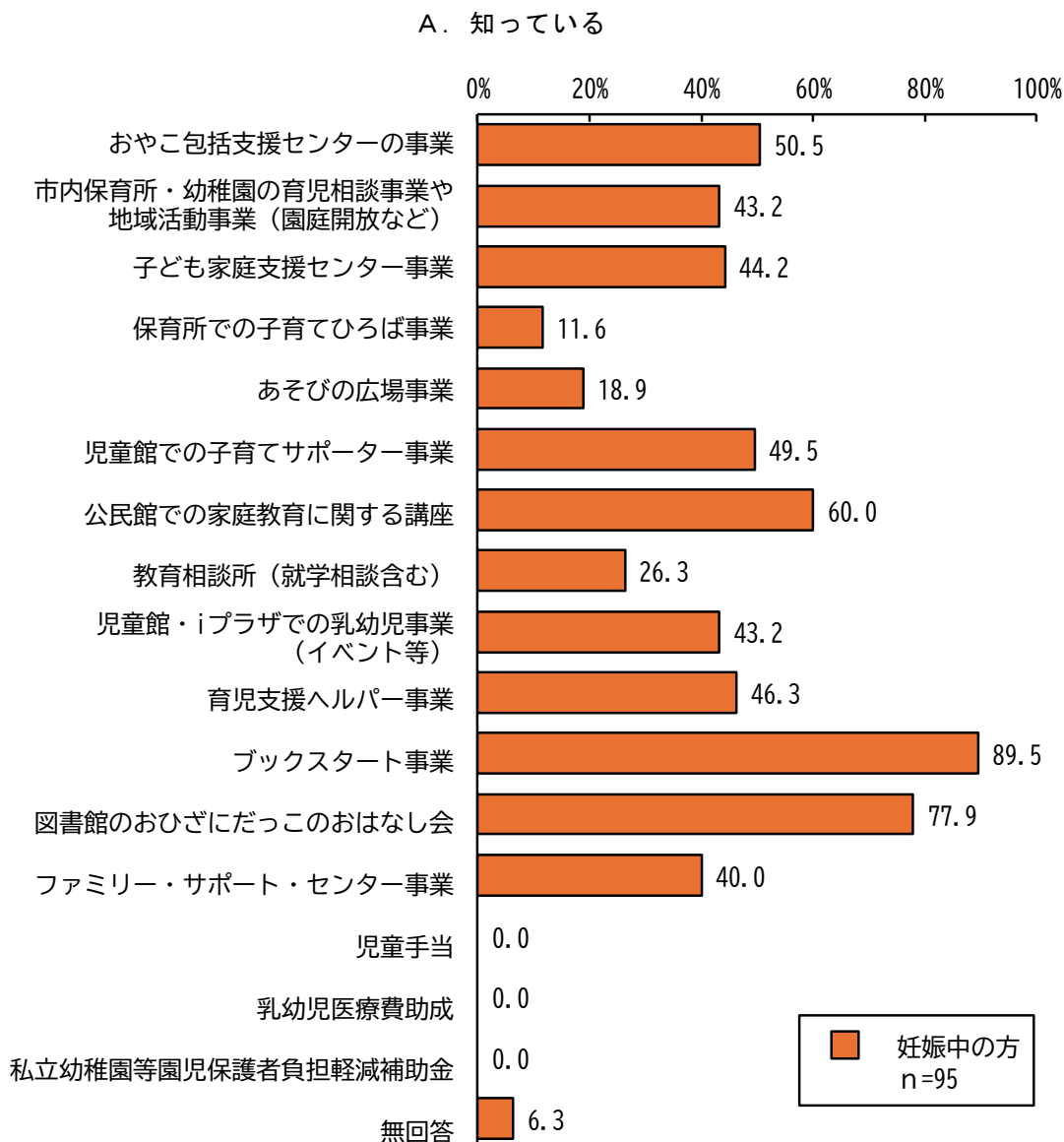




問 11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものについてお答えください。A. 知っている（はい）

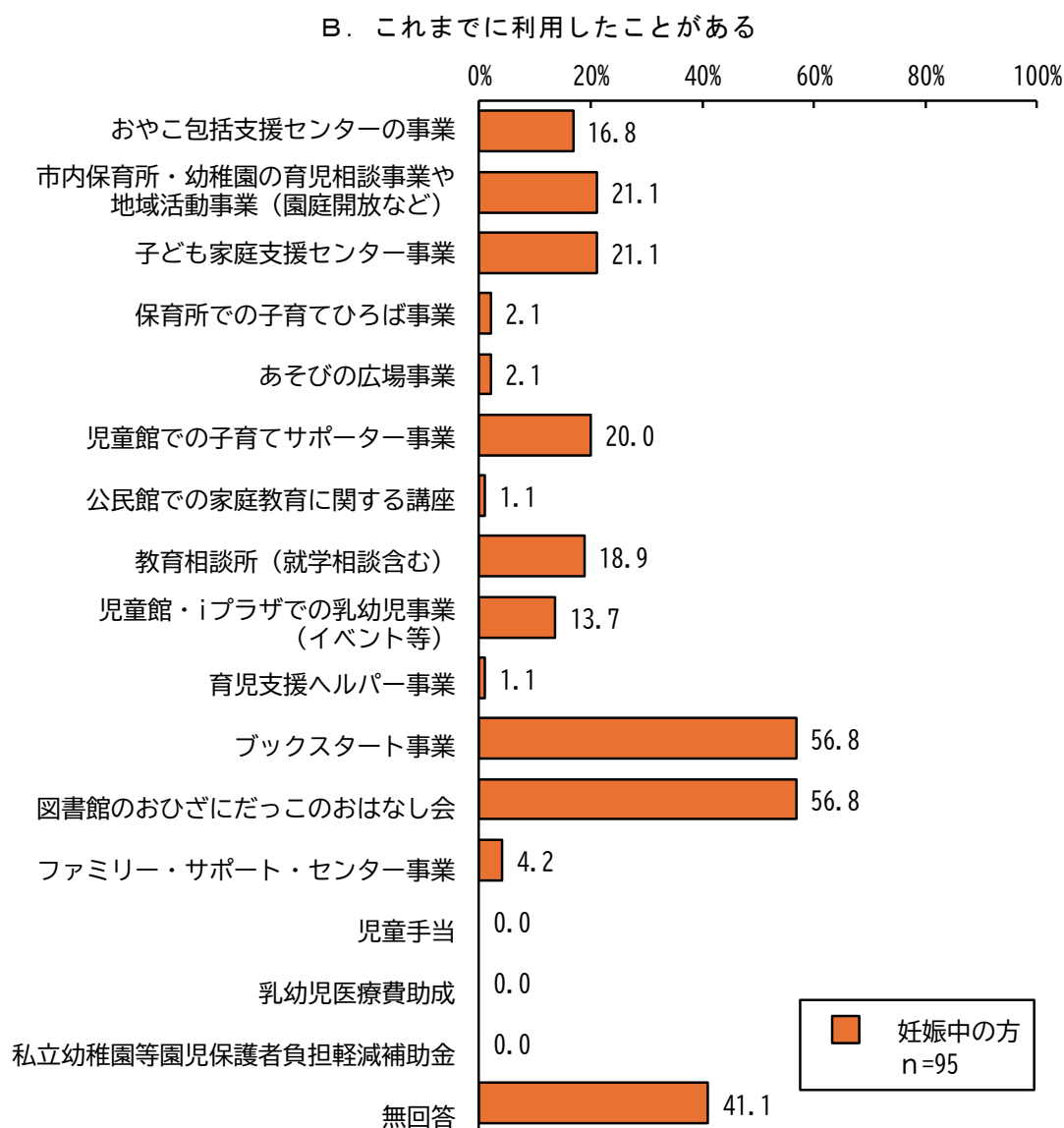
子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「A.知っている」では「ブックスタート事業」（89.5%）が最も多く、次いで「図書館のおひざにだっこのおはなし会」（77.9%）、「公民館での家庭教育に関する講座」（60.0%）となっています。

問 11 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向



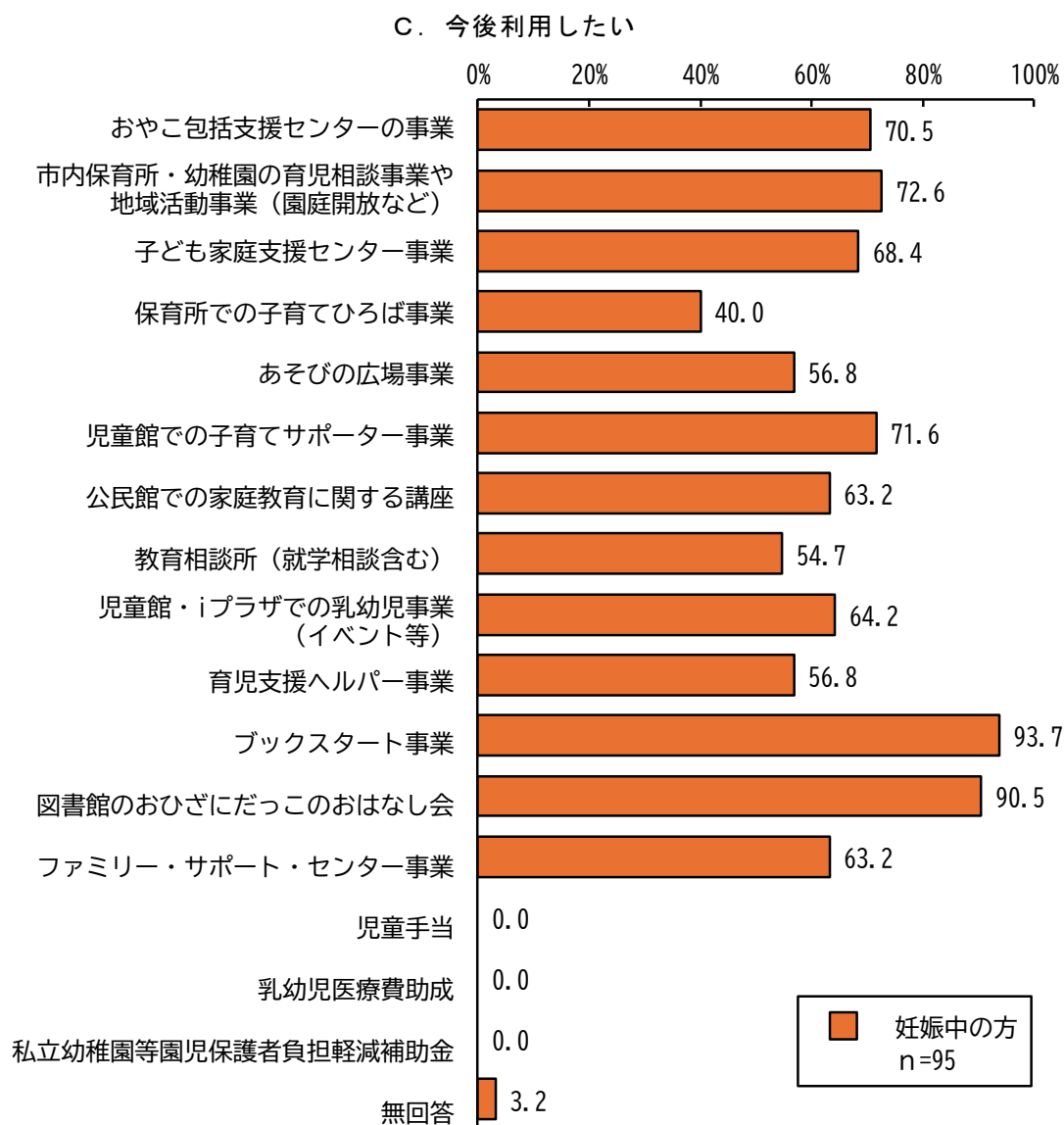
問 11 B. これまでに利用したことがある（はい）

子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「B.これまでに利用したことがある」では「ブックスタート事業」「図書館のおひざにだっこのおはなし会」（各 56.8%）が最も多く、次いで「市内保育所・幼稚園の育児相談事業や地域活動事業（園庭開放など）」「子ども家庭支援センター事業」（各 21.1%）、「児童館での子育てサポーター事業」（20.0%）となっています。



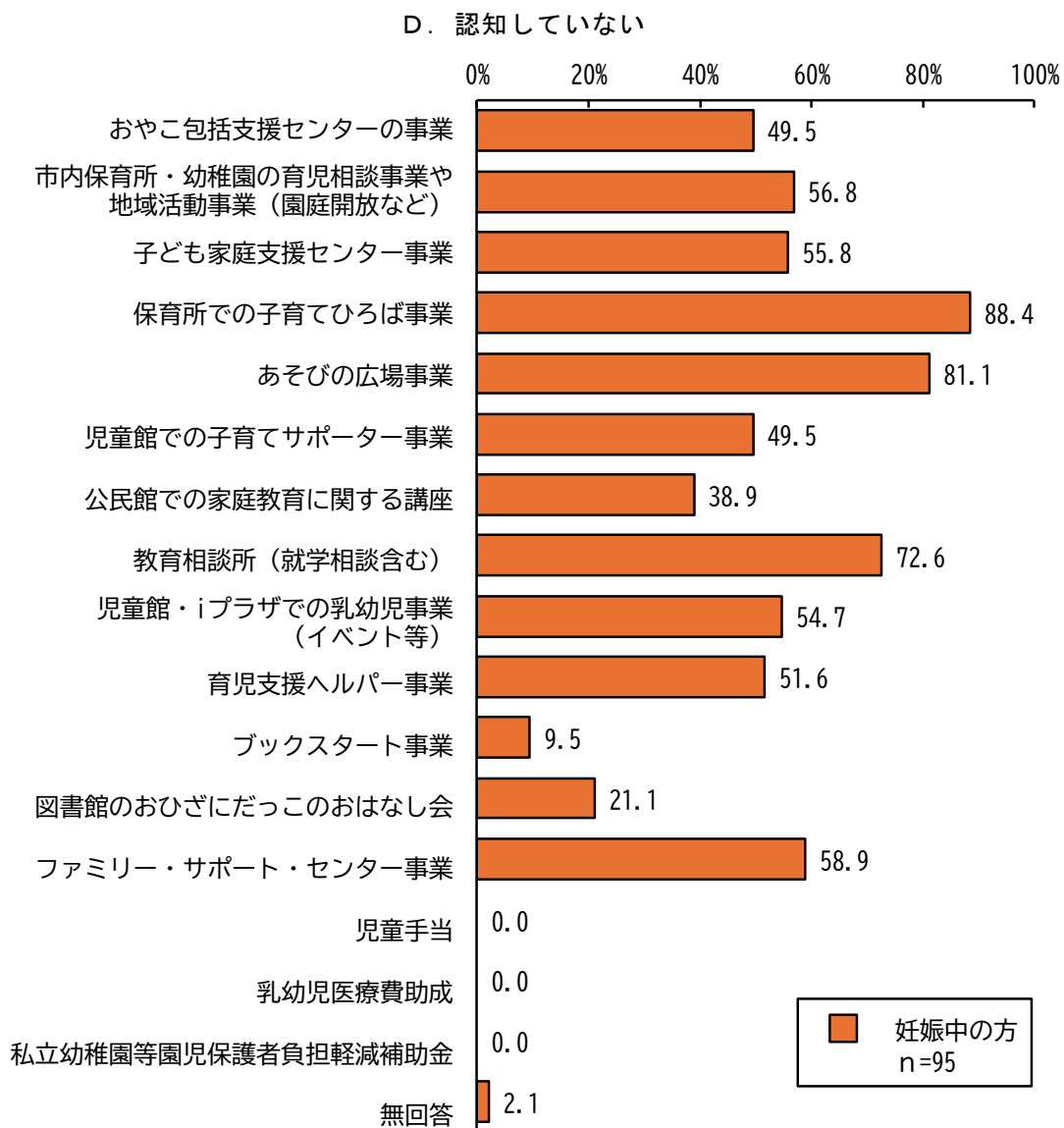
問 11 C. 今後利用したい

子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「C.今後利用したい」では「ブックスタート事業」(93.7%)が最も多く、次いで「図書館のおひざにだっこのおはなし会」(90.5%)、「市内保育所・幼稚園の育児相談事業や地域活動事業(園庭開放など)」(72.6%)となっています。



問 11 D. 認知していない

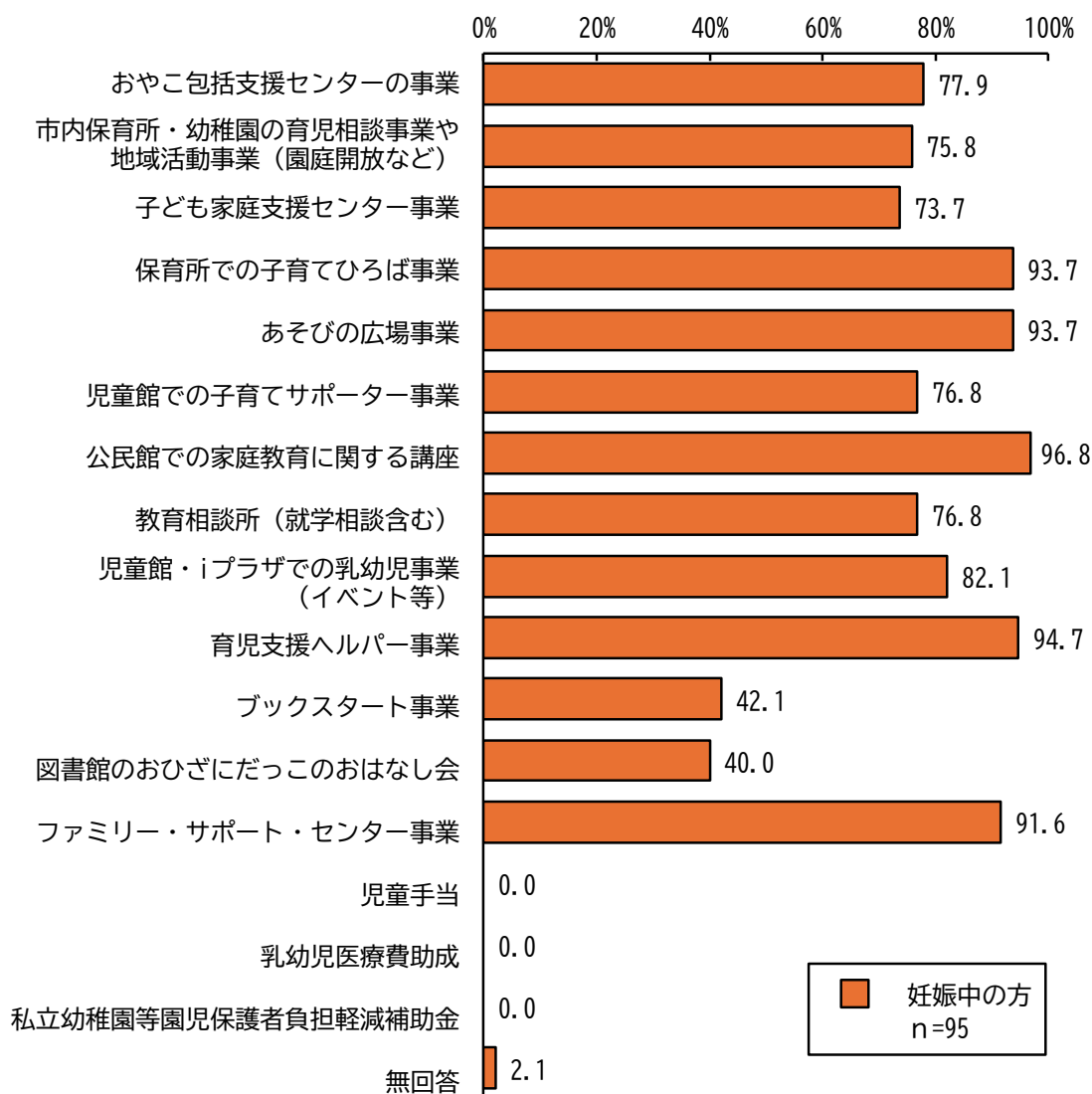
子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「D.認知していない」では「保育所での子育てひろば事業」(88.4%)が最も多く、次いで「あそびの広場事業」(81.1%)、「教育相談所(就学相談含む)」(72.6%)となっています。



問 11 E. これまでに利用したことがない

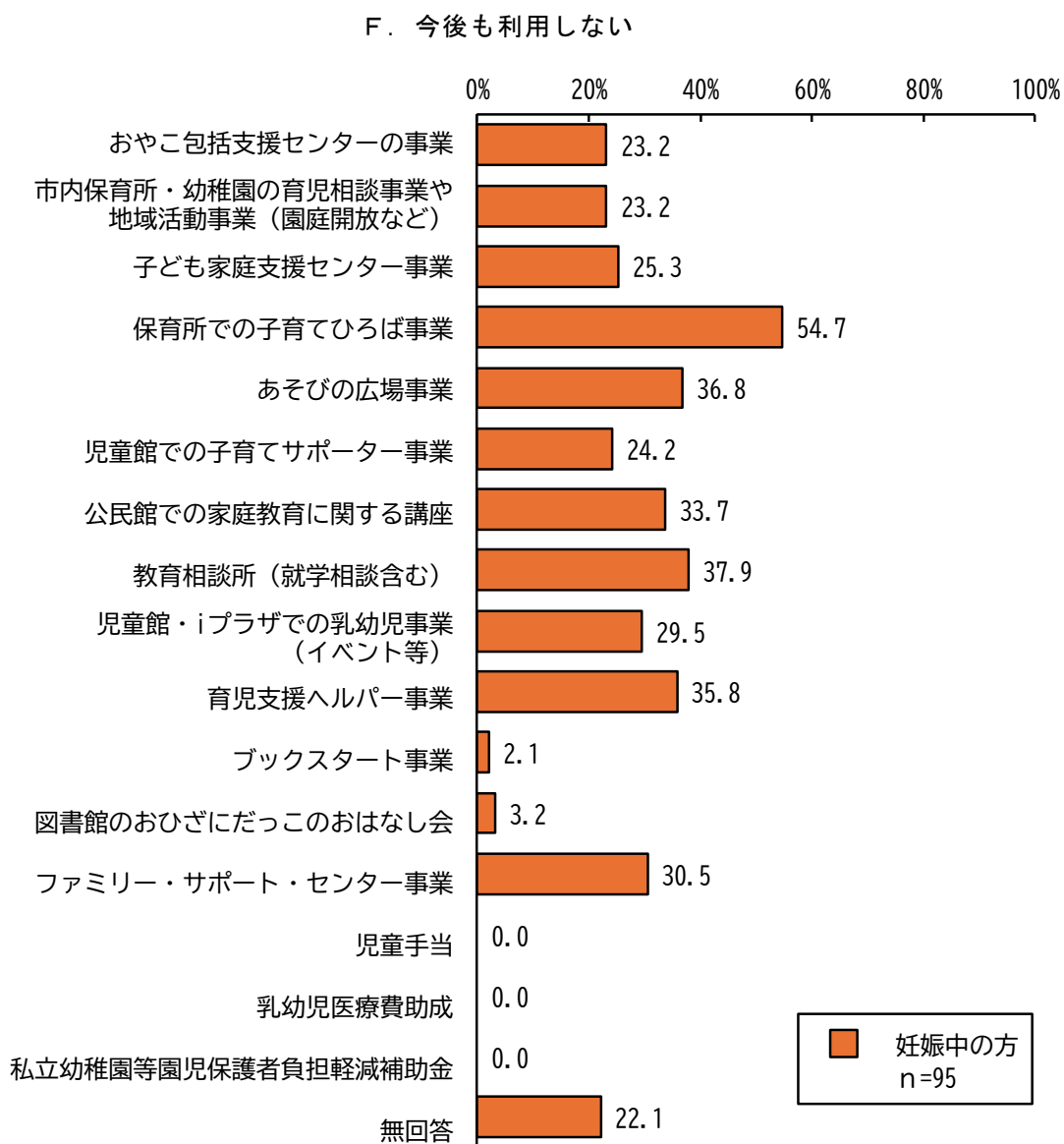
子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「E.これまでに利用したことがない」では「公民館での家庭教育に関する講座」(96.8%)が最も多く、次いで「育児支援ヘルパー事業」(94.7%)、「保育所での子育てひろば事業」「あそびの広場事業」(各 93.7%)となっています。

E. これまでに利用したことがない



問 11 F. 今後も利用しない

子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について「F.今後も利用しない」では「保育所での子育てひろば事業」(54.7%)が最も多く、次いで「教育相談所(就学相談含む)」(37.9%)、「あそびの広場事業」(36.8%)となっています。

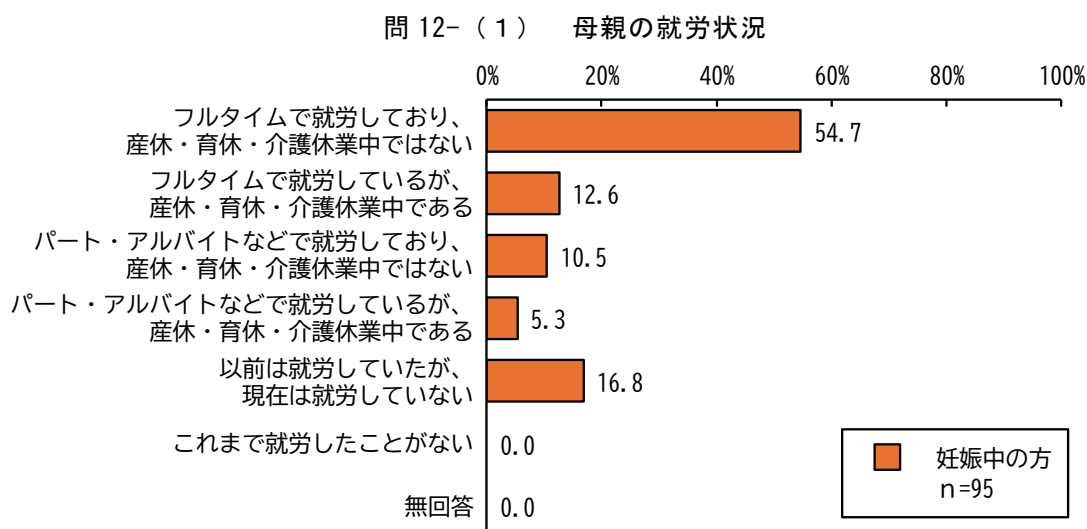


## 2 保護者の就労状況について

### (1) 母親の就労状況

問 12-(1) 母親(あてはまるもの1つに○)

母親の就労状況については「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(54.7%)が最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(16.8%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(12.6%)、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(10.5%)、「パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(5.3%)となっています。

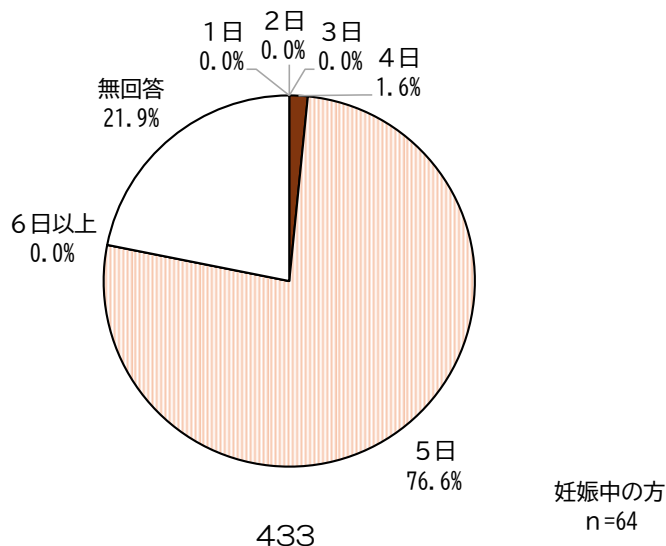


問 12-(1)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

母親の1週当たりの就労日数は「5日」(76.6%)が最も多く、次いで「4日」(1.6%)となっています。

問 12-(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)

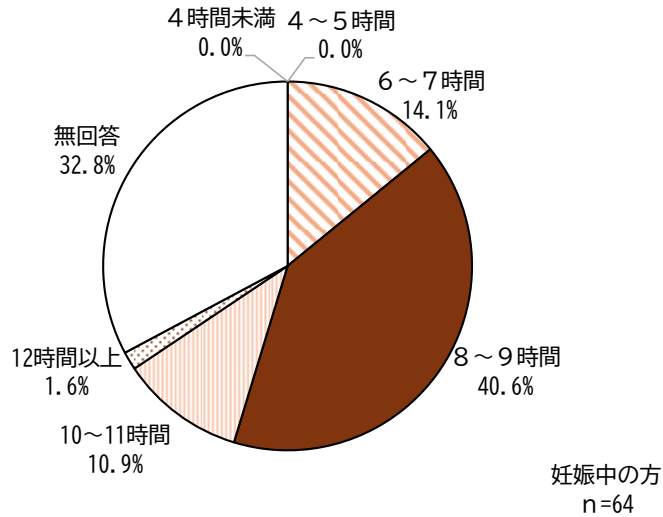
A. 母親の就労日数(1週当たり)



問 12- (1) -1 B. 1日当たり就労時間

母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）は「8～9時間」（40.6%）が最も多く、次いで「6～7時間」（14.1%）、「10～11時間」（10.9%）となっています。

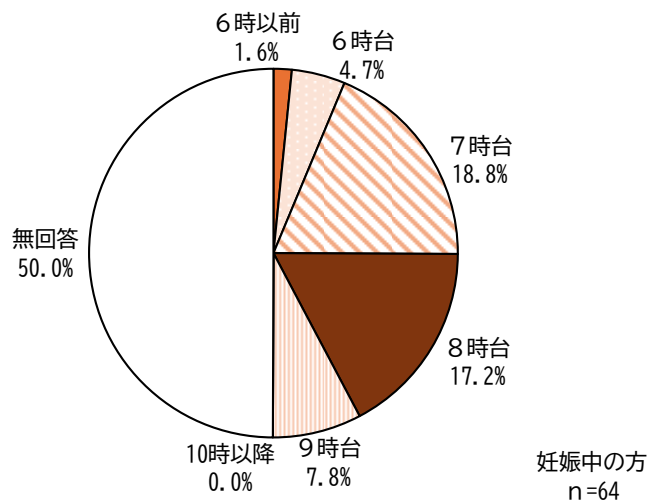
B. 母親の就労時間（1日当たり）



問 12- (1) -1 C. 家を出る時間

母親が家を出る時間は「7時台」（18.8%）が最も多く、次いで「8時台」（17.2%）、「9時台」（7.8%）となっています。

C. 母親が家を出る時間

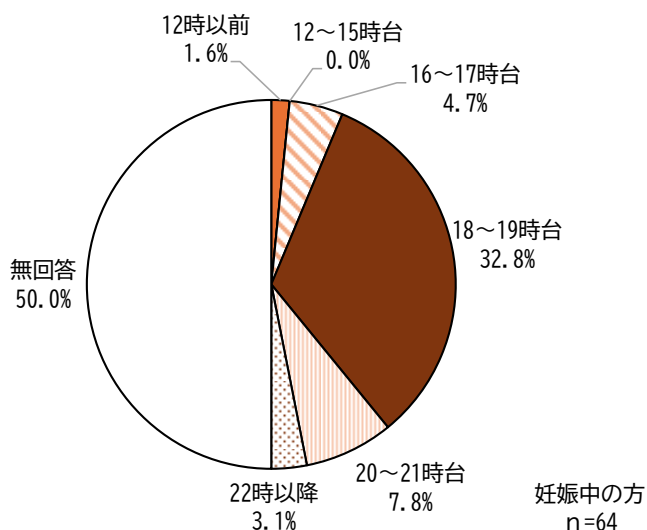




問 12- (1) -1 D. 帰宅時間

母親が帰宅する時間は「18～19時台」(32.8%)が最も多く、次いで「20～21時台」(7.8%)、「16～17時台」(4.7%)となっています。

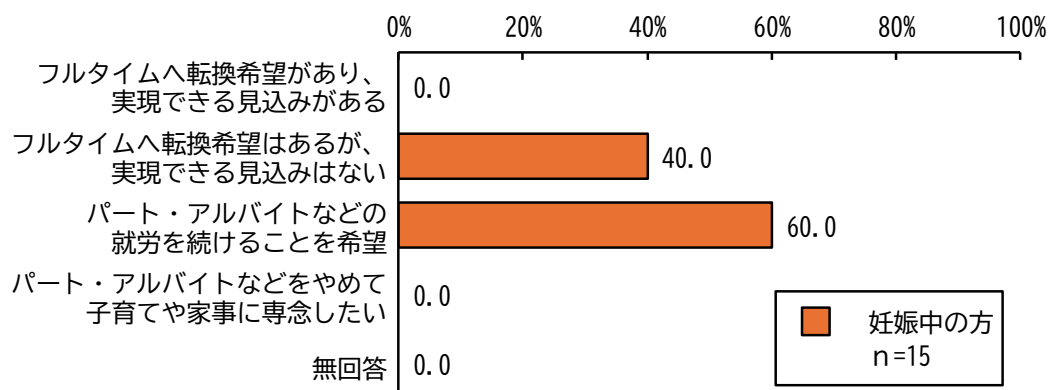
D. 母親が帰宅する時間



問 12- (1) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(60.0%)が最も多く、次いで「フルタイムへ転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(40.0%)となっています。

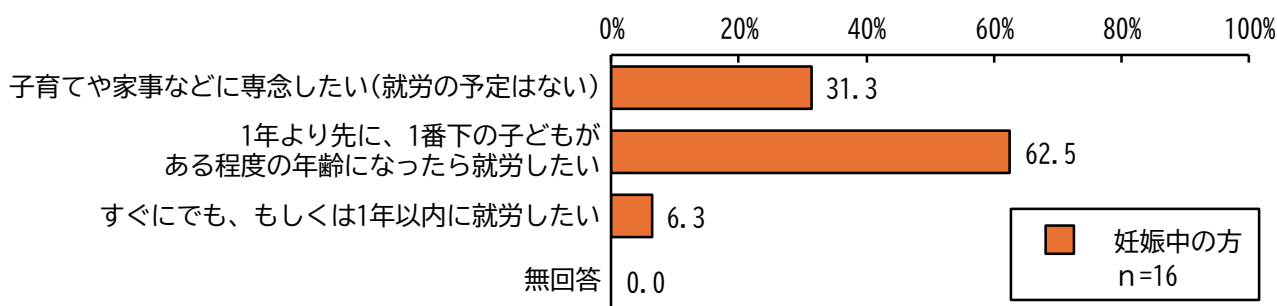
問 12- (1) -2 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



問 12- (1) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

就労していない母親の今後の就労希望は「1年より先に、1番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」(62.5%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(31.3%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(6.3%)となっています。

問 12- (1) -3 就労していない母親の今後の就労希望

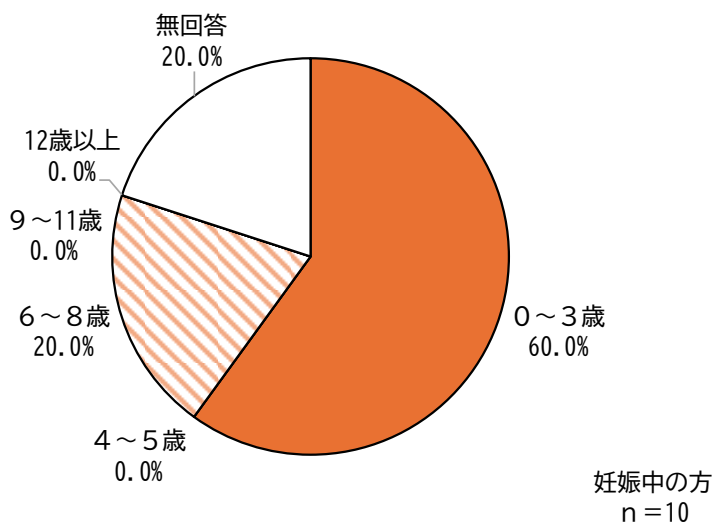


【1年より先に、1番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したいと答えた方】

問 12- (1) -3 A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。

就労希望時の末子の年齢は「0～3歳」(60.0%)が最も多く、次いで「6～8歳」(20.0%)となっています。

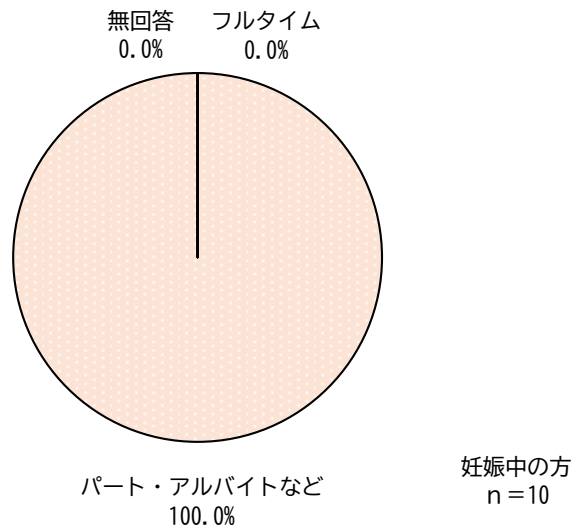
A. 就労希望時の末子の年齢



問 12- (1) -3 B. 希望する就労形態を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

就労していない母親の今後の就労希望について「B.希望する就労形態」では「パート・アルバイトなど(フルタイム以外)」(100.0%)となっています。

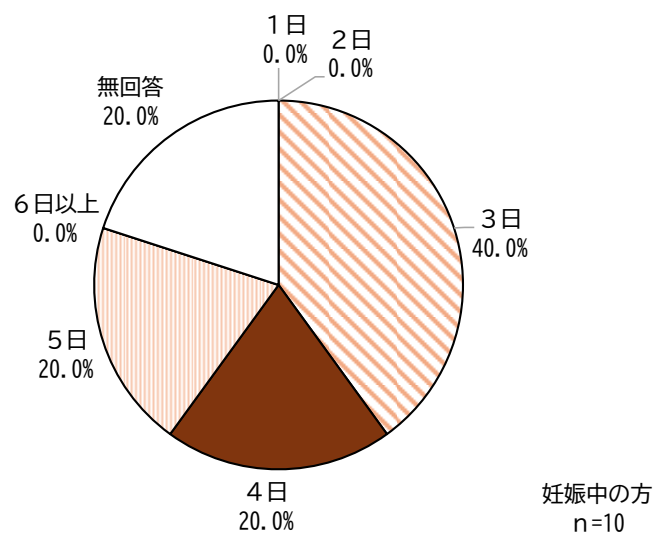
B. 希望する就労形態



問 12- (1) -3 C. 希望する1週当たりの就労日数

母親の希望する1週当たりの就労日数は「3日」(40.0%)が最も多く、次いで「4日」「5日」(各 20.0%)となっています。

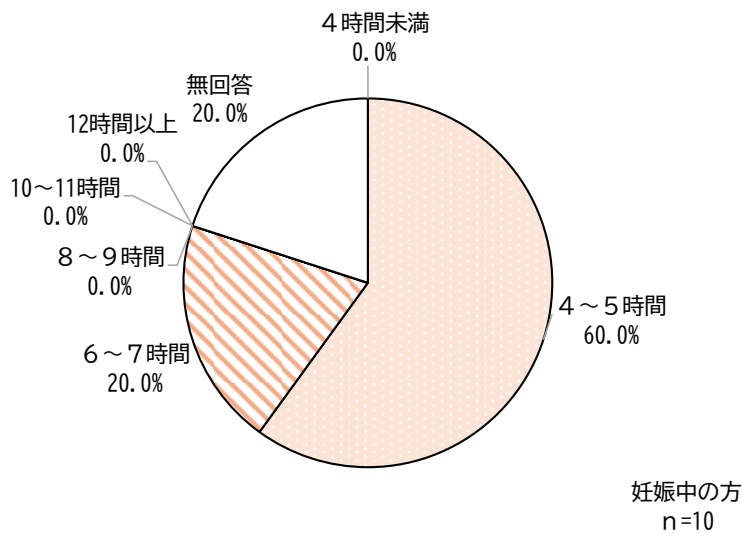
C. 母親の希望就労日数 (1週当たり)



問 12- (1) -3 D. 希望する1日当たりの就労時間

母親の希望する1日当たりの就労時間は「4～5時間」(60.0%)が最も多く、次いで「6～7時間」(20.0%)となっています。

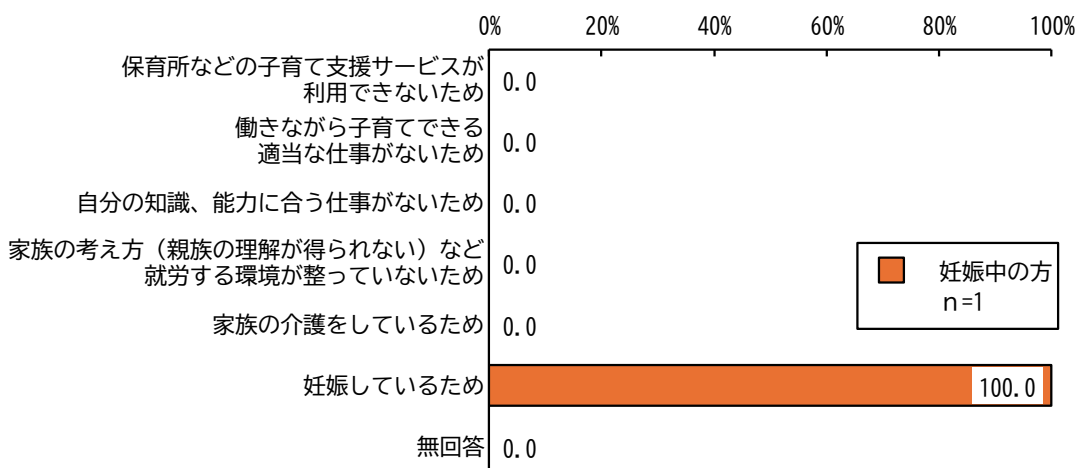
D. 母親の希望就労時間 (1日当たり)



問 12- (1) -4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、母親の就労希望者で働いていない理由は「妊娠しているため」が100.0%となっています。

問 12- (1) -4 就労を希望する母親の働いていない理由

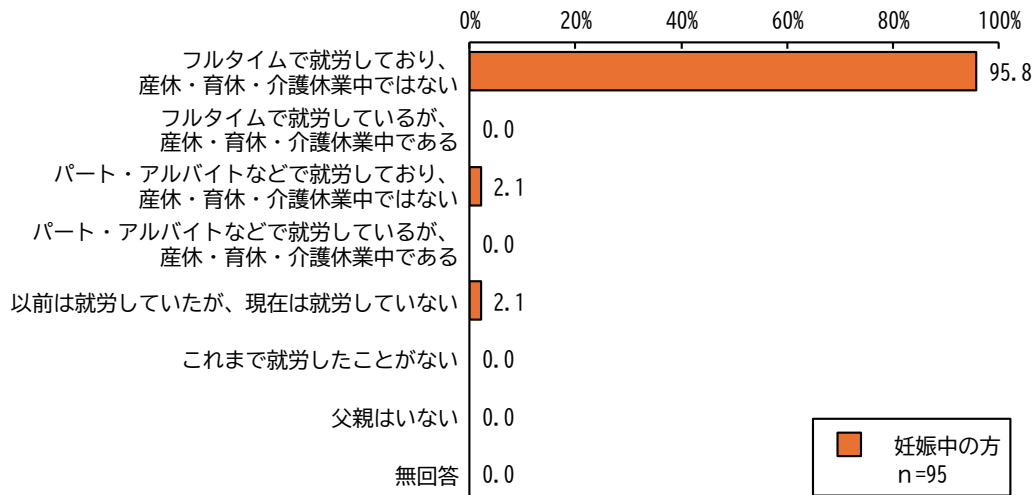


## (2) 父親の就労状況

問 13- (2) 父親(あてはまるもの1つに○)

父親の就労状況は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(95.8%)が最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」(各 2.1%)となっています。

問 13- (2) 父親の就労状況

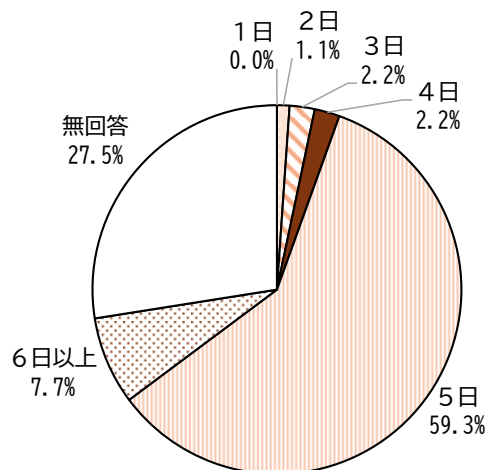


問 13- (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間と帰宅時間を教えてください。A. 1週当たりの就労日数

父親の1週当たりの就労日数は「5日」(59.3%)が最も多く、次いで「6日以上」(7.7%)、「3日」「4日」(各 2.2%)となっています。

問 13- (2) -1 父親の就労日数(1週当たり)

A. 父親の就労日数(1週当たり)

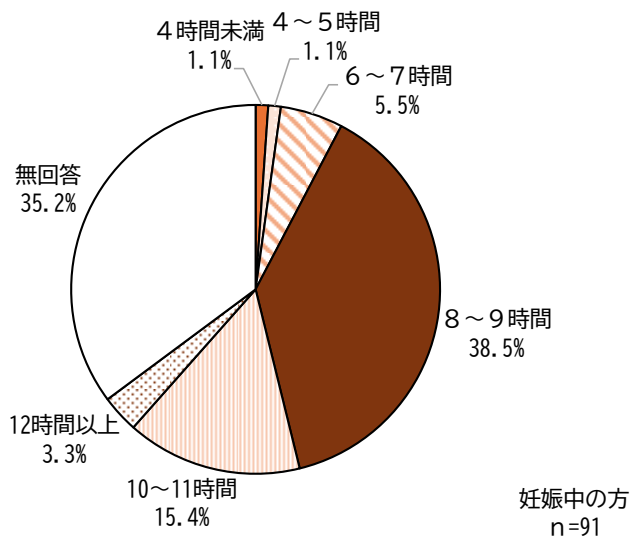


妊娠中の方  
n=91

問 13- (2) -1 B. 1日当たり就労時間（残業含む）

父親の1日当たりの就労時間は「8～9時間」（38.5%）が最も多く、次いで「10～11時間」（15.4%）、「6～7時間」（5.5%）となっています。

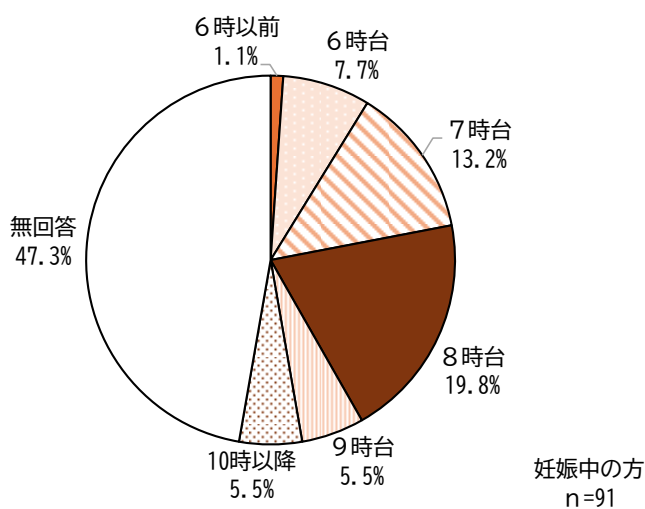
B. 父親の就労時間（1日当たり）



問 13- (2) -1 C. 家を出る時間

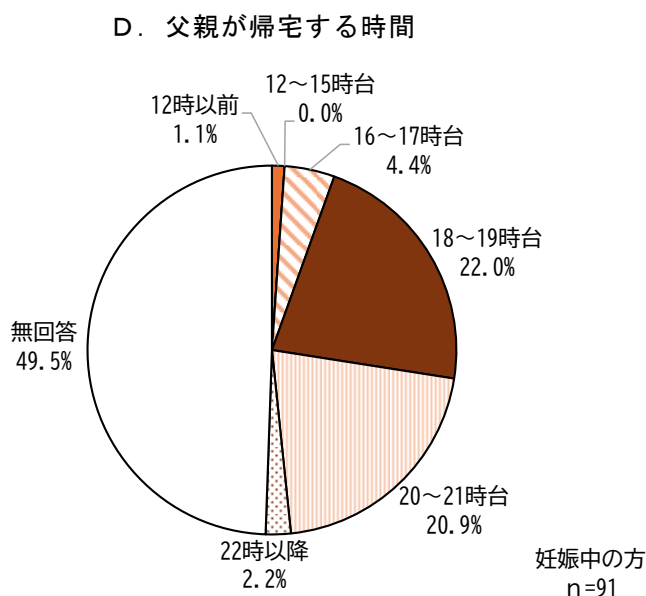
父親が家を出る時間は「8時台」（19.8%）が最も多く、次いで「7時台」（13.2%）、「6時台」（7.7%）となっています。

C. 父親が家を出る時間



問 13 ( 2 ) - 1 D. 帰宅時間

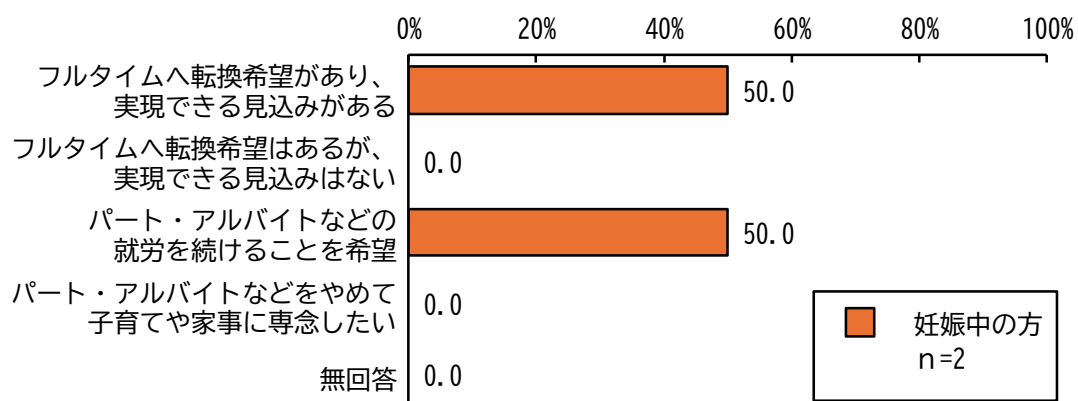
父親が帰宅する時間は「18～19 時台」(22.0%) が最も多く、次いで「20～21 時台」(20.9%)、「16～17 時台」(4.4%) となっています。



問 13- ( 2 ) - 2 フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は「フルタイムへ転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」(各 50.0%) となっています。

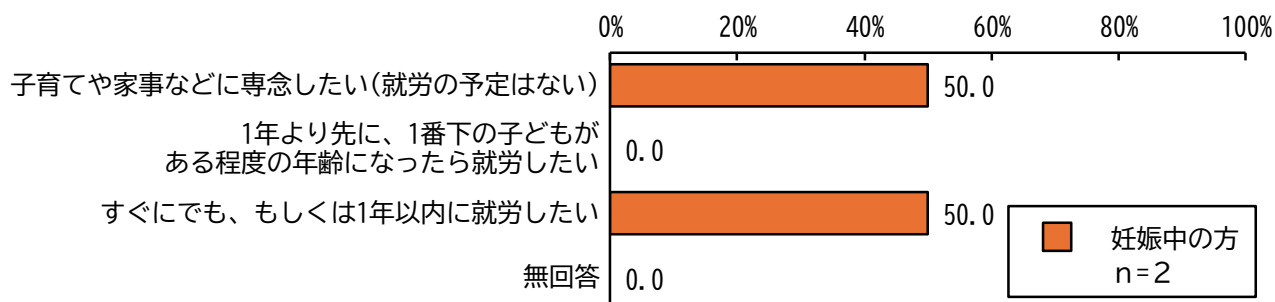
問 13- ( 2 ) - 2 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



問 13- (2) -3 就労したいという希望はありますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、就労していない父親の今後の就労希望は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(各 50.0%) となっています。

問 13- (2) -3 就労していない父親の今後の就労希望



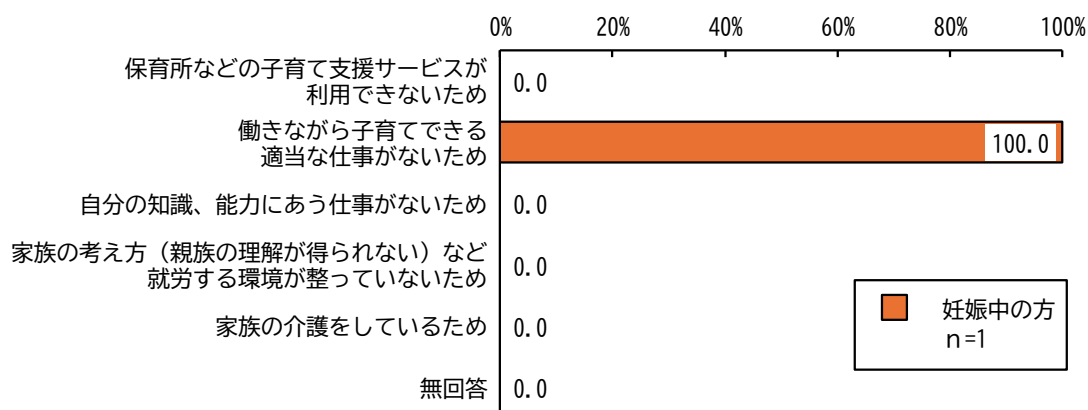
問 13 (2) -3 「A. 1番下のお子さんが何歳頃になったら働きたいですか。」「B. 希望する就労形態を教えてください。」「C. 希望する一週当たりの就労日数」「D. 希望する一日当たりの就労時間」(あてはまるもの1つに○)

回答者がいないため省略。

問 13- (2) -4 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (あてはまるもの1つに○)

回答者が少ないため参考として掲載しますが、就労を希望する父親の働いていない理由は「働きながら子育てできる適当な仕事がないため」(100.0%) となっています。

問 13- (2) -4 就労を希望する父親の働いていない理由



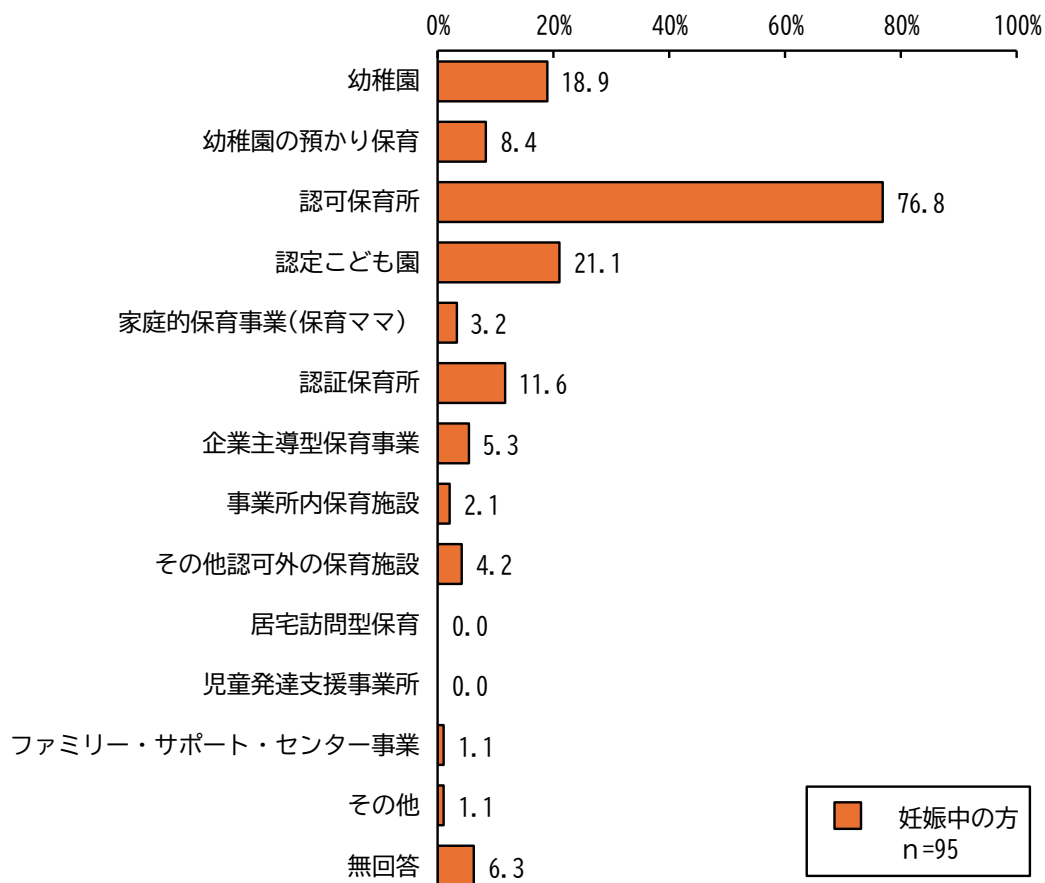


### 3 平日の定期的な教育・保育事業の利用予定について

問 14 現在、出産予定のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用予定のある事業はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

定期的な教育・保育事業の利用予定は「認可保育所」(76.8%)が最も多く、次いで「認定こども園」(21.1%)、「幼稚園」(18.9%)となっています。

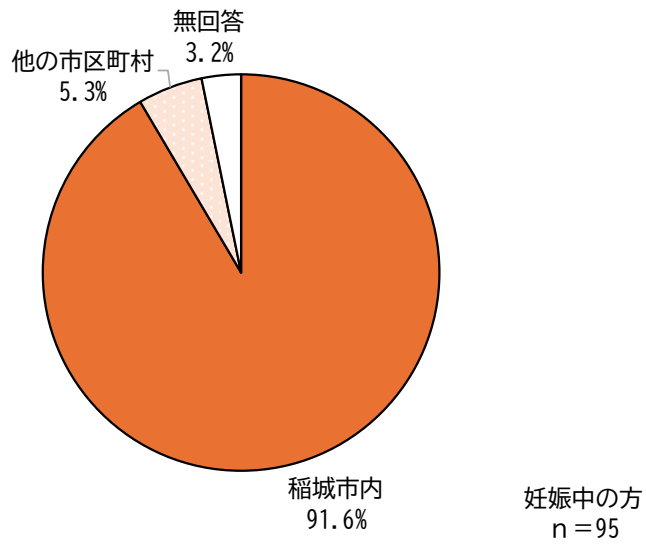
問 14 定期的な教育・保育事業の利用予定



問 15 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

教育・保育の希望実施場所は「稲城市内」(91.6%)が最も多く、次いで「他の市区町村」(5.3%)となっています。

問 15 教育・保育の希望実施場所



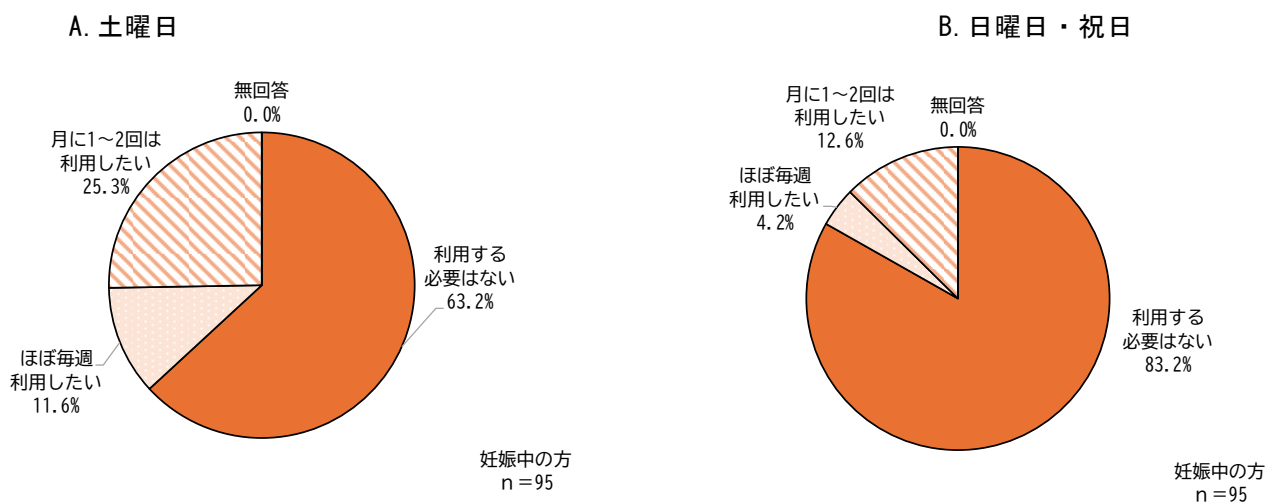
## 4 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 16 出産予定のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）（各項目あてはまるもの1つに○）

休日の定期的な教育・保育事業の利用希望について「A.土曜日」では「利用する必要はない」（63.2%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（25.3%）、「ほぼ毎週利用したい」（11.6%）となっています。

「B.日曜日・祝日」では「利用する必要はない」（83.2%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（12.6%）、「ほぼ毎週利用したい」（4.2%）となっています。

問 16 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

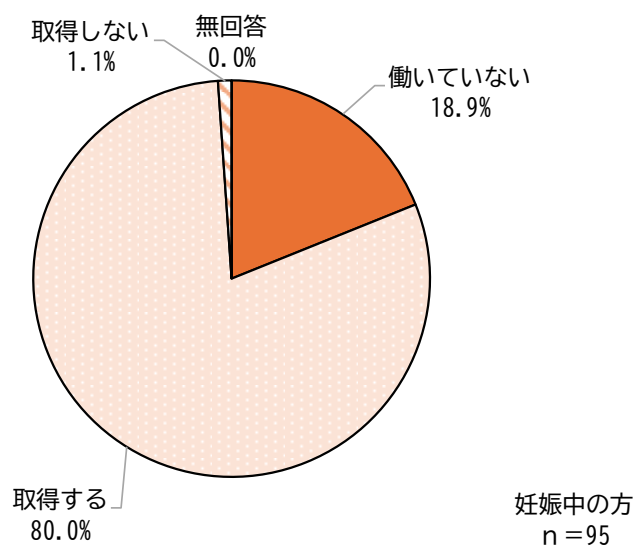


## 5 育児休業制度等の利用意向について

問 17- (1) 出産予定のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得する予定はありますか。(あてはまるもの1つに○)【母親】

母親の育児休業の取得予定は「取得する」(80.0%)が最も多く、次いで「働いていない」(18.9%)、「取得しない」(1.1%)となっています。

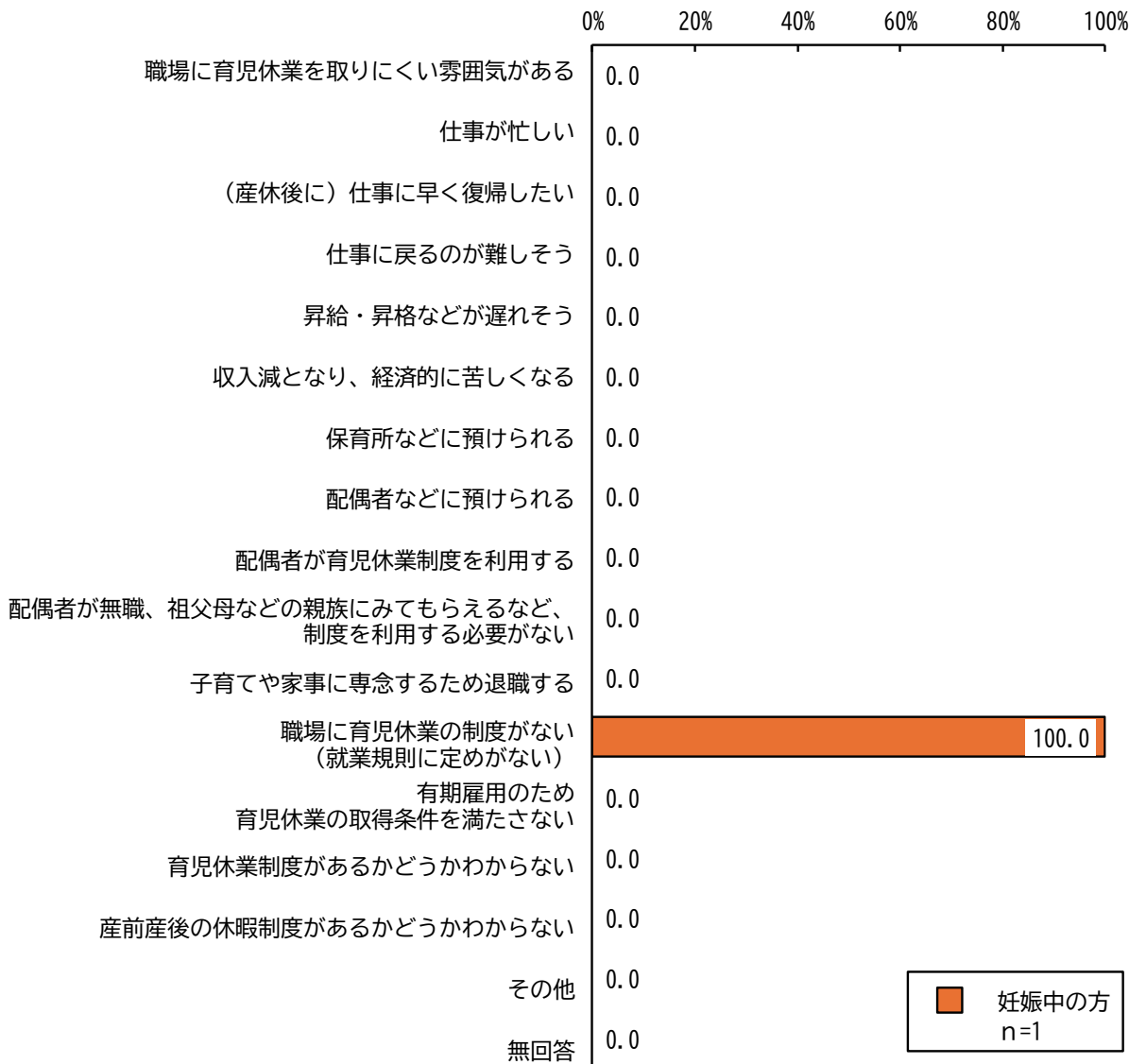
問 17 母親の育児休業の取得予定



問 17-（1）-1 取得しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）【母親】

回答者が少ないため参考として掲載しますが、母親が育児休業を取得しない理由は「職場に育児休業の制度がない（就業規則に定めがない）」が 100.0%となっています。

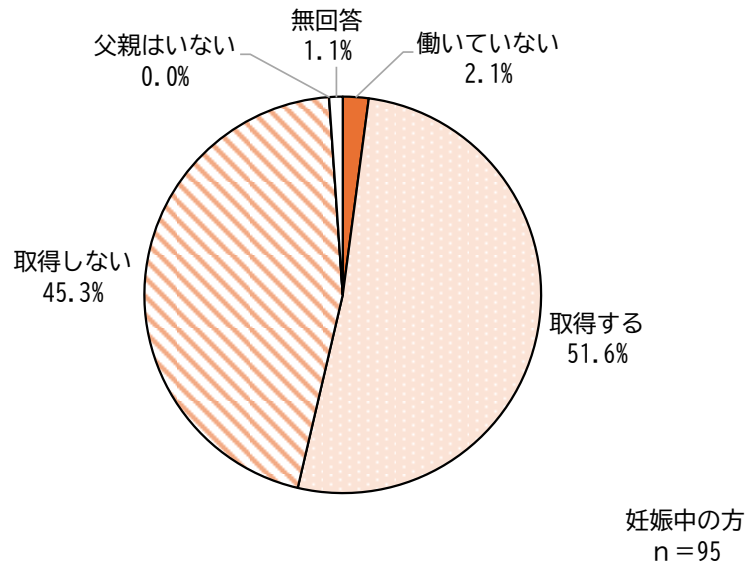
問 17-（1） 母親が育児休業を取得しない理由



問 17- (2) 出産予定のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得する予定はありますか。(あてはまるもの1つに○)【父親】

父親の育児休業の取得予定は「取得する」(51.6%)が最も多く、次いで「取得しない」(45.3%)、「働いていない」(2.1%)となっています。

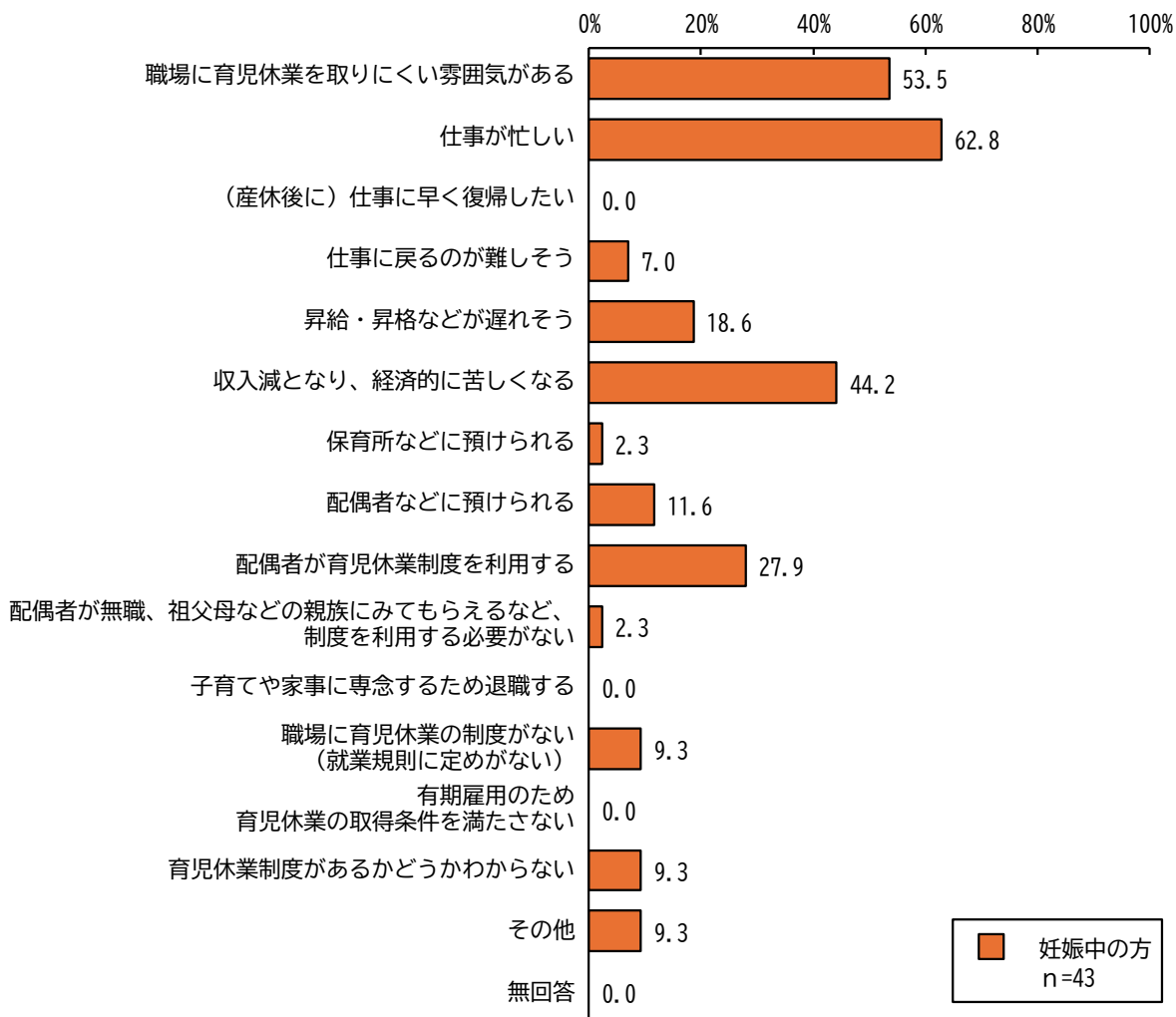
問 17- (2) 父親の育児休業の取得予定



問 17-(2)-1 取得しない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)【父親】

父親が育児休業を取得しない理由は「仕事が忙しい」(62.8%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」(53.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(44.2%)となっています。

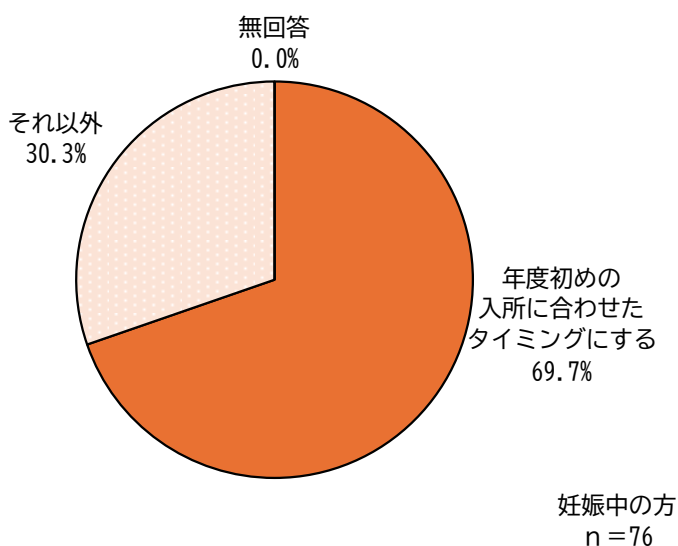
問 17-(2)-1 父親が育児休業を取得しない理由



問 18- (1) 育児休業から職場に復帰するのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングにする予定ですか。(あてはまるもの1つに○)【母親】

育児休業中の母親が予定する職場復帰の時期は「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」(69.7%)が最も多く、次いで「それ以外」(30.3%)となっています。

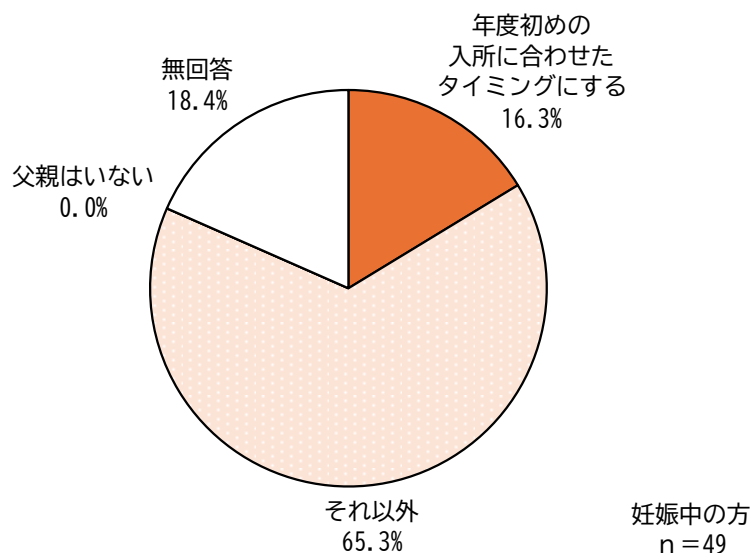
問 18- (1) 育児休業中の母親が予定する職場復帰の時期



問 18- (2) 育児休業から職場に復帰するのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングにする予定ですか。(あてはまるもの1つに○)【父親】

育児休業中の父親が予定する職場復帰の時期は「それ以外」(65.3%)が最も多く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」(16.3%)となっています。

問 18- (2) 育児休業中の父親が予定する職場復帰の時期

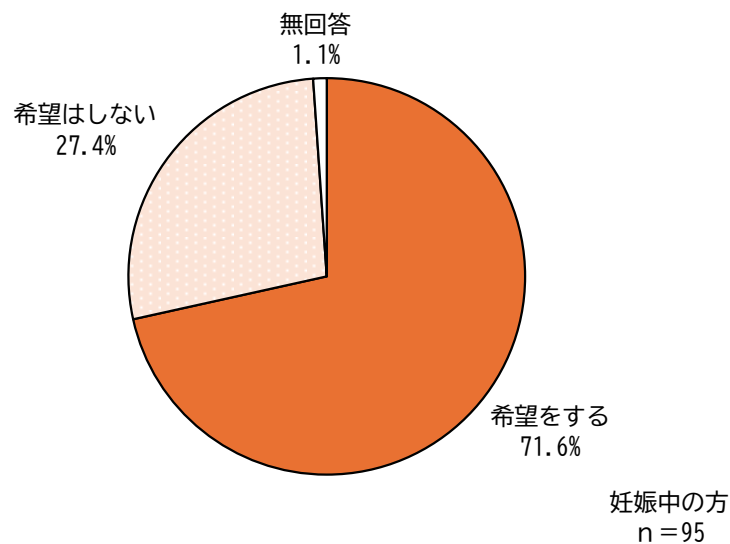




問 19- (1) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。(1) 母親 (あてはまるもの1つに○)【母親】

子どもが3歳になるまで育児休業できる場合の取得希望(母親)は「希望をする」(71.6%)が最も多く、次いで「希望はしない」(27.4%)となっています。

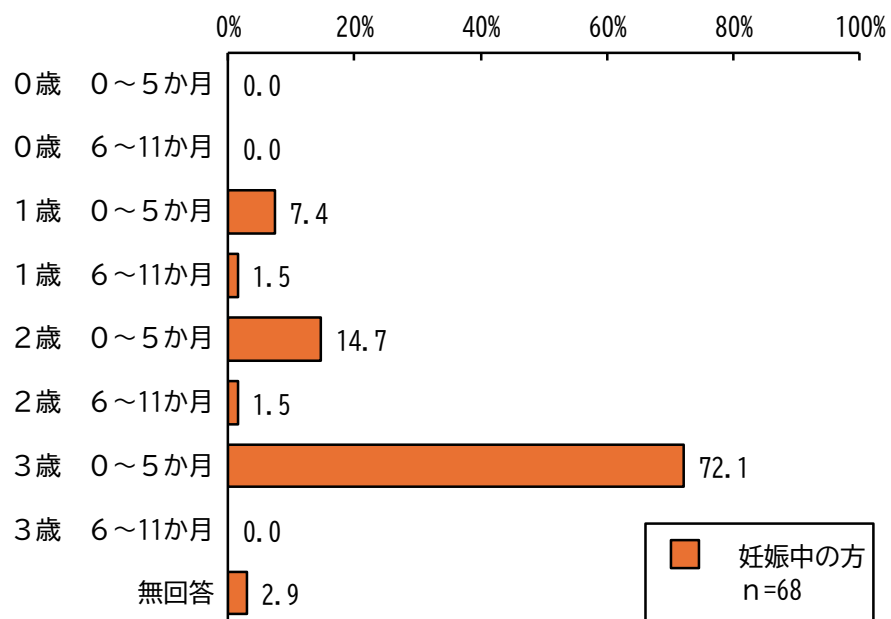
問 19- (1) 子どもが3歳になるまで育児休業できる場合の取得希望(母親)



問 19- (1) -1 年齢月数(一歳)【母親】

母親が3歳までの育児休業を希望する場合、子どもが何歳になるまで取得したいかは「3歳 0~5か月」(72.1%)が最も多く、次いで「2歳 0~5か月」(14.7%)、「1歳 0~5か月」(7.4%)となっています。

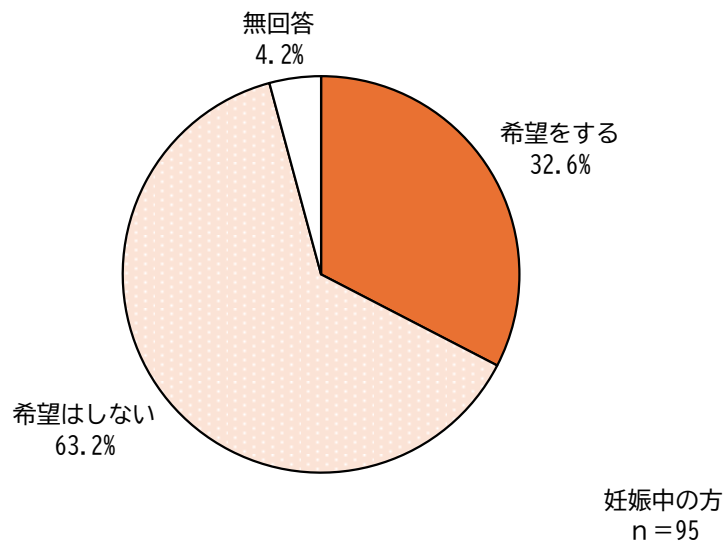
問 19- (1) -1 3歳までの育児休業を希望する場合、子どもが何歳になるまで取得したいか



問 19- (2) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。(2) 父親 (あてはまるもの1つに○)【父親】

子どもが3歳になるまで育児休業できる場合の取得希望(父親)は「希望はしない」(63.2%)が最も多く、次いで「希望をする」(32.6%)となっています。

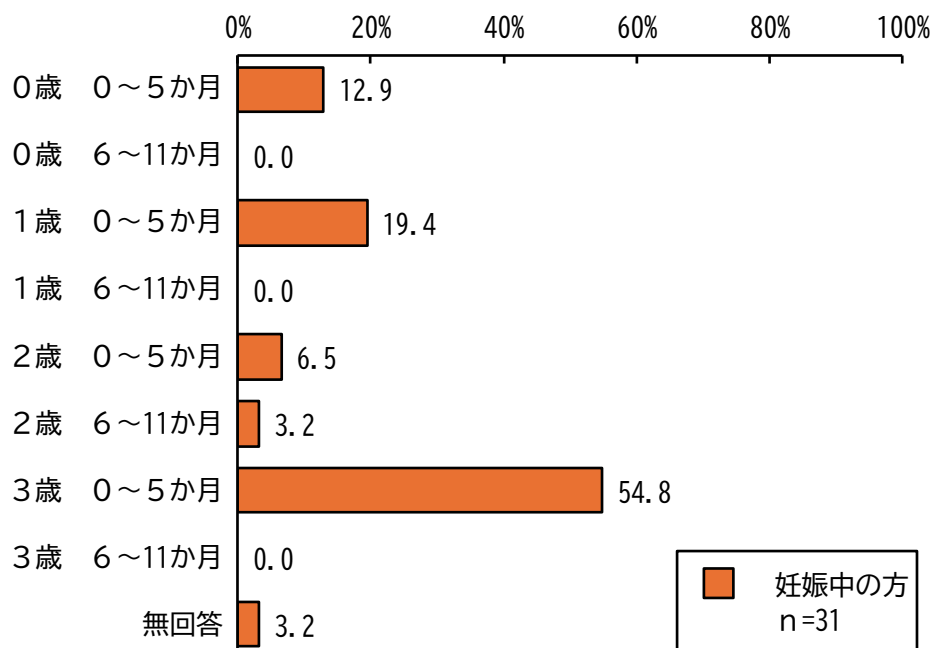
問 19- (2) 子どもが3歳になるまで育児休業できる場合の取得希望(父親)



問 19- (2) -1 年齢月数(一歳)【父親】

父親が3歳までの育児休業を希望する場合、子どもが何歳になるまで取得したいかは「3歳 0~5か月」(54.8%)が最も多く、次いで「1歳 0~5か月」(19.4%)、「0歳 0~5か月」(12.9%)となっています。

問 19- (2) -1 3歳までの育児休業を希望する場合、子どもが何歳になるまで取得したいか

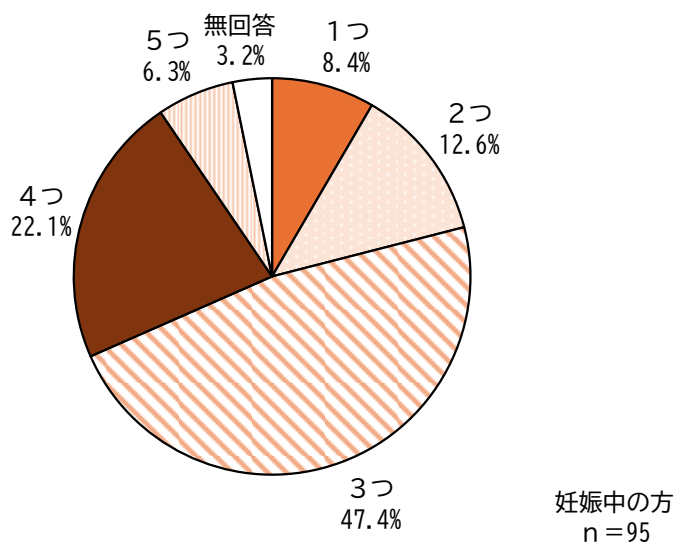


## 6 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

問 20 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。「1」（まったく満足していない）から「5」（十分に満足している）までで評価してください。

地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況については「3つ」（47.4%）が最も多く、次いで「4つ」（22.1%）、「2つ」（12.6%）となっています。

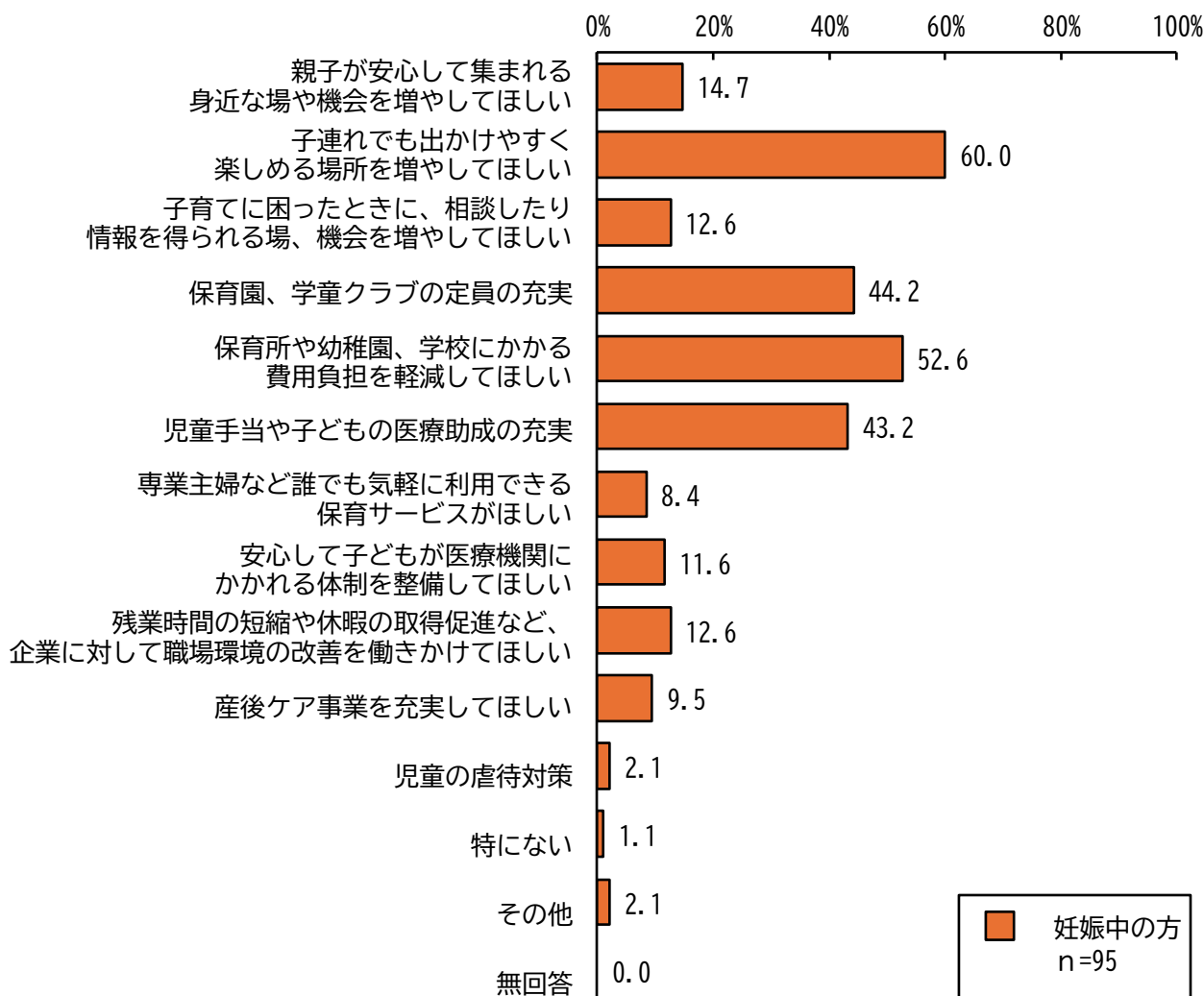
問 20 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況



問 21 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。(あてはまるもの3つに〇)

子育て支援充実への要望は「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(60.0%)が最も多く、次いで「保育所や幼稚園、学校にかかる費用負担を軽減してほしい」(52.6%)、「保育園、学童クラブの定員の充実」(44.2%)となっています。

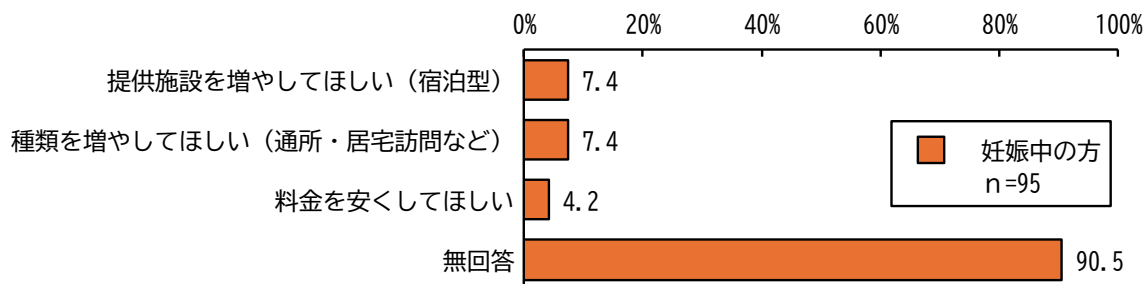
問 21 子育て支援充実への要望



問 21- (1) 具体的な内容をご入力ください。(あてはまるものすべてに○)

子育て支援充実への具体的な要望は「提供施設を増やしてほしい(宿泊型)」「種類を増やしてほしい(通所・居宅訪問など)」(各 7.4%) が最も多く、次いで「料金を安くしてほしい」(4.2%) となっています。

問 21- (1) 子育て支援充実への具体的な要望





# 第 7 章

## 自由記述





## 1 就学前児童の保護者

(記入者：稲城市内に居住する就学前児童の保護者)

※主な回答を抜粋して掲載

(1) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートを受けたいか〔問17〕

### ■地域における子育て支援

#### ◇子ども家庭支援センター

- ・気軽に利用できる家事育児サポートがあるとよい
- ・子どもや親が体調不良の際、預け先のサービスや家事の補助がほしい
- ・子育て支援サービスを紹介してもらえる
- ・必要であれば子どもの面倒を見てもらえるのではなく、プッシュ式のサポートがあるとよい
- ・幼稚園、保育園、こども認定園、学校に関わらず、8時～17時までの預かりや教育を無料でしてほしい

#### ◇保育園

- ・保育料や教育費の無償化や負担軽減
- ・希望する年齢・地域・時間などの条件ですぐに入園できる環境づくり
- ・働きたいのに働けない親を増やさないために、保育園を増やしてほしい

#### ◇一時預かり

- ・仕事の有無を問わず気軽に預けられる所があると望ましい
- ・安価で気軽に、数時間だけ子どもを預かってもらえるサービス
- ・親子ともに安心して預けられる場所
- ・当日の体調などに合わせて、事前予約なしで利用したい

#### ◇相談先

- ・気軽に話を聞いてもらえる場所がほしい
- ・メールやチャットなど、時間帯や曜日を気にせずに利用できる相談先
- ・相談内容に応じて、専門的な知識を持った人にすぐに相談できる仕組み

#### ◇子育て情報の提供

- ・子育ての様々な場面でどうすればいいのかを自分で調べる事が多いので、おおまかなガイドがあると嬉しい
- ・調べないとわからない子育て支援制度やワークがあるので、もう少し目につくようにすると助けになる
- ・子どもの月齢に応じた発達過程（どのようなことができるようになってくるのか）と援助の情報をまとめたものがほしい

◇学童クラブ事業

- ・朝の時間の学童があるとよい
- ・夏休み期間の昼食の支援
- ・保護者の就業に関係なく預けられるようにしてほしい
- ・低学年だけでなく中学年まで預けられるよう学年の幅を広げてほしい
- ・18時過ぎも軽食付きで、低額で預けられるとよい

◇経済的支援・助成金

- ・おむつなど日用品の購入の補助
- ・延長保育やファミリー・サポート・センター利用費の負担軽減

◇交流

- ・子どもの月齢やひとり親など、子育ての状況が共通する人が集まる会があるとよい
- ・近所の家族と交流できる親子イベントなどがあるとよい

◇市役所

- ・子育てに主に関わっている人だけではなく、子育てに関わるすべての人が子育て支援を気軽に利用できるよう、情報を周知してほしい
- ・手続きについて、チェックリストや期日管理のサポートがほしい

◇児童館・施設

- ・子どもたちだけで安心して遊べるような場所を増やしてほしい
- ・児童館利用者のニーズを聞き出してほしい

◇送迎サービス

- ・安価な送迎サービスがあるとよい

■母と子の健康の確保及び推進

◇産後ケア

- ・生後5か月以降の産後ケアで、身近に利用できるものがあるとよい

◇医療機関

- ・待たずに利用できるよう耳鼻科や小児科を増やしてほしい

◇病児保育

- ・利用したいときに必ず予約が取れるとよい

■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

◇学費

- ・学校で使用する文房具、絵具や習字道具を備品や現物支給としてほしい

◇給食

- ・小学校給食の量、品数を増やしてほしい
- ・長期休暇時の学童で、給食提供を検討してほしい
- ・給食費の無償化

◇習い事

- ・習い事補助金や塾代助成事業があるとよい

■子育てを支援する生活環境の整備

◇遊び場

- ・周囲に気兼ねなく子どもが大きな声を出したり走り回ったりできる場が増えるとよい

◇公園

- ・インクルーシブ遊具がある大きな公園があるとよい
- ・身近にすぐに遊びに行ける公園がほしい

◇商業施設

- ・子どもと一緒にいける食事場所や買い物場所の提供

◇道路整備

- ・歩道や通学路の整備

■職業生活と家庭生活との両立の推進

- ・共働き世帯の増加にともない、子どもを見てもらえるサポートを充実してほしい
- ・父親が子どものことで仕事を休むことへの父親本人や企業の理解を促す意識啓発事業

■子ども等の安全の確保

- ・防犯カメラの設置やパトロールによる地域安全の強化

■要支援児童への対応

- ・知的障害（重度）の子どもを預かってくれる放課後デイサービスを増やしてほしい
- ・障害のある子どもの交流の場があると情報交換ができてよい

（２）親子が安心して集まれる身近な場や機会を増やす場合の例〔問 41〕

■児童館・施設

- ・市内の公民館を高齢者だけでなく子連れの親も使えるようにしてほしい
- ・あそびの広場向陽台のような場所を駅前など利用しやすい場所に作ってほしい
- ・あそびの広場などを土日に開所してほしい

■イベント

- ・イベントの情報をもっと市報に載せてほしい

### (3) 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす場合の例〔問 41〕

#### ■公園

- ・若葉台公園の遊具の充実
- ・南山地区に大規模な公園を開設してほしい

#### ■雨天時に利用できる施設

- ・室内遊具施設があるとよい
- ・水族館や博物館などの教育にも繋がる室内施設が増えるとよい
- ・室内で身体を動かせる施設

#### ■商業施設

- ・商業施設に外から様子がわかる開放的な子どもが遊べる場所がほしい
- ・子どもが遊べる施設が入ったショッピングモール

#### ■レストラン・カフェ

- ・公園の中にカフェを作ってほしい
- ・子どもを連れていけて、大人も満足できる食事がある場所
- ・離乳食があげられる、もしくはメニューにある小上がりのカフェ

#### ■児童館・施設

- ・児童館で幼稚園児を対象としたイベントを開催してほしい
- ・日曜日祝日に利用できる児童館が増えてほしい
- ・乳児と年上のきょうだいを連れて公園や児童館に行く際に、授乳場所があるとよい
- ・時間帯（中学生以上の専用時間など）で児童館への入館自体を断られることがあり、とても困ったのでいつでも利用できるようになるとよい

#### ■イベント

- ・昔からの遊びを子どもに教えてほしい
- ・子ども向けコンサートや劇の鑑賞会などの実施
- ・中央文化センターのホールで子ども向けコンサートなどを行なってほしい

#### ■習い事・講座

- ・親ときょうだいを含む子ども数人で気軽に参加できる教室や講座があるとよい
- ・託児付きの講座

#### ■遊び場

- ・無料で気軽に遊べるきれいな施設を増やしてほしい
- ・既存の施設にキッズスペースを設ける

#### ■設備

- ・おむつ替えスペースや子供用トイレの増設
- ・子連れが行きやすい店や駅、公園周辺の設備を整えてほしい

#### ■優待券

- ・稲城市内の施設（キドキドやよみうりランド）の優待券があるとよい

#### ■道路整備

- ・安心してベビーカーで外出できるよう、歩道を整備してほしい

### (4) 子育ての環境や支援への満足度の回答についての理由〔問 55〕

#### ■満足度5（高い）

- ・公園が多く、十分に遊べる
- ・自然が多く、歩道も広く歩きやすい
- ・児童館や図書館が充実している
- ・市民まつりなど子連れで行けるイベントがある
- ・親と子の教室などを定期開催で、サポートしてもらえる
- ・支援金や制度が充実している

#### ■満足度4（やや高い）

- ・子どもが過ごせる場所が徒歩圏内にいくつかあり充実していると感じる
- ・23区内と比較すると子どもの体験活動に差があると感じる
- ・子育て世代が周囲に多く、安心できる
- ・医療費補助の充実は大変ありがたい、先進的だと思う
- ・自然もあり、交通の便も良く満足している
- ・近隣に警察署がなく、駐在所も無人のため不安
- ・若葉台は充実しているが、矢野口は足りないなど、地域差がある
- ・事故の多い交差点がある

### ■満足度3（普通）

- ・歩道がない場所や横断歩道に信号がないところが多く、子どもだけでの外出が不安
- ・子育て支援事業について周知が足りないと感じる
- ・ボール遊びができる広場や公園がほしい
- ・小学校に上がったあとの子どもの預け先不足が心配
- ・防犯や事故防止に取り組んでほしい
- ・商業施設、児童向け施設や公園が乏しく、週末は市外に行くことが多い

### ■満足度2（やや低い）

- ・他市区と比較して、学童の費用が高く、医療費や給食費がかかるため、恵まれた環境ではないと思う
- ・子ども関連の施設などが充実していない
- ・土地価格が高く、住居にかかる費用が大きい
- ・希望する保育園に入れない
- ・小児科が少ない
- ・月齢の小さな子から大きな子までに対応した安全な公園が少ない

### ■満足度1（低い）

- ・雨の日に行ける場所が少ない
- ・商業施設、ご飯を食べる場所、綺麗な公園などを整備してほしい
- ・学校の校舎が小さい
- ・i バスをもっと利用したいが、本数が少なく料金も高い
- ・子育て世帯に対し、近隣の高齢者の風当たりが強いことが多い
- ・医療費助成や手当について、年収による制限を撤廃してほしい

## （5）教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〔問 60〕

### ■地域における子育て支援

#### ◇子ども家庭支援センター事業

- ・共働きや頼れる親類が身近にいない世帯に対して、短時間から1日単位の面倒見、ケアをしてくれるネットワークや施設がほしい
- ・育児支援ヘルパー事業の利用目的や活動内容を広げてほしい
- ・地域に子育て世帯を定期的に訪問してくれる人などを配置してほしい

#### ◇保育園

- ・育児休業明け入所予約制度を導入してほしい
- ・保育園の数を増やしてほしい
- ・保育士の待遇や職場環境を改善することが保育環境の改善に繋がると思う

- ・市外の保育園でも補助金を出してほしい
- ・就労先を探すために、まだ就労していなくても保育園を利用できるとよい
- ◇学童クラブ事業
  - ・希望者全員が利用できるようにしてほしい
  - ・入所できる学年を広げてほしい
- ◇一時預かり
  - ・一時的にこどもを預けられる場所が保育園以外にないので作ってほしい
  - ・1歳未満でも一時保育を利用できるとよい
  - ・祝日・曜日に制限なく、いかなる理由でも預けられる場所がほしい
- ◇相談先
  - ・気軽に相談できるよう、相談員や相談できる日を増やしてほしい
  - ・どこに相談するとよいか分かりやすくしてほしい
- ◇子育て情報の提供
  - ・情報をまとめた辞書のような冊子を配布してほしい
  - ・わかりやすくまとめられたサイトやアプリがあるとよい
  - ・各適齢期に見合った支援内容をチラシやメールで共有いただけるとよい
  - ・子育てに関する特集やイベントスケジュールの掲載が市報に増えるとよい
- ◇交流
  - ・高齢者の方を対象に、子育て世帯への理解を促してほしい
- ◇児童館・施設
  - ・児童館の建物の老朽化やおもちゃが壊れたままであることが気になる
  - ・イベント後に感想を伝えられるアンケートなどがあるとよい
  - ・図書館に子どもが喋れるような場所がほしい
  - ・保健センター館内はベビーカーで移動できることが望ましい
- ◇市役所
  - ・子供関連の相談をする際、市役所と支援センターで分かれていると移動が大変なので併設してほしい
  - ・子育て世代の意見をもっと反映してほしい
  - ・市役所に制度や教育などに精通した専門家が常駐しているとよい
- ◇経済的支援・助成金
  - ・理想の数の子どもをもてるよう、金銭的な支援を充実させてほしい
  - ・乳幼児に必要なおむつなどを補助してほしい
- ◇格差のない支援
  - ・子どもが複数いて生活が厳しいので、所得制限なしに受けられる制度や手当が増えるとよい

## ■母と子の健康の確保及び推進

### ◇医療機関

- ・休日に子どもが体調を崩した際にかかれる医療機関が必要
- ・乳幼児連れでも利用できる病院が増えてほしい
- ・市内の小児科、皮膚科、耳鼻科がもっと増えてほしい

### ◇医療費

- ・出産費用の負担軽減
- ・医療的ケアが必要な家庭の時間的・体力的負担軽減

### ◇病児保育

- ・病児保育利用の手続きを簡略化して使いやすくしてほしい
- ・利用料を補助してほしい
- ・利用枠を増やしてほしい

## ■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

### ◇学費

- ・教育費、給食費などの無償化
- ・義務教育期間中だけでも学習に必要な文房具や体操服、制服、その他必要最低限の物を支給制にしてほしい

### ◇学校

- ・学校のタブレット配布はぜひ継続してほしい
- ・児童の増加が見込まれる教育施設の人員確保、施設の拡充

### ◇幼稚園

- ・市から幼稚園へ資金援助を行い、放課後保育を充実させてほしい

### ◇学校施設

- ・教育機関の修復工事

### ◇給食

- ・メニューの内容だけでなく摂取カロリーや栄養も公開してほしい

### ◇習い事

- ・多子世帯への習い事や塾の負担金補助があるとよい
- ・習い事を気軽にできる環境作り

## ■子育てを支援する生活環境の整備

### ◇遊び場

- ・もっと子どもたちが遊べる場所が増えるとよい
- ・仕事が休みの日(土日祝日)に遠出をしないで、市内で楽しめる場所があるとよい
- ・屋内のスポーツ施設が長峰にしかないため、大丸、東長沼、矢野口地区などにも体育館などを整備してほしい



◇公園

- ・ボール遊びを思い切りできるようにして将来プロ選手が地元からできるようにしてほしい
- ・雨の日に遊べる高架下などの公園をもっと増やしてほしい
- ・小学校中学年まで楽しめるような遊具が充実した広い公園を増やしてほしい

◇商業施設

- ・子どもが遊べる綺麗な公園などが併設されている商業施設をつくってほしい
- ・気兼ねなく、家族で食事などをのびのびと楽しめる場所があるとよい

◇道路整備

- ・カーブミラーの設置や道幅を広くするなど、安全な道路環境の整備

◇交通

- ・駐輪場や駐車場設備の充実
- ・バスの本数や駅を増やしてほしい
- ・交通ルールの普及

■職業生活と家庭生活との両立の推進

- ・子育てしながら仕事をする際、休みがとりやすいよう企業をサポートしてほしい
- ・仕事をしながら子どもを育てられる環境を整えてほしい
- ・共働きで仕事をしながら子育てができるように、子どもが安全に健全に過ごせる場所を作ってほしい

■子ども等の安全の確保

- ・不審者の情報を小学校だけでなく近隣の保育園などの施設に共有してほしい
- ・子どもを対象とした性犯罪を未然に防止できるシステムを設けてほしい
- ・防犯カメラや街灯などを増設してほしい
- ・徐行運転などの標識を随所に設置してほしい
- ・登下校時の子どもを見守る仕組みづくり

■要支援児童への対応

- ・不登校の子どものためのサポートや居場所作りを充実してほしい
- ・子どもが楽しく、自分らしく学校生活を送れる環境を整えてほしい
- ・放課後等デイサービスの適正な負担割合やサービス内容を見直してほしい
- ・障害がある子どもの預け先を探す負担の軽減

■その他

- ・アンケート調査を回答しやすいよう工夫してほしい

## 2 小学生の保護者

(記入者：稲城市内に居住する小学校3・4年生の保護者)

※主な回答を抜粋して掲載

(1) 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートを受けたいか〔問18〕

### ■地域における子育て支援

#### ◇サポート・地域交流

- ・緊急時にすぐに対応してくれるサポート体制があるとよい
- ・子どもと一緒に参加できる地域の集まりがあるとよい
- ・虐待やネグレクトなどを未然に防ぐために、住民同士の繋がりが大事であることを周知してほしい
- ・緊急時に限らず、日常生活の中で気軽に家事や育児のサポートを受けられるとよい

#### ◇児童館・施設

- ・矢野口や南山地区に児童館をつくってほしい
- ・児童館を多方面の経験ができる有意義な活動場所にしてほしい
- ・児童館や図書館で子どもの見守りサービスをしてほしい
- ・学校がある時間帯でも不登校の子どもを児童館で受け入れてほしい

#### ◇学童クラブ事業

- ・長期休暇中だけでも6年生まで一時的な学童利用制度があるとよい
- ・民間学童の充実

#### ◇医療費

- ・医療費の完全無償化

#### ◇経済的支援・助成金

- ・物価高騰にともない金銭面をより支援してほしい
- ・非課税世帯に限らない子育て給付金の支給
- ・税金を軽減してほしい
- ・児童手当について、主に育児を担っている人に振り込んでほしい

#### ◇預け先

- ・専業主婦(夫)でも、リフレッシュや自身の通院を目的とした保育園の一時利用ができるようにしてほしい
- ・緊急時に安心して預かってもらえる場所

#### ◇格差のない支援

- ・収入額に関係なく、医療費や学費などを補助する制度の設立

#### ◇市役所

- ・市の育児電話相談があるとよい

◇相談先

- ・学校や進学先など子育てで迷うことを気軽に聞けるような場があるとよい
- ・親のためのカウンセラーを充実してほしい

◇子ども食堂

- ・長期休暇に利用できる子ども食堂があるとよい

■母と子の健康の確保及び推進

◇医療機関

- ・医療機関の充実

◇病児保育

- ・病児保育をもっと身近に気軽に受けられる体制

■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

◇教育の質

- ・公立学校の教師の待遇をよくすることで、公立学校の質を上げてほしい

◇給食

- ・長期休暇中の給食の提供
- ・給食費の無償化

◇学校

- ・教育や育児に関わるスタッフの物理的、時間的、精神的な余裕を生み出せるよう、市長や議会に牽引してほしい
- ・朝の学校での預かりを導入してほしい

◇学費

- ・高校や大学の無償化

◇塾・習い事

- ・塾や習い事に対する費用援助があるとよい

◇学習サポート

- ・子どもの理解度に合わせた学習の場がほしい
- ・放課後に宿題などを見てもらえる場所があるとよい

■子育てを支援する生活環境の整備

◇遊び場

- ・子どもが気軽に集まれる場所をもっとたくさんつくってほしい

◇公園

- ・ボールが使える公園や年齢によって遊び場が分けられた公園があるとよい
- ・南山地区の住宅の増加にともない、早急に公園を増設してほしい

◇道路整備

- ・安全な歩行路や子どもが自転車で通行できる道を整備してほしい

◇情報

- ・近隣にある子ども向けの病院や塾、習い事の情報をまとめたアプリなどがあるとよい
- ・身近な人と地域や学校の情報交換ができるよう、交流の場を設けてほしい

◇交通

- ・バスを充実させてほしい

◇商業施設

- ・住宅の増加にあわせて商業施設を充実させてほしい
- ・子連れで行ける飲食店があるとよい
- ・法人や商業施設を誘致し、稲城市内で働きたい親の受け皿とするとよい

◇支援の充実

- ・子育て世帯への各種割引や優待サービスが受けられる制度があるとよい
- ・保育園に入園できなかった保護者に対するサポート

■子ども等の安全の確保

- ・登下校時の見守り

■要支援児童への対応

- ・支援が必要な子どもの放課後の居場所を増やしてほしい
- ・すべての小中学校に特別支援学級と支援教室を設置することが望ましい

(2) 親子が安心して集まれる身近な場や機会を増やす場合の例〔問 38〕

■イベント

- ・親子で参加できる遊びのイベント
- ・親子で梨の収穫体験をするイベント

■子ども食堂

- ・子ども食堂をもっと増やしてほしい

■遊び場

- ・無料で子どもがのびのびと遊べる場所があるとよい
- ・見守りフォローがあるなど、ひとりで子どもをたくさん連れて行ける場所がほしい

### (3) 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす場合の例〔問 38〕

#### ■公園

- ・バスケットコートやテニスコート、アスレチックが沢山あり、無料で利用できる公園をつくってほしい
- ・おむつ替えや授乳スペースがあるとよい
- ・ボール遊びが制限されない公園
- ・南山地域に大きな公園がほしい

#### ■レストラン・カフェ

- ・子連れで気兼ねなく入れる飲食店を増やしてほしい

#### ■商業施設

- ・親子で休日ショッピングする場所がほしい
- ・大型ショッピングモールがあるとよい

#### ■遊び場

- ・屋上庭園など、車や自転車事故の心配がない遊び場があるとよい
- ・プレイパークなど、困ったときに職員に助けてもらえる自由度の高い遊び場がほしい

#### ■施設

- ・総合体育館が近くにほしい
- ・植物園や科学館のように体験を通して学べる施設があるとよい
- ・小学校高学年でも体をたくさん使って遊べる施設がほしい

#### ■雨天時に利用できる施設

- ・雨でも利用できて、価格もリーズナブルな施設がほしい

#### ■イベント

- ・公園でのイベント開催があるとよい
- ・子どもと楽しめる自然体験や、スポーツイベントを週末に開催してほしい

### (4) 子育ての環境や支援への満足度の回答についての理由〔問 52〕

#### ■満足度5（高い）

- ・公園や児童館も近く、子どもの幼少期からの知り合いも多いので安心して子育てができる

- ・緑や自然が多く、公園や施設などがきれいに整備されており、風俗施設もないので安心して暮らせている
- ・特別支援級に在籍している子どもの特性に理解や配慮がある

#### ■満足度4（やや高い）

- ・少子化の中、子どもをたくさん産んで仕事をしながらも育てている世帯を後押しする支援をしてほしい
- ・交通環境について、歩道のない通学路があり心配している
- ・地域の活動に子どもたちが参加しやすい雰囲気がある
- ・経済的な支援が充実している
- ・スクールカウンセラーの先生へ相談しやすい
- ・公園は多いが、遊具が減って閑散とした広場が増えている
- ・地域に子育て世代が多く、関係を作りやすい
- ・就学してから、何か相談したいときに気軽に聞ける場が少ないように感じる

#### ■満足度3（普通）

- ・歩きタバコやポイ捨て、危険な自転車走行などを取り締まってほしい
- ・各学校に特別支援学級・情緒級を設置してほしい
- ・放課後や長期休暇の子どもの預け先をつくってほしい
- ・タブレットを活用するなど、ランドセルの中身の軽量化を図ることが望ましい
- ・ボランティアではなく、行政が子育てをサポートする側の体制、働き方や賃金、人員確保などを行う必要がある
- ・子どもの遊び場が足りていない
- ・子育てに関する助成を手厚くしてほしい
- ・給食費や医療費の支援が充実するとよい
- ・新興住宅地周辺に交番や広い公園がほしい
- ・最近不審者情が頻繁に出ているため、地域全体で連携し、警察以外のボランティアの見守りなどを強化してほしい

#### ■満足度2（やや低い）

- ・物価高騰などにより子どもにかかる費用が増えているが支援が足りない
- ・裕福で問題ないように見えても、近くに親族がいないなど支援がなく困っている
- ・地区委員やPTA活動など親のボランティアに頼る体制をやめて民間に委託するなど負担を減らしてほしい
- ・路上駐車を取り締まりが不足している
- ・低学年の子が歩いて行けるような距離に広い公園が少ない
- ・校庭が狭い
- ・学習塾が少なく、近隣市に行っているので習い事などの事業を充実させてほしい

## ■満足度1（低い）

- ・相談先のふれんど平尾までの公共交通機関が充実しておらず不便
- ・夜間や休日の医療体制が手薄
- ・遊べる場所が少ないために子ども同士で集まる機会がなく、子どものストレスが溜まっている
- ・地域で孤立していると感じるため、地域でも子育てをフォローしてほしい

## （5）教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〔問57〕

### ■地域における子育て支援

#### ◇サポート・地域交流

- ・子どもを温かい目で見守る意識啓発をしてほしい
- ・保護者同士の交流を増やしてほしい

#### ◇児童館・施設

- ・低学年でも歩いていける場所に児童館や図書館がほしい
- ・坂浜地区に児童館がほしい

#### ◇学童クラブ事業

- ・定員や対象学年を拡大してほしい

#### ◇医療費

- ・歯科矯正の保険適用もしくは助成などがあるとよい

#### ◇経済的支援・助成金

- ・一時金は備えとして貯金してしまうので、固定費である給食費などを無償化してほしい
- ・子どもの年齢が上がるにつれて費用は増すので、きょうだいの歳が離れていても助成金や手当などを減額しないでほしい
- ・子育て家庭への給付金や以前のQUOカードPayなどの支援を拡充してほしい

#### ◇預け先

- ・押立や平尾地区に子どもを預けられる施設や場所を増やしてほしい
- ・子どもを預けやすく、保護者が働きやすい制度を幅広く整えてほしい

#### ◇格差のない支援

- ・望む人は望む分だけ子どもを育てられるような社会になるよう改善してほしい
- ・非課税世帯に限らず子育て世帯すべてに経済的な援助をしてほしい

#### ◇市役所

- ・手続きなどが簡潔に済むようにしてほしい
- ・利用されていない子育て支援策を見直してほしい
- ・保育園入園基準や転園基準を明確にほしい
- ・母親が市内で就労できるよう企業などを誘致してほしい

- ・ 保育園の十分な人材確保のために、稲城市独自の保育士手当などがあるとよい

◇相談先

- ・ 多胎児ときょうだいの兼合いなど個別相談で柔軟に対応してほしい
- ・ 通報が難しい児童虐待のグレーゾーンについて、相談先があるとよい
- ・ 地域トラブルなどを相談できる場所を新設してほしい

■母と子の健康の確保及び推進

◇医療機関

- ・ 休日診療を拡充してほしい
- ・ 緊急外来の体制を整えてほしい
- ・ 男性の育児参加推進講座など、普段講座に参加しない人が行きやすい講座を開いてほしい

■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

◇教育の質

- ・ 子どもが自分で考えて行動できるような学習や環境があるとよい
- ・ 質の高い教育のため、教員や保育者の質上げを検討してほしい
- ・ 中学校の部活動を活発化させ、教師ではなく専門の教育者に任せてほしい
- ・ 塾ありきではなく、公的な学習環境を整備してほしい

◇学校設備

- ・ 若葉台小学校校舎の安全性を確認してほしい
- ・ トイレのリフォームや防犯カメラの増設をしてほしい

◇給食

- ・ 給食費の無償化
- ・ 農薬や水の安全などに配慮した食材を使うなど、質を向上させてほしい

◇学校

- ・ オンライン授業を充実させてほしい
- ・ 台風や雪の日は自由登校にしてほしい
- ・ 土曜日の授業をやめてほしい
- ・ 水曜日の短縮授業をやめてほしい
- ・ アプリを使った家庭と学校とのやりとりの一元化を検討してほしい
- ・ 不登校の子どもへのケアがあるとよい
- ・ 1クラスあたりの人数を減らしてほしい
- ・ 社会科見学や遠足などを市で負担して充実させてほしい
- ・ ランドセルが重く、子どもの身体の負担になっていることを解決してほしい
- ・ 中学校の部活動縮小に対して、外部指導者の配置など幅広く検討してほしい
- ・ 子どもの精神的負担軽減のために、中学校進学の際の学区域を、住所ではなく小学校ごとの割り振りにしてほしい



- ・長期休暇の期間中も、学校を開放してほしい

#### ◇教員

- ・教員の負担軽減のため、民間事業者への委託などを検討してほしい
- ・教員の数を増やしてほしい
- ・小学校低学年の先生1人あたりに対する子どもの人数を少なくしてほしい

#### ◇学費

- ・サイズの買い替えなどがしやすいよう、中学校の制服を安価にして
- ・学校から貸与されるタブレットの保険料を補助してほしい
- ・修学旅行費用の助成があるとよい

#### ◇習い事

- ・子どものしたい事を気軽にさせてあげられる環境(料金の抑えられる習い事)がほしい

### ■子育てを支援する生活環境の整備

#### ◇遊び場

- ・DIYなど、学校や家ではできない、自由な学びが無料でできる場があるとよい
- ・親がいない間に子どもが気軽に外に出て集う場所があるとよい
- ・のびのびと遊べる広場がほしい
- ・南山地区に子どもが遊べる場所がほしい

#### ◇公園

- ・坂浜地区に広い公園を設置してほしい
- ・ボール遊びができるように整備してほしい

#### ◇道路整備

- ・子どもが横断歩道のない道路を渡っているため横断歩道の整備を早くしてほしい
- ・長峰地区の街灯をもう少し明るくしてほしい

#### ◇情報

- ・子どもがインターネットに触れる機会が増えているので、危険性やフィルタリングの設定方法について周知してほしい
- ・広報の子育ての部分を充実させて様々な情報を載せるとよい
- ・子育てセミナーに勧誘などがいないか確認していることを明記してほしい
- ・子ども食堂やサイズアウトした衣服の回収、受渡しなどボランティア活動などしている団体についてわかりやすく周知してほしい
- ・市からのメールで、子育ての制度や、応急処置と手当の情報発信をしてもらえるとよい
- ・不登校支援の情報についてまとめたパンフレットやホームページがあるとよい

#### ◇交通

- ・iバスを充実させてほしい
- ・市内を行き来しやすいように駐車場がもっと豊富にあるとよい

◇商業施設

- ・近くに文房具を購入するお店がほしい
- ・ファミリーレストランを誘致してほしい

◇支援の充実

- ・子どもの支援が必要な時期はすぐ過ぎてしまうので、早急に対応してほしい
- ・保護者への働きかけや環境の整備、子どもの育ちを社会で見守る意識などをつくる  
ことが望ましい

■子ども等の安全の確保

- ・こども 110 番の家を見直してほしい
- ・虐待防止に力を入れてほしい
- ・不審者への対策を講じてほしい
- ・自動車の危険な運転を取り締まってほしい

■要支援児童への対応

- ・障害がある子もない子と一緒に過ごせる機会が増えるとよい
- ・市内各学校に特別支援学級、情緒級を設置してほしい
- ・補助の先生や、支援員の増員してほしい
- ・不登校支援やフリースクールが増えるとよい

■その他

- ・アンケート調査を回答しやすいよう工夫してほしい

### 3 小学生・中学生本人

(記入者：稲城市内に居住する小学校5・6年生及び中学校1・2年生)

※主な回答を抜粋して掲載

#### (1) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〔問34〕

##### ■地域における子育て支援

###### ◇サポート・地域交流

- ・高学年以上から高校生までの子どもの居場所がほしい
- ・学習やスポーツ、芸術等、地域交流の場を設けてほしい
- ・外で友達と遊んだりコミュニケーション能力を身につけたりする機会を作ってほしい

###### ◇児童館・施設

- ・図書館や児童館の開館時間帯を延長してほしい
- ・iプラザや図書館の本を増やしてほしい
- ・子どもにもっと自由に遊ばせてほしい

###### ◇格差のない支援

- ・子ども手当を収入別にしないでほしい

##### ■母と子の健康の確保及び推進

###### ◇医療機関

- ・子どものメンタルクリニックや起立性調節障害を診れる医師を置いてほしい
- ・長峰地区に病院を増やしてほしい

##### ■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

###### ◇学校

- ・先生との関わりの悩みを相談できる窓口がほしい
- ・1クラスの人数を40人より少なくしてほしい
- ・厳しい規則を緩和してほしい
- ・土曜授業の次の月曜日を振替休みにしてほしい
- ・ディスクレシアでも学びやすい環境があるとよい

###### ◇教育の質

- ・算数の少人数クラスができず、担任が一つのクラスで教えている状況を早く改善してほしい
- ・外国語の授業で外国人の先生がたまにしか来ないからもっと来てほしい
- ・学校のパソコンがタブレットに代わり、パソコンの基本的な使い方を学びにくくなってしまったことを改善してほしい
- ・学校の課外活動を増やしてほしい

- ・数学だけでなく英語も習熟度別授業にしてほしい
- ・プログラミングの授業をやってほしい
- ・保健の先生にもっと病気やけがのことを勉強してほしい

#### ◇部活動

- ・部活帰りが暗く、同じ通学路の友達がいなかったため、終わる時間を早めてほしい
- ・中学校の部活動の種類がもっと充実してほしい
- ・部活動の厳しさを緩めてほしい

#### ◇支援学校・支援級等の設置

- ・生徒が徒歩で通えるよう、支援級をもっと増やしてほしい
- ・援級の子どもも通常級に行き来できるようにしてほしい
- ・中高一貫校や通信制高校を設置して

#### ◇経済的支援・助成金

- ・給食費を無料にしてほしい
- ・タブレットの管理金を無料にしてほしい
- ・上着や靴下、靴などの色やタイプの指定をなくして手持ちの物を使わせてほしい

#### ◇学校設備

- ・体育館や特別教室にエアコンをつけてほしい
- ・トイレの便座を暖かくしてほしい

#### ◇給食

- ・班・グループで給食を食べるように戻してほしい
- ・品数を一定にしてほしい
- ・うどんなどの麺類やカレー、フルーツをもっと出してほしい
- ・デザート回数やパンのバリエーションが少ないことを改善してほしい

### ■子育てを支援する生活環境の整備

#### ◇遊び場

- ・長峰地区に遊ぶ施設がほしい
- ・遊具を増やしてほしい
- ・ボールの貸出をしてほしい

#### ◇公園

- ・公園でボール遊び禁止をやめてほしい
- ・公園のトイレを綺麗にしてほしい
- ・大規模・中規模の公園をつくってほしい
- ・サッカーやバスケットボールができる公園がほしい

#### ◇道路整備

- ・狭い車道に自転車専用標示を無理に設けないでほしい
- ・安全のために街灯を増やしてほしい
- ・歩道をつくってほしい

- ・地図を設置してほしい
- ・通学路の工事が多く、怖いので見守ってくれる大人がいてほしい

◇環境整備

- ・用水路や道路、公園にゴミが散らかっているので対処してほしい

◇自習スペース

- ・中学生が勉強できるスペースを矢野口周辺につくってほしい
- ・図書館の自習できる場所を増設してほしい

◇交通

- ・習い事の帰りに暗い道を歩かなくて済むよう、バスの本数を増やしてほしい
- ・学校登下校時間帯には、バスを10分～15分ごとにバスが通るようにしてほしい

■要支援児童への対応

- ・障害がある人でも住みやすい地域にほしい
- ・支援級でも、ある程度の普通校に進学できるレベルの教育を施してほしい
- ・特別支援学級の先生もしくは介助員を増やしてほしい
- ・すまいるルームの利用で抜けた分の授業のフォローがタブレット等でできるとよい

## 4 青少年・若者

(記入者：稲城市内に居住する 16～39 歳の方)

※主な回答を抜粋して掲載

### (1) 子ども・若者の環境や支援に関する意見〔問 34〕

#### ■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

##### ◇教育の質

- ・塾等に行かなくてもよいように、公立学校のカリキュラムの質向上を図ってほしい
- ・親子ともに、幼少期からの性教育があるとよい
- ・収入に関係なく習い事や学校を選べるようにしてほしい

##### ◇給食

- ・給食費の無償化

##### ◇学校

- ・児童数の偏りが激しいため、学区編成を早急に検討してほしい
- ・いじめ・不登校への対応に力を入れてほしい
- ・小中学校の規模にあわせて教員の数も増やしてほしい
- ・学校への無料ナプキンの設置など、生理の貧困をなくしてほしい
- ・コミュニティ・スクール構想を推進してほしい
- ・学業における障害者差別をやめてほしい

##### ◇放課後の過ごし方

- ・学童など小学生の預け先を充実させるとよい
- ・子ども同士のトラブルに、真剣に向き合って取り組む指導者がいるとよい
- ・部活や塾など習い事がない中学生や高校生の居場所があるとよい
- ・希望者が全員学童に入れるようにしてほしい

##### ◇保育所・幼稚園・預け先

- ・坂浜地区に子育て世帯が増加しているため、保育園を増やしてほしい
- ・働く母親が働き続けられる環境がほしい
- ・押立地区の住民が預けやすい場所に保育園がほしい
- ・病児保育を多く設置してほしい
- ・保育士の賃金を向上してほしい
- ・市外の保育園からの転園ができるようにしてほしい
- ・日曜日や祝日、夜間に就労している親が子どもを預けられるようにしてほしい

##### ◇要支援児童への対応

- ・特別支援学級に限らず情緒学級も設置してほしい
- ・療育や発達障害への支援を手厚くしてほしい

## ■子育てを支援する生活環境の整備

### ◇図書館・施設

- ・平日・休日にかかわらず無料で子どもと遊べるスポットがあるとよい
- ・図書館の新書を充実させてほしい
- ・自習スペース環境づくりに力を入れてほしい
- ・子育て関連施設の老朽化に対処してほしい
- ・団地をバリアフリー化してほしい

### ◇公園

- ・壁打ちやバスケットなど、ボール遊びができる場所がほしい
- ・公園のトイレの整備をしてほしい
- ・公園の砂場などに日除けがあるとよい
- ・大型遊具のある安全で大きな公園が増えるとよい

### ◇交通

- ・車が必要な場所が多いため、バスを増やしてほしい

### ◇交流

- ・地域の年齢が近い人と知り合う機会がほしい
- ・子ども連れで休日にお金をかけずに過ごせる地域活動があるとよい
- ・地域活動を積極的に周知してほしい
- ・親や子ども、若者同士の交流の場があるとよい
- ・専門職による勉強会があるとよい

### ◇相談先

- ・土日でも利用できる相談窓口をつくってほしい
- ・親の悩みを話せる場が近くにあるとよい
- ・ひきこもりはじめたときにいち早く支援してほしい

### ◇経済的支援・助成金

- ・子育て世帯への補助や減税など、経済的な支援を充実してほしい
- ・母親が育休から復職すると父親の職場の扶養手当がなくなり、保育料の支払いが生じ、時短勤務で給与が3分の2になり、総じて大きな収入減となるため、控除か追加の手当がほしい
- ・返済不要の奨学金を受けられる割合を増やし、勉強したいができない人の環境が改善されるとよい
- ・若者が外に出て活動できるよう金銭的な支援を手厚くしてほしい
- ・出産費用を補助してほしい
- ・若者の住宅費用支援などがあるとよい
- ・大学の学費を無償化
- ・税金の負担軽減

### ◇就職・育休取得・復職への支援

- ・市内における若者への就職支援の機会を増やしてほしい

- ・出産育児で仕事から離れざるをえなかった母親たちの就業支援が充実するとよい
- ・就業先として市内に大企業を誘致してほしい
- ・男性の育休取得促進について全世代に周知してほしい

#### ◇安心・安全

- ・警察の見回りや地域の見守りを強化してほしい
- ・精神的・身体的に安心して過ごすことのできる環境を、複数用意できるとよい
- ・長峰地区の街灯を明るくしてほしい
- ・坂浜地域の歩道の拡幅、ガードレール・信号機の設置を検討してほしい

#### ◇医療・産後ケア・不妊治療

- ・産婦人科に土曜も診療してほしい
- ・気軽に使える産後ケアや子育て支援を充実させてほしい
- ・不妊治療を行う医療機関を増やしてほしい

#### ◇市政・手続き

- ・土日に手続きや相談ができる窓口をつくってほしい
- ・なしのすけ商品券は使いづらいため、支払いアプリの割引などにしてほしい
- ・政策や情報をどんな世代でも容易にアクセスできる方法で周知してほしい

#### ◇まちづくり

- ・子育て世帯にとって魅力のあるまちづくりをしてほしい
- ・住宅と人口の増加にあわせたまちづくりを検討してほしい
- ・電線の地下化をしてほしい

#### ◇商業施設

- ・家族連れで利用しやすい飲食店が増えるとよい
- ・薬局よりも、カラオケなどの遊ぶところを増やしてほしい
- ・駅前に飲食店を増やしてほしい

### ■多様な考え方

#### ◇生きかた・考えかた

- ・働く女性が増え、地域活動の担い手は各所で不足しているため、男性も夕方に仕事が終わりを、地域や家族と交流する風潮ができるとよい
- ・家族と過ごす時間を増やすために、残業しなくても生活できる社会を作してほしい



## 5 妊娠届出をした方

(記入者：稲城市に妊娠届出をした方)

※主な回答を抜粋して掲載

(1) 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートを受けたいか〔問10〕

### ■地域における子育て支援

#### ◇子ども家庭支援センター

- ・下調べや手続きを経ることなく、使いたいと思ったときにすぐ支援を利用できるようにしてほしい
- ・子育ての分担や負担軽減を支援してほしい

#### ◇一時預かり

- ・働いてない人も気軽に預けられるとよい

#### ◇相談先

- ・不安な気持ちを抱えたままにさせず、サポートに繋げてくれるサービスがほしい
- ・電話などで気軽にいつでも相談できる環境があるとよい

#### ◇子育て情報の提供

- ・子どもの将来に先回りした情報提供があるとよい
- ・育児体験談や経験談、病院等の情報を冊子やアプリなどで発信してほしい

#### ◇学童クラブ事業

- ・学童の預かり時間が、一般的な認可保育園と同じ程度までであるとよい
- ・育休中にきょうだいを学童に預けられるようにしてほしい
- ・夕方だけでなく朝の早い時間帯も学童があるとよい

#### ◇経済的支援・助成金

- ・金銭面のサポートをもっと手厚くしてほしい

#### ◇交流

- ・年齢が近い親子で交流できる場が増えてほしい

#### ◇市役所

- ・補助金、控除等、稲城市民が使える制度を分かりやすく周知してほしい
- ・保健センターでの検診について、住んでいる地域の出張所等でも受けられるとよい
- ・地域の改善要望などを気軽に書き込める場所を市のホームページにつくってほしい
- ・保育園や幼稚園の入園受付時期を知らせてほしい

#### ◇児童館・施設

- ・学校や児童館の老朽化に対処してほしい
- ・児童館の混雑を緩和してほしい

■母と子の健康の確保及び推進

◇病児保育

- ・病児保育を拡充してほしい
- ・親の体調不良時の家事サポートや子どもの世話がほしい
- ・急な怪我や発熱等に対応する病院がほしい

◇産後ケア

- ・子どもを預けて休める産後ケアを充実させてほしい
- ・産後のタクシー券だけでなく、産前の補助があるとよい

■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

◇保育所・幼稚園・預け先

- ・入所待機をなくすために、保育園などの受け入れを拡大してほしい
- ・保育園に送迎事業があるとよい
- ・平尾地区に保育園を増設してほしい

■職業生活と家庭生活との両立の推進

- ・急を要する子どもの迎えや休みに対応してもらえるサービスが充実するとよい
- ・父親の育休取得、定時退社などを促進するために、会社に意識啓発をしてほしい
- ・共働きで子育てする上での注意点や一人になる時間の確保法などを周知してほしい

## (2) 子育ての環境や支援への満足度の回答についての理由〔問 20〕

### ■満足度5（高い）

- ・ およこ包括支援センターでの面談で、手厚いサポートがあることがわかった
- ・ 様々な制度が充実していて、子どもを大事にしようという気持ちを感じる
- ・ 相談窓口があることに安心する

### ■満足度4（やや高い）

- ・ 妊娠ギフトなどのおかげで多くのものを購入できた
- ・ 公園に不備があればアプリで市に報告できるのは便利だと思う
- ・ 耳鼻科や皮膚科へ行く際に行けるところが少ないので、個人クリニックを誘致してほしい
- ・ 子どもが増えるたびに生活が楽になるような制度があるとよい
- ・ 支援がしっかりしていて、保育園に入れなくても子ども園などが利用しやすい
- ・ 日曜や祝日に利用できる遊び場がほしい
- ・ 治安が良く、保健センターや保育園の支援は手厚いと感じる

### ■満足度3（普通）

- ・ 支援策について近隣市が始めるまで動かないことが多く、後手になっている
- ・ 基本的な支援はあるものの、子育て広場や事業などそこまで魅力的なものがない
- ・ まだ支援等については把握できていないところが多い
- ・ 子育て環境としては緑豊かで公園もあり駐車場も併設されているのでよいと感じているが、街自体の歩道の舗装はガタガタなところが多く、ベビーカーで走ると不便を感じる
- ・ 近くにスーパーなど買い物する場所を増やしてほしい
- ・ 医療機関が少ない
- ・ おもちゃや施設、公園の設備が古い
- ・ 子連れ歓迎のカフェや飲食店がほしい
- ・ ベビーシッターを利用する際の助成があるとよい

### ■満足度2（やや低い）

- ・ 待機児童が多く保育所に入れるか不安
- ・ 子育て支援の情報がわかりにくい
- ・ 18時を過ぎたら延長保育料がかかる点
- ・ 駅周辺等での子育て用品を購入できる場所が少ない

### ■満足度1（低い）

- ・坂道が多く車が運転できないと色々と不便
- ・非課税世帯以外への支援がないことが不満
- ・市役所に子育て関係のことを把握している人が少なく、やる気を感じられない
- ・保育園の待機児童が多く入園できない
- ・平尾地区は稲城駅に行くのも大変で色々な手続きがしづらく、見捨てられていると感じる
- ・保育料、教育費や給食費、医療費などの無償化などがなく、他自治体との差が広がっている

### （3）教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〔問22〕

#### ■地域における子育て支援

##### ◇子ども家庭支援センター事業

- ・ファミリー・サポート・センターの利用手続きを簡略化してほしい
- ・夜遅いお迎え時間に対応するサービスや日曜日、祝日に利用できる場所などを用意してほしい

##### ◇公園

- ・南山地区に大きな公園をつくってほしい
- ・水道やトイレなど併設してほしい
- ・安全に水遊びできる場所がほしい

##### ◇保育園

- ・認可保育園を増やしてほしい
- ・1歳児入園の枠が少ないので対策してほしい
- ・保育士の数を増やしてほしい

##### ◇子育て情報の提供

- ・市民が触れやすいところでの情報発信が望ましい

##### ◇児童館・施設

- ・雨の日に遊べる室内施設を作してほしい
- ・施設の中の清潔を清潔に保ち、おもちゃを新調してほしい

##### ◇市役所

- ・子どもの多い市だからこそ、もっと子どもに手厚い行政になってほしい

#### ■母と子の健康の確保及び推進

- ・夜間救急がある病院や、近くの小児科を紹介してほしい
- ・子育て支援制度利用のハードルを低くしてほしい

- ・産後にサポートが受けられるよう、ファミリー・サポート・センターや産後宿泊などの試し利用に使えるクーポンの配布などがあるとよい
- ・妊婦健診で、きょうだいを預かってくれる子ども専用のスペースがあればよい

#### ■子どもの心身の健やかな成長に資する保育・教育環境の整備

##### ◇経済的支援/助成金

- ・給食費や医療費を無償化してほしい
- ・所得制限を撤廃してほしい

##### ◇学童クラブ事業

- ・育休中に学童を利用できるようにしてほしい

#### ■子育てを支援する生活環境の整備

- ・稲城駅付近以外に住んでいる市民のために、近隣の市との連携強化など子育て環境の充実をもっとはかってほしい

#### ■職業生活と家庭生活との両立の推進

- ・フリーランスの人が、仕事を続けながら育児できる環境を整えてほしい
- ・共働き世帯でも気軽に子育てできる環境を整えてほしい
- ・働きながら2人以上の子どもを育てやすいよう支援を充実させてほしい
- ・経済的な不安なく育休をとれる制度を充実させてほしい

#### ■子ども等の安全の確保

- ・子どもが稲城市に生まれ育ってよかったと思える安全な場所にしてもらえるとよい
- ・坂浜地区の道路の拡張などの整備を進めてほしい



稲城市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書

発行日 令和7年3月

発行者 稲城市

住 所 〒206-8601 東京都稲城市東長沼 2111 番地

T E L 042-378-2111（代表）

編 集 稲城市 子ども福祉部 児童青少年課